

課 長

主 幹

主 査

改算者

担 当

令和 7 年度

工 事 仕 様 書

1. 工 事 名 向町浄水場自家発電施設等更新工事
2. 工 事 箇 所 名 行田市向町28番4号
3. 実 施 額 金 円 (但し, 工事価格 金 円)
4. 変 更 実 施 額 金 円 (但し, 工事価格 金 円)

工事大要・変更理由

変更工事の大要	
工事の大要	向町浄水場の自家発電施設等を更新する工事一式。 [電気設備工事] 一式 [2系配水ポンプ室配管更新工事] 一式 [建築改修（浸水対策）工事] 一式 [建築電気（浸水対策）工事] 一式 [建築機械（浸水対策）工事] 一式 [建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事] 一式
変更理由	

行 田 市 水 道 事 業

本 工 事 費 内 訳 表

工 種	種 類	細 別	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単価	金額	数量	単価	金額	
本工事費										
	1 電気設備工事		式	1						電気設備工事費内訳表の通り
	2 2系配水ポンプ室配管更新工事		式	1		()				2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表の通り
	3 建築改修（浸水対策）工事		式	1						建築改修（浸水対策）工事費内訳表の通り
	4 建築電気（浸水対策）工事		式	1						建築電気（浸水対策）工事費内訳表の通り
	5 建築機械（浸水対策）工事		式	1		()				建築機械（浸水対策）工事費内訳表の通り
	6 建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事		式	1						建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事費内訳表の通り
直接工事費計						()				
	共通仮設費（率分）		式	1						
共通仮設費計										
純工事費						()				
	現場管理費		式	1						

本 工 事 費 内 訳 表

工 種	種 類	細 別	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単価	金額	数量	単価	金額	
工事原価										
	一般管理費		式	1						
7	スクラップ控除		式	1						
工事価格										
	消費税等相当額		式	1						(×0.1)
本工事費計										

諸 経 費 一 覧 表

種 別		補 助 (A)										単 独 (B)										支 給 品 (C)										合 計								
		変 更 前					変 更 後					変 更 前					変 更 後					変 更 前					変 更 後					変 更 前		変 更 後						
												1	2	3	4	5	6																							
直接工事費																																								
共通仮設費	(率分)																																							
	運搬費																																							
	安全費																																							
	役務費																																							
	技術管理費																																							
純工事費																																								
現場管理費																																								
工事原価																																								
一般管理費																																								
スクラップ控除																																								
工事価格																																								
消費税相当額																																								
本工事費計																																								
摘 要 :																																								
(全体) 工種区分: 構造物工事(浄水場等) (共通) 地域補正: (補正なし) (共通) 週休2日: 月単位の週休2日																																								
(現場) 寒冷補正: (適用地域外) (現場) 地域補正: (補正なし) (現場) 週休2日: 月単位の週休2日																																								
(一般) 前払補正: (前払35%超え) (一般) 契約保証: (金銭的保証必要)																																								

電 気 設 備 工 事 費 内 訳 表

工 種	種 類	細 別	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単価	金額	数量	単価	金額	
本工事費										
1	機器費		式	1						第1号電気設備工事内説明細書の通り
2	低圧ケーブル		式	1						第2号電気設備工事内説明細書の通り
3	制御ケーブル		式	1						第3号電気設備工事内説明細書の通り
4	その他電線管		式	1						第4号電気設備工事内説明細書の通り
5	端末処理材		式	1						第5号電気設備工事内説明細書の通り
6	電線管類		式	1						第6号電気設備工事内説明細書の通り
7	ケーブルダクト		式	1						第7号電気設備工事内説明細書の通り
8	小配管、弁類		式	1						第8号電気設備工事内説明細書の通り
9	複合工		式	1						第9号電気設備工事内説明細書の通り
10	一般労務費		式	1						第10号電気設備工事内説明細書の通り
11	技術労務費		式	1						第11号電気設備工事内説明細書の通り

行 田 市 水 道 事 業

電 気 設 備 工 事 費 内 訳 表

[illegible]

電 気 設 備 工 事 内 訳 明 細 書

機器費 電 気 設 備 工 事 内 訳 明 細 書 第 1 号 (1/1)										
工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	非常用発電装置		式	1						
	排気消音器		式	1						
	給気設備		式	1						
	換気設備		式	1						
	燃料小出槽		式	1						
	屋外燃料タンク		式	1						
	冷却水槽		式	1						
	発電機盤		式	1						
	自動始動盤		式	1						
	始動用直流電源盤		式	1						
	発電機分岐盤		式	1						
	3、4号配水ポンプ電源切替盤		式	1						
	入出力盤（1） / （2）機能増設		式	1						
	入出力盤（3）機能増設		式	1						
	プロセスコントローラ盤機能増設		式	1						
	LCD監視制御1機能増設		式	1						
合計										

低圧ケーブル

電 気 設 備 工 事 内 訳 明 細 書

第 2 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	600V-CET	38sq	m	27.0						
	600V-CE	325 sq-1c	m	529.0						
	600V-CE	250 sq- 1 c	m	504.0						
	600V-CE	200 sq- 1 c	m	17.8						
	600V-CE	100 sq- 1 c	m	284.0						
	600V-CE	8 sq- 3 c	m	4.1						
	600V-CE	5.5 sq- 3 c	m	205.00						
	600V-CE	5.5 sq- 2 c	m	109.0						
	600V-CE	3.5 sq- 3 c	m	143.0						
	小計									
	同上付属材料		式	1						
	小計									
合計										

行 田 市 水 道 事 業

制御ケーブル

電気設備工事内訳明細書

第 3 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	CEE	2 sq- 10 c	m	95.4						
	CEE	2 sq- 6 c	m	8.9						
	CEE	2 sq- 5 c	m	126.0						
	CEE	2 sq- 3 c	m	25.6						
	CEE	2 sq- 2 c	m	94.3						
	CEE	1. 25sq-20c	m	31.5						
	CEE	1. 25sq-15c	m	6.4						
	CEE	1. 25sq-10c	m	31.5						
	CEE	1. 25sq-8c	m	31.5						
	CEE	1. 25sq-2c	m	34.8						
	CEE-S	1. 25sq-10 c	m	32.6						
	小計									
	同上付属材料		式	1						
	小計									
合計										

行田市水道事業

(1/1)

行田市水道事業

端末処理材

電 気 設 備 工 事 内 訳 明 細 書

第 5 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	600v-CET	38sq	組	2						
	600v-CE	325sq-1c	組	12						
	600v-CE	250sq-1c	組	48						
	600v-CE	200sq-1c	組	4						
	600v-CE	100sq-1c	組	36						
合計										

行 田 市 水 道 事 業

電線管類

電 気 設 備 工 事 内 訳 明 細 書

第 6 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	G	42mm 露出	m	89.8						
	G	36mm 露出	m	11.7						
	G	28mm 露出	m	113.0						
	G	22mm 露出	m	22.2						
	小計									
	同上付属材料		式	1						
	小計									
	FEP	125mm 埋込	m	104.0						
	FEP	100mm 露出	m	64.5						
	FEP	65mm 露出	m	61.8						
	FEP	40mm 露出	m	32.2						
	FEP	30mm 露出	m	30.9						
	小計									
合計										

行 田 市 水 道 事 業

ケーブルダクト										
電 気 設 備 工 事 内 訳 明 細 書										
第 7 号										
(1/1)										
工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	アルミケーブルダクト	400*300	m	9.9						
合計										

小配管，弁類

電 気 設 備 工 事 内 訳 明 細 書

第 8 号

(1/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	炭素鋼鋼管 SGP	500 屋内	t	0.3						
	炭素鋼鋼管 SGP	500 屋外	t	0.5						
	炭素鋼鋼管 SGP	350 屋内	m	8.1						
	炭素鋼鋼管 SGP	100 屋内	m	9.4						
	炭素鋼鋼管 SGP	65 屋内	m	3.6						
	炭素鋼鋼管 SGP	65 屋外	m	5.5						
	炭素鋼鋼管 SGP	50 屋内	m	6.9						
	炭素鋼鋼管 SGP	40 屋外	m	14.3						
	炭素鋼鋼管 SGP	40 屋内	m	71.5						
	炭素鋼鋼管 SGP	32 屋内	m	5.7						
	炭素鋼鋼管 SGP	32 屋外	m	1.0						
	炭素鋼鋼管 SGP	25 屋内	m	12.9						
	炭素鋼鋼管 SGP	25 屋外	m	66.0						
	炭素鋼鋼管 SGP	20 屋内	m	7.8						
	炭素鋼鋼管 SGP	20 屋外	m	5.5						
	炭素鋼鋼管 SGP	15 屋外	m	1.0						
	防波管塩化ビニル管	VP 100Φ	m	23.0						
	仕切弁	65A	個	1						
	仕切弁	50A	個	3						

行 田 市 水 道 事 業

小配管，弁類

電 気 設 備 工 事 内 訳 明 細 書

第 8 号

(2/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	仕切弁	40A	個	3						
	仕切弁	25A	個	4						
	仕切弁	20A	個	3						
	仕切弁	32A	個	1						
	仕切弁	100A	個	1						
	逆止弁	40A	個	1						
	逆止弁	25A	個	2						
	電動ボール弁	50A	個	1						
	可とう管	500A	個	1						
	可とう管	350A	個	2						
	フレキシブルジョイント	100A	個	3						
	フレキシブルジョイント	65A	個	1						
	フレキシブルジョイント	50A	個	1						
	フレキシブルジョイント	40A	個	4						
	フレキシブルジョイント	32A	個	1						
	フレキシブルジョイント	25A	個	3						
	フレキシブルジョイント	20A	個	2						
	安全弁	25A	個	1						
合計										

行 田 市 水 道 事 業

複合工

電 気 設 備 工 事 内 訳 明 細 書

第 9 号

(1/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	ケーブル埋設シート	w=150	m	43.3						
	縞鋼板 (SS、塗装)		式	1						
	鉄筋工(太径鉄筋含む) [材工共]	SD295A D13 一般構造物 施工規模10t未満	t	1.1						第電-15号代価表の通り
	型枠	一般型枠, 鉄筋・無筋構造物	m2	76.1						第電パ-1号代価表の通り
	コンクリート	無筋・鉄筋構造物, 人力打設, ★生ひ付斗 24-12-25 (20) 【10%以下】 , -, 一般養生, -, 有リ, -	m3	23.8						第電パ-2号代価表の通り
	目荒らし	床	m ²	6.7						
	均しコンクリート		m ³	1.4						
	コア抜き	壁 100Φ	箇所	2						
	コンクリート塊運搬工	DID:あり 20.0km以下 DT:4t	m3	2.4						第電-16号代価表の通り
	バックホウ掘削積込工	BH山積0.28m3	m3	21.0						第電-2号代価表の通り
	機械埋戻工	BH山積0.28m3 発生土	m3	6.0						第電-4号代価表の通り
	発生土運搬工	DID:あり 20.0km以下 DT:4t	m3	16.0						第電-7号代価表の通り
	機械埋戻工	BH山積0.28m3 埋め戻し用砂	m3	9.0						第電-3号代価表の通り
	路盤工	下層路盤 t=150 RC-40	m ²	4.2						第電-5号代価表の通り
	路盤工	上層路盤 t=100 RM-40	m ²	2.8						第電-6号代価表の通り
	舗装版直接掘削・積込	BH山積0.28m3 舗装厚10cm以下	m ²	27.8						第電-1号代価表の通り
	アスファルト塊運搬工	DID:あり 20.0km以下 DT:4t 山積0.28m3	m3	1.4						第電-8号代価表の通り
	舗装版切断	アスファルト舗装版, 15cm以下, -, -	m	79.4						第電パ-3号代価表の通り
	アスファルト舗装工 (人力施工)	t=50mm 車道及び路肩	m ²	27.8						第電-9号代価表の通り

行 田 市 水 道 事 業

複合工

電 気 設 備 工 事 内 訳 明 細 書

第 9 号

(2/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	防火区画処理 壁	300*200	箇所	2						
	防火区画処理補修 壁	1000*300	箇所	2						
	防火区画処理補修 壁	500*200	箇所	2						
	防火区画処理補修 壁	400*200	箇所	2						
	防火区画処理	Φ100	箇所	2						
	はつり		式	1						
	発電機室ピット増築		式	1						
	非常用発電装置基礎打ち増し		式	1						
	ダクト据付・製作		式	1						
	配電盤基礎		式	1						
	屋外燃料タンク基礎		式	1						
	燃料移送ポンプ基礎		式	1						
合計										

行 田 市 水 道 事 業

一般労務費

電気設備工事内訳明細書

第 10 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	電工		人							
	配管工		人							
	普通作業員		人							
合計										

行田市水道事業

技術労務費

電気設備工事内訳明細書

第 11 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	技術者	(杖付け)	人							
	技術者	(単体調整)	人							
	運転操作立会費		人							
合計										

行田市水道事業

仮設費

電 気 設 備 工 事 内 訳 明 細 書

第 12 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	1系仮設発電装置		式	1						
	2系仮設発電装置		式	1						
合計										

発生材処分

電 気 設 備 工 事 内 訳 明 細 書

第 13 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	運搬費	2tダンプ（片道概ね25k m）	回							
	運搬費	4tダンプ（片道概ね25k m）	回							
	混合廃棄物	安定型	m ³	2.4						
	発生材処分	コンクリート塊（無筋）	t	5.7						
合計										

2 系 配 水 ポ ン プ 室 配 管 更 新 工 事 内 訳 表 内 訳 表

工 種	種 類	細 別	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単価	金額	数量	単価	金額	
本工事費										
1	機器費		式	1		()				第1号 2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内説明細書の通り
2	材料費		式	1		()				第2号 2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内説明細書の通り
3	一般労務費		式	1						第3号 2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内説明細書の通り
4	技術労務費		式	1						第4号 2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内説明細書の通り
5	複合工費		式	1						第5号 2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内説明細書の通り
6	不断水仕切弁設置工（機器費）		式	1		()				第6号 2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内説明細書の通り
7	不断水仕切弁設置工		式	1						第7号 2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内説明細書の通り
8	不断水仕切弁設置工（土工）		式	1						第8号 2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内説明細書の通り
9	運搬費		式	1						第9号 2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内説明細書の通り
10	安全費		式	1						第10号 2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内説明細書の通り
11	発生材処分		式	1						第11号 2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内説明細書の通り

行 田 市 水 道 事 業

電 気 設 備 工 事 費 内 訳 表

[illegible]

2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内訳明細書

機器費

2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内訳明細書

第 1 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	更新型バタフライ弁	Φ600	台	1	()	()				
	配水流量計	Φ350	組	2	()	()				
合計						()				

行 田 市 水 道 事 業

材料費

2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内訳明細書

第 2 号

(1/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	金属製可とう電線管	24mm	m	4.4						
	同上付属材料		式	1						
	小計									
	2F片落管	SUS Φ600*Φ350*600*JIS10kF/水道用7.5kF	本	3	()	()				
	2F直管	SUS Φ600*880*JIS10kF	本	1	()	()				
	2F直管 (50A取出付×2)	SUS Φ600*1856*450*JIS10kF	本	1	()	()				
	3FT字管	SUS Φ600*Φ400*880*450*JIS10kF/水道用7.5kF	本	1	()	()				
	2F直管 (50A取出付×1)	SUS Φ600*914*JIS10kF/水道用7.5kF	本	1	()	()				
	3FT字管	SUS Φ600*Φ400*880*450*JIS10kF	本	2	()	()				
	2F直管 (50A取出付×1)	SUS Φ600*1856*450*JIS10kF	本	1	()	()				
	2F直管	SUS Φ350*520*水道用7.5kF	本	1	()	()				
	1F直管	SUS Φ350*412*水道用7.5kF/ブレンゼント°	本	1	()	()				
	2F片落管	SUS Φ400*Φ300*472*JIS10kF	本	2	()	()				
	2F片落管	SUS Φ400*300*380*JIS10kF	本	1	()	()				
	1F異形管	SUS Φ50*150*300*76*JIS10kF	本	2	()	()				
	2F90° 曲管	SUS Φ50*120*120*JIS10kF	本	2	()	()				
	伸縮継手	SUS Φ350*1150*水道用7.5kF	本	1	()	()				
	配管継手	FCD Φ350*JIS10kF	組	1	()	()				
	仕切弁	FCD Φ50*180*JIS10kF	個	4	()	()				

行田市水道事業

材料費

2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内訳明細書

第 2 号

(2/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	閉止フランジ	SUS Φ300*JIS10kF	枚	1	()	()				
	フランジ接合材	SUS/SBR Φ600*JIS10kF	組	8	()	()				
	フランジ接合材	SUS/SBR Φ600*水道用7.5KF	組	2	()	()				
	フランジ接合材	SUS/SBR Φ400*JIS10kF	組	3	()	()				
	フランジ接合材	SUS/SBR Φ350*水道用7.5KF	組	6	()	()				
	フランジ接合材	SUS/SBR Φ300*JIS10kF	組	3	()	()				
	フランジ接合材	SUS/SBR Φ50*JIS10kF	組	10	()	()				
(仮設)										
	閉止フランジ	SS Φ600*JIS10kF	枚	1	()	()				
	閉止フランジ	SS Φ600*水道用7.5KF	枚	1	()	()				
	フランジ接合材	SUS/SBR Φ600*JIS10kF	組	1	()	()				
	フランジ接合材	SUS/SBR Φ600*水道用7.5KF	組	1	()	()				
合計						()				

行田市水道事業

一般勞務費

2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内訳明細書

第 3 号

 $(1/1)$ [illegible]

行 田 市 水 道 事 業

技術労務費

2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内訳明細書

第 4 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	機械設備据付工		人							
	技術者	(据付)	人							
	技術者	(単体調整)	人							
	技術者	(組合試験)	人							
合計										

複合工費

2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内説明細書

第 5 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	配管架台 鋼材加工組立工	SUS	kg	50.8						
	基礎コンクリート工	無筋・鉄筋構造物, 人力打設, ★生コンリート 18-8-25 (20) 高炉 【60%以下】 , -, 一般養生, -, 無し, -	m ³	0.6						第機電バ-2号代価表の通り
	モルタル仕上	コンクリ面 (t=20)	m ²	5.0						
	型枠工	一般型枠	m ²	5.0						
	鉄筋工	SD345 D13	kg	36.6						
	目荒らし	床	m ²	1.3						
	はつり工	床面 集積共	m ²	0.7						
合計										

不断水仕切弁設置工（機器費）

2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内訳明細書

第 6 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	不断水仕切弁	鋼板製・製作品 φ 600mm 内面粉体塗装 鋼管用	基	2	()	()				
	鉄蓋	行田市仕様 φ 600mm	組	1						
	調整リング	H=50mm	個	1						
	上部壁	H=200mm	個	1						
	中部壁	H=200mm	個	1						
	下部壁	H=200mm	個	1						
	下部壁	H=300mm	個	1						
	底版	H=40mm	個	1						
合計						()				

行 田 市 水 道 事 業

不断水仕切弁設置工（土工）

2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内説明細書

第 8 号

(1/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
(発電機室解体)										
	構造物とりこわし工	鉄筋, 人力	m3	1.3						
	バックホウ掘削積込工	BH山積0.45m3	m3	1.7						第機電-2号代価表の通り
	基礎砕石工	12.5cmを超え17.5cm以下, 再生ｸﾞﾗｯｼｬﾚﾝ 40～0	m ²	6.6						第機電バ-1号代価表の通り
	基礎コンクリート工	無筋・鉄筋構造物, 人力打設, ★生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-25 (20) 高炉 【60%以下】 , -, 一般養生, -, 無し, -	m3	0.7						第機電バ-2号代価表の通り
	発生土運搬工	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4ｵｰﾄ積ﾊﾞｯｸﾙｯｸ山積0.45m3〔平積0.35m3〕(ｸﾚｰﾝ付2.9ｵｰﾄ吊)	m3	1.7						第機電-3号代価表の通り
	建設発生土受入費	(第1～第3種建設発生土) 地山	m3	1.7						
(場内通路)										
	舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版, 15cm以下, -, -	m	10.6						第機電バ-3号代価表の通り
	舗装版直接掘削積込工 (ﾊﾞｯｸﾙｯｸ)	舗装厚0cm超え10cm以下 ﾊﾞｯｸﾙｯｸ 山積0.45m3〔平積0.35m3〕	m ²	6.6						第機電-4号代価表の通り
	バックホウ掘削積込工	BH山積0.45m3	m3	16.6						第機電-2号代価表の通り
	基礎砕石工	12.5cmを超え17.5cm以下, 再生ｸﾞﾗｯｼｬﾚﾝ 40～0	m ²	6.6						第機電バ-1号代価表の通り
	基礎コンクリート工	無筋・鉄筋構造物, 人力打設, ★生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-25 (20) 高炉 【60%以下】 , -, 一般養生, -, 無し, -	m3	0.7						第機電バ-2号代価表の通り
	管路埋戻・締固め工(機械埋戻・ﾊﾞｯｸﾙｯｸ)	ﾊﾞｯｸﾙｯｸ 山積0.45m3〔平積0.35m3〕 ★砂 埋め戻し用ﾎﾟｽ 率: 0.33	m3	12.0						第機電-5号代価表の通り
	下層路盤工(施工幅1.8m以上)	1層仕上げ 仕上り厚20cm ★再生ｸﾞﾗｯｼｬﾚﾝ RC-40	m ²	6.6						第機電-6号代価表の通り
	上層路盤工(施工幅1.8m以上)	1層仕上げ 仕上り厚15cm ★再生粒度調整砕石 RM-40	m ²	6.6						第機電-7号代価表の通り
	アスファルト舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚5cmﾌﾞﾗｲﾄﾞｺｰﾄ 砂散布あり 再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(再生密粒度ﾌ｛ｺﾝ(20))	m ²	6.6						第機電-8号代価表の通り
	アスファルト塊運搬工	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4ｵｰﾄ積ﾊﾞｯｸﾙｯｸ山積0.45m3〔平積0.35m3〕(ｸﾚｰﾝ付2.9ｵｰﾄ吊)	m3	0.3						第機電-9号代価表の通り
	廃材持込料	As廃材	t	0.7						

行 田 市 水 道 事 業

不斷水仕切弁設置工（土工）

2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内訳明細書

第 8 号

(2/2)

[illegible]

行田市水道事業

運搬費

2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内訳明細書

第 9 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	仮設材等の運搬費	20kmまで（往復）	t	1.0						
	仮設材等の積み込み・取卸し費		t	1.0						
合計										

行 田 市 水 道 事 業

安全費

2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内訳明細書

第 10 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	交通誘導警備員B		人							
合計										

行田市水道事業

発生材処分

2系配水ポンプ室配管更新工事内訳表内説明細書

第 11 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	運搬費	2tダンプ（片道概ね25k m）	回							
	運搬費	4tダンプ（片道概ね25k m）	回							
合計										

建 築 改 修 （ 浸 水 対 策 ） 工 事 費 内 訳 表

工 種	種 類	細 別	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単価	金額	数量	単価	金額	
本工事費										
1	直接仮設		式	1						第1号 建築改修（浸水対策）工事内訳明細書の通り
2	防水改修		式	1						第2号 建築改修（浸水対策）工事内訳明細書の通り
3	外壁改修		式	1						第3号 建築改修（浸水対策）工事内訳明細書の通り
4	建具改修		式	1						第4号 建築改修（浸水対策）工事内訳明細書の通り
5	内装改修		式	1						第5号 建築改修（浸水対策）工事内訳明細書の通り
6	塗装改修		式	1						第6号 建築改修（浸水対策）工事内訳明細書の通り
7	環境配慮改修		式	1						第7号 建築改修（浸水対策）工事内訳明細書の通り
8	発生材処分		式	1						第8号 建築改修（浸水対策）工事内訳明細書の通り
浸水対策 直接工事費計										

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

直接仮設

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 1 号

(1/5)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	(向町浄水場)									
	【①県水受水室】									
	墨出し	建具改修	m ²	6.6						第建浸-1号代価表の通り
	養生	防水改修 塗膜防水(外壁)	m ²	95.4						第建浸-3号代価表の通り
	養生	外壁改修(建具)	m ²	5.6						第建浸-4号代価表の通り
	養生	内部 個別改修(建具)	m ²	4.5						第建浸-6号代価表の通り
	整理清掃後片付け	防水改修 塗膜防水(外壁)	m ²	95.4						第建浸-7号代価表の通り
	整理清掃後片付け	外壁改修(建具)	m ²	5.6						第建浸-8号代価表の通り
	整理清掃後片付け	内部 個別改修(建具)	m ²	4.5						第建浸-10号代価表の通り
	外部仕上足場(改修)	脚立足場 運搬共	m ²	5.6						第建浸-12号代価表の通り
	内部仕上足場(改修)	脚立足場 運搬共	m ²	4.5						第建浸-12号代価表の通り
	仮設間仕切	C種 単管下地 運搬共	m ²	32.3						第建浸-13号代価表の通り
	【②1系配水ポンプ室】									
	墨出し	建具改修	m ²	5.0						第建浸-1号代価表の通り
	養生	外壁改修(建具)	m ²	4.0						第建浸-4号代価表の通り
	養生	内部 個別改修(建具)	m ²	2.6						第建浸-6号代価表の通り
	整理清掃後片付け	外壁改修(建具)	m ²	4.0						第建浸-8号代価表の通り
	整理清掃後片付け	内部 個別改修(建具)	m ²	2.6						第建浸-10号代価表の通り
	外部仕上足場(改修)	脚立足場 運搬共	m ²	4.0						第建浸-12号代価表の通り

行 田 市 水 道 事 業

直接仮設

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 1 号
(2/5)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	内部仕上足場(改修)	脚立足場 運搬共	m ²	2.6						第建浸-12号代価表の通り
	仮設間仕切	C種 単管下地 運搬共	m ²	15.4						第建浸-13号代価表の通り
	【③管理棟】									
	墨出し	建具改修	m ²	9.5						第建浸-1号代価表の通り
	墨出し	止水板	m ²	17.7						第建浸-2号代価表の通り
	養生	防水改修 塗膜防水(外壁)	m ²	163.0						第建浸-3号代価表の通り
	養生	外壁改修(建具)	m ²	8.2						第建浸-4号代価表の通り
	養生	止水板	m ²	17.7						第建浸-5号代価表の通り
	養生	内部 個別改修(建具)	m ²	6.5						第建浸-6号代価表の通り
	整理清掃後片付け	防水改修 塗膜防水(外壁)	m ²	163.0						第建浸-7号代価表の通り
	整理清掃後片付け	外壁改修(建具)	m ²	8.2						第建浸-8号代価表の通り
	整理清掃後片付け	止水板	m ²	17.7						第建浸-9号代価表の通り
	整理清掃後片付け	内部 個別改修(建具)	m ²	6.5						第建浸-10号代価表の通り
	外部仕上足場(改修)	脚立足場 運搬共	m ²	8.2						第建浸-12号代価表の通り
	内部仕上足場(改修)	脚立足場 運搬共	m ²	6.5						第建浸-12号代価表の通り
	仮設間仕切	C種 単管下地 運搬共	m ²	49.1						第建浸-13号代価表の通り
	【④沈降槽】									
	墨出し	建具改修	m ²	1.6						第建浸-1号代価表の通り
	養生	外壁改修(建具)	m ²	1.6						第建浸-4号代価表の通り

行 田 市 水 道 事 業

直接仮設

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 1 号
(3/5)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	養生	内部 個別改修(建具)	m ²	1.1						第建浸-6号代価表の通り
	整理清掃後片付け	外壁改修(建具)	m ²	1.6						第建浸-8号代価表の通り
	整理清掃後片付け	内部 個別改修(建具)	m ²	1.1						第建浸-10号代価表の通り
	外部仕上足場(改修)	脚立足場 運搬共	m ²	1.6						第建浸-12号代価表の通り
	内部仕上足場(改修)	脚立足場 運搬共	m ²	1.1						第建浸-12号代価表の通り
	仮設間仕切	C種 単管下地 運搬共	m ²	9.5						第建浸-13号代価表の通り
	【⑤2系配水ポンプ室】									
	墨出し	建具改修	m ²	1.8						第建浸-1号代価表の通り
	墨出し	止水板	m ²	13.6						第建浸-2号代価表の通り
	養生	防水改修 塗膜防水(外壁)	m ²	106.0						第建浸-3号代価表の通り
	養生	外壁改修(建具)	m ²	1.8						第建浸-4号代価表の通り
	養生	止水板	m ²	13.6						第建浸-5号代価表の通り
	養生	内部 個別改修(建具)	m ²	1.5						第建浸-6号代価表の通り
	整理清掃後片付け	防水改修 塗膜防水(外壁)	m ²	106.0						第建浸-7号代価表の通り
	整理清掃後片付け	外壁改修(建具)	m ²	1.8						第建浸-8号代価表の通り
	整理清掃後片付け	止水板	m ²	13.6						第建浸-9号代価表の通り
	整理清掃後片付け	内部 個別改修(建具)	m ²	1.5						第建浸-10号代価表の通り
	外部仕上足場(改修)	脚立足場 運搬共	m ²	1.8						第建浸-12号代価表の通り
	内部仕上足場(改修)	脚立足場 運搬共	m ²	1.5						第建浸-12号代価表の通り

行 田 市 水 道 事 業

直接仮設

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 1 号

(4/5)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	仮設間仕切	C種 単管下地 運搬共	m ²	14.9						第建浸-13号代価表の通り
	【⑥着水井】									
	墨出し	建具改修	m ²	8.1						第建浸-1号代価表の通り
	養生	外壁改修(建具)	m ²	7.0						第建浸-4号代価表の通り
	養生	内部 個別改修(建具)	m ²	7.7						第建浸-6号代価表の通り
	整理清掃後片付け	外壁改修(建具)	m ²	7.0						第建浸-8号代価表の通り
	整理清掃後片付け	内部 個別改修(建具)	m ²	7.7						第建浸-10号代価表の通り
	外部仕上足場(改修)	脚立足場 運搬共	m ²	7.0						第建浸-12号代価表の通り
	内部仕上足場(改修)	脚立足場 運搬共	m ²	7.7						第建浸-12号代価表の通り
	仮設間仕切	C種 単管下地 運搬共	m ²	39.1						第建浸-13号代価表の通り
	【⑦次亜室】									
	墨出し	建具改修	m ²	3.5						第建浸-1号代価表の通り
	養生	外壁改修(建具)	m ²	3.5						第建浸-4号代価表の通り
	養生	内部 個別改修(建具)	m ²	2.6						第建浸-6号代価表の通り
	整理清掃後片付け	外壁改修(建具)	m ²	3.5						第建浸-8号代価表の通り
	整理清掃後片付け	内部 個別改修(建具)	m ²	2.6						第建浸-10号代価表の通り
	外部仕上足場(改修)	脚立足場 運搬共	m ²	3.5						第建浸-12号代価表の通り
	内部仕上足場(改修)	脚立足場 運搬共	m ²	2.6						第建浸-12号代価表の通り
	仮設間仕切	C種 単管下地 運搬共	m ²	10.4						第建浸-13号代価表の通り

行 田 市 水 道 事 業

直接仮設

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 1 号

(5/5)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	【⑧1系混和池】									
	墨出し	建具改修	m ²	1.4						第建浸-1号代価表の通り
	養生	外壁改修(建具)	m ²	2.0						第建浸-4号代価表の通り
	養生	内部 個別改修(建具)	m ²	2.0						第建浸-6号代価表の通り
	整理清掃後片付け	外壁改修(建具)	m ²	2.0						第建浸-8号代価表の通り
	整理清掃後片付け	内部 個別改修(建具)	m ²	2.0						第建浸-10号代価表の通り
	外部仕上足場(改修)	脚立足場 運搬共	m ²	2.0						第建浸-12号代価表の通り
	内部仕上足場(改修)	脚立足場 運搬共	m ²	2.0						第建浸-12号代価表の通り
	仮設間仕切	C種 単管下地 運搬共	m ²	11.9						第建浸-13号代価表の通り
合計										

防水改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 2 号
(1/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	(向町浄水場)									
	【①県水受水室】									
	<改修>（外部）									
	外壁 高圧洗浄	30～50MPa	m ²	38.2						
	外壁 下地調整	ボリマーセメントペースト	m ²	38.2						
	外壁 アクリルゴム系塗膜防水	田島ルーフィング®:リハンプコート RVC-A11同等	m ²	38.2						
	シーリング	外部配管廻り MS-2 10×10	m	4.4						
	【②1系配水ポンプ室】									
	<改修>（外部）									
	シーリング	外部配管廻り MS-2 10×10	m	0.2						
	【③管理棟】									
	<改修>（外部）									
	外壁 高圧洗浄	30～50MPa	m ²	63.2						
	外壁 下地調整	ボリマーセメントペースト	m ²	63.2						
	外壁 アクリルゴム系塗膜防水	田島ルーフィング®:リハンプコート RVC-A11同等	m ²	63.2						
	シーリング	外部バルブボックス廻り MS-2 10×10	m	3.2						
	シーリング	コンクリート立上新設～既存壁 PU-2 10×10	m	1.7						
	【④沈降槽】									
	<改修>（外部）									

防水改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 2 号
(2/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	シーリング*	外部配管廻り MS-2 10×10	m	5.5						
	【⑤2系配水ポンプ室】									
	<改修>（外部）									
	外壁 高压洗浄	30～50MPa	m ²	52.4						
	外壁 下地調整	ポリマーセメントペースト	m ²	52.4						
	外壁 アクリルゴム系塗膜防水	田島ルーフィング*：リハンプコート RVC-A11同等	m ²	52.4						
	シーリング*	外部配管廻り MS-2 10×10	m	3.8						
	【⑥着水井】									
	<改修>（外部）									
	シーリング*	外部配管廻り MS-2 10×10	m	6.4						
	【⑦次亜室】									
	<改修>（外部）									
	シーリング*	外部配管廻り MS-2 10×10	m	1.9						
合計										

外壁改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 3 号

(1/4)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	(向町浄水場)									
	【①県水受水室】									
	<改修>（外部）									
	床 モルタル塗り	t30 直仕上げ/塗床下地	m ²	0.3						第建浸-16号代価表の通り
	壁 複層塗材RE	ゆず肌状 水系 アクリル つやあり モルタル補修、下地調整共	m ²	0.7						第建浸-18号代価表の通り
	外壁モルタル補修	既設給気口 200φ t100程度	か所	3						第建浸-22号代価表の通り
	【②1系配水ポンプ室】									
	<改修>（外部）									
	床 モルタル塗り	t30 直仕上げ/塗床下地	m ²	0.3						第建浸-16号代価表の通り
	壁 複層塗材RE	ゆず肌状 水系 アクリル つやあり モルタル補修、下地調整共	m ²	0.4						第建浸-18号代価表の通り
	【③管理棟】									
	<撤去>（外部）									
	カッター入れ	モルタル面	m	1.4						
	止水板新設部 床研り撤去	300×400 t80	か所	1						第建浸-14号代価表の通り
	タイル撤去	下地モルタル共 集積共	m ²	0.2						
	<改修>（外部）									
	床 モルタル塗り	t30 直仕上げ/塗床下地	m ²	0.4						第建浸-16号代価表の通り
	床 床研り撤去跡補修	モルタル塗り 300×400 t80 直仕上げ	か所	1						第建浸-17号代価表の通り
	磁器質タイル	小口 平 108×60	m ²	0.2						

外壁改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 3 号

(2/4)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	壁 モルタル塗り	t16 外壁小口タイル下地	m ²	0.2						
	壁 複層塗材RE	ゆず肌状 水系 アクリル つやあり モルタル補修、下地調整共	m ²	0.3						第建浸-18号代価表の通り
	壁 外装薄塗材E	砂壁状 モルタル補修、下地調整共	m ²	0.5						第建浸-19号代価表の通り
	コンクリート立上新設	W150×L1525×H850 鉄筋、アンカー共	か所	1						
	コンクリート立上 コンクリート直均し仕上げ	W150	m	1.5						
	コンクリート立上 複層塗材RE	ゆず肌状 水系 アクリル つやあり モルタル補修、下地調整共	m ²	2.9						第建浸-18号代価表の通り
	WG-1 止水板	脱着式アルミパネル t42 枠内寸法W3200×H850 通常時下枠カバー共	か所	1						
	WG-2 止水板	脱着式アルミパネル t42 枠内寸法W1620×H850 通常時下枠カバー共	か所	1						
	WG-3 止水板	脱着式アルミパネル t42 枠内寸法W800×H850 通常時下枠カバー共	か所	1						
	WG-4 止水板	脱着式アルミパネル t42 枠内寸法W1010×H850 通常時下枠カバー共	か所	1						
	WG-5 止水板	脱着式アルミパネル t42 枠内寸法W2205×H850 通常時下枠カバー共	か所	1						
	【④沈降槽】									
	<改修>（外部）									
	床 モルタル塗り	t30 直仕上げ/塗床下地	m ²	0.1						第建浸-16号代価表の通り
	壁 複層塗材RE	ゆず肌状 水系 アクリル つやあり モルタル補修、下地調整共	m ²	0.3						第建浸-18号代価表の通り
	【⑤2系配水ポンプ室】									
	<撤去>（外部）									
	カッター入れ	モルタル面	m	2.8						
	止水板新設部 床研り撤去	300×400 t80	か所	2.0						第建浸-14号代価表の通り

外壁改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 3 号

(3/4)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	<改修>（外部）									
	床 モルタル塗り	t30 直仕上げ/塗床下地	m ²	0.1						第建浸-16号代価表の通り
	床 床研り撤去跡補修	モルタル塗り 300×400 t80 直仕上げ	か所	2						第建浸-17号代価表の通り
	壁 外装薄塗材E	砂壁状 モルタル補修、下地調整共	m ²	0.3						第建浸-19号代価表の通り
	WG-1 止水板	脱着式アルミハネル t42 枠内寸法W3200×H800 通常時下枠カバー共	か所	1						
	WG-2 止水板	脱着式アルミハネル t42 枠内寸法W3600×H800 通常時下枠カバー共	か所	1						
	【⑥着水井】									
	<改修>（外部）									
	床 モルタル塗り	t30 直仕上げ/塗床下地	m ²	0.2						第建浸-16号代価表の通り
	壁 防水形外装薄塗材E	ゆず肌状 モルタル補修、下地調整共	m ²	0.9						第建浸-20号代価表の通り
	【⑦次亜室】									
	<改修>（外部）									
	壁 複層塗材RE	ゆず肌状 水系 アクリル つやあり モルタル補修、下地調整共	m ²	0.5						第建浸-18号代価表の通り
	【⑧1系混和池】									
	<撤去>（外部）									
	カッター入れ	コンクリート面	m	2.4						
	壁撤去	CB壁 モルタル共 t 150程度	m ²	0.1						第建浸-15号代価表の通り
	<改修>（外部）									
	壁 防水形外装薄塗材E	ゆず肌状 モルタル補修、下地調整共	m ²	0.5						第建浸-20号代価表の通り

外壁改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 3 号
(4/4)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	AGI撤去跡穴埋め	コンクリート穴埋め W320×H290 t150程度	か所	1						第建浸-26号代価表の通り
合計										

建具改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 4 号

(1/5)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	(向町浄水場)									
	【①県水受水室】									
	<撤去>（外部）									
	カッター入れ	モルタル面	m	29.2						
	建具周囲はつり	W50～150程度	m	14.6						
	鋼製/アルミ製建具撤去	片開き戸 枠共	m ²	1.6						第建浸-27号代価表の通り
	鋼製/アルミ製建具撤去	両開き戸 枠共	m ²	5.0						第建浸-28号代価表の通り
	<改修>									
	SD-1 スチール製両開き止水ドア	W2,000×H2,500	か所	1						
	SD-2 スチール製片開き止水ドア	W800×H2,000	か所	1						
	シーリング	建具周囲 MS-2 10×10	m	29.2						
	建具周囲防水モルタル充填	外部建具	m	14.6						
	【②1系配水ポンプ室】									
	<撤去>（外部）									
	カッター入れ	モルタル面	m	18.0						
	建具周囲はつり	W200程度	m	9.0						
	鋼製/アルミ製建具撤去	両開き戸 枠共	m ²	5.0						第建浸-28号代価表の通り
	<改修>									
	SD-1 スチール製両開き止水ドア	W2,000×H2,500	か所	1						

建具改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 4 号
(2/5)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	シーリング	建具周囲 MS-2 10×10	m	18.0						
	建具周囲防水モルタル充填	外部建具	m	9.0						
	【③管理棟】									
	<撤去>（外部）									
	カッター入れ	モルタル面	m	42.4						
	建具周囲はつり	W50～150程度	m	21.2						
	鋼製/アルミ製建具撤去	片開き戸 枠共	m ²	3.2						第建浸-27号代価表の通り
	鋼製/アルミ製建具撤去	両開き戸 枠共	m ²	6.3						第建浸-28号代価表の通り
	<改修>									
	SD-1 スチール製両開き止水ドア	W2,500×H2,500	か所	1						
	SD-2 スチール製片開き止水ドア	W800×H2,000	か所	1						
	SD-3 スチール製片開き止水ドア	W800×H2,000	か所	1						
	シーリング	建具周囲 MS-2 10×10	m	42.4						
	建具周囲防水モルタル充填	外部建具	m	21.2						
	【④沈降槽】									
	<撤去>（外部）									
	カッター入れ	モルタル面	m	11.2						
	建具周囲はつり	W50～150程度	m	5.6						
	鋼製/アルミ製建具撤去	片開き戸 枠共	m ²	1.6						第建浸-27号代価表の通り

建具改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 4 号

(3/5)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	<改修>									
	SD-1 スチール製片開き止水ドア	W800×H2,000	か所	1						
	シーリング	建具周囲 MS-2 10×10	m	11.2						
	建具周囲防水モルタル充填	外部建具	m	5.6						
	【⑤2系配水ポンプ室】									
	<撤去>（外部）									
	カッター入れ	モルタル面	m	11.6						
	建具周囲はつり	W50～150程度	m	5.8						
	鋼製/アルミ製建具撤去	片開き戸 枠共	m ²	1.8						第建浸-27号代価表の通り
	<改修>									
	SD-1 スチール製片開き止水ドア	W900×H2,000	か所	1						
	シーリング	建具周囲 MS-2 10×10	m	11.6						
	建具周囲防水モルタル充填	外部建具	m	5.8						
	【⑥着水井】									
	<撤去>（外部）									
	カッター入れ	モルタル面	m	37.2						
	建具周囲はつり	W50～150程度	m	18.6						
	鋼製/アルミ製建具撤去	片開き戸 枠共	m ²	3.2						第建浸-27号代価表の通り
	鋼製/アルミ製建具撤去	両開き戸 枠共	m ²	3.6						第建浸-28号代価表の通り

建具改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 4 号

(4/5)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	<撤去>（内部）									
	カッター入れ	モルタル面	m	9.6						
	建具周囲はつり	W50～150程度	m	4.8						
	鋼製/アルミ製建具撤去	片開き戸 枠共	m ²	1.3						第建浸-27号代価表の通り
	<改修>									
	SD-1 スチール製両開き止水ドア	W1,800×H2,000	か所	1						
	SD-2 スチール製片開き止水ドア	W900×H2,000	か所	1						
	SD-3 スチール製片開き止水ドア	W800×H1,600	か所	1						
	SD-4 スチール製片開き止水ドア	W800×H1,800	か所	1						
	シーリング	建具周囲 MS-2 10×10	m	46.8						
	建具周囲防水モルタル充填	外部建具	m	18.6						
	建具周囲モルタル充填	内部建具	m	4.8						
	【⑦次亜室】									
	<撤去>（外部）									
	カッター入れ	モルタル面	m	15.0						
	建具周囲はつり	W50～150程度	m	7.5						
	鋼製/アルミ製建具撤去	両開き戸 枠共	m ²	3.5						第建浸-28号代価表の通り
	<改修>									
	SD-1 スチール製両開き止水ドア	W1,750×H2,000	か所	1						

建具改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 4 号

(5/5)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	シーリング	建具周囲 MS-2 10×10	m	15.0						
	建具周囲防水モルタル充填	外部建具	m	7.5						
	【⑧1系混和池】									
	<撤去>（外部）									
	カッター入れ	モルタル面	m	11.5						
	建具周囲はつり	W50～150程度	m	5.7						
	鋼製/アルミ製建具撤去	片開き戸 枠共	m ²	1.3						第建浸-27号代価表の通り
	AG-1 アルミ製ガラス取外し	W200×H170 枠共 再利用のため保管	か所	1						第建浸-29号代価表の通り
	<改修>									
	SD-1 スチール製片開き止水ドア	W700×H1,800	か所	1						
	AG-1 アルミ製ガラス再取付	W200×H170 枠共 既存再利用	か所	1						第建浸-30号代価表の通り
	シーリング	建具周囲 MS-2 10×10	m	11.5						
	建具周囲防水モルタル充填	外部建具	m	5.7						
合計										

内装改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 5 号

(1/4)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	(向町浄水場)									
	【①排水受水室】									
	<改修>（内部）									
	床 モルタル塗り	t30 直仕上げ/塗床下地	m ²	0.3						第建浸-16号代価表の通り
	壁 複層塗材RE	ゆず肌状 水系 アクリル つやあり モルタル補修、下地調整共	m ²	0.7						第建浸-18号代価表の通り
	【②1系配水ポンプ室】									
	<改修>（内部）									
	床 モルタル塗り	t30 直仕上げ/塗床下地	m ²	0.3						第建浸-16号代価表の通り
	エポキシ樹脂塗床	薄膜流し展べ仕上げ 平滑	m ²	0.3						
	壁 複層塗材RE	ゆず肌状 水系 アクリル つやあり モルタル補修、下地調整共	m ²	0.4						第建浸-18号代価表の通り
	【③管理棟】									
	<撤去>（内部）									
	壁 タイル撤去	下地モルタル共 集積共	m ²	0.2						
	壁 ガラスウールボード	t25 既存再利用のため保管	m ²	4.8						第建浸-31号代価表の通り
	壁 ロックウール取外し	t50 既存再利用のため保管	m ²	3.3						第建浸-31号代価表の通り
	<改修>（内部）									
	床 磁器質タイル	100角	m ²	0.1						
	床 モルタル塗り	t37 タイル下地	m ²	0.1						
	床 モルタル塗り	t30 直仕上げ	m ²	0.3						第建浸-16号代価表の通り

内装改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 5 号

(2/4)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	床 モルタル塗り	t30 塗床下地	m ²	0.1						第建浸-16号代価表の通り
	床 エポキシ樹脂塗床	薄膜流し展べ仕上げ 平滑	m ²	0.1						
	巾木 モルタル塗り	t20	m ²	0.2						
	巾木 エポキシ樹脂塗床	樹脂モルタル仕上げ 平滑	m ²	0.1						
	巾木 磁器質タイル	100角	m ²	0.2						
	巾木 モルタル塗り	t15 内壁ユニットタイル下地	m ²	0.2						
	壁 ガラスウールボード再取付	t25 既存再利用	m ²	4.8						第建浸-32号代価表の通り
	壁 ロックウール再取付	t50 既存再利用	m ²	3.3						第建浸-32号代価表の通り
	【④沈降槽】									
	<改修>（内部）									
	床 モルタル塗り	t30 塗床下地	m ²	0.1						第建浸-16号代価表の通り
	床 エポキシ樹脂塗床	薄膜流し展べ仕上げ 平滑	m ²	0.1						
	壁 複層塗材RE	ゆず肌状 水系 アクリル つやあり モルタル補修、下地調整共	m ²	0.3						第建浸-18号代価表の通り
	【⑤2系配水ポンプ室】									
	<撤去>（内部）									
	壁 石綿吸音板取外し	t6 既存再利用のため保管	m ²	3.1						第建浸-33号代価表の通り
	<改修>（内部）									
	床 モルタル塗り	t30 直仕上げ	m ²	0.1						第建浸-16号代価表の通り
	巾木 モルタル塗り	t20	m ²	0.1						

内装改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 5 号

(3/4)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	壁 石綿吸音板再取付	t6 既存再利用	m ²	3.1						第建浸-34号代価表の通り
	【⑥着水井】									
	<改修>（内部）									
	床 モルタル塗り	t30 直仕上げ	m ²	0.2						第建浸-16号代価表の通り
	壁 モルタル塗り	t20	m ²	1.4						
	【⑦次亜室】									
	<撤去>（内部）									
	壁 フレキシブルボード取外し	t10 既存再利用のため保管	m ²	3.2						第建浸-33号代価表の通り
	<改修>（内部）									
	床 モルタル塗り	t30 塗床下地	m ²	0.2						第建浸-16号代価表の通り
	床 ビニルエステル樹脂塗床		m ²	0.2						
	巾木 モルタル塗り	t20	m ²	0.2						
	巾木 ビニルエステル樹脂塗床		m ²	0.2						
	壁 フレキシブルボード再取付	t10 既存再利用	m ²	3.2						第建浸-34号代価表の通り
	【⑧1系混和池】									
	<改修>（内部）									
	床 モルタル塗り	t30 直仕上げ	m ²	0.1						第建浸-16号代価表の通り
	壁 防水形外装薄塗材E	ゆず肌状 モルタル補修、下地調整共	m ²	0.5						第建浸-20号代価表の通り

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

塗装改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 6 号

(1/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	(向町浄水場)									
	【①県水受水室】									
	<改修>（外部）									
	DP塗り	鋼製建具面 1級 新規面 錆止共	m ²	17.6						第建浸-35号代価表の通り
	【②1系配水ポンプ室】									
	<改修>（外部）									
	DP塗り	鋼製建具面 1級 新規面 錆止共	m ²	13.0						第建浸-35号代価表の通り
	【③管理棟】									
	<改修>（外部）									
	DP塗り	鋼製建具面 1級 新規面 錆止共	m ²	25.5						第建浸-35号代価表の通り
	【④沈降槽】									
	<改修>（外部）									
	DP塗り	鋼製建具面 1級 新規面 錆止共	m ²	4.6						第建浸-35号代価表の通り
	【⑤2系配水ポンプ室】									
	<改修>（外部）									
	DP塗り	鋼製建具面 1級 新規面 錆止共	m ²	5.2						第建浸-35号代価表の通り
	【⑥着水井】									
	<改修>（外部）									
	DP塗り	鋼製建具面 1級 新規面 錆止共	m ²	18.8						第建浸-35号代価表の通り

塗装改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 6 号

(2/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	<改修>（内部）									
	EP塗り	モルタル面 一般 素地ごしらえB種共	m ²	1.4						
	SOP塗り	鋼製建具面 新規面 錆止共	m ²	3.7						第建浸-36号代価表の通り
	【⑦次亜室】									
	<改修>（外部）									
	DP塗り	鋼製建具面 1級 新規面 錆止共	m ²	9.1						第建浸-35号代価表の通り
	【⑧1系混和池】									
	<改修>（外部）									
	DP塗り	鋼製建具面 1級 新規面 錆止共	m ²	3.7						第建浸-35号代価表の通り
合計										

環境配慮改修

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 7 号
(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	(向町浄水場)									
	【共通】									
	アスベスト含有調査	定性分析	検体	35						
合計										

発生材処分

建築改修（浸水対策）工事内訳明細書

第 8 号
(1/1)

[illegible]

建 築 電 気 （ 浸 水 対 策 ） 工 事 費 内 訳 表

工 種	種 類	細 別	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単価	金額	数量	単価	金額	
本工事費										
	1 建築電気設備改修工事		式	1						第1号 建築電気（浸水対策）工事費内訳明細書の通り
直接工事費計										

建築電気（浸水対策）工事費内訳明細書

建築電気設備改修工事

建築電気（浸水対策）工事費内訳明細書

第 1 号

(1/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
[材工共]	電動機接続材	F2・24#(WP)	ヶ所	3						
	電線管	厚鋼電線管（露出配管） G22	m	1.0						
	電線管	金属製可とう電線管 24mm（被覆あり）	m	6.0						配線複合(建築電気 浸水対策)C-3の通り
	エコケーブル	管内 EM-CE5.5sq-4C	m	4.0						
	エコケーブル	管内 EM-CE3.5sq-4C	m	2.0						
	エコケーブル	管内 EM-CE3.5sq-3C	m	1.0						
	空調機結線	7.5kW以下	ヶ所	3.0						配線複合(建築電気 浸水対策)C-1の通り
	プルボックス	ステンレス製（防水型・端子付） 150×150×100	個	1.0						配線複合(建築電気 浸水対策)C-7の通り
	防水シール処理	既存・新設プルボックス	ヶ所	4.0						配線複合(建築電気 浸水対策)C-9の通り
	貫通部浸水対策・止水処理	既存プルボックス	か所	3.0						
	防水コンセント	抜止め、接地端子付 2P15A×2	個	1.0						配線複合(建築電気 浸水対策)C-5の通り
[労務費]	取外し再取付 照明器具	ブラケットライト	台	1.0						配線複合（建築電気 浸水対策 撤去）C-31の通り
	取外し再取付 防水スイッチ	1P15A×1	個	1.0						配線複合（建築電気 浸水対策 撤去）C-32の通り
	撤去費 電線管	厚鋼電線管 G22	m	1.0						配線複合（建築電気 浸水対策 撤去）C-45の通り
	撤去費 電線管	金属製可とう電線管 24mm（被覆あり）	m	4.0						配線複合（建築電気 浸水対策 撤去）C-46の通り
	撤去費 電線	管内 IV5.5sq	m	3.0						配線複合（建築電気 浸水対策 撤去）C-41の通り
	撤去費 電線	管内 IV2.0sq	m	2.0						配線複合（建築電気 浸水対策 撤去）C-42の通り
	撤去費 ケーブル	管内 CV5.5sq-3C	m	3.0						配線複合（建築電気 浸水対策 撤去）C-43の通り
	撤去費 ケーブル	管内 CV3.5sq-3C	m	2.0						配線複合（建築電気 浸水対策 撤去）C-44の通り

行田市水道事業

建築電気設備改修工事

建築電気（浸水対策）工事費内訳明細書

第 1 号
(2/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	撤去費 防水コンセント	抜止め、接地端子付 2P15A×2	個	1.0						配線複合（建築電気 浸水対策 撤去）C-47の通り
合計										

建 築 機 械 （ 浸 水 対 策 ） 工 事 費 内 訳 表

工 種	種 類	細 別	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単価	金額	数量	単価	金額	
本工事費										
1	空調設備工事		式	1						第1号 建築機械（浸水対策）工事費内訳明細書の通り
2	換気設備工事		式	1						第2号 建築機械（浸水対策）工事費内訳明細書の通り
3	衛生設備工事		式	1		()				第3号 建築機械（浸水対策）工事費内訳明細書の通り
4	収集運搬費		式	1						第4号 建築機械（浸水対策）工事費内訳明細書の通り
5	発生材処分		式	1						第5号 建築機械（浸水対策）工事費内訳明細書の通り
直接工事費計						()				

建築機械（浸水対策）工事費内訳明細書

空調設備工事

建築機械（浸水対策）工事費内訳明細書

第 1 号
(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	高置台	SUS製	組	3						
	転倒防止金具	SUS製	組	3						
[材工共]	被覆冷媒管	9.5/15.9	m	2.0						第建機浸-1号代価表の通り
	被覆冷媒管	12.7/25.4	m	6.0						第建機浸-2号代価表の通り
	ドレン管	屋外配管 VP20	m	8.0						配管複合(建築機械 浸水対策)H-5の通り
	空調設備	保温工事	式	1						第建機浸-3号代価表の通り
	空調設備	配線工事	式	1						第建機浸-4号代価表の通り
[労務]	機器取付費		式	1						据付代価表（建築機械 浸水対策）第1号の通り
	空調設備	撤去費	式	1						第建機浸-5号代価表の通り
合計										

換気設備工事

建築機械（浸水対策）工事費内訳明細書

第 2 号
(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
[材工共]	バンドキャップ	SUS製 150φ	個	3.0						一般複合(建築機械 浸水対策)P-1の通り
	給気口	150φ	個	3.0						一般複合(建築機械 浸水対策)P-2の通り
	ダクトキャップ	150φ	個	6.0						一般複合(建築機械 浸水対策)P-3の通り
	換気設備	はつり工事	式	1						第建機浸-6号代価表の通り
[労務]	換気設備	撤去費	式	1						第建機浸-7号代価表の通り
合計										

衛生設備工事

建築機械（浸水対策）工事費内訳明細書

第 3 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
[材料]	排水管	VP 50A	m	2.0	()	()				配管複合(建築機械 浸水対策)H-14の通り
	逆流防止弁	50A	個	4	()	()				配管複合(建築機械 浸水対策)H-15の通り
	逆流防止弁	75A	個	6	()	()				配管複合(建築機械 浸水対策)H-16の通り
合計						()				

行田市水道事業

収集運搬費

建築機械（浸水対策）工事費内訳明細書

第 4 号
(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
[労 務]	収集運搬費	2tダンプ	台							
合計										

発生材処分

建築機械（浸水対策）工事費内訳明細書

第 5 号
(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
[労 務]	発生材処分費	金属くず	m3	1.0						
	発生材処分費	廃プラスチック類	m3	0.1						
合計										

建 築 改 修 （ 2 系 配 水 ポ ン プ 室 解 体 改 修 ） 工 事 費 内 訳 表

工 種	種 類	細 別	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単価	金額	数量	単価	金額	
本工事費										
1	直接仮設		式	1						第1号 建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書の通り
2	防水改修		式	1						第2号 建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書の通り
3	外壁改修		式	1						第3号 建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書の通り
4	建具改修		式	1						第4号 建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書の通り
5	内装改修		式	1						第5号 建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書の通り
6	鉄骨工事		式	1						第6号 建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書の通り
7	発生材処分		式	1						第7号 建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書の通り
直接工事費計										

建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書

直接仮設

建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書

第 1 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	(向町浄水場)									
	【2系配水ポンプ室】									
	墨出し	折板撤去新設改修	m ²	25.5						第建ボ-1号代価表の通り
	墨出し	外壁改修	m ²	6.8						第建ボ-2号代価表の通り
	墨出し	内部 複合改修	m ²	50.0						第建ボ-3号代価表の通り
	養生	折板撤去新設改修	m ²	25.5						第建ボ-4号代価表の通り
	養生	外壁改修	m ²	7.2						第建ボ-5号代価表の通り
	養生	内部 複合改修	m ²	50.0						第建ボ-6号代価表の通り
	整理清掃後片付け	折板撤去新設改修	m ²	25.5						第建ボ-7号代価表の通り
	整理清掃後片付け	外壁改修	m ²	7.2						第建ボ-8号代価表の通り
	整理清掃後片付け	内部 複合改修	m ²	50.0						第建ボ-9号代価表の通り
	外部枠組本足場	手すり先行方式 W600 H12m未満 3ヶ月 運搬共	m ²	2.0						
	安全手すり	枠組本足場(手すり先行方式)用 3ヶ月 運搬共	m	17.6						
	内部仕上足場	ローリング足場 1段 3ヶ月 運搬共	台	2						
	養生メッシュシート	防災Ⅰ類 3ヶ月 運搬共	m ²	87.1						
合計										

行 田 市 水 道 事 業

防水改修

建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書

第 2 号
(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	(向町浄水場)									
	【2系配水ポンプ室】									
	<改修>（外部）									
	外壁 アクリロム系塗膜防水	ALC面	m ²	2.5						
	外壁 アクリロム系塗膜防水	コンクリート面	m ²	0.2						
	シーリング	MS-2 10×10	m	10.3						
	シーリング	PU-2 10×10	m	11.0						
合計										

外壁改修

建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書

第 3 号

(1/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	(向町浄水場)									
	【2系配水ポンプ室】									
	<撤去>									
	屋根 折板撤去	カラー鋼板 t0.8 H175程度 集積共	m ²	25.5						
	屋根 タイトフレーム撤去	集積共	m	7.5						
	屋根 妻側タイトフレーム撤去	集積共	か所	11						
	屋根 棟包み・止面戸・エポキシ撤去	集積共	m	2.5						
	屋根 軒先見切面戸撤去	集積共	m	2.5						
	屋根 妻側取合水切撤去	集積共	m	10.2						
	外壁 ALC板撤去	t50 集積共	m ²	5.6						第建ボ-10号代価表の通り
	外壁 ALC板下地鉄骨撤去	集積共	kg	67.0						第建ボ-11号代価表の通り
	<改修>									
	屋根 折板	カラーガルバリウム鋼板 t0.8 H175	m ²	25.5						
	屋根 断熱材裏貼り	折板面	m ²	25.5						
	屋根 タイトフレーム	ボルト共	m	7.5						
	屋根 妻側タイトフレーム		か所	11						
	屋根 軒先見切面戸	屋根同材	m	2.5						
	屋根 棟包み	屋根同材	m	2.5						
	屋根 止面戸	屋根同材	m	5.0						

外壁改修

建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書

第 3 号

(2/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	屋根 エプソン	屋根同材	m	5.0						
	屋根 妻側取合水切	立上り水切 屋根同材	m	10.2						
	屋根 妻側既存取合カバー	屋根同材	m	10.2						
	屋根 既存取合補強 妻側タイフレーム		か所	22						
	外壁 ALC板	t50	m ²	6.8						
	外壁 外装薄塗材E	ALC面 砂壁状 下地調整共	m ²	4.3						第建ボ-12号代価表の通り
	外部立上新設	RC立上 W120×L900×H200	か所	1						第建ボ-15号代価表の通り
	コンクリート直均し仕上げ	W120	m	0.9						
合計										

建具改修

建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書

第 4 号
(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	(向町浄水場)									
	【2系配水ポンプ室】									
	<撤去>（外部）									
	建具周囲はつり	W120程度	m	0.8						
	鋼製建具撤去	片開き戸 枠共 集積共	m ²	1.3						第建ボ-16号代価表の通り
合計										

内装改修

建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書

第 5 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	(向町浄水場)									
	【2系配水ポンプ室】									
	<撤去>									
	カッター入れ	コンクリート面	m	20.2						
	鉄筋コンクリート撤去	集積共	m3	4.6						
	鋼製手摺撤去	H1100程度 集積共	m	2.2						第建ボ-17号代価表の通り
	鋼製スゲーシ撤去	700×500程度 集積共	か所	1.0						第建ボ-18号代価表の通り
	固定ハコ撤去	H2450程度 鋼製スゲーシ 共 集積共	か所	1.0						第建ボ-19号代価表の通り
	<改修>									
	撤去跡モルタル塗り	t20 床・壁面	m ²	2.7						
合計										

鉄骨工事

建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書

第 6 号

(1/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	(向町浄水場)									
	【2系配水ポンプ室】									
	<屋根継目下地・外壁胴縁>									
	H形鋼	SS400 H-100×100×6×8	t	0.3						
	等辺山形鋼	SS400 H-65×65×6	t	0.02						
	軽量リップ 溝形鋼	SSC400 H-100×50×20×3.2	t	0.1						
	切板鋼板	SS400 PL-6	t	0.03						
	鋼材スクラップ	鉄くずペーパーH2	t	-0.02						
	トルネア形高力ボルト	S10T M16 L35	組	29						
	工場加工組立	屋根継目下地・外壁胴縁 工場溶接・副資材共 現場実測費含む	t	0.5						第建ボ-20号代価表の通り
	工場錆止塗装	鉄鋼面 下地調整共	m ²	21.3						
	現場建て方・取付	屋根継目下地・外壁胴縁 高力ボルト本締共	t	0.5						
	現場溶接	すみ肉6mm換算長	m	10.0						
	場内小運搬費	部分補強鉄骨等	t	0.5						
	鉄骨運搬費		t	0.5						
	アンカーボルト	M12 L300程度	本	2						
	アンカーボルト据付	M12	本	2						
	あと施工アンカー	接着系 M12 下向き打ち	本	2						
	現場錆止塗装	鉄鋼面	m ²	21.3						

行 田 市 水 道 事 業

鉄骨工事

建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書

第 6 号
(2/2)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
合計										

行 田 市 水 道 事 業

発生材処分

建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事内訳明細書

第 7 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	(向町浄水場)									
	【共通】									
	発生材積込	コンクリート類 人力	m3	5.5						
	発生材積込	仕上げ材類 人力	m3	0.4						
	発生材運搬	コンクリート塊(有筋) 10t車 片道概ね25km	台							
	発生材運搬	ガラス・コンクリート・陶磁器くず 4t車 片道概ね25km	台							
	発生材運搬	コンクリート塊(有筋)/金属くず 2t車 片道概ね25km	台							
	発生材処分	コンクリート塊(有筋)	t	10.8						
	発生材処分	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	m3	0.9						
	発生材処分	金属くず	m3	0.4						
合計										

スクラップ控除内訳表

工 種	種 類	細 別	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単価	金額	数量	単価	金額	
本工事費										
	1 スクラップ控除	電気設備工事	式	1						第1号 スクラップ控除内訳明細書の通り
	2 スクラップ控除	2系配水ポンプ室配管更新工事	式	1						第2号 スクラップ控除内訳明細書の通り
	3 スクラップ控除	建築改修（浸水対策）工事	式	1						第3号 スクラップ控除内訳明細書の通り
	4 スクラップ控除	建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事	式	1						第4号 スクラップ控除内訳明細書の通り
直接工事費計										

スクラップ控除内訳明細書

スクラップ控除										
電気設備工事			スクラップ控除内訳明細書						第 1 号	
									(1/1)	
工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	スクラップ控除	1号銅線	kg	-1,353.0						
	スクラップ控除	2号銅線	kg	-136.0						
	スクラップ控除	ヘビーH2	kg	-48,576.0						
合計										

スクラップ控除

2系配水ポンプ室配管更新工事

スクラップ控除内訳明細書

第 2 号

(1/1)

[illegible]

スクラップ控除

建築改修（浸水対策）工事

スクラップ控除内訳明細書

第 3 号

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	有価物売却費	鉄くず へび-H4	t	-0.9						
	有価物売却費	アルミ込ガラ	kg	-196.0						
合計										

行 田 市 水 道 事 業

スクラップ控除

スクラップ控除内訳明細書

第 4 号

建築改修（2系配水ポンプ室解体改修）工事

(1/1)

工 種	名 称	形状・寸法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	
	有価物売却費	鉄くず へび-H2	kg	-68.0						
	有価物売却費	鉄くず へび-H4	kg	-46.0						
合計										

代 価 表 単 価 一 覧 表 (電 気 設 備)
施 工 パ ッ ケ ー ジ (電 気 設 備)

[illegible]

一位代価表（電気設備）

舗装版直接掘削・積込 100 m² 当 り 一 位 代 価 表 第 1 号 BH山積0.28m3 舗装厚10cm以下							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
舗装版直接掘削・積込							
	土木一般世話役			人			
	普通作業員			人			
	バックホウ運転	BH山積0.28m3		時間			第電-10号代価表の通り
	諸雑費		1.00	式			
計			100	m ²			
単位当り			1	m ²			

バックホウ掘削積込工
BH山積0.28m3

100 m3

当 り 一 位 代 価 表

第 2 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
掘削積込							
	土木一般世話役			人			
	普通作業員			人			
	バックホウ運転	BH山積0.28m3		時間			第電-10号代価表の通り
	諸雑費		1.00	式			
計			100	m3			
単位当り			1	m3			

機械埋戻工 100 m3 当 り 一 位 代 価 表 第 3 号							
BH山積0.28m3 埋め戻し用砂							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
埋戻							
	土木一般世話役			人			
	普通作業員			人			
	バックホウ運転	BH山積0.28m3		時間			第電-10号代価表の通り
	タンパ運転	60～80kg		日			第電-11号代価表の通り
	砂	埋め戻し用	126.00	m3			
	諸雑費		1.00	式			
計			100	m3			
単位当り			1	m3			

機械埋戻工

100 m3

当 り 一 位 代 価 表

第 4 号

BH山積0.28m3 発生土

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
埋戻							
	土木一般世話役			人			
	普通作業員			人			
	バックホウ運転	BH山積0.28m3		時間			第電-10号代価表の通り
	タンパ運転	60～80kg		日			第電-11号代価表の通り
	諸雑費		1.00	式			
計			100	m3			
単位当り			1	m3			

路盤工

100 m² 当り一位代価表

第 5 号

下層路盤 t=150 RC-40

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
下層路盤							
	普通作業員			人			
	再生クラッシャーラン	RC-40		m ³			
	タンバ運転	60～80kg		日			第電-17号代価表の通り
	諸雑費		1.00	式			
計			100	m ²			
単位当り			1	m ²			

路盤工

100 m²

当り一位代価表

第 6 号

上層路盤 t=100 RM-40

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
上層路盤							
	普通作業員			人			
	再生粒度調整碎石	RM-40	12.70	m ³			
	タンバ運転	60～80kg		日			第電-17号代価表の通り
	諸雑費		1.00	式			
計			100	m ²			
単位当り			1	m ²			

発生土運搬工 10 m3 当 り 一 位 代 価 表 第 7 号							
DID:あり 20.0km以下 DT:4t							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
発生土運搬							
	ダンプトラック運転	4 t 積		日			第電-12号代価表の通り
	建設発生土受入費	(第1～第3種建設発生土) 地山	10.00	m3			
	諸雑費		1.00	式			
計							
			10	m3			
単位当り							
			1	m3			

アスファルト塊運搬工

10 m3

当 り 一 位 代 価 表

第 8 号

DID:あり 20.0km以下 DT:4t 山積0.28m3

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
発生土運搬							
	ダンプトラック運転	4 t 積		日			第電-12号代価表の通り
	廃材持込料	行田県土 As廃材	23.50	t			
	諸雑費		1.00	式			
計							
			10	m3			
単位当り							
			1	m3			

行 田 市 水 道 事 業

アスファルト舗装工（人力施工） t=50mm 車道及び路肩							
100 m ²				当 り 一 位 代 価 表		第 9 号	
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	土木一般世話役			人			
	特殊作業員			人			
	普通作業員			人			
	再生アスファルト混合物	再生密粒度AS混合物(20)	12.57	t			
	アスファルト乳剤	PK-3, フライムコート	126.00	リットル			
	振動ローラ運転	0.5t～0.6t		日			第電-13号代価表の通り
	振動コンパクタ運転	40～60kg		日			第電-14号代価表の通り
	諸雑費		1	式			
計							
			100	m ²			
単位当り							
			1	m ²			

バックホウ運転							
BH山積0.28m3							
1時間 当り一位代価表							
第10号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
バックホウ運転							
	特殊運転手			人			
	軽 油	1.2号		リットル			
	バックホウ損料	排対型1 クローラ, 山積0.28m3		h			
	諸雑費		1.00	式			
計							
			1	時間			

タンパ運転 60～80kg 1 日 当 り 一 位 代 価 表 第 11 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
タンパ運転							
	特殊作業員			人			
	ガソリン	レギュラー		リットル			
	タンパ賃料	自重60～80Kg		日			
	諸雑費		1.00	式			
計							
			1	日			

ダンプトラック運転 4 t 積 1 日 当 り 一 位 代 価 表 第 12 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運転							
	一般運転手			人			
	軽 油	1.2号		リットル			
	ダンプトラック損料	4t積		供用日			
	ダンプタイヤ損耗費	4t積,良好		供用日			
	諸雑費		1.00	式			
計			1	日			

振動ローラ運転							
0.5t～0.6t							
1 日 当 り 一 位 代 価 表							
第 13 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
振動ローラ運転							
	特殊作業員			人			
	軽 油	1.2号		リットル			
	振動ローラ損料	ハンドガイド, 0.5～0.6t		供用日			
	諸雑費		1.00	式			
計			1	日			

振動コンパクタ運転							
40～60kg							
1 日 当 り 一 位 代 価 表							
第 14 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
振動コンパクタ運転							
	特殊作業員			人			
	ガソリン	レギュラー		リットル			
	振動コンパクタ損料	40～60kg		供用日			
	諸雑費		1.00	式			
計			1	日			

鉄筋工(太径鉄筋含む)[材工共]

1 t

当 り 一 位 代 価 表

第 15 号

SD295A D13 一般構造物 施工規模10t未満

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	鉄筋工(太径鉄筋含む)[材工共]	SD295A D13 一般構造物 施工規模10t未満	1.00	t			
	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295 D13 中口(5tを超え50t以下)	1.03	t			
	諸雑費		1.00	式			
計							
			1	t			

行 田 市 水 道 事 業

コンクリート塊運搬工 10 m3 当 り 一 位 代 価 表 第 16 号 DID:あり 20.0km以下 DT:4t							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
発生土運搬							
	ダンプトラック運転	4 t 積		日			第電-12号代価表の通り
	廃材持込料	行田県土 Co廃材(無筋)	23.50	t			
	諸雑費		1.00	式			
計							
			10	m3			
単位当り							
			1	m3			

タンパ運転 60～80kg 1 日 当 り 一 位 代 価 表 第 17 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
タンパ運転							
	特殊作業員			人			
	ガソリン	レギュラー		リットル			
	タンパ賃料	自重60～80Kg		日			
	諸雑費		1.00	式			
計							
			1	日			

施工パッケージ（電気設備）

型枠

一般型枠, 鉄筋・無筋構造物

施工パッケージ

施工第1号

積算単位： m2

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
埼玉 (K)	機械				
(東京)					
埼玉 (R)	労務	100			
(東京)					
埼玉 (R1)	型わく工	46. 19			
(東京)	型わく工				
埼玉 (R2)	普通作業員	25. 55			
(東京)	普通作業員				
埼玉 (R3)	土木一般世話役	9. 57			
(東京)	土木一般世話役				
埼玉 (Z)	材料				
(東京)					
	*** 単位当り ***				
	積算単価				
	標準単価				

型枠

一般型枠, 鉄筋・無筋構造物

施工パッケージ

施工第1号

積算単位： m2

計 算 式	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
条 件	
1	型枠の種類：一般型枠
2	構造物の種類：鉄筋・無筋構造物
3	
4	
5	
6	
7	
8	

コンクリート

無筋・鉄筋構造物, 人力打設, ★生コンクリート 24-12-25 (20) 【55%以下】, -, 一般養生, -, 有り, -

施工パッケージ

施工第2号

積算単位： m3

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
埼玉 (K)	機械				
(東京)					
埼玉 (R)	労務	36.88			
(東京)					
埼玉 (R1)	普通作業員	21.7			
(東京)	普通作業員				
埼玉 (R2)	特殊作業員	6.72			
(東京)	特殊作業員				
埼玉 (R3)	土木一般世話役	5.98			
(東京)	土木一般世話役				
埼玉 (Z)	材料	63.12			
(東京)					
埼玉 (Z1)	★生コンクリート 21-8-25 (20) 【55%以下】	63.12			
(東京)	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%				
	*** 単位当り ***				
	積算単価				
	標準単価				

コンクリート

施工第2号

無筋・鉄筋構造物, 人力打設, ★生コンクリート 24-12-25 (20) 【55%以下】, -, 一般養生, -, 有り, -

施工パッケージ

積算単位： m3

計 算 式	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
条 件	
1	構造物種別：無筋・鉄筋構造物
2	打設工法：人力打設
3	コンクリート規格：★生コンクリート 24-12-25(20) 【55%以下】
4	設計日打設量：－
5	養生工の種類：一般養生
6	圧送管延長距離区分：－
7	現場内小運搬の有無：有り
8	打設高さ、水平打設距離：－

舗装版切断

施工第3号

アスファルト舗装版, 15cm以下, -, -

施工パッケージ

積算単位： m

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
埼玉 (K)	機械	15.42			
(東京)					
埼玉 (K1)	コンクリートカッタ[バキューム式・湿式] 切削深20cm級 ブレード径φ56cm	10.49			
(東京)	コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級 ブレード径56cm				
埼玉 (R)	労務	57.13			
(東京)					
埼玉 (R1)	特殊作業員	19.6			
(東京)	特殊作業員				
埼玉 (R2)	土木一般世話役	10.55			
(東京)	土木一般世話役				
埼玉 (R3)	普通作業員	8.73			
(東京)	普通作業員				
埼玉 (Z)	材料	27.45			
(東京)					
埼玉 (Z1)	★コンクリートカッタ(ブレード) 径22インチ	23.29			
(東京)	コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ				
埼玉 (Z2)	★ガソリン レギュラー	2.83			
(東京)	ガソリン レギュラー スタンド				

舗装版切断

施工第3号

アスファルト舗装版, 15cm以下, -, -

施工パッケージ

積算単位： m

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
	*** 単位当り ***				
	積算単価				
	標準単価				

舗装版切断

施工第3号

施工パッケージ

アスファルト舗装版, 15cm以下, -, -

積算単位： m

計 算 式	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
条 件	
1	舗装版種別：アスファルト舗装版
2	アスファルト舗装版厚：15cm以下
3	コンクリート舗装版厚：－
4	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の全体厚：－
5	
6	
7	
8	

代 価 表 単 価 一 覧 表 (機 械 (電 気))
 施 工 パ ッ ケ ー ジ 単 価 一 覧 表 (機 械 (電 気))

[illegible]

一位代価表（機械（電気））

不断水仕切弁ボックス設置工
円形4号 内寸600mm

1箇所 当り一位代価表

第 1 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
不断水仕切弁ボックス設置工							
	普通作業員			人			
	無収縮モルタル	鉄蓋用	0.009	m3			
	諸雑費		1.00	式			
計			1	箇所			

バックホウ掘削積込工							
100 m3 当 り 一 位 代 価 表							
BH山積0.45m3							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
バックホウ掘削積込工							
	土木一般世話役			人			
	普通作業員			人			
	バックホウ運転	BH山積0.45m3		時間			
	諸雑費		1.00	式			
計			100	m3			
単位当り			1	m3			

発生土運搬工

10 m3

当 り 一 位 代 価 表

第 3 号

ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.45m3[平積0.35m3] (クレーン付2.9t吊)

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
発生土運搬工							
	ダンプトラック運転	4 t 積		日			第機電-12号代価表の通り
	諸雑費		1.00	式			
計			10	m3			
単位当り			1	m3			

行 田 市 水 道 事 業

舗装版直接掘削積込工(バックホ)

100 m²

当 り 一 位 代 価 表

第 4 号

舗装厚0cm超え10cm以下 バックホ 山積0.45m³[平積0.35m³]

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
舗装版直接掘削積込工(バックホ)							
	土木一般世話役			人			
	普通作業員			人			
	バックホウ運転	BH山積0.45m ³		時間			第機電-11号代価表の通り
	諸雑費		1.00	式			
計			100	m ²			
単位当り			1	m ²			

行 田 市 水 道 事 業

管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ)

100 m3

当 り 一 位 代 価 表

第 5 号

バックホ 山積0.45m3[平積0.35m3] ★砂 埋め戻し用 比率 : 0.33

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ)							
	土木一般世話役			人			
	普通作業員			人			
	バックホウ運転	BH山積0.45m3		時間			第機電-11号代価表の通り
	タンパ運転			日			第機電-13号代価表の通り
	砂	埋め戻し用	133.00	m3			
	諸雑費		1.00	式			
計			100	m3			
単位当り			1	m3			

行 田 市 水 道 事 業

下層路盤工(施工幅1.8m以上) 100 m² 当 り 一 位 代 価 表 第 6 号 1層仕上げ 仕上り厚20cm ★再生クラッシャーラン RC-40							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
下層路盤工(施工幅1.8m以上)							
	普通作業員			人			
	再生クラッシャーラン	RC-40	25.40	m ³			
	振動ローラ運転	搭乗式コンバインド型3～4 t		日			第機電-14号代価表の通り
	タンパ運転			日			第機電-15号代価表の通り
	諸雑費		1.00	式			
計			100	m ²			
単位当り			1	m ²			

上層路盤工(施工幅1.8m以上)

100 m²

当 り 一 位 代 価 表

第 7 号

1層仕上げ 仕上り厚15cm ★再生粒度調整砕石 RM-40

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
上層路盤工(施工幅1.8m以上)							
	普通作業員			人			
	再生粒度調整砕石	RM-40	19.05	m ³			
	振動ローラ運転	搭乗式コンバインド型3～4 t		日			第機電-14号代価表の通り
	タンパ運転			日			第機電-15号代価表の通り
	諸雑費		1.00	式			
計			100	m ²			
単位当り			1	m ²			

行 田 市 水 道 事 業

アスファルト舗装工(人力施工) 100 m ² 当 り 一 位 代 価 表 第 8 号							
車道及び路肩 仕上り厚5cm プライムコート 砂散布あり 再生アスファルト混合物(再生密粒度アスコン(20))							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	土木一般世話役			人			
	特殊作業員			人			
	普通作業員			人			
	再生アスファルト混合物	再生密粒度AS混合物(20)	12.573	t			
	アスファルト乳剤	PK-3, プライムコート	126.00	リットル			
	振動ローラ運転	0.5t～0.6t		日			第機電-16号代価表の通り
	振動コンパクタ運転	40～60kg		日			第機電-17号代価表の通り
	諸雑費	砂散布費含む	1	式			
計							
			100	m ²			
単位当り							
			1	m ²			

土留工 1 式 当 り 一 位 代 価 表 第 10 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土留工							
	軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工)	掘削深3.0m以下 たて込みﾊﾞｯｸﾌｵﾝ 山積 0.45m3〔平積0.35m3〕 引抜きﾊﾞｯｸﾌｵﾝ 山積 0.45m3〔平積0.35m3〕	3.30	m			第機電-18号代価表の通り
	軽量金属製支保材設置・撤去	水圧式ﾊﾟｲﾌﾟ 2段(3.5m以下)	3.30	m			第機電-19号代価表の通り
	軽量鋼矢板賃料	2日 補助工法：無 1回使用	0.991	t			第機電-20号代価表の通り
	支保材賃料	2段 持込み長2m 2日供用	1.00	式			第機電-21号代価表の通り
	諸雑費		1.00	式			
計			1	式			

バックホウ運転							
BH山積0.45m3							
1時間 当り一位代価表							
第 11 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
バックホウ運転							
	特殊運転手			人			
	軽 油	1.2号		リットル			
	バックホウ損料	排対型1 クローラ, 山積0.45m3		h			
	諸雑費		1.00	式			
計							
			1	時間			

ダンプトラック運転 4 t 積 1 日 当 り 一 位 代 価 表 第 12 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運転							
	一般運転手			人			
	軽 油	1.2号		リットル			
	ダンプトラック損料	4t積		供用日			
	ダンプタイヤ損耗費	4t積,良好		供用日			
	諸雑費		1.00	式			
計			1	日			

タンパ運転 1 日 当 り 一 位 代 価 表 第 13 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
タンパ運転							
	特殊作業員			人			
	ガソリン	レギュラー		リットル			
	タンパ 賃料	自重60～80Kg		日			
	諸雑費		1.00	式			
計			1	日			

振動ローラ運転

1 日 当 り 一 位 代 価 表

第 14 号

搭乗式コンバインド型3～4 t

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
振動ローラ運転							
	特殊運転手			人			
	軽 油	1.2号		リットル			
	振動ローラ賃料	コンバインド, 3～4t		日			
	諸雑費		1.00	式			
計			1	日			

行 田 市 水 道 事 業

タンパ運転 1 日 当 り 一 位 代 価 表 第 15 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
タンパ運転							
	特殊作業員			人			
	ガソリン	レギュラー		リットル			
	タンパ賃料	自重60～80Kg		日			
	諸雑費		1.00	式			
計			1	日			

振動ローラ運転							
0.5t～0.6t							
1 日 当 り 一 位 代 価 表							
第 16 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
振動ローラ運転							
	特殊作業員			人			
	軽 油	1.2号		リットル			
	振動ローラ損料	ハンドガイド, 0.5～0.6t		供用日			
	諸雑費		1.00	式			
計			1	日			

振動コンパクタ運転							
40～60kg							
1 日 当 り 一 位 代 価 表							
第 17 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
振動コンパクタ運転							
	特殊作業員			人			
	ガソリン	レギュラー		リットル			
	振動コンパクタ損料	40～60kg		供用日			
	諸雑費		1.00	式			
計			1	日			

軽量金属製支保材設置・撤去

100 m

当 り 一 位 代 価 表

第 19 号

水圧式ハ工サボート 2段(3.5m以下)

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
軽量金属製支保材設置・撤去							
	土木一般世話役			人			
	特殊作業員			人			
	普通作業員			人			
	諸雑費		1.00	式			
計			100	m			
単位当り			1	m			

軽量鋼矢板賃料

1 t

当 り 一 位 代 価 表

第 20 号

2日 補助工法：無 1回使用

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
軽量鋼矢板賃料							
	軽量鋼矢板賃料	90日以内	1.00	t			
	軽量鋼矢板	修理費・損耗費	1.00	t			
	諸雑費		1.00	式			
計			1	t			

支保材賃料

1 式 当 り 一 位 代 価 表

第 21 号

2段 持込み長2m 2日供用

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
支保材賃料							
	水圧ホース	450～650		本・日			
	水圧ホース(基本料)	450～650		本			
	アルミ腹起し	70×115×2m		本・日			
	アルミ腹起し(基本料)	70×115×2m		本			
	水圧ポンプ	15～19L		台・日			
	水圧ポンプ(基本料)	15～19L		台			
	諸雑費		1.00	式			
計			1	式			

施工パッケージ（機械（電気））

基礎砕石工

施工第1号

12.5cmを超え17.5cm以下,再生クラッシャー 40～0

施工パッケージ

積算単位： m²

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
埼玉 (K)	機械	5.27			
(東京)					
埼玉 (K1)	★バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	5.24			
(東京)	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2014年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) (賃料)				
埼玉 (R)	労務	73.08			
(東京)					
埼玉 (R1)	普通作業員	35.03			
(東京)	普通作業員				
埼玉 (R2)	特殊作業員	14.83			
(東京)	特殊作業員				
埼玉 (R3)	運転手(特殊)	13.97			
(東京)	運転手 (特殊)				
埼玉 (R4)	土木一般世話役	8.75			
(東京)	土木一般世話役				
埼玉 (Z)	材料	21.65			
(東京)					
埼玉 (Z1)	★再生クラッシャー RC-40	16.89			
(東京)	再生クラッシャー RC-40				

基礎砕石工

施工第1号

12.5cmを超え17.5cm以下,再生クワッシャー 40～0

施工パッケージ

積算単位： m²

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
埼玉 (Z2) (東京)	★軽油	4.73			
	軽油 パトロール給油				
	*** 単位当り ***				
	積算単価				
	標準単価				

基礎砕石工

施工パッケージ

施工第1号

12.5cmを超え17.5cm以下, 再生クラッシャー 40～0

積算単位： m²

計 算 式	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
条 件	
1	砕石の厚さ：12.5cmを超え17.5cm以下
2	砕石の種類：再生クラッシャー 40～0
3	
4	
5	
6	
7	
8	

基礎コンクリート工

無筋・鉄筋構造物, 人力打設, ★生コンクリート 18-8-25(20) 高炉
【60%以下】, -, 一般養生, -, 無し, -

施工パッケージ

施工第2号

積算単位： m3

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
埼玉 (K)	機械				
(東京)					
埼玉 (R)	労務	29.4			
(東京)					
埼玉 (R1)	普通作業員	13.2			
(東京)	普通作業員				
埼玉 (R2)	特殊作業員	7.51			
(東京)	特殊作業員				
埼玉 (R3)	土木一般世話役	6.69			
(東京)	土木一般世話役				
埼玉 (Z)	材料	70.6			
(東京)					
埼玉 (Z1)	★生コンクリート 18-8-25(20) 高炉 【60%以下】	70.6			
(東京)	生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%				
	*** 単位当り ***				
	積算単価				
	標準単価				

基礎コンクリート工

施工第2号

無筋・鉄筋構造物, 人力打設, ★生コンクリート 18-8-25(20) 高炉
【60%以下】, -, 一般養生, -, 無し, -

施工パッケージ

積算単位： m3

計 算 式	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
条 件	
1	構造物種別： 無筋・鉄筋構造物
2	打設工法： 人力打設
3	コンクリート規格： ★生コンクリート 18-8-25(20) 高炉 【60%以下】
4	設計日打設量： -
5	養生工の種類： 一般養生
6	圧送管延長距離区分： -
7	現場内小運搬の有無： 無し
8	打設高さ、水平打設距離： -

舗装版切断

施工第3号

アスファルト舗装版, 15cm以下, -, -

施工パッケージ

積算単位： m

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
埼玉 (K)	機械	15.42			
(東京)					
埼玉 (K1)	コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49			
(東京)	コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深20cm級 ブレード径φ56cm				
埼玉 (R)	労務	57.13			
(東京)					
埼玉 (R1)	特殊作業員	19.6			
(東京)	特殊作業員				
埼玉 (R2)	土木一般世話役	10.55			
(東京)	土木一般世話役				
埼玉 (R3)	普通作業員	8.73			
(東京)	普通作業員				
埼玉 (Z)	材料	27.45			
(東京)					
埼玉 (Z1)	★コンクリートカッタ(ブレード) 径18インチ	23.29			
(東京)	コンクリートカッタ (ブレード) 径18インチ				
埼玉 (Z2)	★ガソリン レギュラー	2.83			
(東京)	ガソリン レギュラー スタンド				

舗装版切断

施工第3号

アスファルト舗装版, 15cm以下, -, -

施工パッケージ

積算単位： m

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
	*** 単位当り ***				
	積算単価				
	標準単価				

舗装版切斷

施工第3号

アスファルト舗装版, 15cm以下, -, -

施工パッケージ

積算単位： m

計 算 式	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
条 件	
1	舗装版種別：アスファルト舗装版
2	アスファルト舗装版厚：15cm以下
3	コンクリート舗装版厚：－
4	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の全体厚：－
5	
6	
7	
8	

代価表に基づく単価一覧表（建築改修 浸水対策）

NO	名 称	規 格	単位	単 価	摘 要	NO	名 称	規 格	単位	単 価	摘 要
第建設-1	墨出し	建具改修	m ²			第建設-20	壁 防水形外装薄塗材E	ゆず肌状 モルタル補修、下地調整共	m ²		
第建設-2	墨出し	止水板	m ²			第建設-21	壁 複層塗材RE	ゆず肌状 水系 アクリル つやあり コンクリート面 下地調整共	m ²		
第建設-3	養生	防水改修 塗膜防水(外壁)	m ²			第建設-22	外壁モルタル補修	既設給気口 200φ t100程度	か所		
第建設-4	養生	外壁改修(建具)	m ²			第建設-23	コンクリート打設手間	コンクリート立上 人力打設	か所		
第建設-5	養生	止水板	m ²			第建設-24	打放面補修	B種 コーン処理共	m ²		
第建設-6	養生	内部 個別改修(建具)	m ²			第建設-25	コンクリート立上新設	W150×L1525×H850 鉄筋、アンカー共	か所		
第建設-7	整理清掃後片付け	防水改修 塗膜防水(外壁)	m ²			第建設-26	AG1撤去跡穴埋め	コンクリート穴埋め W320×H290 t150程度	か所		
第建設-8	整理清掃後片付け	外壁改修(建具)	m ²			第建設-27	鋼製/アルミ製建具撤去	片開き戸 枠共	m ²		
第建設-9	整理清掃後片付け	止水板	m ²			第建設-28	鋼製/アルミ製建具撤去	両開き戸 枠共	m ²		
第建設-10	整理清掃後片付け	内部 個別改修(建具)	m ²			第建設-29	AG-1 アルミ製カマリ取外し	W200×H170 枠共 再利用のため保管	か所		
第建設-11	トラック運転(仮設)	4t積み	日			第建設-30	AG-1 アルミ製カマリ再取付	W200×H170 枠共 既存再利用	か所		
第建設-12	外部/内部仕上足場(改修)	建具改修廻り 脚立足場 運搬共	m ²			第建設-31	壁 グラスウールボード/ロックウール取外し	t25 既存再利用のため保管	m ²		
第建設-13	仮設間仕切	C種 単管下地 運搬共	m ²			第建設-32	壁 グラスウールボード/ロックウール再取付	t25 既存再利用	m ²		
第建設-14	止水板新設部 床斫り撤去	300×400 t80	か所			第建設-33	壁 石綿吸音板/フレキシブルボード取外し	t6/t10 既存再利用のため保管	m ²		
第建設-15	壁撤去	CB壁 モルタル共 t150程度	m ²			第建設-34	壁 石綿吸音板/フレキシブルボード再取付	t6/t10 既存再利用	m ²		
第建設-16	床 モルタル塗り	t30 直仕上げ/塗床下地	m ²			第建設-35	DP塗り	鋼製建具面 1級 新規面 錆止共	m ²		
第建設-17	床 床斫り撤去跡補修	モルタル塗り 300×400 t80 直仕上げ	か所			第建設-36	SOP塗り	鋼製建具面 新規面 錆止共	m ²		
第建設-18	壁 複層塗材RE	ゆず肌状 水系 アクリル つやあり モルタル補修、下地調整共	m ²			第建設-37					
第建設-19	壁 外装薄塗材E	砂壁状 モルタル補修、下地調整共	m ²			第建設-38					

一位代価表（建築改修 浸水対策）

墨出し 建具改修 1 m² 当り一位代価表 第建浸- 1 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	特殊作業員			人			
	普通作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

墨出し 止水板 1 m² 当 り 一 位 代 価 表 第建浸- 2 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	特殊作業員			人			
	普通作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

養生

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 3 号

防水改修 塗膜防水(外壁)

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	普通作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							

養生

1 m² 当り一位代価表

第建浸- 4 号

外壁改修(建具)

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	普通作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

行田市水道事業

養生
止水板

1 m² 当り一位代価表

第建浸- 5 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	普通作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

養生

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 6 号

内部 個別改修(建具)

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	普通作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

整理清掃後片付け

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 7 号

防水改修 塗膜防水(外壁)

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	軽作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

整理清掃後片付け
外壁改修(建具)

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 8 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	軽作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

整理清掃後片付け
止水板

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 9 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	軽作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

整理清掃後片付け

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 10 号

内部 個別改修(建具)

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	軽作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

トラック運転(仮設) 1 日 当 り 一 位 代 価 表 第建浸- 11 号							
4t積み							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	一般運転手			人			
	燃料	軽油		L			
	機械損料	トラック 4t積		日			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

外部/内部仕上足場(改修)

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 12 号

建具改修廻り 脚立足場 運搬共

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	鋼製脚立	1800級	0.008	脚			
	合板足場板	240×4000	0.008	枚			
	普通作業員			人			
	その他		1.000	式			
	(仮設材運搬)						
	トラック運転(仮設)	4t積み		日			第建浸-11号代価表の通り
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

仮設間仕切 1 m² 当 り 一 位 代 価 表 第建浸- 13 号							
C種 単管下地 運搬共							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	丸パイプ	φ 48.6	0.071	m			
	養生シート		0.088	m ²			
	クランプ	φ 48.6用 直交・自在	0.090	個			
	固定ベース	φ 48.6用	0.012	個			
	とび工			人			
	その他		1.000	式			
	(仮設材運搬)						
	トラック運転(仮設)	4t積み		日			第建浸-11号代価表の通り
計							
改め							

止水板新設部 床研り撤去 300×400 t80 1 か所 当 り 一 位 代 価 表 第建浸- 14 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	コンクリート撤去	集積共	0.0096	m3			
計							
改め							

壁撤去

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 15 号

CB壁 モルタル共 t 150程度

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	コンクリートブロック撤去	集積共	0.150	m3			
計							

行 田 市 水 道 事 業

床 モルタル塗り

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 16 号

t30 直仕上げ/塗床下地

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	床 モルタル塗り	t28 張り物下地	1.000	m ²			
	モルタル塗り材料費	1 : 3	0.002	m3			
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

床研り撤去跡補修

1 か所 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 17 号

モルタル塗り 300×400 t80 直仕上げ

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	床 モルタル塗り	t28 張り物下地	0.120	m ²			
	モルタル塗り材料費	1 : 3	0.00624	m3			
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

壁 外装薄塗材E

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 19 号

砂壁状 モルタル補修、下地調整共

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	壁/巾木 モルタル塗り	t20	1.000	m ²			
	下地調整	モルタル面 合成樹脂エマルジョンシーラー	1.000	m ²			
	外装薄塗材E	砂壁状	1.000	m ²			
計							

行 田 市 水 道 事 業

壁 防水形外装薄塗材E

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 20 号

ゆず肌状 モルタル補修、下地調整共

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	壁/巾木 モルタル塗り	t20	1.000	m ²			
	下地調整	モルタル面 合成樹脂エマルジョンシーラー	1.000	m ²			
	防水形外装薄塗材E	ゆず肌状	1.000	m ²			
計							

行 田 市 水 道 事 業

外壁モルタル補修

1 か所 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 22 号

既設給気口 200φ t100程度

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	無収縮モルタル充填	試験費共 Fc30	0.00314	m ³			
	打放合板型枠	B種 開口閉塞	0.0628	m ²			
	型枠運搬費	4t車	0.0628	m ²			
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

コンクリート打設手間 1 当 り 一 位 代 価 表 第建浸- 23 号 コンクリート立上 人力打設							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	特殊作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

打放面補修 B種 コーン処理共 1 m² 当 り 一 位 代 価 表 第建浸- 24 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	左官			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

コンクリート立上新設

1 か所 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 25 号

W150×L1525×H850 鉄筋、アンカー共

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	目あらし	床	0.230	m ²			
	異形鉄筋	SD295A D13	0.019	t			
	鉄筋スクラップ	鉄くず ヘルメ-H2	-0.001	t			
	鉄筋加工組立	コンクリート立上	0.018	t			
	鉄筋運搬費	4t車	0.018	t			
	差筋アンカー	金属系 D13 下向き打ち	12.000	本			
	普通コンクリート	Fc18N スラブ 18cm	0.194	m ³			
	コンクリート打設手間	コンクリート立上 人力打設	0.194	m ³			第建浸-23号代価表の通り
	打放合板型枠	B種 基礎部	2.700	m ²			
							次頁に続く

行 田 市 水 道 事 業

コンクリート立上新設 1 か所 当 り 一 位 代 価 表 第建浸- 25 号							
W150×L1525×H850 鉄筋、アンカー共							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
							前頁の続き
	型枠運搬費	4t車	2.700	m ²			
	打放面補修	B種 コーン処理共	2.700	m ²			第建浸-24号代価表の通り
計							
改め							

AG1撤去跡穴埋め

1 か所 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 26 号

コンクリート穴埋め W320×H290 t150程度

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	無収縮モルタル充填	試験費共 Fc30	0.01392	m ³			
	打放合板型枠	B種 開口閉塞	0.1856	m ²			
	型枠運搬費	4t車	0.1856	m ²			
計							
改め							

行田市水道事業

鋼製/アルミ製建具撤去
片開き戸 枠共

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 27 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	普通作業員			人			
	サッシ工			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

鋼製/アルミ製建具撤去
両開き戸 枠共

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 28 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	普通作業員			人			
	サッシ工			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

AG-1 アルミ製がリ取外し

1 か所 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 29 号

W200×H170 枠共 再利用のため保管

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	普通作業員			人			
	サッシ工			人			
	その他		1.000	式			
計							

行 田 市 水 道 事 業

AG-1 アルミ製がリ再取付

1 か所 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 30 号

W200×H170 枠共 既存再利用

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	普通作業員			人			
	サッシ工			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

壁 グラスウールボード/ロックウール取外し
t25/t50 既存再利用のため保管

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 31 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	内装工			人			
	普通作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

壁 グラスウールボード/ロックウール再取付 t25/t50 既存再利用 1 m² 当 り 一 位 代 価 表 第建浸- 32 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	セメント		7.000	kg			
	接着剤	断熱材用	0.500	kg			
	内装工			人			
	普通作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

壁 石綿吸音板/フレキシブルボード取外し
t6/t10 既存再利用のため保管

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 33 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	内装工			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

壁 石綿吸音板/フレキシブルボード再取付
t6/t10 既存再利用

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建浸- 34 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	ボードくぎ		0.025	kg			
	内装工			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

鋼製建具面 1級 新規面 錆止共

第建浸- 35 号

行田市水道事業

SOP塗り

1 m² 当り一位代価表

第建浸- 36 号

鋼製建具面 新規面 錆止共

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	錆止塗装	鉄鋼面 A種	1.000	m ²			
	SOP塗り	鉄鋼・めっき鋼・鋼製建具面	1.000	m ²			
計							

行田市水道事業

[illegible]

[illegible]

代価表に基づく単価一覧表（建築機械 浸水対策）

[illegible]

一位代価表(建築機械 浸水対策)

被覆冷媒管 9.5/15.9 1 m 当 り 一 位 代 価 表 第建機浸 1 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	冷媒管	9.5φ 保温厚10mm	1.00	m			配管複合(建築機械 浸水対策) H-1の通り
	冷媒管	15.9φ 保温厚20mm	1.00	m			配管複合(建築機械 浸水対策) H-2の通り
計							

被覆冷媒管

12.7/25.4

1 m

当 り 一 位 代 価 表

第建機浸 2 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	冷媒管	12.7φ 保温厚10mm	1.00	m			配管複合(建築機械 浸水対策) H-3の通り
	冷媒管	25.4φ 保温厚20mm	1.00	m			配管複合(建築機械 浸水対策) H-4の通り
計							

空調設備 保温工事 1 式 当 り 一 位 代 価 表 第建機浸 3 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	保温材（冷媒管）	屋外配管 SUSラッキング GW100A	7.80	m			
計							
改め							

空調設備 配線工事 1 式 当 り 一 位 代 価 表 第建機浸 4 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	空調機結線	7.5 k w以下	3.00	台			配線複合(建築電気 浸水対策) C-1の通り
計							

空調設備 撤去費 1 式 当 り 一 位 代 価 表 第建機浸 5 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	空調機撤去・搬出		1.00	式			搬出撤去代価表(建築機械 浸水対策)No.1の通り
	冷媒管 (撤去)	9.5φ 保温厚10mm	3.00	m			配管複合(建築機械 浸水対策) H-6の通り
	冷媒管 (撤去)	15.9φ 保温厚20mm	3.00	m			配管複合(建築機械 浸水対策) H-7の通り
	冷媒管 (撤去)	12.7φ 保温厚10mm	7.10	m			配管複合(建築機械 浸水対策) H-8の通り
	冷媒管 (撤去)	25.4φ 保温厚20mm	7.10	m			配管複合(建築機械 浸水対策) H-9の通り
	ドレン管 (撤去)	VP 20A 屋外配管	10.10	m			配管複合(建築機械 浸水対策) H-10の通り
	保温材 (撤去)	SUSラッキング 露出 100A	10.10	m			配管複合(建築機械 浸水対策) H-11の通り
計							
改め							

機器搬出費
基準単価

1 式 当 り 一 位 代 価 表

第建機浸 8 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	ラフテレーンクレーン	16t		台・日/t			
	油圧ジャッキ損料	50t		台・日/t			
	コロ	SGP-白100A		m/t			
	道板	松4.0×3.6cm×15cm		m3/t			
	油圧ジャッキ、コロ、 道板の運搬費	トラック普通用2t積		日/t			第建機浸-9号代価表の通り
	とび工			人			
	その他		1	式			
計							
改め							

運搬機械運転 1 日 当 り 一 位 代 価 表 第建機浸 9 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	一般運転手			人			
	燃料	軽油		L			
	機械損料	トラック普通用2t積		日			
	その他		1	式			
計							
改め							

[illegible]

[illegible]

据付代価表(建築機械 浸水対策)

[illegible]

搬出撤去代価表(建築機械 浸水対策)

[illegible]

代価表に基づく単価一覧表（建築改修 ポンプ室解体）

NO	名 称	規 格	単位	単 価	摘 要	NO	名 称	規 格	単位	単 価	摘 要
第建ボ-1	墨出し	折板撤去新設改修	m ²			第建ボ-20	工場加工組立	屋根継目下地・外壁胴縁 工場溶接・副資材共 現場実測費含む	t		
第建ボ-2	墨出し	外壁改修	m ²			第建ボ-21					
第建ボ-3	墨出し	内部 複合改修	m ²			第建ボ-22					
第建ボ-4	養生	折板撤去新設改修	m ²			第建ボ-23					
第建ボ-5	養生	外壁改修	m ²			第建ボ-24					
第建ボ-6	養生	内部 複合改修	m ²			第建ボ-25					
第建ボ-7	整理清掃後片付け	折板撤去新設改修	m ²			第建ボ-26					
第建ボ-8	整理清掃後片付け	外壁改修	m ²			第建ボ-27					
第建ボ-9	整理清掃後片付け	内部 複合改修	m ²			第建ボ-28					
第建ボ-10	外壁 ALC板撤去	t50 集積共	m ²			第建ボ-29					
第建ボ-11	外壁 ALC板下地鉄骨撤去	集積共	kg			第建ボ-30					
第建ボ-12	外壁 外装薄塗材E	ALC面 砂壁状 下地調整共	m ²			第建ボ-31					
第建ボ-13	コンクリート打設手間	立上り 人力打設	m ³			第建ボ-32					
第建ボ-14	打放し面補修	B種 コーン処理共	m ²			第建ボ-33					
第建ボ-15	外部立上新設	RC立上 W120×L900×H200	か所			第建ボ-34					
第建ボ-16	鋼製建具撤去	片開き戸 枠共 集積共	m ²			第建ボ-35					
第建ボ-17	鋼製手摺撤去	H1100程度 集積共	m			第建ボ-36					
第建ボ-18	鋼製スレーン [®] 撤去	700×500程度 集積共	か所			第建ボ-37					
第建ボ-19	固定ハシコ [®] 撤去	H2450程度 鋼製スレーン [®] 共 集積共	か所			第建ボ-38					

一位代価表（建築改修 ポンプ室解体）

墨出し 折板撤去新設改修 1 m² 当 り 一 位 代 価 表 第建ボ- 1 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	特殊作業員			人			
	普通作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

墨出し 外壁改修 1 m² 当 り 一 位 代 価 表 第建ポ- 2 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	特殊作業員			人			
	普通作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

墨出し 内部 複合改修 1 m² 当 り 一 位 代 価 表 第建ポ- 3 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	特殊作業員			人			
	普通作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

養生

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建ボ- 4 号

折板撤去新設改修

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	普通作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

養生 1 m² 当り一位代価表 第建ボ- 5 号							
外壁改修							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	普通作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

養生

1 m²

当 り 一 位 代 価 表

第建ボ- 6 号

内部 複合改修

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	普通作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

整理清掃後片付け
折板撤去新設改修

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建ボ- 7 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	軽作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

整理清掃後片付け
外壁改修

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建ボ- 8 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	軽作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

整理清掃後片付け
内部 複合改修

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建ボ- 9 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	軽作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

外壁 ALC板撤去 t50 集積共		1 m ² 当 り 一 位 代 価 表				第建ボ- 10 号	
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	鉄筋コンクリート撤去	集積共	0.050	m3			
計							

外壁 ALC板下地鉄骨撤去
集積共

1 kg 当 り 一 位 代 価 表

第建ボ- 11 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	現場建て方・取付	屋根継目下地・外壁胴縁 高力ボルト本締共	0.001	t			
	場内小運搬費	部分補強鉄骨等	0.001	t			
計							

外壁 外装薄塗材E

1 m² 当 り 一 位 代 価 表

第建ボ- 12 号

ALC面 砂壁状 下地調整共

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	下地調整	ALC面 合成樹脂エマルジョンシーラー	1.000	m ²			
	外装薄塗材E	砂壁状	1.000	m ²			
計							

コンクリート打設手間 立上り 人力打設 1 m3 当り一位代価表 第建ボ- 13 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	特殊作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

打放し面補修 B種 コーン処理共 1 m² 当 り 一 位 代 価 表 第建ボ- 14 号							
工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	左官			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

外部立上新設

1 か所 当 り 一 位 代 価 表

第建ポ- 15 号

RC立上 W120×L900×H200

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	異形鉄筋	SD295A D10	0.500	kg			
	異形鉄筋	SD295A D13	0.900	kg			
	鉄筋加工組立	コンクリート立上	1.400	kg			
	鉄筋運搬費	4t車	1.400	kg			
	差筋アンカー	金属系 D10 下向き打ち	6.000	本			
	普通コンクリート	Fc21+3N スランプ 18cm	0.022	m ³			
	コンクリート打設手間	立上り 人力打設	0.022	m ³			第建ポ-13号代価表の通り
	打放合板型枠	B種 立上	0.360	m ²			
	型枠運搬費	4t車	0.360	m ²			
	次頁に続く						

第建ボ- 15 号

行田市水道事業

鋼製建具撤去

1 m²

当 り 一 位 代 価 表

第建ボ- 16 号

片開き戸 枠共 集積共

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	普通作業員			人			
	サッシ工			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

鋼製手摺撤去

H1100程度 集積共

1 m

当 り 一 位 代 価 表

第建ボ- 17 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	特殊作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

鋼製スレージ撤去

700×500程度 集積共

1 か所 当 り 一 位 代 価 表

第建ポ- 18 号

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	特殊作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

固定ハコ撤去

1 か所 当 り 一 位 代 価 表

第建ポ- 19 号

H2450程度 鋼製スゲーシ共 集積共

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	(上部1.5m)						
	特殊作業員			人			
	(下部0.95m)						
	特殊作業員			人			
	その他		1.000	式			
計							
改め							

行 田 市 水 道 事 業

工場加工組立

1 t

当 り 一 位 代 価 表

第建ホ- 20 号

屋根継目下地・外壁胴縁鉄骨 工場溶接・副資材共 現場実測費含む

工 種	名 称	形 状・寸 法	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	工場加工組立	屋根継目下地・外壁胴縁 工場溶接・副資材共	1.000	t			
	現場実測費	加工図作成含む	1.000	t			
計							

特 記 仕 様 書

1 総 則

(1) 適用範囲

この特記仕様書は、行田市水道事業が発注する下記工事に適用するものとする。

工 事 名：向町浄水場自家発電施設等更新工事

工事場所：行田市向町28番4号

(2) 関係法令等の遵守

受注者は、業務の遂行にあたっては、建設工事請負契約書、建設業法、労働基準法等の関係法令及び条例等を遵守し、安全の確保に努め、工事の円滑な進行を図らなければならない。なお、これらの諸法令の運用適用は、受注者の負担において行う。

(3) 適用規格

この特記仕様書に記載されていない事項については「埼玉県土木工事实務要覧」を準用する。ただし、同要覧に記載のないものについては次の基準を適用する。

日本産業規格（JIS）

電気設備技術基準

内線規程

電気規格調査会標準規格（JEC）

日本電機工業会規格（JEM）

水道工事標準仕様書 設備工事編（日本水道協会）

水道施設耐震工法指針・解説（日本水道協会）

その他関係法令、条令、規格電気関係法規

(4) 工事現場管理

工事現場が隣接又は同一場所において施工する別途工事と競合する場合は、相互に協議して紛争をおこさないように処理しなければならない。

工事現場への一般人及び労務者の出入り、風紀、衛生並びに火災、盗難及びその他の事故防止について受注者は責任をもって十分に管理しなければならない。

(5) 仮設物

受注者は、工事施工に必要な材料置き場等の仮設物を設ける場所は、設置位置概要その他について監督員と協議し承諾を受けなければならない。

(6) 受注者の負担

(ア) 軽易な事項で特記仕様書、設計書及び図面に記載されていなくても施工上欠くことのできない材料、機器類及び作業に要する費用。

(イ) 施工に当り、関係官庁等への手続き・申請を要する場合これを要する書類作成及び以降の費用。

(ウ)軽易な事項で工事上障害になる支障物の除去、及び工事によって発生した不要物件の後片付けに要する費用。

(エ)工事のため、第三者に与えた障害で受注者に責に帰すべきものの賠償に要する費用及び施工のため、既設工作物に与えた損害の復旧作業。

(7) 産業廃棄物の処理について

本工事から発生する産業廃棄物の処理については、廃棄物処理法等関係法令に基づき許可を受けた廃棄物処理場で処理するものとする。なお、処分を証明する下記の資料を提出すること。

(ア)収集運搬、最終処分業の許可証の写し

(イ)産業廃棄物処理契約書の写し

(ウ)産業廃棄物処理証明書 of 写し

(エ)処分数量を確認できる資料の写し。

(8) 中間検査の実施

(ア)受注者は、下記のいずれかに該当する場合は、「行田市中間検査実施基準」に基づき中間検査を受けなければならない。

①構造物に欠陥があることで重大な管理上のかしが予想される、又は手戻りが発生すると事業目的に大きな影響を与える重要構造物で、完成検査時に出来形、品質の確認が著しく困難と予想される工事

②請負金額が1, 0 0 0 万円以上の工事

③工事主管部長が必要と認めた工事

(イ)中間検査の実施時期については、監督員が選定するものとする。

(9) 法定外の労災保険の付保

受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

(10) 労働環境調査

予定価格（消費税等相当額を含む）1, 0 0 0 万円以上の工事は、行田市「労働環境調査モデル工事」試行要領の対象となる。

(11) 週休2日制について

本工事は、行田市建設工事「週休2日制モデル工事」試行要領の対象工事である。

(12) 腸内細菌検査

受注者は、本工事において水道法第21条に基づき、水道水が汚染されるおそれのある作業に従事する者に、当該工事の着手前及び前回の検査から6カ月を経過するごとに赤痢菌、腸チフス菌、パラチフス菌、サルモネラ菌、腸管出血性大腸菌O-157を検査項目とする腸内細菌検査を受検させ、その結果を発注者に遅滞なく報告するものとする。なお、水道水が汚染されるおそれのある作業とは、浄水や処理過程の水に触れる可能性のある作業とする。

2 工 事 1

(1) 工事目的

本工事は、向町浄水場の自家発電施設老朽化に伴い、自家発電施設（1系）の更新及び自家発電施設（2系）の撤去を実施し自家発電施設を1系統に集約し、自家発電施設の正常な運転を行うことを目的とする。

(2) 工事内容

(ア) 自家発電施設（1系）更新工事	1 式
(イ) 自家発電施設（2系）撤去工事	1 式
(ウ) 試運転調整工	1 式
(エ) 収集運搬費	1 式
(オ) 処分費	1 式

(3) 機器仕様

(ア) 非常用発電装置

形式	: 屋内オープン型
数量	: 1 式

① 発電機仕様

型式	: 三相交流発電機
励磁方式	: ブラシレス式
定格出力	: 1 0 0 0 k V A
定格電圧	: 4 2 0 V
力率	: 0. 8 （遅れ）
回転数	: 1 5 0 0 m i n - 1
相数	: 3 相 3 線式
周波数	: 5 0 H z

② 原動機

型式	: ディーゼル機関
出力	: 8 7 0 k W程度
使用燃料	: 軽油
始動方式	: 電気始動
冷却方式	: 冷却水による冷却
回転数	: 1 5 0 0 m i n - 1

③ その他必要なもの 1 式

(イ) 排気消音器

形式	: 屋内天吊り型
数量	: 1 式
性能	: 1 次消音器 + 2 次消音器の出口 1 m にて 5 5 d B

(ウ) 給気設備

形式	: 消音器_屋内床置き型
数量	: 1 式
性能	: 消音器の入口 1 m にて 5 5 d B

付属品 : 給気ファン 3 φ 2 0 0 V 2 . 2 k W × 2 台、防火ダンパ × 2 台、屋外フード (S U S 製)、鋼製架台、その他必要なもの

(エ) 燃料小出槽

形式 : 屋内角型

数量 : 1 台

容量 : 9 5 0 L

油種 : 軽油

付属品 : フロートスイッチ、ウィングポンプ、通気管等の接続口 1 式、返油ポンプ、鋼製架台、その他必要なもの

(オ) 屋外燃料タンク

形式 : 屋内円筒型

数量 : 1 台

容量 : 1 5 , 0 0 0 L

油種 : 軽油

付属品 : 液位計、給油等の接続口 1 式、燃料移送ポンプ × 2 台、梯子、油水分離槽、その他必要なもの

(カ) 冷却水槽

形式 : 屋内角型

数量 : 1 台

容量 : 2 , 0 0 0 L

油種 : 軽油

付属品 : 水位計、ボールタップ、点検口、架台、梯子、電極、給水等の接続口 1 式、その他必要なもの

(キ) 発電機盤

形式 : 鋼板製屋内自立形

数量 : 1 面

寸法 : 設計図面を参照し、承諾図により決定する

設置場所 : 向町浄水場 発電機室

盤面取付器具	・ 名称銘版	1 式
	・ 電圧計	1 個
	・ 同上用切換スイッチ	1 個
	・ 電流計	1 個
	・ 同上用切換スイッチ	1 個
	・ 周波数計	1 個
	・ 電力計	1 個
	・ 電力量計	1 個
	・ 運転時間計	1 個
	・ 過電流継電器	1 個
	・ 不足電圧継電器	1 個
	・ 過電圧継電器	1 個
	・ 地絡過電流継電器	1 個
	・ 操作スイッチ	1 個

	・ 状態表示灯	1 式
	・ 試験端子	1 式
	・ その他必要なもの	1 式
盤内収納器具	： ・ 配線用遮断器 3 P 1 6 0 0 A F	1 個
	・ 計器用変圧器 4 4 0 / 1 1 0 V	2 個
	・ 計器用変流器 2 0 0 0 / 5 A	2 個
	・ トランスデューサ (V、A、Hz、W、cos θ)	1 式
	・ 零相変流器	1 個
	・ 補助継電器類	1 式
	・ その他必要なもの	1 式

(ク) 自動始動盤

形式	： 鋼板製屋内自立形	
数量	： 1 面	
寸法	： 設計図面を参照し、承諾図により決定する	
設置場所	： 向町浄水場 発電機室	
盤面取付器具	： ・ 名称銘版	1 式
	・ 電流計	9 個
	・ 切替スイッチ	6 個
	・ 操作スイッチ	1 0 個
	・ 状態表示灯	1 式
	・ 集合表示灯	1 式
	・ 押釦スイッチ	3 個
	・ 非常停止ボタン	1 個
	・ その他必要なもの	1 式
盤内収納器具	： ・ 配線用遮断器 3 P 5 0 A F	1 4 個
	・ 自動電圧調整器	1 個
	・ 計器用変流器	1 式
	・ 単相変圧器 2 1 0 / 1 0 5 V 1 k V A	1 個
	・ 電磁接触器	1 0 個
	・ 熱動継電器	9 個
	・ 漏電継電器	1 1 個
	・ 補助継電器類	1 式
	・ 接地コンデンサ	1 式
	・ その他必要なもの	1 式

(ケ) 始動用直流電源盤

形式	： 鋼板製屋内自立形	
数量	： 1 面	
寸法	： 設計図面を参照し、承諾図により決定する	
設置場所	： 向町浄水場 発電機室	
盤内実装機器	： ・ 整流器	1 組
	・ 蓄電池 長寿命形MS	1 組
	・ 配線用遮断器	1 式

	・変圧器	1 台
	・盤内照明	1 式
	・その他必要なもの	1 式
盤面取付機器	・名称板	1 式
	・電圧計	1 台
	・電流計	1 台
	・集合故障表示灯	1 式
	・押ボタンスイッチ	2 個
	・その他必要なもの	1 式

起動仕様 : 容量は 3 回以上連続起動が可能なものとする。

(コ) 発電機電源分岐盤

形式	鋼板製屋内自立形	
数量	1 面	
寸法	設計図面を参照し、承諾図により決定する	
設置場所	向町浄水場 発電機室	
盤面取付器具	・名称銘版	1 式
	・集合表示灯	1 式
	・その他必要なもの	1 式
盤内収納器具	・配線用遮断器 3 P 1 2 0 0 A F	2 個
	・その他必要なもの	1 式

(サ) 3、4 号配水ポンプ電源切換盤

形式	鋼板製屋内自立形	
数量	1 面	
寸法	設計図面を参照し、承諾図により決定する	
設置場所	向町浄水場 発電機室	
盤面取付器具	・名称銘版	1 式
	・その他必要なもの	1 式
盤内収納器具	・配線用遮断器 3 P 2 2 5 A F	2 個
	(機械式インターロック付き)	
	・その他必要なもの	1 式

(シ) 入出力盤 (1) / (2) (R I O - 1 / 2) 機能増設

内容	自家発電設備更新に伴い、入出力信号の追加と削除を行う。
入出力点数	D I / O : 約 4 5 点程度追加、約 4 3 点程度削除
	A I / O : 約 5 点程度追加、約 5 点程度削除

(ス) 入出力盤 (3) (R I O - 3) 機能増設

内容	自家発電設備更新に伴い、入出力信号の削除を行う。
入出力点数	D I / O : 約 1 7 点程度削除
	A I / O : 約 4 点程度削除

(セ) プロセスコントローラ盤 (P C S 1) 機能増設

内容	自家発電設備更新に伴い、入出力信号の追加と削除を行う。
入出力点数	D I / O : 約 4 5 点程度追加、約 6 0 点程度削除
	A I / O : 約 5 点程度追加、約 9 点程度削除

(ソ) L C D監視制御 1 機能増設

内容	: 自家発電設備更新に伴い、入出力信号の追加と削除および画面・帳票の改造を行う。
入出力点数	: D I / O : 約 4 5 点程度追加、約 6 0 点程度削除 A I / O : 約 5 点程度追加、約 9 点程度削除
監視画面	: 約 2 枚改造
帳票	: 約 3 枚改造

(4) 施工上の注意

設備更新にあたっては、既設設備との取り合いを十分考慮し、今後の運用・管理に支障を生じないよう機器の製作、据付工事及び試験調整を行うこと。

本施設は稼働中であるため、設備機器及び水運用等を十分に調査・熟知したうえ作業を行い、運用に支障のないように対処すること。

必要に応じ保護養生を行い、他の稼働設備に影響を与えないように、細心の注意をもって施工すること。また、電気設備工事にあたっては関係各法令を遵守し、有資格者にて作業を行うこと。

(5) その他

(ア) その他、疑義がある場合については、発注者の指定した監督員と協議のうえ決定するものとする。

(イ) 機器製作等に際しては、本仕様書によることはもとより、必要に応じて工事担当者と十分な打合せを行うこと。

3 工 事 2

(1) 工事目的

本工事は、向町浄水場 2 系配水ポンプ室の配管劣化に伴い更新を行い、正常な運転を行うことを目的とする。

(2) 工事内容

(ア) 配管類取替工	1 式
(イ) 試運転調整工	1 式
(ウ) 収集運搬費	1 式
(エ) 処分費	1 式

(3) 機器仕様

(ア) バタフライ弁

①仕様

口径	: $\phi 600$
型式	: 更新バタフライ弁
接続方法	: 水道用 7.5K フランジ
数量	: 1 台

②主要部材

弁箱	:	F C D又は同等品以上
弁体	:	F C D又は同等品以上
弁棒	:	S U S又は同等品以上

③塗装

内面	:	エポキシ樹脂粉体塗装
外面	:	メーカー標準

(イ)主要配管

①仕様

口径	:	600A、400A、350A、300A
材質	:	SUS304 Sch20S
フランジ規格	:	JIS10K形フランジ/水道用7.5Kフランジ
数量	:	1式

②塗装

内外面	:	無塗装

(ウ)流量計

①仕様

口径	:	350A
型式	:	電磁流量計
接続方法	:	水道用7.5Kフランジ
測定範囲	:	0～2000m ³ /h（打合せにより決定する）
電源	:	AC100V
出力信号	:	DC4～20mA
数量	:	2組

②構成（1組につき）

検出器	:	1台
変換器	:	1台
専用ケーブル	:	10m
その他必要なもの		

(4) 施工上の注意

設備更新にあたっては、既設設備との取り合いを十分考慮し、今後の運用・管理に支障を生じないよう機器の製作、据付工事及び試験調整を行うこと。

本施設は稼働中であるため、設備機器及び水運用等を十分に調査・熟知したうえ作業を行い、運用に支障のないように対処すること。

必要に応じ保護養生を行い、他の稼働設備に影響を与えないように、細心の注意をもって施工すること。また、電気設備工事にあたっては関係各法令を遵守し、有資格者にて作業を行うこと。

道路使用にかかる諸手続きは、すべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。交通誘導員の配備態勢は、施工時2人を標準とする。なお、適切な安全確保のため、交通量、施工状況等に応じて人数を変更してもよいこととする。

図 面 目 録 (1 / 2)

番号	図 面 名 称	縮 尺	番号	図 面 名 称	縮 尺
	＜自家発電施設等更新工事＞			＜2系配水ポンプ室配管更新工事＞	
E-00	現場案内図	S=NONE	M-00	現場案内図	S=NONE
E-01	一般平面図	S=1/250	M-01	一般平面図	S=1/250
E-02	システム構成図（更新）	S=NONE	M-02	2系配水ポンプ室 配管更新図	S=1/50
E-03	システム構成図（撤去）	S=NONE	M-03	2系配水委ポンプ室 配管撤去図	S=1/50
E-04	単線結線図（1）（更新）	S=NONE	M-04	2系配水ポンプ室 配管更新スケルトン図	S=1/50
E-05	単線結線図（2）（更新）	S=NONE	M-05	2系配水ポンプ室 配管撤去スケルトン図	S=1/50
E-06	単線結線図（3）（更新）	S=NONE	M-06	2系配水ポンプ室 配管仮設スケルトン図	S=1/50
E-07	単線結線図（1）（撤去）	S=NONE	M-07	場内 不断水仕切弁配置図	S=1/50
E-08	単線結線図（2）（撤去）	S=NONE	M-08	場内 不断水仕切弁施工検討図	S=1/20
E-09	盤外形図	S=NONE	M-09	場内 不断水仕切弁標準土工図	S=1/20
E-10	全体平面図（更新）	S=1/250	ME-01	2系配水ポンプ室 電磁流量計更新図	S=1/50
E-11	管理棟1階平面図（更新）	S=1/50	ME-02	2系配水ポンプ室 電磁流量計撤去図	S=1/50
E-12	管理棟2階平面図（更新）	S=1/50	ME-03	2系配水ポンプ設備 計装フロー図	S=NONE
E-13	発電機室機器配置図（更新）	S=1/50			
E-14	発電機設備系統図（更新）	S=NONE			
E-15	2系ポンプ室平面図（更新）	S=1/50			
E-16	配線表（更新）	S=NONE			
E-17	全体平面図（撤去）	S=1/250			
E-18	管理棟1階平面図（撤去）	S=1/50			
E-19	発電機室機器配置（撤去）	S=1/50			
E-20	2系ポンプ室平面図（撤去）	S=1/50			
E-21	配線表（撤去）	S=NONE			
E-22	全体平面図（仮設）	S=1/250			
E-23	管理棟1階平面図（仮設）	S=1/50			
E-24	2系ポンプ室平面図（仮設）	S=1/50			

注）縮尺はA1サイズの場合を示す

図 面 目 録 (2 / 2)

番号	図 面 名 称	縮 尺
	＜建築改修工事（浸水対策）＞	
A-01	建築改修工事特記仕様書（その１）	S=NONE
A-02	建築改修工事特記仕様書（その２）	S=NONE
A-03	建築改修工事特記仕様書（その３）	S=NONE
A-04	建築改修工事特記仕様書（その４）	S=NONE
A-05	案内図	S=NONE
A-06	配置図	S=1/300
A-07	改修概要	S=NONE
A-08	①県水受水室 平面図・立面図（改修前）	S=1/100
A-09	①県水受水室 平面図・立面図（改修後）	S=1/100
A-10	①県水受水室 改修詳細図	S=1/50
A-11	①県水受水室 改修建具表	S=1/50
A-12	②1系配水ポンプ室 平面図・立面図（改修前）	S=1/100
A-13	②1系配水ポンプ室 平面図・立面図（改修後）	S=1/100
A-14	②1系配水ポンプ室 改修詳細図	S=1/50
A-15	②1系配水ポンプ室 改修建具表	S=1/50
A-16	③管理棟 平面図（改修前・後）	S=1/100
A-17	③管理棟 立面図（改修前）	S=1/100
A-18	③管理棟 立面図（改修後）	S=1/100
A-19	③管理棟 改修詳細図1	S=1/50
A-20	③管理棟 改修詳細図2	S=1/50
A-21	③管理棟 改修詳細図3	S=1/50
A-22	③管理棟 改修建具表	S=1/50
A-23	④沈降層 平面図・立面図（改修前）	S=1/100
A-24	④沈降層 平面図・立面図（改修後）	S=1/100
A-25	④沈降層 改修詳細図	S=1/50
A-26	④沈降層 改修建具表	S=1/30, 1/50
A-27	⑤2系配水ポンプ室 平面図・立面図（改修前）	S=1/100
A-28	⑤2系配水ポンプ室 平面図・立面図（改修後）	S=1/100
A-29	⑤2系配水ポンプ室 改修詳細図1	S=1/50
A-30	⑤2系配水ポンプ室 改修詳細図2	S=1/50

番号	図 面 名 称	縮 尺
A-31	⑤2系配水ポンプ室 改修建具表	S=1/50
A-32	⑥着水井 平面図・立面図・参考断面図（改修前）	S=1/100
A-33	⑥着水井 平面図・立面図・参考断面図（改修後）	S=1/100
A-34	⑥着水井 改修詳細図1	S=1/50
A-35	⑥着水井 改修詳細図2	S=1/50
A-36	⑥着水井 改修建具表	S=1/50
A-37	⑦次亜室 平面図・立面図（改修前）	S=1/50
A-38	⑦次亜室 平面図・立面図（改修後）	S=1/50
A-39	⑦次亜室 改修詳細図	S=1/50
A-40	⑦次亜室 改修建具表	S=1/50
A-41	⑧1系混和池 平面図・立面図（改修前）	S=1/100
A-42	⑧1系混和池 平面図・立面図（改修後）	S=1/100
A-43	⑧1系混和池 改修詳細図	S=1/50
A-44	⑧1系混和池 改修建具表	S=1/50
AE-01	建築電気設備工事特記仕様書	S=NONE
AE-02	③管理棟 建築電気設備平面図（改修前・後）	S=1/100
AM-01	建築機械設備工事特記仕様書	S=NONE
AM-02	①県水受水室 建築機械設備平面図・立面図（改修前・後）	S=1/100
AM-03	③管理棟 建築機械設備平面図・立面図（改修前・後）	S=1/100
AM-04	⑤2系配水ポンプ室 建築機械設備平面図・立面図（改修前・後）	S=1/100
AM-05	⑧1系混和池 建築機械設備平面図・立面図（改修前・後）	S=1/100
	＜建築改修工事（2系配水ポンプ室解体改修）＞	
AP-01	2系配水ポンプ室配管更新 建築改修工事特記仕様書（その１）	S=NONE
AP-02	2系配水ポンプ室配管更新 建築改修工事特記仕様書（その２）	S=NONE
AP-03	2系配水ポンプ室配管更新 建築改修キープラン	S=NONE
AP-04	2系配水ポンプ室配管更新 建築改修項目表・撤去建具表	S=NONE
AP-05	2系配水ポンプ室配管更新 改修平面図・断面図	S=NONE
AP-06	2系配水ポンプ室配管更新 改修立面図・鉄骨下地図	S=1/300
AP-07	2系配水ポンプ室配管更新 改修屋根伏図・鉄骨下地図	S=NONE

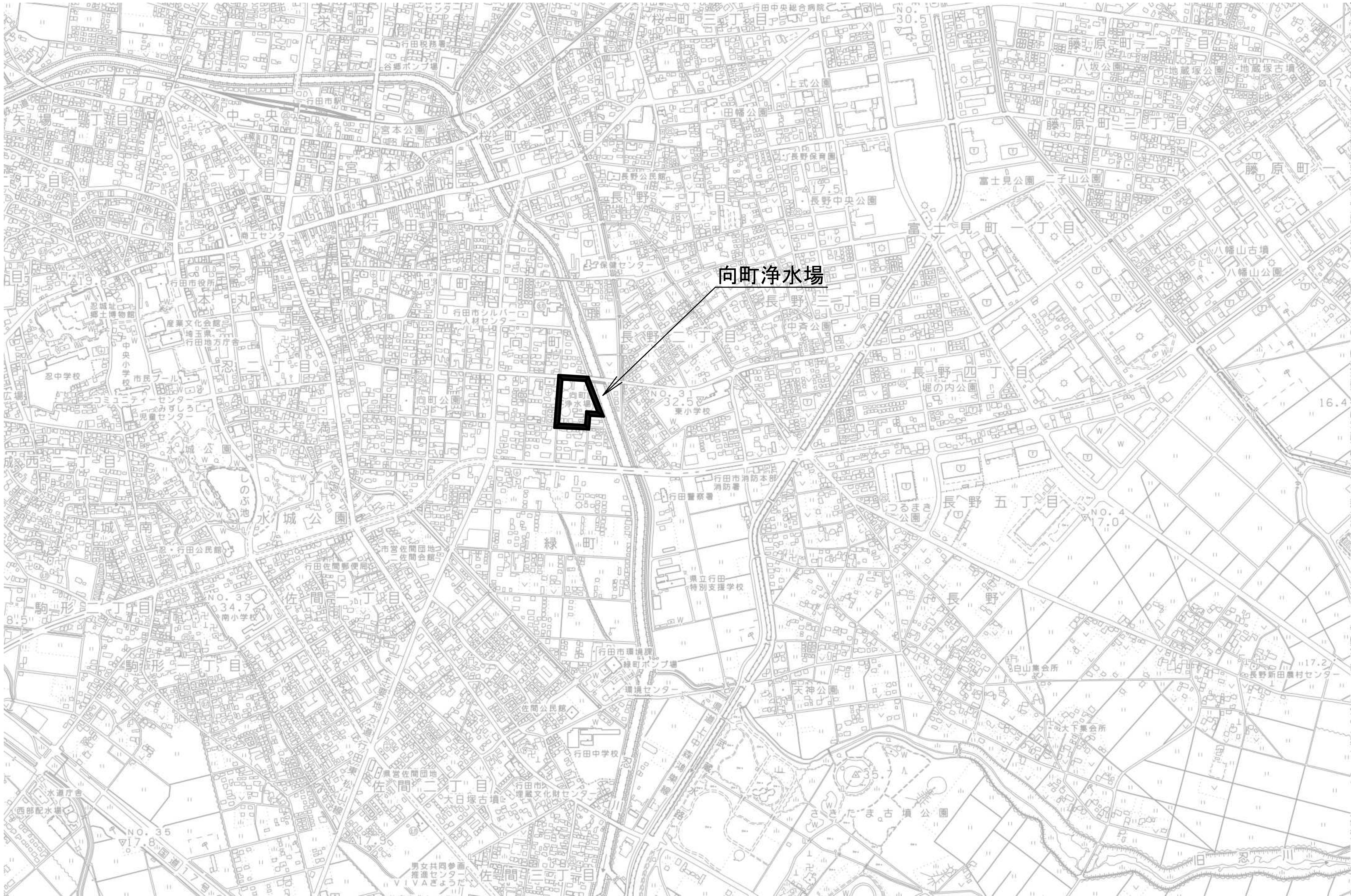
注）縮尺はA1サイズの場合を示す

向町浄水場自家発電施設等更新工事

実 施 設 計 図

行 田 市 水 道 事 業

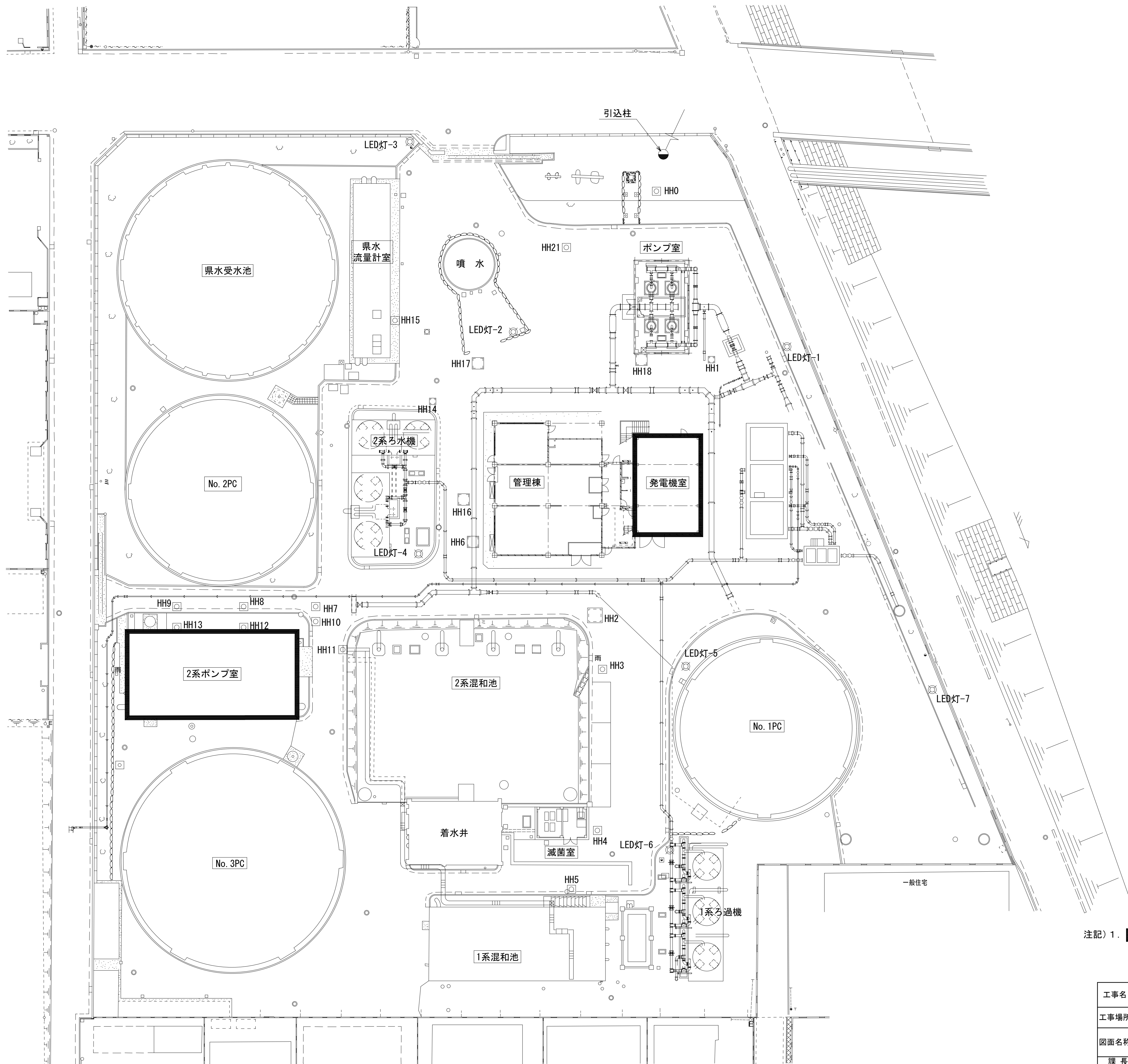
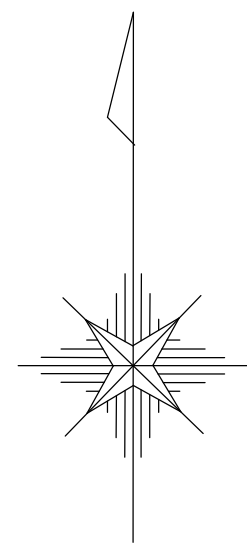
現場案内図 S=NONE



注 記)

1.  は今回工事範囲を示す。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	現場案内図				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長谷見	栗 原	S=NONE	
				図面番号	
行田市水道事業				E - 00	



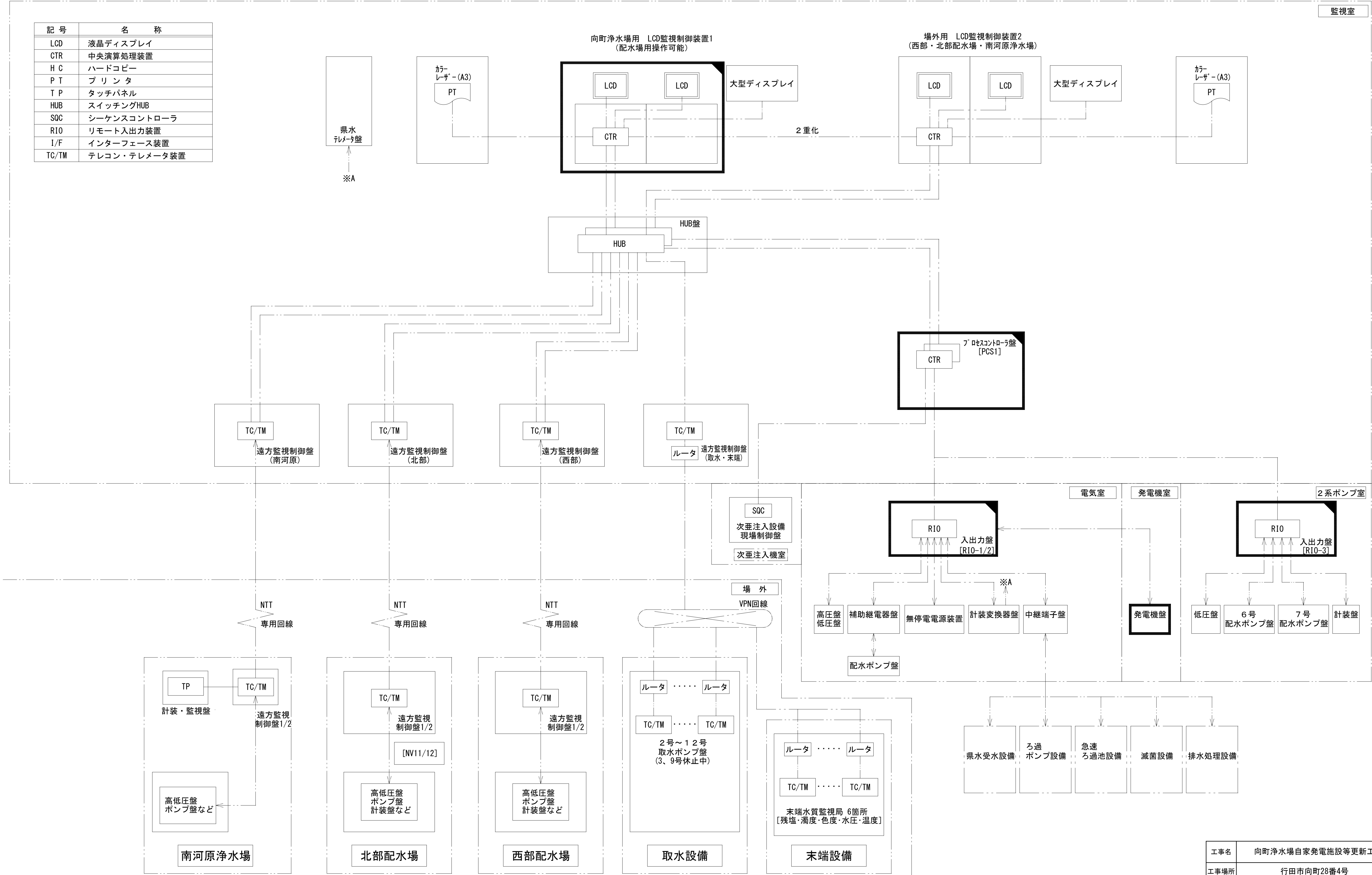
注記) 1. 部は今回工事箇所を示す。

向町浄水場 一般平面図

S=1/250 (A1)
S=1/500 (A3)

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	一般平面図				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/250	
				図面番号	
行田市水道事業				E - 01	

記 号	名 称
LCD	液晶ディスプレイ
CTR	中央演算処理装置
H C	ハードコピー
P T	プ リ ン タ
T P	タ ッ チ パ ネ ル
HUB	スイッチングHUB
SQC	シーケンスコントローラ
RIO	リモート入出力装置
I/F	インターフェース装置
TC/TM	テレコン・テレメータ装置

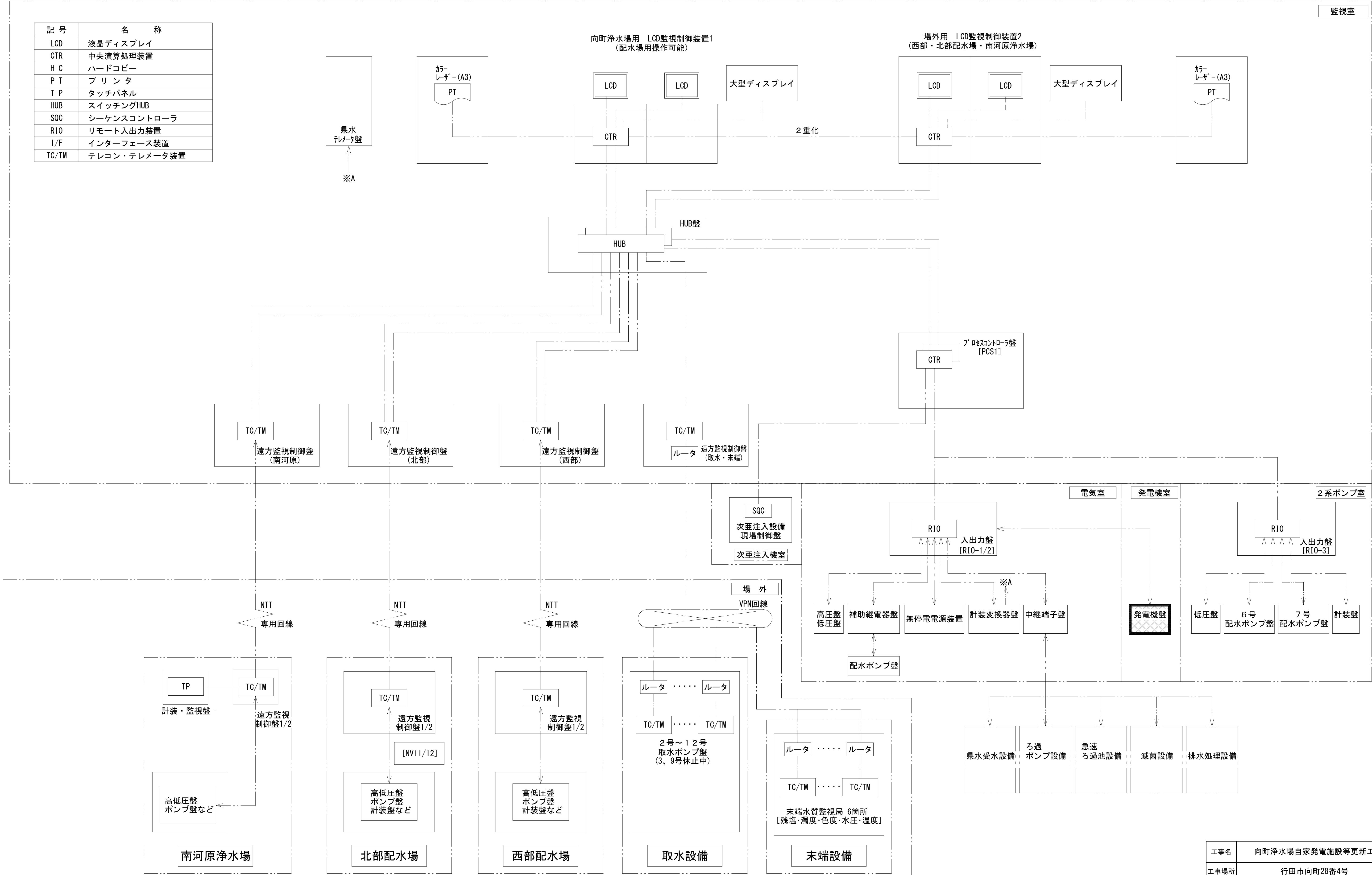


向町浄水場 システム構成図（更新）

- 注記）1. 部は今回工事を示す。
2. 部は今回機能増設を示す。
3. その他は既設を示す。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	システム構成図（更新）				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長 谷 見	栗 原	S=NONE	
行田市水道事業				図面番号	
				E - 02	

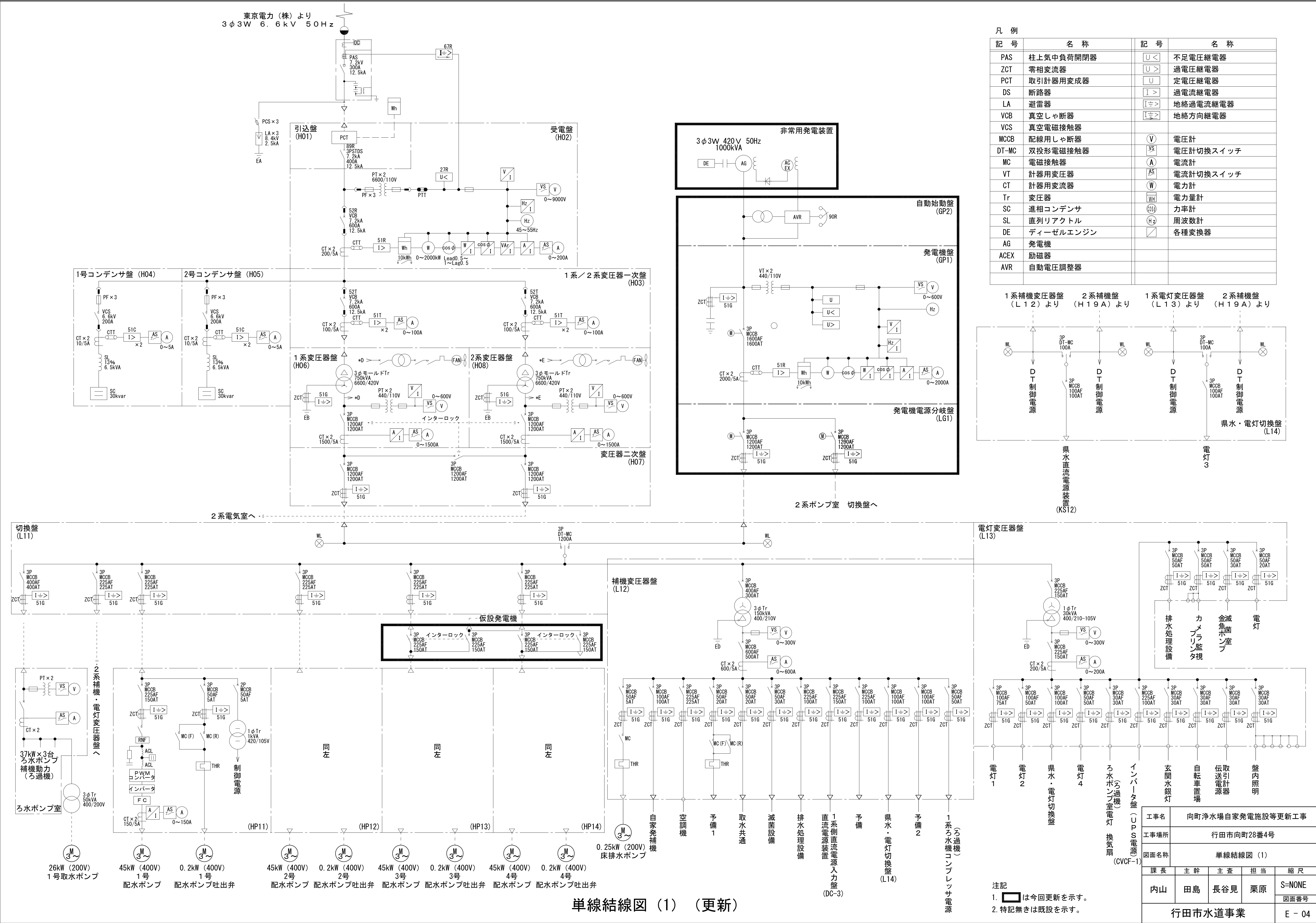
記 号	名 称
LCD	液晶ディスプレイ
CTR	中央演算処理装置
H C	ハードコピー
P T	プ リ ン タ
T P	タッチパネル
HUB	スイッチングHUB
SQC	シーケンスコントローラ
RIO	リモート入出力装置
I/F	インターフェース装置
TC/TM	テレコン・テレメータ装置



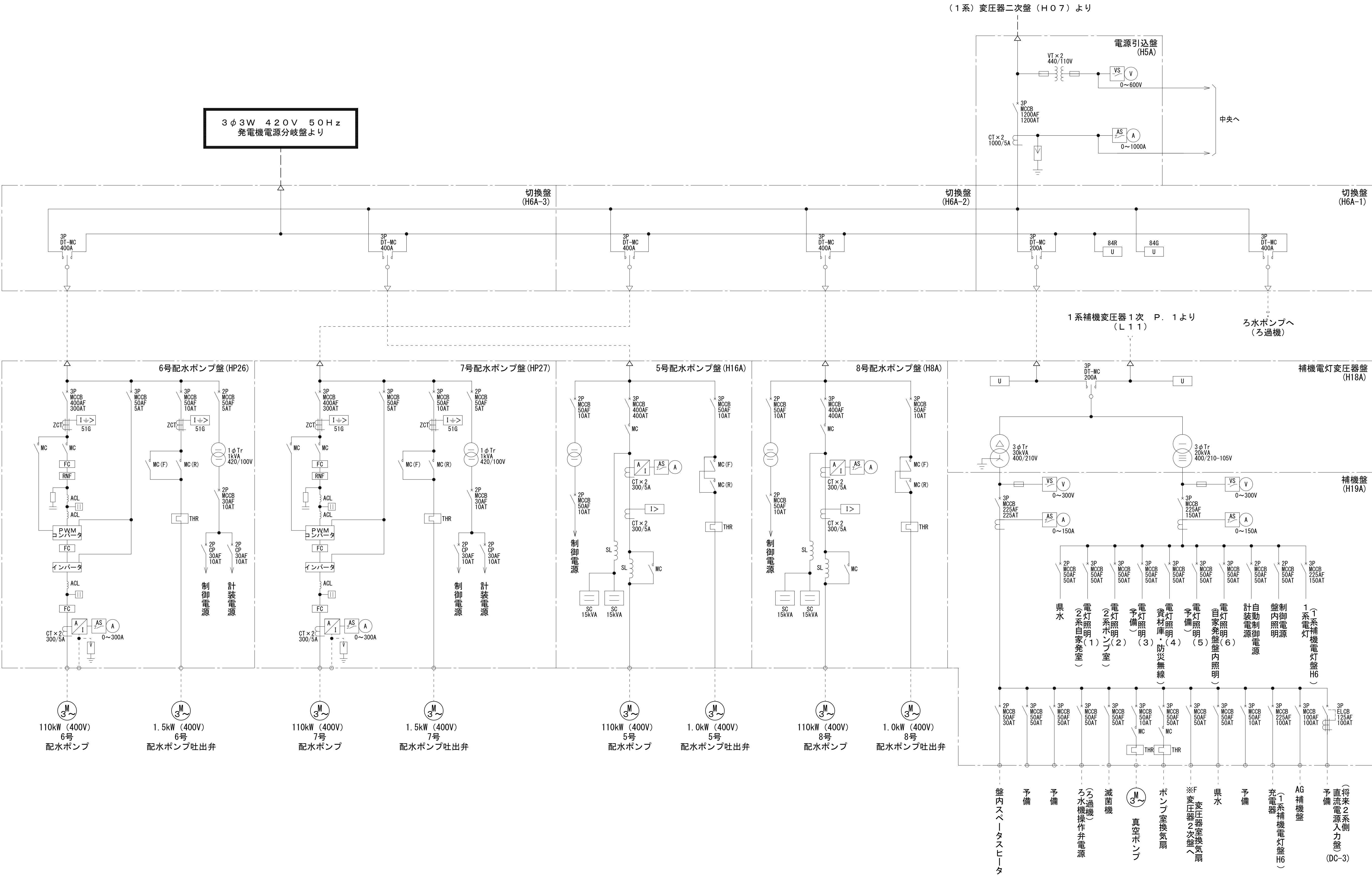
注記) 1. 部は撤去工事を示す。
2. その他は既設を示す。

向町浄水場 システム構成図 (撤去)

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	システム構成図 (撤去)				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長 谷 見	栗 原	S=NONE	
行田市水道事業					図面番号
					E - 03



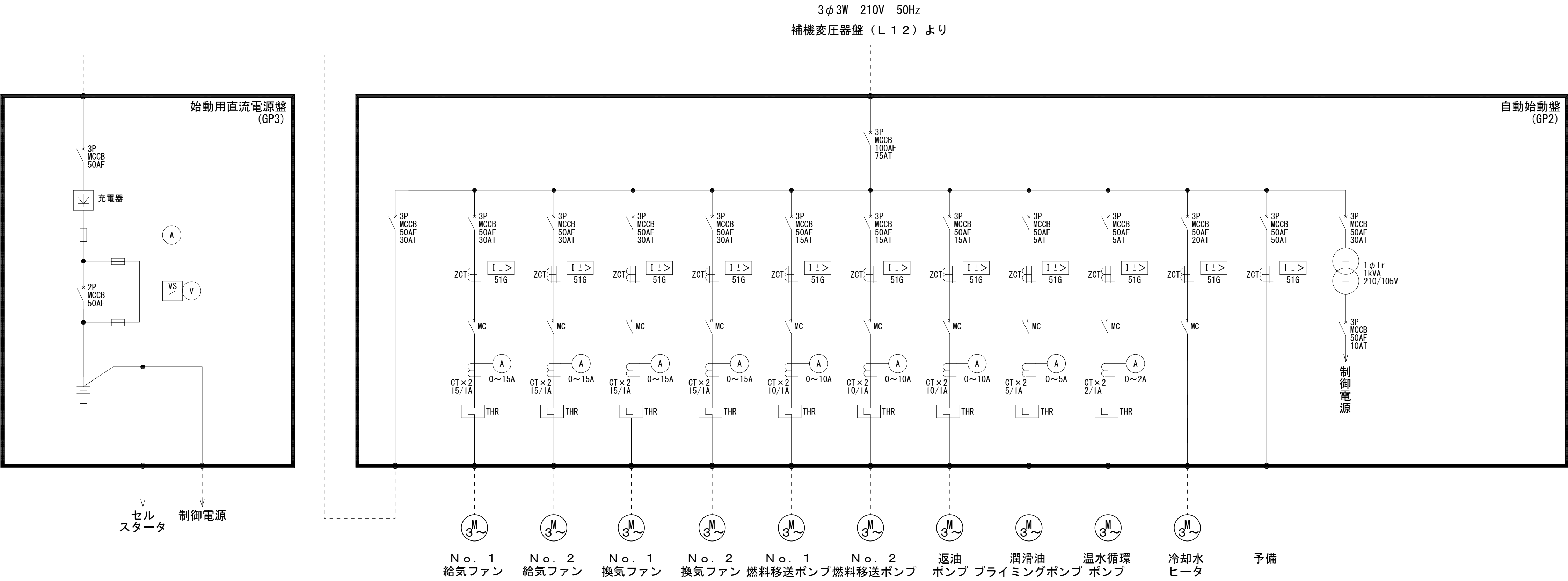
単線結線図 (1) (更新)



単線結線図 (2) (更新)

注記
1. は今回更新を示す。
2. 特記無きは既設を示す。

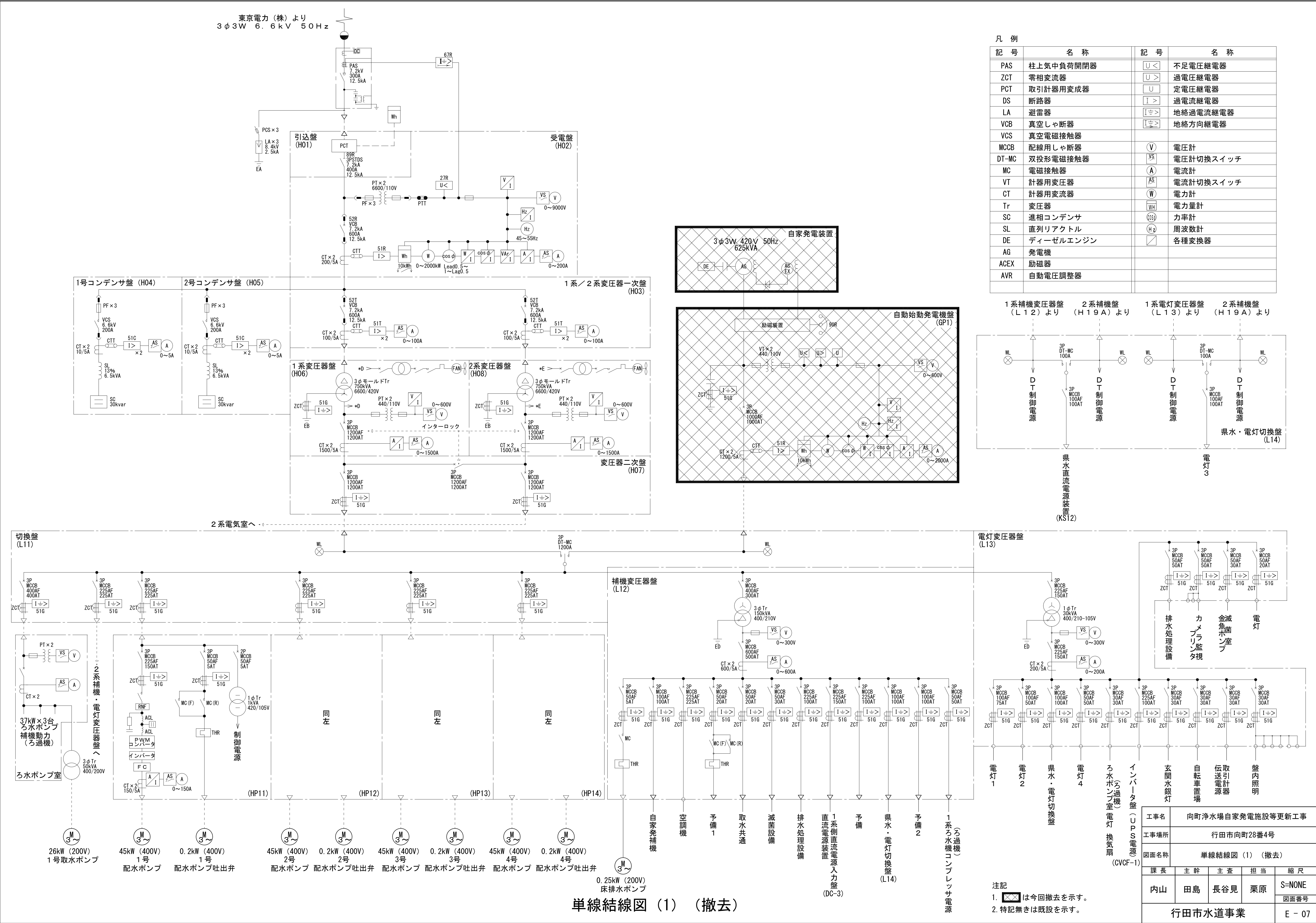
工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	単線結線図 (2)				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=NONE	
行田市水道事業					図面番号
					E - 05

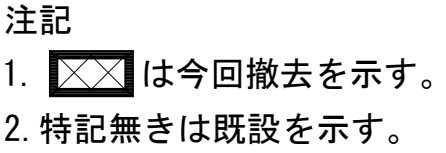


単線結線図（3）（更新）

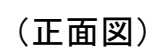
注記
1. は今回更新を示す。
2. 特記無きは既設を示す。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	単線結線図（3）				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=NONE	
行田市水道事業				図面番号	
				E - 06	





工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	単線結線図(2)(撤去)				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長谷見	栗 原	S=NONE	
				図面番号	
行田市水道事業				E - 08	



(側面図)

SI-1

商用電源	DC100V 制御電源	DC24V 制御電源	手動	自動	準備完了	始動中	電圧確立	送電中	停止 動作中	

FI-1

[illegible]

FI-2

電気室 MCCB断	2系 ポンプ室 MCCB断		

FI-3

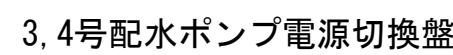
充電器 故障	蓄電池 溫度上昇	蓄電池 電圧低下	

凡例

CP-No.	名 称
CP - 1	発電機遮断器
- 2	発電機
- 3	No. 1給気ファン
- 4	No. 2給気ファン
- 5	No. 1換気ファン
- 6	No. 2換気ファン
- 7	ブライミングポンプ
- 8	温水循環ポンプ
- 9	No. 1燃料移送ポンプ
-10	No. 2燃料移送ポンプ
-11	返油ポンプ
-12	

凡例

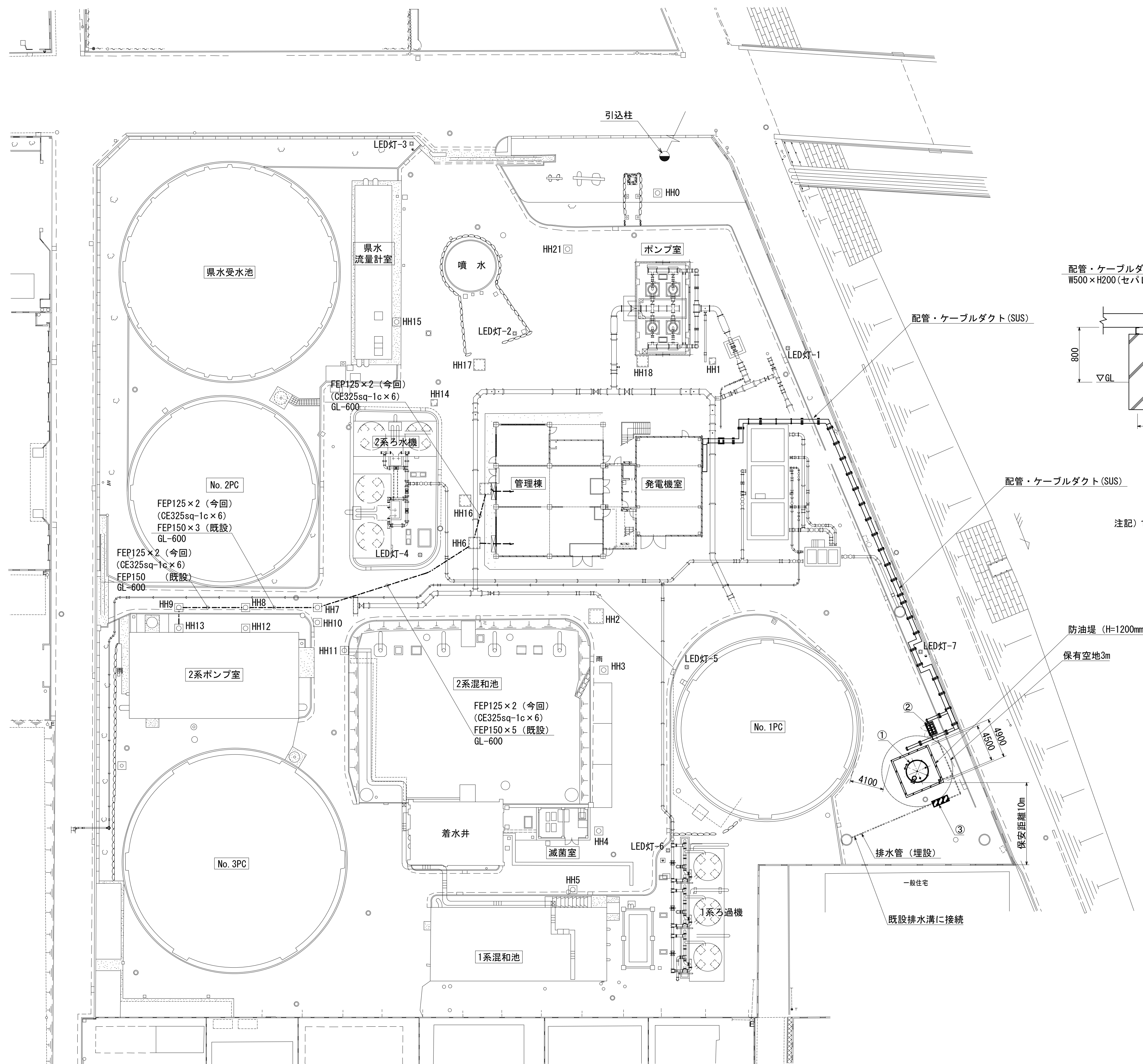
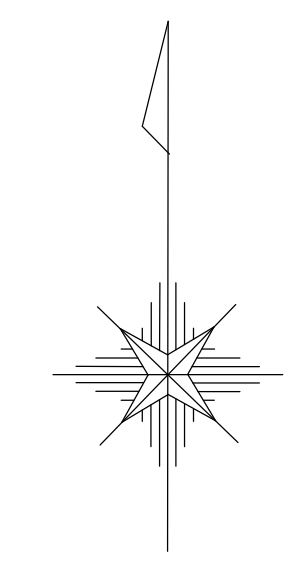
記号	名 称
COS-1	切換スイッチ（現場－中央）
COS-2	切換スイッチ（手動－自動）
COS-3	切換スイッチ（No. 1－交互－No. 2）
COS-4	切換スイッチ（単独－運動）
CS -1	操作スイッチ（停止－運転）
CS -2	操作スイッチ（切－入）
BS -1	押釦スイッチ（警報停止）
BS -2	押釦スイッチ（故障復帰）
BS -3	押釦スイッチ（ランプテスト）
5E	引釦スイッチ（非常停止）



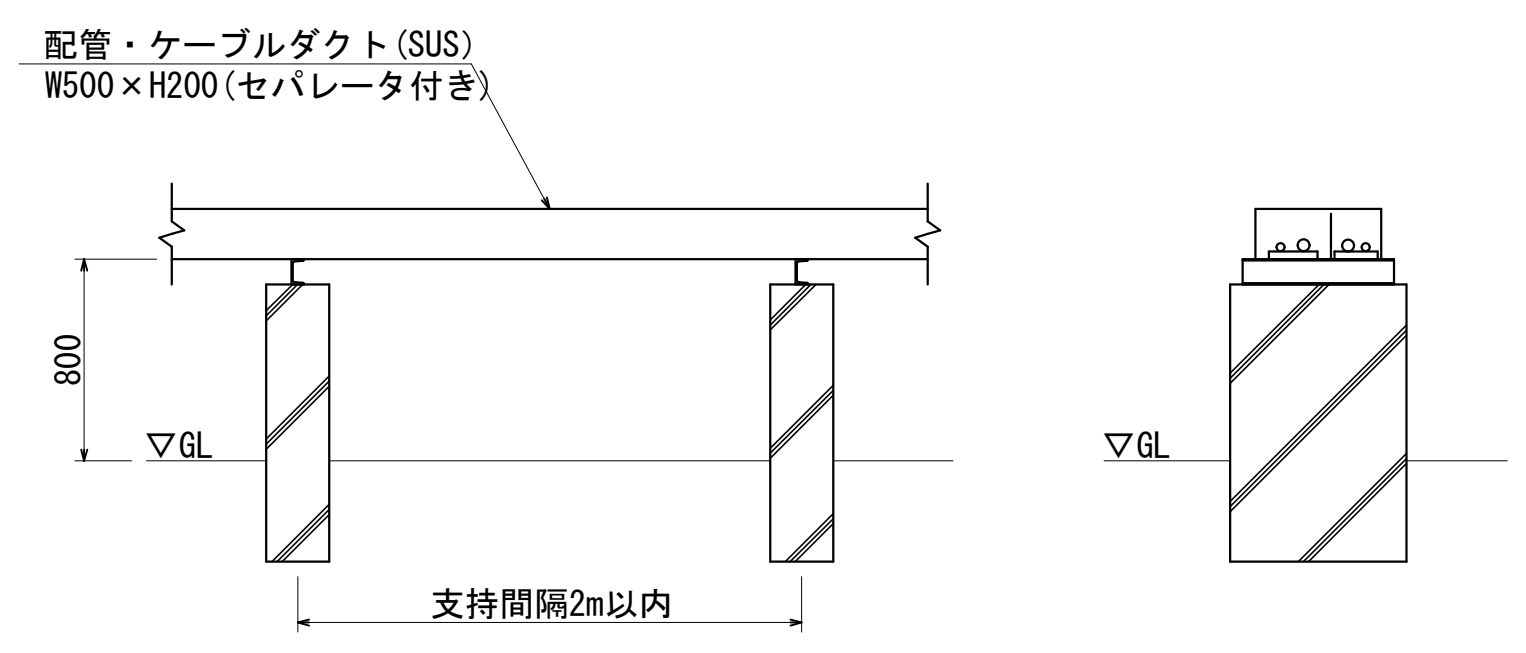
注記

1.  は今回更新を示す。
2. 寸法及び皿面取付器具は参考とし、承諾図により決定する。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	盤外形図				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長谷見	栗 原	S=NONE	
				図面番号	
行田市水道事業				E - 09	



配管・ケーブルダクト据付参考図 S=1/30 (A1)
S=1/60 (A3)

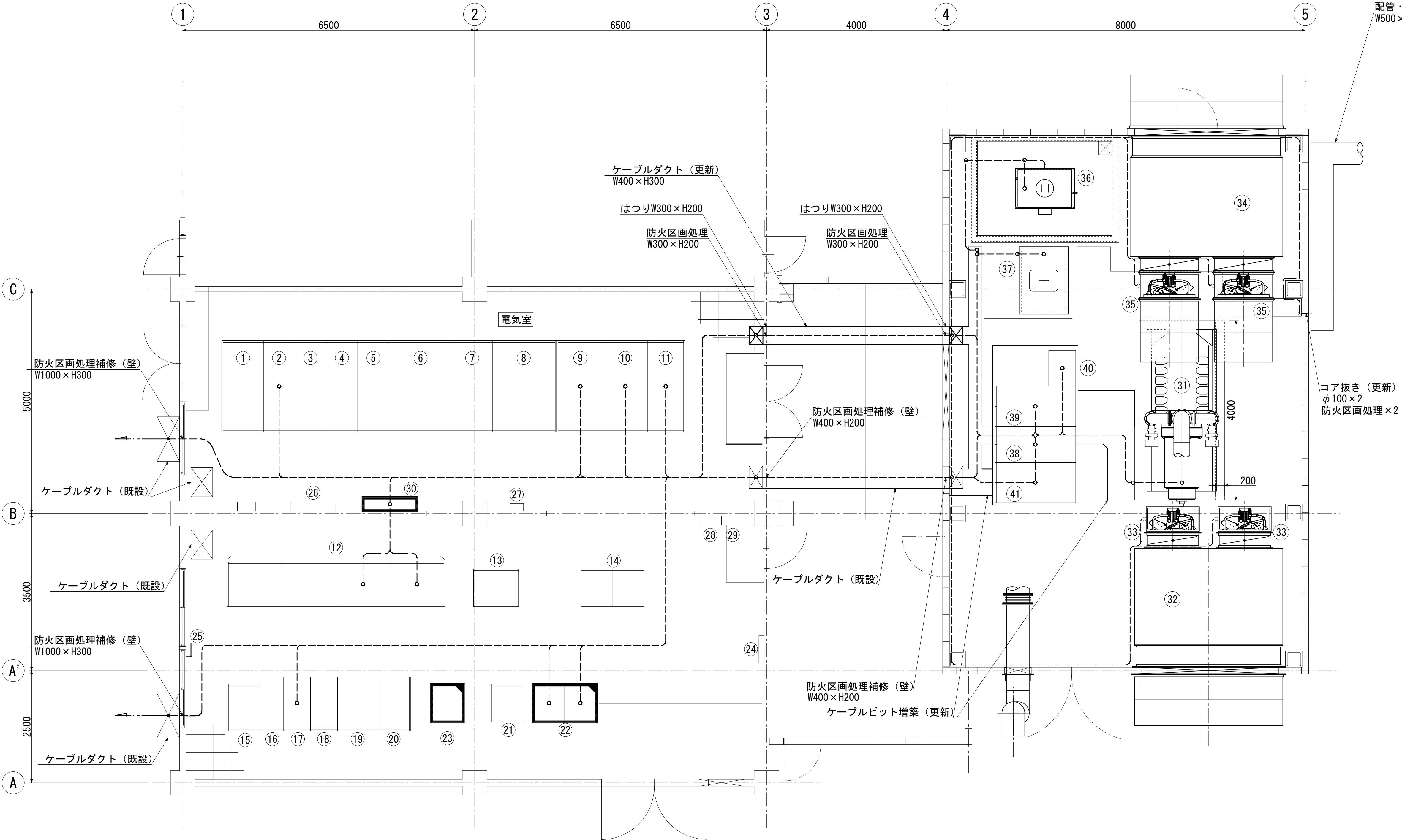


注記) 1. 配管・ケーブルダクト施工時に影響のある
植栽については撤去を行うこと。

機器表		
記号	名 称	仕 様
①	屋外燃料タンク	軽油 15,000L 円筒縦型
②	燃料油移送用ポンプ	0.75kW 3φ AC200V ×2 屋外自立型送油ポンプボックス
③	油水分離槽	

向町浄水場 全体平面図 (更新) S=1/250 (A1)
S=1/500 (A3)

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	全体平面図 (更新)				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長谷見	栗 原	S=1/250	
				図面番号	
行田市水道事業				E - 10	



配管・ケーブルダクト（更新）
W500×H300

電気室機器名称表

番号	記 号	盤 名 称	備 考
①	H01	引込盤	既 設
②	H02	受電盤	〃
③	H03	1/2変圧器1次盤	〃
④	H04	1号コンデンサ盤	〃
⑤	H05	2号コンデンサ盤	〃
⑥	H06	1系変圧器盤	〃
⑦	H07	変圧器二次盤	〃
⑧	H08	2系変圧器盤	〃
⑨	L11	切換盤	〃
⑩	L12	補機変圧器盤	〃
⑪	L13	電灯変圧器盤	〃
⑫	HP11/14	1～4号配水ポンプ盤	〃
⑬	KH1	計装変換器盤	〃
⑭	RY1/2	補助継電器盤(1)(2)	〃
⑮	L14	県水・電灯切換盤	〃
⑯	CVCF-2	出力盤	〃
⑰	CVCF-1	インバータ盤	〃
⑱	DC-3	直流電源入力盤	〃
⑲	DC-2	直流電源盤	〃
⑳	DC-1	蓄電池盤	〃
㉑	LB1	中継端子盤	〃
㉒	RI0-1/2	入出力盤	機能増設
㉓	PCS1	プロセスコントローラ盤	〃
㉔		接地端子盤	既 設
㉕		接地端子盤	〃
㉖	LB2	中継端子盤	〃
㉗		端子盤	〃
㉘	P-1		〃
㉙	1L-1		〃
㉚		3, 4号配水ポンプ電源切換盤	今 回

発電機室機器名称表

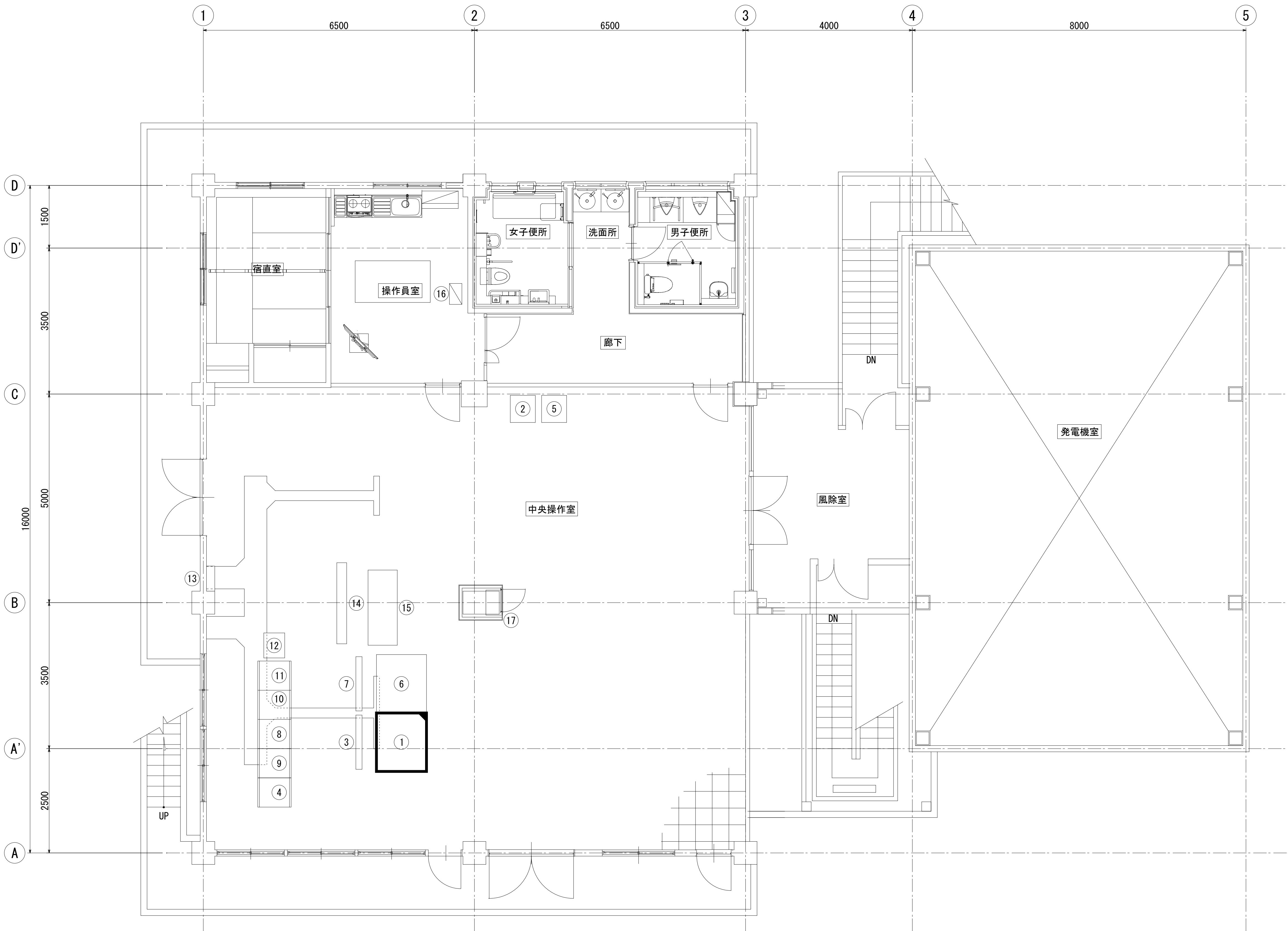
番号	記 号	盤 名 称	備 考
㉛		非常用発電装置	今 回
㉜		換気消音器	〃
㉝		換気ファン	〃
㉞		給気消音器	〃
㉟		給気ファン	〃
㊱		燃料小出槽	〃
㊲		冷却水槽	〃
㊳	GP1	発電機盤	〃
㊴	GP2	自動始動盤	〃
㊵	GP3	始動用直流電源盤	〃
㊶	LG1	発電機電源分岐盤	〃

注記) 1. は今回工事を示す。
2. は機能増設を示す。
3. その他は既設を示す。

向町浄水場 管理棟1階平面図（更新）

S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	管理棟1階平面図（更新）				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長 谷 見	栗 原	S=1/50	
行田市水道事業					図面番号 E - 11



機器名称表

番号	記 号	盤 名 称	備 考
①	LCD1	LCD監視制御装置1 (向町浄水場用)	機能増設
②	PR1	プリンタ1	既 設
③	DSP1	大型ディスプレイ1	〃
④	HUB	HUB盤	〃
⑤	PR2	プリンタ2	〃
⑥	LCD2	LCD監視制御装置2 (場外用)	〃
⑦	DSP2	大型ディスプレイ2	〃
⑧	TM-H	遠方監視制御盤 (北部)	〃
⑨	TM-S	遠方監視制御盤 (西部)	〃
⑩	TM-M	遠方監視制御盤 (南河原)	〃
⑪	TM-L	遠方監視制御盤 (取水・末端)	〃
⑫	TMHSI-001	県水テレメータ盤	〃
⑬	NTT-M1	保安器箱	〃
⑭	ITV-DSP	場内・場外監視モニター	〃
⑮		場内・場外監視装置	〃
⑯		電灯3	〃
⑰		無線局運用管理盤	〃

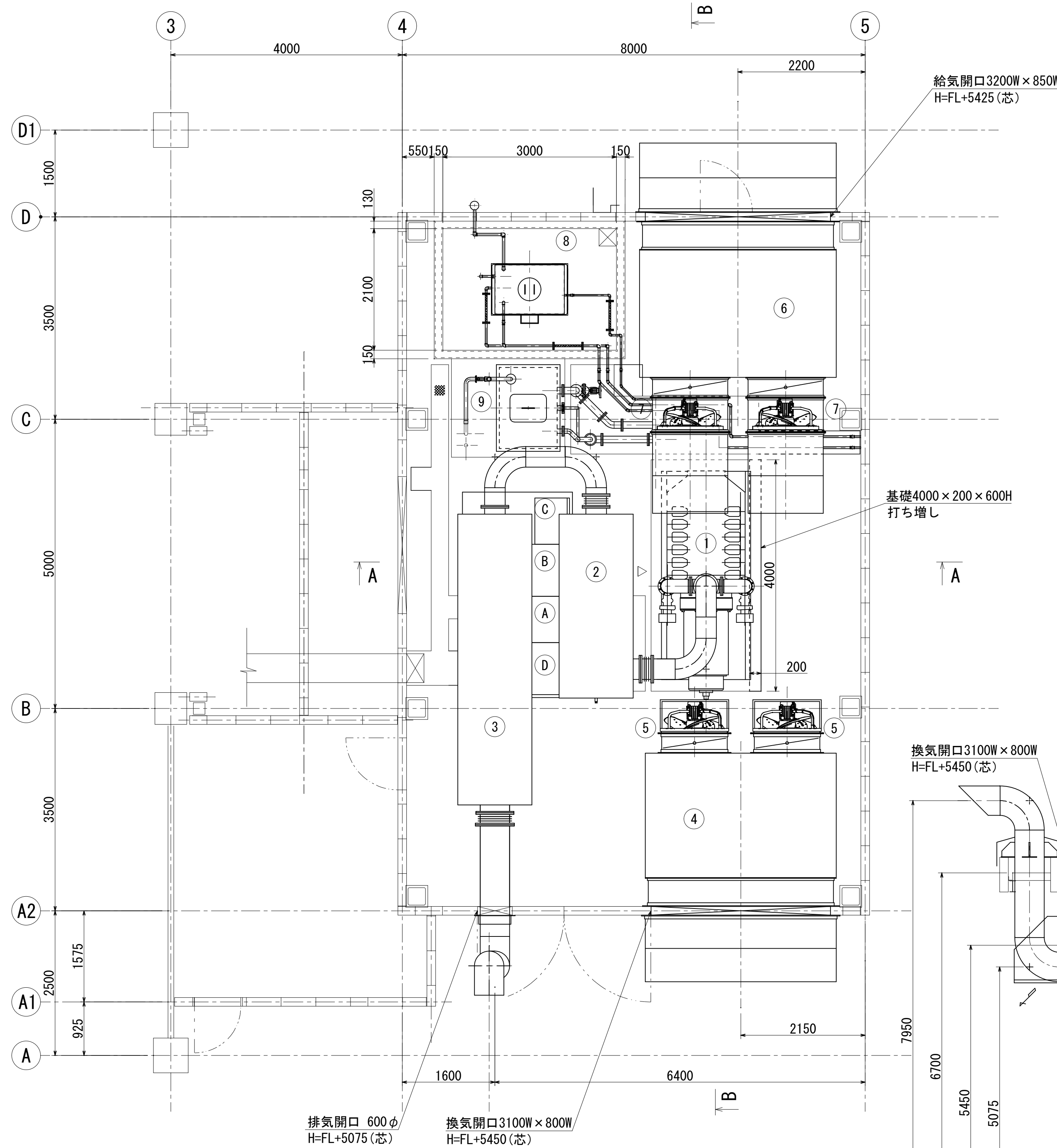
注記) 1.  は機能増設を示す。
2. その他は既設を示す。

向町浄水場 管理棟2階平面図 (更新)

S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	管理棟2階平面図 (更新)				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長 谷 見	栗 原	S=1/50	
				図面番号	
				行田市水道事業	
				E - 12	

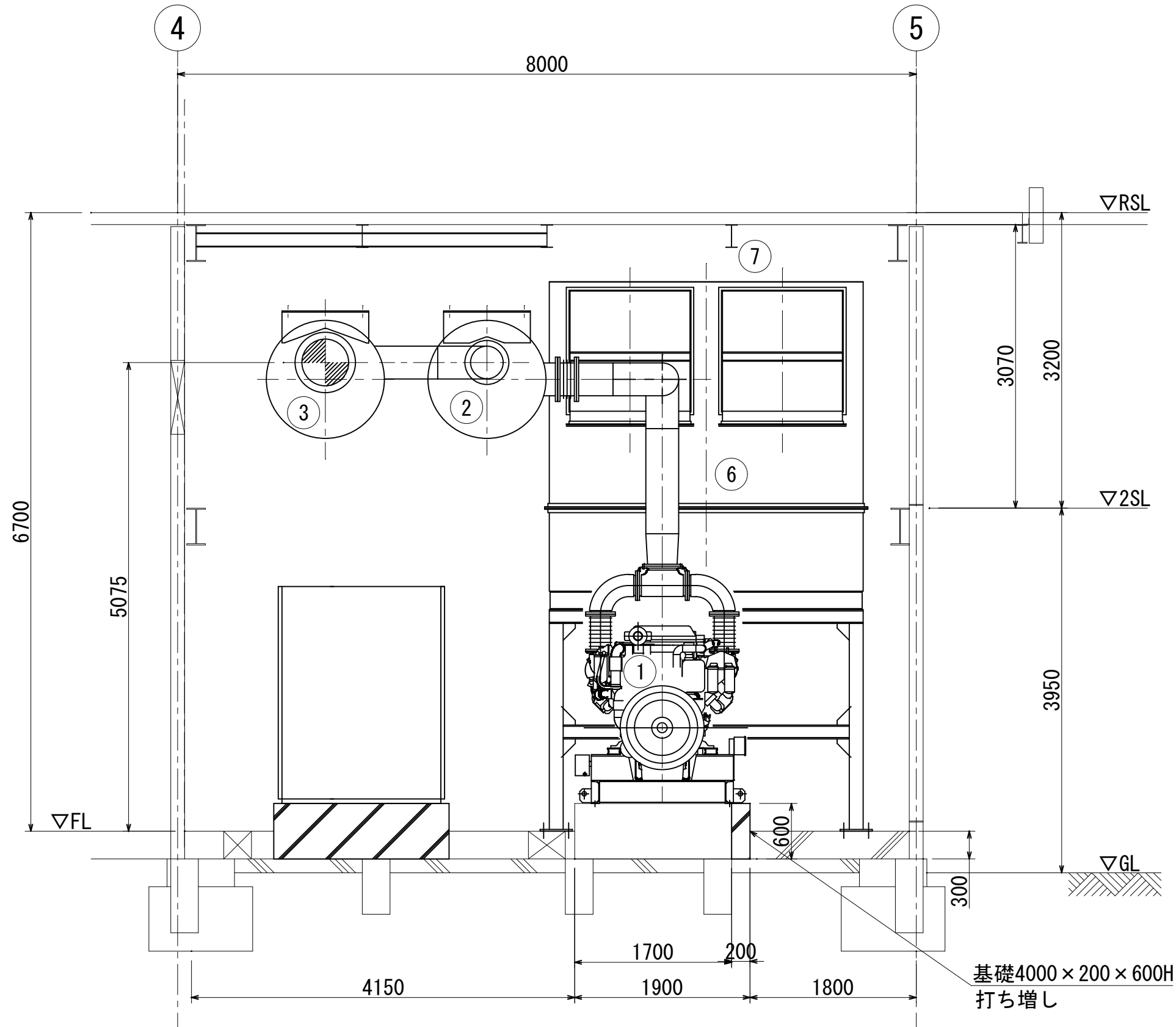
配置平面図



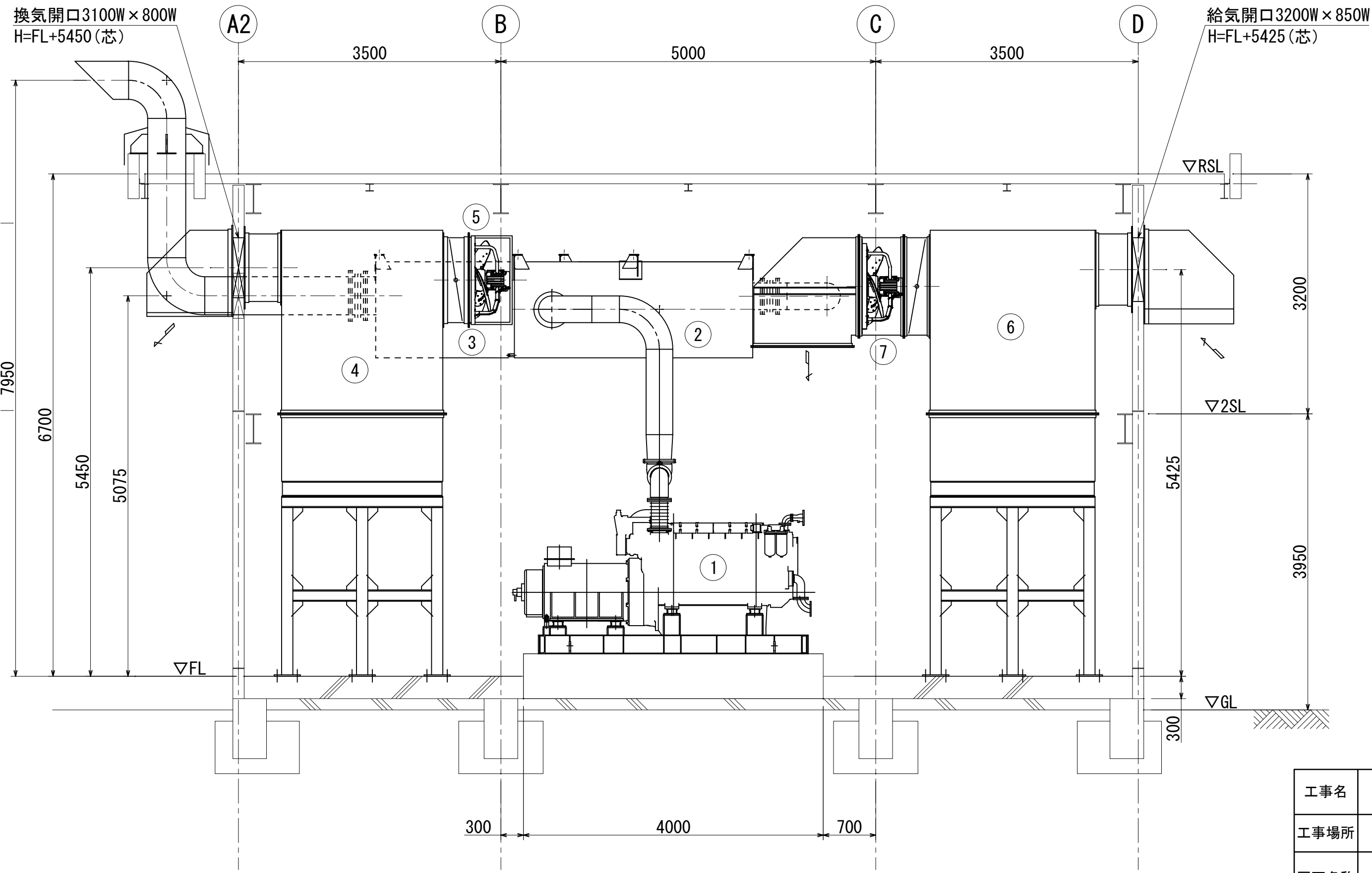
発電機室機器名称表

番号	記号	名称	仕様	備考
①		非常用発電装置	1000kVA 420V 50Hz	今回
②		一次排気消音器		〃
③		二次排気消音器	55dB (A)	〃
④		換気消音器	55dB (A)	〃
⑤		換気ファン	2.2kW	〃
⑥		給気消音器	55dB (A)	〃
⑦		給気ファン	2.2kW	〃
⑧		燃料小出槽	1950L (軽油)	〃
⑨		冷却水槽	2000L	〃
A	GP1	発電機盤		今回
B	GP2	自動始動盤		〃
C	GP3	始動用直流電源盤		〃
D	LG1	発電機電源分岐盤		〃

A-A 断面図



B-B 断面図

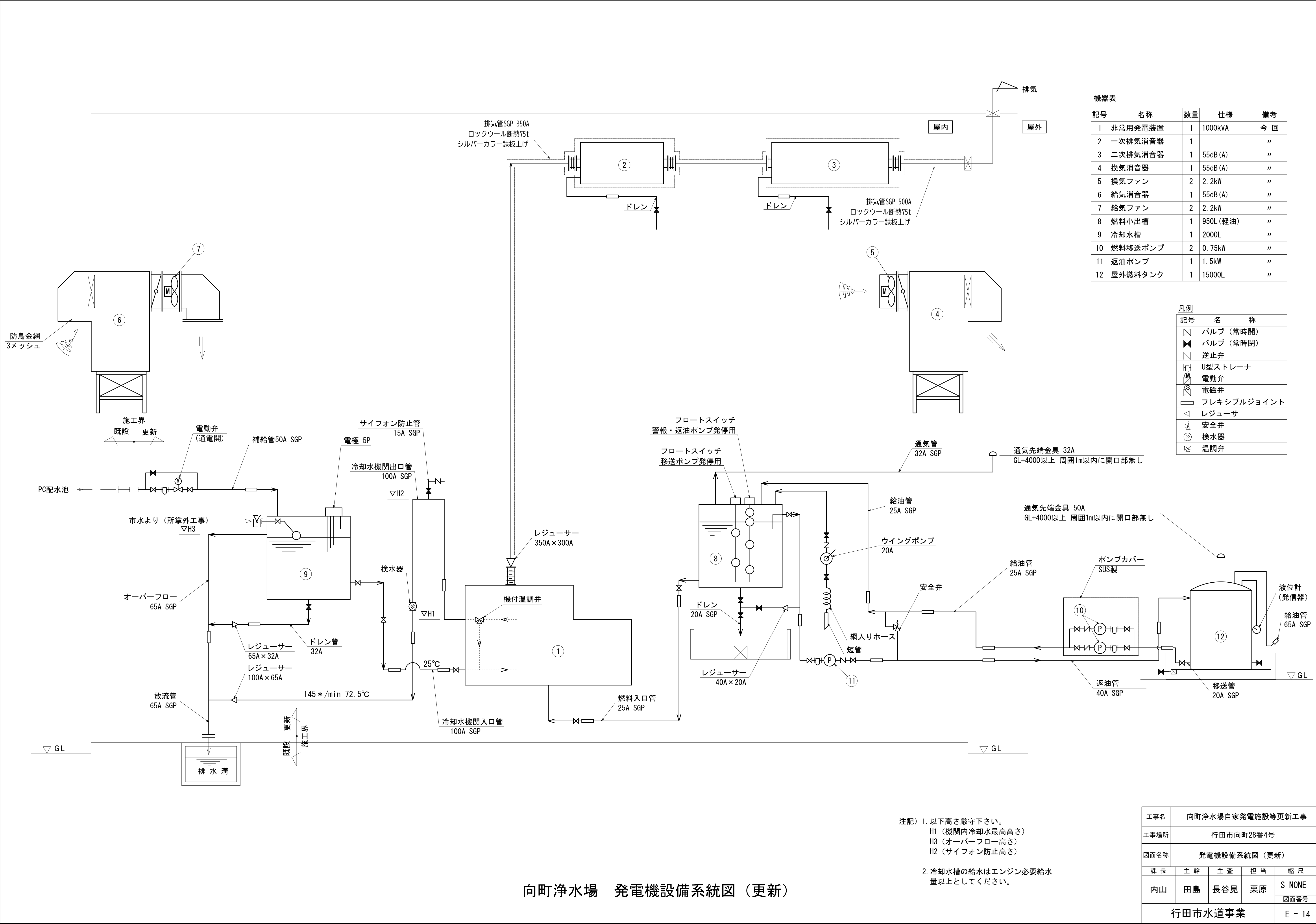


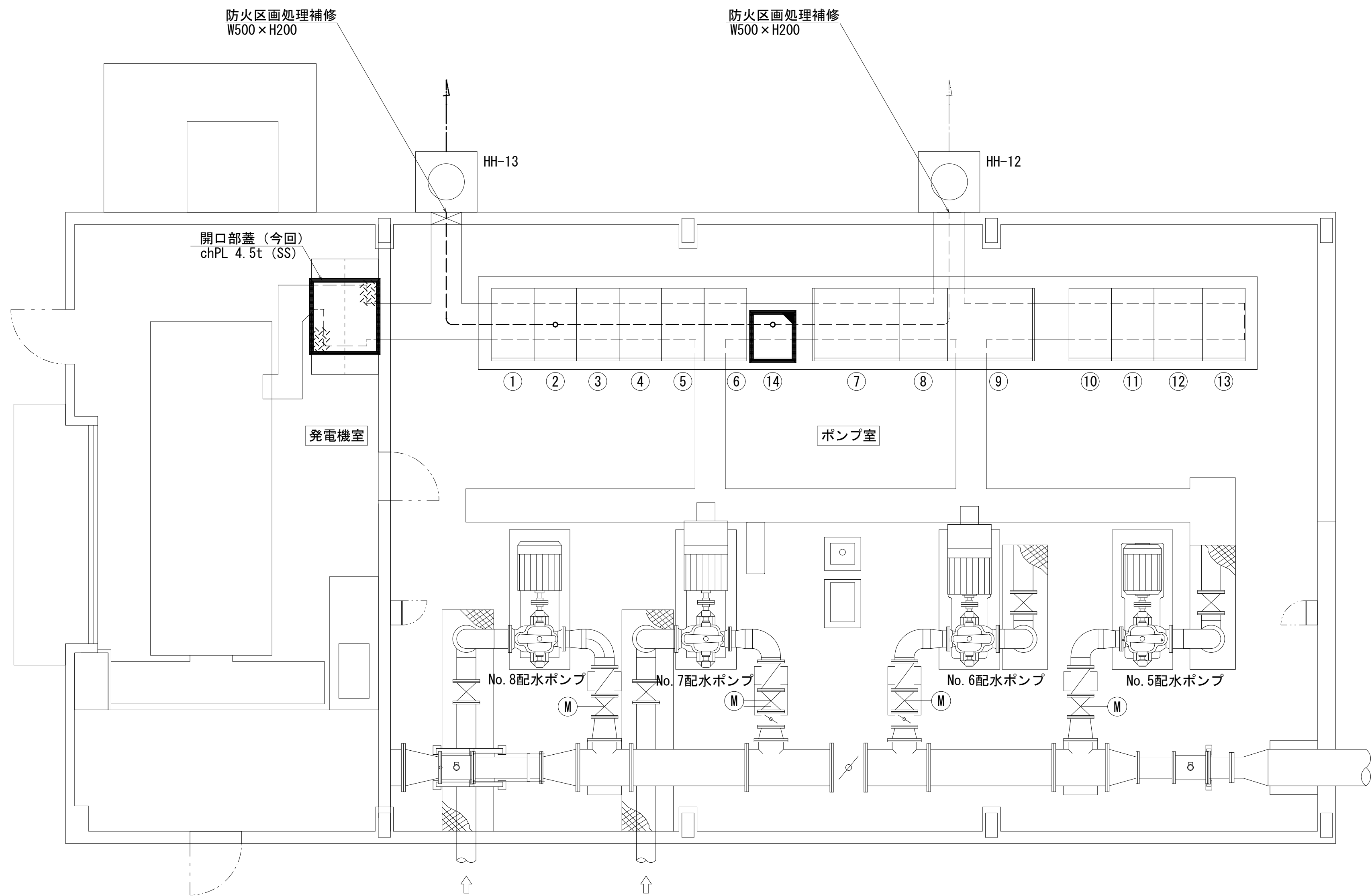
注記) 1.  は今回工事を示す。
2. その他は既設を示す。

向町浄水場 発電機室機器配置図 (更新)

S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	発電機室機器配置図 (更新)				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				E - 13	





機器名称表

番号	記 号	盤 名 称	備 考
①	H5A	電源引込盤	既 設
②	H6A-1	買電-自家発切換盤 (1)	〃
③	H6A-2	買電-自家発切換盤 (2)	〃
④	H6A-3	買電-自家発切換盤 (3)	〃
⑤	H7A	8号配水ポンプ補助継電器盤	〃
⑥	H8A	8号配水ポンプ盤	〃
⑦	HP27	7号配水ポンプ盤	〃
⑧	K21	計装盤	〃
⑨	HP26	6号配水ポンプ盤	〃
⑩	H16A	5号配水ポンプ盤	〃
⑪	H17A	5号配水ポンプ補助継電器盤	〃
⑫	H18A	補機電灯変圧器盤	〃
⑬	H19A	補機盤	〃
⑭	RI0-3	入出力盤 (3)	機能増設

注記) 1.  は機能増設を示す。
2. その他は既設を示す。

向町浄水場 2系ポンプ室平面図 (更新)

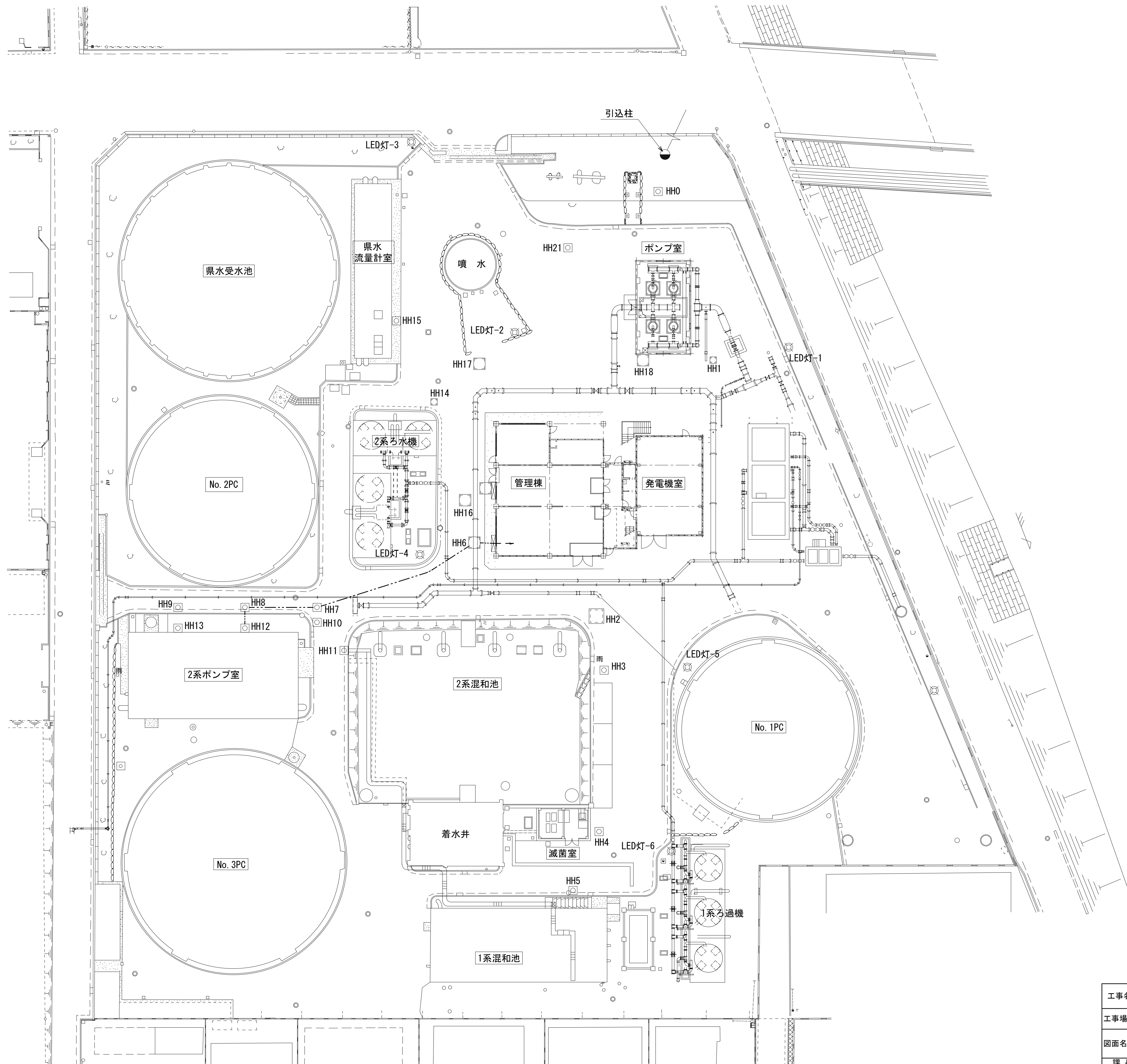
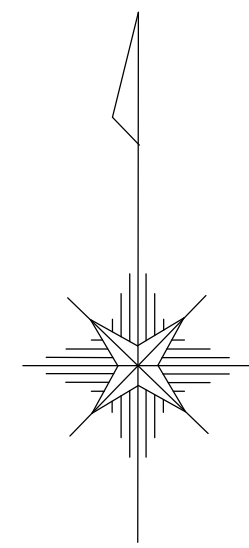
S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	2系ポンプ室平面図 (更新)				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長谷見	栗 原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				E - 15	

自		至		配 線 仕 様	接地線	電線管	電 路	備 考
記 号	名 称	記 号	名 称	種別・サイズ・芯数・本数				
GP1	発電機盤	H02	受電盤	CEE 1.25sq-2c				
"	"	RI0-2	入出力盤（2）	CEE 1.25sq-10c				
"	"	"	"	CEE-S 1.25sq-10c				
"	"		燃料小出槽フロートスイッチ	CEE 2sq-5c		G28		警報・返油ポンプ用
"	"		"	CEE 2sq-3c		G22		移送ポンプ用
"	"		冷却水槽水位電極	CEE 2sq-3c		G22		
"	"		給気ダンパ	CEE 2sq-2c		G22		
"	"		換気ダンパ	CEE 2sq-2c		G22		
"	"	GP2	自動始動盤	CEE 1.25sq-15c ×2				
"	"		自家発電装置	600V CE 5.5sq-2c				
"	"		"	CEE 2sq-10c				
"	"		"	CEE-S 2sq-2c ×4				
			屋外燃料タンク	CEE 2sq-5c		G28		
GP2	自動始動盤		自家発電装置	600V CE 250sq-1c ×12				
"	"	L12	補機変圧器盤	600V CET 38sq				
"	"	L13	電灯変圧器盤	600V CE 5.5sq-2c				
"	"	GP3	始動用直流電源盤	600V CE 8sq-3c				
"	"	"	"	CEE 2sq-2c				
"	"	DC-2	直流電源盤	600V CE 5.5sq-2c ×2				
"	"		No. 1給気ファン	600V CE 3.5sq-3c		G28		
"	"		No. 2給気ファン	600V CE 3.5sq-3c		G28		
"	"		No. 1換気ファン	600V CE 3.5sq-3c		G28		
"	"		No. 2換気ファン	600V CE 3.5sq-3c		G28		
"	"		燃料移送ポンプ	600V CE 5.5sq-3c ×2	IE 3.5sq ×2	G42		
"	"		返油ポンプ	600V CE 3.5sq-3c	IE 3.5sq	G28		
"	"		自家発電装置	600V CE 3.5sq-3c ×3				冷却水ヒータ×2、ブライミングポンプ
"	"		"	CEE 2sq-6c				冷却水温度スイッチ×2、潤滑油圧カスイッチ
"	"	RI0-1	入出力盤（1）	CEE 1.25sq-20c				
"	"	"	"	CEE 1.25sq-8c				
GP3	始動用直流電源盤		自家発電装置	600V CE 200sq-1c ×2				
LG1	発電機電源分岐盤	L11	切換盤	600V CE 250sq-1c ×6				
	"	H6A-1	買電-自家発切換盤(1)	600V CE 325sq-1c ×6			FEP125×2	
L11	切換盤		3,4号配水ポンプ電源切換盤	600V CE 100sq-1c ×6				
	3,4号配水ポンプ電源切換盤	HP13	3号配水ポンプ盤	600V CE 100sq-1c ×3				
	"	HP14	4号配水ポンプ盤	600V CE 100sq-1c ×3				

配線表（更新）

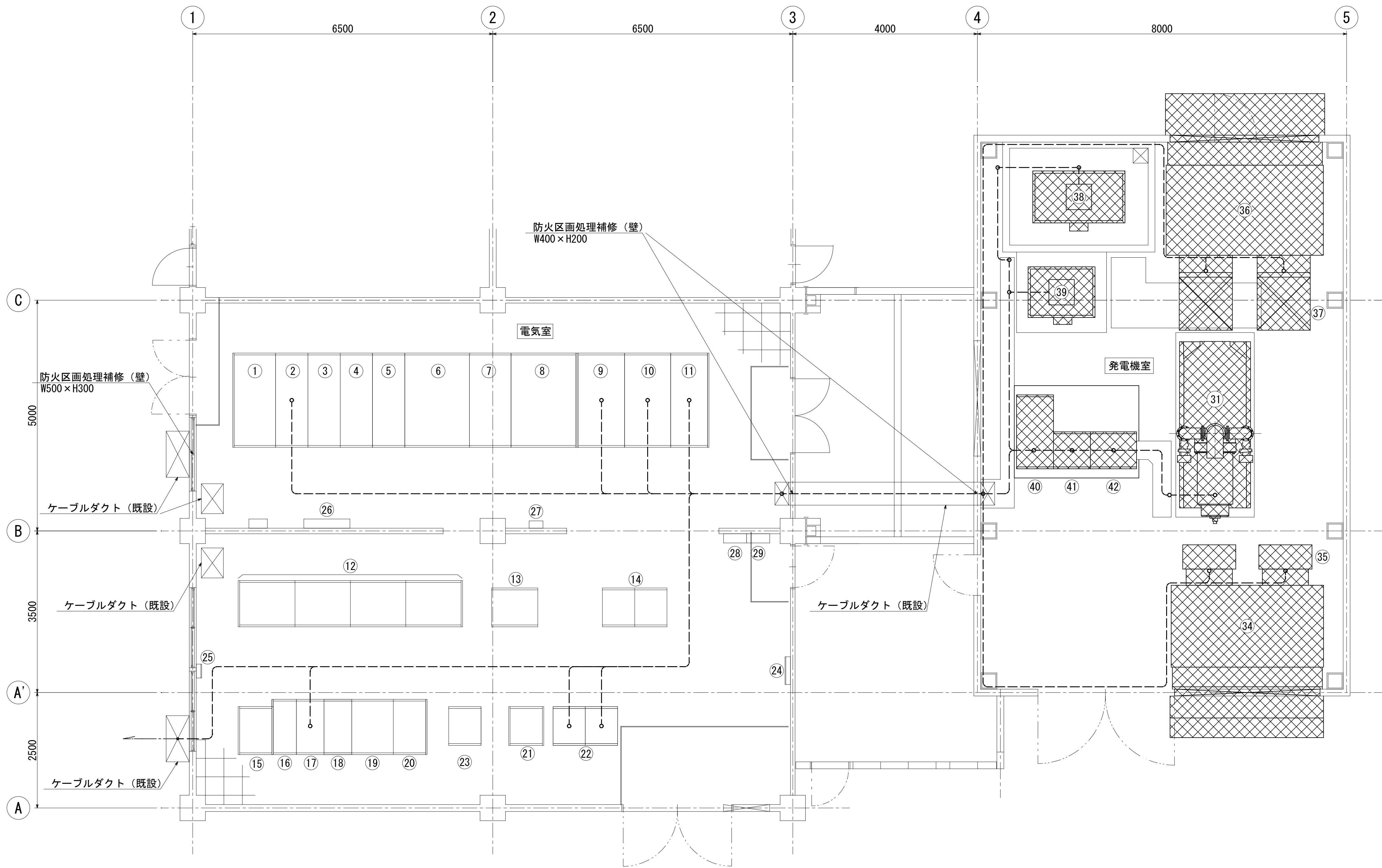
工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	配線表（更新）				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=NONE	
行田市水道事業					図面番号
					E - 16



向町浄水場 全体平面図（撤去）

S=1/250 (A1)
S=1/500 (A3)

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	全体平面図（撤去）				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/250	
				図面番号	
行田市水道事業				E - 17	



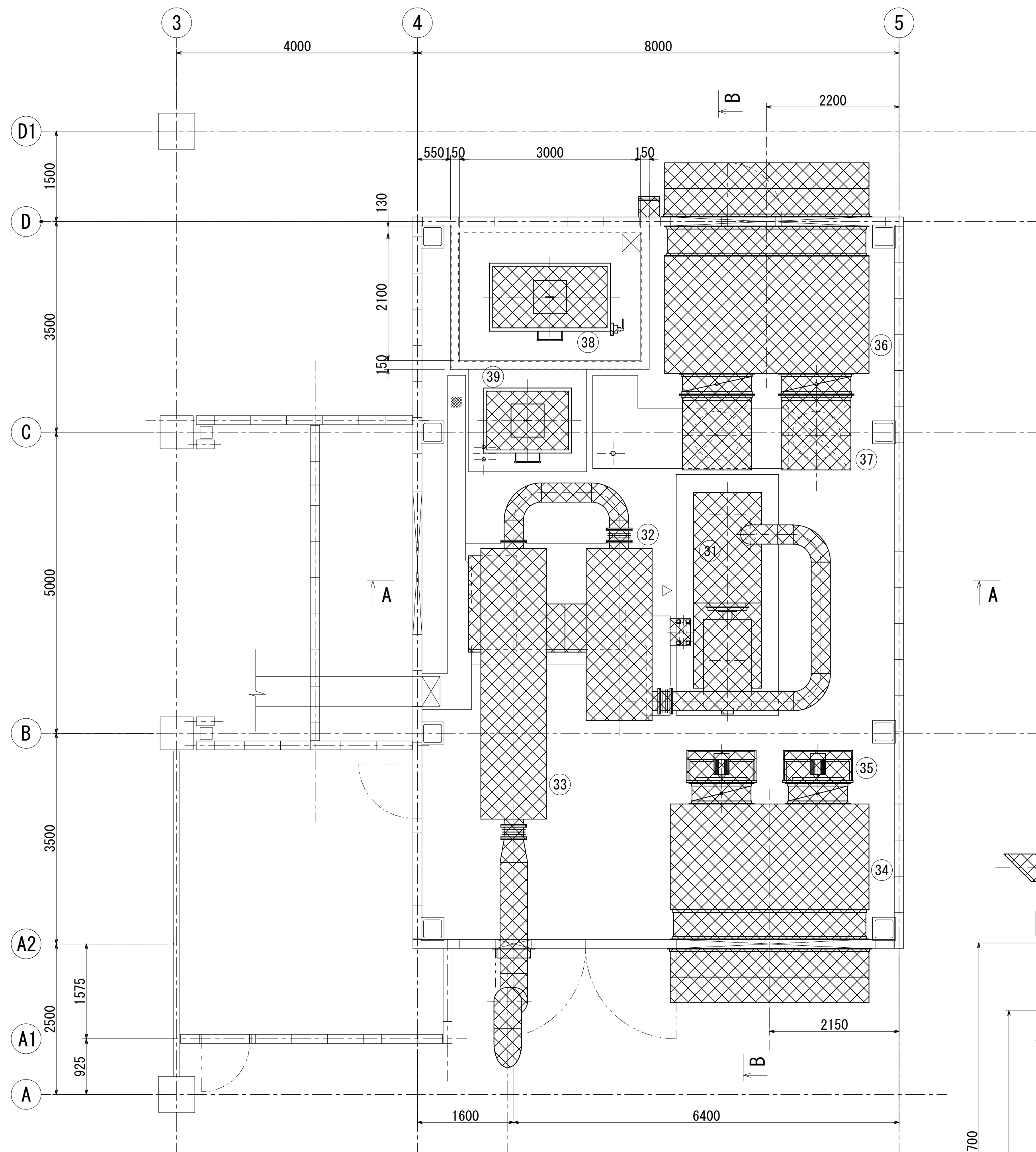
電気室機器名称表

番号	記 号	盤 名 称	備 考
①	H01	引込盤	既 設
②	H02	受電盤	〃
③	H03	1/2変圧器1次盤	〃
④	H04	1号コンデンサ盤	〃
⑤	H05	2号コンデンサ盤	〃
⑥	H06	1系変圧器盤	〃
⑦	H07	変圧器二次盤	〃
⑧	H08	2系変圧器盤	〃
⑨	L11	切換盤	〃
⑩	L12	補機変圧器盤	〃
⑪	L13	電灯変圧器盤	〃
⑫	HP11/14	1～4号配水ポンプ盤	〃
⑬	KH1	計装変換器盤	〃
⑭	RY1/2	補助継電器盤 (1) (2)	〃
⑮	L14	県水・電灯切換盤	〃
⑯	CVCF-2	出力盤	〃
⑰	CVCF-1	インバータ盤	〃
⑱	DC-3	直流電源入力盤	〃
⑲	DC-2	直流電源盤	〃
⑳	DC-1	蓄電池盤	〃
㉑	LB1	中継端子盤	〃
㉒	RI0-1/2	入出力盤	〃
㉓	PCS1	プロセスコントローラ盤	〃
㉔		接地端子盤	〃
㉕		接地端子盤	〃
㉖	LB2	中継端子盤	〃
㉗		端子盤	〃
㉘		P-1	〃
㉙		1L-1	〃

発電機室機器名称表

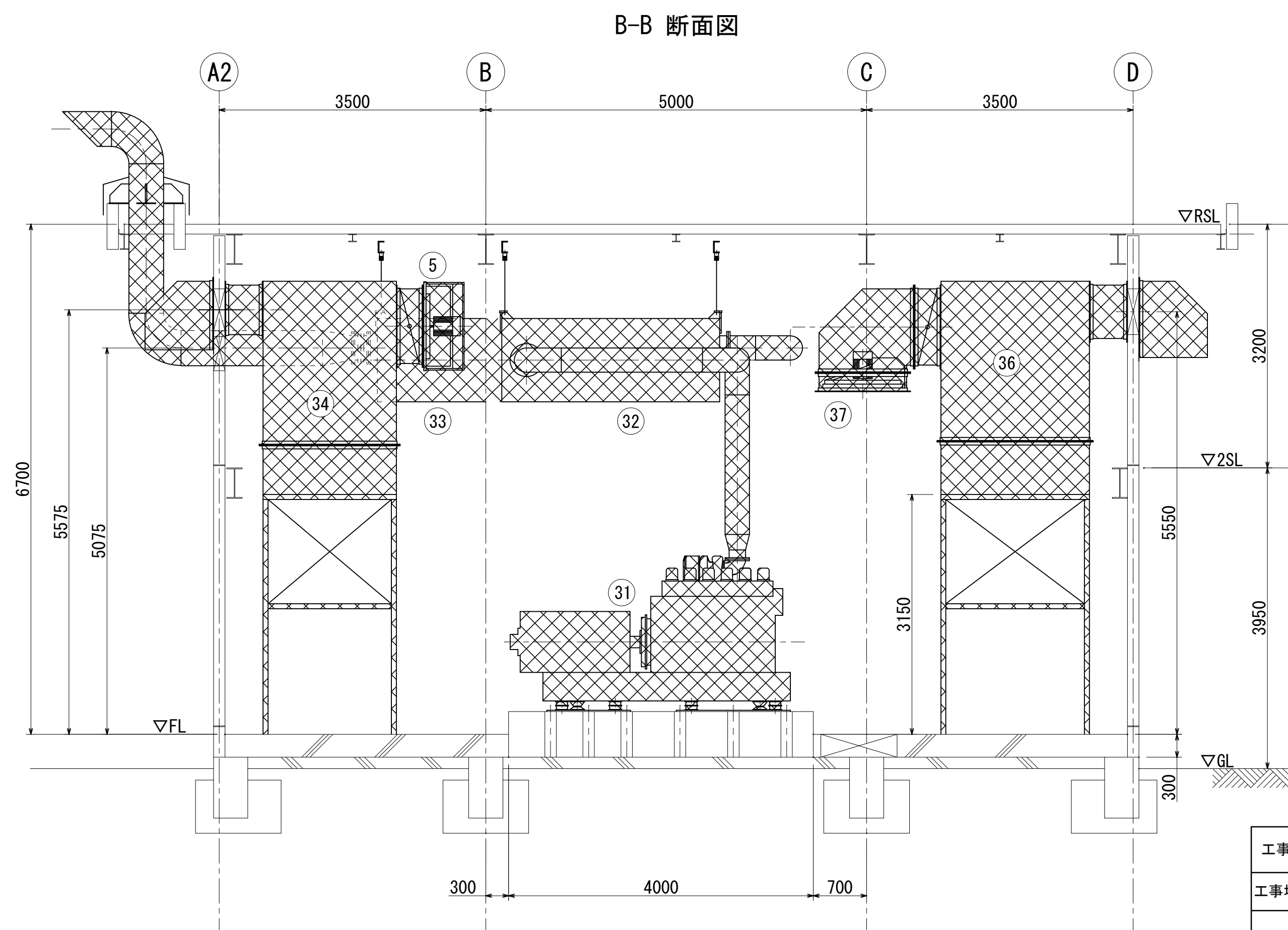
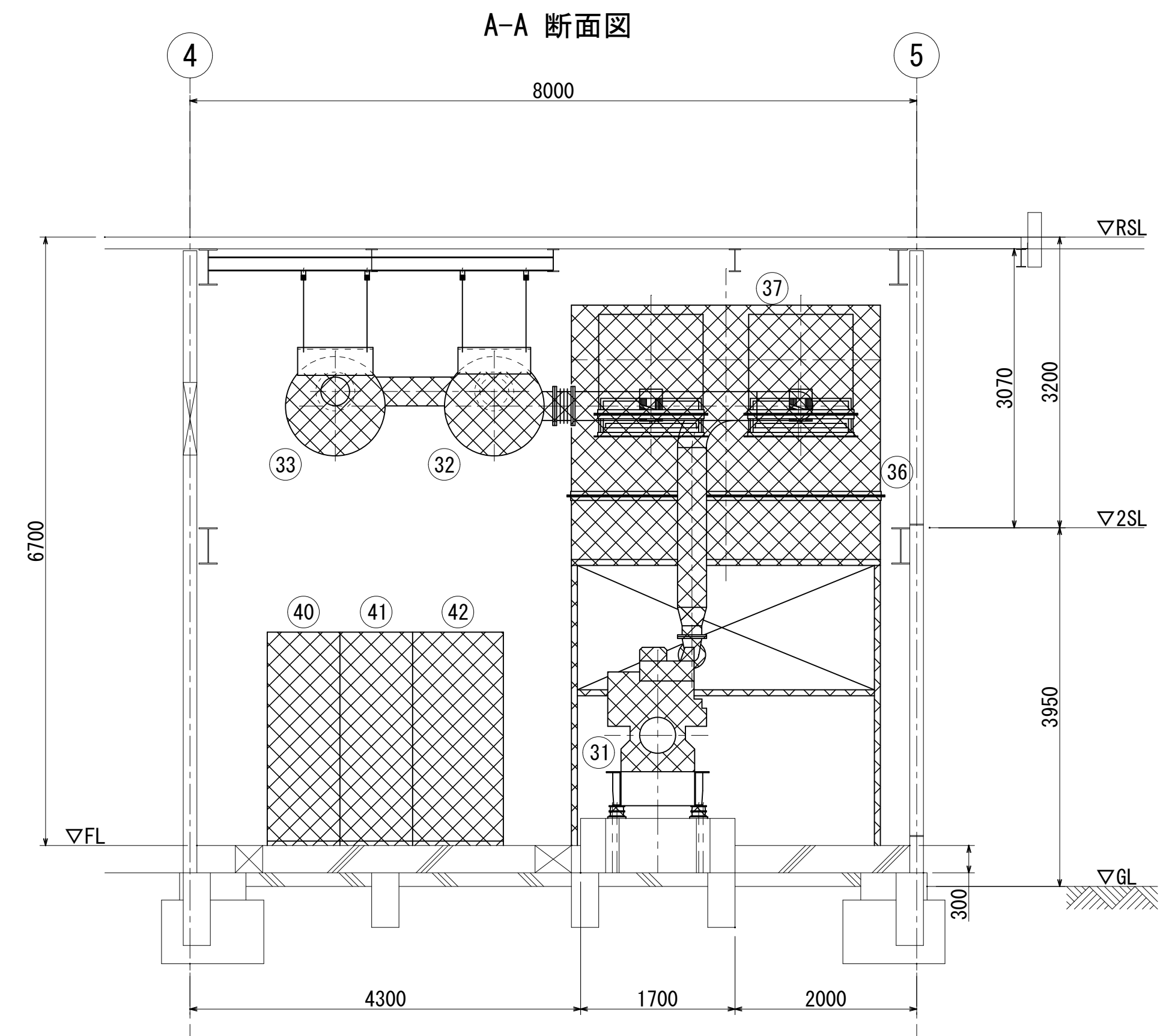
番号	記 号	盤 名 称	備 考
31		ディーゼル発電装置 625kVA	撤 去
32		一次排気消音器	〃
33		二次排気消音器	〃
34		換気消音器	〃
35		換気ファン	〃
36		給気消音器	〃
37		給気ファン	〃
38		燃料小出槽	〃
39		冷却水槽	〃
40	GP1	自動始動発電機盤	〃
41	GP2	発電機補機盤	〃
42	GP3	始動用直流電源盤	〃

注記) 1.  は今回撤去を示す。
2. その他は既設を示す。



発電機室機器名称表

番号	記号	盤名称	備考
31		ディーゼル発電装置 625kVA	撤去
32		一次排気消音器	"
33		二次排気消音器	"
34		換気消音器	"
35		換気ファン	"
36		給気消音器	"
37		給気ファン	"
38		燃料小出槽	"
39		冷却水槽	"
40	GP1	自動始動発電機盤	"
41	GP2	発電機補機盤	"
42	GP3	始動用直流電源盤	"

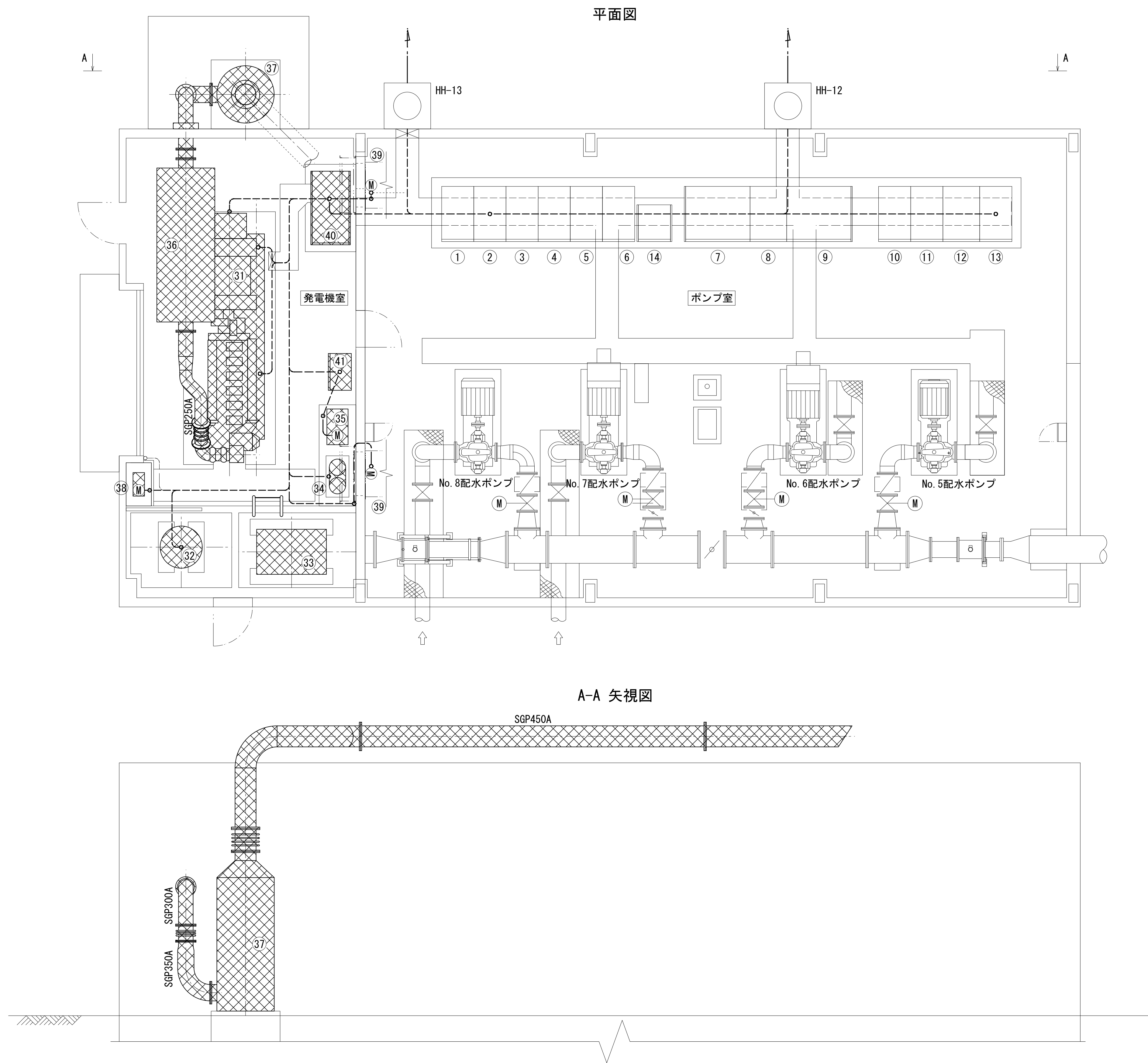


注記) 1.  は今回撤去を示す。
2. その他は既設を示す。

向町浄水場 発電機室機器配置図（撤去）

S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	発電機室機器配置（撤去）				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				E - 19	



ポンプ室機器名称表

番号	記 号	盤 名 称	備 考
①	H5A	電源引込盤	既 設
②	H6A-1	買電-自家発切換盤 (1)	〃
③	H6A-2	買電-自家発切換盤 (2)	〃
④	H6A-3	買電-自家発切換盤 (3)	〃
⑤	H7A	8号配水ポンプ補助継電器盤	〃
⑥	H8A	8号配水ポンプ盤	〃
⑦	HP27	7号配水ポンプ盤	〃
⑧	K21	計装盤	〃
⑨	HP26	6号配水ポンプ盤	〃
⑩	H16A	5号配水ポンプ盤	〃
⑪	H17A	5号配水ポンプ補助継電器盤	〃
⑫	H18A	補機電灯変圧器盤	〃
⑬	H19A	補機盤	〃
⑭	R10-3	入出力盤 (3)	〃

発電機室機器名称表

番号	記 号	盤 名 称	備 考
①	①	ディーゼル発電装置 600kVA	撤 去
②	②	燃料小出槽	〃
③	③	冷却水槽	〃
④	④	始動空気槽	〃
⑤	⑤	空気圧縮機	〃
⑥	⑥	No. 1排気消音器	〃
⑦	⑦	No. 2排気消音器	〃
⑧	⑧	燃料移送ポンプ	〃
⑨	⑨	換気扇	〃
⑩	L1	自動始動発電機盤	〃
⑪	L2	補機盤	〃

注記) 1. は今回撤去を示す。
2. その他は既設を示す。

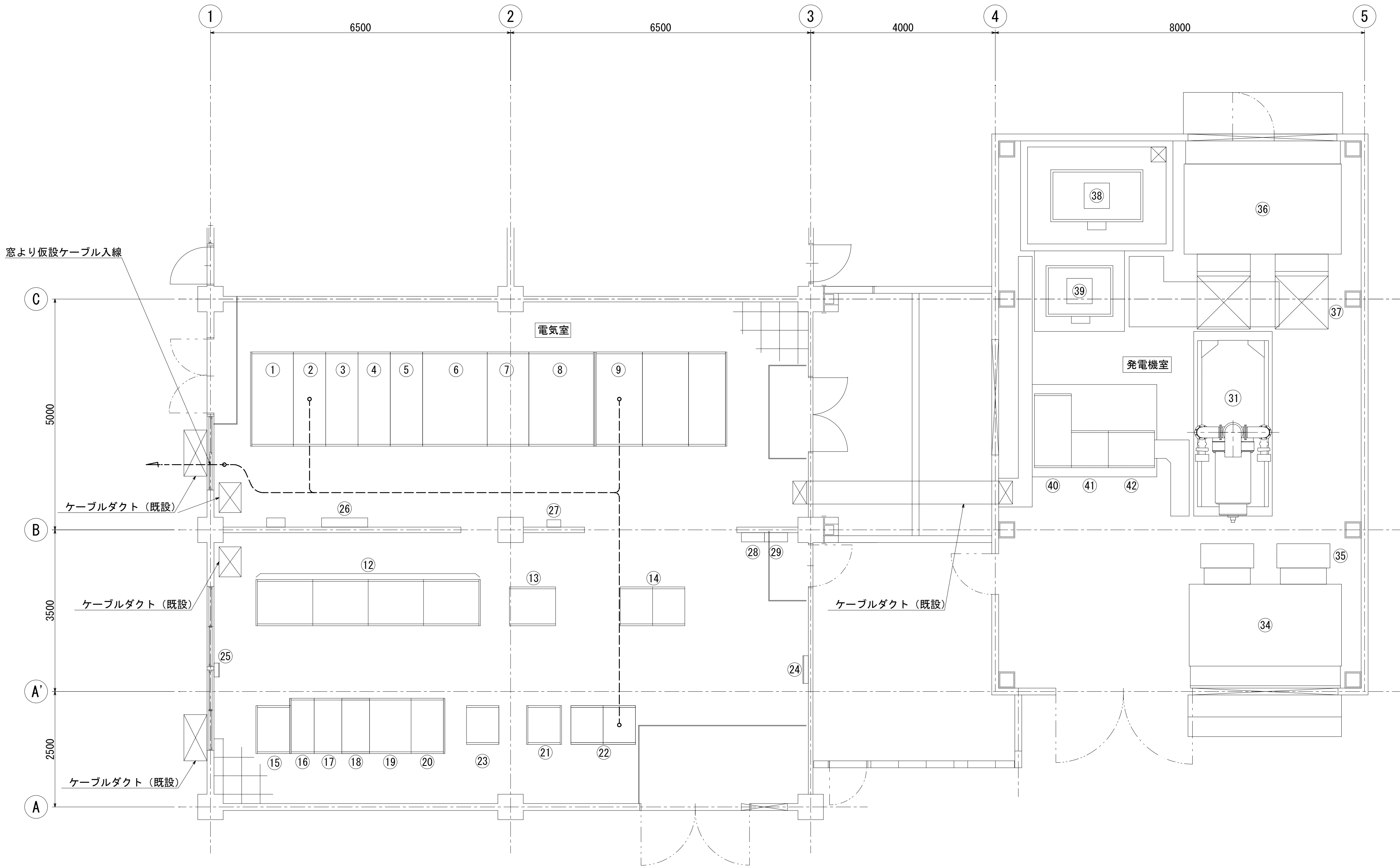
工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	2系ポンプ室平面図（撤去）				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長谷見	栗 原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				E - 20	

2系								
自		至		配 線 仕 様	接地線	電線管	電 路	備 考
記 号	名 称	記 号	名 称	種別・サイズ・芯数・本数				
GP1	自動始動発電機盤	H02	受電盤	CVV 2sq-2c				
〃	〃	L11	切換盤	600V CV 250sq-1c ×6				
〃	〃	RI0-1	入出力盤（1）	CEE 1. 25sq-20c				
〃	〃	〃	〃	CEE 1. 25sq-8c				
〃	〃	RI0-2	入出力盤（2）	CEE 1. 25sq-10c				
〃	〃	〃	〃	CEE-S 1. 25sq-10c				
〃	〃	DC-2	直流電源盤	600V CE 5. 5sq-2c ×2				
〃	〃		自家発電装置	600V CV 8sq-2c				
〃	〃		〃	CVV 2sq-2c ×4				
〃	〃		〃	CVV-S 2sq-2c				
〃	〃		燃料小出槽フロートスイッチ	CVV 2sq-5c				
〃	〃		冷却水槽電極	CVV 2sq-3c				
〃	〃		給気ダンパ	CVV 2sq-2c				
〃	〃		換気ダンパ	CVV 2sq-2c				
〃	〃	GP2	発電機補機盤	600V CV 3. 5sq-2c ×3				
〃	〃	〃	〃	CVV 2sq-15c ×2				
〃	〃	GP3	始動用直流電源盤	CVV 2sq-2c				
GP2	発電機補機盤	L12	補機変圧器盤	600V CVT 38sq				
〃	〃	L13	電灯変圧器盤	600V CV 5. 5sq-2c				
〃	〃	GP3	始動用直流電源盤	600V CV 8sq-3c				
〃	〃	〃	〃	600V CV 5. 5sq-2c				
〃	〃	〃	〃	600V CV 3. 5sq-2c				
〃	〃		自家発電装置	600V CV 8sq-2c				
〃	〃		〃	600V CV 5. 5sq-3c ×2				
〃	〃		〃	600V CV 3. 5sq-3c ×2				
〃	〃		〃	CVV 2sq-6c				
〃	〃		〃	CVV 2sq-2c ×2				
〃	〃		燃料移送ポンプ	600V CV 3. 5sq-3c ×2				
〃	〃		No. 1給気ファン	600V CV 3. 5sq-3c				
〃	〃		No. 2給気ファン	600V CV 3. 5sq-3c				
〃	〃		No. 1換気ファン	600V CV 3. 5sq-3c				
〃	〃		No. 2換気ファン	600V CV 3. 5sq-3c				
GP3	始動用直流電源盤		自家発電装置	600V CV 200sq-1c ×2				

2系								
自		至		配 線 仕 様	接地線	電線管	電 路	備 考
記 号	名 称	記 号	名 称	種別・サイズ・芯数・本数				
L1	自動始動発電機盤	H6A-1	買電-自家発切換盤(1)	600V CV 325sq-1c ×6				
〃	〃	H19A	補機盤	600V CV 2sq-2c				
〃	〃		補機電源	600V CV 5. 5sq-3c				
〃	〃		ディーゼル発電装置	600V CV 325sq-1c ×6				
〃	〃		〃	600V CV 5. 5sq-2c				
〃	〃		〃	CVV 2sq-10c				
〃	〃		〃	CVV 2sq-2c ×4				
〃	〃	L2	補機盤	600V CV 22sq-3c				
〃	〃	〃	〃	CVV 2sq-5c				
〃	〃	RI0-3	入出力盤（3）	600V CE 3. 5sq-3c ×2				
〃	〃	〃	〃	CEE-S 1. 25sq-10c ×2				
〃	〃	DC-2	直流電源盤	600V CE 8sq-2c				
〃	〃	〃	〃	600V CE 5. 5sq-2c				
L2	補機盤		吸気換気扇	600V CV 8sq-3c				
〃	〃		排気換気扇	600V CV 8sq-3c				
〃	〃		空気圧縮機	600V CV 2sq-3c				
〃	〃		燃料移送ポンプ	600V CV 2sq-3c				
〃	〃		潤滑油ブライミングポンプ	600V CV 2sq-3c				
〃	〃		温水循環ポンプ	600V CV 2sq-3c				
〃	〃		温水循環ポンプヒータ	600V CV 2sq-3c				
〃	〃		燃料小出槽液面計	CVV 2sq-5c				

配線表（撤去）

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	配線表（撤去）				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=NONE	
					図面番号
行田市水道事業					E - 21



電気室機器名称表

番号	記 号	盤 名 称	備 考
①	H01	引込盤	既 設
②	H02	受電盤	〃
③	H03	1/2変圧器1次盤	〃
④	H04	1号コンデンサ盤	〃
⑤	H05	2号コンデンサ盤	〃
⑥	H06	1系変圧器盤	〃
⑦	H07	変圧器二次盤	〃
⑧	H08	2系変圧器盤	〃
⑨	L11	切換盤	〃
⑩	L12	補機変圧器盤	〃
⑪	L13	電灯変圧器盤	〃
⑫	HP11/14	1～4号配水ポンプ盤	〃
⑬	KH1	計装変換器盤	〃
⑭	RY1/2	補助継電器盤 (1) (2)	〃
⑮	L14	県水・電灯切換盤	〃
⑯	CVCF-2	出力盤	〃
⑰	CVCF-1	インバータ盤	〃
⑱	DC-3	直流電源入力盤	〃
⑲	DC-2	直流電源盤	〃
⑳	DC-1	蓄電池盤	〃
㉑	LB1	中継端子盤	〃
㉒	RI0-1/2	入出力盤	〃
㉓	PCS1	プロセスコントローラ盤	〃
㉔		接地端子盤	〃
㉕		接地端子盤	〃
㉖	LB2	中継端子盤	〃
㉗		端子盤	〃
㉘		P-1	〃
㉙		1L-1	〃

発電機室機器名称表

番号	記 号	盤 名 称	備 考
③①		ディーゼル発電装置 625kVA	既 設
③②		一次排気消音器	〃
③③		二次排気消音器	〃
③④		換気消音器	〃
③⑤		換気ファン	〃
③⑥		給気消音器	〃
③⑦		給気ファン	〃
③⑧		燃料小出槽	〃
③⑨		冷却水槽	〃
④①	GP1	自動始動発電機盤	〃
④②	GP2	発電機補機盤	〃
④③	GP3	始動用直流電源盤	〃

注記) 1. 仮設ケーブル入線箇所について、
雨等が入ることが無いよう養生を行うこと。

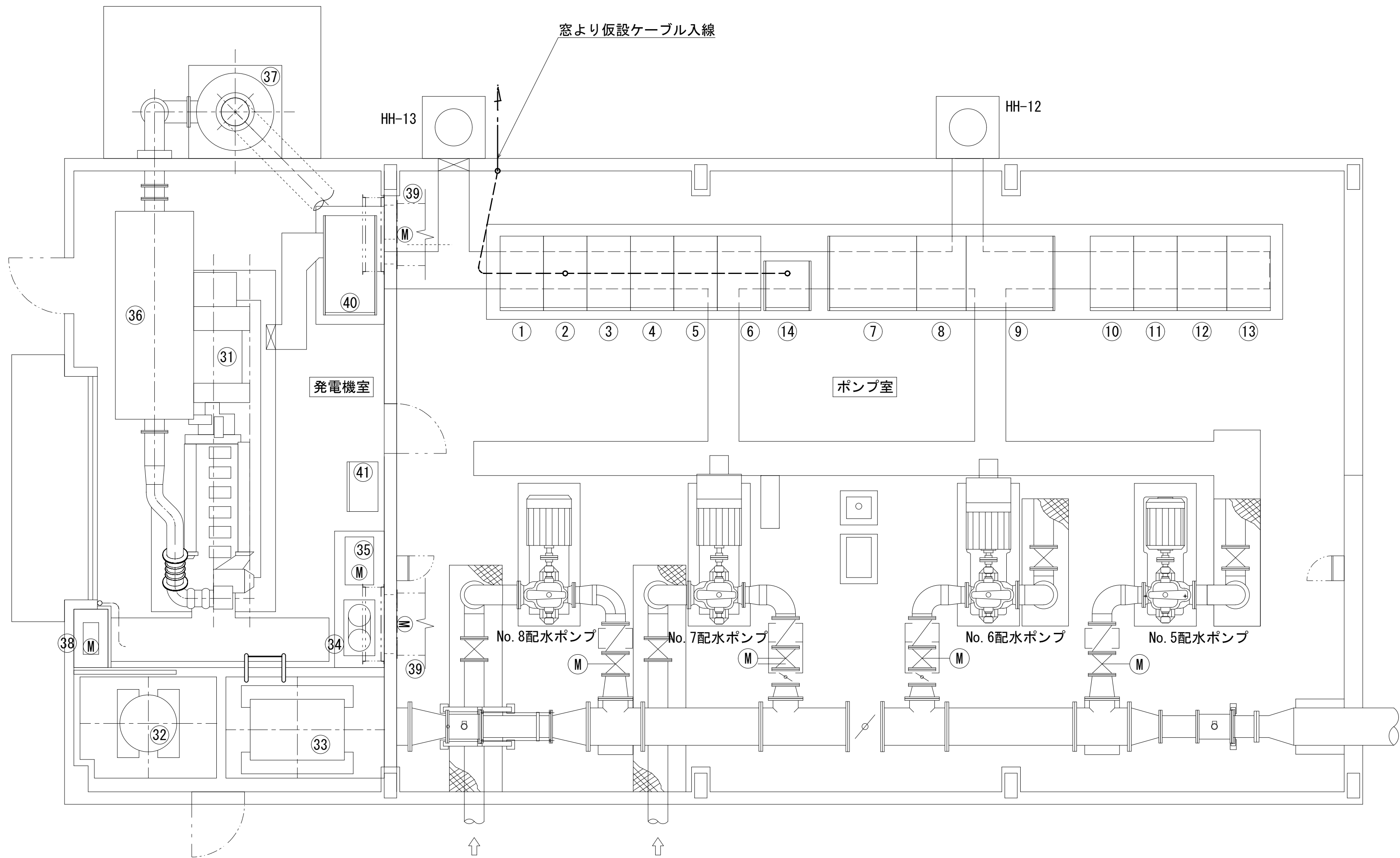
配線表 (仮設)

自		至		配 線 仕 様	接地線	電線管	電 路	備 考
記 号	名 称	記 号	名 称	種別・サイズ・芯数・本数				
	1系仮設自家発電装置	L11	切換盤	600V CE 250sq-1c ×6			FEP100×2	
	〃		C種接地幹線	IE 60sq				
	〃	H02	受電盤	CEE 2sq-2c			FEP40	
	〃	RI0-1	入出力盤 (1)	CEE 2sq-10c				
	〃							

向町浄水場 管理棟1階平面図 (仮設)

S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	管理棟 1 階平面図 (仮設)				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長 谷 見	栗 原	S=1/50	
					図面番号
行田市水道事業					E - 23



ポンプ室機器名称表

番号	記 号	盤 名 称	備 考
①	H5A	電源引込盤	既 設
②	H6A-1	買電-自家発切換盤 (1)	〃
③	H6A-2	買電-自家発切換盤 (2)	〃
④	H6A-3	買電-自家発切換盤 (3)	〃
⑤	H7A	8号配水ポンプ補助継電器盤	〃
⑥	H8A	8号配水ポンプ盤	〃
⑦	HP27	7号配水ポンプ盤	〃
⑧	K21	計装盤	〃
⑨	HP26	6号配水ポンプ盤	〃
⑩	H16A	5号配水ポンプ盤	〃
⑪	H17A	5号配水ポンプ補助継電器盤	〃
⑫	H18A	補機電灯変圧器盤	〃
⑬	H19A	補機盤	〃
⑭	R10-3	入出力盤 (3)	〃

発電機室機器名称表

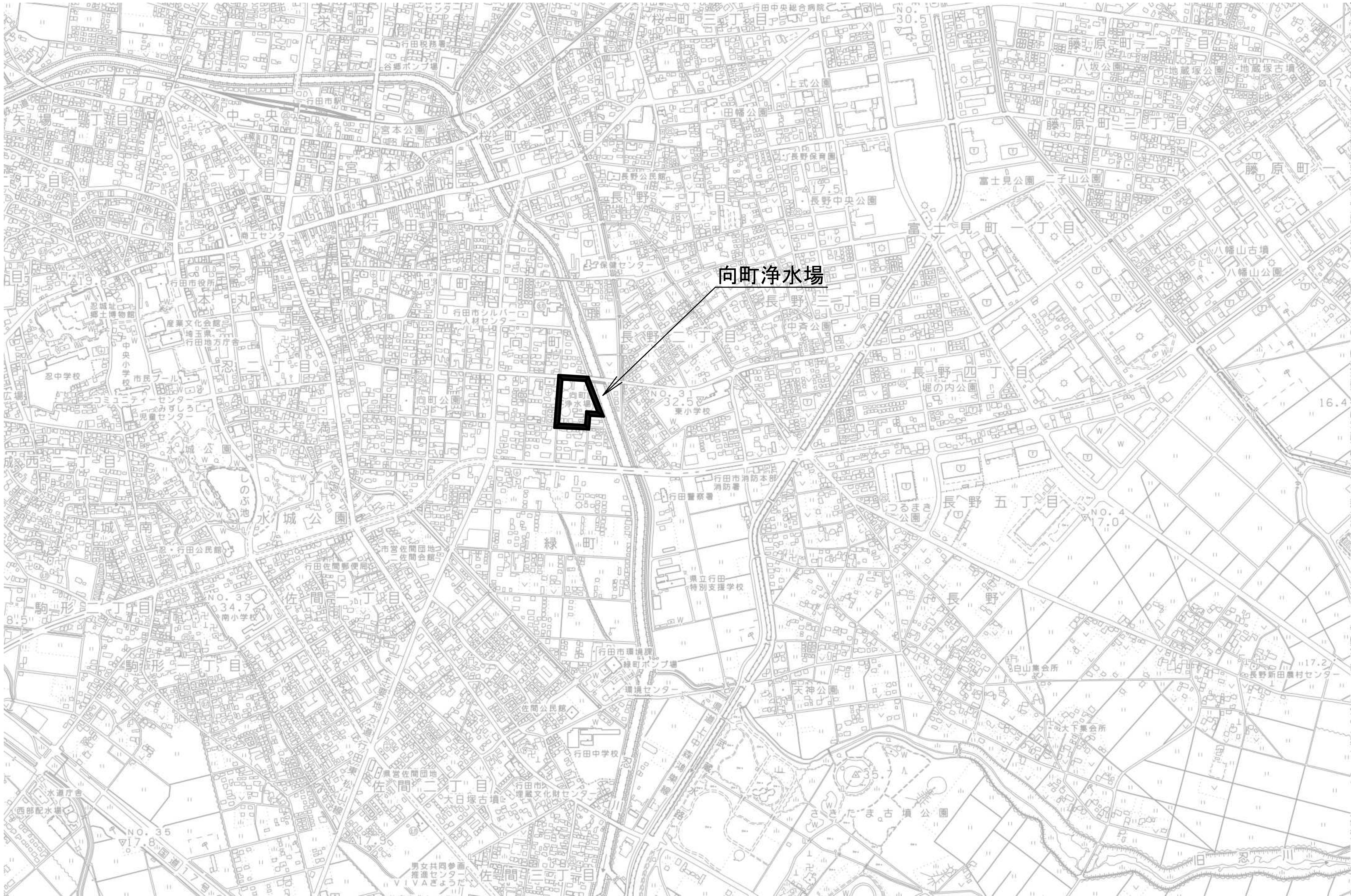
番号	記 号	盤 名 称	備 考
③①		ディーゼル発電装置 600kVA	既 設
③②		燃料小出槽	〃
③③		冷却水槽	〃
③④		始動空気槽	〃
③⑤		空気圧縮機	〃
③⑥		No. 1排気消音器	〃
③⑦		No. 1排気消音器	〃
③⑧		燃料移送ポンプ	〃
③⑨		換気扇	〃
④⑩	L1	自動始動発電機盤	〃
④⑪	L2	補機盤	〃

配線表（仮設）

自		至		配 線 仕 様	接地線	電線管	電 路	備 考
記 号	名 称	記 号	名 称	種別・サイズ・芯数・本数				
	2系仮設自家発電装置	H6A-1	買電-自家発切換盤 (1)	600V CE 100sq-1c ×6			FEP65×2	
	〃		C種接地幹線	IE 38sq				
	〃	R10-3	入出力盤 (3)	CEE 2sq-10c			FEP30	

注記) 1. 仮設ケーブル入線箇所について、
雨等が入ることが無いよう養生を行うこと。

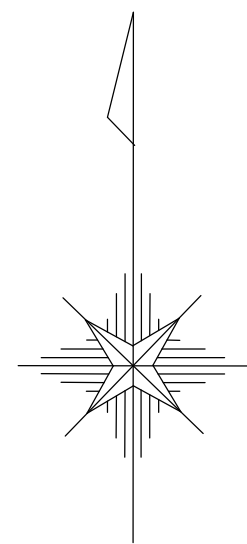
現場案内図 S=NONE



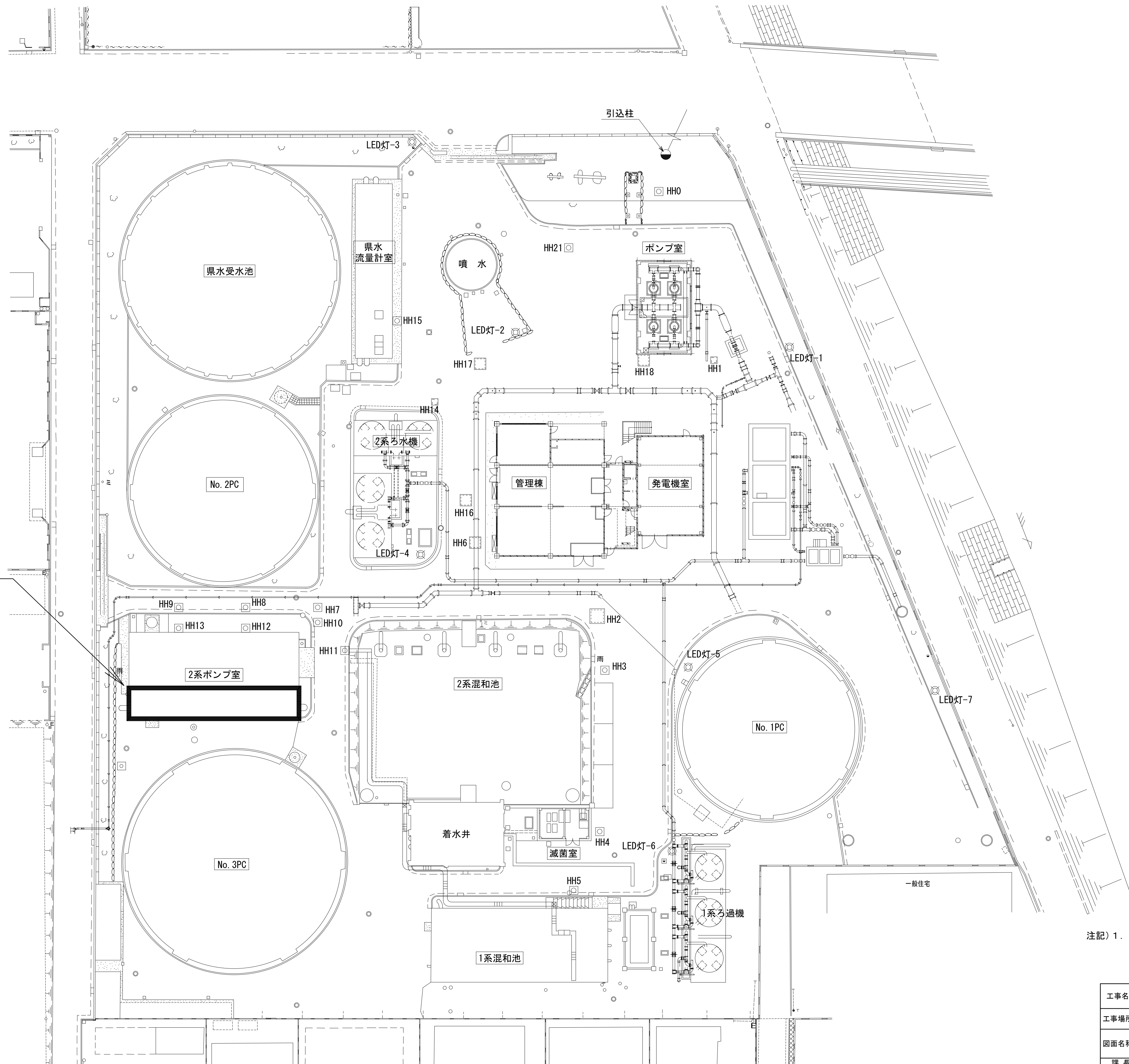
注 記)

1.  は今回工事範囲を示す。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	現場案内図				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長 谷 見	栗 原	S=NONE	
					図面番号
行田市水道事業					M -00



対象施設



注記) 1. 部は今回工事箇所を示す。

向町浄水場 一般平面図

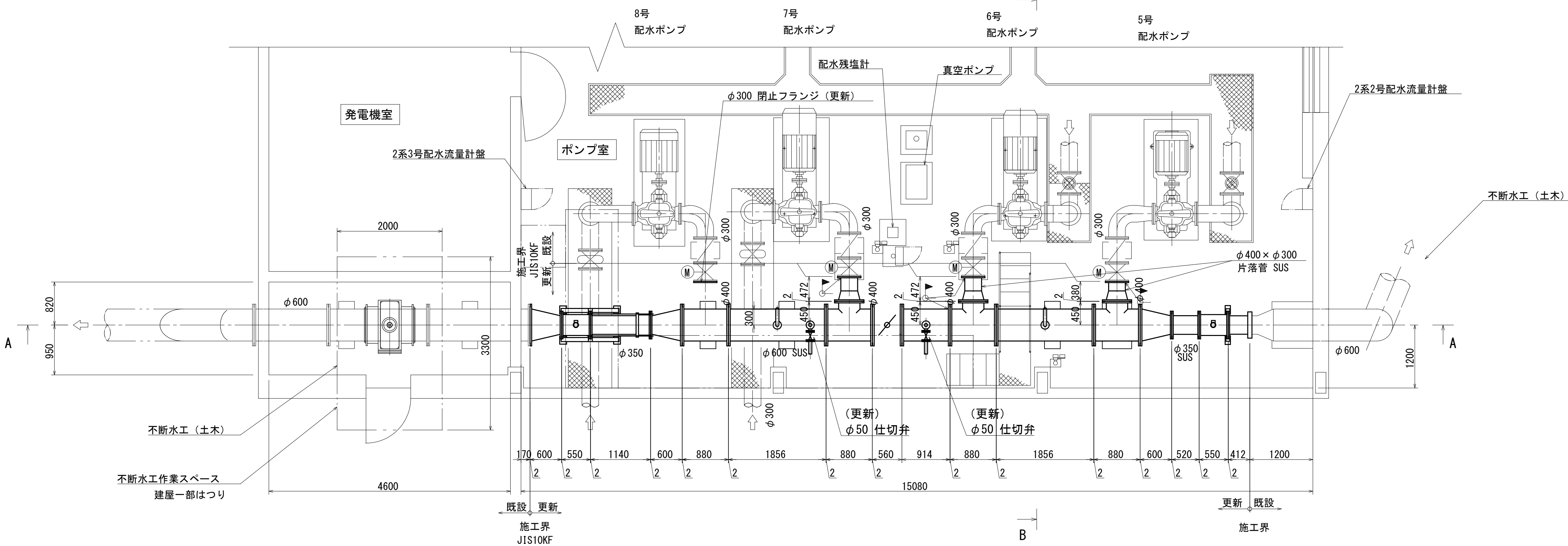
S=1/250 (A1)
S=1/500 (A3)

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	一般平面図				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/250	
				図面番号	
行田市水道事業				M - 01	

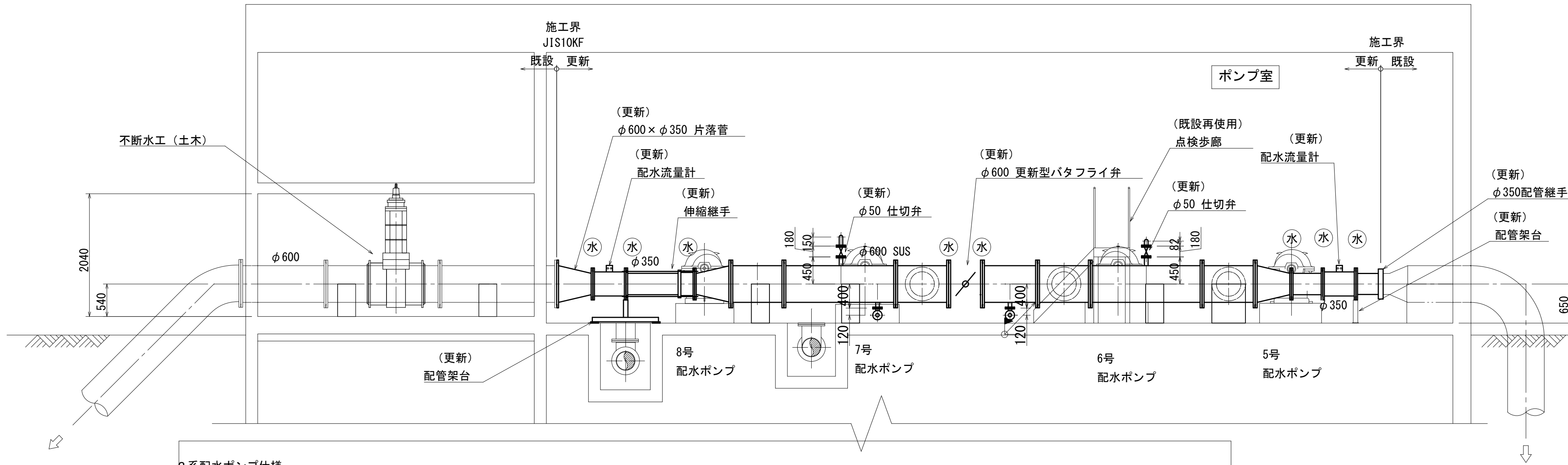
向町浄水場 2 系ポンプ室更新図

A1:S=1/50
A3:S=1/100

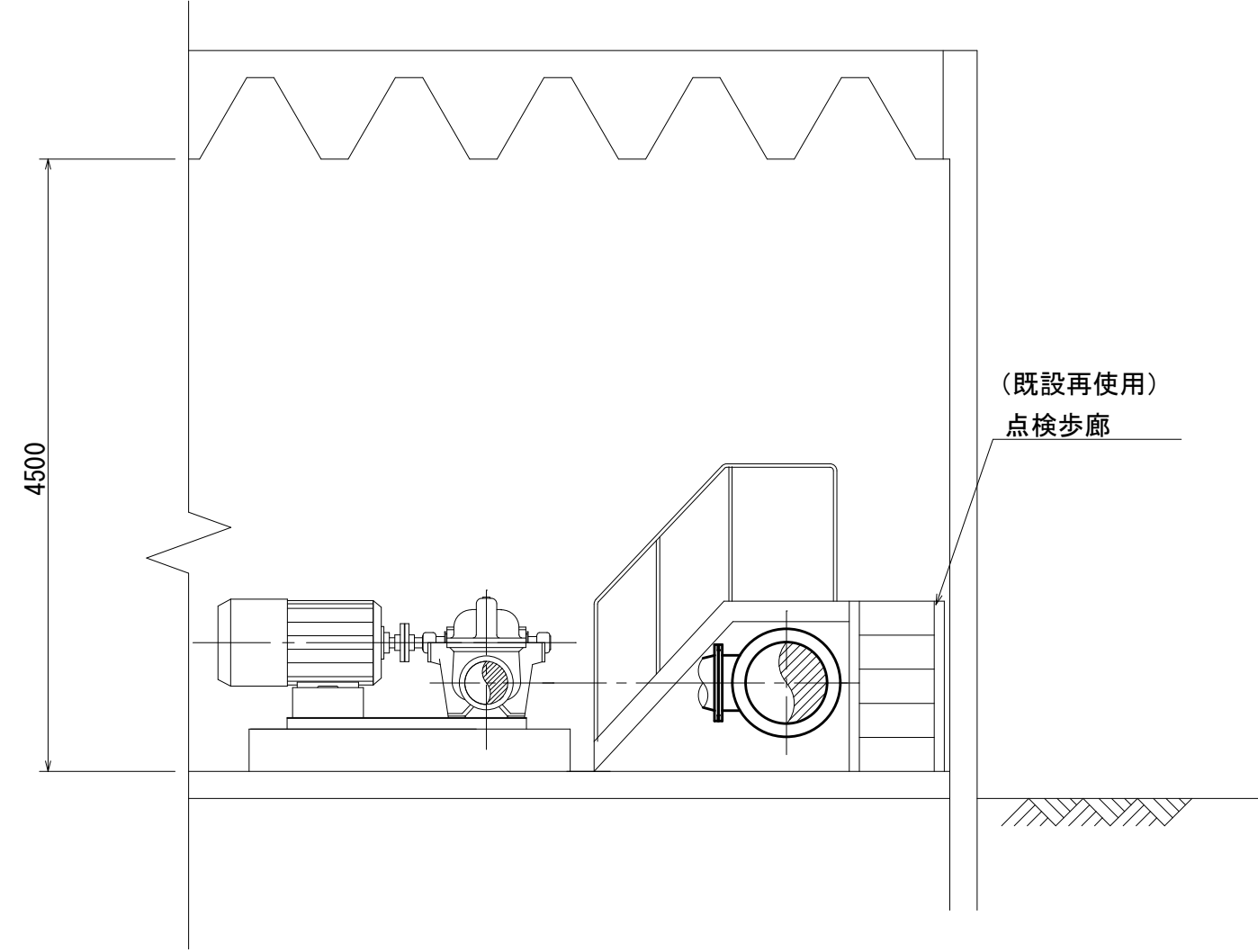
平面図



A-A 断面図



B-B 断面図



2 系配水ポンプ仕様

名 称	5 号配水ポンプ	6 号配水ポンプ	7 号配水ポンプ	8 号配水ポンプ	5～8 号吐出電動弁	真空ポンプ
型 式	両吸込渦巻ポンプ	両吸込渦巻ポンプ	両吸込渦巻ポンプ	両吸込渦巻ポンプ	外ねじ式電動仕切弁	
仕 様	φ300×φ250mm 11m ³ /min×42m 4P×110kW	φ300×φ250mm 11.3m ³ /min×42m 4P×110kW	φ300×φ250mm 11.3m ³ /min×42m 4P×110kW	φ300×φ250mm 11m ³ /min×42m 4P×110kW	φ300mm 1.5kW	φ20mm 0.29m ³ /min×-54kPa 4P×0.75kW
電源・電圧	3φ400V-50Hz	3φ400V-50Hz	3φ400V-50Hz	3φ400V-50Hz	3φ400V-50Hz	
備 考	固定速機	V V V F 可変速機	V V V F 可変速機	固定速機		
区 分						

注記

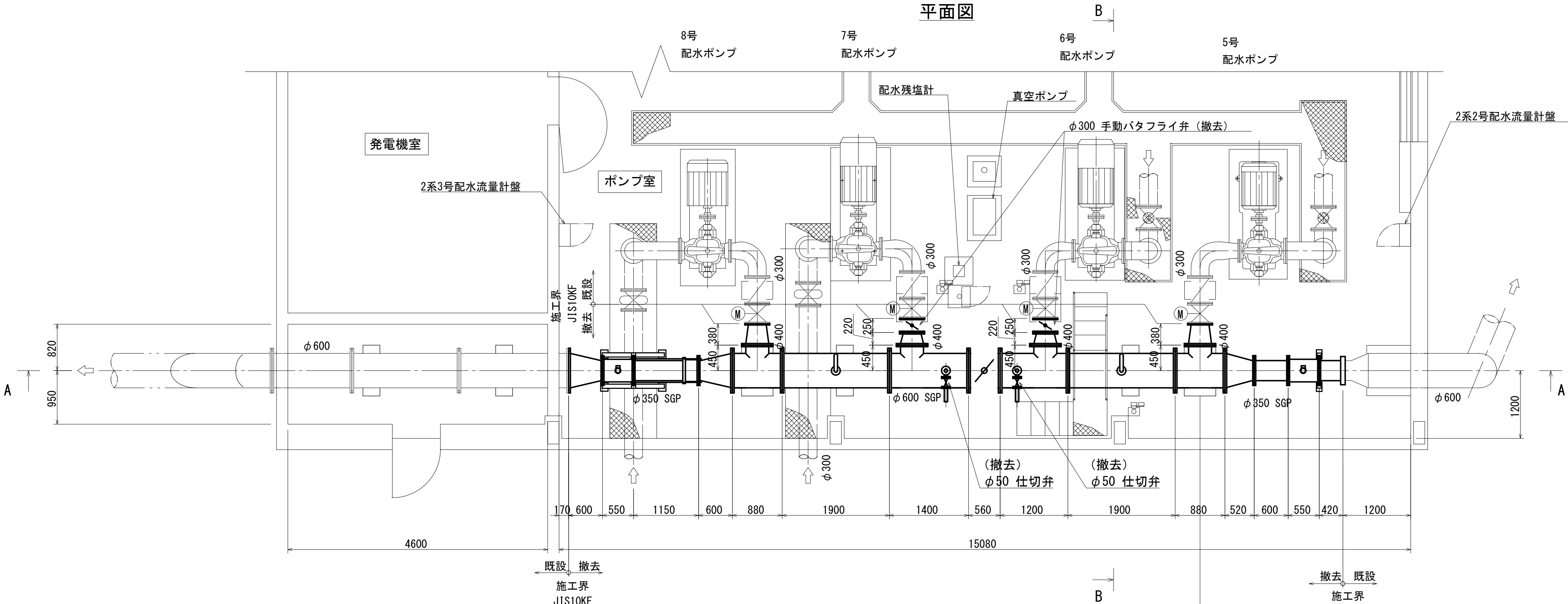
- 特記なきフランジ規格はJIS10Kとし、図示のものは下記とする。
水：水道標準7.5K
- フランジ接合材は下記とする。
ボルト・ナット：SUS304
ガスケット：SBR (3t)

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	2 系配水ポンプ室 配管更新図				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長谷見	栗 原	1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				M - 02	

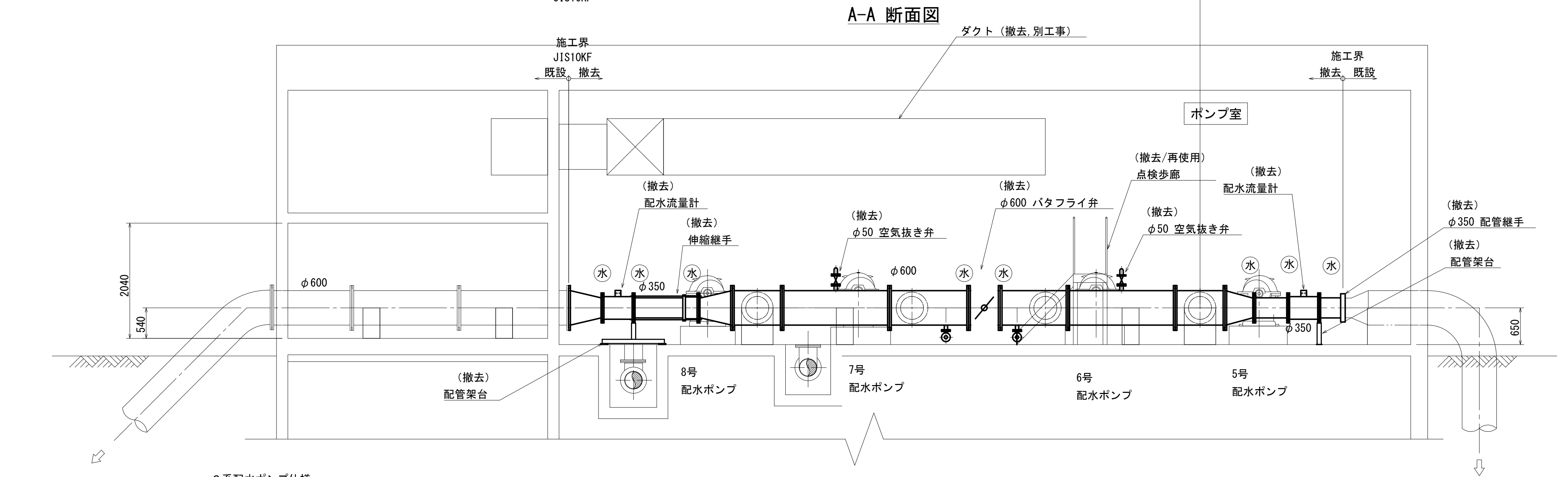
向町浄水場 2系ポンプ室配管撤去図

A1: S=1/50
A3: S=1/100

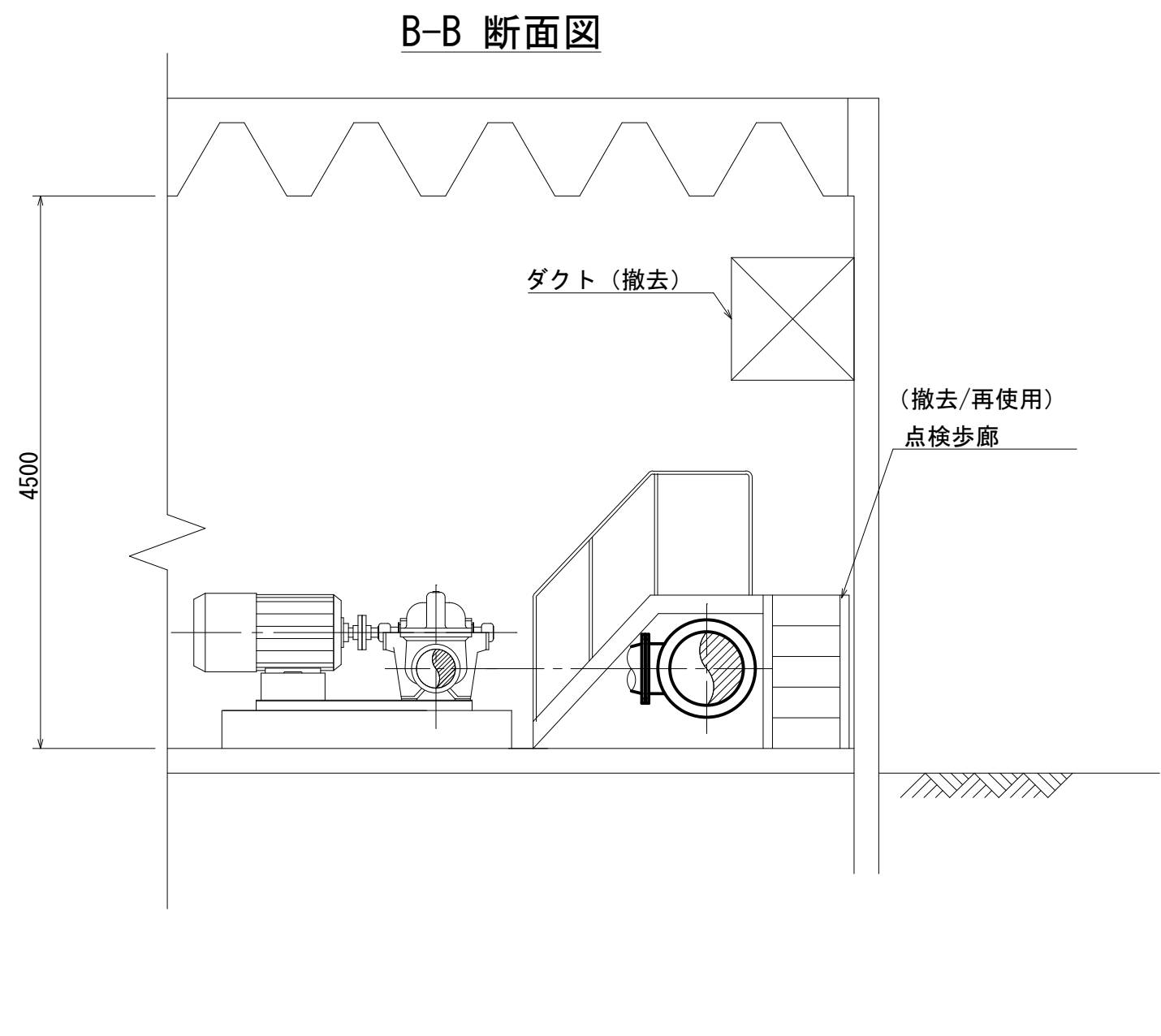
平面図



A-A 断面図



B-B 断面図



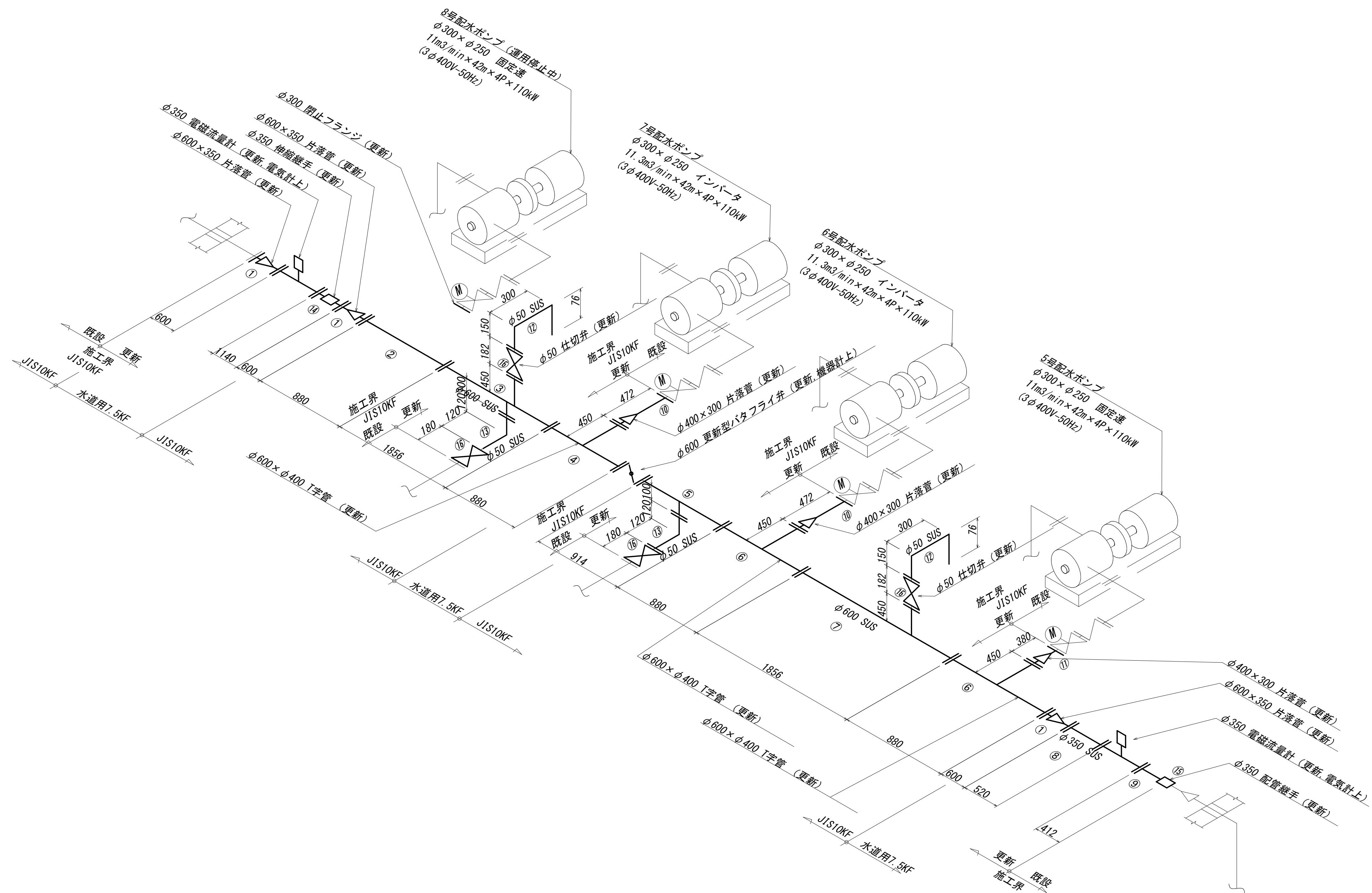
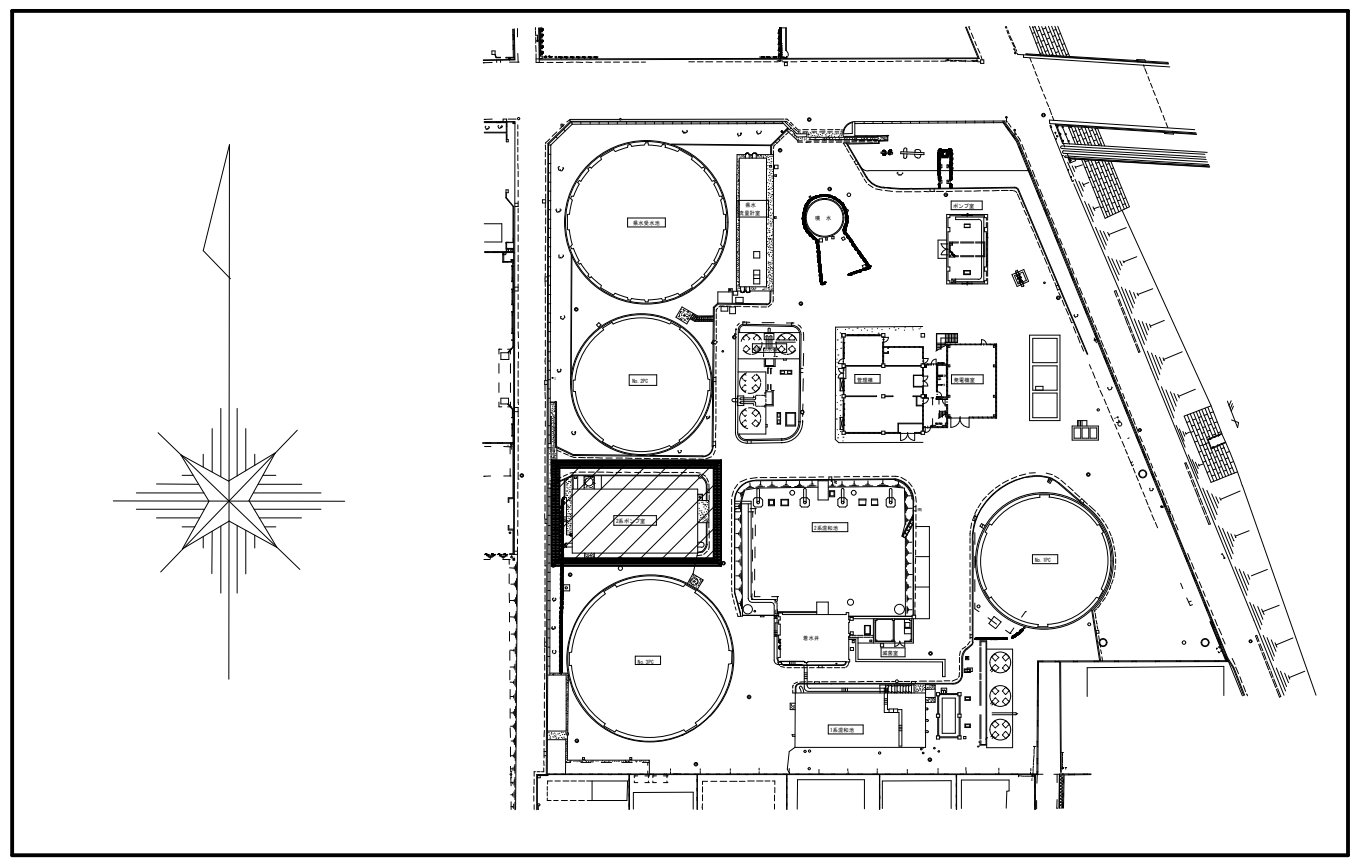
2系配水ポンプ仕様

名 称	5号配水ポンプ	6号配水ポンプ	7号配水ポンプ	8号配水ポンプ	5～8号吐出電動弁	真空ポンプ
型 式	両吸込渦巻ポンプ	両吸込渦巻ポンプ	両吸込渦巻ポンプ	両吸込渦巻ポンプ	外ねじ式電動仕切弁	
仕 様	φ300×φ250mm 11m ³ /min×42m 4P×110kW	φ300×φ250mm 11.3m ³ /min×42m 4P×110kW	φ300×φ250mm 11.3m ³ /min×42m 4P×110kW	φ300×φ250mm 11m ³ /min×42m 4P×110kW	φ300mm 1.5kW	φ20mm 0.29m ³ /min×-54kPa 4P×0.75kW
電源・電圧	3φ400V-50Hz	3φ400V-50Hz	3φ400V-50Hz	3φ400V-50Hz	3φ400V-50Hz	
備 考	固定速機	V V V F 可変速機	V V V F 可変速機	固定速機		
区 分						

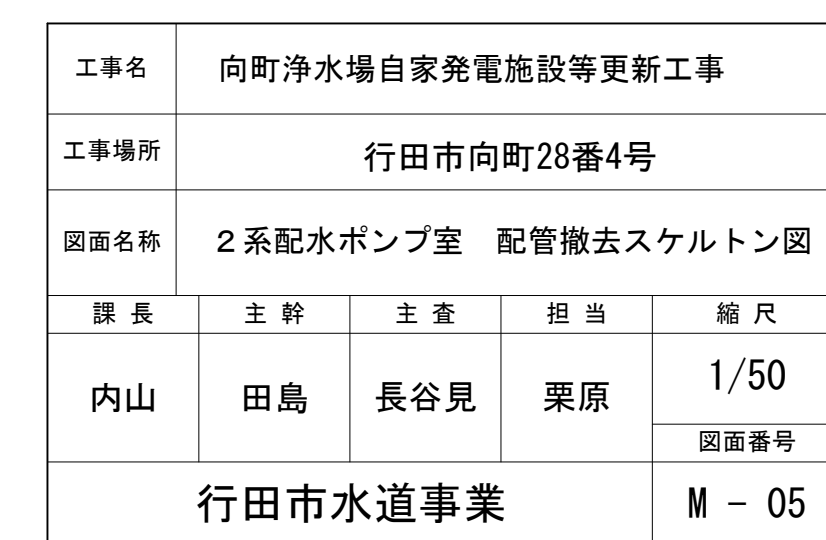
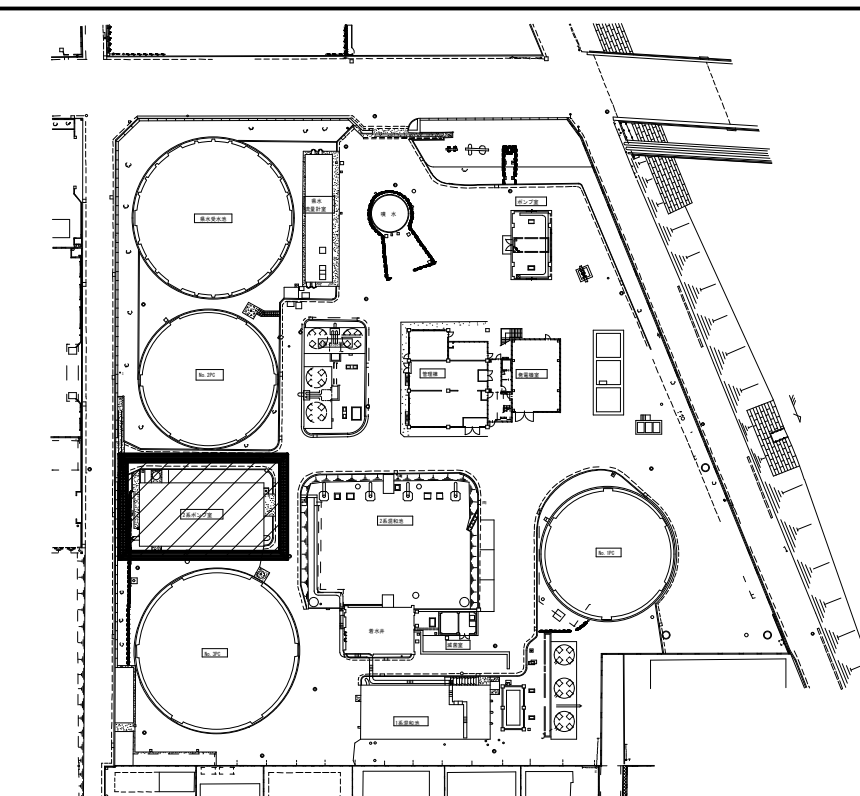
注記

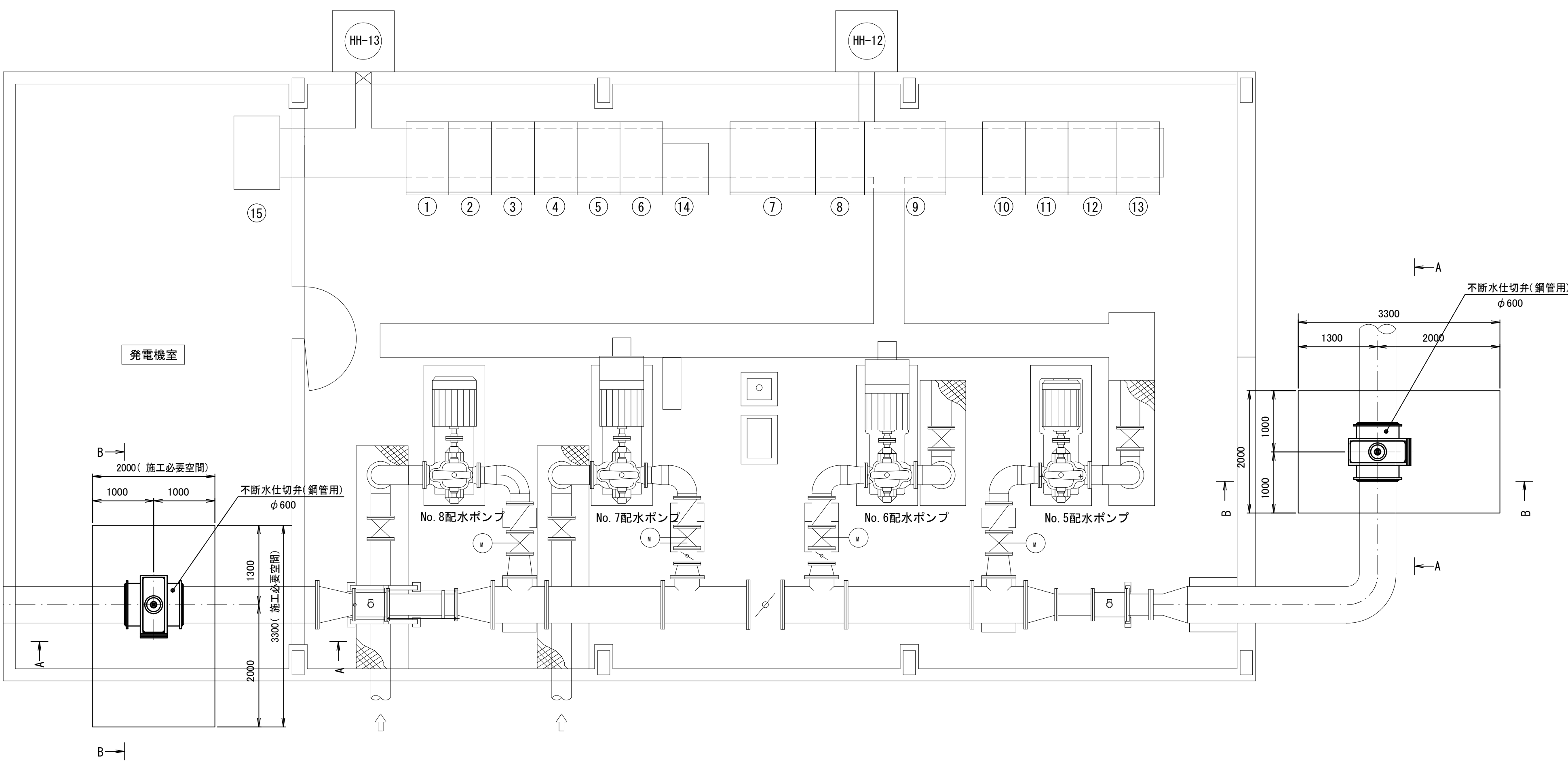
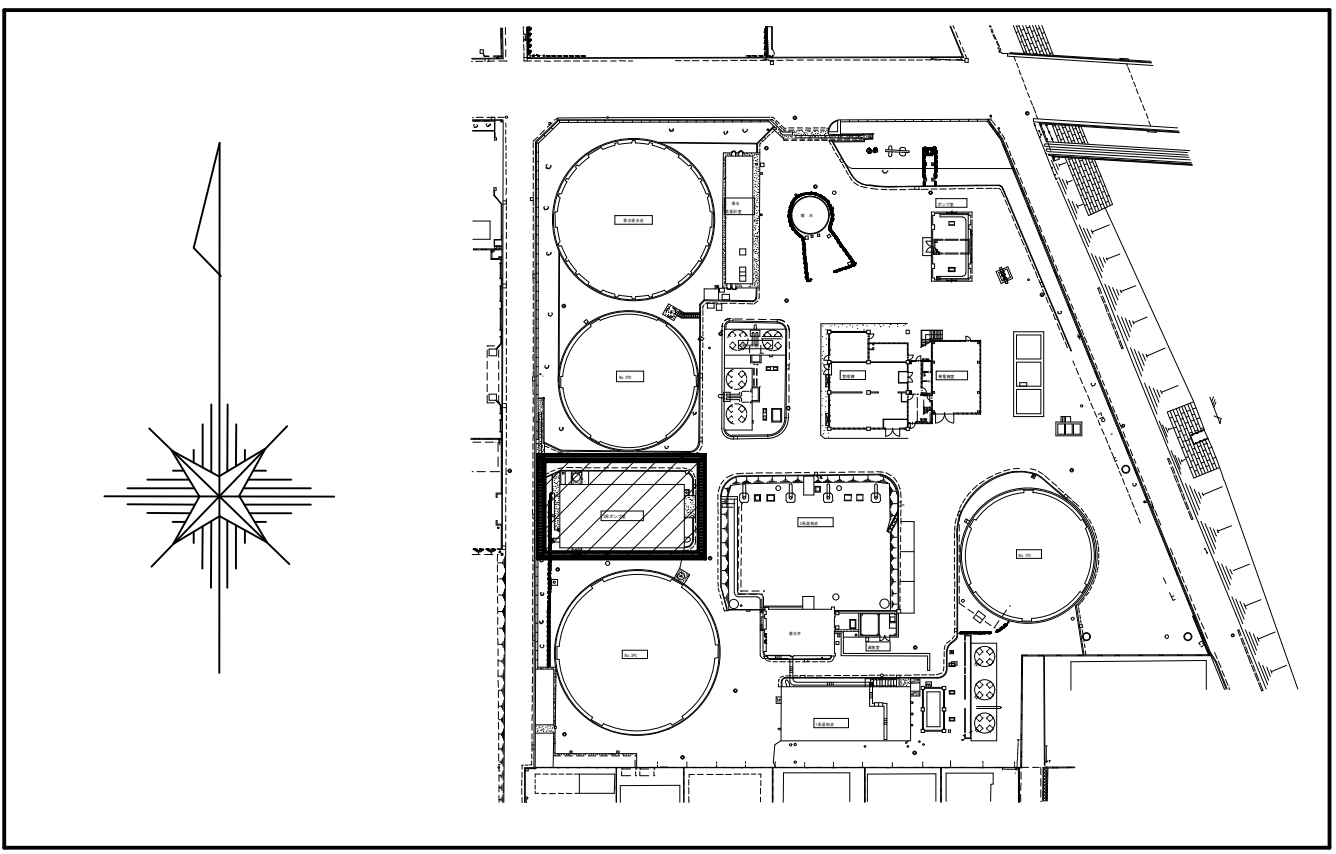
- 特記なきフランジ規格はJIS10Kとし、図示のものは下記とする。
水 : 水道標準7.5K
- フランジ接合材は下記とする。
ボルト・ナット : SUS304
ガスケット : SBR (3L)

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	2系配水ポンプ室 配管撤去図				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長 谷 見	栗 原	1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				M - 03	



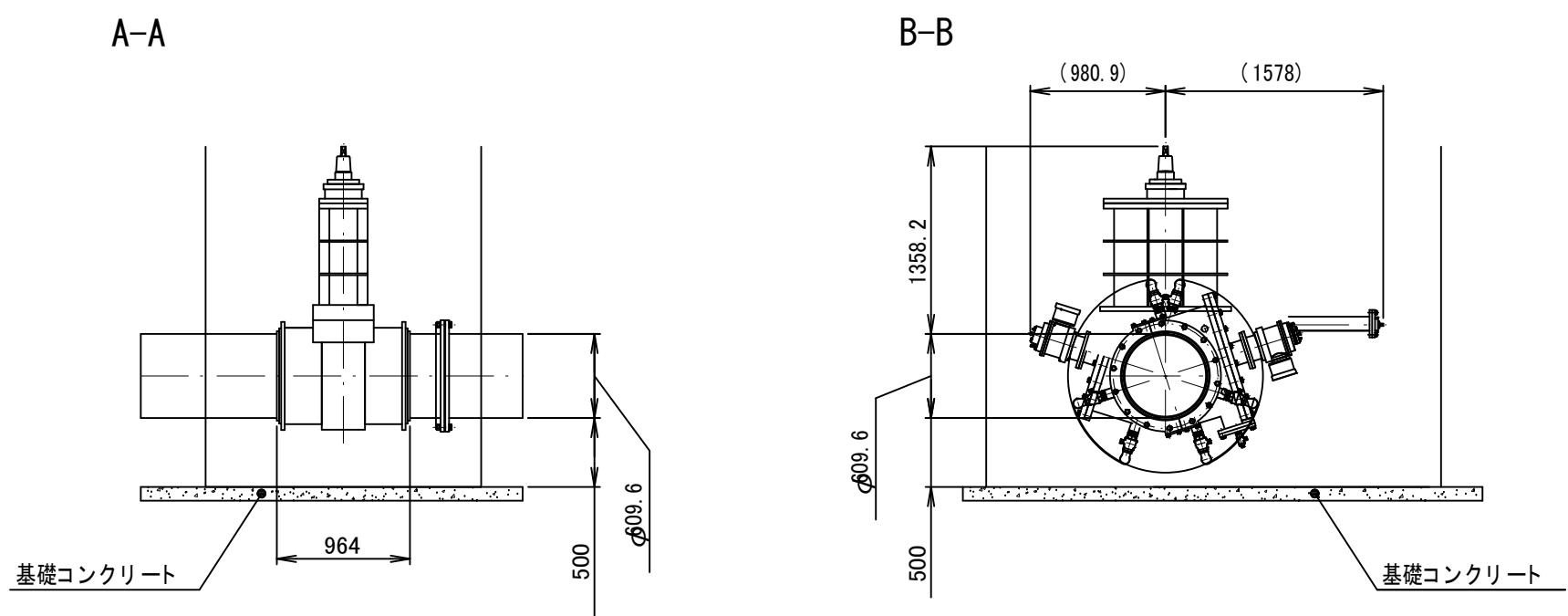
工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	2系配水ポンプ室 配管更新スケルトン図				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				M - 04	





機器名称表			
番号	記 号	盤 名 称	備 考
①	H5A	電源引込盤	既 設
②	H6A-1	買電-自家発切換盤(1)	〃
③	H6A-2	買電-自家発切換盤(2)	〃
④	H6A-3	買電-自家発切換盤(3)	〃
⑤	H7A	8号配水ポンプ補助継電器盤	〃
⑥	H8A	8号配水ポンプ盤	〃
⑦	HP27	7号配水ポンプ盤	〃
⑧	K21	計装盤	〃
⑨	HP26	6号配水ポンプ盤	〃
⑩	H16A	5号配水ポンプ盤	〃
⑪	H17A	5号配水ポンプ補助継電器盤	〃
⑫	H18A	補機電灯変圧器盤	〃
⑬	H19A	補機盤	〃
⑭	PCS4	入出力盤	今 回
⑮	L1	発電機盤(2系)	既 設

2系ポンプ室平面図 S=1/50



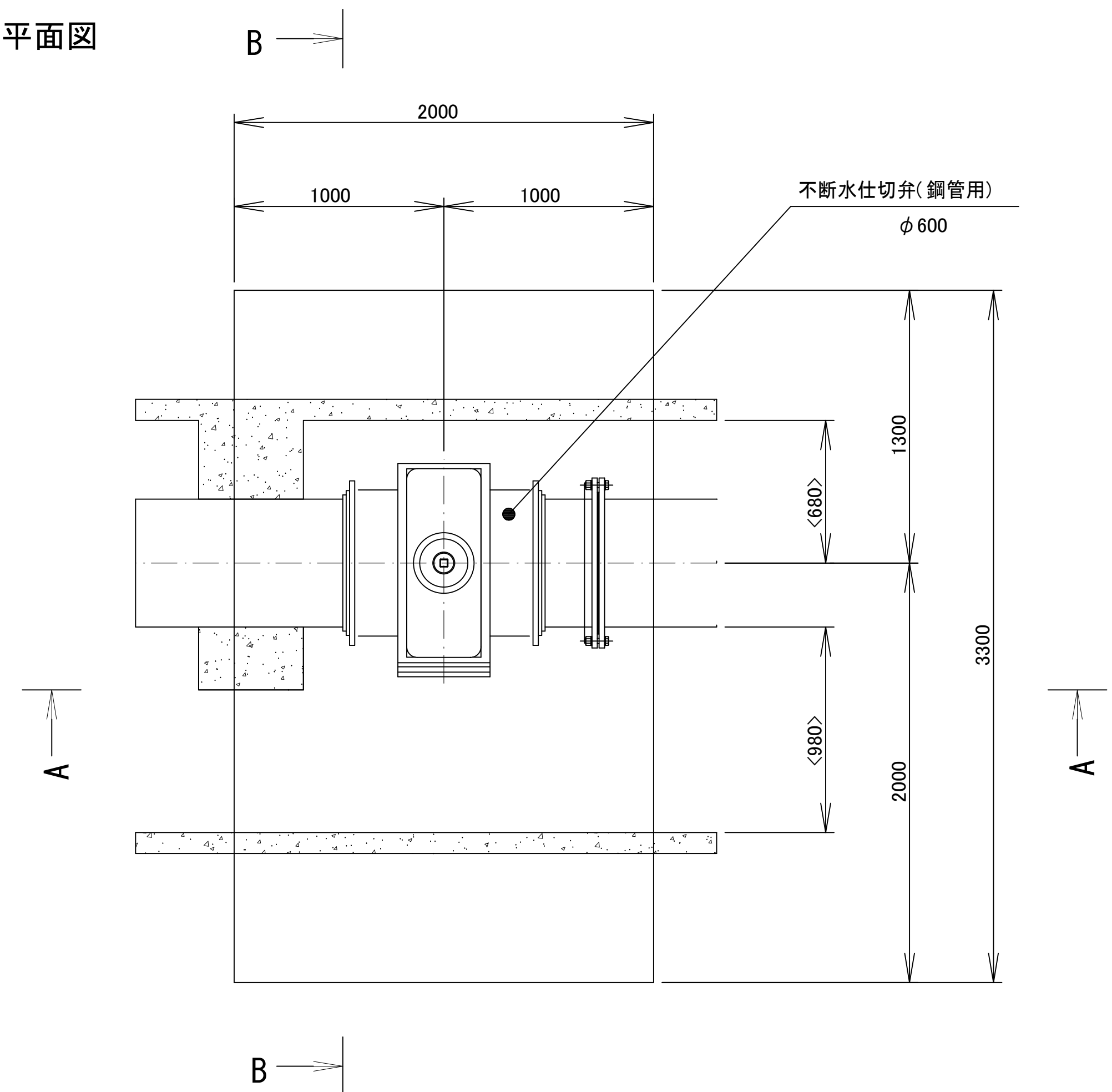
A-A, B-B 断面図 S=1/50

注記) 基礎コンクリートは不断水仕切弁施工前に施工すること

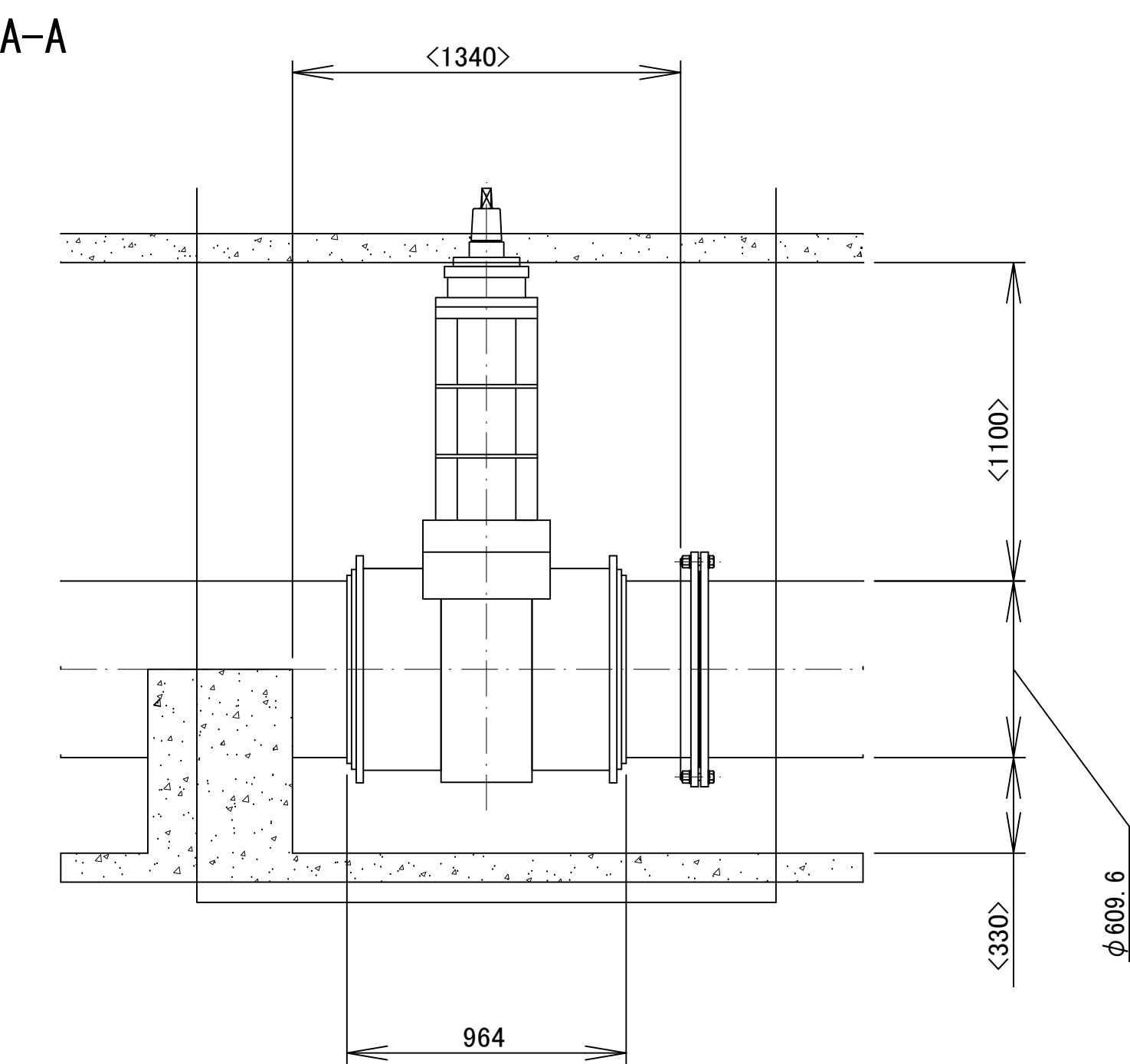
注 記)
1.  は今回を示す (2系発電機室内関連機器撤去後に施工)

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	不断水仕切弁配置図				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長谷見	栗 原	1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				M - 07	

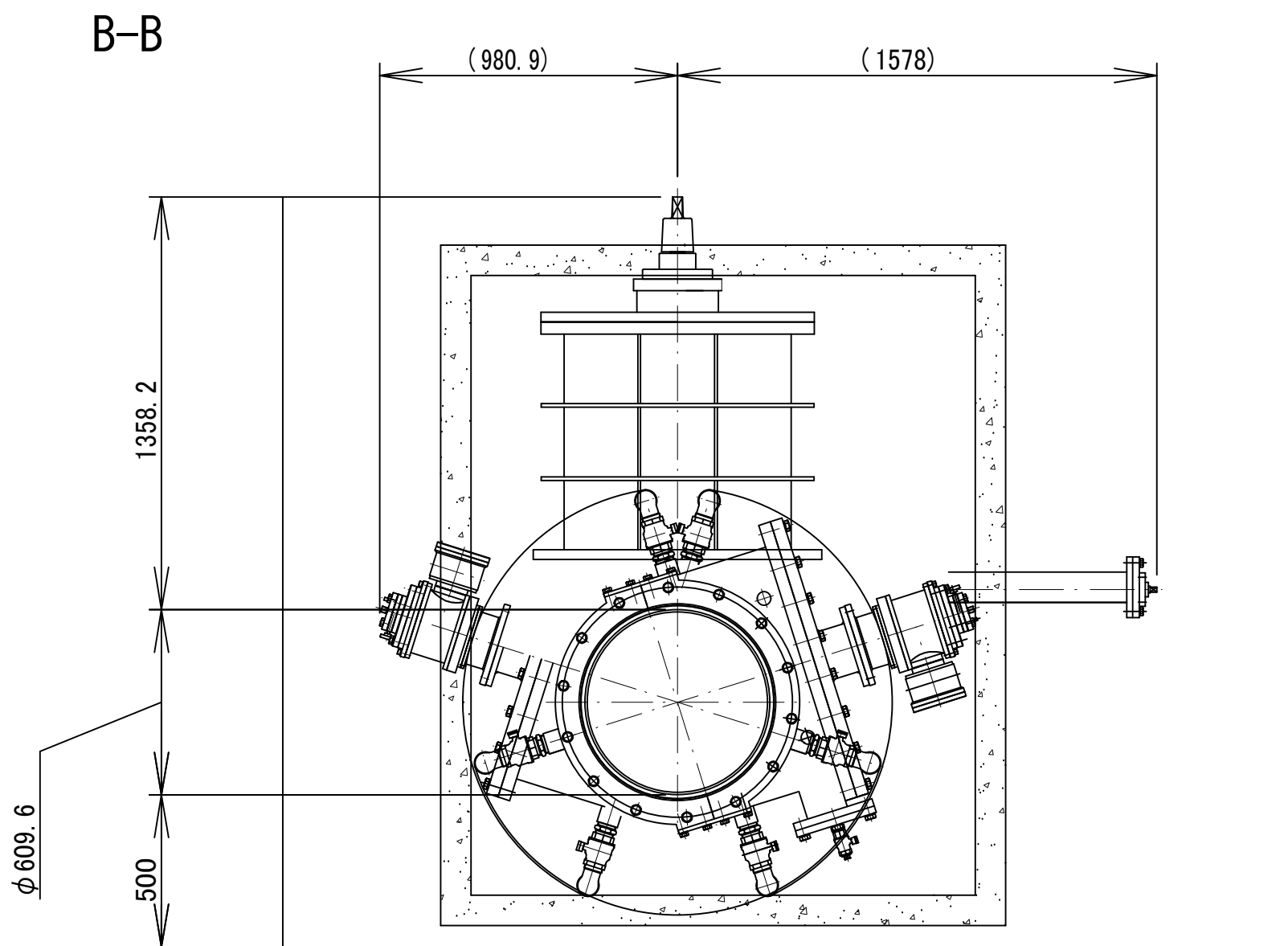
平面図



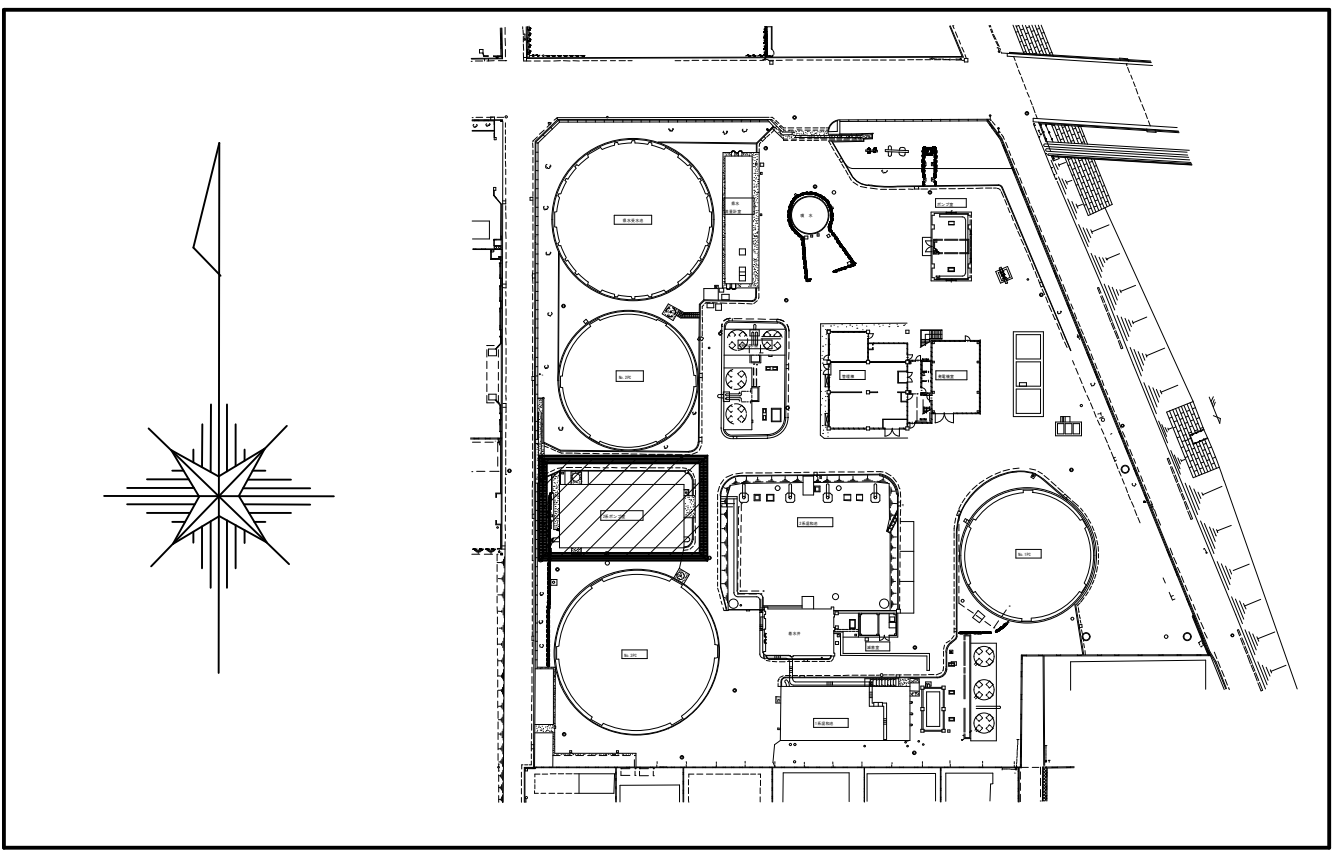
側面図



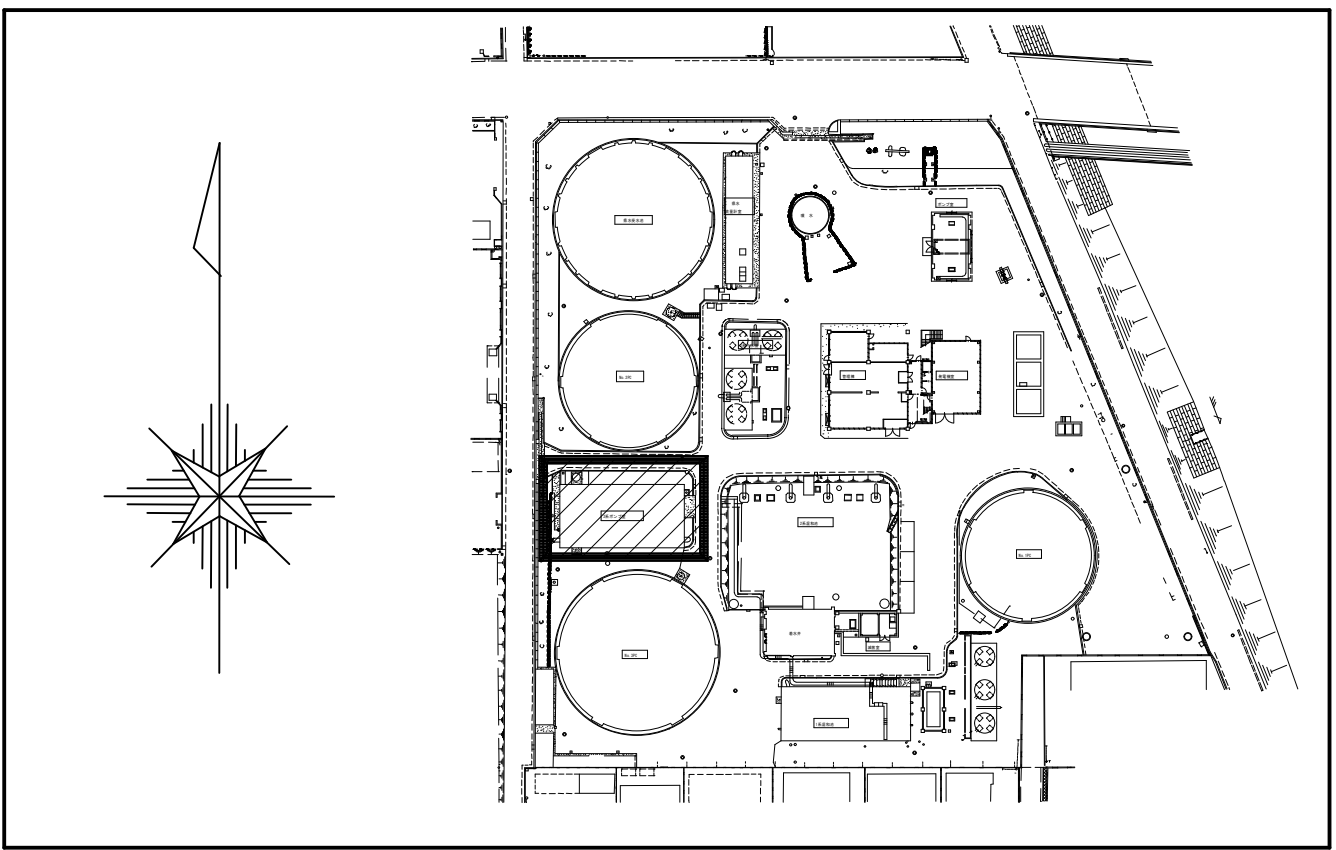
断面図



(注) 図中< >内寸法は、現地調査での測定寸法を示します。

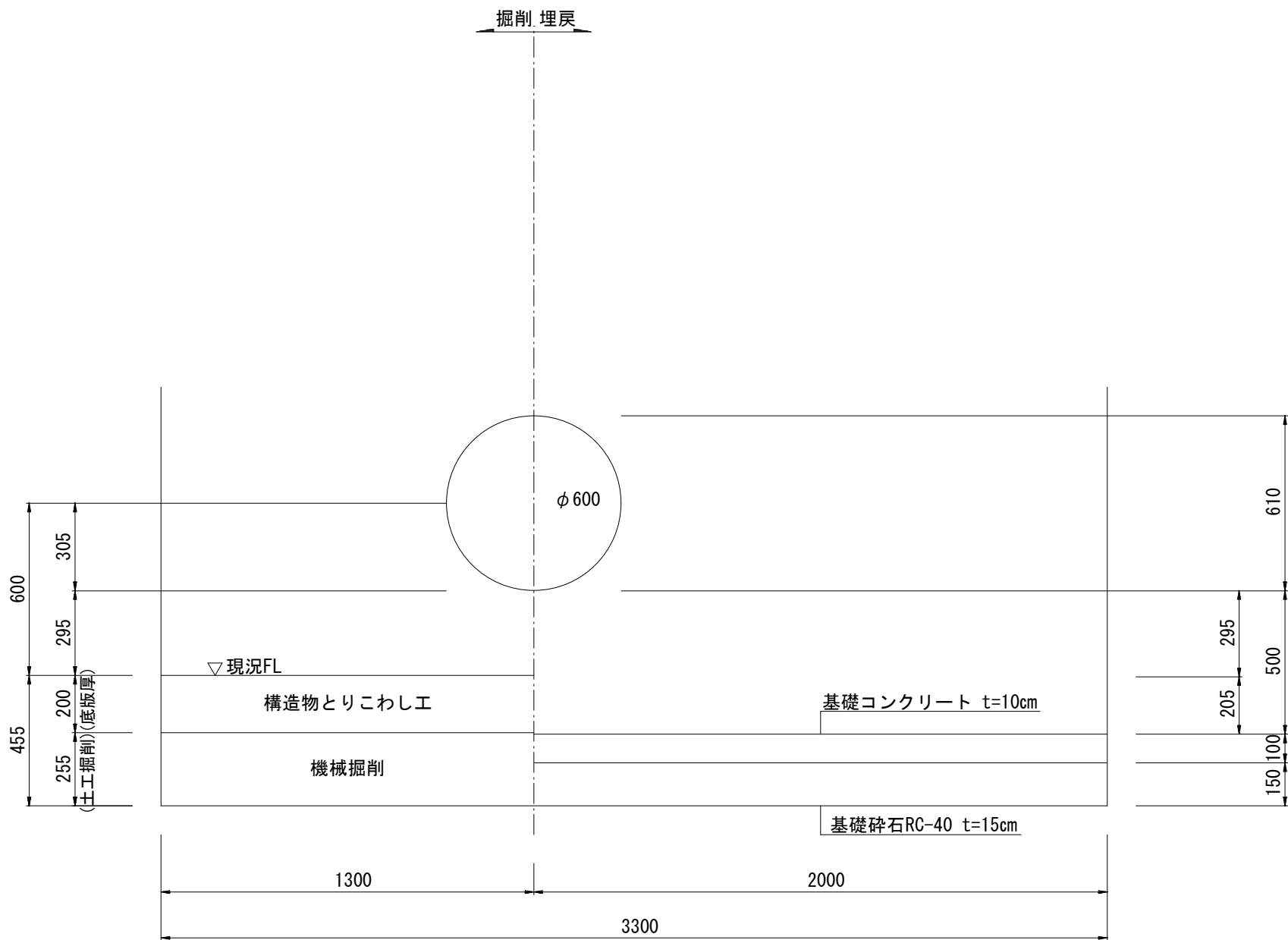


工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	不斷水仕切弁施工検討図				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長 谷 見	栗 原	1/20	
				図面番号	
行田市水道事業				M - 08	



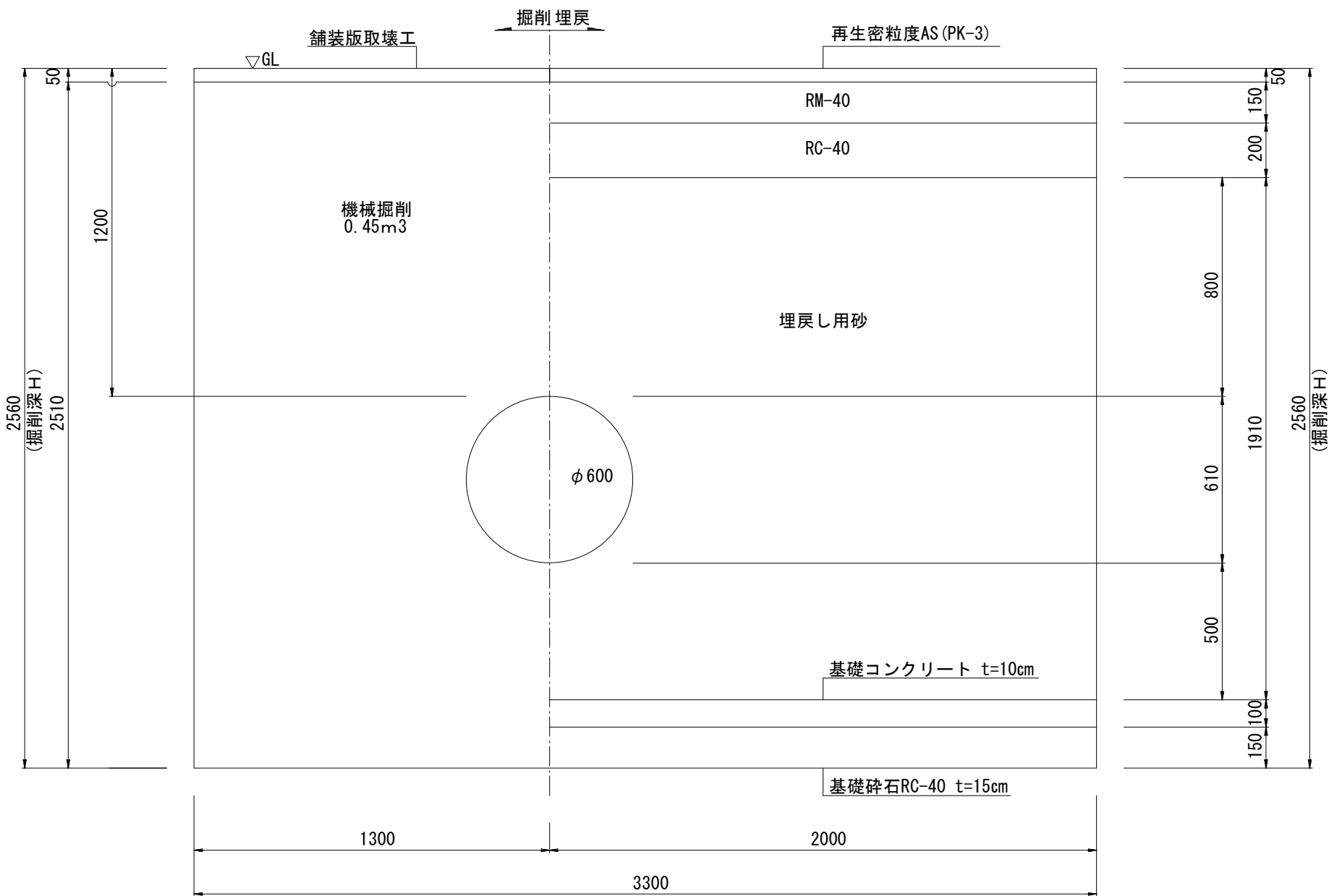
不斷水仕切弁標準土工図 S=1/20

＜発電機室解体部＞



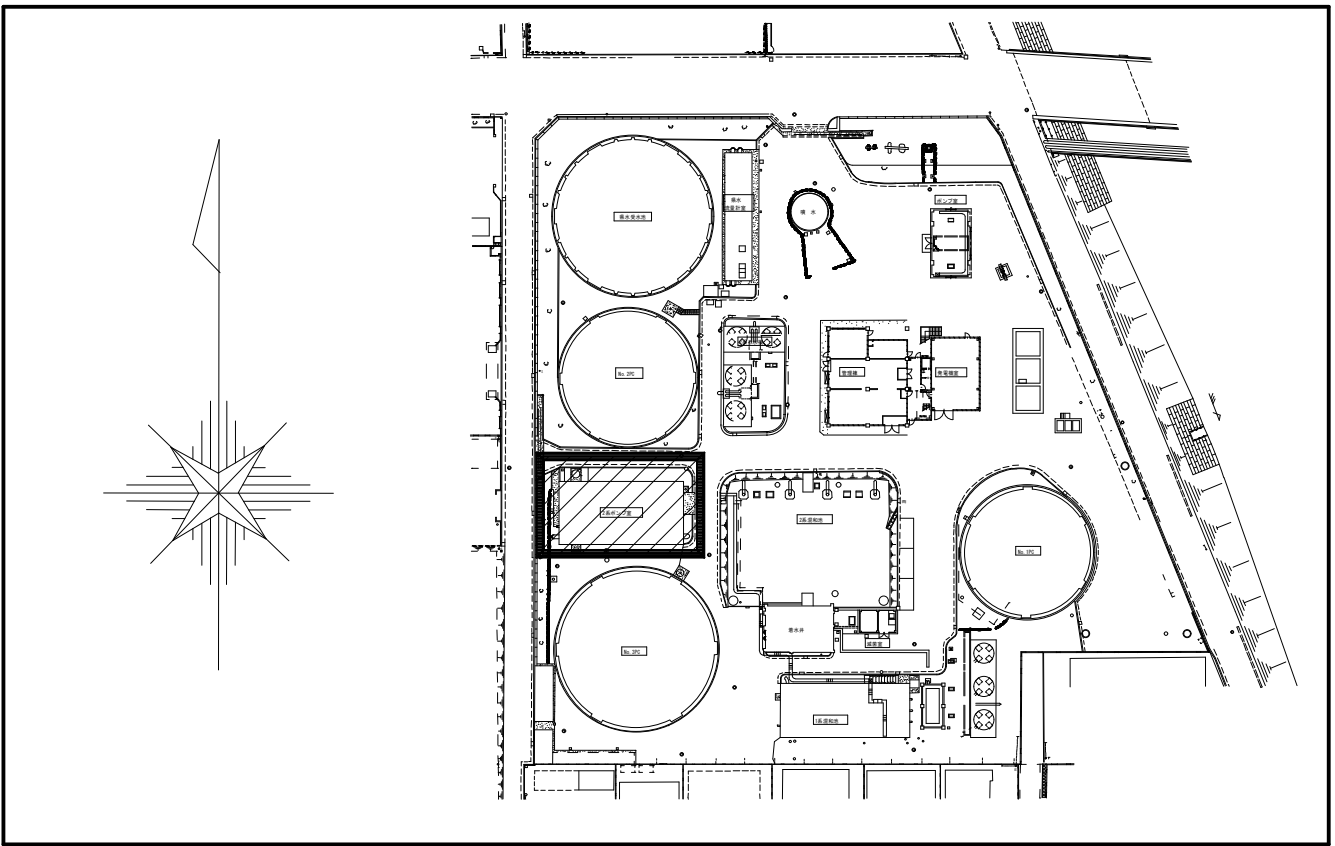
(注) 発電機室解体は別途、建築工事とする

＜場内通路埋設部＞ DP=1.20m

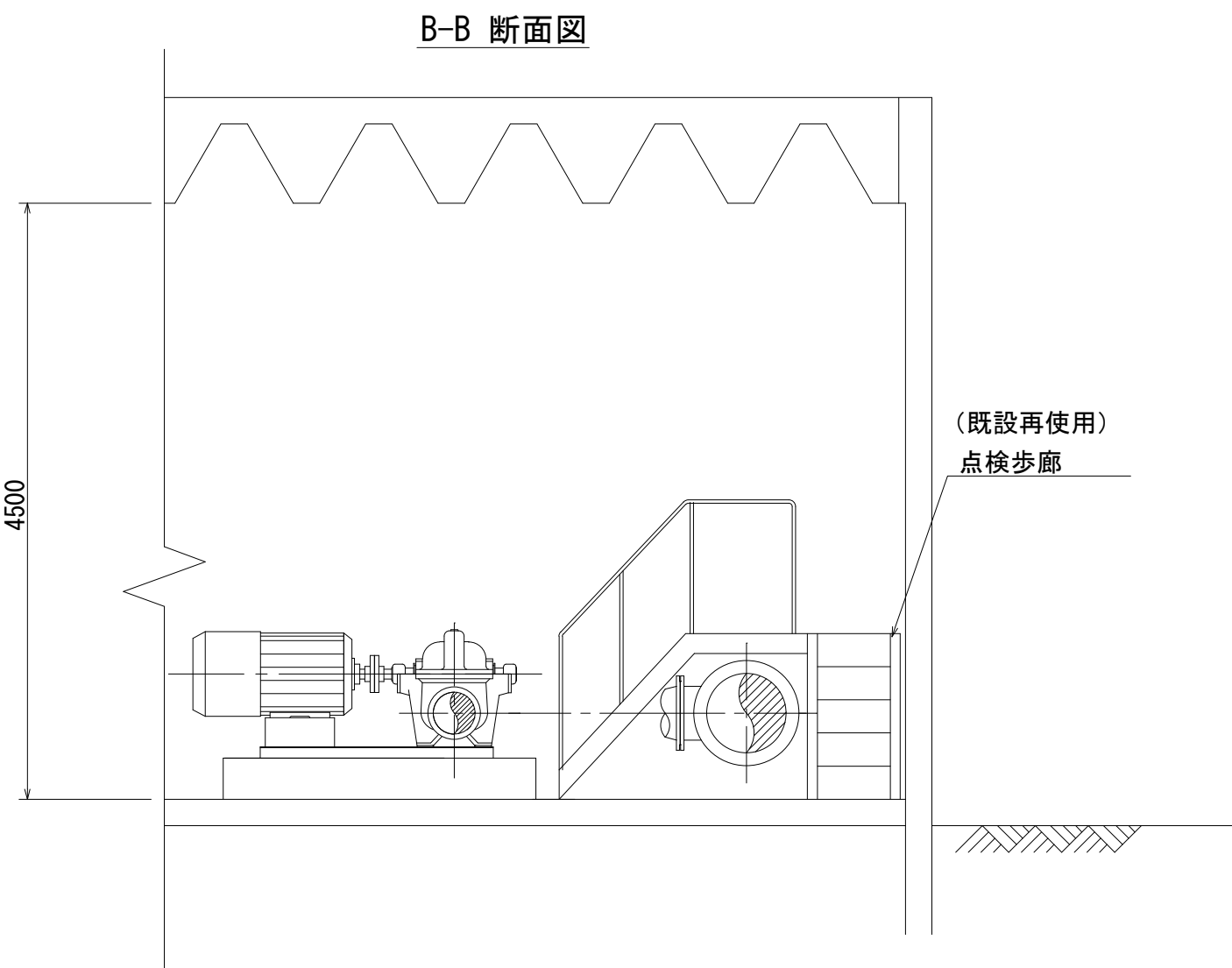


工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	不斷水仕切弁標準土工図				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	1/20	
				図面番号	
行田市水道事業				M - 09	

向町浄水場 2 系ポンプ室 電磁流量計更新図



A-A 断面図



B-B 断面図

2系配水ポンプ仕様

名 称	5号配水ポンプ	6号配水ポンプ	7号配水ポンプ	8号配水ポンプ	5～8号吐出電動弁	真空ポンプ
型 式	両吸込渦巻ポンプ	両吸込渦巻ポンプ	両吸込渦巻ポンプ	両吸込渦巻ポンプ	外ねじ式電動仕切弁	
仕 様	φ300×φ250mm 11m ³ /min×42m 4P×110kW	φ300×φ250mm 11.3m ³ /min×42m 4P×110kW	φ300×φ250mm 11.3m ³ /min×42m 4P×110kW	φ300×φ250mm 11m ³ /min×42m 4P×110kW	φ300mm 1.5kW	φ20mm 0.29m ³ /min×54kPa 4P×0.75kW
電源・電圧	3φ400V-50Hz	3φ400V-50Hz	3φ400V-50Hz	3φ400V-50Hz	3φ400V-50Hz	
備 考	固定速機	V V V F可変速機	V V V F可変速機	固定速機		
区 分						

注記

1. 特記なきフランジ規格はJIS10Kとし、図示のものは下記とする。
水：水道標準7.5K
2. フランジ接合材は下記とする。
ボルト・ナット：SUS304
ガスケット：SBR（3t）

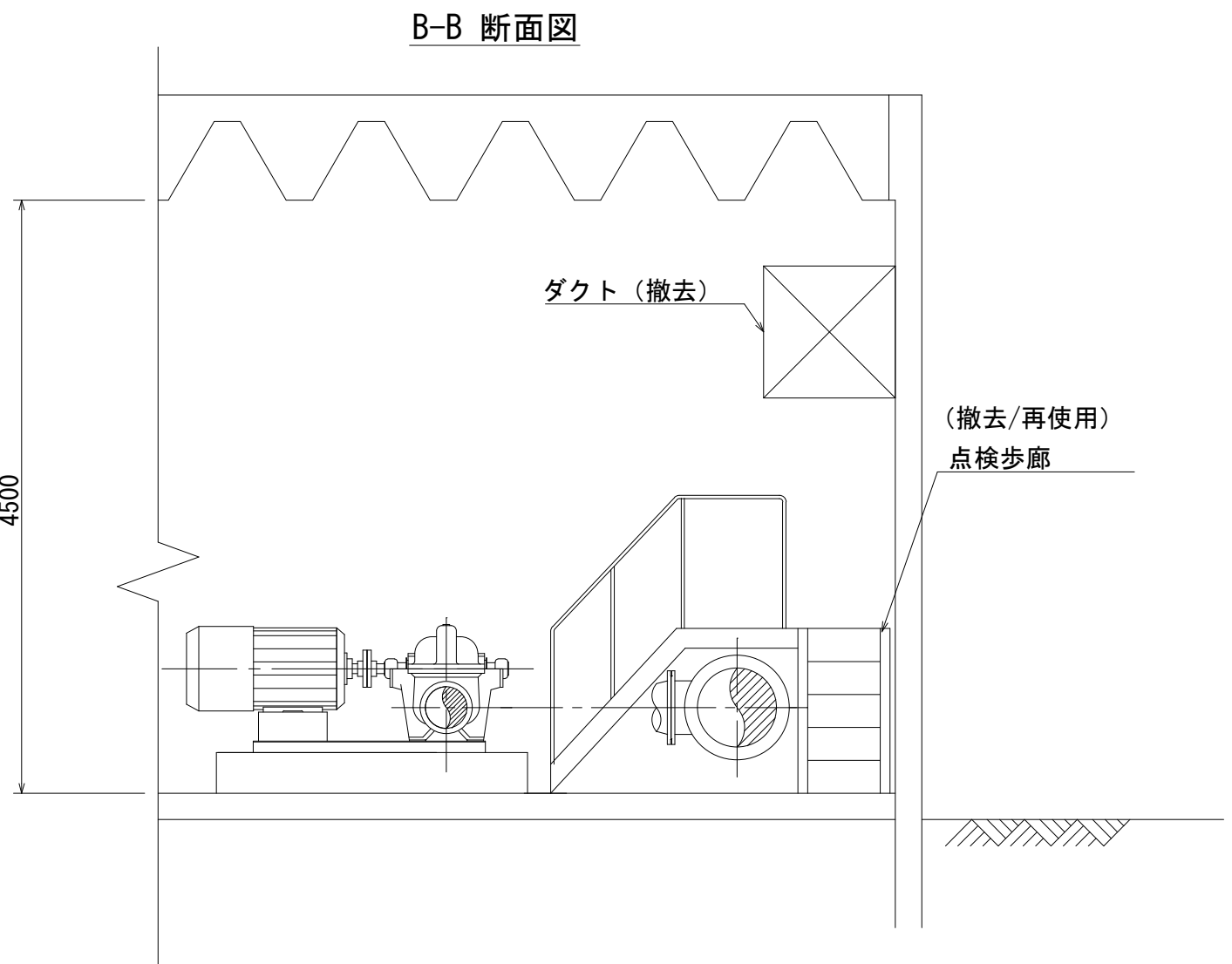
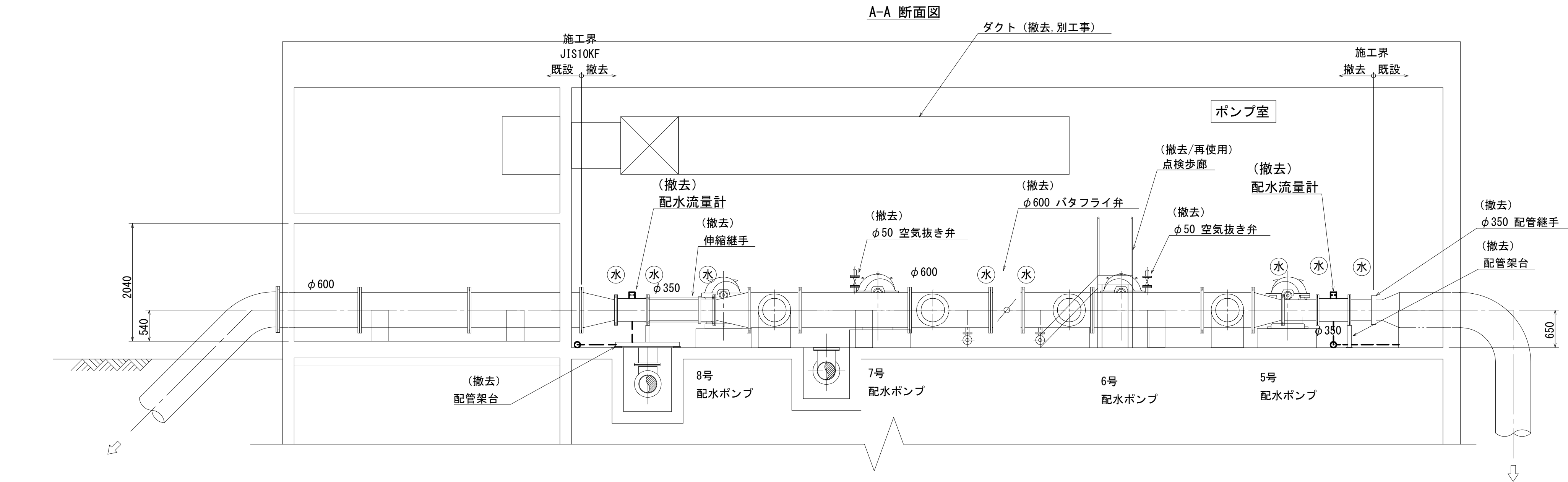
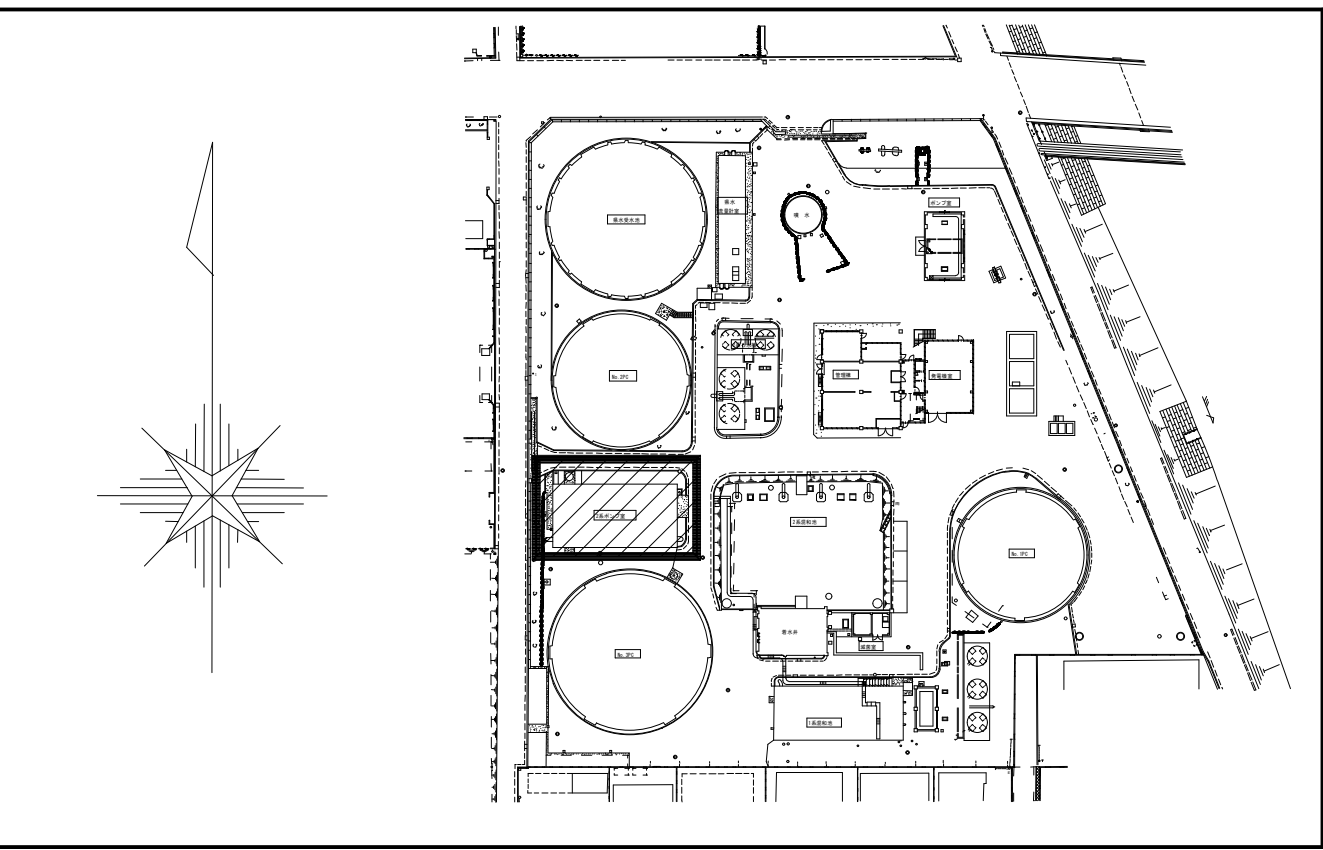
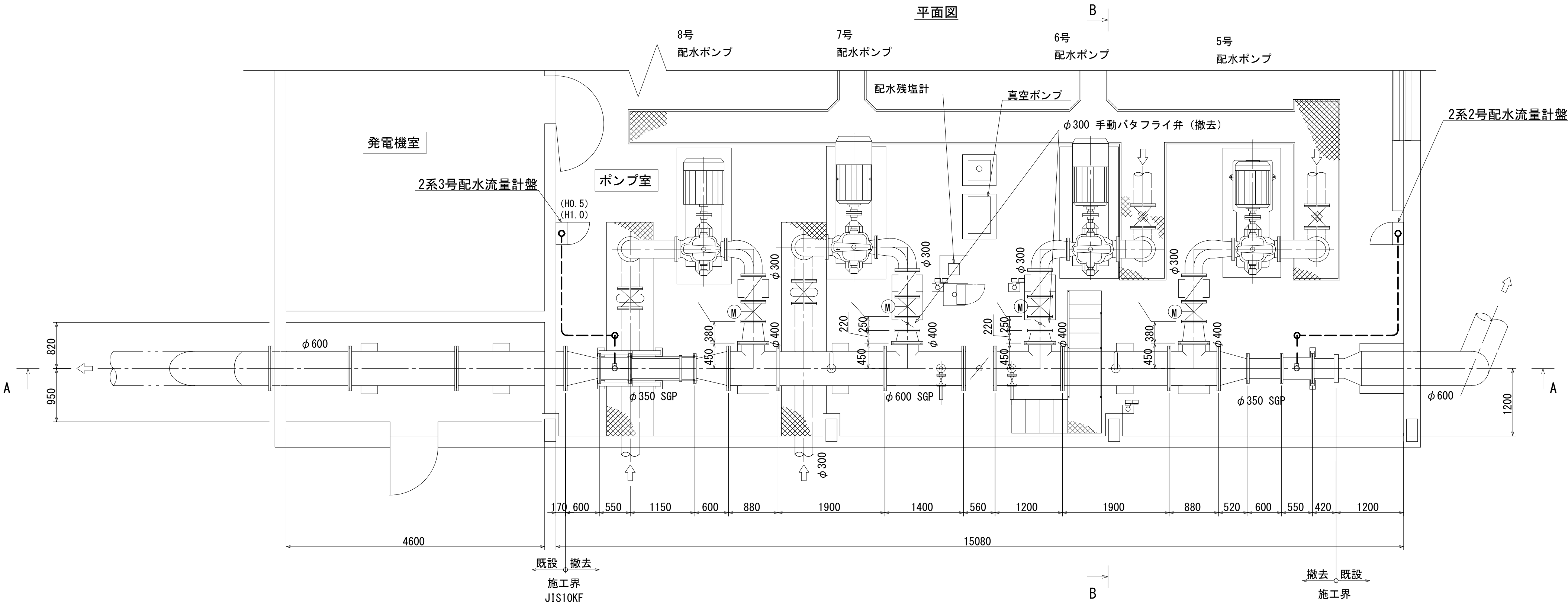
配線表

	自		至	配 線 仕 様	電線管	備 考
記 号	名 称	記 号	名 称	種別・サイズ・芯数・本数		
	2系2号配水流量計盤		2系2号配水流量計検出器	専用ケーブル（励磁用）	既設再使用・可とう管#24	
	〃		〃	専用ケーブル（信号用）	既設再使用・可とう管#24	
	2系3号配水流量計盤		2系3号配水流量計検出器	専用ケーブル（励磁用）	既設再使用・可とう管#24	
	〃		〃	専用ケーブル（信号用）	既設再使用・可とう管#24	

※電線管は機器接続部の可とう管のみ更新とする

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事			
工事場所	行田市向町28番4号			
図面名称	2 系配水ポンプ室 電磁流量計更新図			
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺
内山	田島	長谷見	栗原	1/50
				図面番号
行田市水道事業				ME - 01

向町浄水場 2系ポンプ室 電磁流量計撤去図 A1:S=1/50
A3:S=1/100



2系配水ポンプ仕様

名 称	5号配水ポンプ	6号配水ポンプ	7号配水ポンプ	8号配水ポンプ	5～8号吐出電動弁	真空ポンプ
型 式	両吸込渦巻ポンプ	両吸込渦巻ポンプ	両吸込渦巻ポンプ	両吸込渦巻ポンプ	外ねじ式電動仕切弁	
仕 様	φ300×φ250mm 11m ³ /min×42m 4P×110kW	φ300×φ250mm 11.3m ³ /min×42m 4P×110kW	φ300×φ250mm 11.3m ³ /min×42m 4P×110kW	φ300×φ250mm 11m ³ /min×42m 4P×110kW	φ300mm 1.5kW	φ20mm 0.29m ³ /min×-54kPa 4P×0.75kW
電源・電圧	3φ400V-50Hz	3φ400V-50Hz	3φ400V-50Hz	3φ400V-50Hz	3φ400V-50Hz	
備 考	固定速機	V V V F可変速機	V V V F可変速機	固定速機		
区 分						

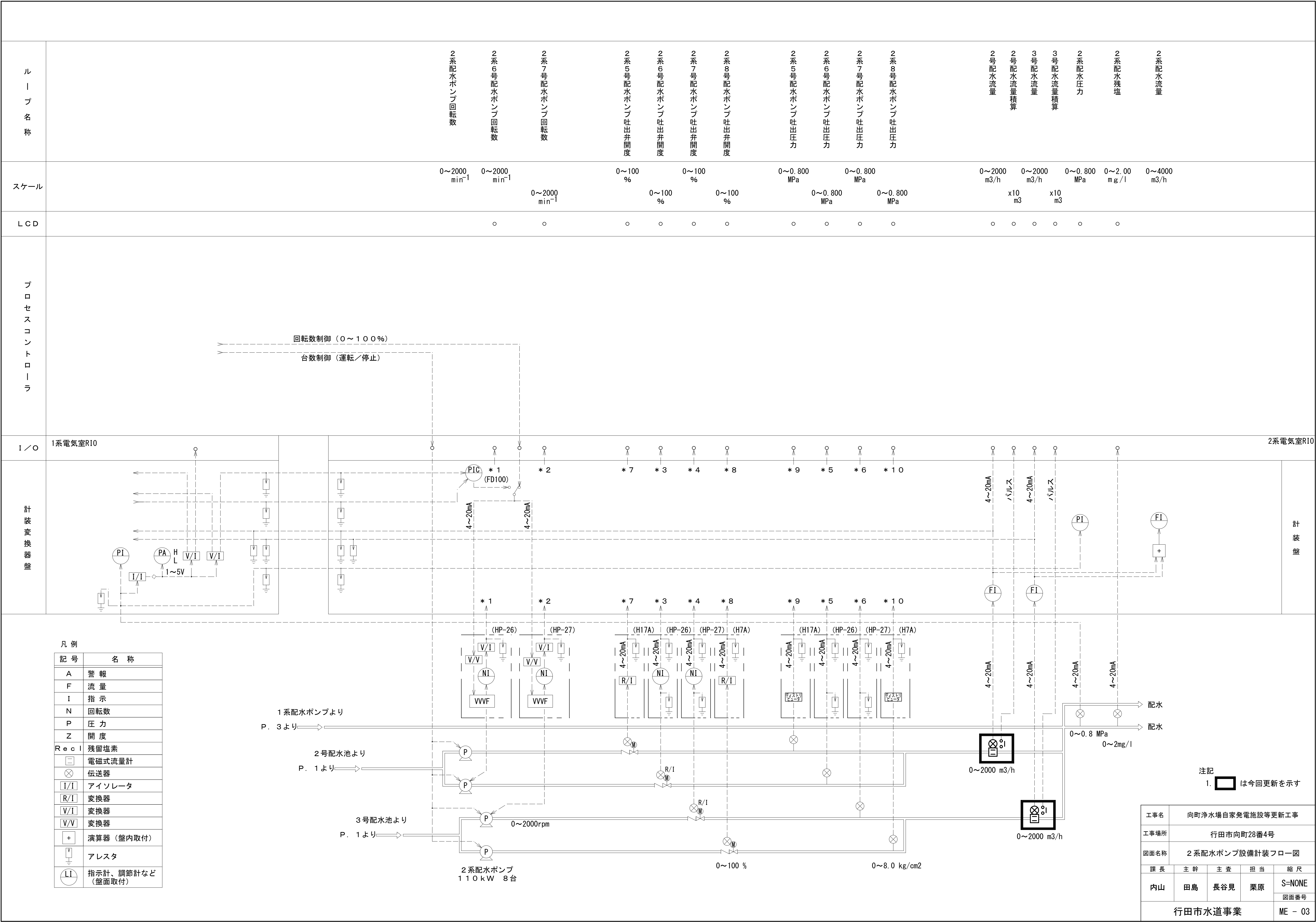
- 注記
- 特記なきフランジ規格はJIS10Kとし、図示のものは下記とする。
水：水道標準7.5K
 - フランジ接合材は下記とする。
ボルト・ナット：SUS304
ガスケット：SBR (3t)

撤去配線表

自		至		配線仕様	電線管	備考
記号	名称	記号	名称	種別・サイズ・芯数・本数		
	2系2号配水流量計盤		2系2号配水流量計検出器	専用ケーブル (励磁用)	既設再使用・可とう管#24	
	"		"	専用ケーブル (信号用)	既設再使用・可とう管#24	
	2系3号配水流量計盤		2系3号配水流量計検出器	専用ケーブル (励磁用)	既設再使用・可とう管#24	
	"		"	専用ケーブル (信号用)	既設再使用・可とう管#24	

※電線管は機器接続部の可とう管のみ更新とする

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	2系配水ポンプ室 電磁流量計撤去図				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	1/50	
行田市水道事業					図面番号 ME - 02



向町浄水場自家発電施設等更新工事

工事設計図

令和 年 月 (全 枚)

仕 様 書

I 工事概要

1. 工事場所

行田市向町28番4号

2. 敷地面積

9,412 m²

3. 工事種目

①県水受水室改修工事 鉄骨造 1階建

②1系配水ポンプ室改修工事 鉄筋コンクリート造 1階建

③管理棟改修工事 鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造) 2階建

④沈降帯改修工事 鉄筋コンクリート造 2階建

⑤2系配水ポンプ室改修工事 鉄骨造 1階建

⑥着水井改修工事 鉄筋コンクリート造 1階建

⑦次亜室改修工事 鉄筋コンクリート造 1階建

⑧1系混和池改修工事 鉄筋コンクリート造 2階建

4. 工事内容

外壁改修工事

金属製建具改修工事

建具改修に伴う仕上げ補修工事

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

工事種目			
工事項目			
2 仮設工事			
3 防水改修工事			
4 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁			
外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁			
外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁			
外壁改修工事 ※塗り仕上げ外壁			
5 建具改修工事			
6 内装改修工事			
7 塗装改修工事			
8 耐震改修範囲以外の躯体改修工事			
耐震改修工事			
9 環境配慮改修工事			

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「改修標仕」という。）により、また、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「標仕」という。）による。

2. 特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、ともに適用する。

（3）特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（5）特記事項に記載の（別図2 ）は、標仕の「別図2 ポルト間隔等及び溶接継手の間先形状」の該当項目を示す。

（6）□印は「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律（グリーン購入法）」の特定調達品目を示す。

章

1 一般共通事項

項 目

① 適用基準等

2 工事実績情報の登録

③ 品質計画等

4 電気保安技術者

5 施工条件

6 発生材の処理等

⑦ 環境への配慮

⑧ 材料の品質等

⑨ 特別な材料の工法

⑩ アスベスト含有建材の調査

特 記 事 項

○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 最新版）
○建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 最新版）
○営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 最新版）
※適用する [1. 1. 4]

○建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 [1. 2. 2]
※風速 $V_0 = (30)$ m/s (平12建造第1454号第2)
※地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ
○積雪区分 平12建造第1455号 別表（24）

工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
・要 ・不要 [1. 3. 3]

下記以外は現場説明書による。 [1. 3. 5]
・工事用車両の駐車場所 ※図示
・資機材置場 ※図示
・建設発生土仮置場 ※図示
・

・発注者に引渡しを要するもの（ ・金属類 ・ ） [1. 3. 12]
・特別管理産業廃棄物（ ・廃石綿 ・PCB含有物 ・ ） [1. 3. 12]
・現場において再利用を図るもの（ ） [1. 3. 12]
・再資源化を図るもの（ ） [1. 3. 12]
・PCB含有シーリングの処理
・第一次判定
現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及びPCB含有分析の要否を判定する
採取箇所数 計 箇所
採取箇所 ※図示

・第二次判定
専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う
分析箇所 計 箇所
・除去処理工事
除去範囲 ※図示
撤去方法 ・「標準施工要領書」（日本シーリング工事業共同組合連合会・日本シーリング材工業会）による [1. 4. 1]

（1）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
（2）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
①建築基準法施行令第20条の7 第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第20条の7 第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③建築基準法施行令第20条の7 第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④建築基準法施行令第20条の7 第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 [1. 4. 2]

（1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
（2）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
（3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
（4）本工事に使用する材料のうち、（5）に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関（一社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」の評価書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
（5）製造業者等に関する資料の提出を求める材料
床型特用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、押出し成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材、陶磁器質タイル、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、アルミニウム製建具、樹脂製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラス、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブラス、煙突用成形ライニング材、天井吊検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、エポキシ樹脂、外装タイル張り用有機系接着剤、ポリマーセメントモルタル、

改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 [1. 5. 1]

分析によるアスベスト含有の調査
※あらかじめ関係法令等に基づき、アスベスト含有建材の事前調査を行う。
調査範囲 ※工事対象範囲全て
※調査者は調査に先立ち、既存の設計図書及び、石綿含有建材の調査報告書など事前調査に必要な資料について、発注者に貸与を求めること。
分析方法 「建材中の石綿含有率の分析方法について」（平成18年8月21日 基発第0821002号、最終改正 令和3年12月22日 基発1222第17号）に基づき行うものとする。
調査内容 ※定性分析 ・ 定量分析

⑪ 完成時の提出図書

⑫ 設備工事との取合い

13 設計G L

2 仮設工事

① 足場その他

② 既存部分の養生

③ 仮設間仕切り

4 監督職員事務所

⑤ 工事用水

⑥ 工事用電力

3 防水改修工事

1 塗膜防水

2 脱気装置

③ シーリング

4 とい

5 アルミニウム製笠木

6 折板葺

○完成図
○既存図面修正
※作成する
提出部数 ※各2部 ○2部（A3版第二原図及び電子媒体（CD-R））
種類 ※改修標仕表1.9.1による。ただし、種類は当該工事で該当する図面、表及び計画書とする。
※施工計画書 提出部数 ※1部 ・部
※施工図 提出部数 ※1部 ・部
○保全に関する資料 提出部数 ※2部 ・部
設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
※図示

外部足場
※「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
防護シート ※設置する ・設置しない [2. 2. 1]
内部足場 種別 ※きやつ、足場板等 ・ [2. 2. 1]
材料、撤去材等の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 [2. 2. 1] [表2. 2. 1]
既存部分の養生 ※ビニルシート等 [2. 3. 1]
既存家具等の養生 ※ビニルシート等
固定家具等の移動 ※行わない ・行う（図示）
仮設間仕切り等の種別 [2. 3. 2] [表2. 3. 1]
種 別 下 地 仕上材（厚さ mm） 充填材 塗 装
・A種 ※軽量鉄骨 ・合板（※9.0 ・ ） 厚さ mm ※なし
・B種 ・木下地 ※セッコウボード（※9.5 ・ ） ・片面
※C種 単管下地 防炎シート
仮設扉 ※木製扉 ※合板張り程度 ※なし
・鋼製扉 ※片面フラッシュ程度 ・あり [2. 4. 1]
※設ける
・構内に新設する（規模及び仕上げの程度は現場説明書による）
・既存建物内の一部を使用する
・設けない
構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる（※有償 ・無償）
構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる（ ・有償 ・無償）

[3. 6. 2. 3] [表3. 1. 1] [表3. 6. 1]
防水改修工法の種類 新規防水層の種類 施工箇所 仕上げ塗料塗り
・POX工法 ※X-1 ・X-2
・LAX工法 ※X-1 ・X-2 ・シルバー
・カラー
脱気装置 ・設けない ※設ける [3. 6. 3]
PIY及びPY2の保護層 ・適用する ・適用しない [3. 6. 3]
種 類 材 質 設置数量
・平場部脱気型 ・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂（ ）m²当たり1箇所
・ステンレス鋼 ・鋼鉄
・立上り部脱気型 ・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂（ ）m²当たり1箇所
・ステンレス鋼 ・銅
シーリング改修工法の種類 [3. 1. 4] [表3. 1. 2]
・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法
シーリング材の種類 ※下表以外は、改修標仕表3.7.1による [3. 7. 2] [表3. 7. 1]
施工箇所 シーリング材の種類（記号）
金属建具周囲 変性シリコーン系
配管廻りシーリング、ブルボックス廻り及び蓋廻り 変性シリコーン系
新設壁（管理棟風除室外部廻り） ポリウレタン系
ブリッジ工法 ボンドブレーカー張り ・適用する [3. 7. 7]
エッジング材張り ・適用する
接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験（部位： ） [3. 7. 8]
といの材種 [3. 8. 2] [表3. 8. 1]
・配管用鋼管
・硬質塩化ビニル管（ ・VP ・RF-VP □ ）
鋼管製といの防露巻き [3. 8. 2. 3] [表3. 8. 4]
※行う（施工箇所 ※改修標仕表3.8.4による ・ ）
防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種
といの掃除口 ※あり（図示） ・なし
たてどい受金物の取付け [3. 8. 2. 3] (13. 5. 3)
※図示 ・標仕13.5.3 (4) (イ) による
ルーフトレン [3. 8. 3] [表3. 8. 1]
種 別 施工箇所
・ろく屋根用（ ・たて形 ・横形）
・バルコニー中継用
・バルコニー用
[3. 9. 2] [表3. 9. 1]
種 類 最小呼称肉厚（mm） 表面処理 固定間隔 備 考
・250形 1.6 ※A-1又は B-1種 ※固定方法及び間隔は図示による。 コーナー部、突当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形 1.8
・350形 2.0
・100形
・

[3. 9. 2. 3] (表13. 2. 1)
形 式 形状（mm） 材料（規格等） 軒先面戸板 断熱材 耐火性能
※重ね形 山高（ ） ※あり ※あり ※30分
・はぜ絡め形 山ピッチ ミニウム-亜鉛合金 ・なし 種別（ ）
・かん合形（ ） めっき銅板及び銅帯（ ）
板厚（ ）mm
※0.6 ・0.8（GGLCCR-20—AZ150） 防火性能（ ）時間
・なし

4 外壁改修工事 共通事項

1 施工数量調査

② 改修材料

調査範囲 ・外壁改修範囲 ・図示の範囲 [1. 5. 2]
調査内容
（1） ひび割れの幅及び長さを壁面に表示し、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
（2） モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、欠損部の形状寸法等を調査する。
（3） コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
（4） 塗り仕上げについては、コンクリート又はモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示し、既存塗膜と新規塗材との適合性を確認する。
調査報告書の部数 ※2部
○既製調合モルタル
保水率（%） 単位容積質量 接着強さ（N/mm²） 長さ変化率 曲げ強さ（N/mm²）
標準時 温冷繰返し後（%）
70.0以上 1.80程度 0.60程度 0.40以上 0.20以下 4.0以上
・パテ状エポキシ樹脂
初期硬化性（N/mm²） 接着強さ（標準）（N/mm²） 圧縮強さ（N/mm²） 曲げ強さ（N/mm²） 硬化収縮率（%）
標準2.0以上 標準5.0以上 50.0以上 30.0以上 3.0以下
（1） 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
（2） 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
（3） 常温常温（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造所の指定する期間又は製造後6箇月間保存したものであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。
（4） 試験方法は、JIS A 6024（建築補修用注入エポキシ樹脂）に準ずる。
・可とう性エポキシ樹脂
比重 押出し性（秒） スランプ（mm） 加熱減量（%） 引張強さ（N/mm²） 伸び（%） 引張接着性
表示値 ±0.10 60以下 3.0以下 5.0以下 常温物性1.0以上 常温物性30.0以上 最大引張応力1.0N/mm²以上 破断時の伸び10.0%以上
（1） 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
（2） 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
（3） 常温常温（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造所の指定する期間又は製造後6箇月間保存したものであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。
・タイル部分張替え工法用接着剤
適用範囲 張替え面積が比較的小さく、下地モルタルが健全な場所に用いる。
樹脂の種類 変成シリコーン樹脂系、ウレタン樹脂系
接着強さ 標準 低温硬化 アルカリ温水 凍結融解 熱劣化
強度（N/mm²） 0.60以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上
凝集破壊率（%） 75以上 50以上 50以上 50以上
皮膜物性 標準 高温 低温 アルカリ温水 熱劣化
引張強さ（N/mm²） 0.60以上 0.60以上 0.60以上 0.40以上 0.40以上
伸び（%） 35以上 35以上 35以上 25以上 25以上
貯蔵安定性（一液形のみ） 質量の変化が9%以内で、かつ、均質で異物が認められないこと。
混練終結確認容易性（二液形のみ） 混練終結時の色が明瞭であること。
耐熱性 JIS A 5557の試験において、80℃で4週間1kgの重りで安定していること。
ずれ抵抗性 ずれが生じないこと。
（1） 外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。
（2） タイル、下地材等を侵すものでないこと。
（3） 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に規定された第一種特定化学物質及び第二種特定化学物質、並びに「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
（4） 常温常温（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造後6箇月間保存しても上記の品質性能に適合していること。
・エポキシ樹脂モルタル
接着強さ（N/mm²） 圧縮強さ（N/mm²） 曲げ強さ（N/mm²）
1.0以上 20.0以上 10.0以上
（1） こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上りが良好であること。
（2） 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
（3） 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
（4） 形状に異常がなく、だれが生じないこと。
（5） 常温常温（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造後6箇月間保存しても上記の品質性能に適合していること。
○ポリマーセメントモルタル
種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン-酢ビ系等
曲げ強さ（N/mm²） 圧縮強さ（N/mm²） 接着強さ（N/mm²）
標準時 湿潤時 低温時
6.0以上 20.0以上 1.0以上 0.8以上 0.5以上
（1） 表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。
（2） 透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。
（3） 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
（4） ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常温において製造後6箇月間保存しても変質しないこと。
・ポリマーセメントスラリー
広がり速度（cm/s） 長さ変化率（収縮）（%） 引張接着性（材齢28日）（N/mm²） 曲げ性能（材齢28日）（N/mm²） 吸水性（72時間）（%） 耐久性（劣化曲げ強さ）（N/mm²）
3以上 3以下 0.5以上 5.0以上 15%以下 5.0以上
保水係数 0.35～0.55
粘調係数 0.50～1.00
・吸水調整材
全固形分（%） 吸水量（g） 接着強度（N/mm²） 界面破壊率（%）
表示値 ±1.0以内 30分間で1以下 0.98以上 50以下
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

工事名

向町浄水場自家発電施設等更新工事

工事場所

行田市向町28番4号

図面名称

建築改修工事特記仕様書（その1）

課 長

主 幹

主 査

担 当

縮 尺

内山

田島

長谷見

栗原

S=NONE

行田市水道事業

図面番号

A - 01

4
1
5

外壁改修工事
塗り仕上げ外壁

1 既存塗膜等の除去及び下地処理

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法

工 法

処理範囲

下地面の補修

・サンダー工法

※既存仕上面全体

・ひび割れ部改修工法

・高圧水洗工法

※既存外装薄塗仕上面積 30MPa

・浮き部改修工法

※既存防水型複層塗仕上面積 15MPa

・欠損部改修工法

・塗膜はく離剤工法

※既存仕上面全体

・水洗い工法

※上記処理範囲以外の既存仕上面全体

塗膜はく離剤の種類

〔4. 2. 2〕

材料

下地調整塗材（C-2）

〔4. 5. 4〕〔4. 5. 5〕

○ポリマーセメントモルタル

・防水形仕上げ塗材主材を使用

② 下地調整

③ 仕上塗材仕上げ

仕上塗材の種類、仕上げの形状等

種 類

呼び名

仕上げの形状等

○薄付け仕上塗材

・外装薄塗材Si

・可とう形外装薄塗材Si

○外装薄塗材E

・可とう形外装薄塗材E

○防水形外装薄塗材E

○ゆず肌状

・外装薄塗材S

・外装厚塗材C

・砂壁状

・着色骨材砂壁状

・砂壁状

・ゆず肌状

・さざ波状

・ゆず肌状

・さざ波状

・凹凸状

・砂壁状

・厚付け仕上塗材

・外装厚塗材C

・外装厚塗材Si

・外装厚塗材E

・吹放し

・凸凸処理

・平たん状

・凹凸状

・ひき起し

・かき落とし

・吸放湿性

・適用する

・適用しない

・適用する

・適用しない

○複層仕上塗材

・複層塗材OE

・複層塗材Si

・複層塗材E

○複層塗材RE

・可とう形複層塗材OE

・防水形複層塗材OE

・防水形複層塗材E

・防水形複層塗材RE

○ゆず肌状

・凸凸処理

・凹凸模様

・耐候性

※耐候形3種

上塗材

溶媒

※水系

・溶剤系

樹脂

※アクリル系

・外観

※つやあり

・つやなし

・メタリック

防水形の増設材

※行う

・可とう形改修用仕上塗材

・可とう形改修塗材E

・可とう形改修塗材RE

・可とう形改修塗材OE

・平たん状

・さざ波状

・ゆず肌状

防火材料の指定

〔4. 5. 2〕

※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする。

5 建具改修工事

① 改修工法

建具の種類

かぶせ工法

撤去工法

適用箇所

○アルミニウム製建具

・

○

※建具表による

・図示

○鋼製建具

・外部

・

○

※建具表による

・図示

・内部

・

・

※建具表による

・図示

・鋼製軽量建具

・

・

※建具表による

・図示

・ステンレス製建具

・

・

※建具表による

・図示

〔5. 1. 3〕

2 見本の製作等

・特殊な建具の仮組（建具符号：

）

〔5. 1. 5〕

3 防犯建物部品

・適用する（適用箇所は建具表による）

〔5. 1. 7〕

4 アルミニウム製建具

性能等級等

〔5. 2. 2〕〔表5. 2. 1〕

外部に面する建具

種 別

耐風圧性

気密性

水密性

特見込み（mm）

施工箇所

・A種

S-4

・A-3

・W-4

※70

※図示

・B種

S-5

・

・

・

・C種

S-6

A-4

W-5

100

防音ドアセット、防音サッシ

・適用する

遮音性の等級（ ）

断熱ドアセット、断熱サッシ

・適用する

断熱性の等級（ ）

耐震ドアセット

・適用する

面内変形追随性の等級（ ）

表面処理

外部に面する建具

※B-1種

・B-2種（ ・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）

屋内建具

※C-1種

・C-2種（ ・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）

〔5. 2. 4〕〔表5. 2. 2〕

網戸

防虫網の材質

※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製（SUS316）

形式

※外部可動式 ・固定式

〔5. 2. 3〕

結露水の処理

・

〔5. 2. 4〕

⑤ 鋼製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

〔5. 4. 2〕〔表5. 4. 1〕

外部に面する建具の耐風圧性の適用は建具表による

〔5. 4. 2〕〔表5. 2. 1〕

6 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

〔5. 5. 2〕

7 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

〔5. 6. 2〕〔表5. 4. 1〕

外部に面する建具の耐風圧性の適用は建具表による

〔5. 6. 2〕〔表5. 2. 1〕

表面仕上げ

※HL ・鏡面

〔5. 6. 4〕

曲げ加工

※普通曲げ ・角出し曲げ（補強あり）

〔5. 6. 5〕

8 木製建具

かまち戸の樹種

かまち（ ）

鏡板（ ）

〔5. 7. 2〕

ふすまの上張り

※新島の子又はビニル紙程度（押入等の表面は除く）

・鳥の子

〔表5. 7. 3〕

建物内部の木製建具に使用する表面材（合板）及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外 ・第三種

〔5. 7. 2〕

⑨ 建具用金物

鍵

マスターキー ・製作する ※製作しない

〔5. 8. 4〕

鍵箱

市販品

形式

・30組用 ・60組用 ・120組用

〔5. 8. 4〕

6 内装改修工事

① 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲

〔表6. 1. 3〕

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

○図示の範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲

〔表6. 1. 3〕

※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示の範囲

〔表6. 1. 3〕

天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修

※既存のまま

・図示の範囲

〔表6. 1. 3〕

② 既存床の撤去並びに下地補修

ビニル床シート等の除去

※仕上材のみ（接着剤共）

〔表6. 2. 2〕

・下地モルタル共（※図示の範囲 ・除去範囲すべて）

合成樹脂床材の除去工法

・機械的除去工法 ・目荒し工法

〔表6. 2. 2〕

改修後の床の清掃範囲

※改修箇所の室内

〔表6. 2. 2〕

③ 既存壁の撤去並びに下地補修

4 木材

表面仕上げの程度

機械加工

〔表6. 5. 1〕

・A種

※B種（自動機械かんん掛け仕上げ）

・C種

手加工

内部造作材 ・H-A種 ※H-B種（さか目、かんまくれが殆どないもの） ・H-C種

下地材

・H-A種 ・H-B種 ※H-C種

現場搬入時の木材の含水率

※A種 ・B種

〔表6. 5. 2〕〔表6. 5. 1〕

保存処理木材

・使用する（使用箇所：

）

〔表6. 5. 2〕

構造材及び下地材の品質の基準

※改修標準6. 5. 2 (2) (7) (a)による

〔表6. 5. 2〕

造作材の材面の品質の基準

※A種 ・B種

〔表6. 5. 2〕〔表6. 5. 2〕

代用樹脂を使用しない箇所

（ ）

⑤ 集材等

集材及び単板積層材のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外 ・第三種

〔表6. 5. 2〕

構造用集材材

〔表6. 5. 2〕

施工箇所

品 名

強度等級

材面の品質

接着性能

樹種名

寸法（mm）

・1種

・使用環境A

※2種

・使用環境B

・3種

・使用環境C

構造用単板積層材

〔表6. 5. 2〕

施工箇所

接着性能

曲げ性能

樹種名

寸法（mm）

・使用環境1

・使用環境2

造作用集材材

〔表6. 5. 2〕

施工箇所

樹種名

見付け材面の品質

寸法（mm）

米栴

※1等 ・2等

36×45

化粧ばり造作用集材材

〔表6. 5. 2〕

施工箇所

心材の樹種名

化粧板の樹種名

化粧板の厚さ（mm）

見付け材面の品質

寸法（mm）

※1等 ・2等

⑥ 床張り用合板及びその他の合板

合板のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外 ・第三種

〔表6. 5. 2〕

普通合板

〔表6. 5. 2〕〔表6. 13. 2〕

施工箇所

厚さ（mm）

表板の樹種名

接着の程度

板面の品質

防虫処理

その他の処理

（床）

5. 5

※1類 ・2類

広葉樹 ・1等 ※2等針葉樹 ※C-D

・する ・しない

・難燃処理

（壁、天井）

・ラワン ・しな

・1類 ・2類

・する ・しない

・難燃処理 ・防炎処理

構造用合板

〔表6. 5. 2〕

施工箇所

厚さ（mm）

表板の樹種名

接着の程度

等級

板面の品質

防虫処理

（床）

12. 0

・特類 ※1類

・1級 ※2級

※C-D ・

・する ・しない

天然木化粧合板

〔表6. 13. 2〕

施工箇所

厚さ（mm）

化粧板の樹種名

接着の程度

防虫処理

その他の処理

（壁、天井）

・3. 2

・なら

・1類

・する

・難燃処理

※4. 2

・しおじ

・2類

・する

・防炎処理

・6. 0

特殊加工化粧合板

〔表6. 13. 2〕

施工箇所

厚さ（mm）

化粧加工の方法

表面性能

加工面

接着の程度

防虫処理

その他の処理

（壁、天井）

※4. 0

・オーバーレイ

・F ・FW

・表面

・1類

・する

・難燃処理

・

・プリント

・F

・両面

・2類

・しない

・防炎処理

・塗装

・SW

防蟻処理

※行う（ ・ ・図示 ）

〔表6. 5. 5〕

防蟻処理

・行う（※図示 ・ ）

〔表6. 5. 5〕

防蟻、防蟻処理剤の種類及び品質

〔表6. 5. 5〕

表面処理用木材保存剤（防蟻・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。

7 防蟻、防蟻処理

⑧ 接着剤

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂（以下「ユリア樹脂等」という）又はホルムアルデヒド系防蟻剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外 ・第三種

※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

9 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類

〔表6. 6. 2〕〔表6. 6. 1〕

屋外（ ・19形 ※25形）

屋内（※19形 ・25形）

既存の埋込みインサート

・使用する ・使用しない

〔表6. 6. 4〕

あと施工アンカーの引抜き試験

・行う ・行わない

〔表6. 6. 4〕

屋外の軒天井、ピロティ天井等

※図示

〔表6. 6. 4〕

野縁受、吊りボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離

※図示

野縁の間隔

※図示

耐風圧性を考慮した補強

※図示

天井下地材における耐震性を考慮した補強

・行う（補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示）

〔表6. 6. 4〕

スタッド、ランナーの種類

※改修標準表6. 7. 1による

・図示

〔表6. 7. 1〕

スタッドの高さが5mを超える場合

※ 図示

〔表6. 7. 1〕

10 軽量鉄骨壁下地

11 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

ビニル床シート及びビニル床タイルの特殊機能

〔表6. 8. 2〕

帯電防止

・帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1. 2以上～3. 2未満又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10⁷～1×10¹⁰ Ω程度

耐動荷重

JIS A 1454による、へこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、摩耗性試験、層間く離強度試験（発泡層のあるビニル床シートのみ）及びキャスター性試験等の試験後、異常がないこと

〔表6. 8. 2〕

ビニル床シート

〔表6. 8. 2〕

種 類

記号

施工箇所

色 柄

厚さ（mm）

特殊機能

※発泡層のないもの

※FS

・

※無地

※2. 0

・帯電防止

・マーブル柄

・

・耐動荷重

・発泡層のあるもの

・

※柄物

・

・帯電防止

・無地

・

・耐動荷重

工法

※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所：

）

〔表6. 8. 3〕

ビニル床タイル

〔表6. 8. 2〕

種 類

記号

施工箇所

色柄

寸法（mm）

厚さ（mm）

特殊機能

・コボシジシ

KT

・

※無地

・300×300

※2. 0

・帯電防止

・ビニル床タイル（半硬質）

・柄物

・450×450

・

・耐動荷重

・コボシジシ

CTS

・

※無地

・300×300

※2. 0

・帯電防止

・ビニル床タイル（軟質）

・

・450×450

・

・耐動荷重

・特シジシビニル床タイル

HT

・

※無地

・300×300

※2. 0

・帯電防止

・

・450×450

・

・耐動荷重

・置敷きビニル床タイル

HTL

・

※無地

・500×500

・

・帯電防止

・

・

・

・耐動荷重

ビニル幅木

〔表6. 8. 2〕

材質

※軟質 ・硬質

高さ（mm）

※60 ・75 ・100

厚さ（mm）

※2. 0

ゴム床タイル

〔表6. 8. 2〕

色柄

（ ）

厚さ（mm）

・3. 0 ・4. 5 ・6. 0 ・9. 0

寸法

（ ）

52 カーベット敷き

織じゅうたん

〔表6. 9. 2. 3〕〔表6. 9. 1〕

種 別

バイル形状

織り方

色柄等

帯電性

備 考

・A種

・カババイル

・ウルトンバット

※無地

※人体帯電圧

・

・B種

・ループバイル

・ダブバイルバット

※柄物

3kV以下

・

・C種

・カババイル併用

・ワタバイルバット

（標準品）

・

下敷き材

※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm

タフテッドカーベット

〔表6. 9. 2. 3〕〔表6. 9. 2〕

バイル形状

バイル長さ（mm）

工 法

帯電性

備 考

・カットバイル

※5 ～ 7

※全面接着工法

※人体帯電圧

・

・ループバイル

※4 ～ 6

・グリッター工法

3kV以下

・

・レベールバイル

※4

・

・

・カット、ループ併用

・

下敷き材

※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm

ニードルパンチカーベット

〔表6. 9. 2. 3〕

厚さ（mm）

帯電性

※人体帯電圧3kV以下

備考

タイルカーベット

〔表6. 9. 2. 3〕

バイル形状

種 類

寸法（mm）

総厚さ（mm）

帯電性

備 考

※ループバイル

※第一種

※500×500

※6. 5

※人体帯電圧3kV以下（リアフレックス70°敷設範囲）

・

・第二種

・

・

・

・

・カットバイル

・

・

・

・

・カット、ループ併用

・

・

・

・

タイルカーベットの敷き方

平場

※市松敷き ・横線流し

階段部分

※横線流し ・市松敷き

見切り、押え金物

・適用する（材質、形状等 ※図示 ・ ）

〔表6. 9. 3〕

⑬ 合成樹脂塗床

種 別

施工箇所

仕 上 げ の 種 類

・弾性ウレタン塗床材

・

※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ

○エポキシ樹脂塗床材

1系配水ポンプ室管理棟（発電機室）沈降槽着水井

○薄膜流し展べ仕上げ

・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑 ・防汚）

・樹脂モルタル仕上げ（※平滑 ・防汚）

・防汚仕上げ

○ビニルエステル樹脂塗床材

次重室

○防汚仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量

〔表6. 10. 2〕

※規制対象外 ・第三種

8 壁紙のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外 ・第三種

〔表6. 14. 3〕〔表7. 2. 4～7〕

下地調整

モルタル面、プラスター面

・RA種

※RB種（施工箇所：

）

コンクリート面

・RA種

※RB種（施工箇所：

）

せつこうボード面

・RA種

・RB種（施工箇所：

）

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）

〔表6. 15. 3〕

防水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする。（JIS A 1404による試験）

混合割合

凝結時間

曲げ及び圧縮強度比

吸水比

透水比

セメント重量の5%以下

JIS R 5201の試験8において始発 1時間以上 終結 10時間以内

70%以上

95%以下

80%以下（294. 0 kPaの水圧を1時間かける）

安定性、膨張性のひび割れ及びそりがないこと。（JIS R 5201の試験9）

防水調整剤は、4章外装改修工事共通事項による。

〔表6. 15. 3〕

既製目地材

※適用しない ・適用する

〔表6. 15. 3〕

床目地

・設ける（工法 ※押し目地 ・ ）

〔表6. 15. 6〕

⑭ モルタル塗り

⑮ タイル張り

タイルの種類

〔表6. 16. 3〕

施工箇所

形状寸法（mm）

うわぐすり

吸水率

耐薬害性

役物

色

再生材の適用

備考

管理棟（水質試験室）

100角

・

○

・

・

・

○

・

・

・

・

・

管理棟（水質試験室）

小口

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

防音ドアセット、防音サッシ

・適用する

遮音性の等級（

）

断熱ドアセット、断熱サッシ

・適用する

断熱性の等級（

）

耐震ドアセット

・適用する

面内変形追随性の等級（

）

①材料

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 第三種
建物内部に使用する塗料の材質 水性系
防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
次の箇所を除き防火材料とする。 (施工箇所：)

②下地調整

既存塗膜の除去範囲 (塗替えでRB種の場合)
※塗替え面積の30% 図示

下地調整の種別等

下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修
	塗替え	新規	
木部	※RB種	・RA種 ・RB種	
鉄鋼面	※RB種	RA種	
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具を除く)	※RB種	RA種	
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※RB種	RC種	
モルタル面、プaster一面	※RB種	・RA種 ・RB種	・行う
コンクリート面、ALCパネル面 (2-UE、2-ASE、2-FUEは除く)	※RB種	・RA種 ・RB種	・行う
コンクリート面、押出成形セメント板面 (2-UE、2-ASE、2-FUEの場合)	・	・RA種 ・RB種	・行う
せつこうボード面、その他ボード面	※RB種	・RA種 ・RB種	

③素地ごしらえ

素地ごしらえの種別等

下地面の種類	素地ごしらえの種別		
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種	・B種
	透明塗りの場合	※B種	・A種
鉄鋼面	耐候性塗料塗りの (DP)	※C種	・A種
	その他	※B種	・A種 ・C種
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具を除く)	・A種	・A種	・B種
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	・A種	・A種	・B種
モルタル面、プaster一面	※B種	・A種	・A種
コンクリート面、ALCパネル面 (耐候性塗料塗りの (DP) は除く)	※B種	・A種	
コンクリート面、押出成形セメント板面 (耐候性塗料塗りの (DP) の場合)	・A種	・B種	
せつこうボード面	目地：継目処理工法	※A種	・B種
その他ボード面	目地：継目処理工法以外	※B種	・A種

③錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別等

塗装面	塗料種別	工程種別	備考
鉄鋼面	屋外用	※A種 ・B種	※C種
	屋内用	・A種 ※B種	※C種
		C種	※C種
亜鉛めっき鋼面	塗替え	※A種 ・B種	※C種
		C種	※C種
	新規 (鋼製建具を除く)	※A種 ・B種	・A種 ・B種
	新規鋼製建具	※A種 ・B種	A種

④塗装

塗 装	種 別	塗料の種類
木部屋外	※A種 ・B種	※1種 ・2種
木部屋内	※B種 ・A種	※1種 ・2種
鉄鋼面	※B種 ・A種	※1種 ・2種
亜鉛めっき鋼面	—	※1種 ・2種
・クリヤラッカー塗り (CL)	※B種 ・A種	—
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)	※B種 ・A種	—
・耐候性塗料塗り (DP)	—	上塗り等級 (1) 級
	亜鉛めっき鋼面	—
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・A種 ・B種 ・C種
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	※B種 ・A種	—
・合成樹脂エマルジョン模様の塗料塗り (EP-T)	※B種 ・A種	—
・ウレタン樹脂ニス塗り (UC)	※B種 ・A種	—
・オイルステイン塗り (OS)	—	・
・木材保護塗料塗り (WP)	屋外用	※B種 ・A種

高日射反射率塗料 [G] の適用 ※適用する ・適用しない
適用箇所 ※屋上、屋上面の金属面

8 耐震改修工事 共通事項

8 1 撤去工事

8 1 1 鉄筋工事

1 鉄筋の種類

鉄筋の種類

種類の記号

呼び名 (mm)

SD295

※D16以下

SD345

※D19以下

網目の形状、寸法等

網目の形状、寸法 (縦×横) (mm)

鉄筋の径又は呼び名 (mm)

規格

※100×100

※6.0

JIS G 3551による

2 溶接金網

網目の形状、寸法等

部 位

継手方法

呼び名 (mm)

柱、梁の主筋

※ガス圧接 ・機械式継手

その他の鉄筋 ()

※重ね継手

鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第73条による。(図示)

鉄筋の定着長さ

鉄筋の定着長さは、建築基準法施行令第73条による。(図示)

帯筋組立の形の種類

W-I 形

W-II 形

W-III 形

鉄筋のかぶり厚さ

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは目地底から算定する。

耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所

改修仕様表8.3.6の値に加える寸法 (mm)

柱、梁、壁及び庇等の外気に接する打放し面

※10

5 壁の配筋

壁配筋の重ね継手の長さ

壁配筋の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第73条による。(図示)

壁配筋の定着長さ

図示

耐震壁の開口部補強

図示

6 壁開口部の補強

圧接部の確認試験

超音波探傷試験

引張試験

7 ガス圧接

8 既存構造体との取合い

割製補強筋

種類

材 料

材 質

径

本数ピッチ等

適用箇所

※スバイラス筋

※鉄筋コンクリート用棒鋼

※SR235

※φ6

※φ9

※φ16の径 (mm)

※φ16の径 (mm)

※φ16の径 (mm)

※φ10

壁面内方向筋

壁面外方向筋

・はしご筋

※鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)

※SD295A

・

・

・

・

・

・

5 あと施工アンカー工事

1 あと施工アンカー

材料等

金属系アンカー

セツト方式

※本体打込み式

引張耐力

※鋼棒

せん断耐力

※鋼棒

接合筋の種類、径、長さ

※鋼棒

性能確認試験

実施する (試験方法及び試験数 ※図示)

実施しない

接着系アンカー

アンカーの種類

※カプセル型

引張耐力

※図示

せん断耐力

※図示

接着剤の品質

※有機系 ・無機系

アンカー筋の種類

※改修仕様表8.2.1の異形棒鋼

全ねじボルト

性能確認試験

実施する (試験方法及び試験数 ※図示)

実施しない

2 穿孔前の埋込み配管等の探査

探査範囲

※あと施工アンカー施工部分すべて

図示

探査方法

※鉄筋探査機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う

はつり出しによる

3 施工確認試験

試験の適用

※実施する (試験方法 ※引張試験 ・)

確認強度

※図示

実施しない

4 シアコネクタ (現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いるシアコネクタ)

種類

※金属拡張系あと施工アンカーの異形差筋アンカー

径 (mm)

※D10

既存壁への有効埋込み長さ (mm)

※7d (d：シアコネクタの径)

増打ち壁への有効定着長さ (mm)

間隔 (mm)

※500×500

5 型枠工事

シアコネクタとセパレーターの兼用

※兼用してもよい ・兼用しない

8 1 4 コンクリート工事

①コンクリートの種類及び強度

レディーミクストコンクリートの類別

※Ⅰ類 ・Ⅱ類

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F_c (N/mm²)

適用箇所

21

※新設壁

18

※新設壁

軽量コンクリートの設計基準強度等

設計基準強度F_c (N/mm²)

気乾単位容積質量 (t/m³)

種 別

適用箇所

21

・1種 ・2種

・

・1種 ・2種

スランプ

スランプ (cm)

適用箇所

※18

※新設壁

コンシステンシー

Jロートによる落下時間

練混ぜ完了から3分以内の値

8±2秒

コンクリートの仕上り

部材の位置及び断面寸法の許容差

改修仕様表8.1.3Iによる

(適用箇所：)

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ

種 別

適用箇所

・A種

・B種

・C種

仕上りの平たんさ

改修仕様表8.1.4Iによる

(適用箇所：)

セメント

セメントの種類

種 類

適用箇所

※普通ポルトランドセメント

※新設壁

又は混合セメントのA種

・高炉セメントB種 [G]

・フライアッシュセメントB種 [G]

普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210Iに示された規定のほか、水和熱が7日目で325J/g以下、かつ、28日目で402J/g以下のものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

骨材

細骨材及び混合細骨材

フェロニッケルスラグ細骨材 [G]

使用部位 ()

鋼スラグ細骨材 [G]

使用部位 ()

電気炉酸化スラグ細骨材

使用部位 ()

砂利及び砂のアルカリシリカ反応性による区分

※A ・B

砕石及び砂のアルカリシリカ反応性による区分

※A ・B

混和材料

種類

※混和剤 ・混和材

混和材料の使用量

※改修仕様8.2.5(5)、(b)、⑥による

④コンクリートの調合強度

コンクリート強度の気温による補正值

室内の工事における温度補正

行う

行わない

5 無筋コンクリート

設計基準強度等

種 類

設計基準強度 (N/mm²)

スランプ (cm)

粗骨材の最大寸法 (mm)

適用箇所

※普通コンクリート

※18

※15又は18

※25

・軽量コンクリート

・

・

・20

セメントの種類

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種

・高炉セメントB種 [G] (捨コンクリート)

6 高い強度のコンクリート

設計基準強度

設計基準強度F_c (N/mm²)

適用箇所

27

30

33

36

混和材料

※混和剤

※高性能AE減水剤標準形又は遅延形

7 断熱材兼用型枠

種 類

施工箇所

厚さ (mm)

品質等

断熱材兼用型枠

木質系

※壁 (図示の範囲)

※40以下

断熱抵抗

＝厚さ÷熱伝導率

＝0.676以上

(m²・K/W)

コンクリート系

・

プラスチック系

製造所

建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの

8 コンクリートの打込み工法等

部位ごとのコンクリート打込み工法の指定

補強工法

打込み工法

部 位

現場打ち鉄筋

※工法指定なし

鉄筋打込み工法 [8.19.8(a)(1)及び(b)]

すべての増設壁

図示

コンクリート

流し込み工法 [8.19.8(a)(2)及び(c)]

すべての増設壁

図示

壁の増設工事

圧入工法 [8.19.8(a)(2)及び(c)]

すべての増設壁

図示

鉄筋コンクリート柱の溶接

※工法指定なし

鉄筋コンクリート柱の溶接

流し込み工法 [8.19.8(a)(1)及び(b)]

すべての増設柱

図示

鉄筋コンクリート柱の溶接

流し込み工法 [8.19.8(a)(1)及び(b)]

すべての増設柱

図示

鋼筋巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法

圧入工法 [8.19.8(a)(2)及び(c)]

すべての増設柱

図示

図示

鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法での型枠等

柱頭柱脚の隙間部間の型枠

※発泡プラスチック保温材等を埋め込む

柱頭柱脚の隙間寸法

※図示

既存柱外周部あと打ちコンクリート又はモルタルの厚さ

※図示

①モルタル及びグラウト材

構造体用モルタル

※[8.2.12]及び[8.5.10]による

柱底均しモルタル

※無収縮モルタル

グラウト材

※無収縮グラウト材 (セメント、混和材、砂は無収縮モルタルに準ずる)

無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は次にによる

無収縮モルタルの材料及び割合

混和材

セメント系 (酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの) とする。

セメント

JIS R 5210 (ポルトランドセメント) による普通又は早強ポルトランドセメントとする。

砂

(社)土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。

配合比

(各重量比) (セメント+混和材) : 砂=1:1

無収縮モルタルの品質及び試験方法

コンシステンシー

Jロートによる落下時間

練混ぜ完了から3分以内の値

8±2秒

ブリーディング

練混ぜ2時間後のブリーディング率

2.0%以下

凝結時間

凝結開始時間

1時間以上

終結時間

10時間以内

無収縮性

材齢 7日

収縮しないこと

圧縮強度

材齢 3日

25.0 N/mm²以上

材齢 28日

45.0 N/mm²以上

付着強度

材齢 28日

3.0 N/mm²以上

塩化物量

0.30kg/m³以上

試験方法

(1) 日本道路公団規格JIS 312-1999 (無収縮モルタル品質管理試験方法) による。

(2) 塩化物量は、JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート) の9.6 塩化物含有量の試験方法による。

無収縮グラウト材の材料 (プレミックス及び現場調合形)

混和材

セメント系 (酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの) とする。

セメント

JIS R 5210 (ポルトランドセメント) による普通又は早強ポルトランドセメントとする。

砂

(社)土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。

無収縮グラウト材の品質及び試験方法 (現場調合形においては標準使用量・配合値)

コンシステンシー

Jロートによる落下時間

練混ぜ完了から3分以内の値

8±2秒

ブリーディング

練混ぜ2時間後のブリーディング率

2.0%以下

凝結時間

凝結開始時間

1時間以上

終結時間

10時間以内

無収縮性

材齢 7日

収縮しないこと

圧縮強度

材齢 3日

20.0 N/mm²以上

材齢 28日

40.0 N/mm²以上

付着強度

材齢 28日

2.5 N/mm²以上

塩化物量

0.30kg/m³以上

試験方法

(1) 日本道路公団規格JIS 312-1999 (無収縮モルタル品質管理試験方法) による。

なお、プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックス形のみ試験を行う。

(2) 塩化物量は、JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート) の9.6 塩化物含有量の試験方法による。

工事名

向町浄水場自家発電施設等更新工事

工事場所

行田市向町28番4号

図面名称

建築改修工事特記仕様書 (その3)

課長

主幹

主査

担当

縮尺

内山

田島

長谷見

栗原

S-NONE

図面番号

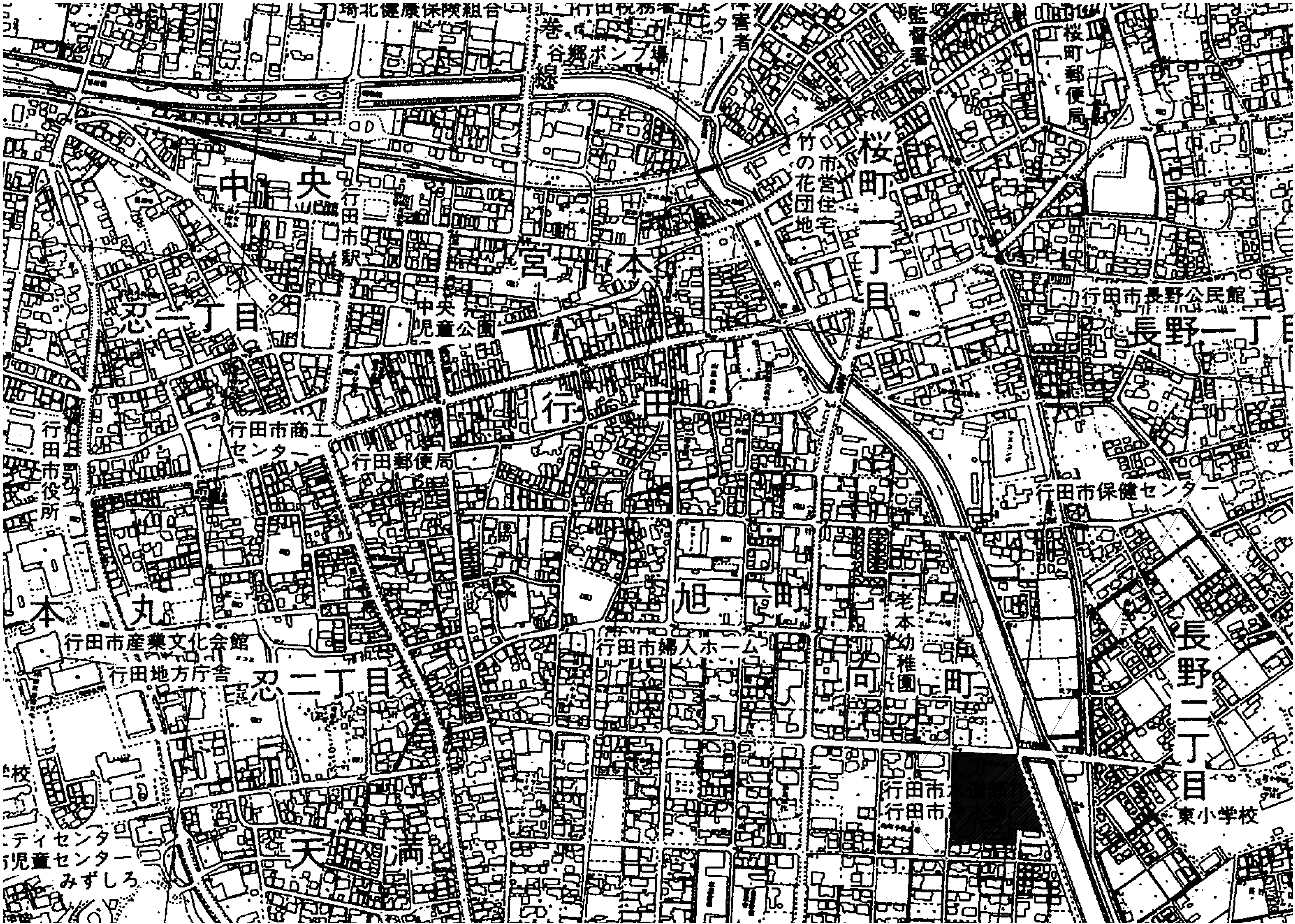
行田市水道事業

A -03

①一般事項	石綿等の取扱については、大気汚染防止法(昭和43年6月10日法律第97号)(以下、「大防法」という。)及び石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿則」という。)を遵守すること。	[1.5.1]
	事前調査	
	※ 行う (大防法第18条の17により、同法の特定工事に該当するか事前調査を行うこと。調査結果は、図面等に記録し、書面により発注者に説明の上、提出すること。 特定工事に該当する場合、受注者は大防法第18条の15による届出書の案を作成し、監督職員に提出すること。 調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。)	
	調査事項	
	※ 石綿含有建材等の使用部位	
	※ 石綿含有建材等の種類、厚さ、面積	
	※ 施工範囲と工事範囲区分	
	※ 排出等作業の方法	
	・	
	調査結果を公衆に見やすいよう掲示すること。	
	※ 事業場の名称	※ 調査結果
	※ 建築物等の種類	※ 調査者及び所属
	※ 調査方法	※ 調査終了年月日
	※ 発注者からの通知	・
石綿含有分析		[1.5.1]
	・ 行わない	
	○ 行う (分析結果は監督職員に提出する。)	
	調査箇所	※ 図示 ○ (施工調査で必要と思われる箇所)
	分析方法	※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。
	材 料 名	定性分析 定量分析
	各建具表・仕上表参照	・ (試料数: 35)全て含む ・ (試料数:)
		・ (試料数:) ・ (試料数:)
		・ (試料数:) ・ (試料数:)
石綿粉じん濃度測定		[9.1.1(5)]
	○ 行わない	
	※ 行う (測定する時期・場所等は下表による)	
	「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法－第1部－ ・ 光学顕微鏡法及び定電電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。	
	適用	測定 測定時期 測定場所 測定点 室 名 等
	・ 測定 1	処理作業前 処理作業室内 (注1) ※2点 ・ 点
	・ 測定 2	施工区画周辺又は敷地境界 ※2点 ・ 点
	・ 測定 3	処理作業中 処理作業室内 (注1) ※2点 ・ 点
	・ 測定 4	セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認) ※1点 ・ 点
	・ 測定 5	負圧・粉じん装置の排出吹出口 (除じん装置の性能確認) ※1点 ・ 点
測定6	施工区画周辺又は敷地境界	※2点 ・ 点
	測定7	処理作業後シート 処理作業室内 ※2点 ・ 点
	測定8	撤去前 施工区画周辺又は敷地境界 ※2点 ・ 点
	測定9	処理作業後シート 撤去後 処理作業室内 ※2点 ・ 点
	測定点総計	点
	注1:周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。	
	(例) 石綿粉じん濃度測定方法	
	測定3	測定点1、2、4、6、7、8 測定5
	数計機器	位相差・分散顕微鏡
	メンブレンフィルタの直径	2.5mm 4.7mm
試験の吸引流量	1 L/min	5 L/min 10 L/min
	5 min	1.20 min 2.40 min
	アセトン固定一有機物炭化一屈折率浸漬法	
	計数条件	総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野
	計数アスベスト	幅3μm未満、長さ5μm以上、アスペクト比(長さ/幅) 3以上
	定量限界	50本/L 0.47本/L 0.3本/L
	記録する項目	
	ア. 測定結果	
	イ. 測定時間	
	ウ. 測定位置 (測定高さとともに図面上に記載する。)	
エ. サンプリング条件	(メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)	
	オ. マウンティング法	
	カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数	
	キ. 測定時 (各測定場所ごと) の天候、温度、湿度、外気の風速及び風量	
	測定機関	
	都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関	
	専門工事業者	
	石綿含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。	
	作業主任者の選出	
	石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。	
除去作業者の教育	作業者は、就業時に石綿則第27条に基づく教育を受けた者とする。また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。	

3 石綿含有材の除去	特別管理産業廃棄物管理責任者の選出	[9.1.2(4)]
	排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。 ただし、石綿含有成形板の処理工事を除く。	
	表示及び掲示	
	更衣室など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。	[9.1.2(6)]
	※ 石綿作業主任者名と職務内容	
	※ 関係者以外立入禁止	
	※ 喫煙・飲食の禁止	
	※ 「石綿除去作業中」の表示	
	※ 石綿の有害性	
	※ 取り扱い上の注意事項	
	※ 使用すべき保護具	
周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。	※ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ (労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制装置、曝露防止措置等)」	
	保護具、保護衣	[9.1.2(8)、(9)]
	作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。	
	除去した石綿含有物の保管、運搬等	[9.1.3(3)][9.1.4(3)][9.1.5(3)][9.1.6(4)]
	※ 他の内装材、廃棄物等と分別保管	
	※ 保管場所での飛散防止を施す。また、石綿含有成形板を運搬する場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。	
	※ 廃石綿等の保管場所である旨の表示を行う。	
	石綿含有吹き付け材の除去工事	[9.1.3]
	・ 行う (適用範囲 ・ 図示 ・)	
	・ 行わない	
作業場等の隔離等		[9.1.3]
	※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。	
	隔離シートの性能	
	※ 床面	※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重
	※ 壁面	※ 0.08mm以上のプラスチックシート等
	ただし、(一財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術 (除去)」の審査証明書 (以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。	
	セキュリティゾーンの設置	[9.1.3]
	※ 下表による	
	適用	室名 状態
	※ 更衣室	※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護具
※ 呼吸用保護具保管箱	※ 洗淨室	※ エアシャワー (温水シャワー)
	※ 前室	※ 高性能真空掃除機
		※ 使用済み保護衣保管かご
	ただし、(一財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術 (除去)」の審査証明書 (以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。	
	除去物及び汚染等	[9.1.3]
	処理方法	
	※ 密封処理 (二重袋梱包)	
	隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。	
	・ セメント固化	
	石綿含有保温材の除去工事	[9.1.4]
・ 行う (適用範囲 ・ 図示 ・)	・ 行わない	
	養生等	[9.1.4]
	※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。	
	掻き落とし、破砕、切断による除去方法	
	※ 行わない	
	・ 行う (この場合は改修欄仕(9.1.3)>「石綿含有吹き付け材の除去」によること。	
	除去工法	[9.1.4]
	※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。	
	※ 除去物については改修欄仕(9.1.3(2))により、密封処理とする。	
5 石綿成形板の除去	石綿含有成形板の除去工事	[9.1.5]
	・ 行う (適用範囲 ・ 図示 ・)	
	・ 行わない	
	養生	[9.1.5]
	※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。	
	除去工法	[9.1.5]
	※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。	
	※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。	
	※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕された石綿含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。	
	石綿含有仕上塗材の除去工事	[9.1.6]
・ 行う (適用範囲 ・ 図示 ・)	・ 行わない	
	汚泥としての処理が必要な場合	[9.1.6]
	運搬	
	処分	

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	建築改修工事特記仕様書（その４）				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=NONE	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 04	



向町浄水場
工事場所：行田市向町28番4号

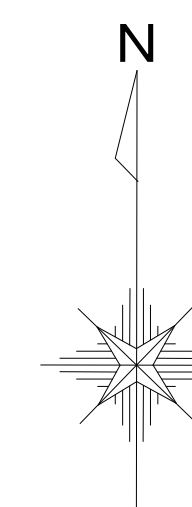
案 内 図 S=NONE

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	案 内 図				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=NONE	
				図面番号	
行田市水道事業				A-05	

① 県水受水室

② 1系配水ポンプ室

③ 管理棟



千代田橋

④ 沈降槽

県水受水池

№. 2 PC
配水池

№. 1 PC
配水池

№. 3 PC
配水池

⑤ 2系配水ポンプ室

⑥ 着水井

⑦ 次亜室

⑧ 1系混和池

配置図 S=1/300

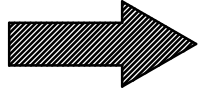
：工事対象を示す

▲ は主要な出入口を示す

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	配 置 図				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/300	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 06	

改修概要（共通）

部 位	改 修 前	記号	撤 去 工 事 ・ 下 地 処 理	そ の 他 ・ 備 考
金属製建具	片開きドア又は両開きドア（止水性能なし） 改修詳細図、改修建具表参照	①	スチール製又はアルミ製建具撤去	カッター入れ共 対象建物：全て
金属製建具	片開きドア又は両開きドア（止水性能なし） 改修詳細図、改修建具表参照	②	スチール製又はアルミ製建具既存のまま	カッター入れ共 対象建物：③管理棟、⑤2系配水ポンプ室
金属製建具	片開きドア（止水性能なし） 改修詳細図、改修建具表参照	③	スチール製又はアルミ製建具既存のまま	対象建物：③管理棟
アルミ製ガラリー	改修詳細図、改修建具表参照	④	アルミ製ガラリー既存のまま	カッター入れ共、一時取外し 対象建物：⑧1系混和池
外 壁	立面図参照 改修詳細図、改修建具表参照	⑤	高圧洗浄、下地処理	高圧洗浄30Mpa～50Mpa程度 対象建物：①県水受水室、③管理棟、⑤2系配水ポンプ室
給気口	建築機械設備工事図参照	⑥	給気口撤去	＜建築機械設備工事＞ 対象建物：①県水受水室
室外機	建築電気設備工事図、建築機械設備工事図参照	⑦	室外機既存のまま	＜建築電気設備工事＞、＜建築機械設備工事＞ 対象建物：③管理棟
コンセント	建築電気設備工事図参照	⑧	コンセント撤去	＜建築電気設備工事＞ 対象建物：③管理棟
ブルボックス	建築電気設備工事図参照	⑨	ブルボックス既存のまま	＜建築電気設備工事＞ 対象建物：③管理棟
ヒートポンプ 給湯機	建築機械設備工事図参照	⑩	ヒートポンプ給湯機残置	＜建築機械設備工事＞ 対象建物：③管理棟
排水管	建築機械設備工事図参照	⑪	排水管既存のまま	＜建築機械設備工事＞ 対象建物：③管理棟、⑤2系配水ポンプ室、⑧1系混和池



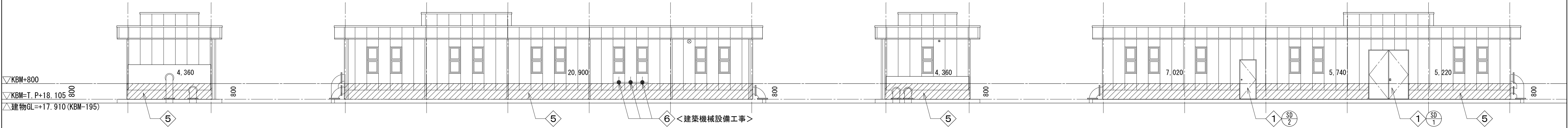
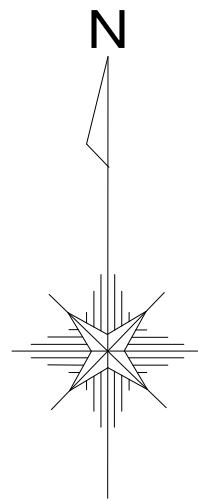
改修後仕上記号表（共通）

記 号	改 修 内 容	
①	止水ドア新設	対象建物：全て 改修詳細図、改修建具表参照
②	脱着式止水板新設	対象建物：③管理棟、⑤2系配水ポンプ室 改修詳細図参照
③	脱着式止水板新設 （一部鉄筋コンクリート t＝150新設の上、複層塗材RE）	対象建物：③管理棟 改修詳細図参照※既存壁取合い部シーリング10×10程度
④	既存アルミ製ガラリー上部移設	対象建物：⑧1系混和池 改修詳細図参照
⑤	外壁防水改修（アクリルゴム系塗膜防水）	対象建物：①県水受水室、③管理棟、⑤2系配水ポンプ室 建築用塗膜防水材外壁用アクリルゴム系塗膜防水（田島ルーフィング リバンプコート RVC-A1-1）同等品以上
⑥	給気口新設の上、上部移設	対象建物：①県水受水室 建築機械設備工事図参照※既存給気口貫通部：200φ×3ヶ所程度 外内部モルタル補修（建築工事）
⑦	既存室外機上部移設	対象建物：③管理棟 建築電気設備工事図、建築機械設備工事参照
⑧	コンセント及びブルボックス新設の上、上部移設	対象建物：③管理棟 建築電気設備工事図参照※新設ブルボックス廻り及び蓋廻りシーリング10×10程度（建築工事）
⑨	既存ブルボックス止水処理	対象建物：③管理棟 建築電気設備工事図参照※既存ブルボックス廻り及び蓋廻りシーリング10×10程度（建築工事）
⑩	ヒートポンプ給湯機残置	対象建物：③管理棟 建築機械設備工事図参照
⑪	逆流防止弁新設	対象建物：③管理棟、⑤2系配水ポンプ室、⑧1系混和池 建築機械設備工事図参照

※各対象建物の浸水対策高さ範囲に、配管貫通部がある場合はシーリング10×10程度を見込むこととする

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	改修概要				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	NONE	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 07	

改修前

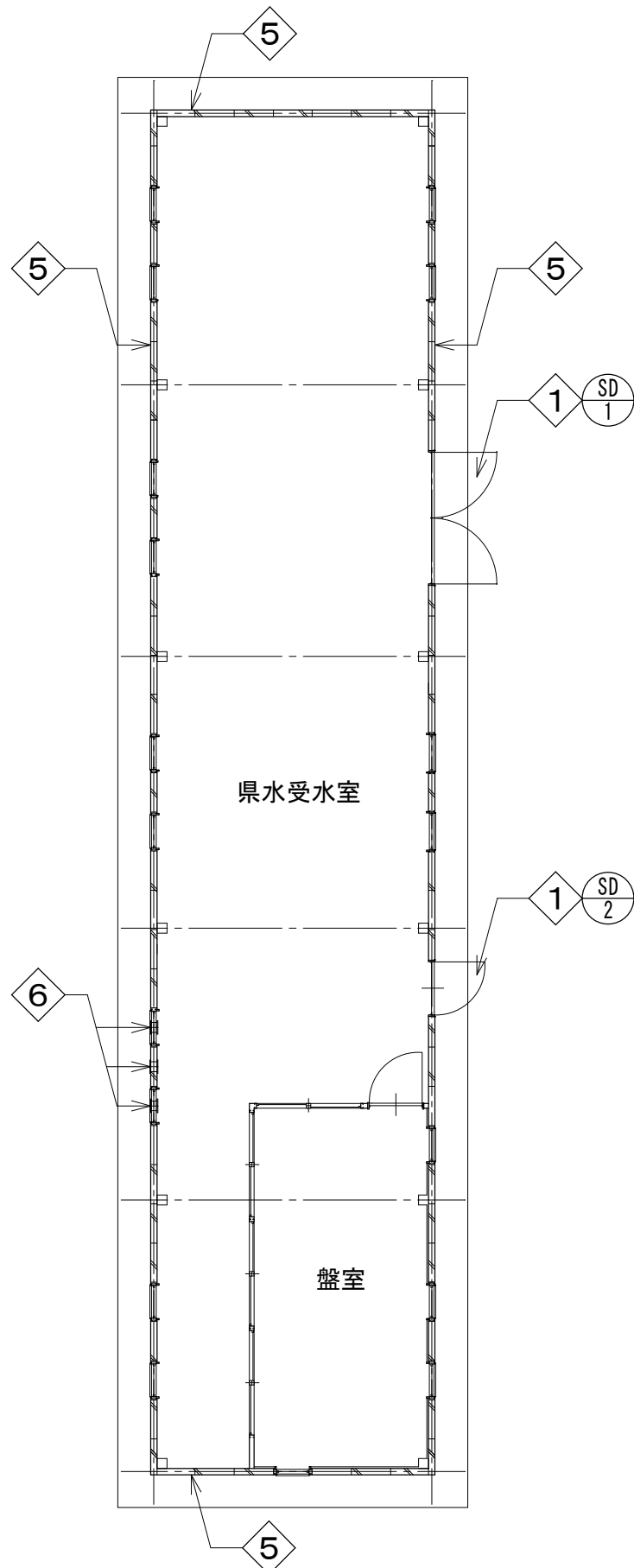


 : 高圧洗浄、下地処理範囲を示す

 : 高圧洗浄、下地処理範囲を示す

 : 高圧洗浄、下地処理範囲を示す

 : 高圧洗浄、下地処理範囲を示す



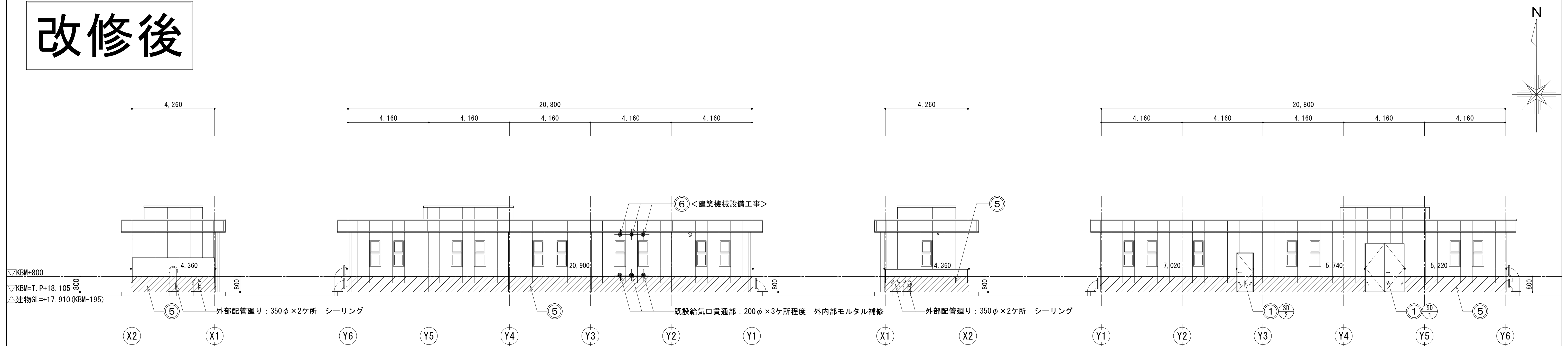
撤去・下地処理リスト

- ① スチール製又はアルミ製建具撤去
- ⑤ 高圧洗浄、下地処理
- ⑥ 給気口撤去

※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	① 排水受水室 平面図・立面図（改修前）				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/100	
				図面番号	
行田市水道事業					A - 08

改修後



北側立面図 S=1/100

：外壁防水改修範囲を示す

西側立面図 S=1/100

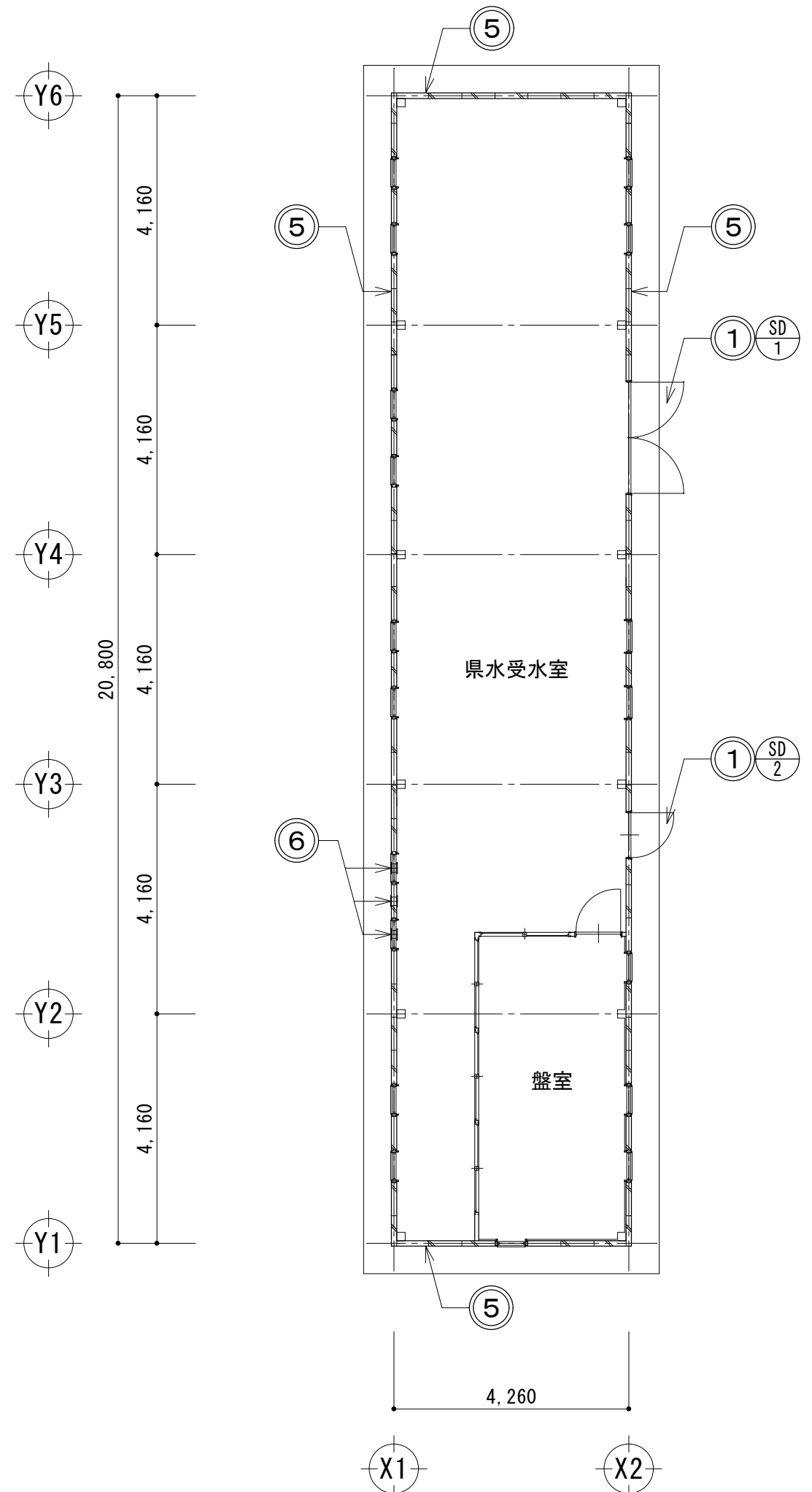
：外壁防水改修範囲を示す

南側立面図 S=1/100

：外壁防水改修範囲を示す

東側立面図 S=1/100

：外壁防水改修範囲を示す



1階平面図 S=1/100

改修工事リスト

- ① 止水ドア新設
- ⑤ 外壁防水改修（アクリルゴム系塗膜防水）
- ⑥ 給気口新設の上、上部移設

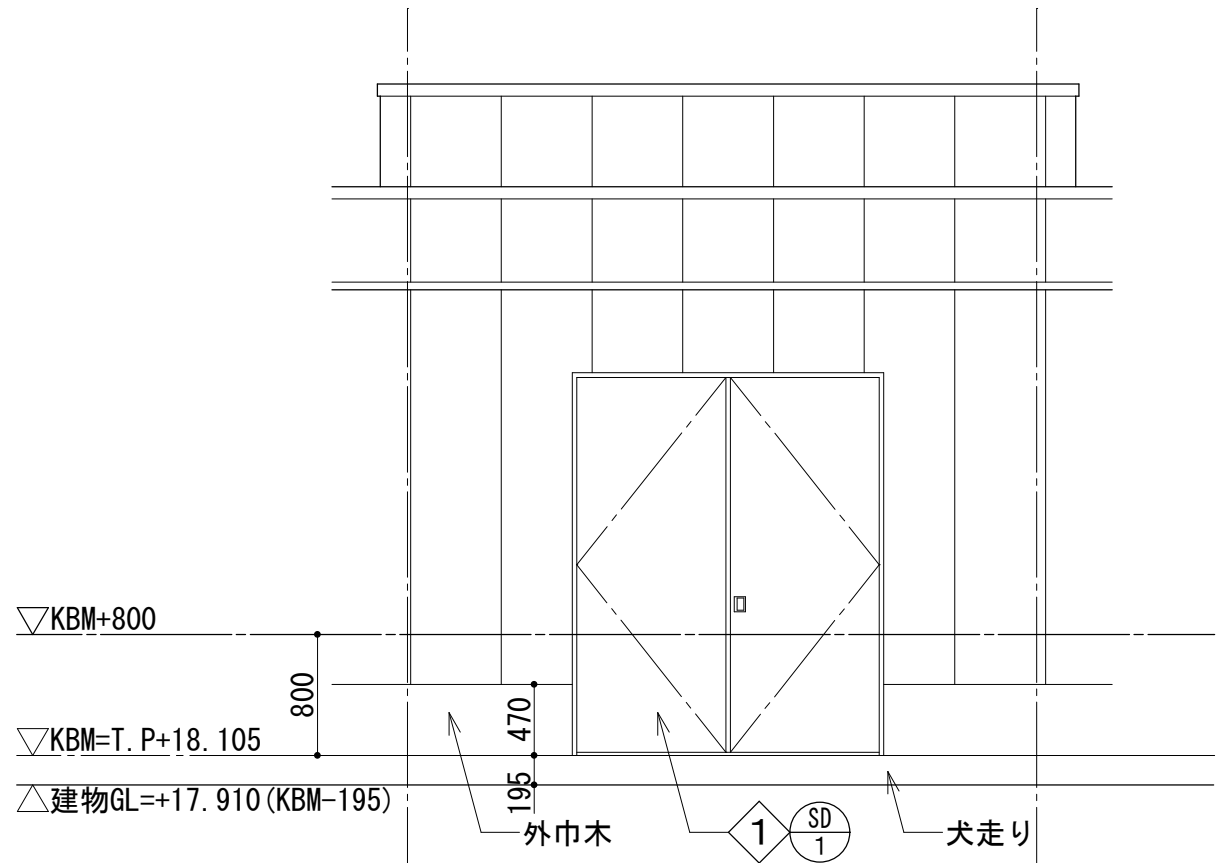
※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	① 排水受水室 平面図・立面図（改修後）				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/100	
				図面番号	
行田市水道事業					A - 09

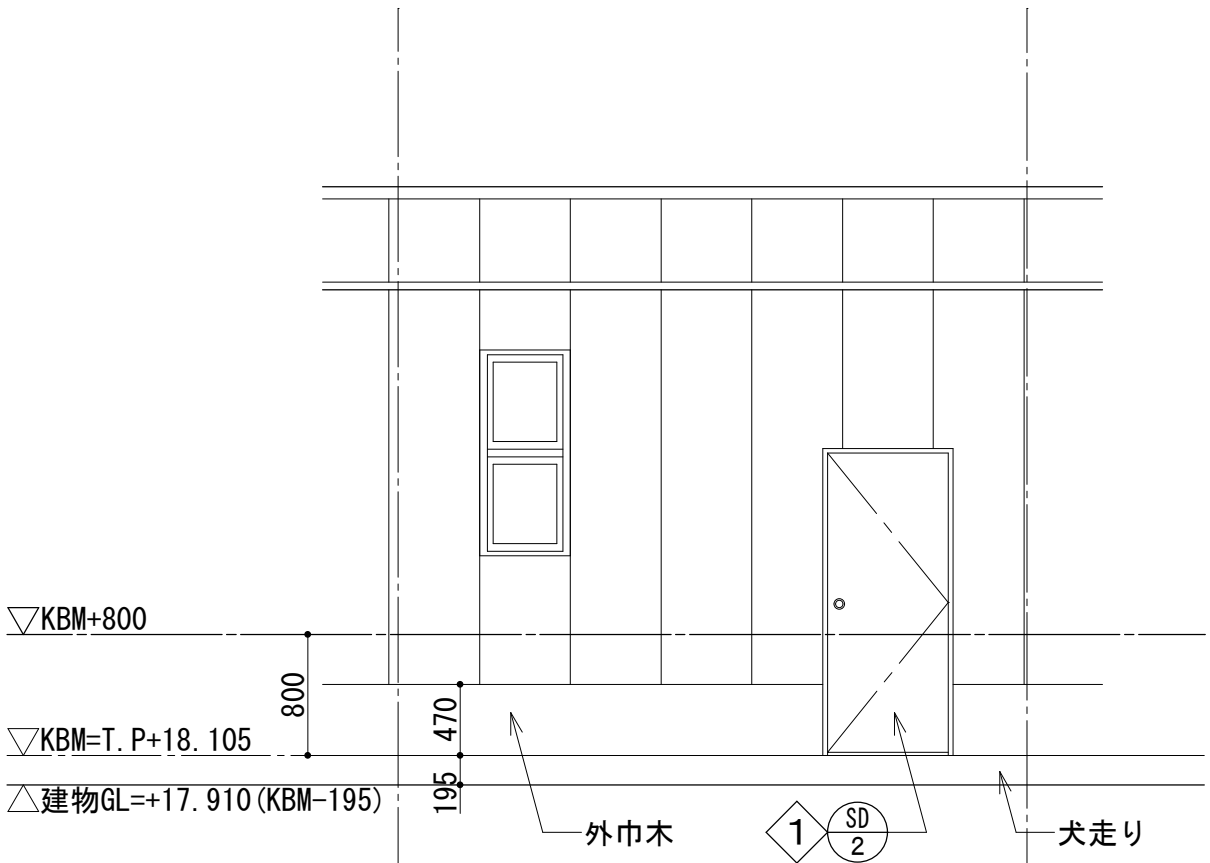
改修前

外 部 仕 上 表		内 部 仕 上 表	
場 所	県水受水室	場 所	県水受水室
床（犬走り）	コンクリート直押え	床	コンクリート金ゴテ
巾木	コンクリート打放し モルタル金ゴテt=20 ★	巾木	コンクリート打放し モルタル金ゴテt=20 H=450
壁	ALC版t=100 複層塗材RE ★	壁	外壁に準ずる
		天井	折板現シ

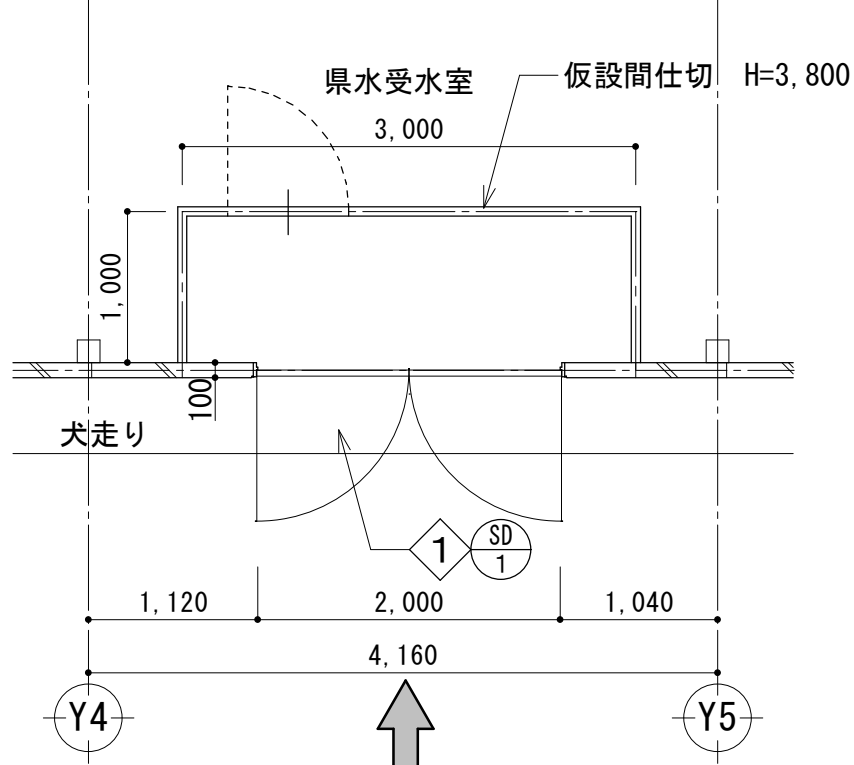
※アスベスト調査箇所：★計2ヶ所



A 矢視図 S=1/50

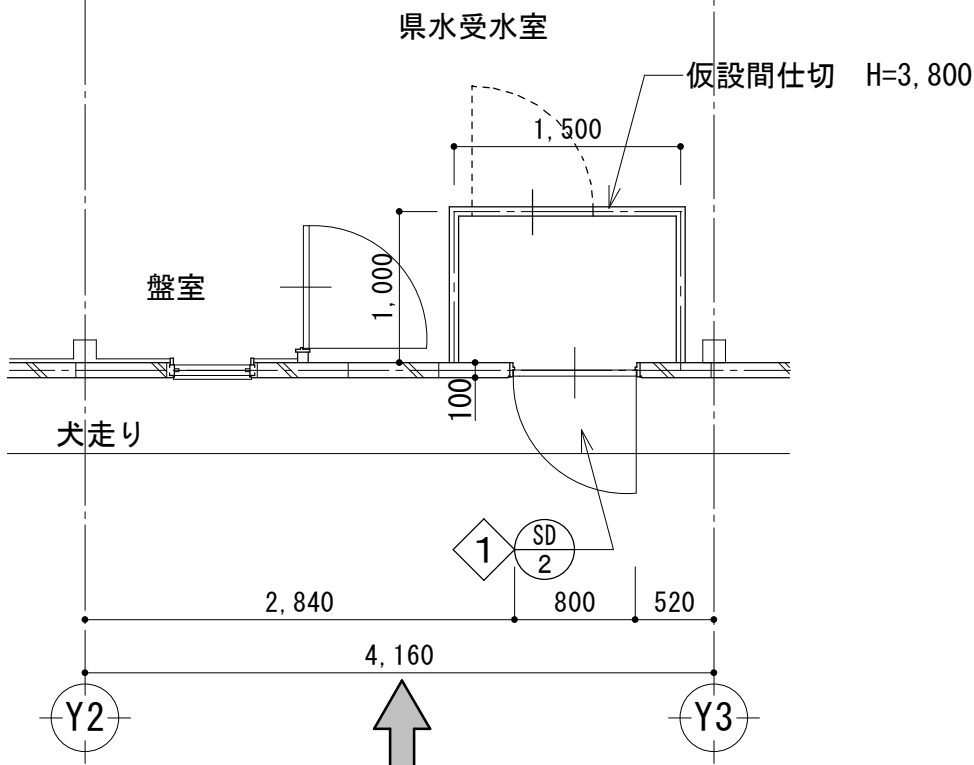


B 矢視図 S=1/50



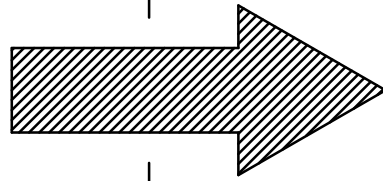
A 矢視

平面詳細図 S=1/50

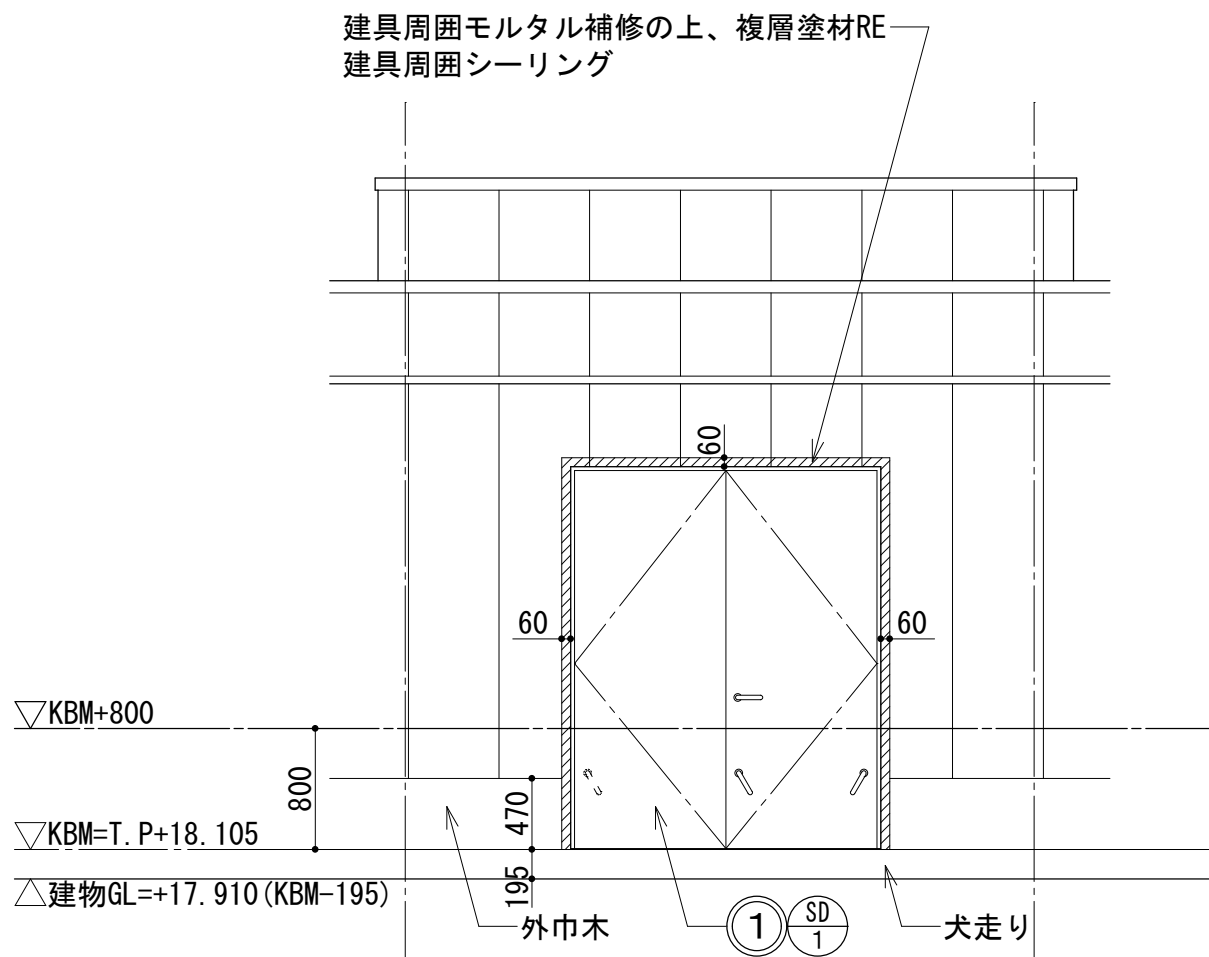


B 矢視

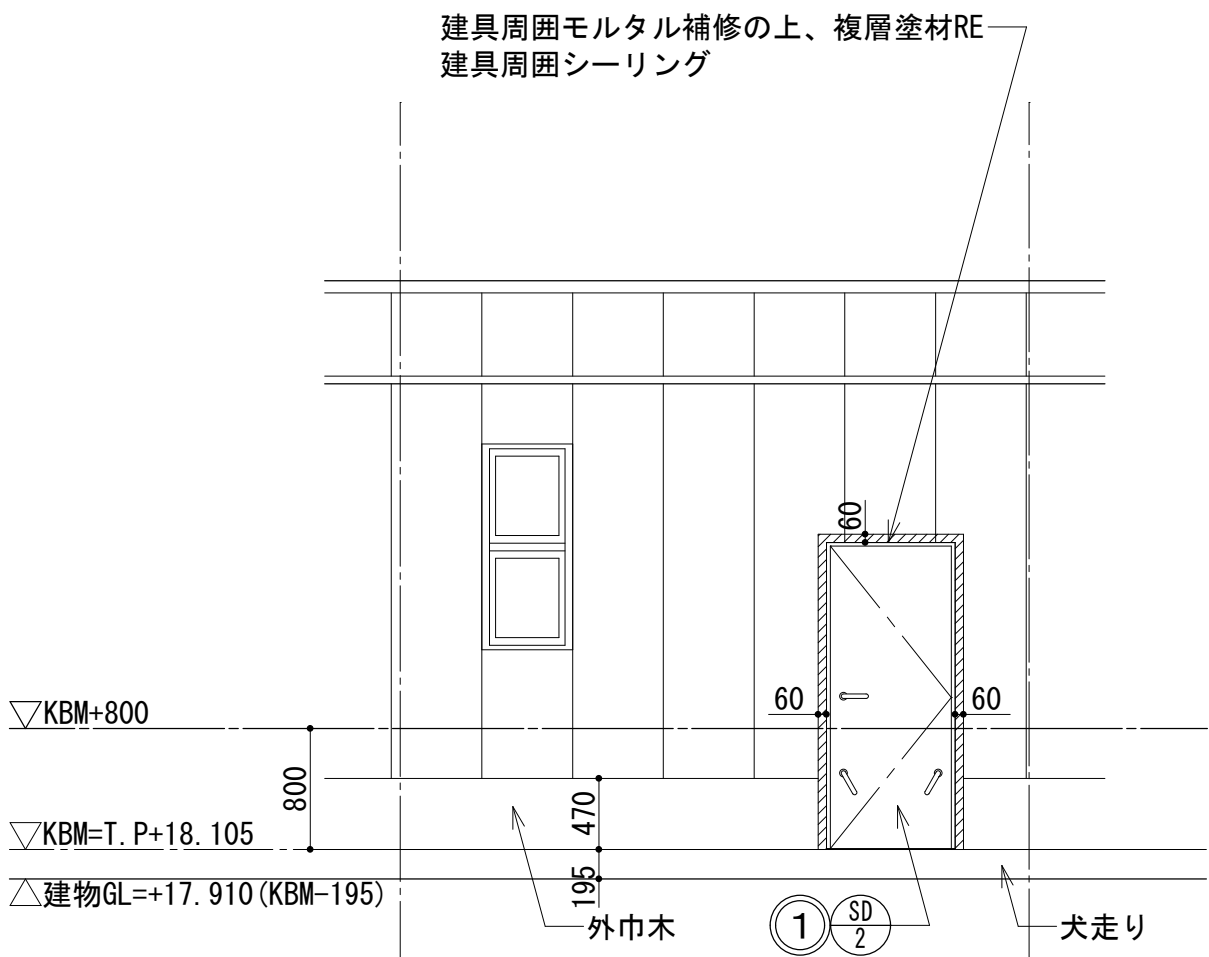
平面詳細図 S=1/50



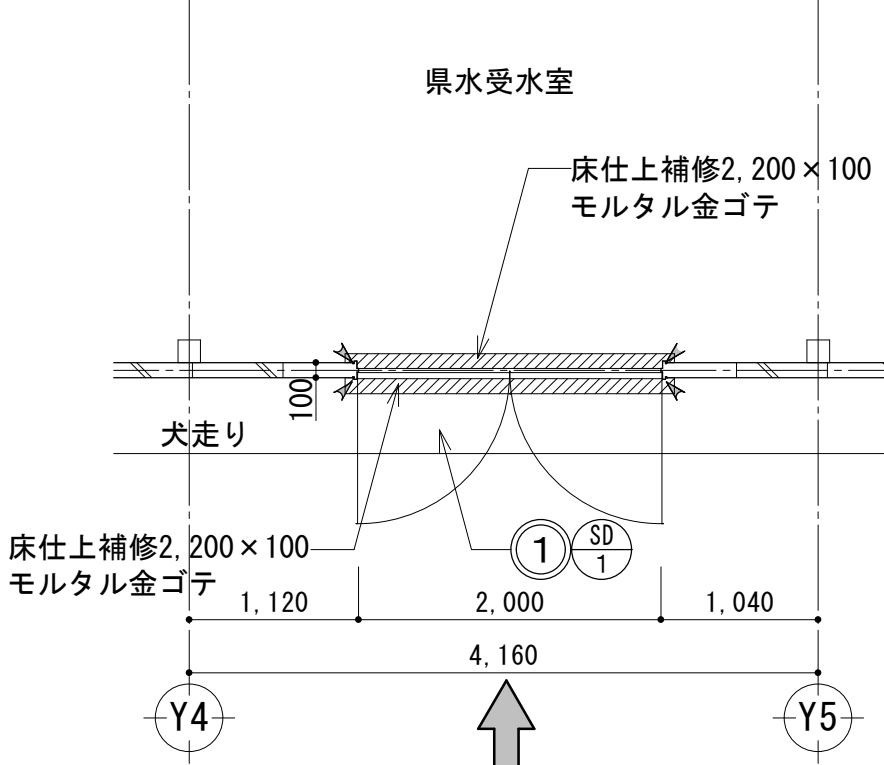
改修後



A 矢視図 S=1/50



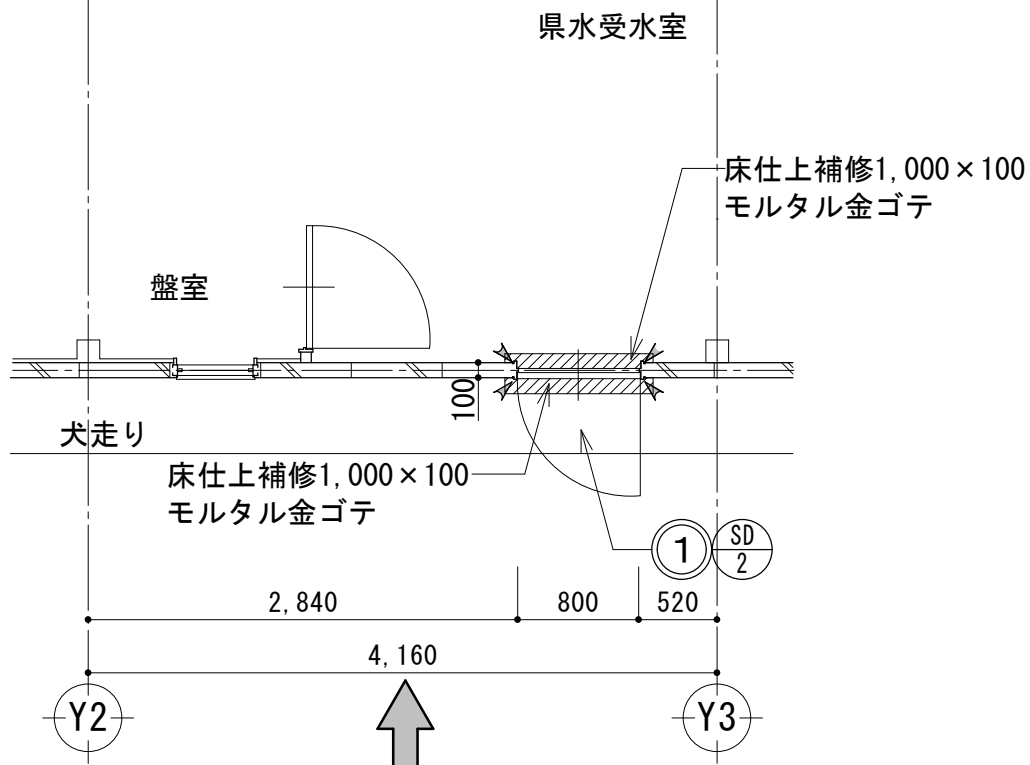
B 矢視図 S=1/50



A 矢視

平面詳細図 S=1/50

イ：シーリングを示す



B 矢視

平面詳細図 S=1/50

イ：シーリングを示す

撤去・下地処理リスト

- ① スチール製又はアルミ製建具撤去

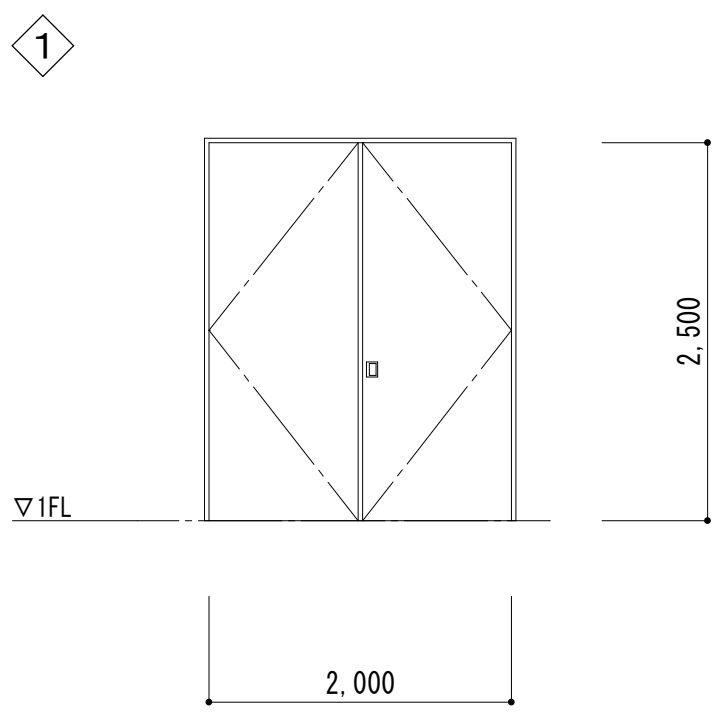
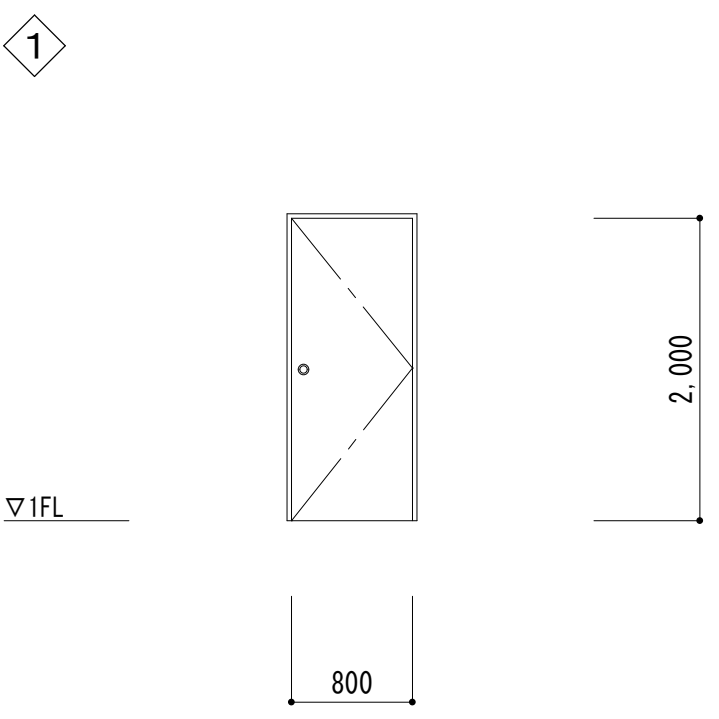
改修工事リスト

- ① 止水ドア新設

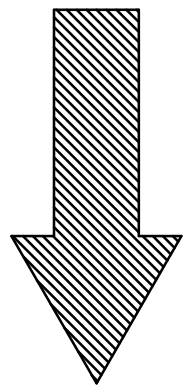
※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	① 県水受水室 改修詳細図				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業					A-10

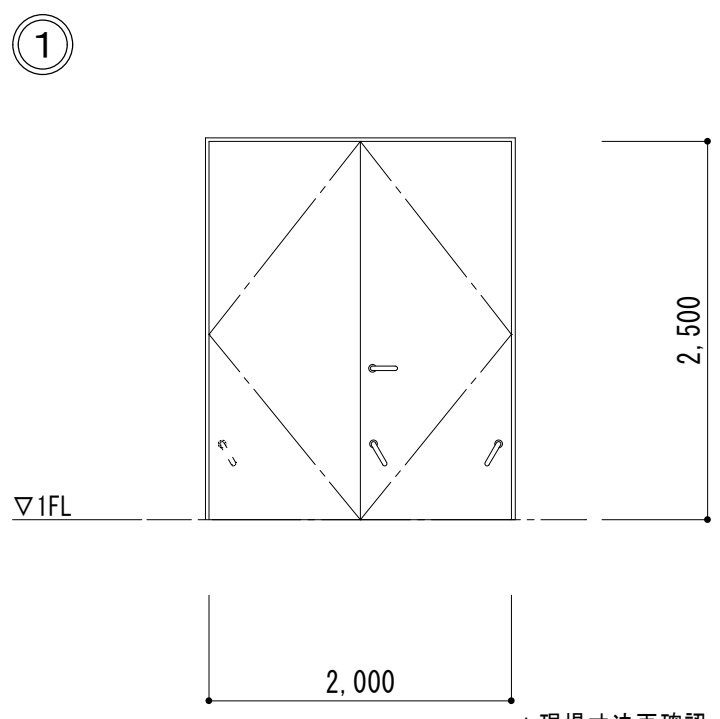
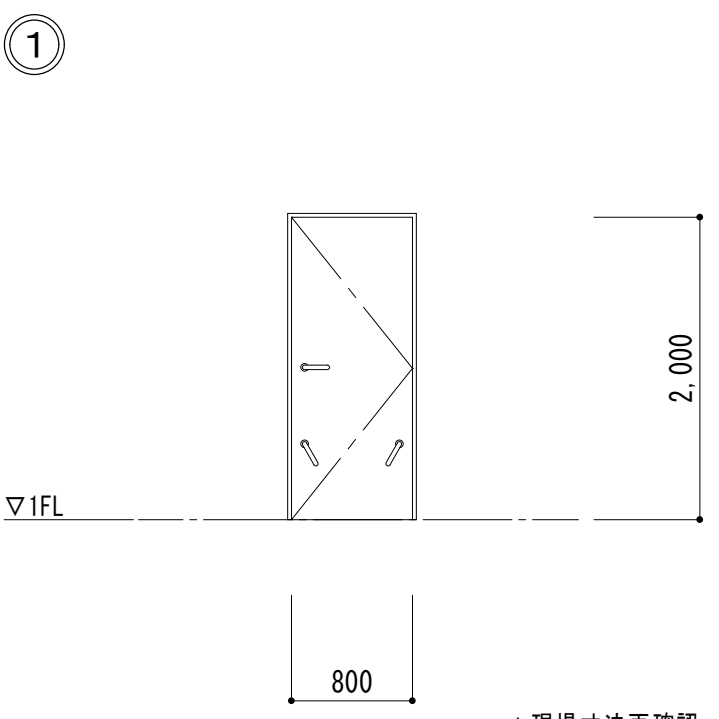
＜撤去建具＞

建具表 S-1/50				
型式・数量	①SD スチール製両開きドア	1箇所	②SD スチール製片開きドア	1箇所
型 状				
使 用 箇 所	県水受水室—外部		県水受水室—外部	
材 料 仕 上	スチールt=1.6 塗装仕上		スチールt=1.6 塗装仕上	
見 込	枠95 ・ 扉40		枠95 ・ 扉40	
ガ ラ ス	—		—	
金 物	ピボットヒンジ・サムターン・埋込取手・ドアクローザー		丁番・ピボットヒンジ・握り玉・ドアクローザー	
	SUS番刷		SUS番刷	
	順位調整器・フランス落し		順位調整器・フランス落し	
備 考	建具枠撤去においては、内外共カッター入れのこと		建具枠撤去においては、内外共カッター入れのこと	

※アスベスト調査箇所：建具廻りシーリング 計1ヶ所



＜新設建具＞

建具表 S-1/50				
型式・数量	①SD スチール製両開き止水ドア	1箇所	②SD スチール製片開き止水ドア	1箇所
型 状				
使 用 箇 所	県水受水室—外部		県水受水室—外部	
材 料 仕 上	スチールt=1.6 DP塗装		スチールt=1.6 DP塗装	
見 込	枠120 ・ 扉50		枠120 ・ 扉40	
ガ ラ ス	—		—	
金 物	二重丁番・レバーハンドル錠・本締錠・ドアクローザー		二重丁番・レバーハンドル錠・本締錠・ドアクローザー	
	止水グレモン・順位調整器・フランス落し・SUS番刷・SUS水切		止水グレモン・SUS番刷・戸当り	
	その他メーカー仕様による		その他メーカー仕様による	
備 考	KBM=T.P+18.105より止水高さ800mm以下、漏水量10L/(㎡・h)以下		KBM=T.P+18.105より止水高さ800mm以下、漏水量10L/(㎡・h)以下	

※建具周囲シーリングは、内外部共10×10程度を見込む

撤去・下地処理リスト

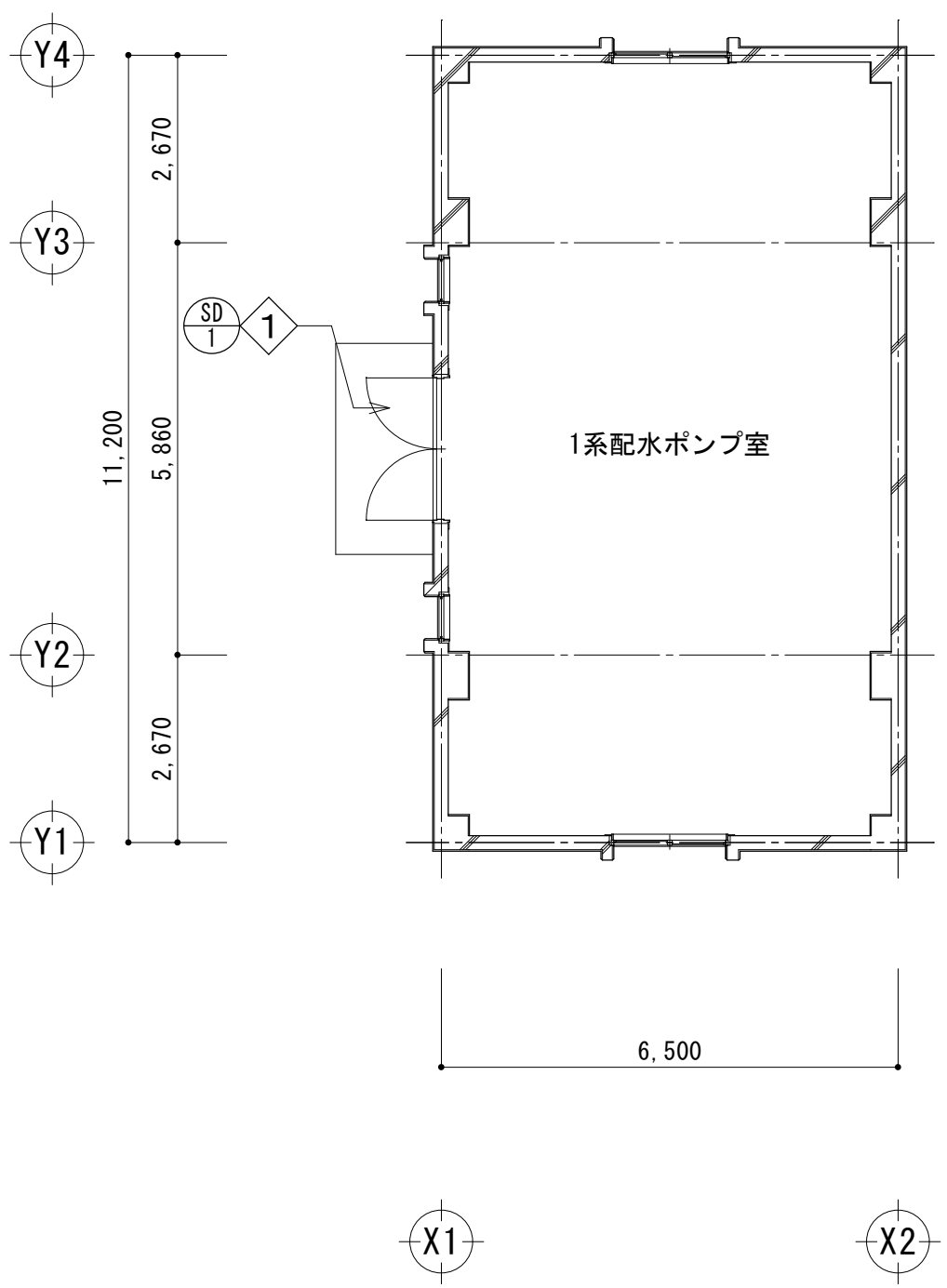
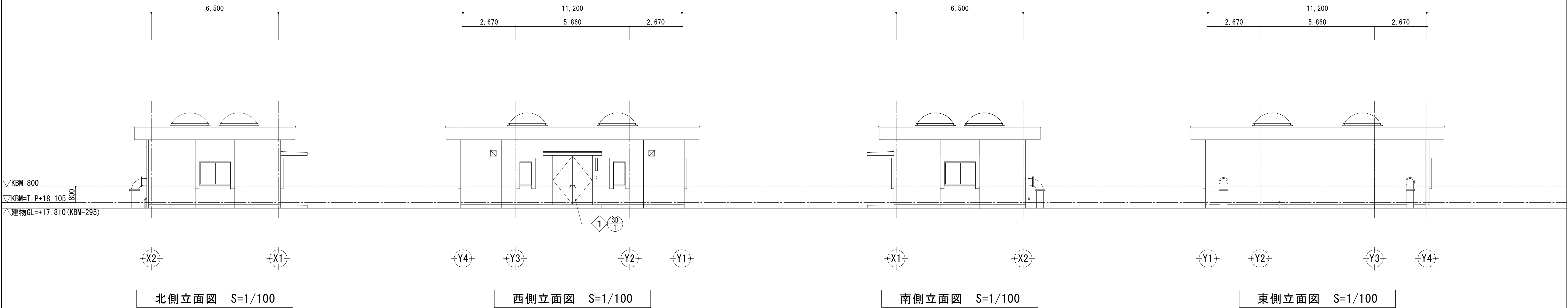
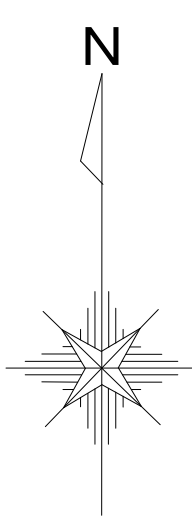
改修工事リスト

① スチール製又はアルミ製建具撤去

① 止水ドア新設

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	① 県 水 受 水 室 改修建具表				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 11	

改修前



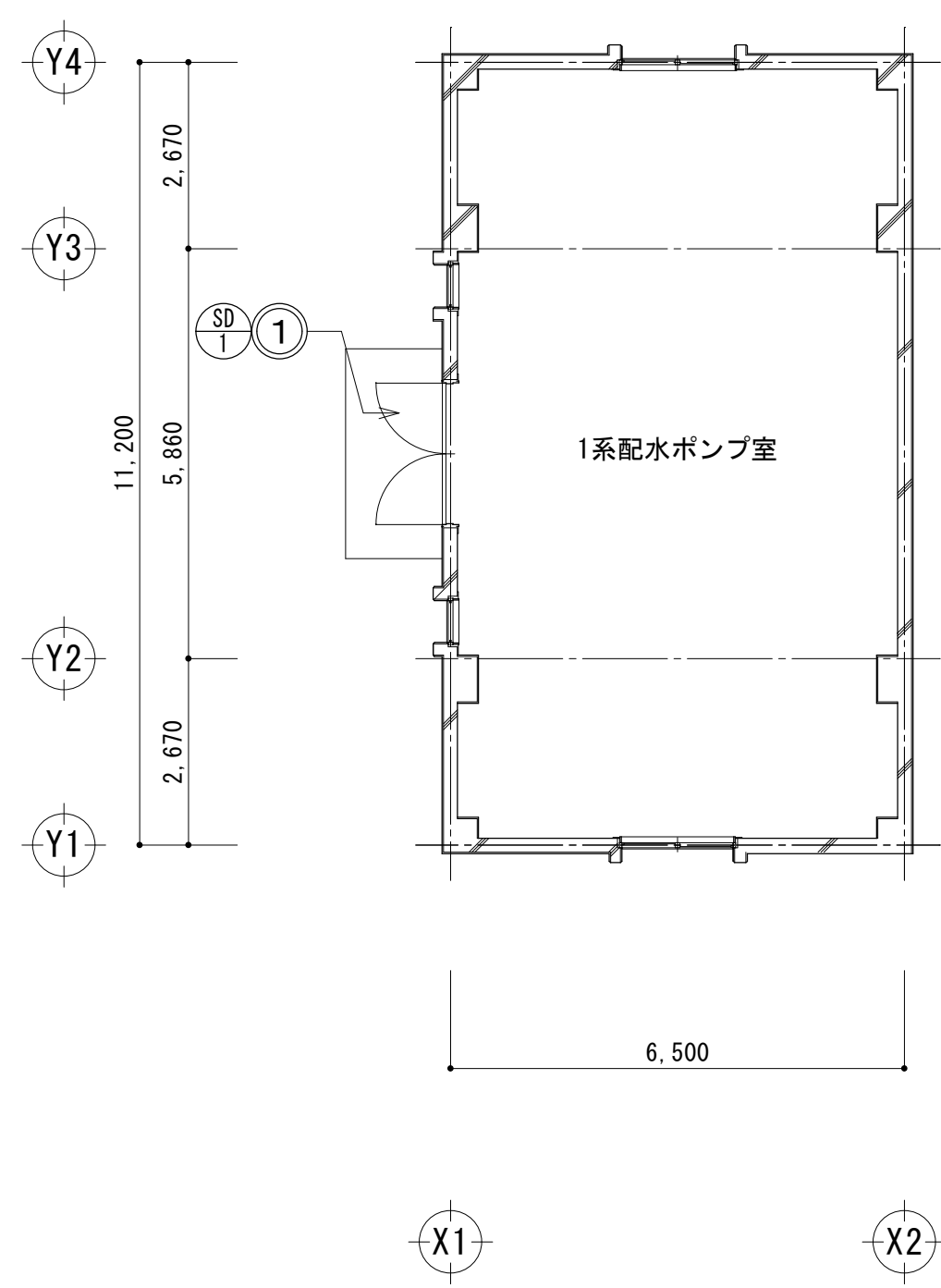
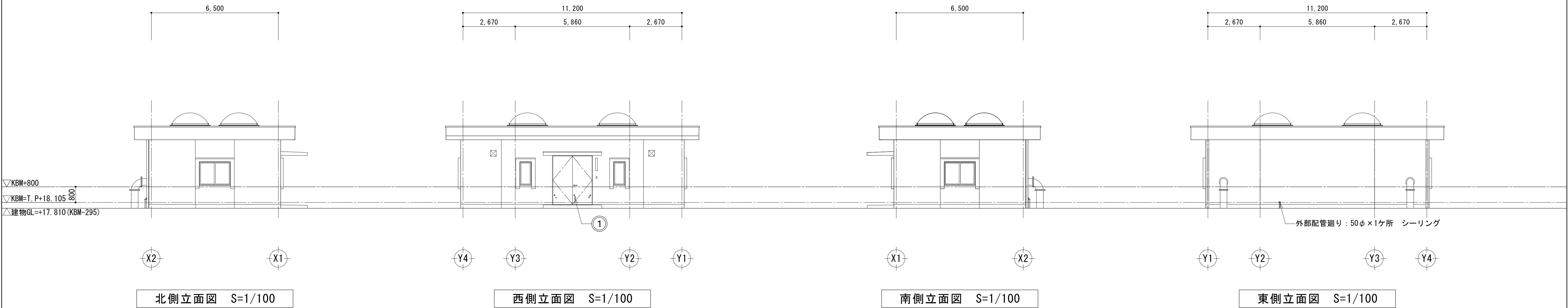
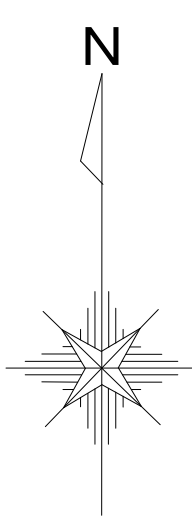
1階平面図 S=1/100

撤去・下地処理リスト

- 1 スチール製又はアルミ製建具撤去

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	② 1 系 配 水 ポ ン プ 室 平面図・立面図（改修前）				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/100	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 12	

改修後



1階平面図 S=1/100

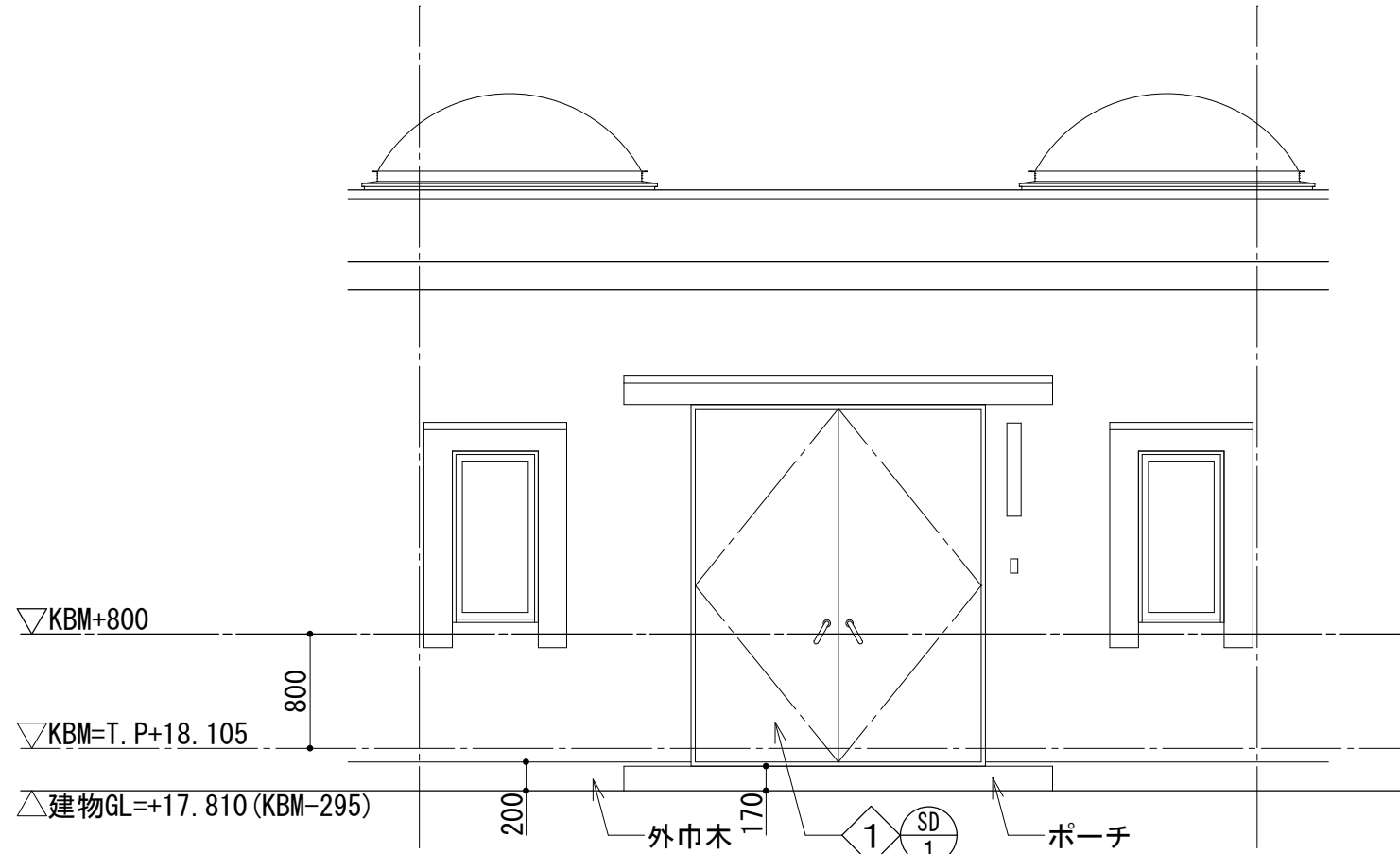
- 改修工事リスト
- ① 止水ドア新設

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	② 1系配水ポンプ室 平面図・立面図（改修後）				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/100	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 13	

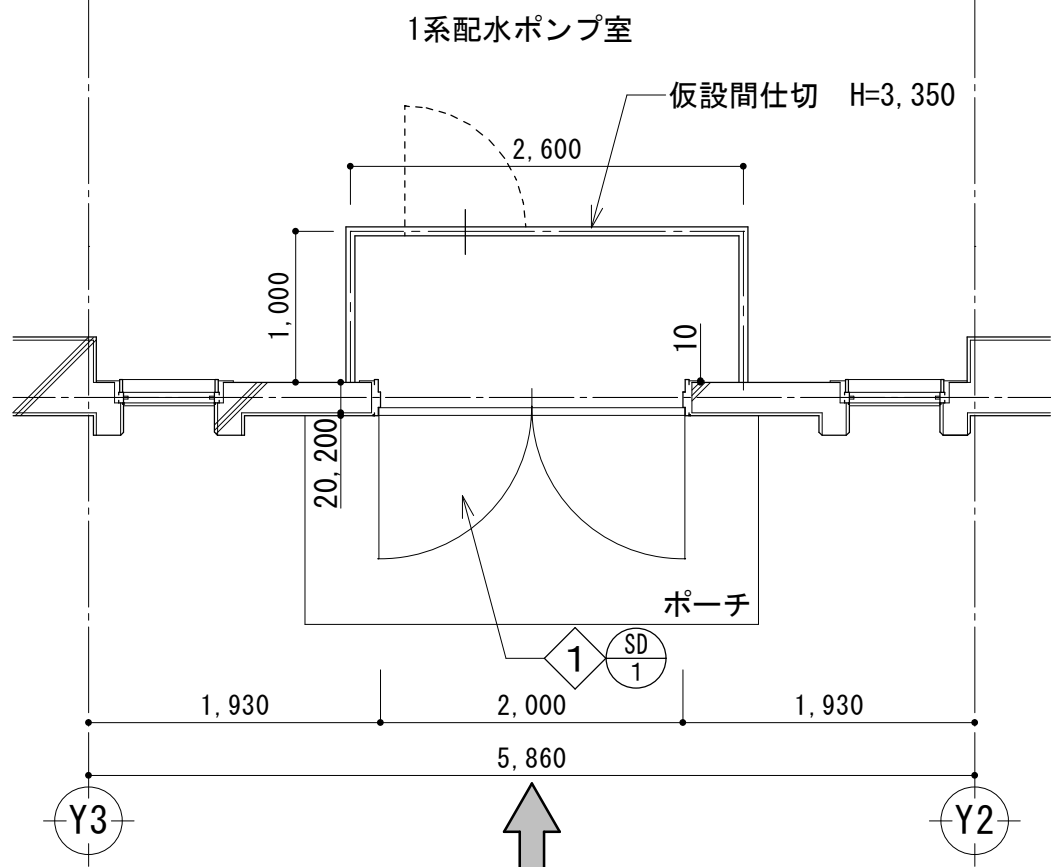
改修前

外 部 仕 上 表			内 部 仕 上 表		
場 所	1系配水ポンプ室		場 所	1系配水ポンプ室	
床（ポーチ）	モルタル金ゴテt=30	★	床	軽量コンクリートt=170 モルタル金ゴテt=30の上、合成樹脂塗床	
巾木	コンクリート打放し 複層塗材RE		巾木	コンクリート打放し 合成樹脂塗床 H=150	★
壁	コンクリート打放し 複層塗材RE	★	壁	コンクリート打放し 複層塗材RE	
			天井	コンクリート打放し 複層塗材E	

※アスベスト調査箇所：★計3ヶ所



A 矢視図 S=1/50

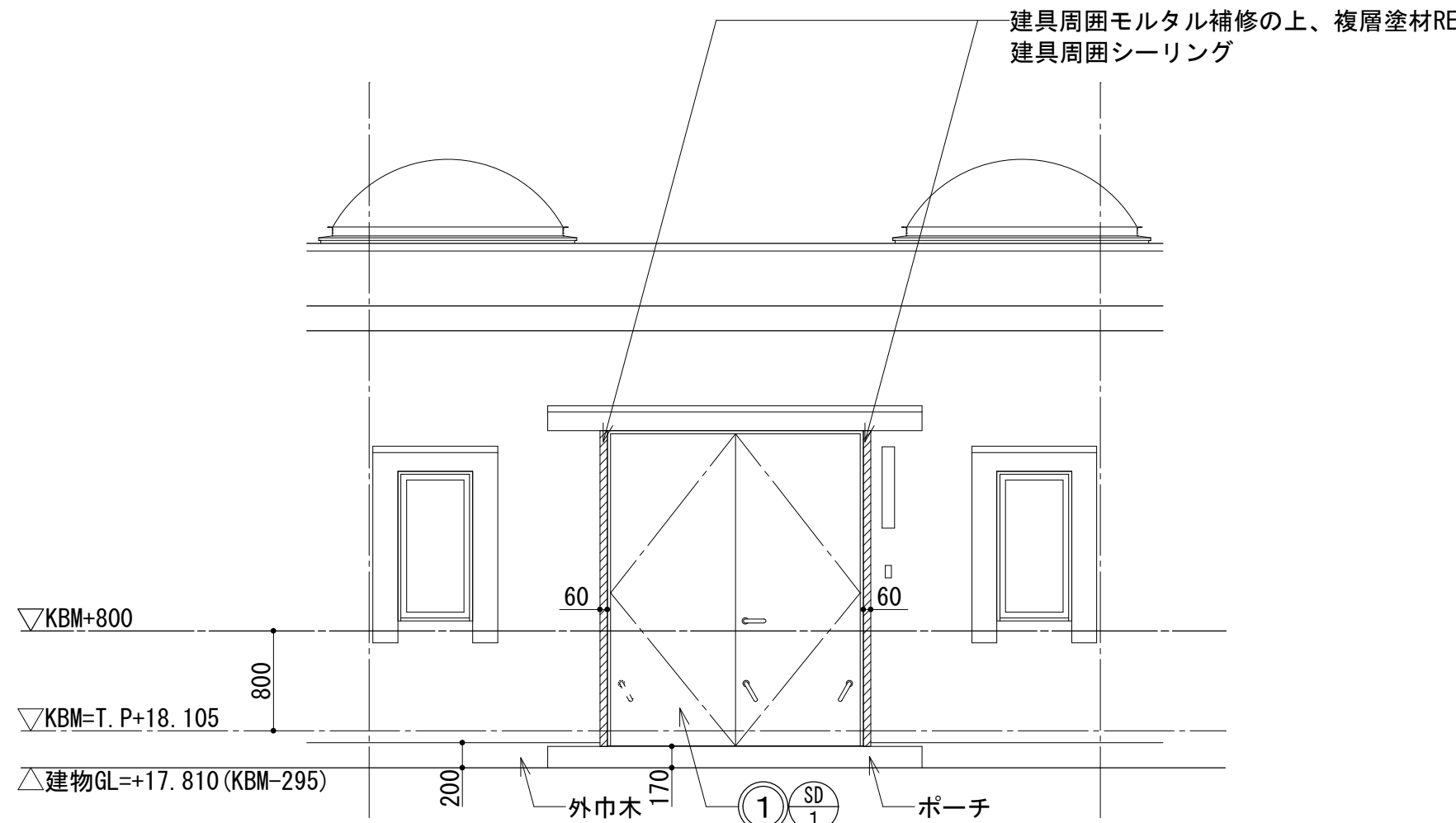


A 矢視
平面詳細図 S=1/50

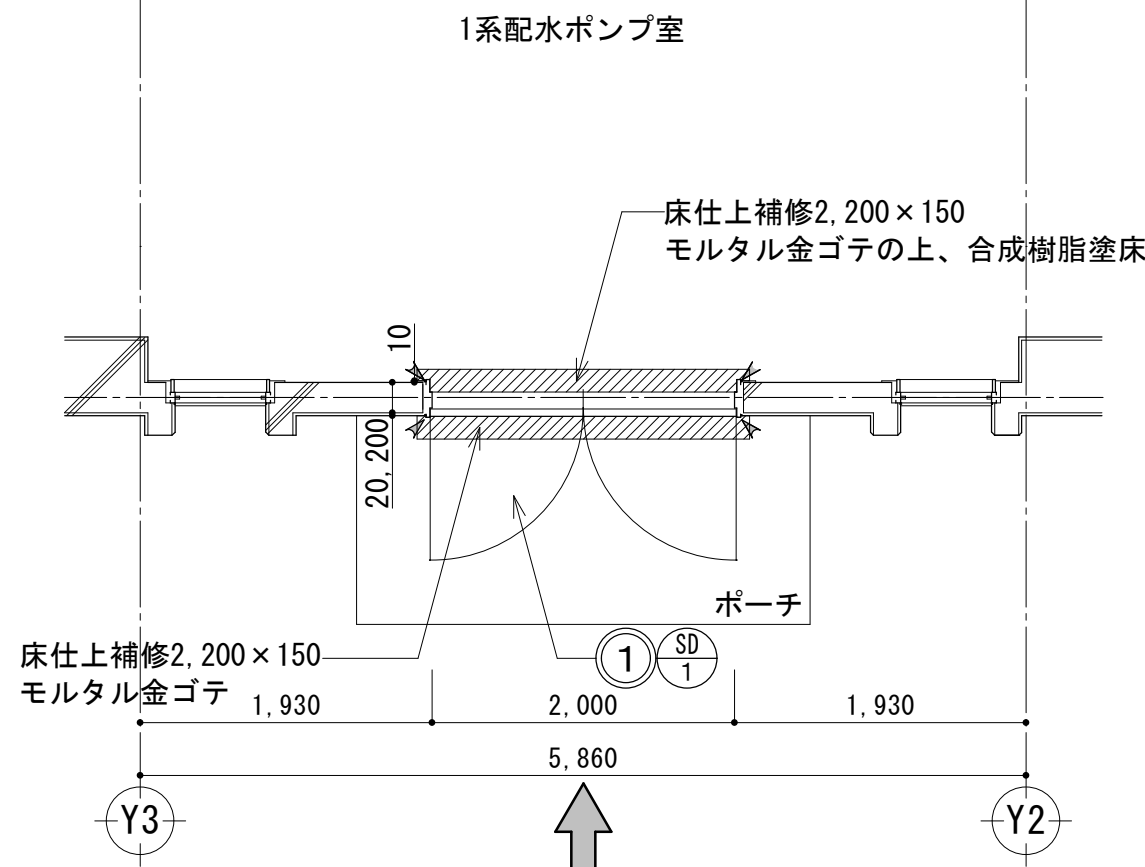
撤去・下地処理リスト

- ① スチール製又はアルミ製建具撤去

改修後



A 矢視図 S=1/50



A 矢視
平面詳細図 S=1/50

イ：シーリングを示す

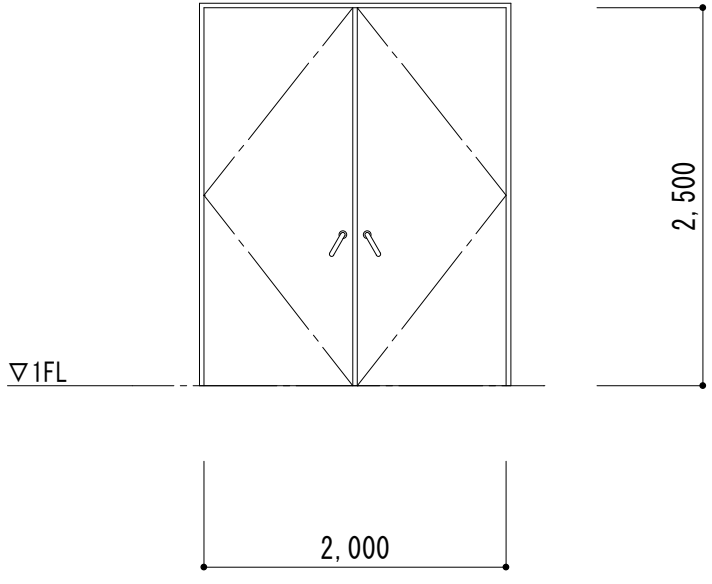
改修工事リスト

- ① 止水ドア新設

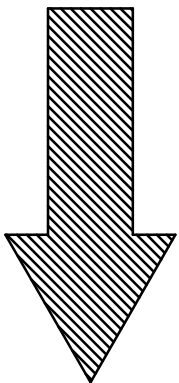
※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	② 1 系 配 水 ポ ン プ 室 改修詳細図				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 14	

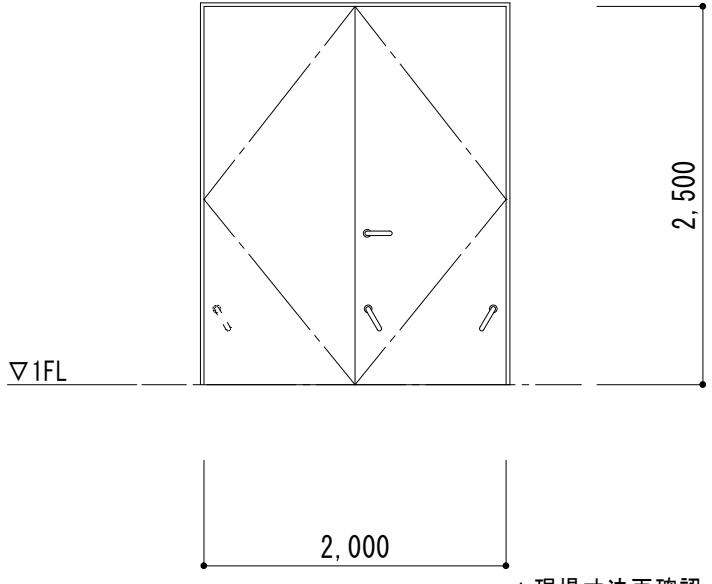
<撤去建具>

建具表 S-1/50	
型式・数量	①SD スチール製両開きドア 1箇所
型 状	① 
使 用 箇 所	1系配水ポンプ室—外部
材 料 仕 上	スチールt=1.6 塗装仕上
見 込	枠240 ・ 扉50
ガ ラ ス	—
金 物	丁番・グレモン錠・ドアクローザー SUS溶削 順位調整器・フランス落し
備 考	建具枠撤去においては、内外共カッター入れのこと

※アスベスト調査箇所：建具廻りシーリング 計1ヶ所



<新設建具>

建具表 S-1/50	
型式・数量	①SD スチール製両開き止水ドア 1箇所
型 状	① 
使 用 箇 所	1系配水ポンプ室—外部
材 料 仕 上	スチールt=1.6 DP塗装
見 込	枠250 ・ 扉50
ガ ラ ス	—
金 物	二重丁番・レバーハンドル錠・本締錠・ドアクローザー 止水グレモン・順位調整器・フランス落し・SUS溶削・SUS水切 その他メーカー仕様による
備 考	KBM-T.P+18.105より止水高さ800mm以下、漏水量10L/(㎡・h)以下

※建具周囲シーリングは、内外部共10×10程度を見込む

撤去・下地処理リスト

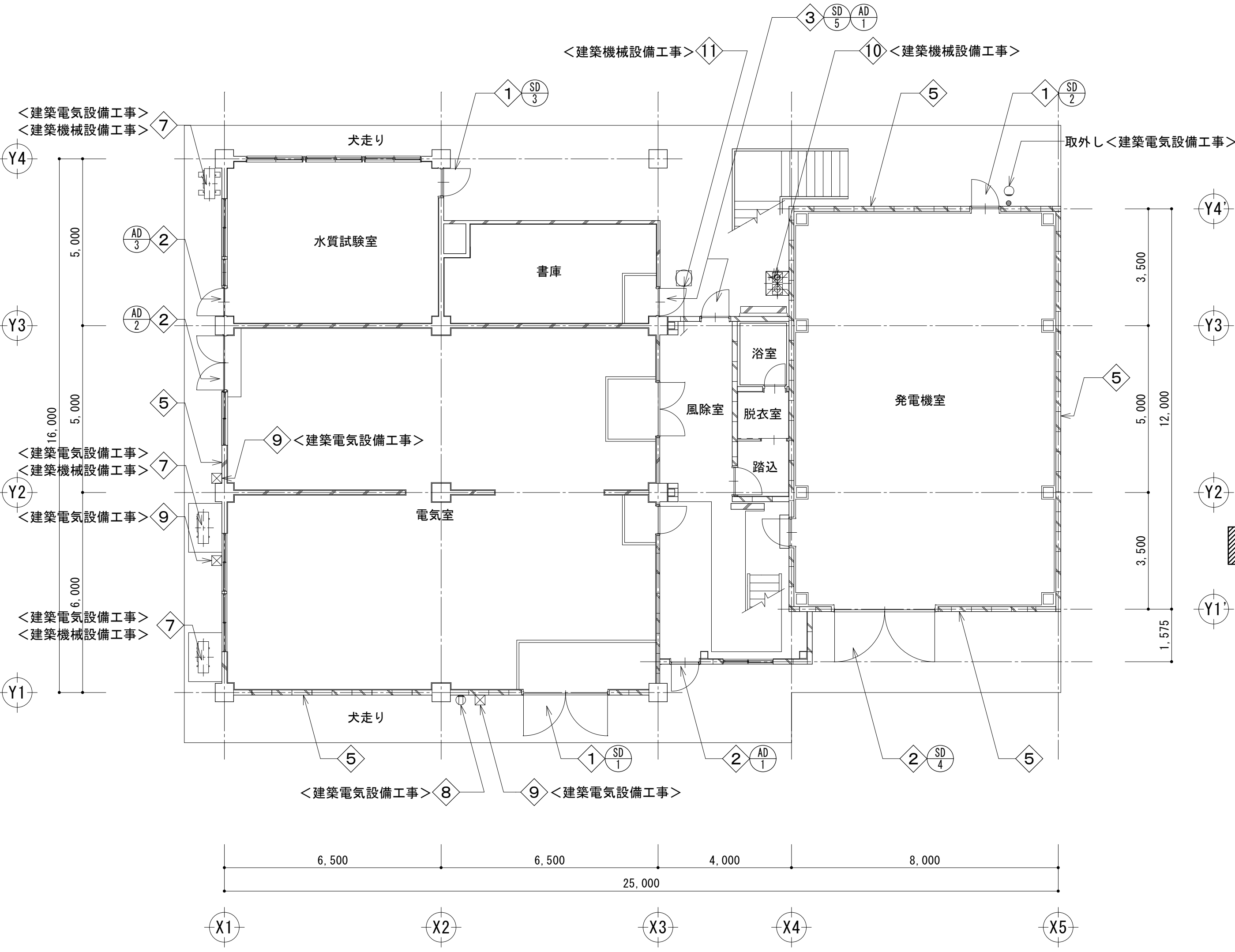
① スチール製又はアルミ製建具撤去

改修工事リスト

① 止水ドア新設

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	② 1 系 配 水 ポ ン プ 室 改修建具表				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 15	

改修前

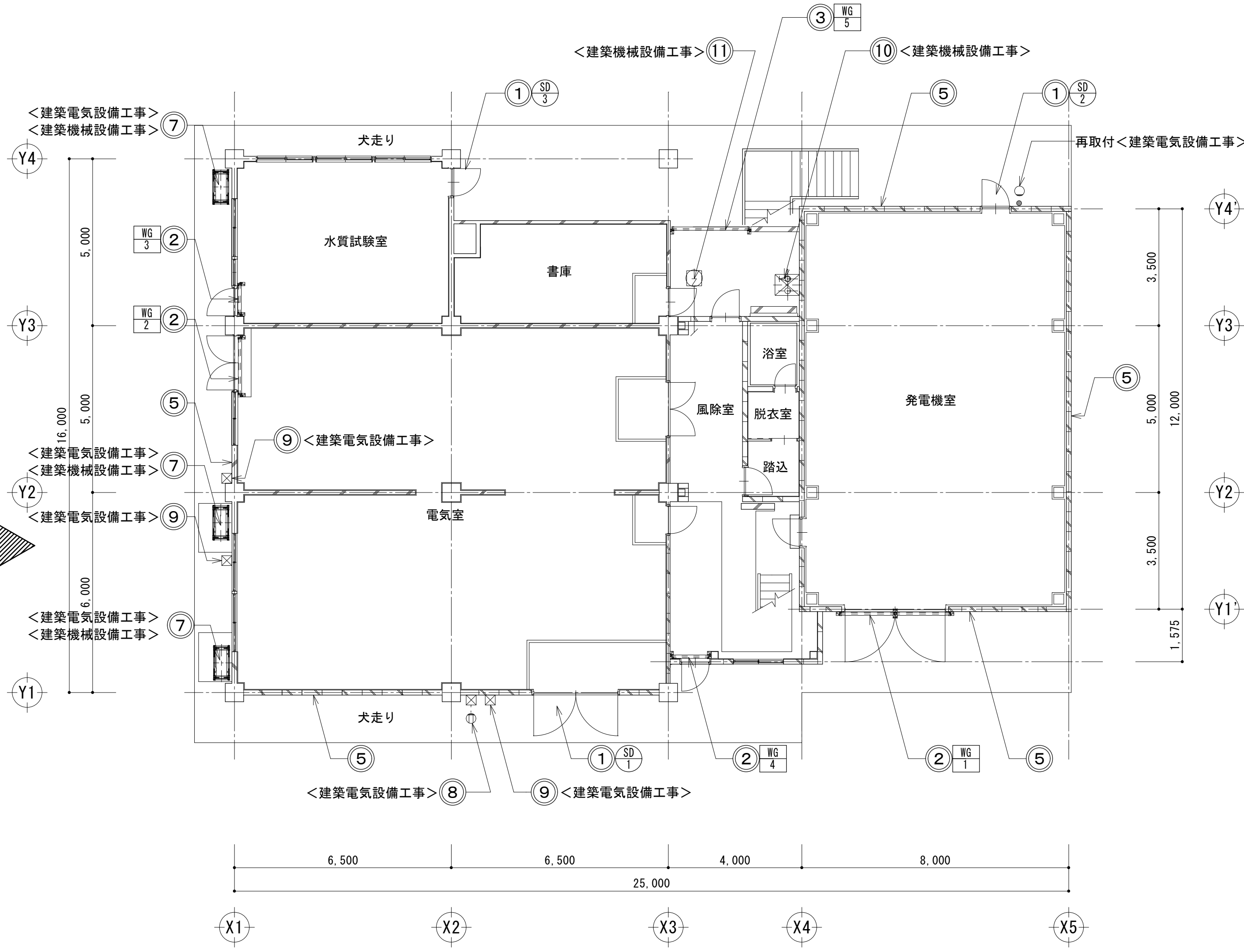


1 階平面図 S=1/100

撤去・下地処理リスト

- ① スチール製又はアルミ製建具撤去
- ② スチール製又はアルミ製建具既存のまま
- ③ スチール製又はアルミ製建具既存のまま
- ⑤ 高圧洗浄、下地処理
- ⑦ 室外機既存のまま
- ⑧ コンセント撤去
- ⑨ プルボックス既存のまま
- ⑩ ヒートポンプ給湯機残置
- ⑪ 排水管既存のまま

改修後



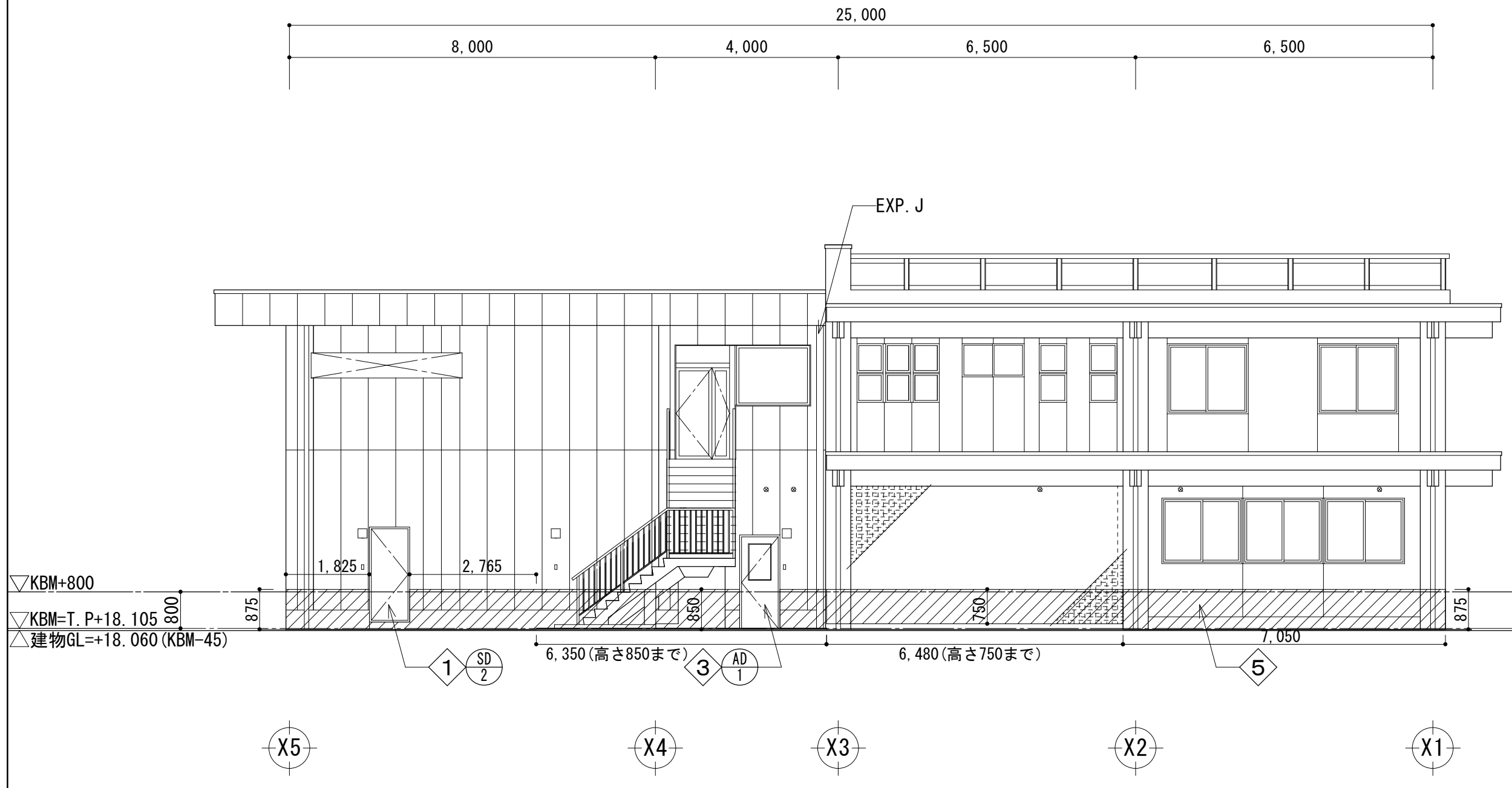
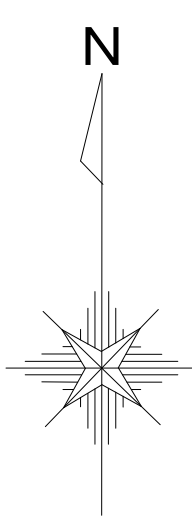
1 階平面図 S=1/100

改修工事リスト

- ① 止水ドア新設
- ② 脱着式止水板新設
- ③ 脱着式止水板新設（一部鉄筋コンクリート t=150新設の上、複層塗材RE）
- ⑤ 外壁防水改修（アクリルゴム系塗膜防水）
- ⑦ 既存室外機上部移設
- ⑧ コンセント及びプルボックス新設の上、上部移設
- ⑨ 既存プルボックス止水処理
- ⑩ ヒートポンプ給湯機残置
- ⑪ 逆流防止弁新設

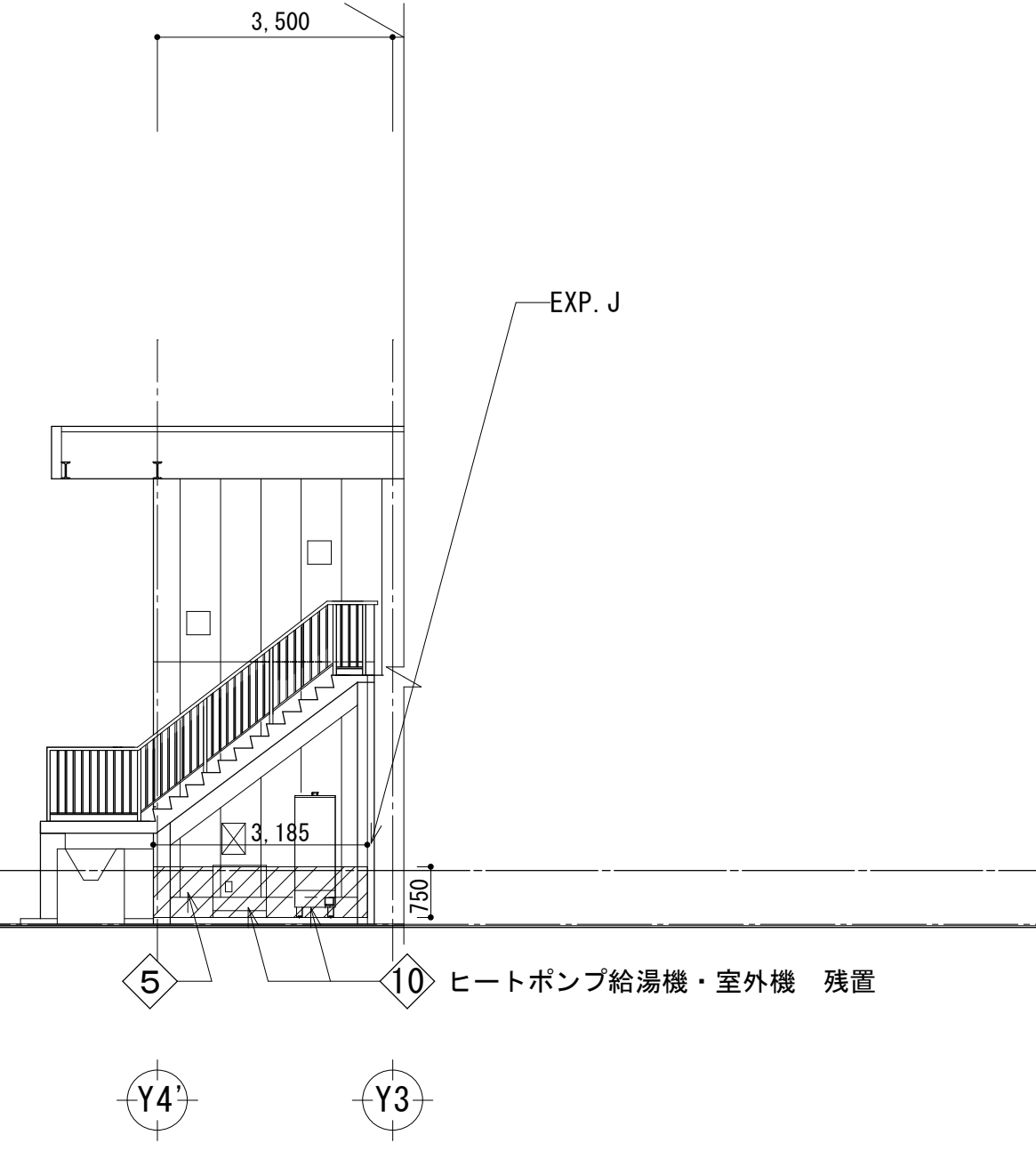
工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	③ 管 理 棟 平面図（改修前・後）				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/100	
				図面番号	
行田市水道事業					A - 16

改修前



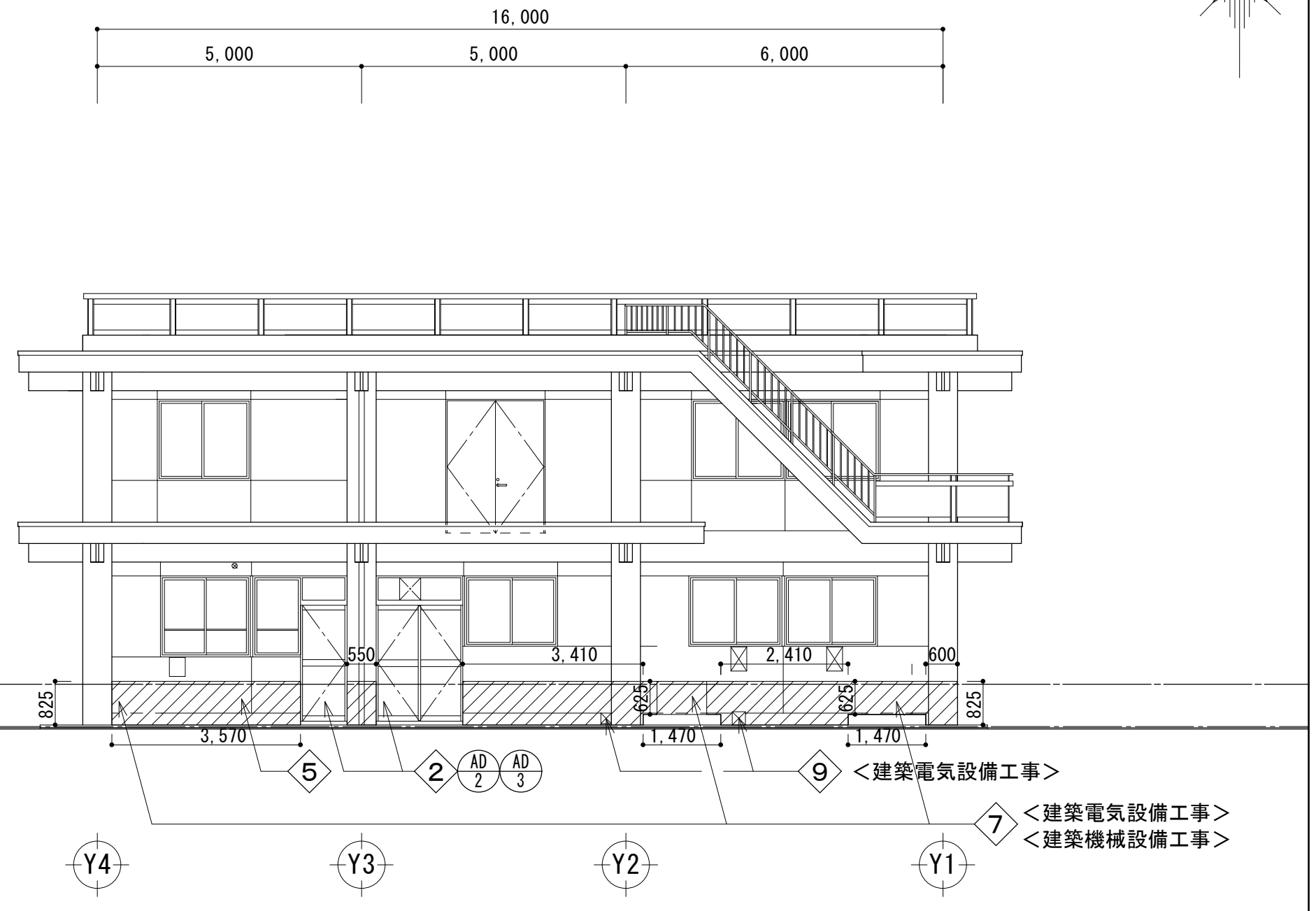
北側立面図 S=1/100

： 高圧洗浄、下地処理範囲を示す



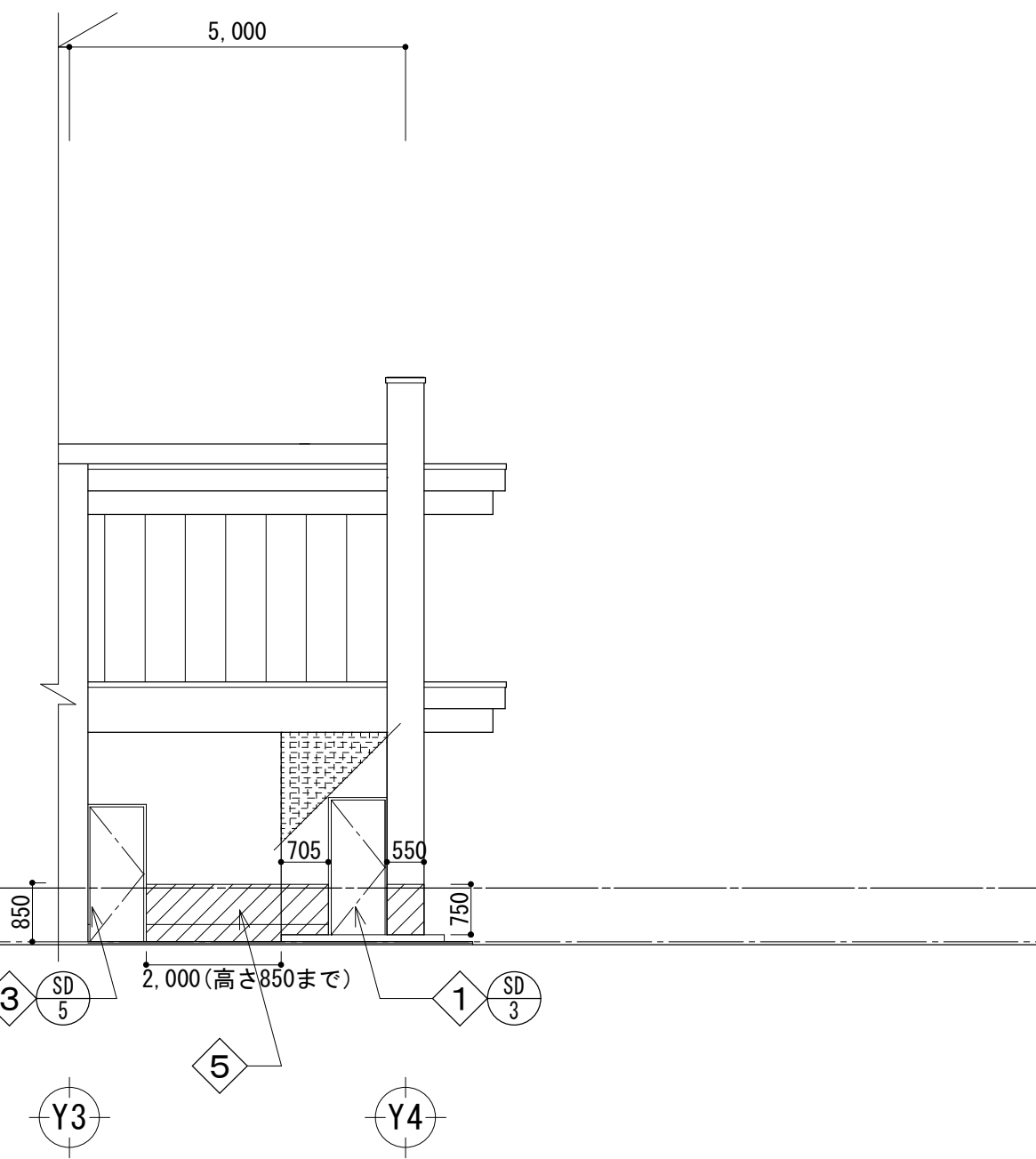
西側立面図 S=1/100

： 高圧洗浄、下地処理範囲を示す



南側立面図 S=1/100

： 高圧洗浄、下地処理範囲を示す



東側立面図 S=1/100

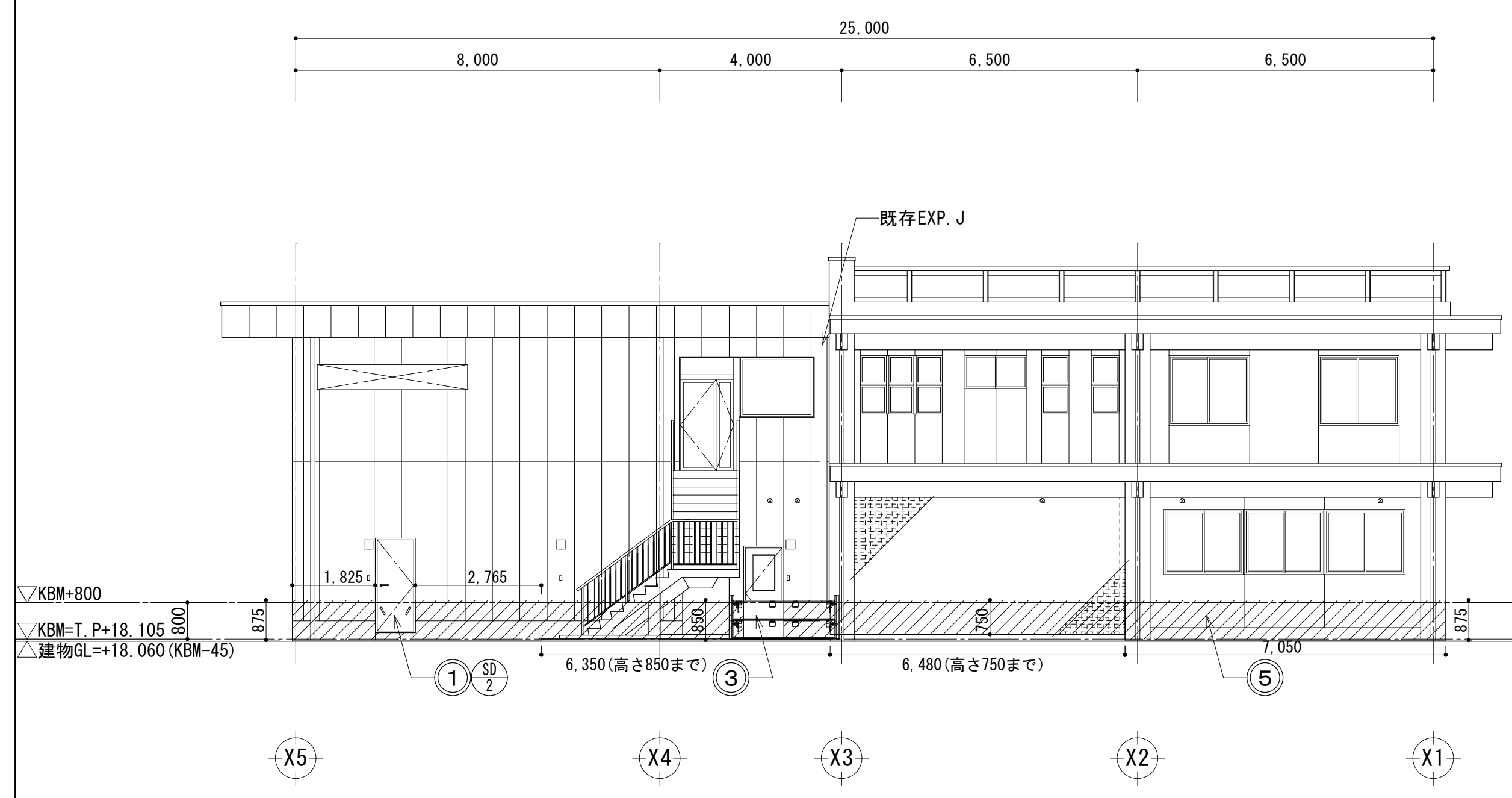
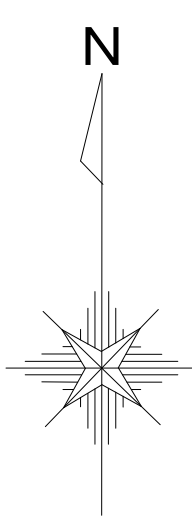
： 高圧洗浄、下地処理範囲を示す

- 撤去・下地処理リスト
- ① スチール製又はアルミ製建具撤去
 - ② スチール製又はアルミ製建具既存のまま
 - ③ スチール製又はアルミ製建具既存のまま
 - ⑤ 高圧洗浄、下地処理
 - ⑦ 室外機既存のまま
 - ⑧ コンセント撤去
 - ⑨ ブルボックス既存のまま
 - ⑩ ヒートポンプ給湯機・室外機 残置

※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

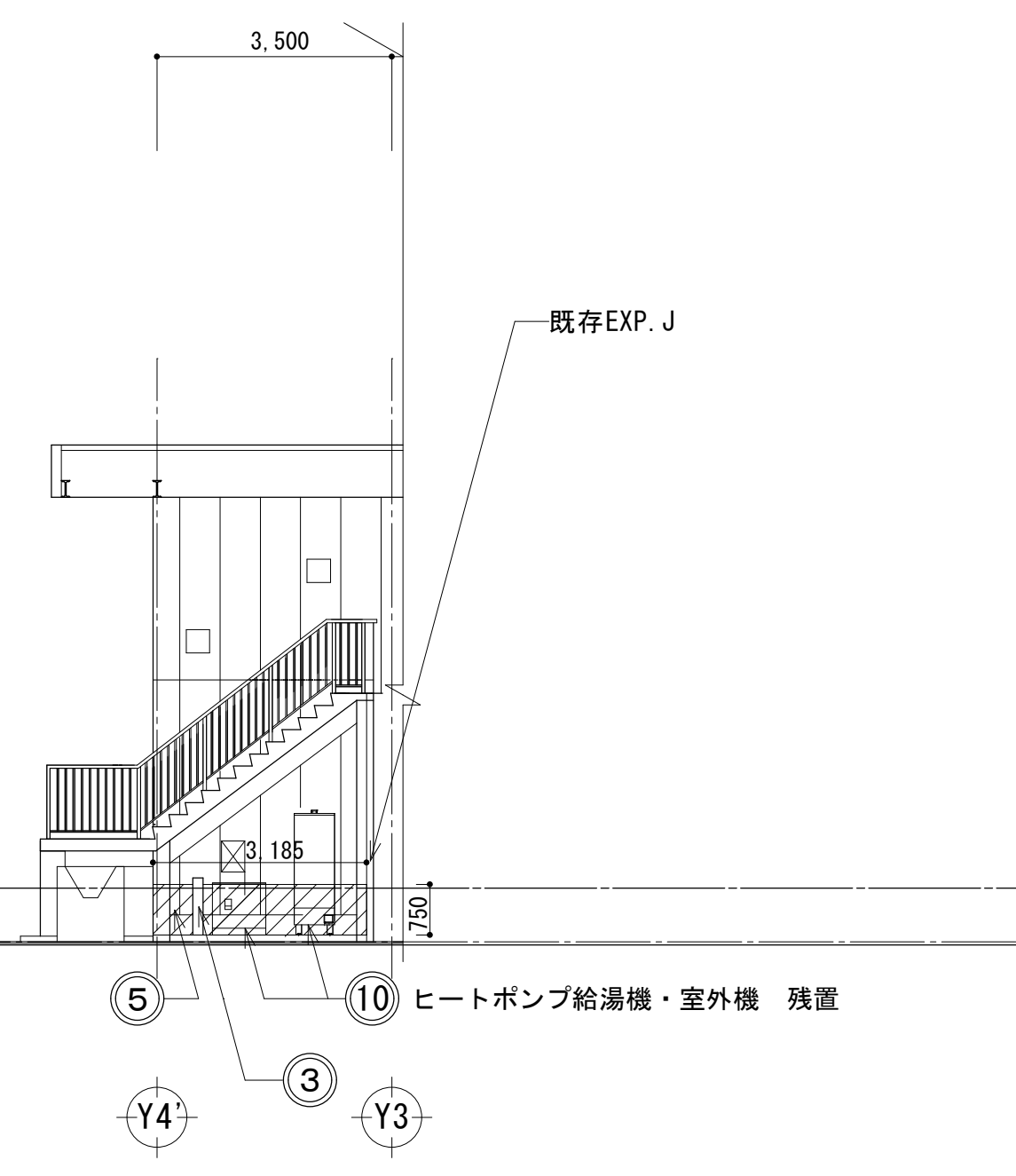
工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	③ 管 理 棟 立面図（改修前）				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/100	
行田市水道事業				図面番号	
				A - 17	

改修後



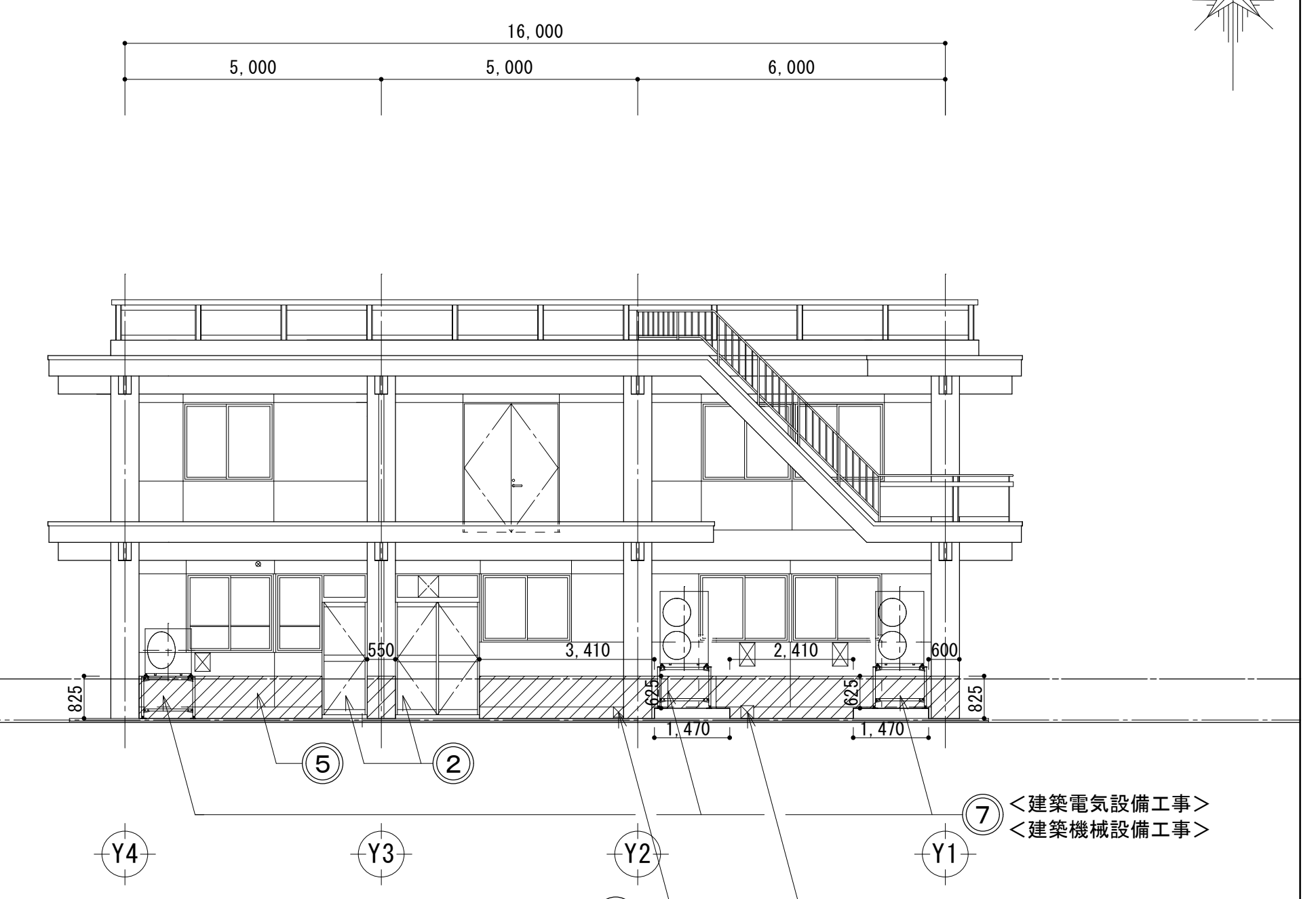
北側立面図 S=1/100

：外壁防水改修範囲を示す



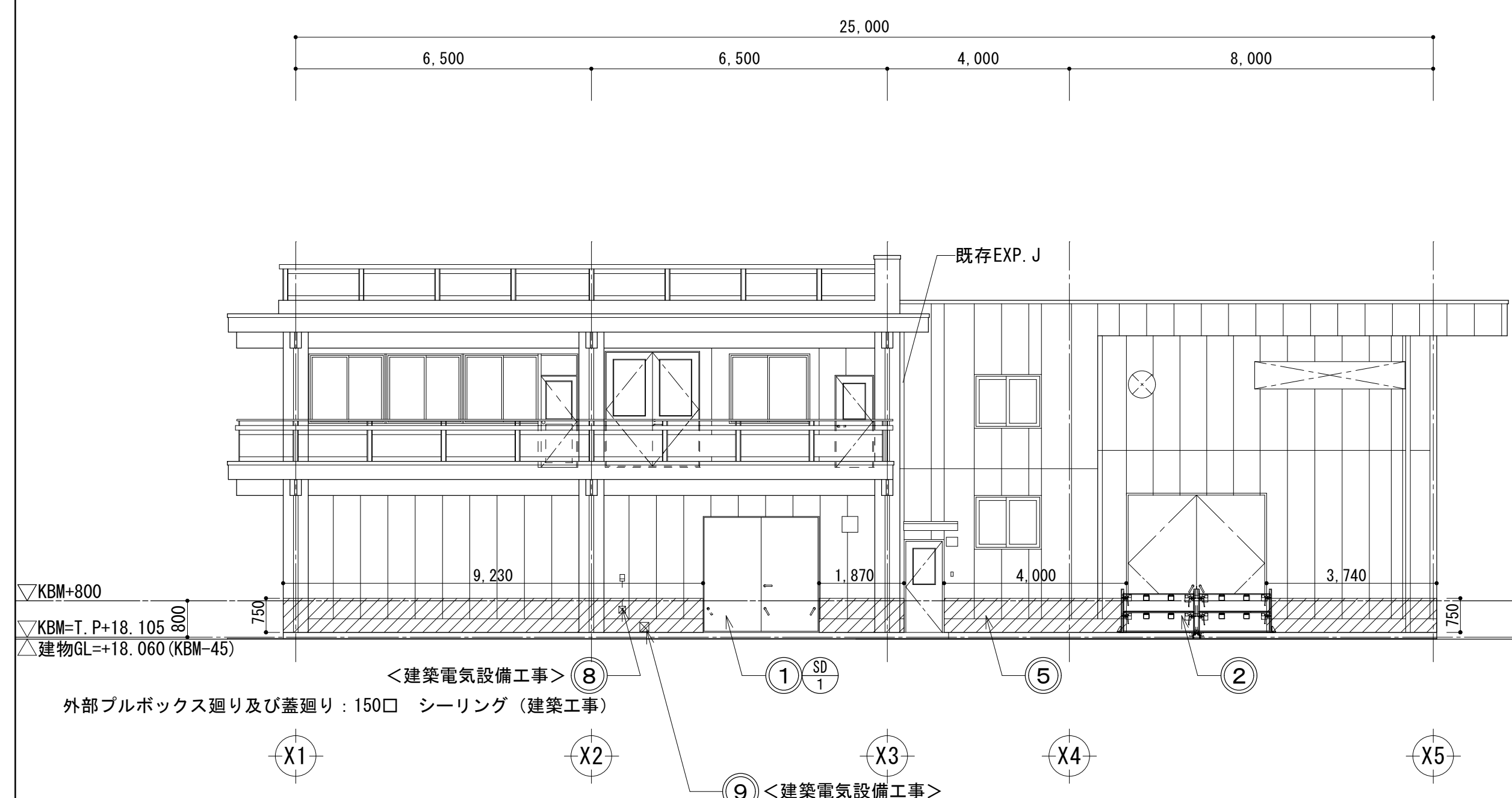
西側立面図 S=1/100

：外壁防水改修範囲を示す



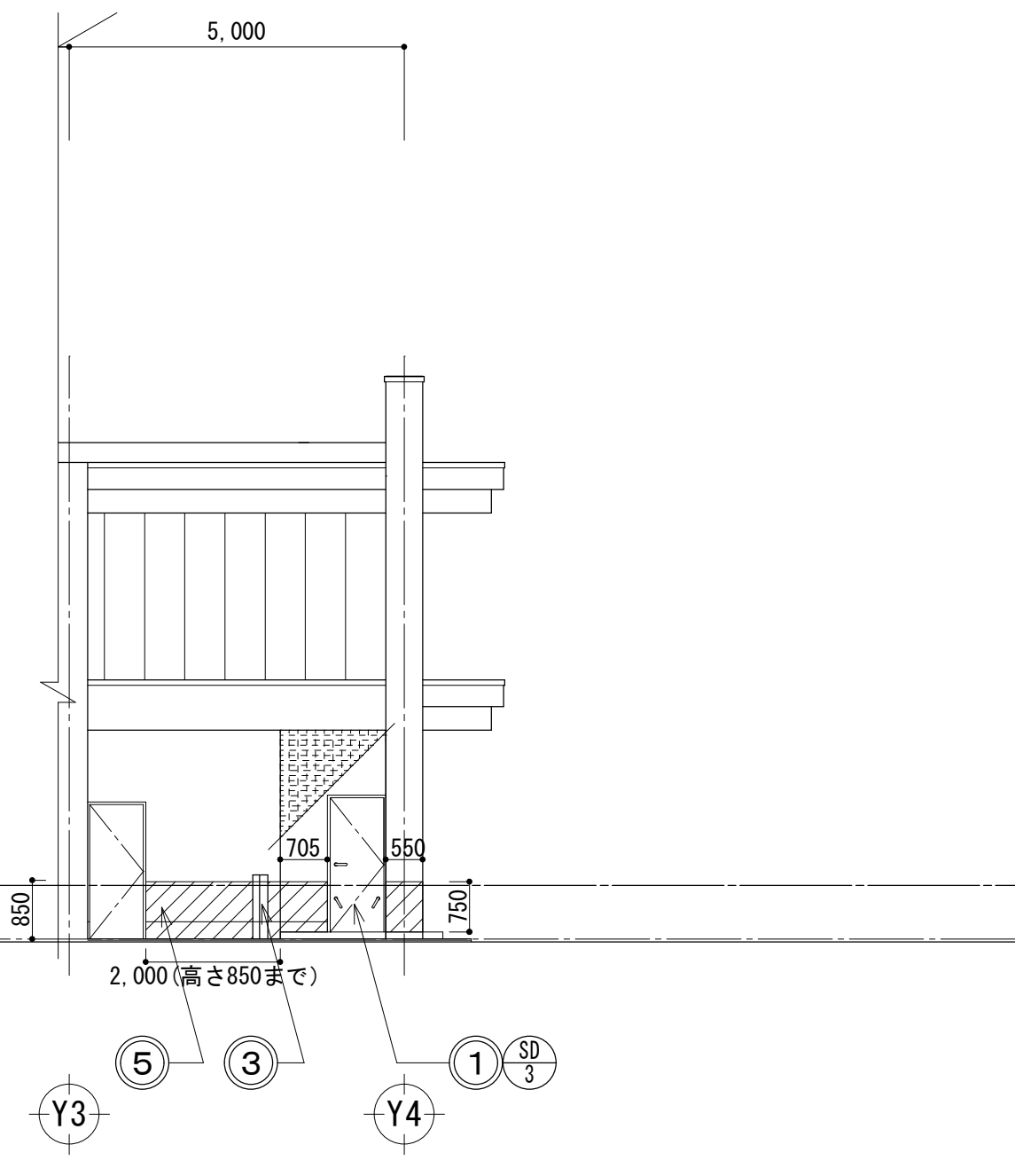
東側立面図 S=1/100

：外壁防水改修範囲を示す



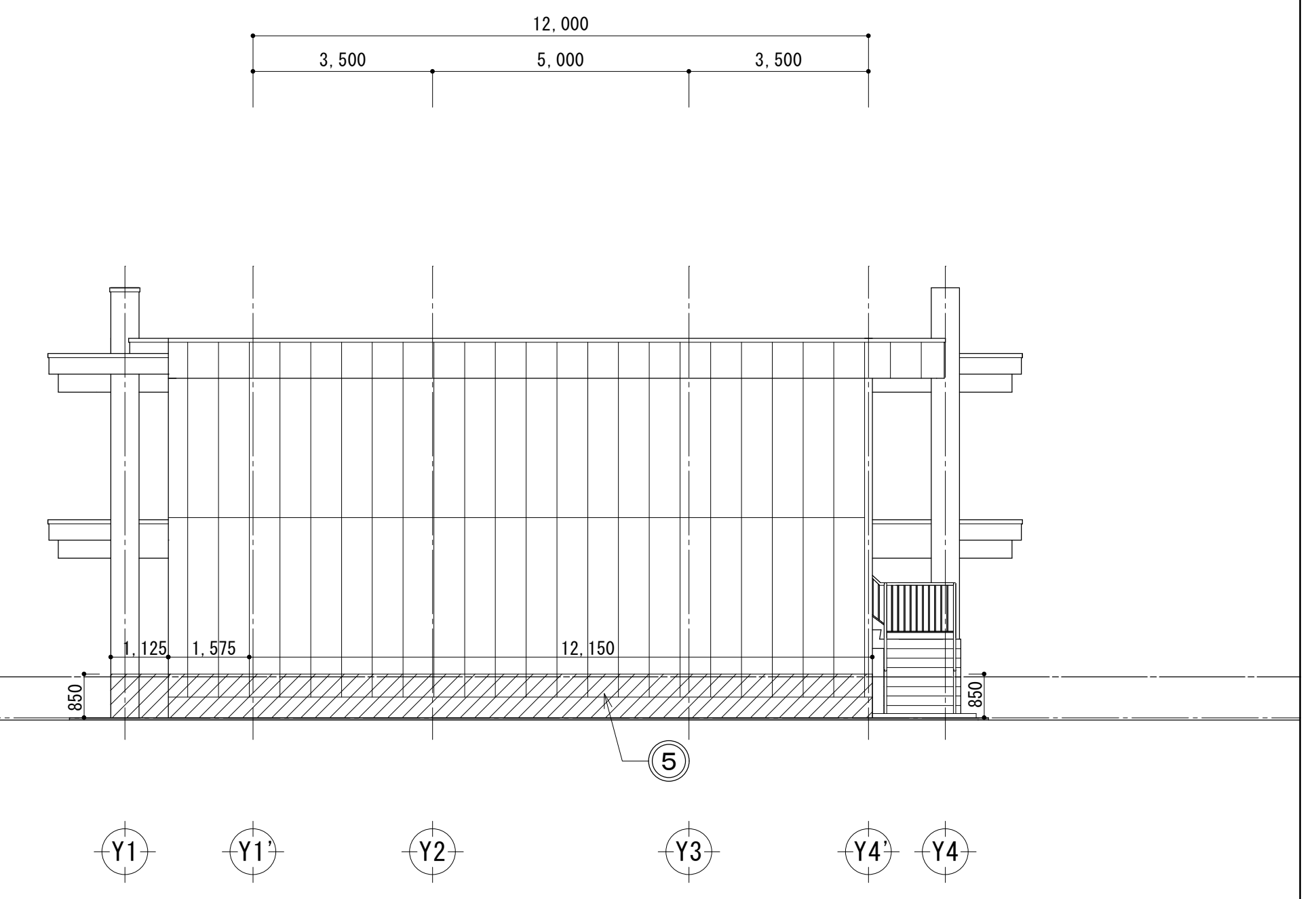
南側立面図 S=1/100

：外壁防水改修範囲を示す



北側立面図 S=1/100

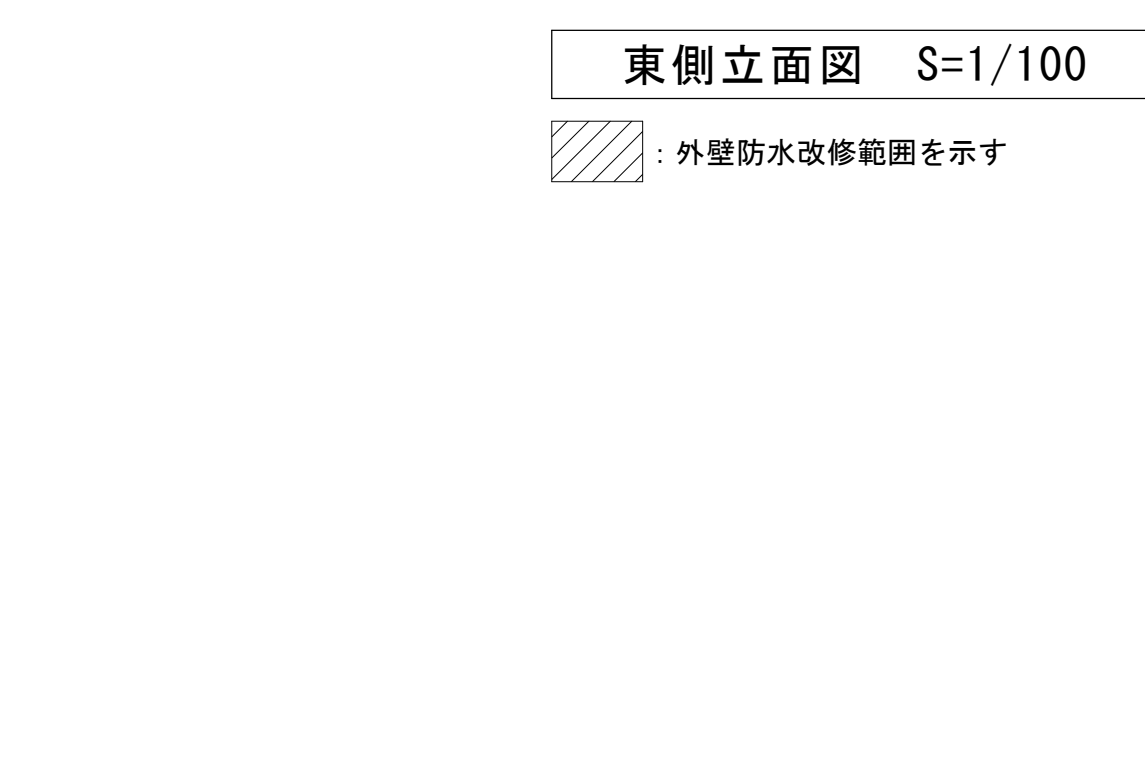
：外壁防水改修範囲を示す



西側立面図 S=1/100

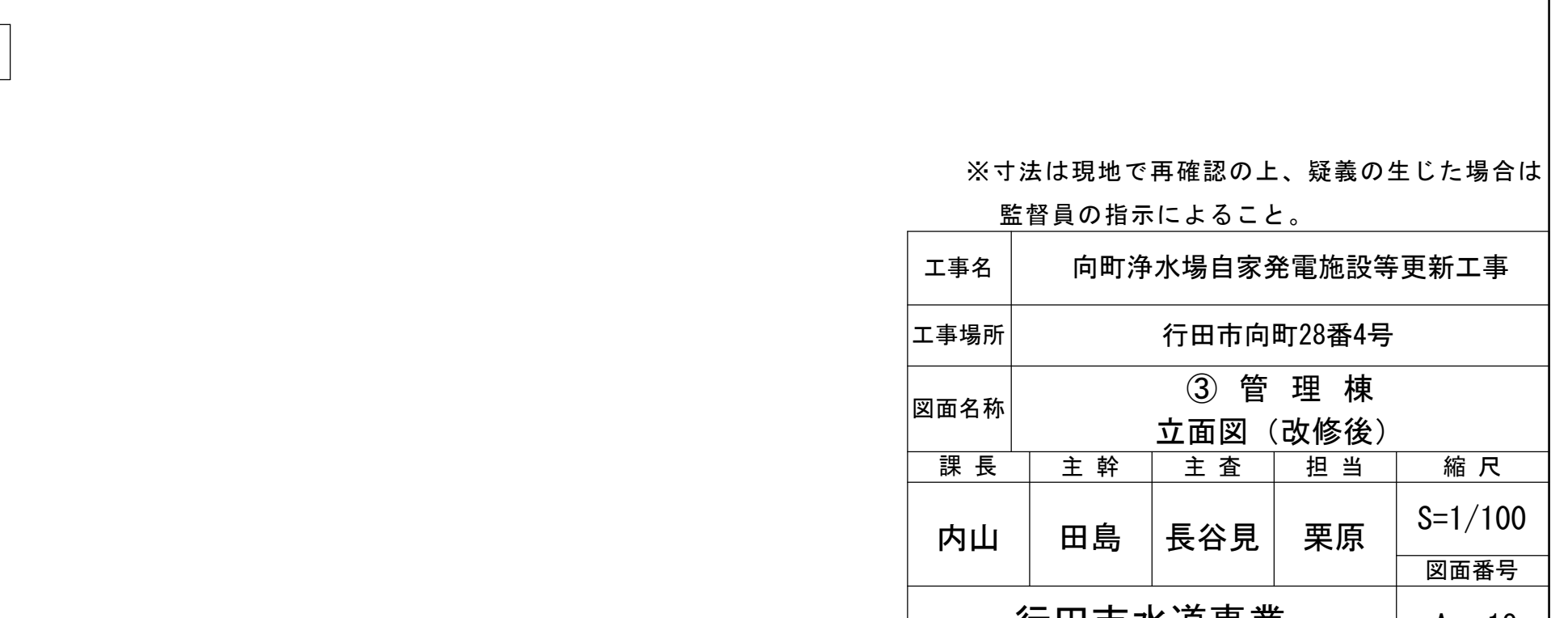
：外壁防水改修範囲を示す

- 改修工事リスト
- ① 止水ドア新設
 - ② 脱着式止水板新設
 - ③ 脱着式止水板新設（一部鉄筋コンクリート t=150新設の上、複層塗材RE）
 - ⑤ 外壁防水改修（アクリルゴム系塗膜防水）
 - ⑦ 既存室外機上部移設
 - ⑧ コンセント及びブルボックス新設の上、上部移設
 - ⑨ 既存ブルボックス止水処理
 - ⑩ ヒートポンプ給湯機・室外機 残置



東側立面図 S=1/100

：外壁防水改修範囲を示す



南側立面図 S=1/100

：外壁防水改修範囲を示す

※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	③ 管理棟 立面図（改修後）				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/100	
				図面番号	
行田市水道事業					A-18

改修前

外 部 仕 上 表		内 部 仕 上 表	
場 所	管理棟 電気室	場 所	管理棟 電気室
床（犬走り）	モルタル金ゴテt=30 ★	床	モルタル塗りの上、目地切
巾木	モルタル金ゴテt=30 外装薄塗材E	巾木	モルタル金ゴテt=30 H=300
壁	ALC版t=150 外装薄塗材E ★	壁	グラスウールボードt=25
		天井	グラスウールボードt=25

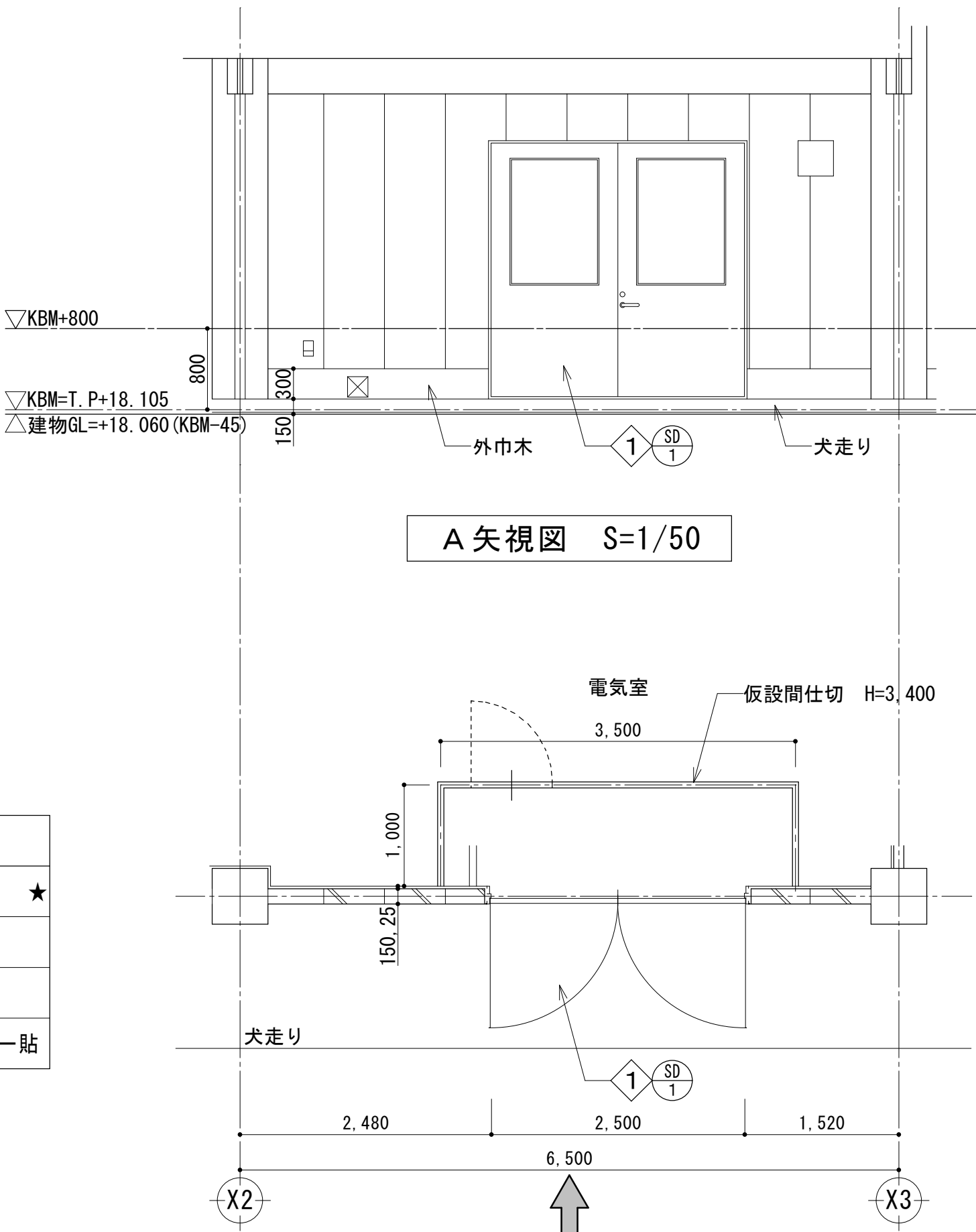
※アスベスト調査箇所：★計2ヶ所

外 部 仕 上 表		内 部 仕 上 表	
場 所	管理棟 発電機室	場 所	管理棟 発電機室
床（犬走り）	モルタル金ゴテt=30	床	モルタル金ゴテt=30 合成樹脂塗床 ★
巾木	モルタル金ゴテt=30 複層塗材RE	巾木	モルタル金ゴテt=30 合成樹脂塗床 H=150
壁	ALC版t=150 複層塗材RE ★	壁	ロックウールt=50
		天井	ロックウールt=50

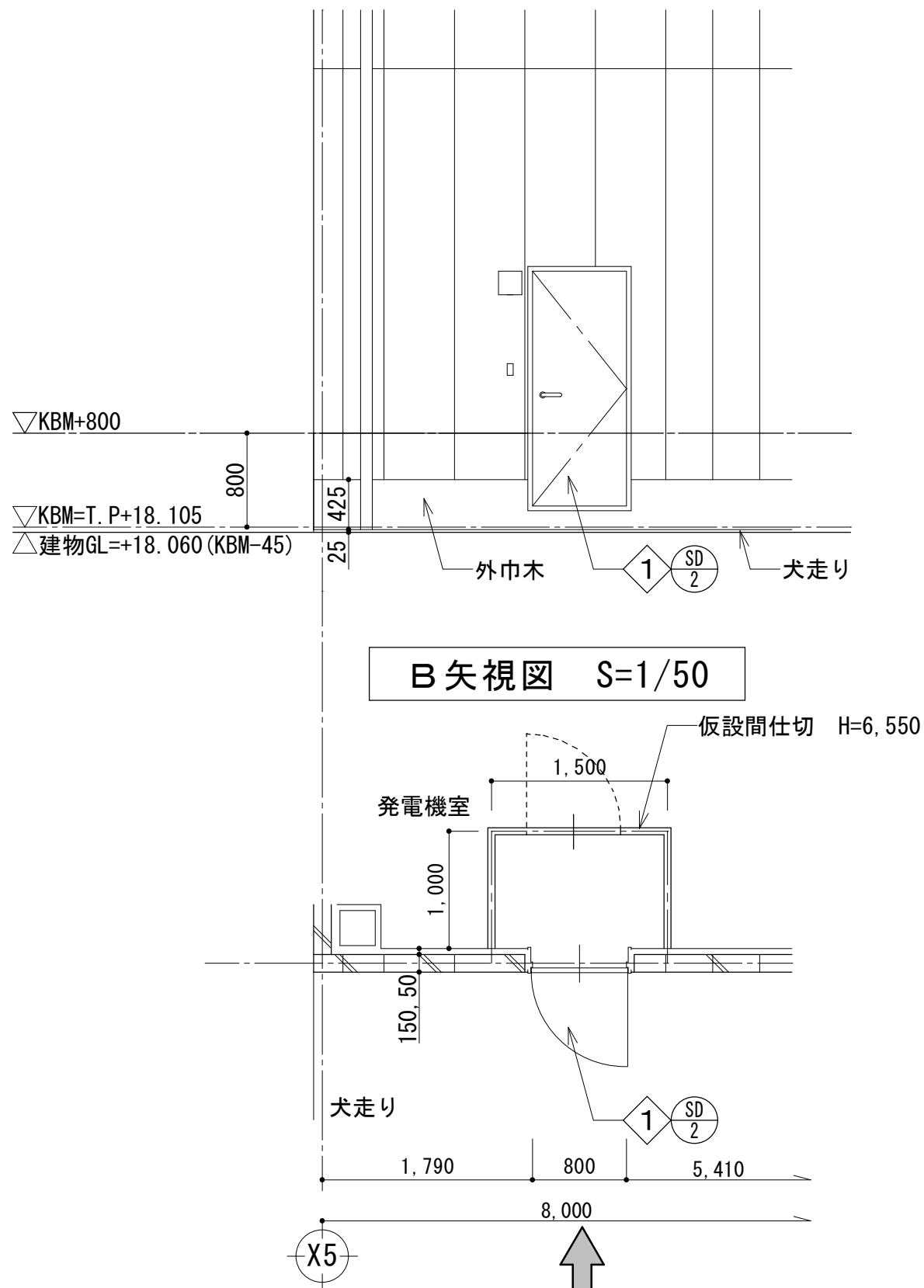
※アスベスト調査箇所：★計2ヶ所

外 部 仕 上 表		内 部 仕 上 表	
場 所	管理棟 水質試験室	場 所	管理棟 水質試験室
床（ポーチ）	テラゾータイル貼 ★	床	100角タイル貼 ★
巾木	テラゾータイル貼	巾木	100角タイル貼
壁	モザイクタイル貼 ★	壁	100角タイル貼
		天井	ナショナルEGスパン ロッキー貼

※アスベスト調査箇所：★計3ヶ所

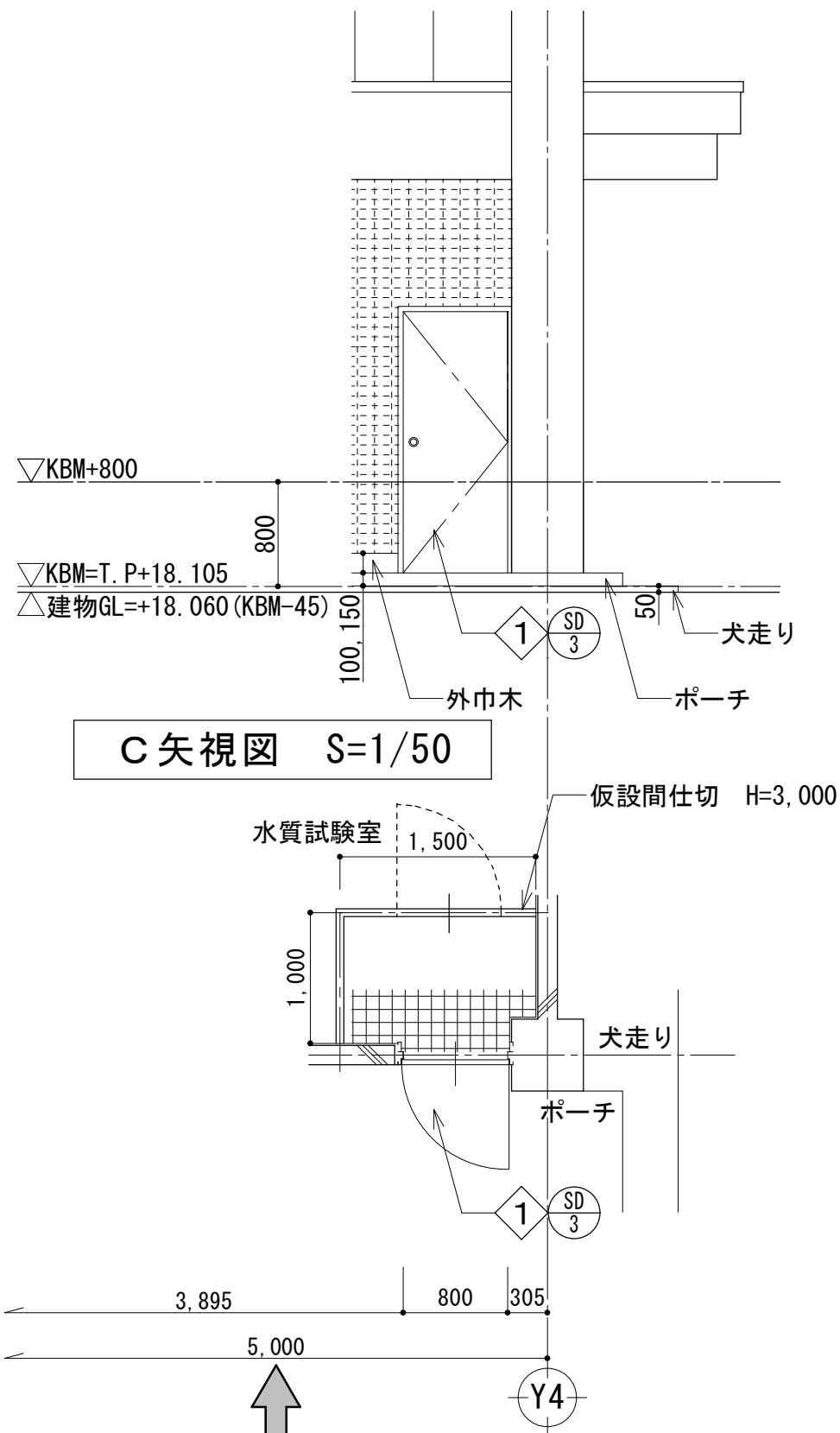


A矢視
平面詳細図 S=1/50



B矢視図 S=1/50

B矢視
平面詳細図 S=1/50



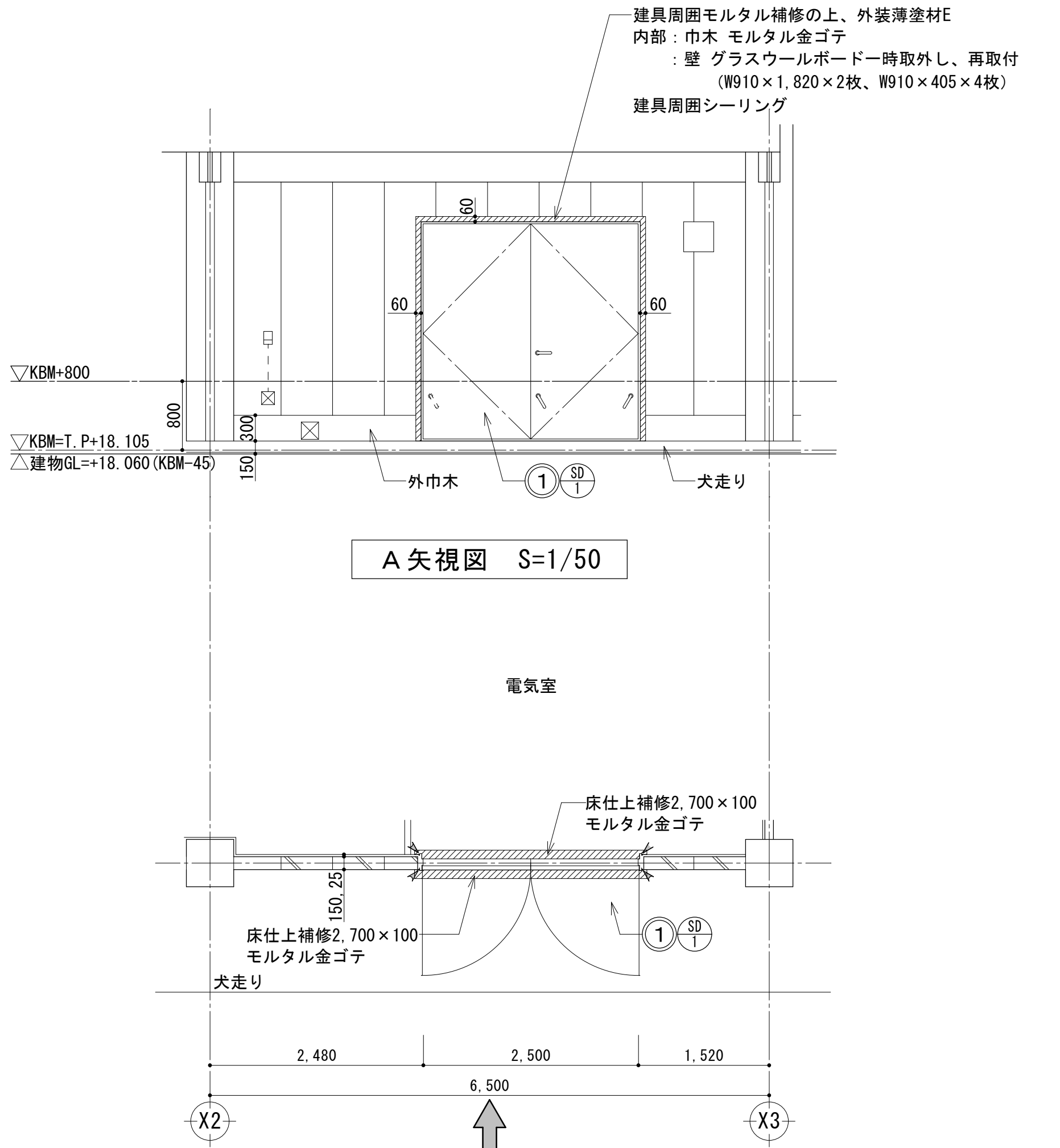
C矢視図 S=1/50

C矢視
平面詳細図 S=1/50

撤去・下地処理リスト

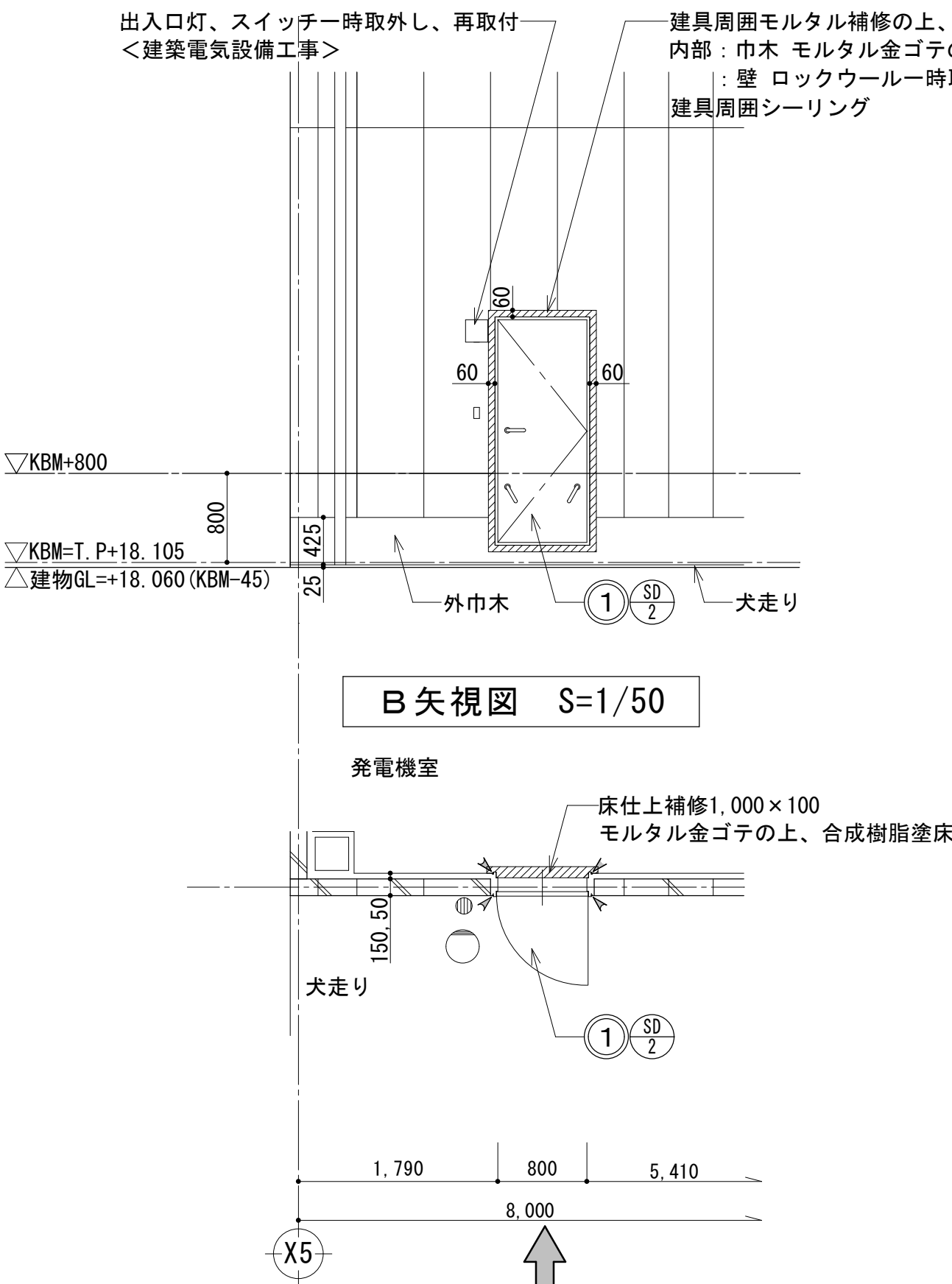
- ① スチール製又はアルミ製建具撤去

改修後



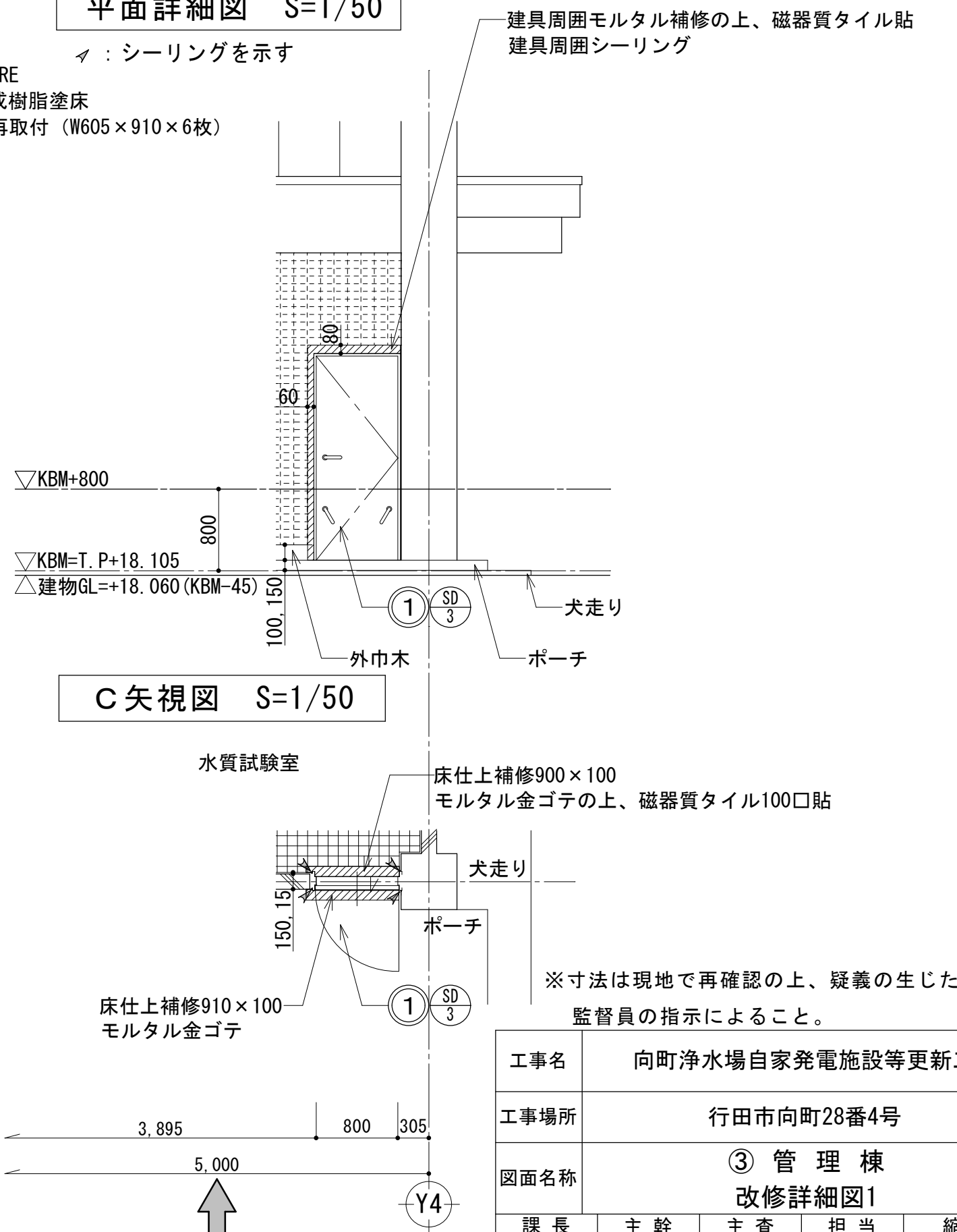
A矢視図 S=1/50

A矢視
平面詳細図 S=1/50



B矢視図 S=1/50

B矢視
平面詳細図 S=1/50



C矢視図 S=1/50

C矢視
平面詳細図 S=1/50

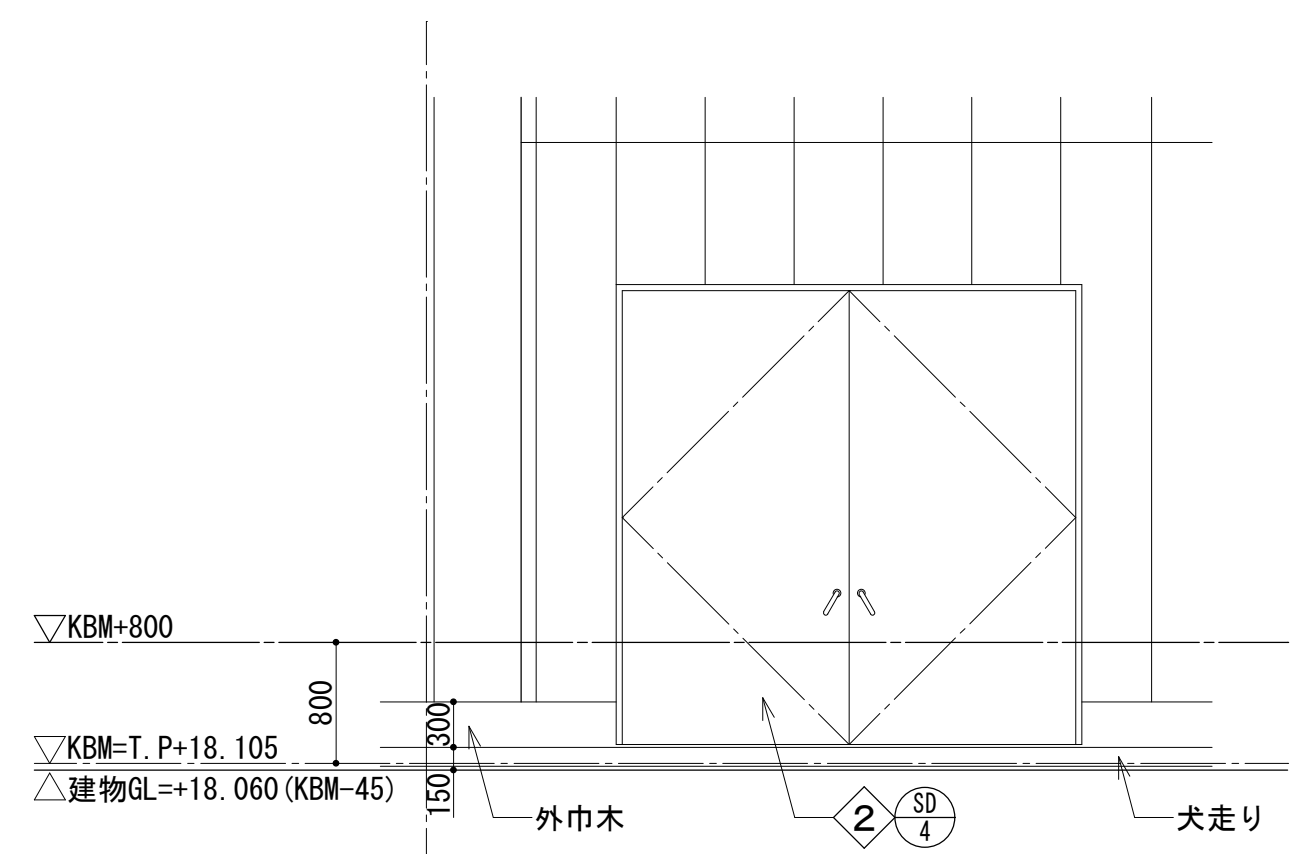
改修工事リスト

- ① 止水ドア新設

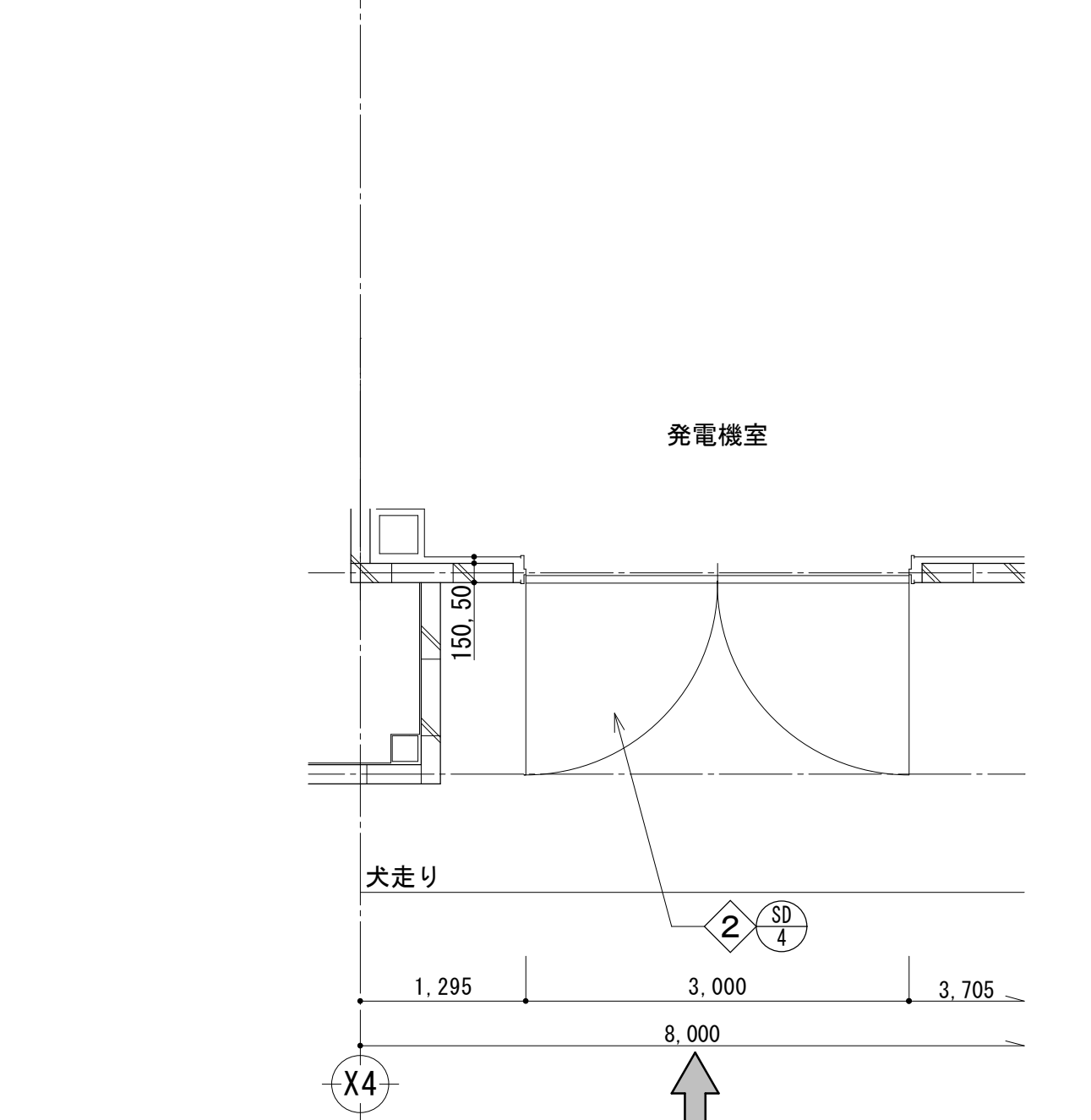
※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は
監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	③ 管理棟 改修詳細図1				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
行田市水道事業					図面番号
					A-19

改修前



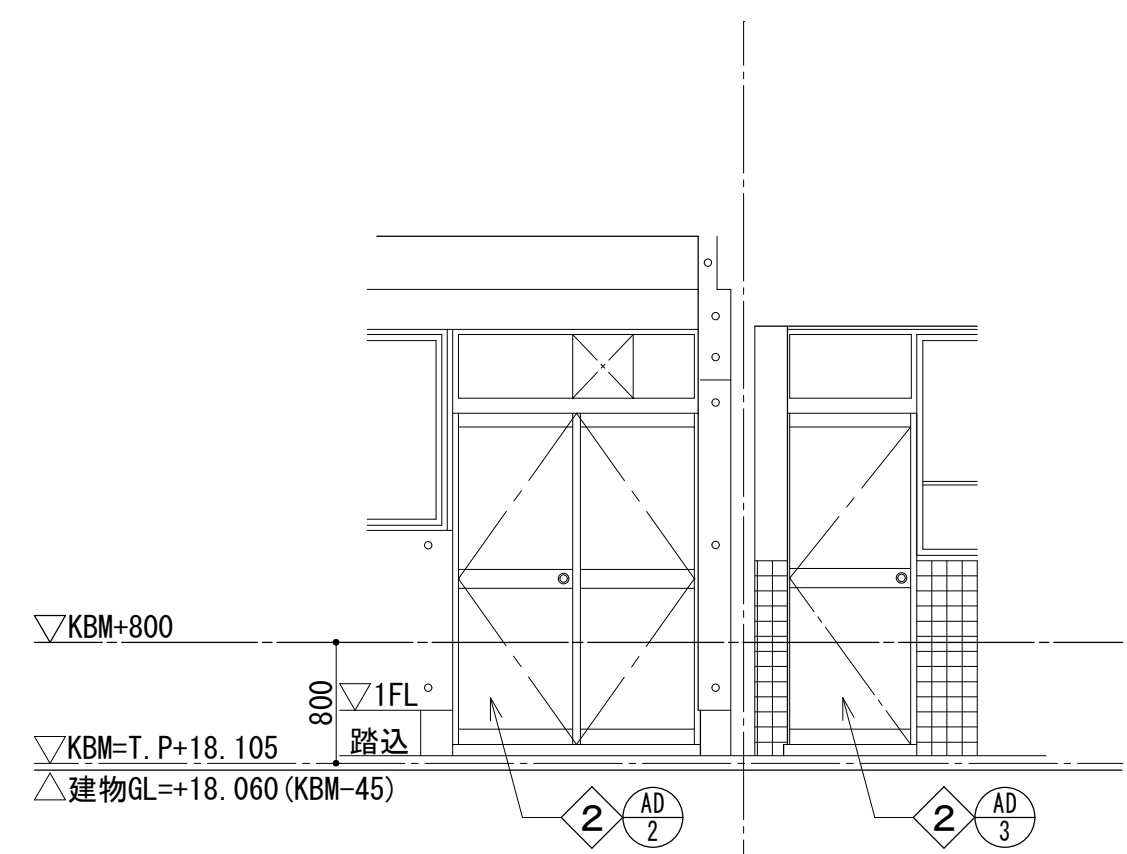
A 矢視図 S=1/50



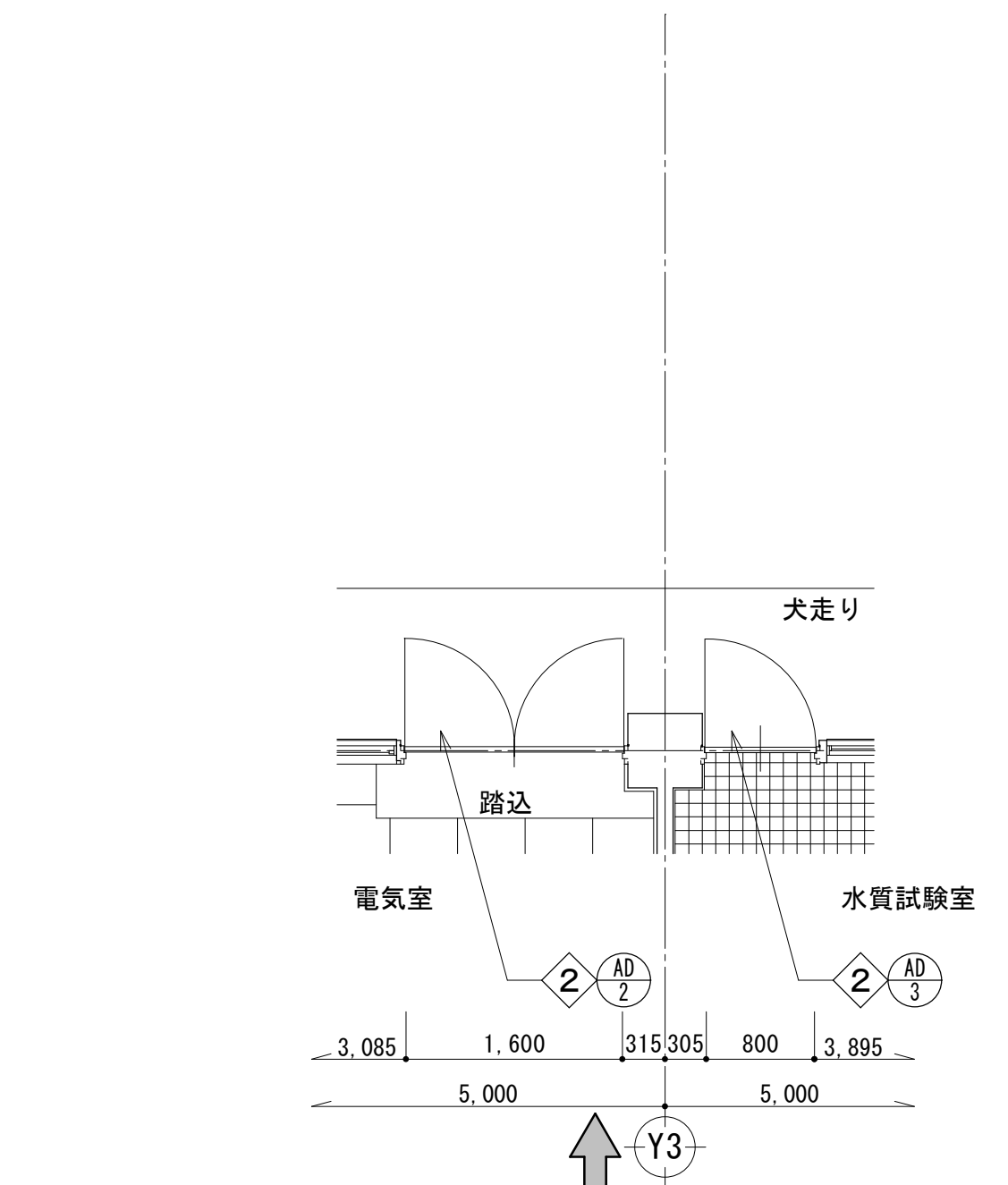
A 矢視
平面詳細図 S=1/50

- 撤去・下地処理リスト
- ② スチール製又はアルミ製建具既存のまま

内部仕上表		内部仕上表	
場 所	管理棟 発電機室	場 所	管理棟 電気室
床	モルタル金ゴテt=30 エポキシ樹脂塗	床	モルタル塗りの上、目地切
巾木	モルタル金ゴテt=30 エポキシ樹脂塗 H=150	巾木	モルタル金ゴテt=30 H=300
壁	ロックウールt=50	壁	グラスウールボードt=25
天井	ロックウールt=50	天井	グラスウールボードt=25

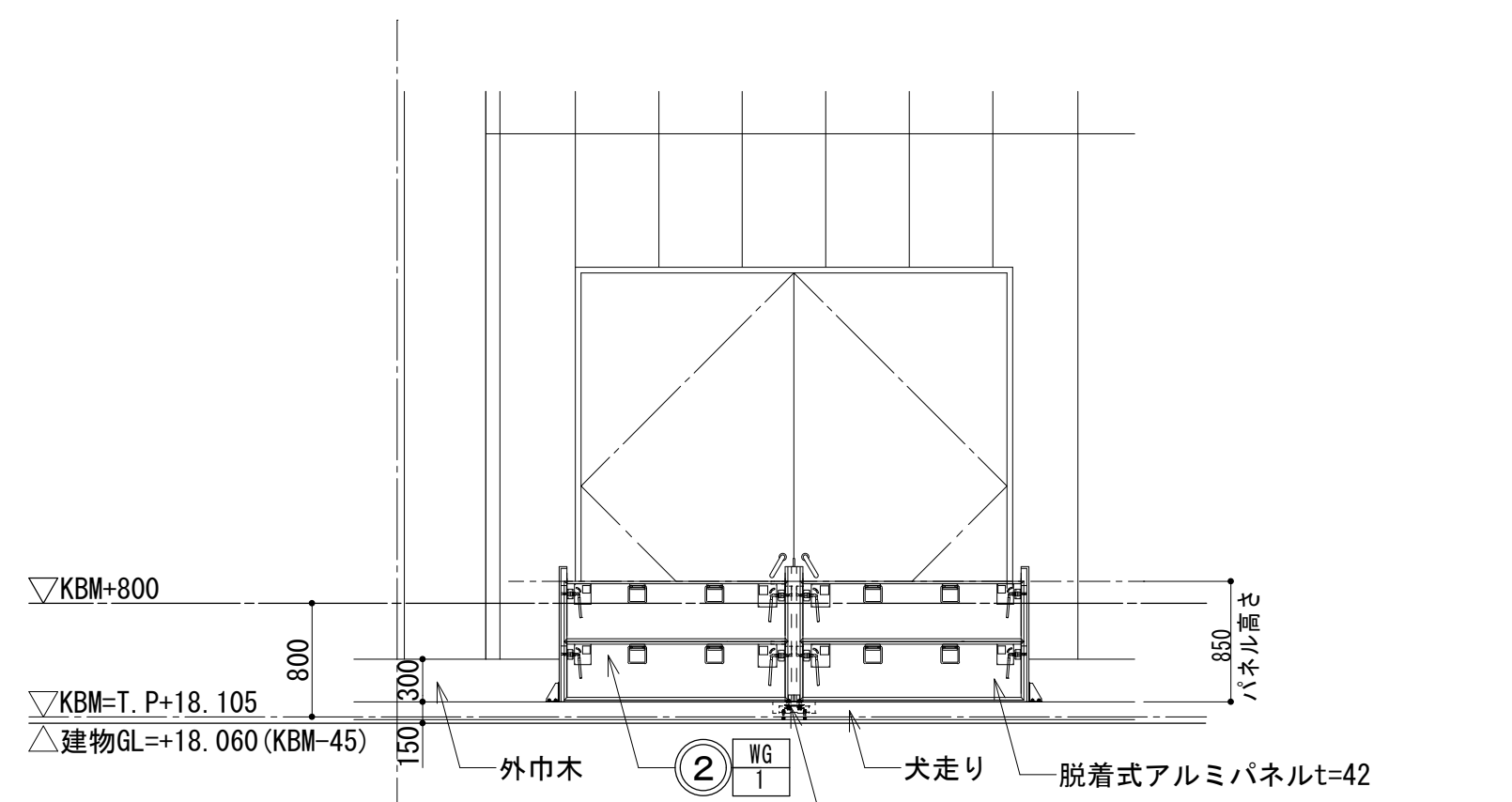


B 矢視図 S=1/50

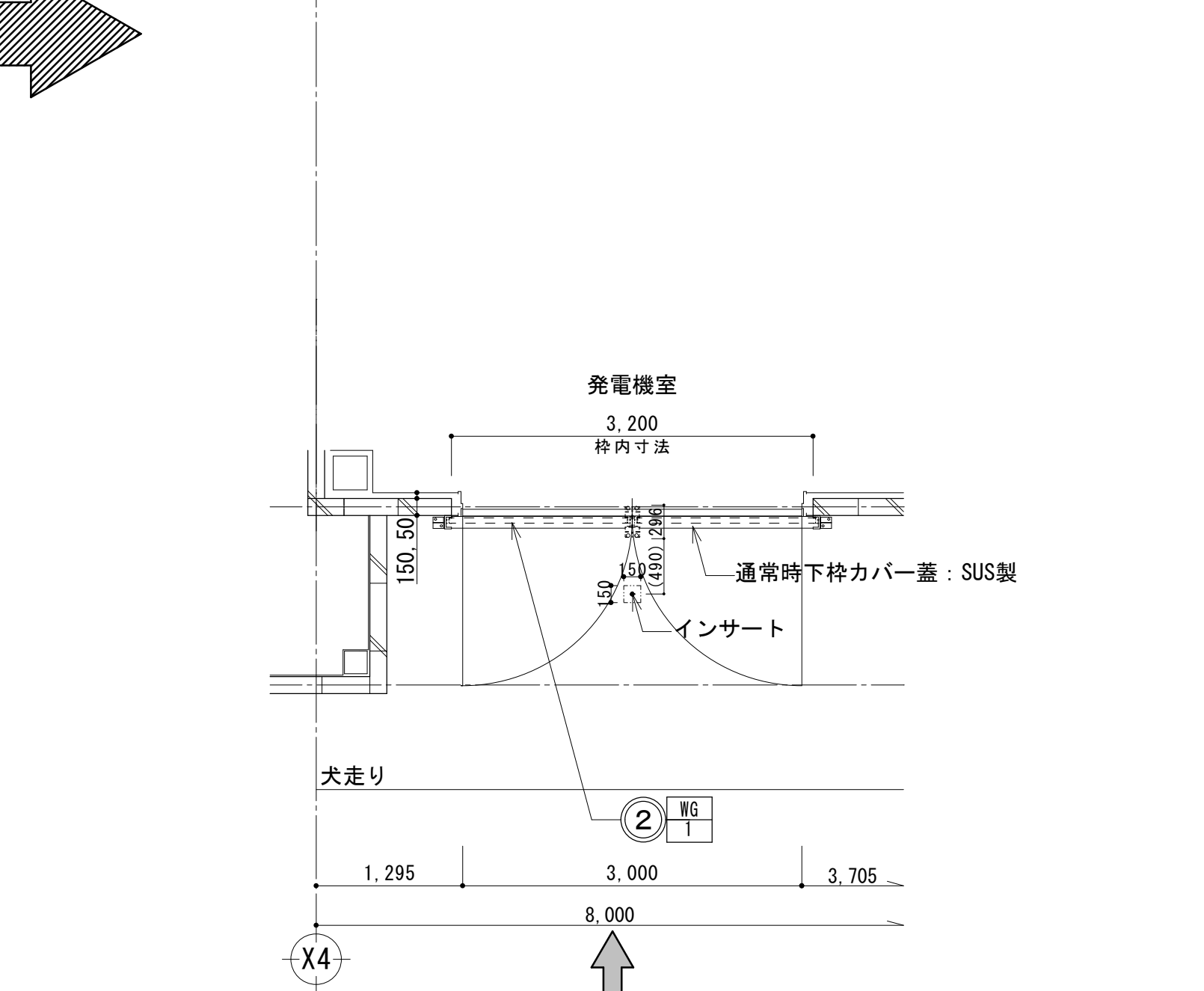


B 矢視
平面詳細図 S=1/50

改修後



A 矢視図 S=1/50



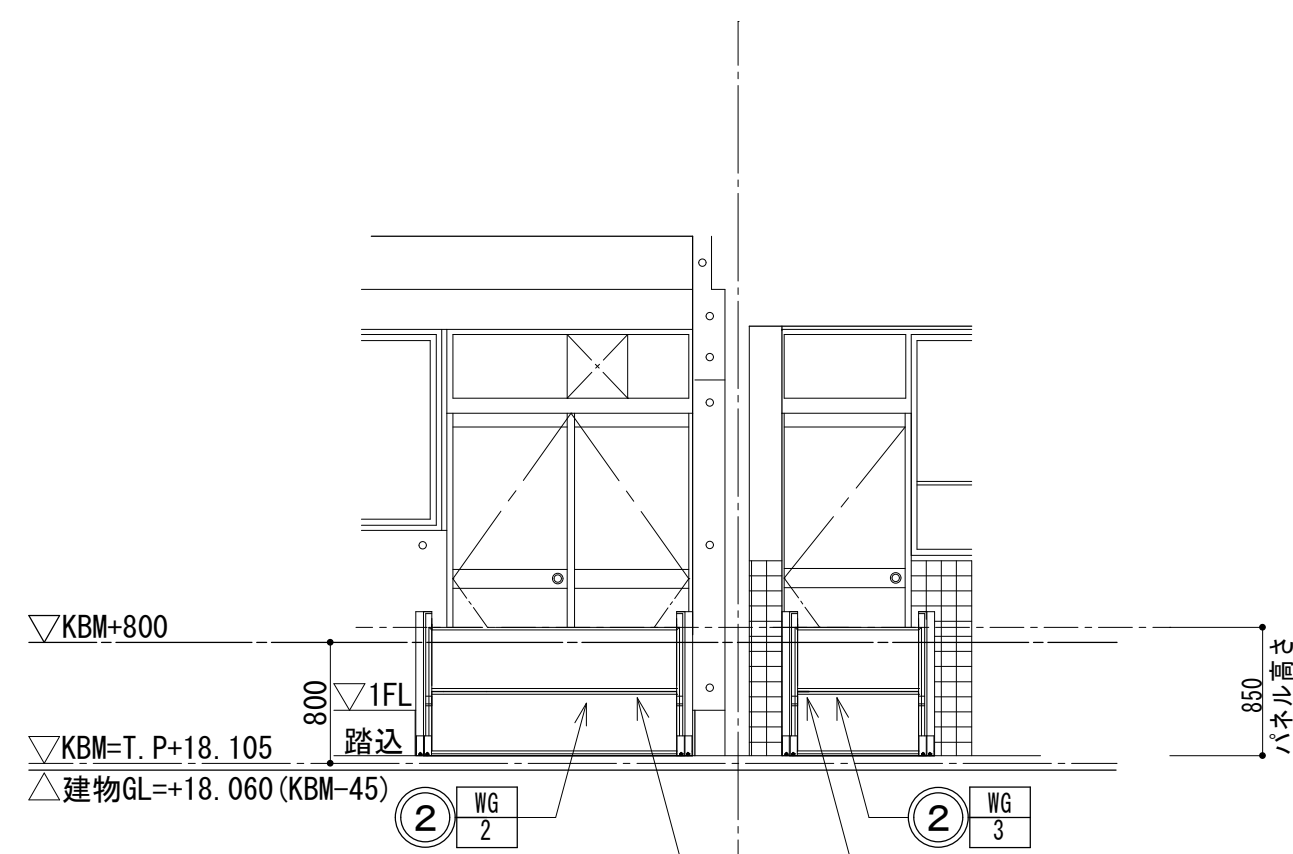
A 矢視
平面詳細図 S=1/50

- 改修工事リスト
- ② 脱着式止水板新設

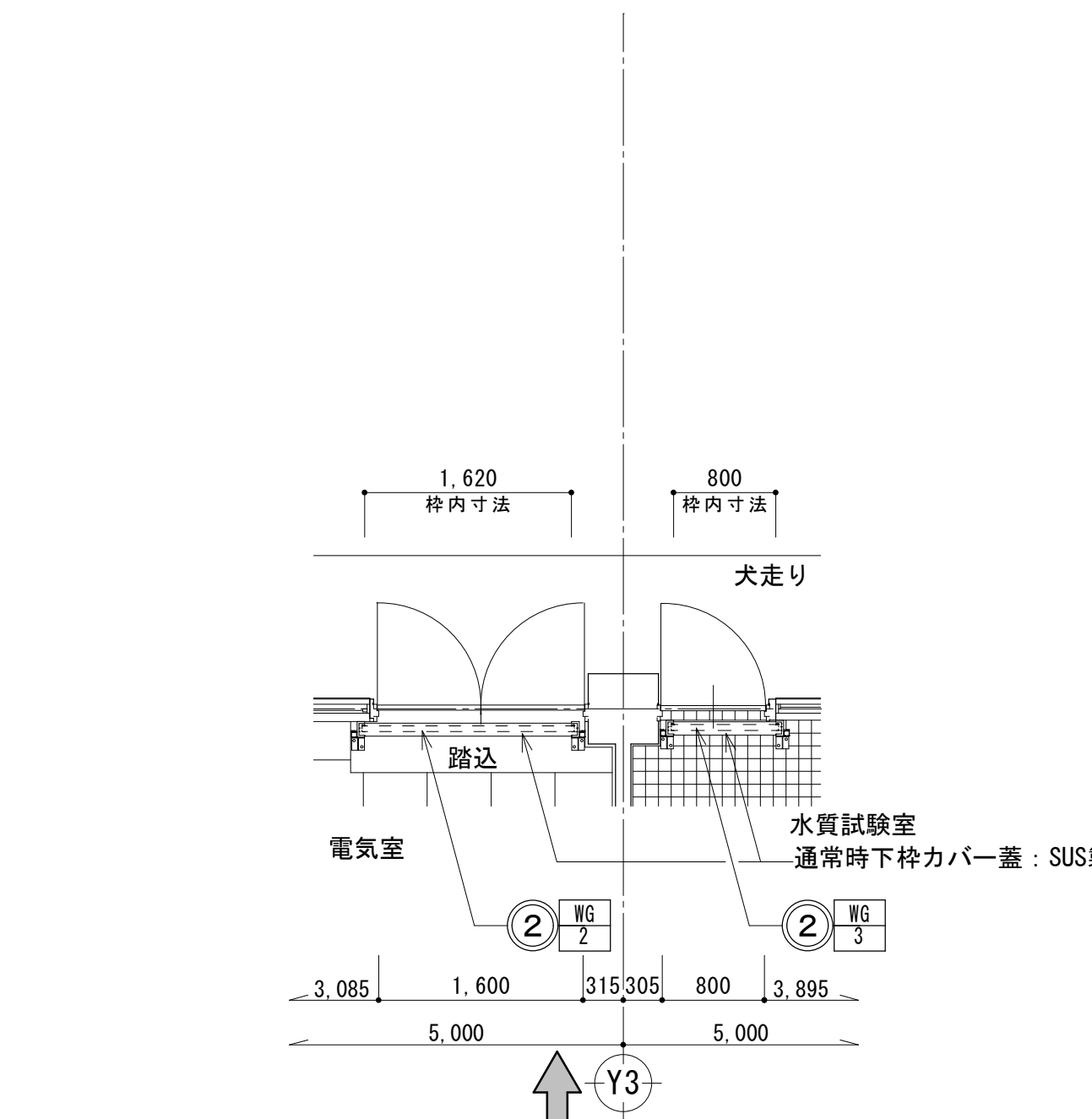
WG 1	止水板（参考）
場 所	管理棟 発電機室
型式	脱着式、露出枠、外締め
設定浸水高さ	KBM=T. P+18.105より高さ800
パネル	脱着式アルミパネルt=42
備考	漏水量10L/(㎡・h)以下(実験値) 中柱脱着時 床面フラット 側枠と外壁の隙間埋めプレート等付属金物一式

WG 2	止水板（参考）
場 所	管理棟 電気室
型式	脱着式、露出枠、外締め
設定浸水高さ	KBM=T. P+18.105より高さ800
パネル	脱着式アルミパネルt=42
備考	漏水量10L/(㎡・h)以下(実験値) 中柱脱着時 床面フラット 側枠と外壁の隙間埋めプレート等付属金物一式

WG 3	止水板（参考）
場 所	管理棟 水質試験室
型式	脱着式、露出枠、外締め
設定浸水高さ	KBM=T. P+18.105より高さ800
パネル	脱着式アルミパネルt=42
備考	漏水量10L/(㎡・h)以下(実験値) 中柱脱着時 床面フラット 側枠と外壁の隙間埋めプレート等付属金物一式



B 矢視図 S=1/50



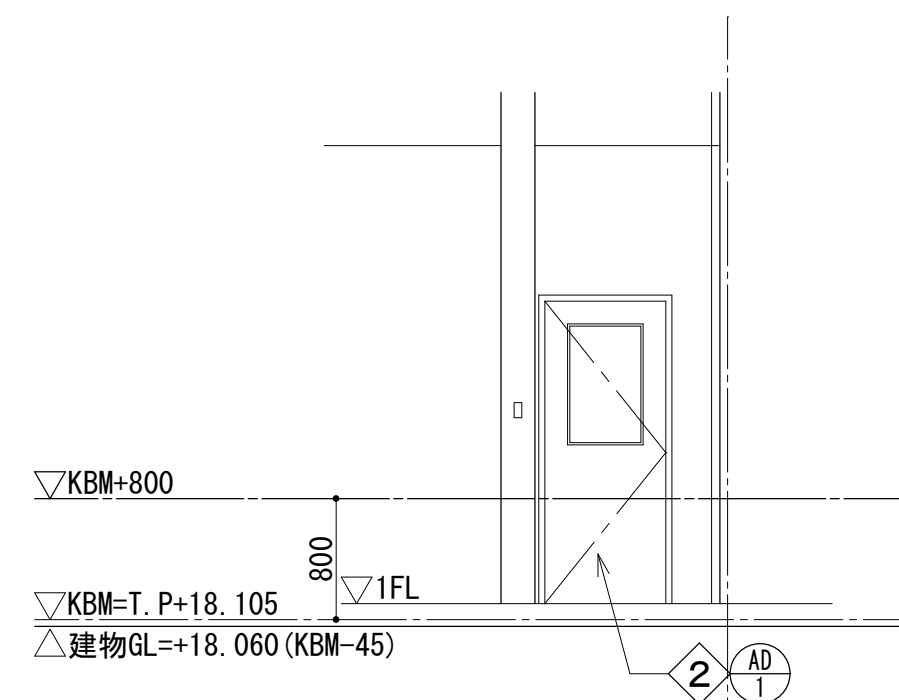
B 矢視
平面詳細図 S=1/50

※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

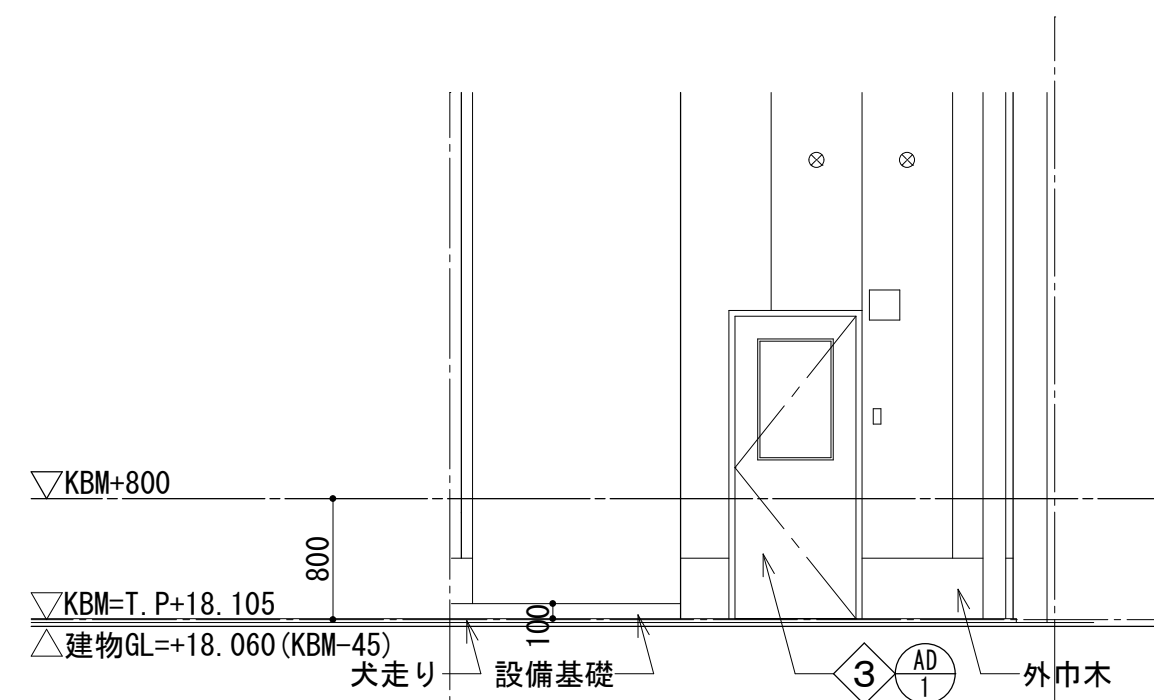
工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	③ 管 理 棟 改修詳細図2				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田 島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業					A - 20

改修前

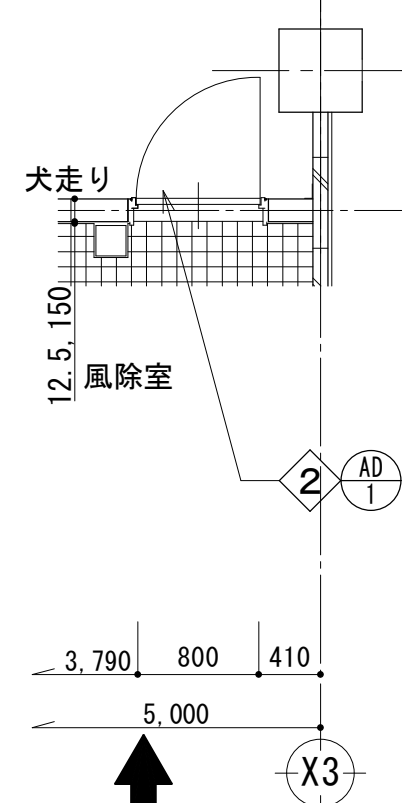
内 部 仕 上 表		外 部 仕 上 表	
場 所	管理棟 風除室	場 所	管理棟 風除室外部廻り
床	モルタル下地 磁器質タイル100角タイル貼	床（ポーチ）	モルタル下地 磁器質タイル100角タイル貼
巾木	磁器質タイル100角タイル貼	設備基礎	コンクリート基礎 H=100
壁	石膏ボードt=12.5 複層塗材RE		
天井	アルミスパンドレル		



A 矢視図 S=1/50

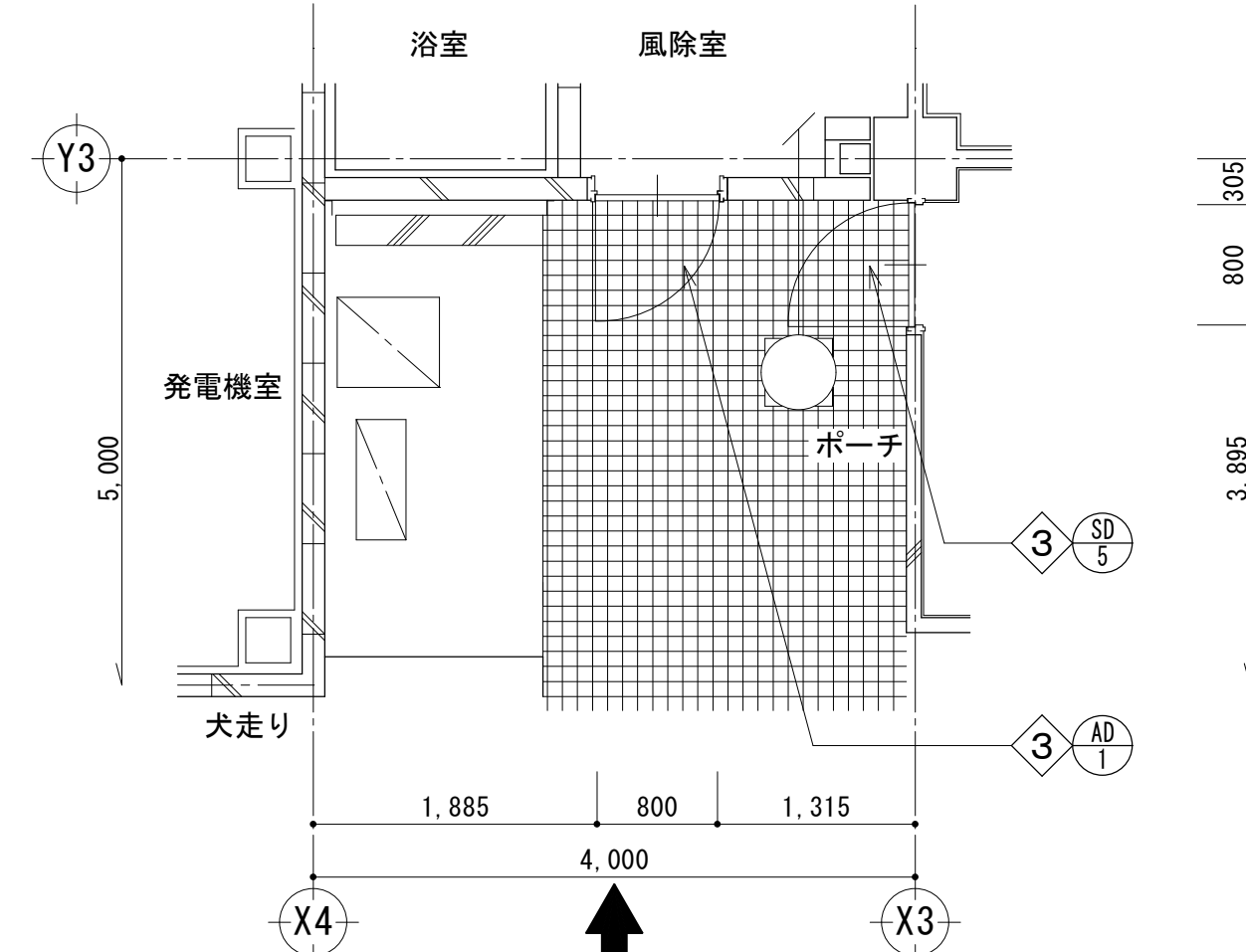


B 矢視図 S=1/50

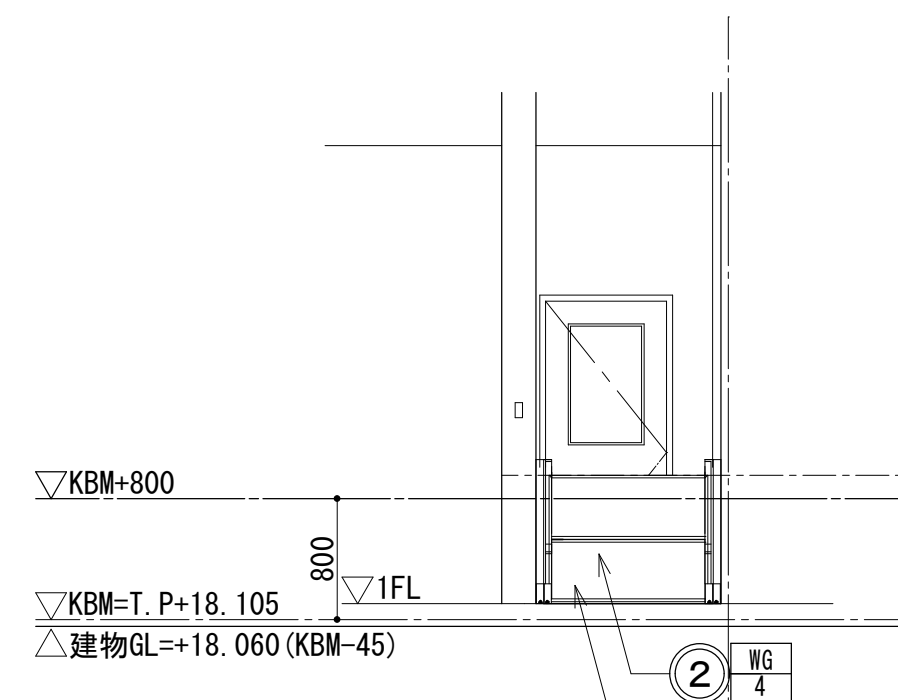


A 矢視

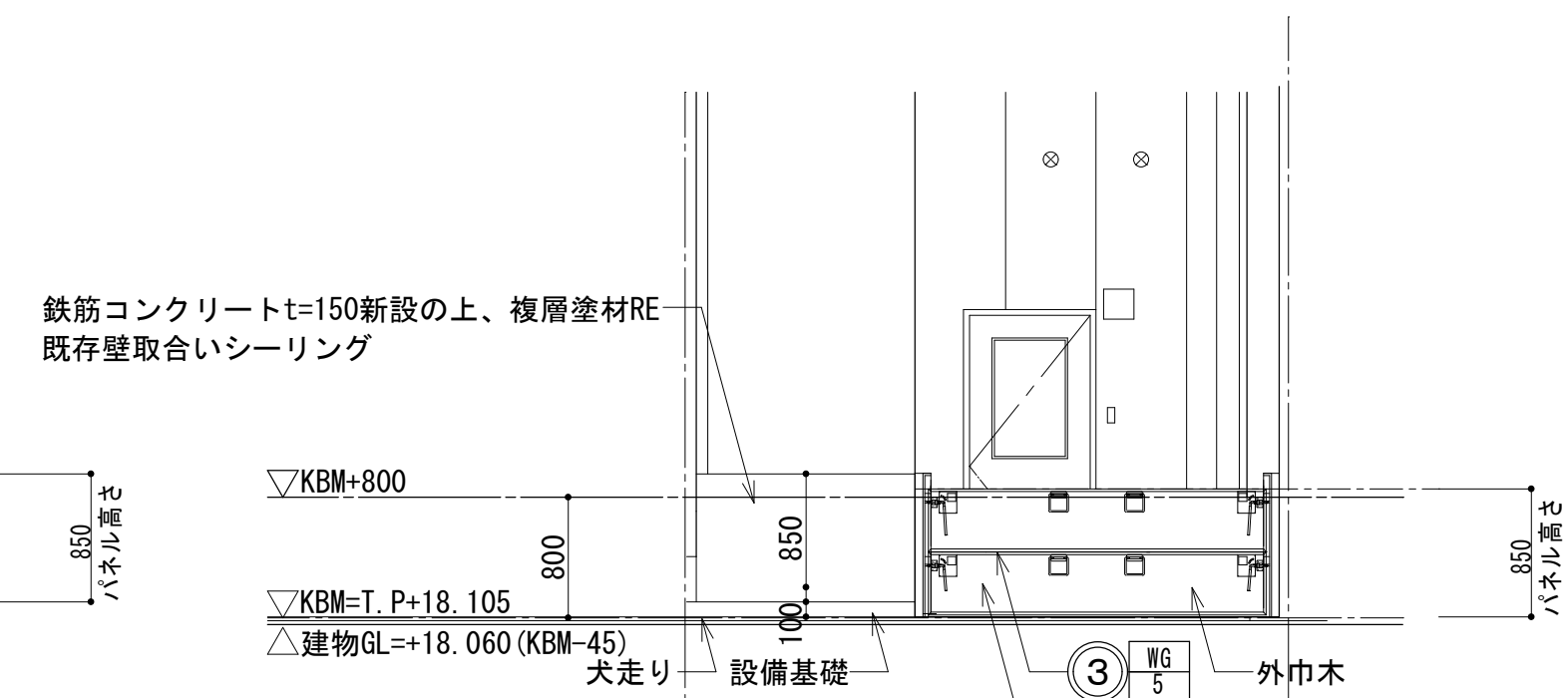
平面詳細図 S=1/50



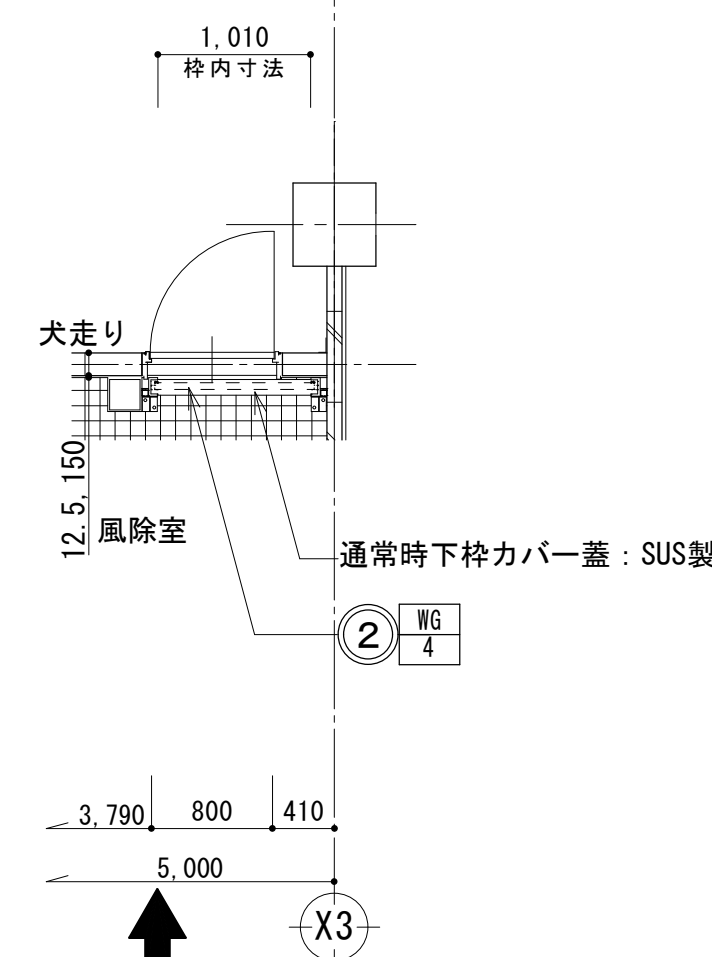
平面詳細図 S=1/50



A 矢視図 S=1/50

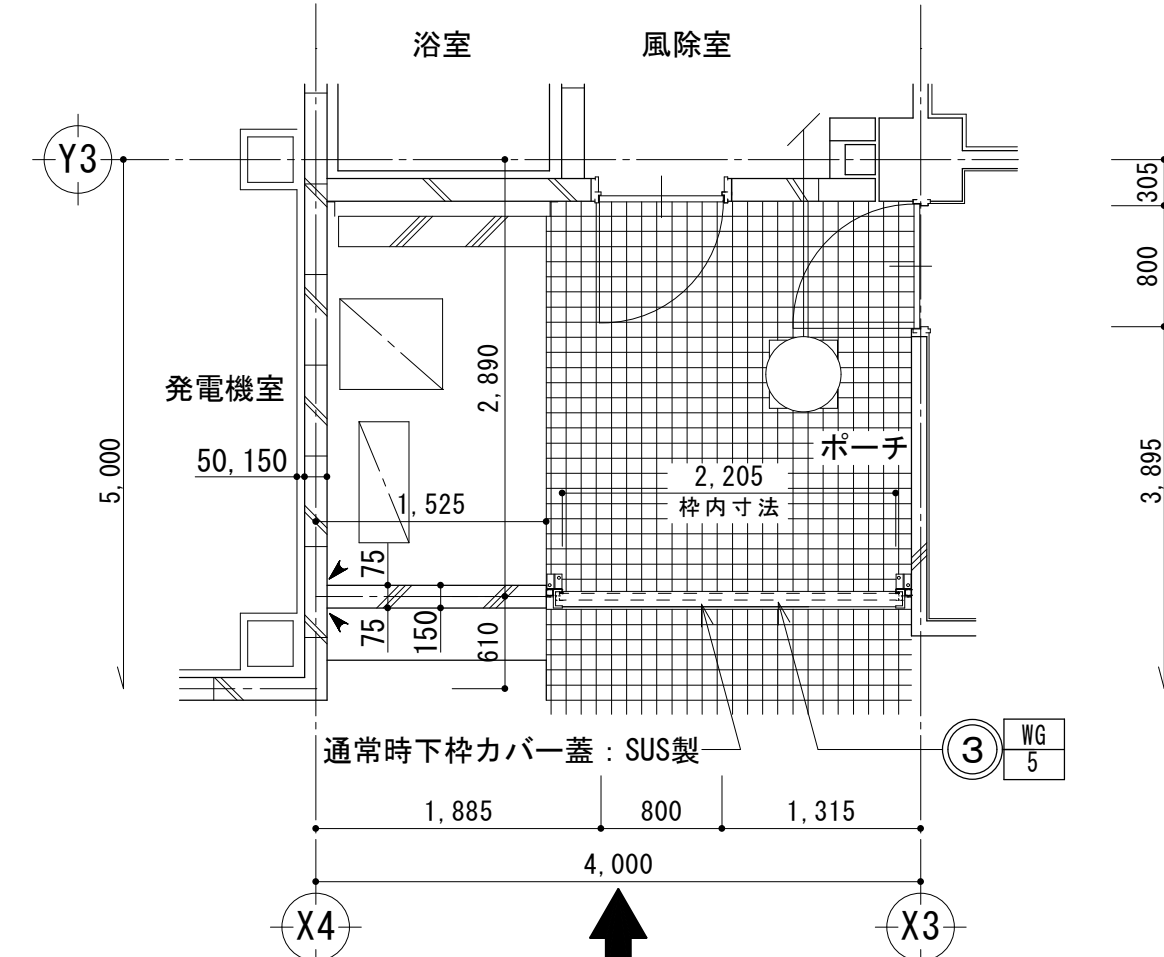


B 矢視図 S=1/50



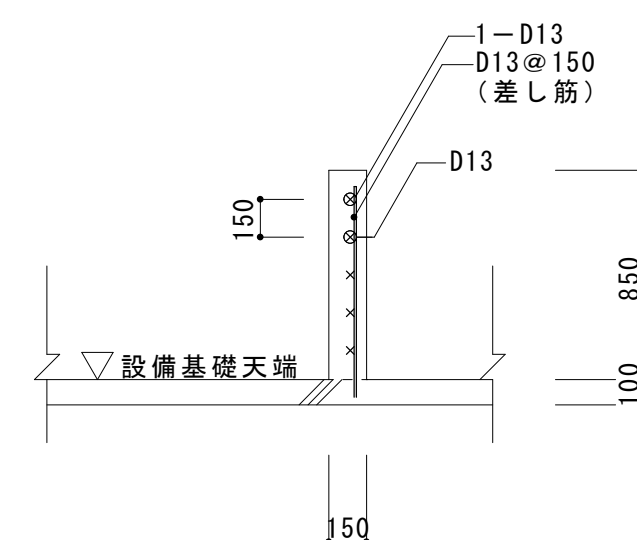
A 矢視

平面詳細図 S=1/50



平面詳細図 S=1/50

イ：シーリングを示す



使用材料

1	コンクリート	普通コンクリート $F_c = 18 \text{ N/mm}^2$ スランプ 18cm
2	鉄筋	SD295 : D13

※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は
監督員の指示によること。

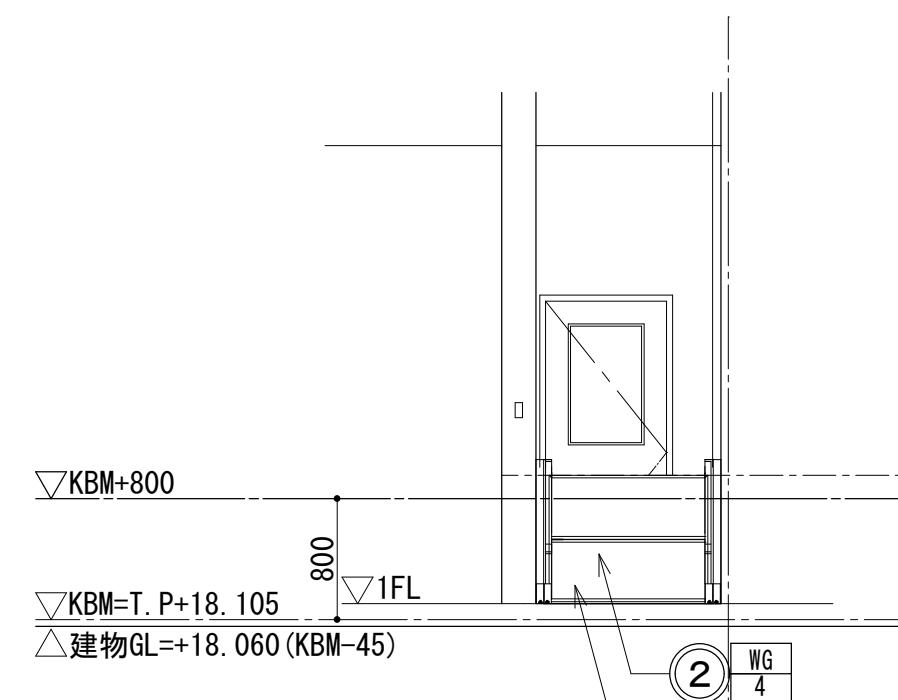
工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	③ 管理棟 改修詳細図3				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/30 S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 21	

撤去・下地処理リスト

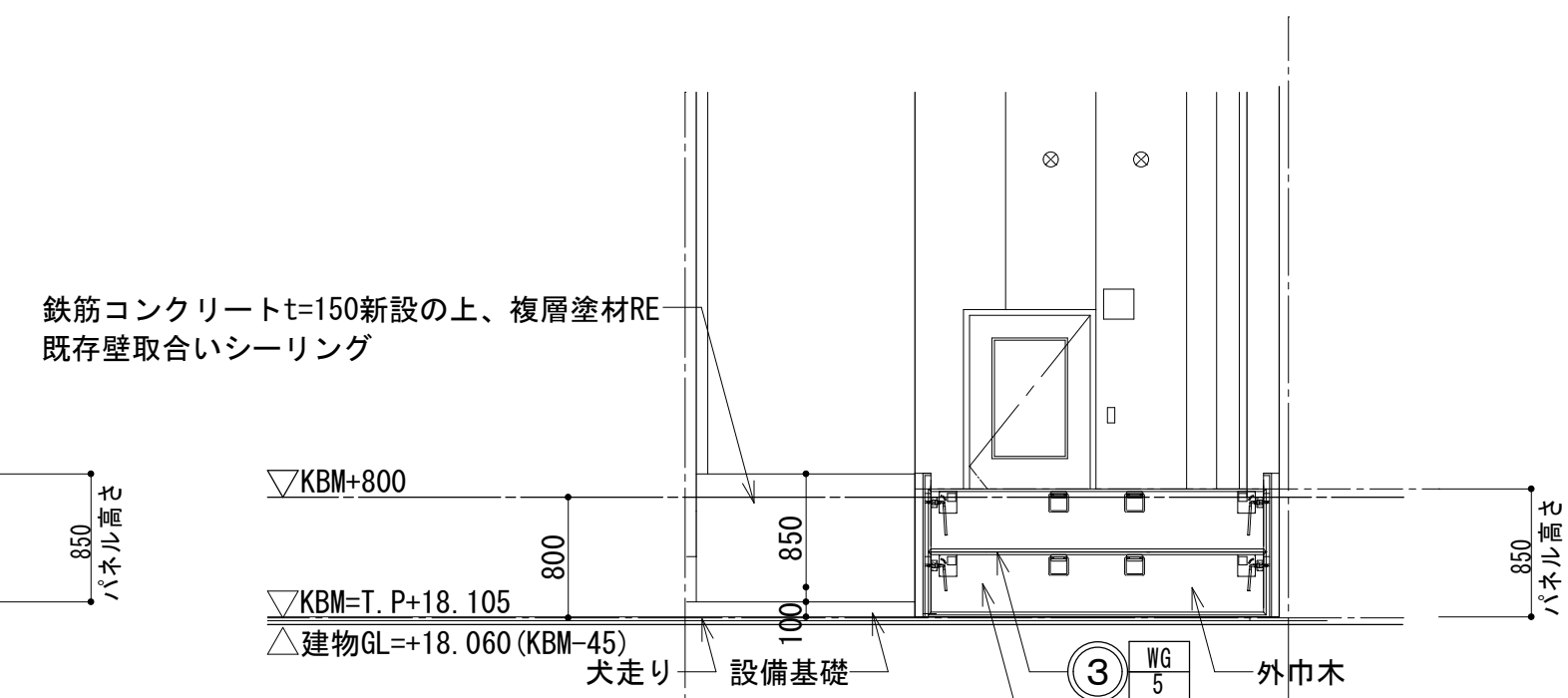
- ② スチール製又はアルミ製建具既存のまま
- ③ スチール製又はアルミ製建具既存のまま

改修後

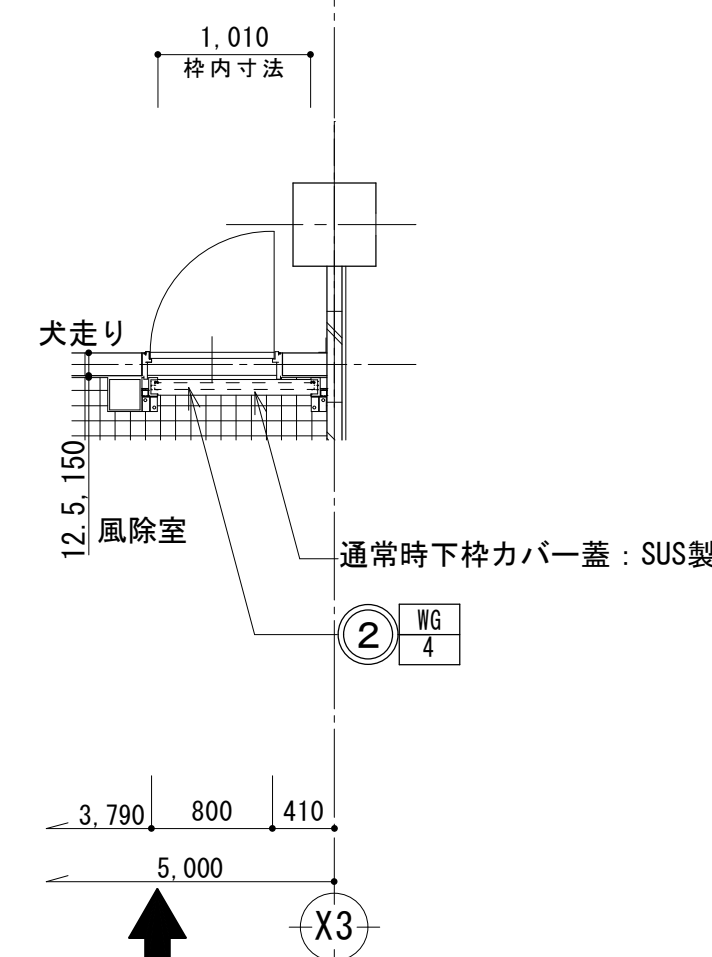
WG 4	止水板（参考）	WG 5	止水板（参考）
場 所	管理棟 風除室	場 所	管理棟 風除室外部廻り
型 式	脱着式、露出枠、外締め	型 式	脱着式、露出枠、外締め
設定浸水高さ	KBM=T. P+18. 105より高さ800	設定浸水高さ	KBM=T. P+18. 105より高さ800
パネル	脱着式アルミパネルt=42	パネル	脱着式アルミパネルt=42
備 考	漏水量10L/(㎡・h)以下(実験値) 中柱脱着時 床面フラット 側枠と外壁の隙間埋めプレート等付属金物一式	備 考	漏水量10L/(㎡・h)以下(実験値) 中柱脱着時 床面フラット 側枠と外壁の隙間埋めプレート等付属金物一式



A 矢視図 S=1/50

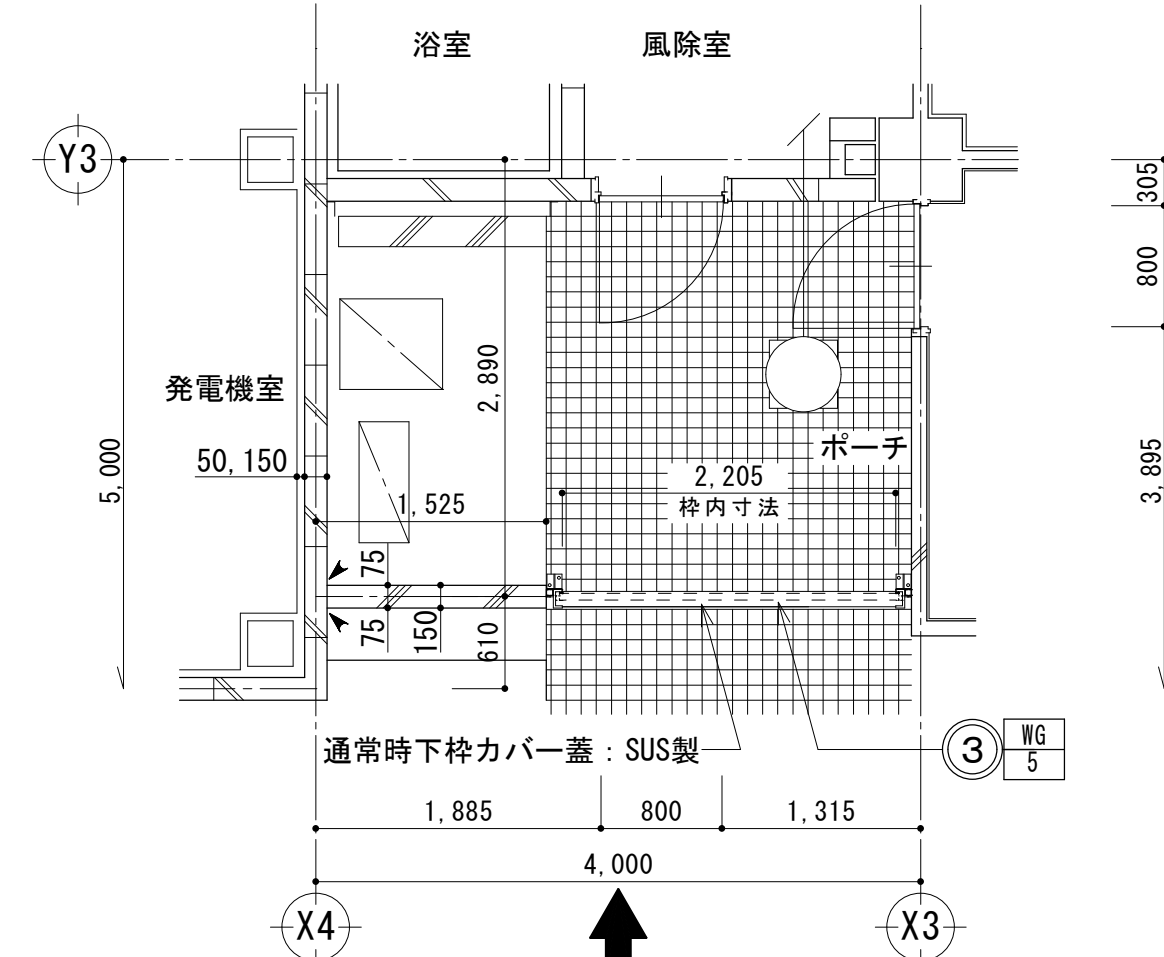


B 矢視図 S=1/50



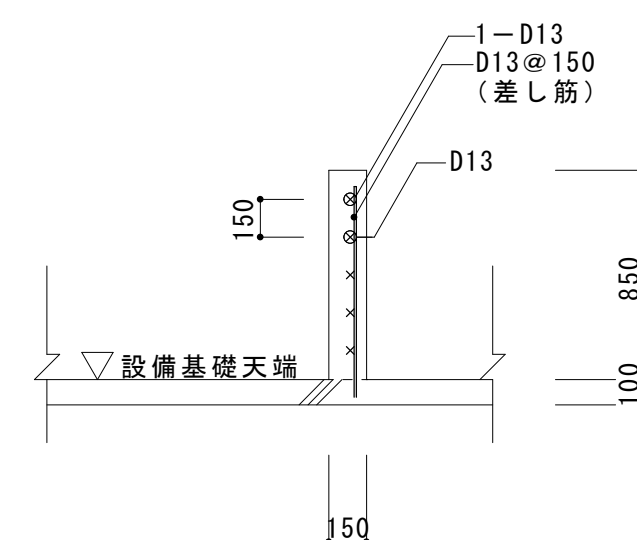
A 矢視

平面詳細図 S=1/50



平面詳細図 S=1/50

イ：シーリングを示す



使用材料

1	コンクリート	普通コンクリート $F_c = 18 \text{ N/mm}^2$ スランプ 18cm
2	鉄筋	SD295 : D13

※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は
監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	③ 管理棟 改修詳細図3				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/30 S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 21	

改修工事リスト

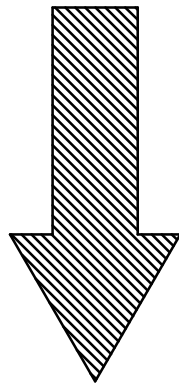
- ② 脱着式止水板新設
- ③ 脱着式止水板新設（一部鉄筋コンクリート t=150新設の上、複層塗材RE）

配筋要領図 S=1/30

＜撤去建具＞

建具表		S-1/50	
型式・数量	① SD スチール製両開きドア 1箇所	② SD スチール製片開きドア 1箇所	③ SD スチール製片開きドア 1箇所
型 状			
使用箇所	管理棟 電気室—外部	管理棟 発電機室—外部	管理棟 水質試験室—外部
材 料 仕 上	スチールt=1.6 塗装仕上 グラスウール32kg/m ³ 充填	スチールt=1.6 塗装仕上 グラスウール32kg/m ³ 充填	スチールt=1.6 塗装仕上
見 込	枠175 ・ 扉50	枠220 ・ 扉40	枠185 ・ 扉40
ガ ラ ス	W850×H1,220 ×2ヶ所 網入りガラスt=6.8	—	—
金 物	ピボットヒンジ・グレモン錠・ドアクローザー SUS番劇 順位調整器・フランス落し	ピボットヒンジ・グレモン錠・ドアクローザー SUS番劇 順位調整器・フランス落し	丁番・握り玉・ドアクローザー SUS番劇 順位調整器・フランス落し
備 考	建具枠撤去においては、内外共カッター入れのこと	建具枠撤去においては、内外共カッター入れのこと	建具枠撤去においては、内外共カッター入れのこと

※アスベスト調査箇所：建具廻りシーリング 計1ヶ所



＜新設建具＞

建具表		S-1/50	
型式・数量	① SD スチール製面開き止水ドア 1箇所	② SD スチール製片開き止水ドア 1箇所	③ SD スチール製片開き止水ドア 1箇所
型 状	2,500 2,500 300 ▽1FL *現場寸法再確認	800 2,000 ▽1FL *現場寸法再確認	800 2,000 ▽1FL *現場寸法再確認
使用箇所	管理棟 電気室—外部	管理棟 発電機室—外部	管理棟 水質試験室—外部
材 料 仕 上	スチールt=1.6 DP塗装	スチールt=1.6 DP塗装	スチールt=1.6 DP塗装
見 込	枠195 ・ 扉50	枠220 ・ 扉40	枠185 ・ 扉40
ガ ラ ス	—	—	—
金 物	二重丁番・レバーハンドル錠・本締錠・ドアクローザー 止水グレモン・順位調整器・フランス落し・SUS番別・SUS水切 その他メーカー仕様による	二重丁番・レバーハンドル錠・本締錠・ドアクローザー 止水グレモン・SUS番別・戸当り その他メーカー仕様による	二重丁番・レバーハンドル錠・本締錠・ドアクローザー 止水グレモン・SUS番別・戸当り その他メーカー仕様による
備 考	KBM=T・P+18.105より止水高さ800mm以下、漏水量10L/(㎡・h)以下 特定防火設備	KBM=T・P+18.105より止水高さ800mm以下、漏水量10L/(㎡・h)以下 特定防火設備	KBM=T・P+18.105より止水高さ800mm以下、漏水量10L/(㎡・h)以下 特定防火設備

※建具周囲シーリングは、内外部共10×10程度を見込む

撤去・下地処理リスト

改修工事リスト

- ① スチール製又はアルミ製建具撤去 ① 止水ドア新設
- ② スチール製又はアルミ製建具既存のまま ② 脱着式止水板新設
- ③ スチール製又はアルミ製建具既存のまま ③ 脱着式止水板新設（一部鉄筋コンクリート t = 150新設の上、複層塗材RE）

＜存置建具＞

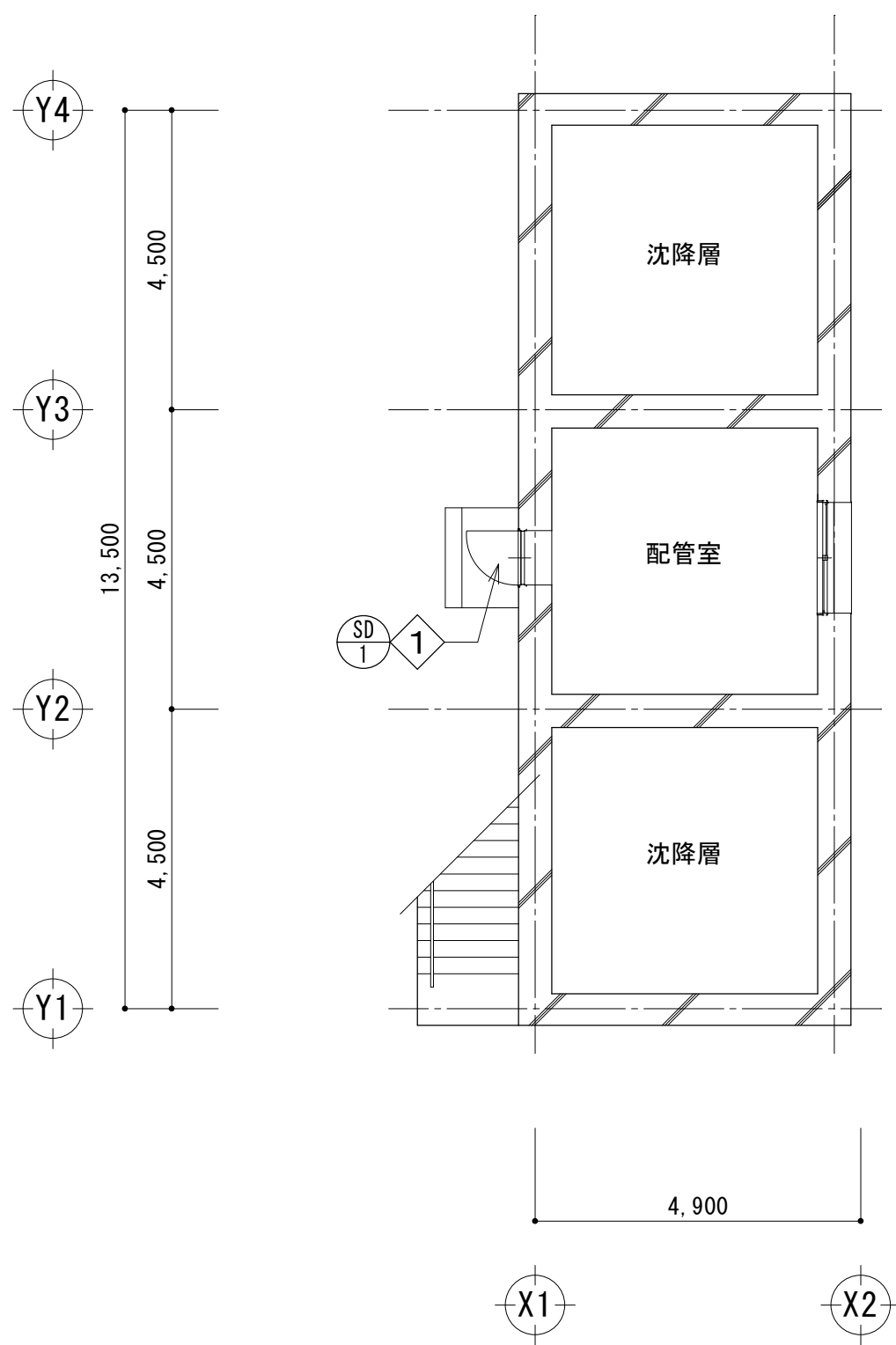
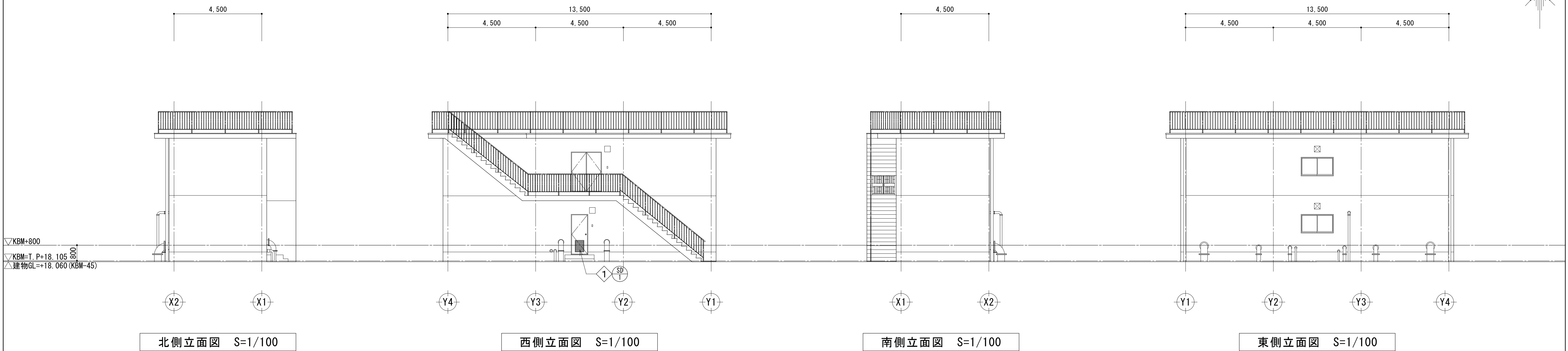
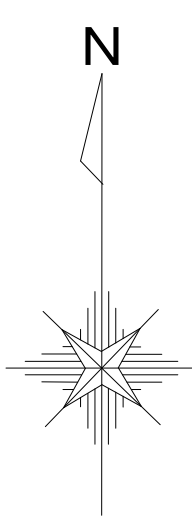
建具表		S-1/50	
型式・数量	④ SD スチール製両開きドア 1箇所	⑤ SD スチール製片開きドア 1箇所	① AD アルミ製片開きドア 2箇所
型 状			
使用箇所	管理棟 発電機室—外部	管理棟 書庫—外部	管理棟 風除室—外部
材 料 仕 上	スチールt=1.6 塗装仕上 グラスウール32kg/m ³ 充填	スチールt=1.6 塗装仕上	アルミ電解着色
見 込	枠220 ・ 扉60	枠170 ・ 扉40	枠70
ガ ラ ス	—	—	W470×H770
金 物	丁番・グレモン錠・ドアクローザー SUS省削 順位調整器・フランス落し	丁番・握り玉・ドアクローザー SUS省削 順位調整器・フランス落し	丁番・グレモン錠・ドアクローザー SUS省削 順位調整器・フランス落し
備 考			

＜存置建具＞

建 具 表		S-1/50		
型 式 ・ 数 量	② AD アルミ製両開きドア	1箇所	③ AD アルミ製片開きドア	1箇所
型 状	② ② ▽1FL 1,600 1,800 3,400 2,700 300		② ② ▽1FL 2,655 800 3,455 2,700	
	使用箇所	管理棟 電気室—外部		管理棟 水質試験室—外部
材 料 仕 上	アルミ電解着色		アルミ電解着色	
見 込	枠70		枠70	
ガ ラ ス	W700×H940		W700×H940	
金 物	丁番・握り玉・ドアクローザー		丁番・握り玉・ドアクローザー	
	SUS番刷		SUS番刷	
	順位調整器・フランス落し		順位調整器・フランス落し	
備 考				

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	③ 管理棟 改修建具表				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長谷見	栗 原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 22	

改修前



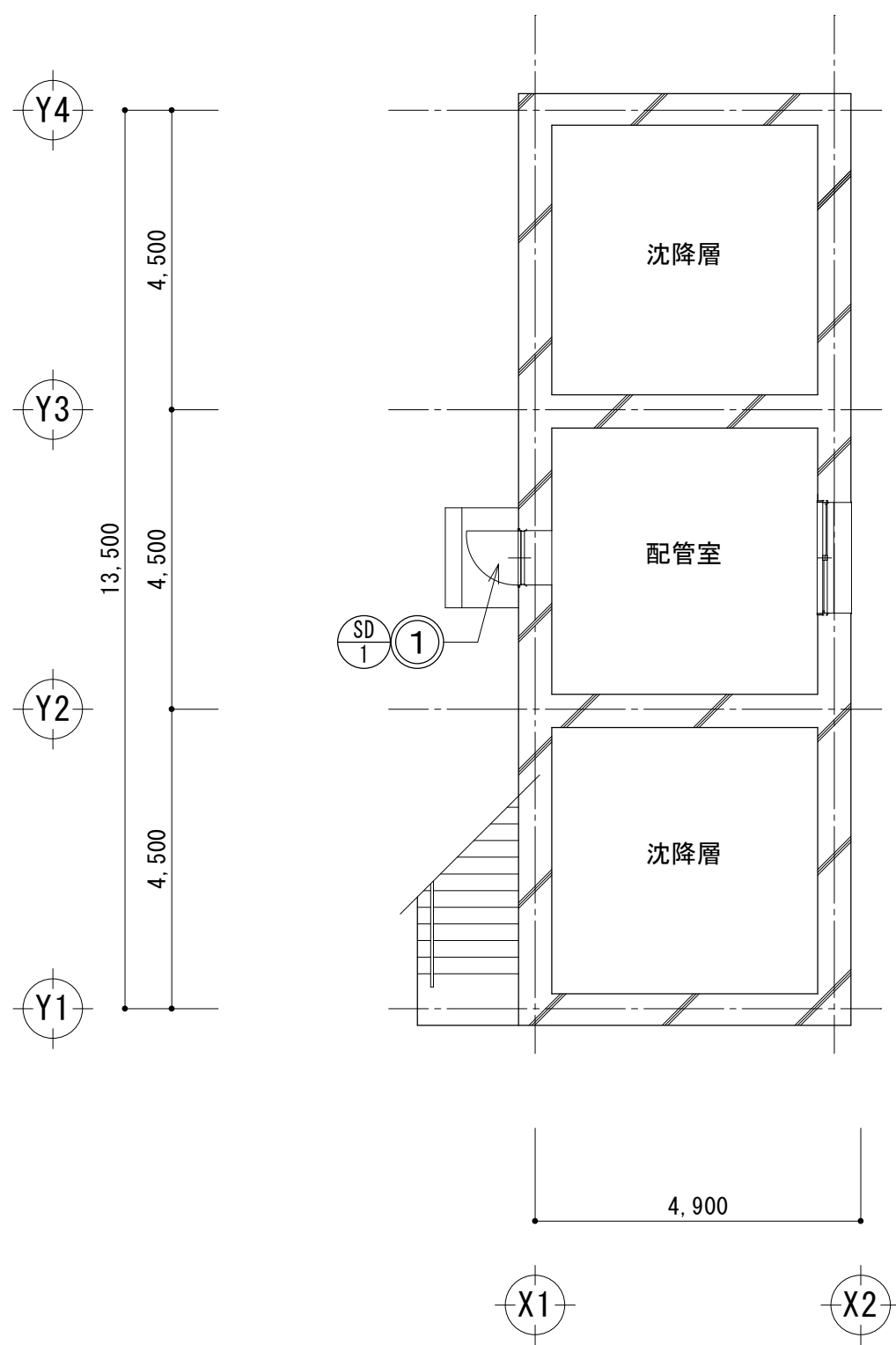
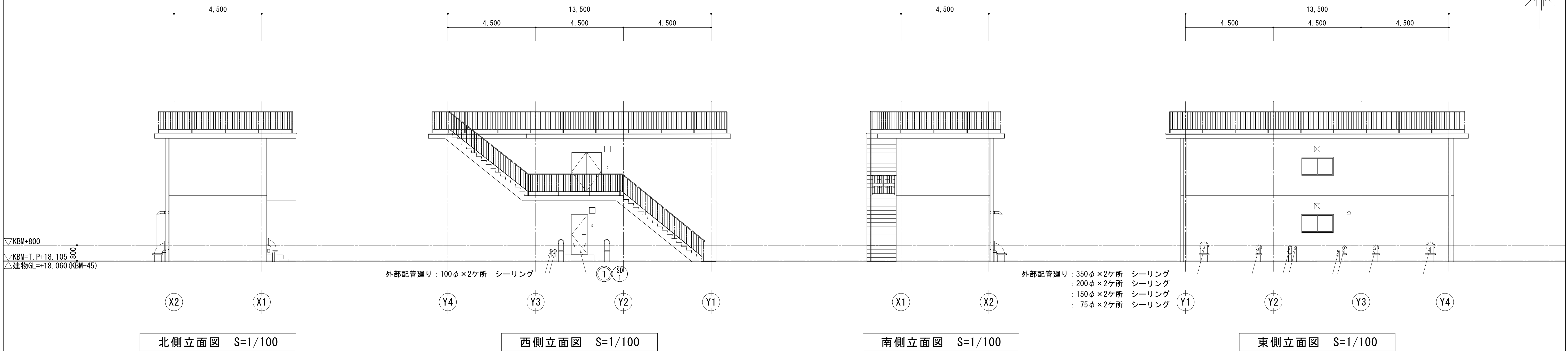
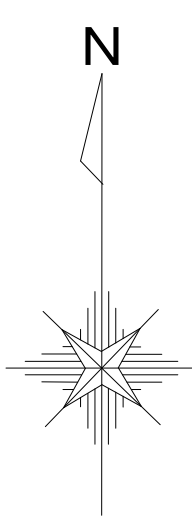
1 階平面図 S=1/100

撤去・下地処理リスト

- 1 スチール製又はアルミ製建具撤去

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	④ 沈 降 槽 平面図・立面図（改修前）				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/100	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 23	

改修後



1 階平面図 S=1/100

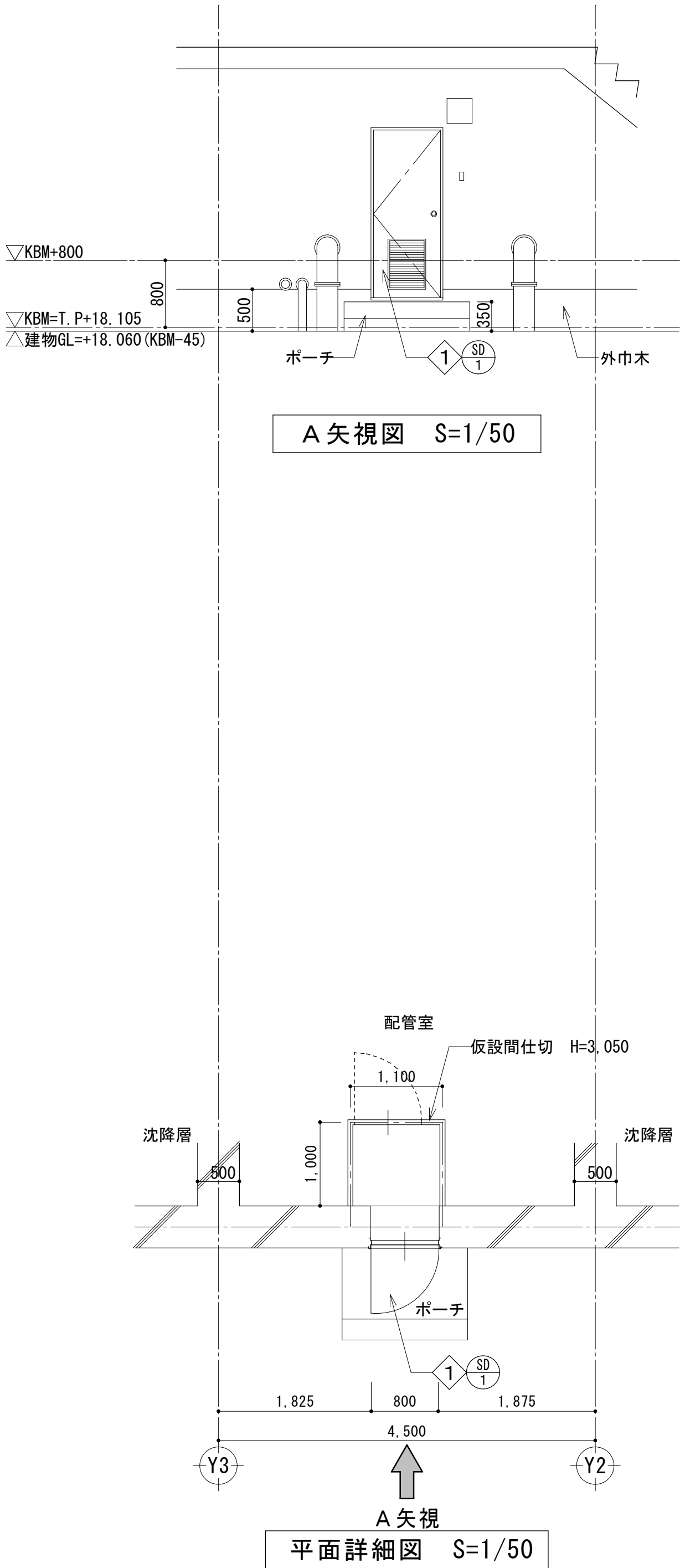
- 改修工事リスト
- ① 止水ドア新設

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	④ 沈 降 槽 平面図・立面図（改修後）				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長谷見	栗 原	S=1/100	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 24	

改修前

外 部 仕 上 表		内 部 仕 上 表	
場 所	沈 降 層 配 管 室	場 所	沈 降 層 配 管 室
床（ポーチ）	モルタル金ゴテt=30 ★	床	モルタル金ゴテt=30 ★
巾木	コンクリート打放し 複層塗材RE	巾木	合成樹脂塗床 コンクリート打放し 合成樹脂塗床 H=100
壁	コンクリート打放し 複層塗材RE ★	壁	コンクリート打放し 複層塗材RE
		天井	コンクリート打放し 複層塗材E

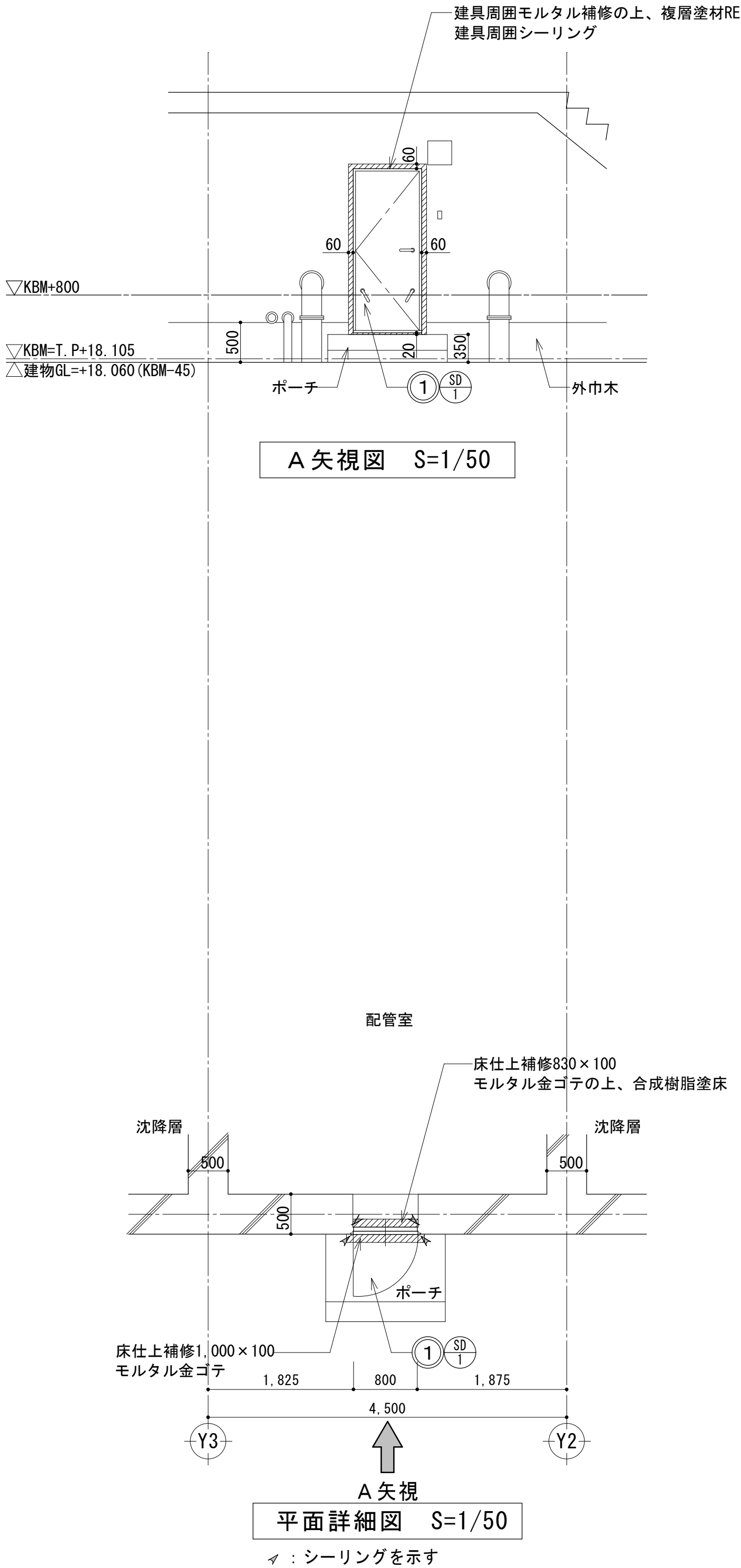
※アスベスト調査箇所：★計3ヶ所



撤去・下地処理リスト

- ① スチール製又はアルミ製建具撤去

改修後



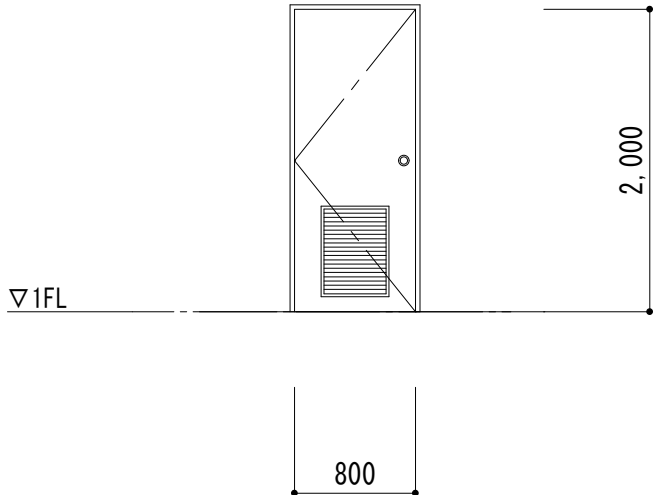
改修工事リスト

- ① 止水ドア新設

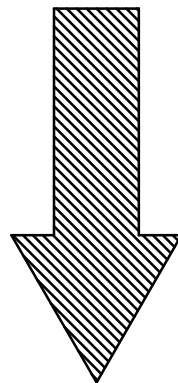
※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	④ 沈 降 槽 改修詳細図				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 25	

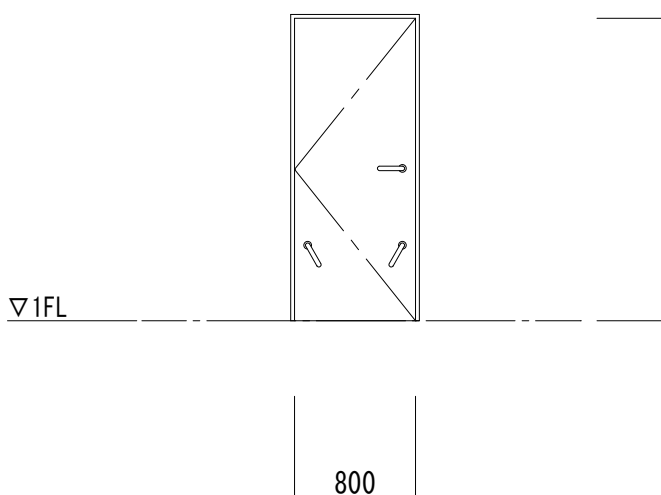
<撤去建具>

建具表 S-1/50	
型式・数量	①SD スチール製片開きドア 1箇所
型 状	① 
使 用 箇 所	沈降層 配管室—外部
材 料 仕 上	スチールt=1.6 塗装仕上
見 込	枠120 ・ 扉40
ガ ラ ス	—
金 物	丁番・握り玉・ドアクローザー SUS溶削 順位調整器・フランス落し
備 考	建具枠撤去においては、内外共カッター入れのこと ガラリW450×H600

※アスベスト調査箇所：建具廻りシーリング 計1ヶ所



<新設建具>

建具表 S-1/50	
型式・数量	①SD スチール製片開き止水ドア 1箇所
型 状	① 
使 用 箇 所	沈降層 配管室—外部
材 料 仕 上	スチールt=1.6 DP塗装
見 込	枠120 ・ 扉40
ガ ラ ス	—
金 物	二重丁番・レバーハンドル錠・本締錠・ドアクローザー 止水グレモン・順位調整器・フランス落し・SUS溶削・SUS水切 その他メーカー仕様による
備 考	KBW-T, P+18. 105より止水高さ800mm以下、漏水量10L/(㎡・h)以下

※建具周囲シーリングは、内外部共10×10程度を見込む

撤去・下地処理リスト

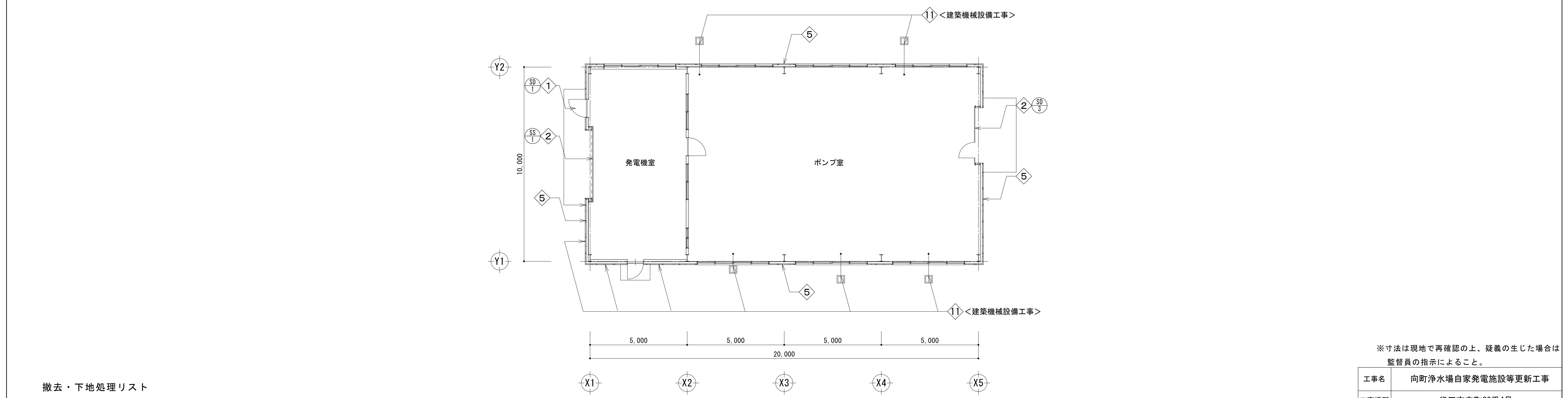
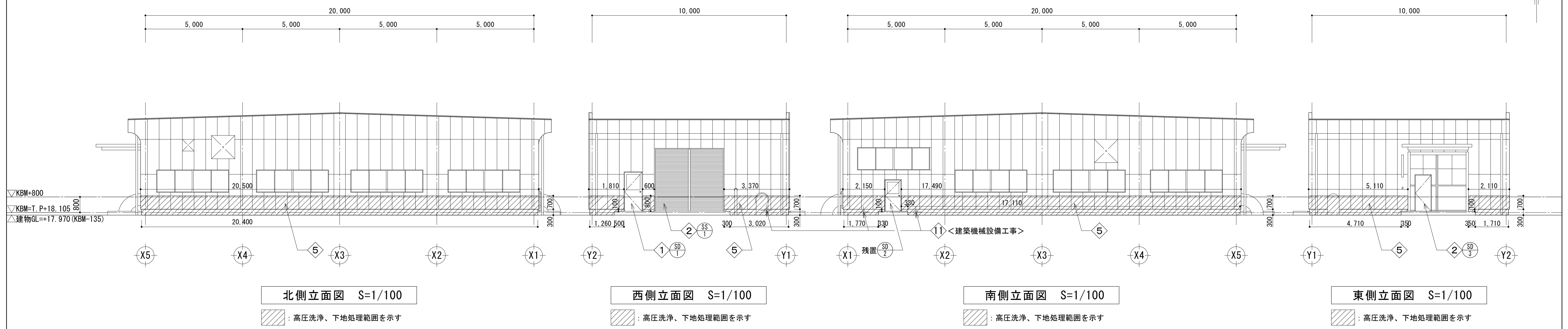
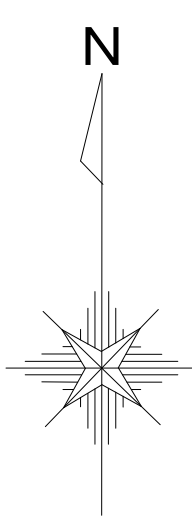
① スチール製又はアルミ製建具撤去

改修工事リスト

① 止水ドア新設

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	④ 沈 降 槽 改修建具表				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 26	

改修前

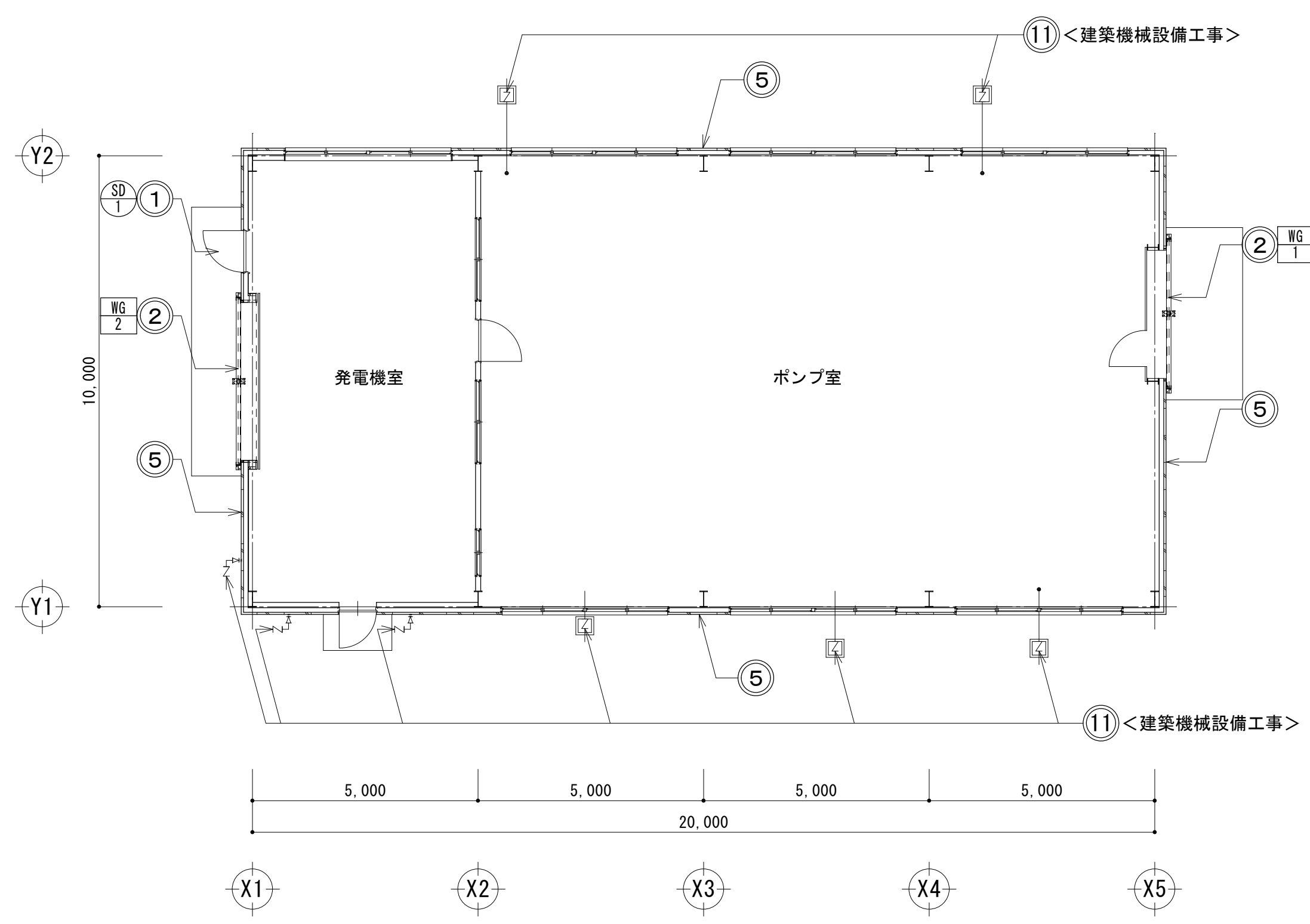
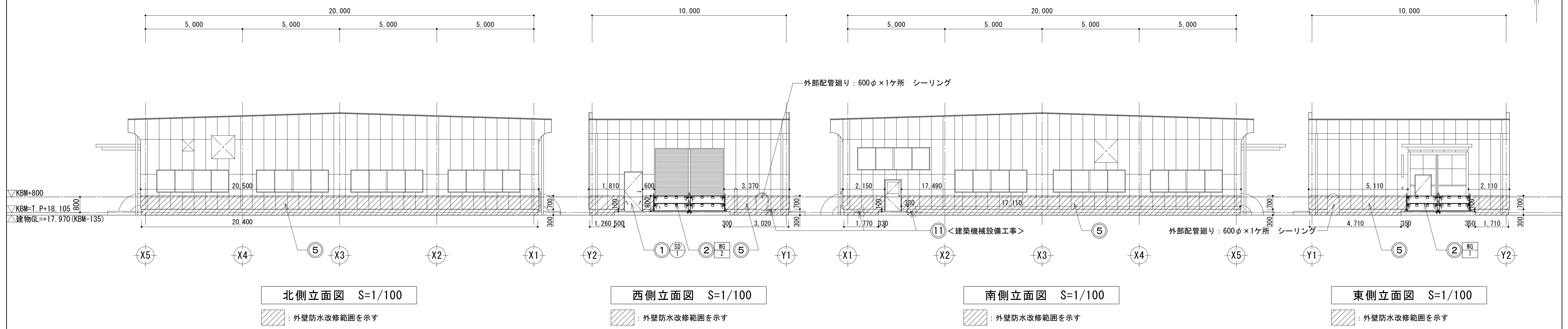
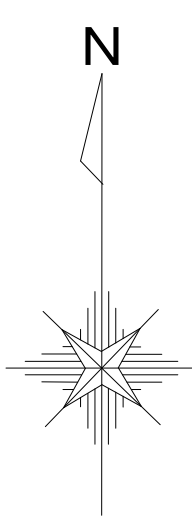


- 撤去・下地処理リスト
- ① スチール製又はアルミ製建具撤去
 - ② スチール製又はアルミ製建具既存のまま
 - ⑤ 高圧洗浄、下地処理
 - ⑪ 排水管既存のまま

※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑤ 2 系 配 水 ポ ン プ 室 平面図・立面図（改修前）				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長 谷 見	栗 原	S=1/100	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 27	

改修後



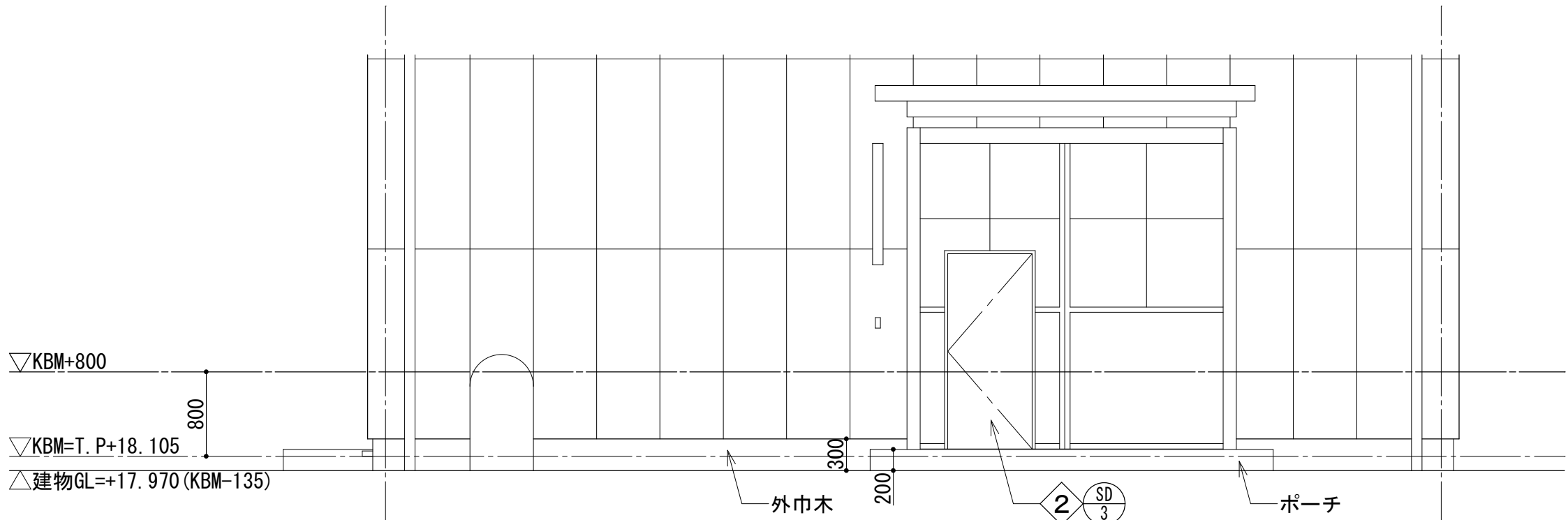
- 改修工事リスト
- ① 止水ドア新設
 - ② 脱着式止水板新設
 - ⑤ 外壁防水改修（アクリルゴム系塗膜防水）
 - ⑪ 逆流防止弁新設

※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

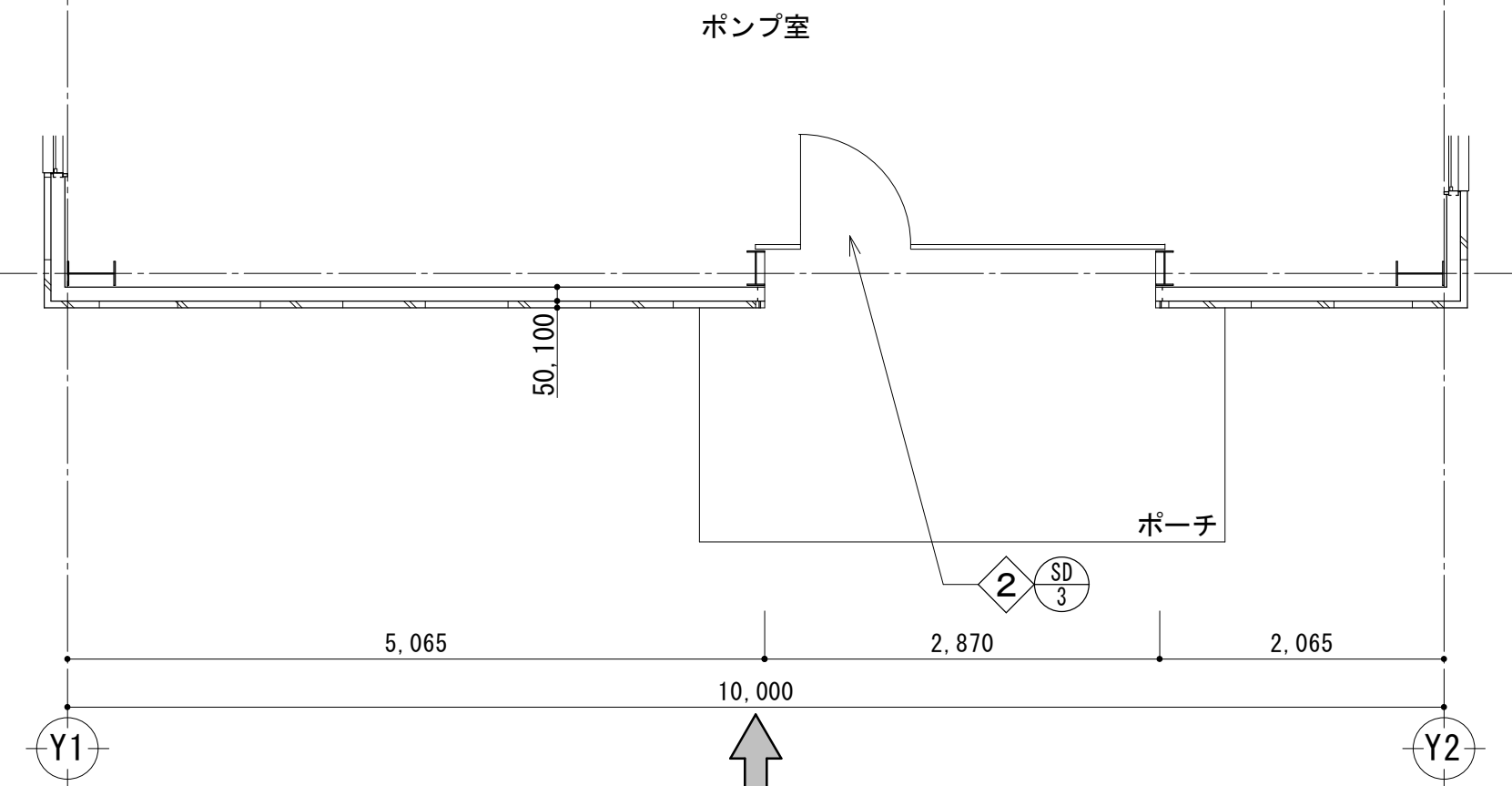
工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑤ 2系配水ポンプ室 平面図・立面図（改修後）				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/100	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 28	

改修前

内 部 仕 上 表	
場 所	2系配水ポンプ室 ポンプ室
床	コンクリート打放し モルタル金ゴテt=30
巾木	コンクリート打放し モルタル金ゴテt=20 H=100
壁	鉄骨現シ 一部石綿吸音板t=6貼
天井	折板現シ



A 矢視図 S=1/50



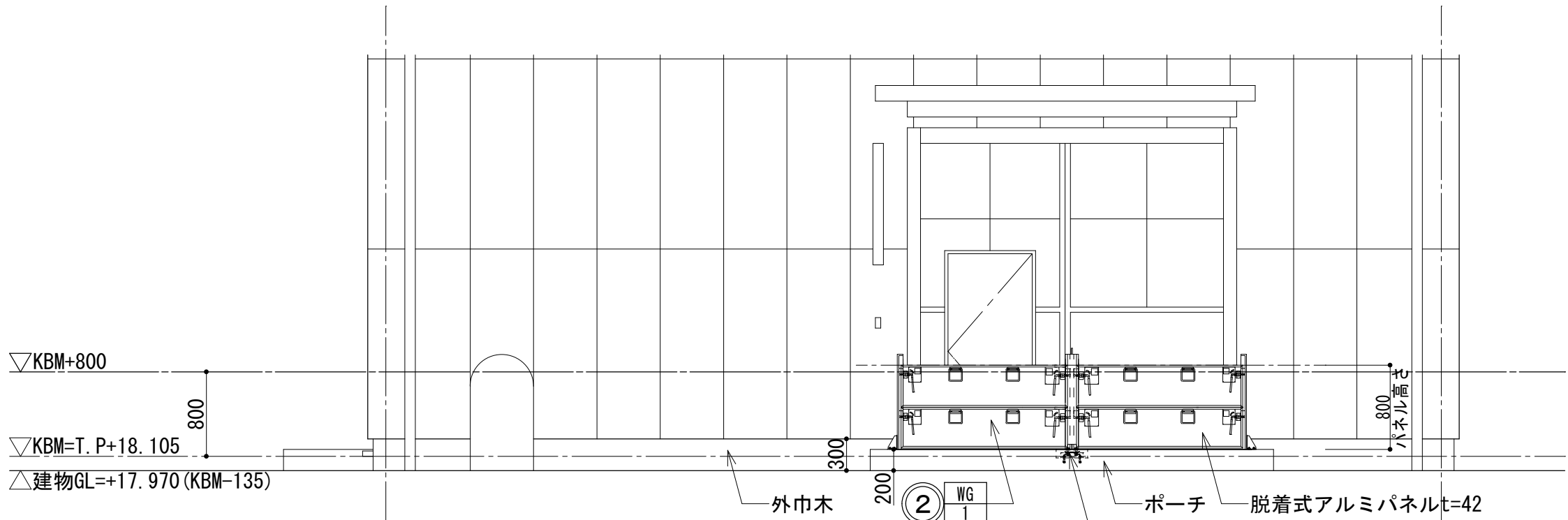
A 矢視
平面詳細図 S=1/50

撤去・下地処理リスト

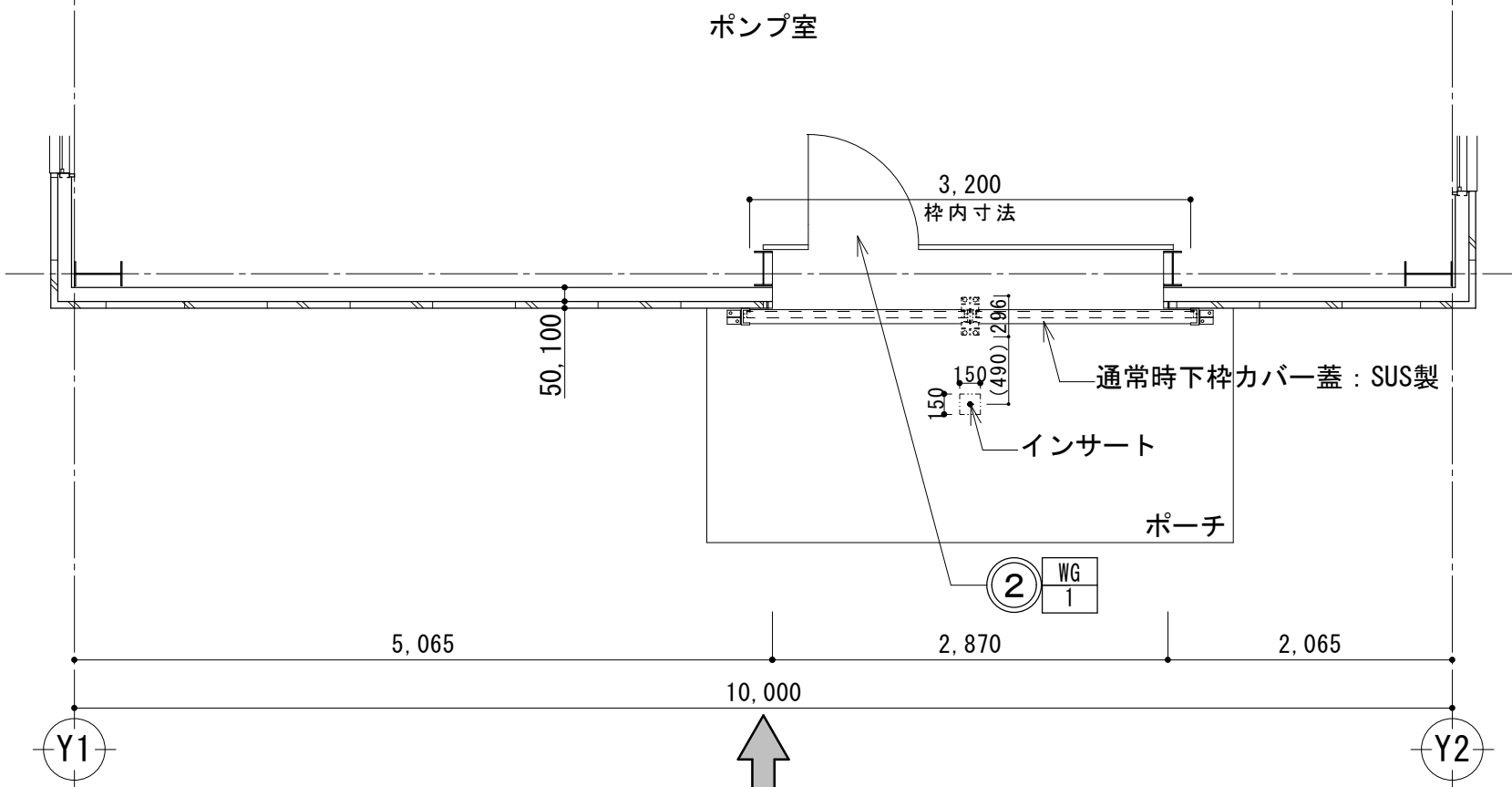
- ② スチール製又はアルミ製建具既存のまま

改修後

WG 1 止水板（参考）	
場 所	2系配水ポンプ室 ポンプ室
型式	脱着式、露出枠、外締め
設定浸水高さ	KBM=T、P+18.105より高さ800
パネル	脱着式アルミパネルt=42
備考	漏水量10L/(㎡・h)以下(実験値) 中柱脱着時 床面フラット 側枠と外壁の隙間埋めプレート等付属金物一式



A 矢視図 S=1/50



A 矢視
平面詳細図 S=1/50

改修工事リスト

- ② 脱着式止水板新設

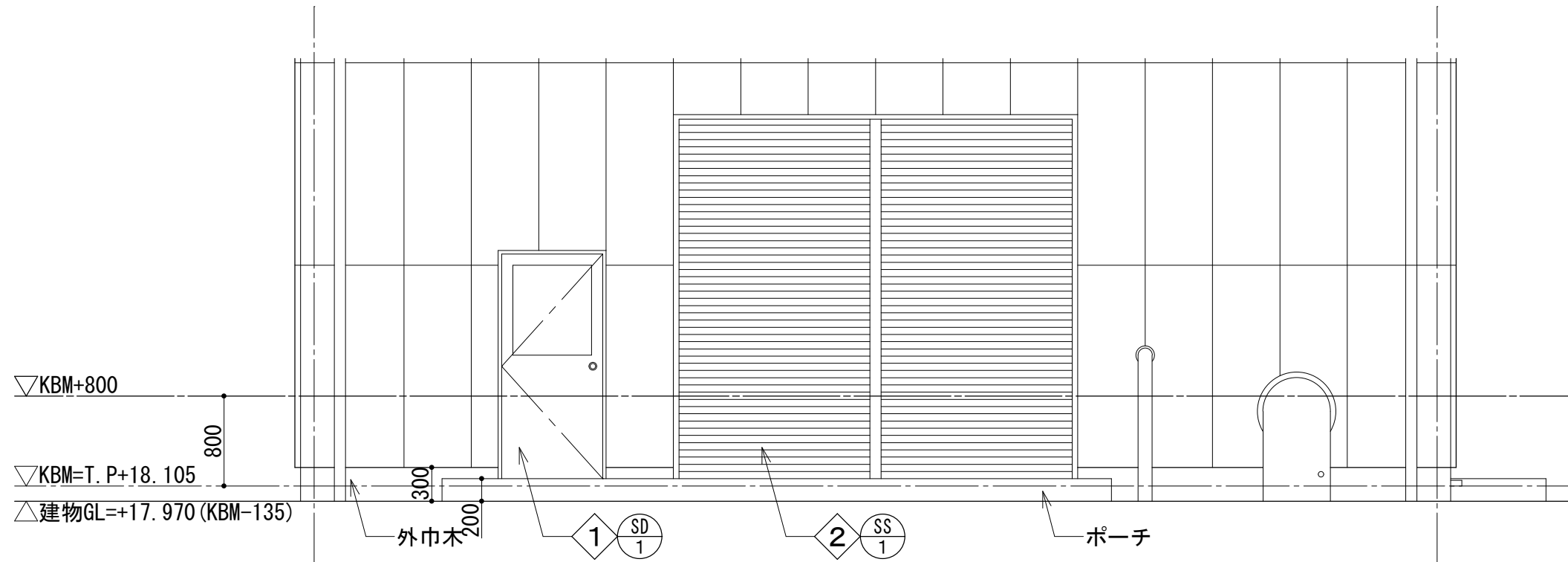
※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑤ 2 系 配 水 ポ ン プ 室 改修詳細図I				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 29	

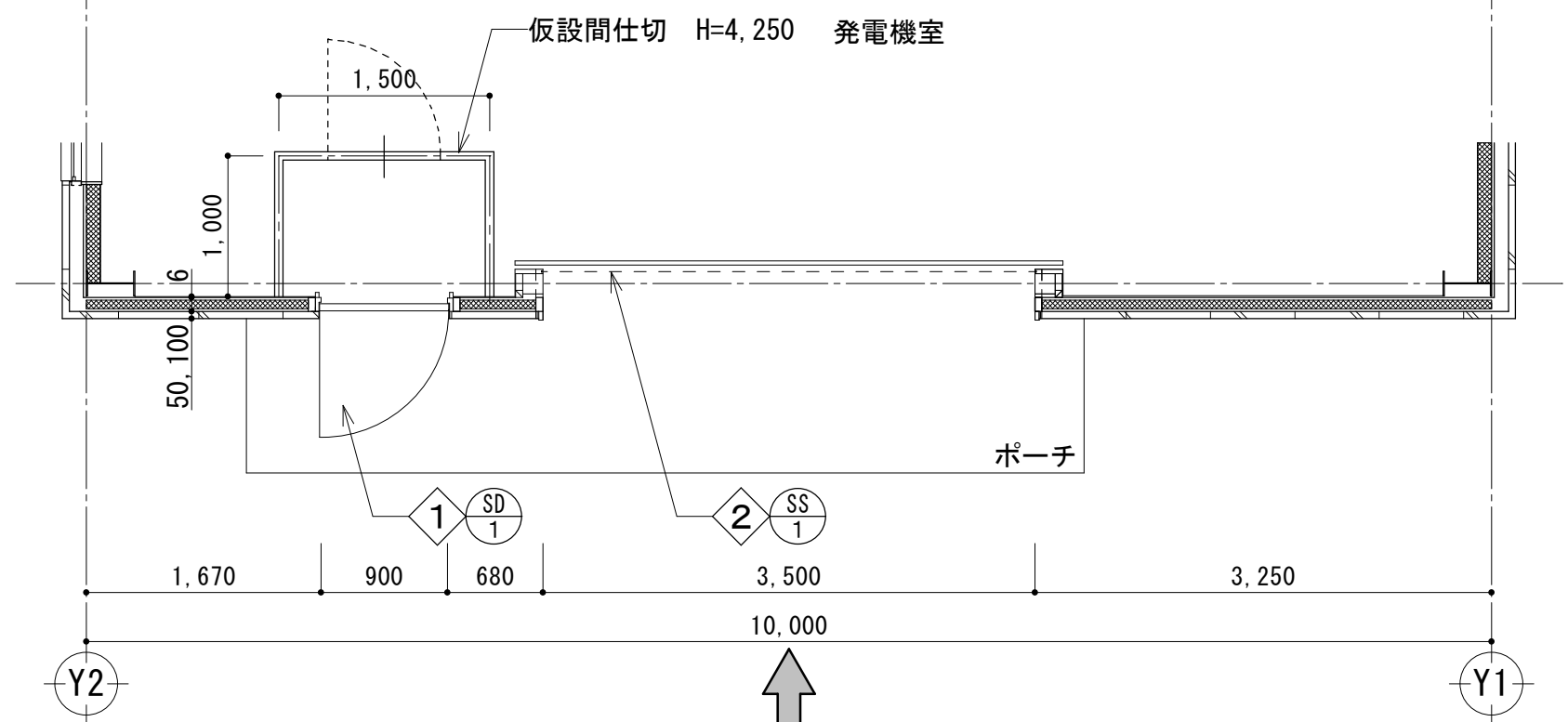
改修前

外 部 仕 上 表		内 部 仕 上 表	
場 所	2系配水ポンプ室 発電機室	場 所	2系配水ポンプ室 発電機室
床（ポーチ）	コンクリート打放し モルタル刷毛引	床	コンクリート打放し モルタル金ゴテt=30
巾木	コンクリート打放し モルタル金ゴテt=30	巾木	コンクリート打放し モルタル金ゴテt=20 H=100
壁	胴縁100×50の上、ALC版t=50 シーラ吹付下地の上、ダイヤシリン吹付	壁	グラスウールマットt=60充填の上 石綿吸音板t=6貼
		天井	折板現シ

※アスベスト調査箇所：★計3ヶ所



A 矢視図 S=1/50



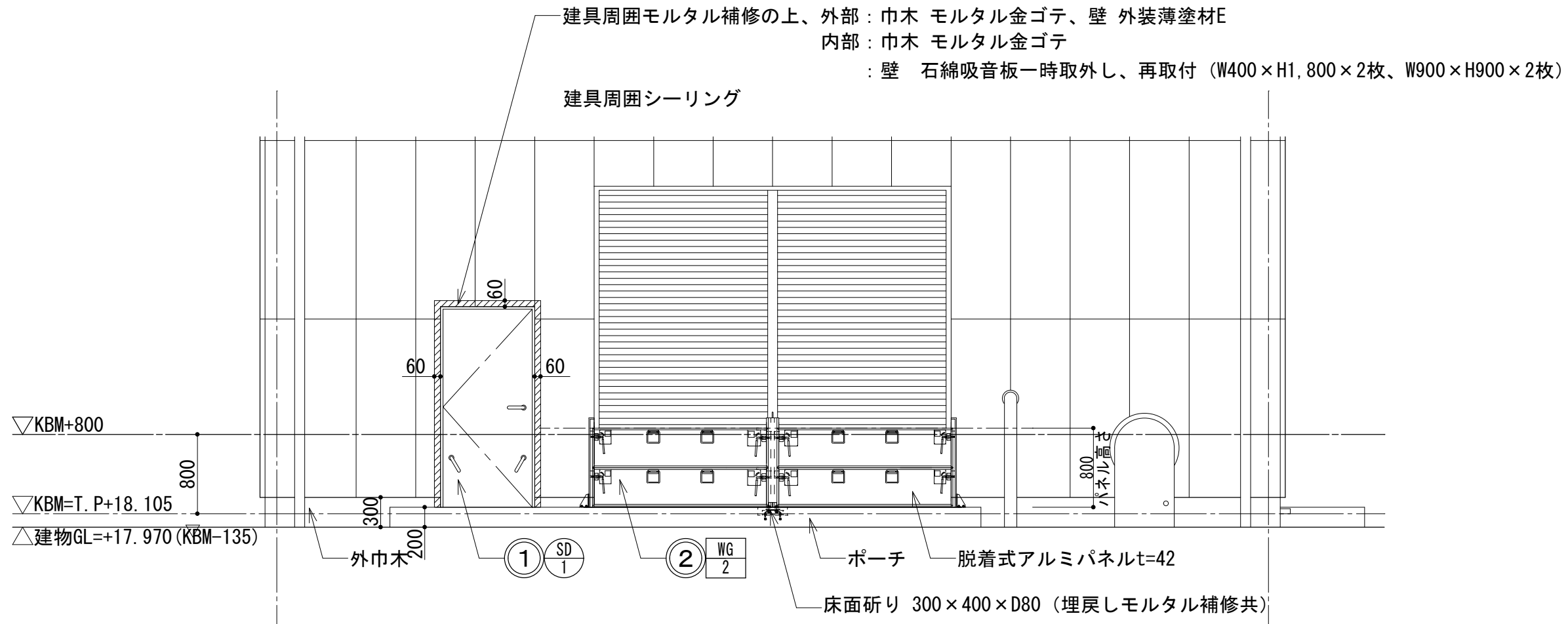
A 矢視
平面詳細図 S=1/50

撤去・下地処理リスト

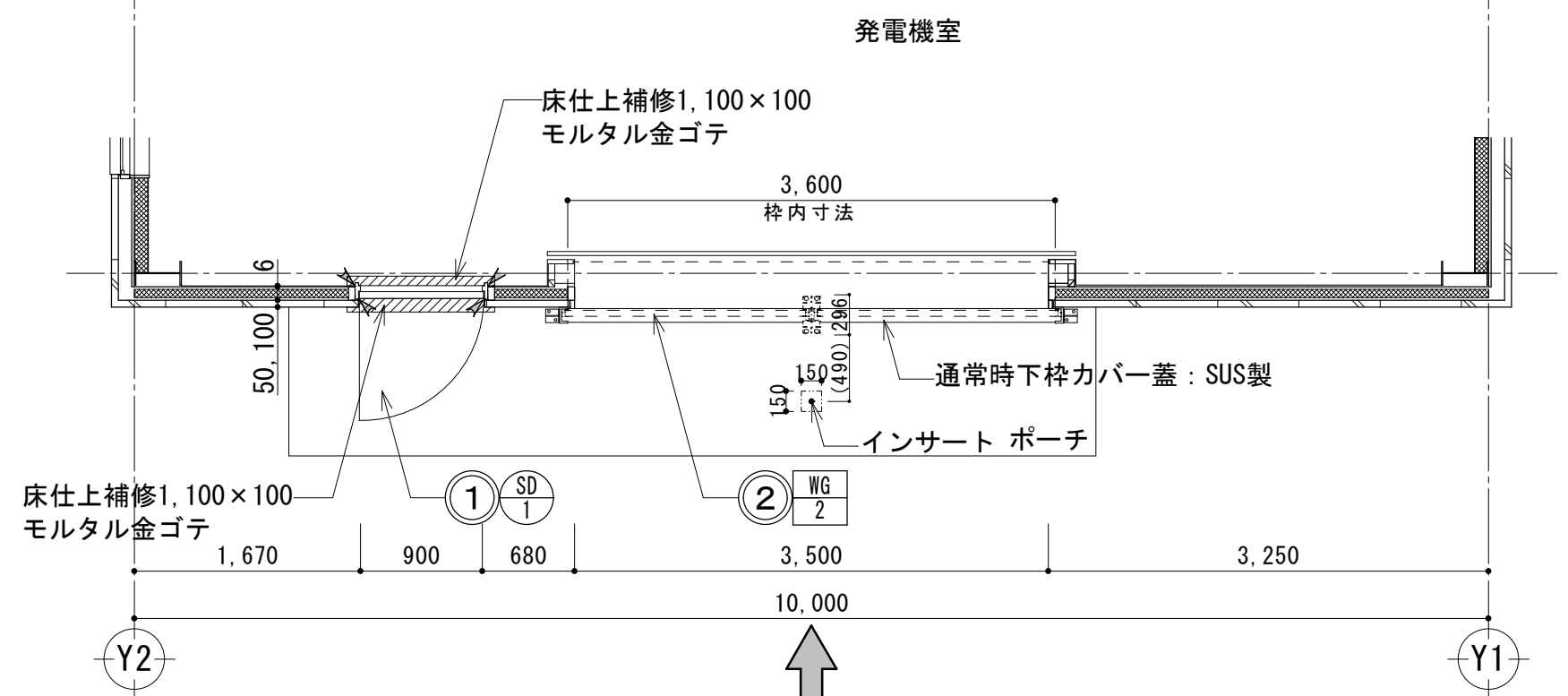
- ① スチール製又はアルミ製建具撤去
- ② スチール製又はアルミ製建具既存のまま

改修後

WG 2 止水板（参考）	
場 所	2系配水ポンプ室 発電機室
型式	脱着式、露出枠、外締め
設定浸水高さ	KBM=T、P+18.105より高さ800
パネル	脱着式アルミパネルt=42
備考	漏水量10L/(㎡・h)以下(実験値) 中柱脱着時 床面フラット 側柱と外壁の隙間埋めプレート等付属金物一式



A 矢視図 S=1/50



A 矢視
平面詳細図 S=1/50

㏏：シーリングを示す

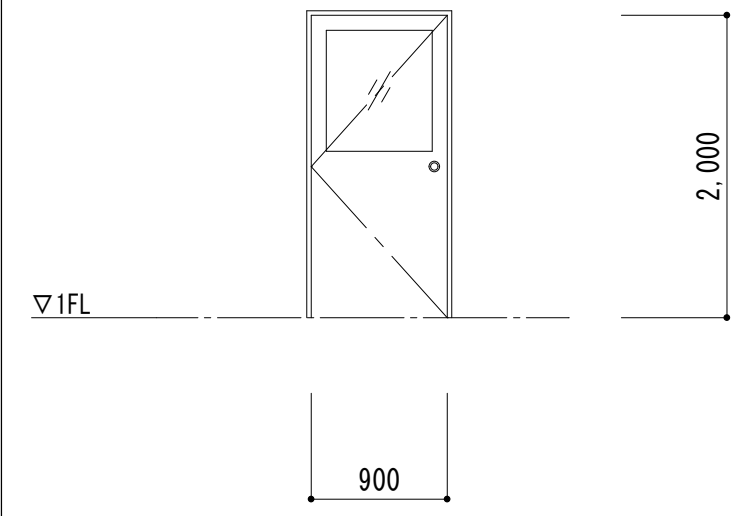
改修工事リスト

- ① 止水ドア新設
- ② 脱着式止水板新設

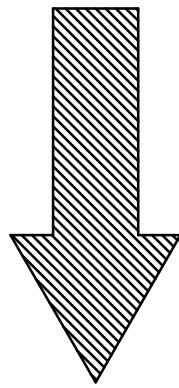
※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑤ 2 系 配 水 ポ ン 室 改修詳細図2				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業					A - 30

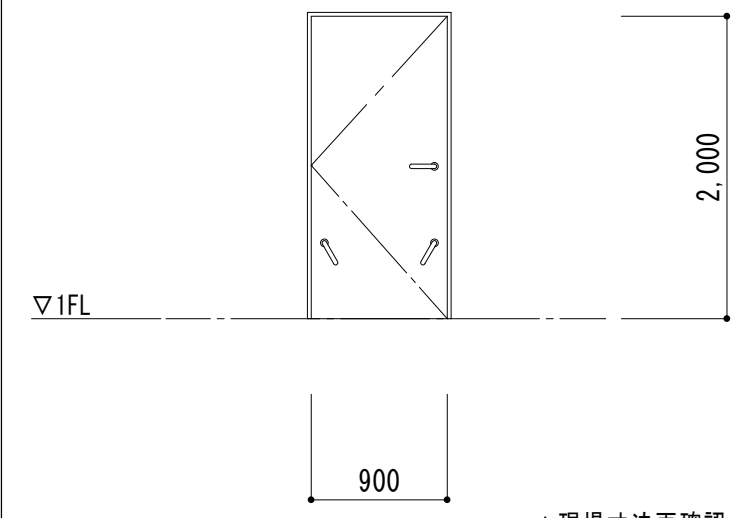
＜撤去建具＞

建具表 S-1/50		
型式・数量	① SD スチール製片開きドア 1箇所	
型 状	① 	
使用箇所	2系配水ポンプ室 発電機室—外部	
材 料 仕 上	スチールt=1.6 塗装仕上	
見 込	枠100 ・ 扉40	
ガ ラ ス	W700×H800 網入りガラスt=6.8	
金 物	握り玉・ドアクローザー SUS溶削 順位調整器・フランス落し	
備 考	建具枠撤去においては、内外共カッター入れのこと	

※アスベスト調査箇所：建具廻りシーリング 計1ヶ所

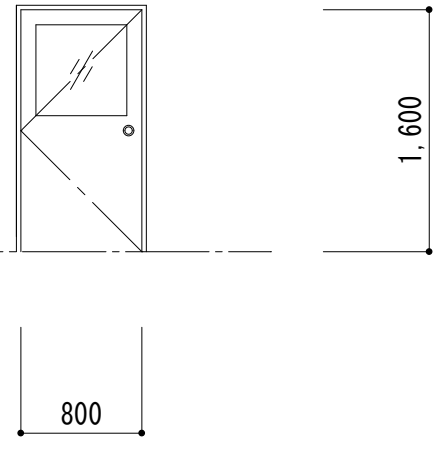
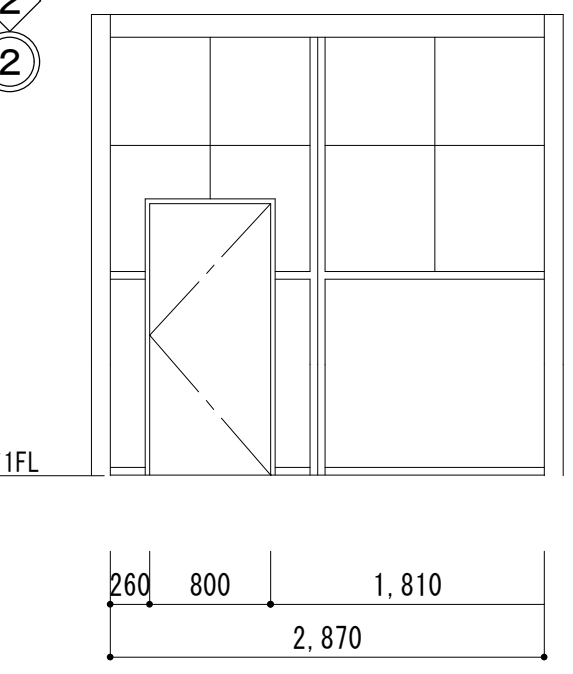
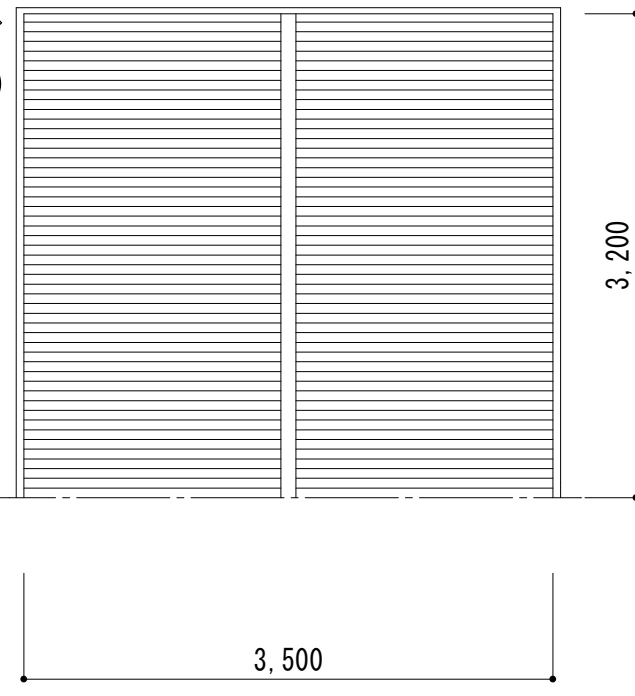


＜新設建具＞

建具表 S-1/50		
型式・数量	① SD スチール製片開き止水ドア 1箇所	
型 状	① 	
使用箇所	2系配水ポンプ室 発電機室—外部	
材 料 仕 上	スチールt=1.6 DP塗装	
見 込	枠120 ・ 扉50	
ガ ラ ス	—	
金 物	二重丁番・レバーハンドル錠・本締錠・ドアクローザー 止水グレモン・順位調整器・フランス落し・SUS溶削・SUS水切 その他メーカー仕様による	
備 考	KBM=T・P+18.105より止水高さ800mm以下、漏水量10L/(㎡・h)以下 特定防火設備	

※建具周囲シーリングは、内外部共10×10程度を見込む

＜存置建具＞

建具表 S-1/50			
型式・数量	② SD スチール製片開きドア 1箇所	③ SD スチール製片開きドア 1箇所	① SS スチール製シャッター 1箇所
型 状	② 	② ② 	② ② 
使用箇所	2系配水ポンプ室 発電機室—外部	2系配水ポンプ室 ポンプ室—外部	2系配水ポンプ室 発電機室—外部
材 料 仕 上	スチールt=1.6 塗装仕上	スチールt=1.6 塗装仕上	スチールt=1.6 塗装仕上
見 込	枠100 ・ 扉40	—	—
ガ ラ ス	W600×H600	—	—
金 物	丁番・握り玉シリンダー錠 付属金物一式	サムターン・埋込取手	付属金物一式
備 考			

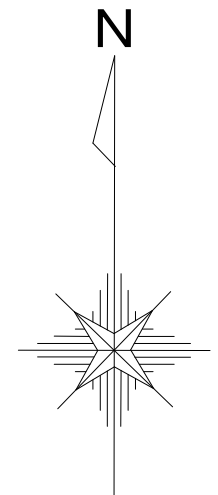
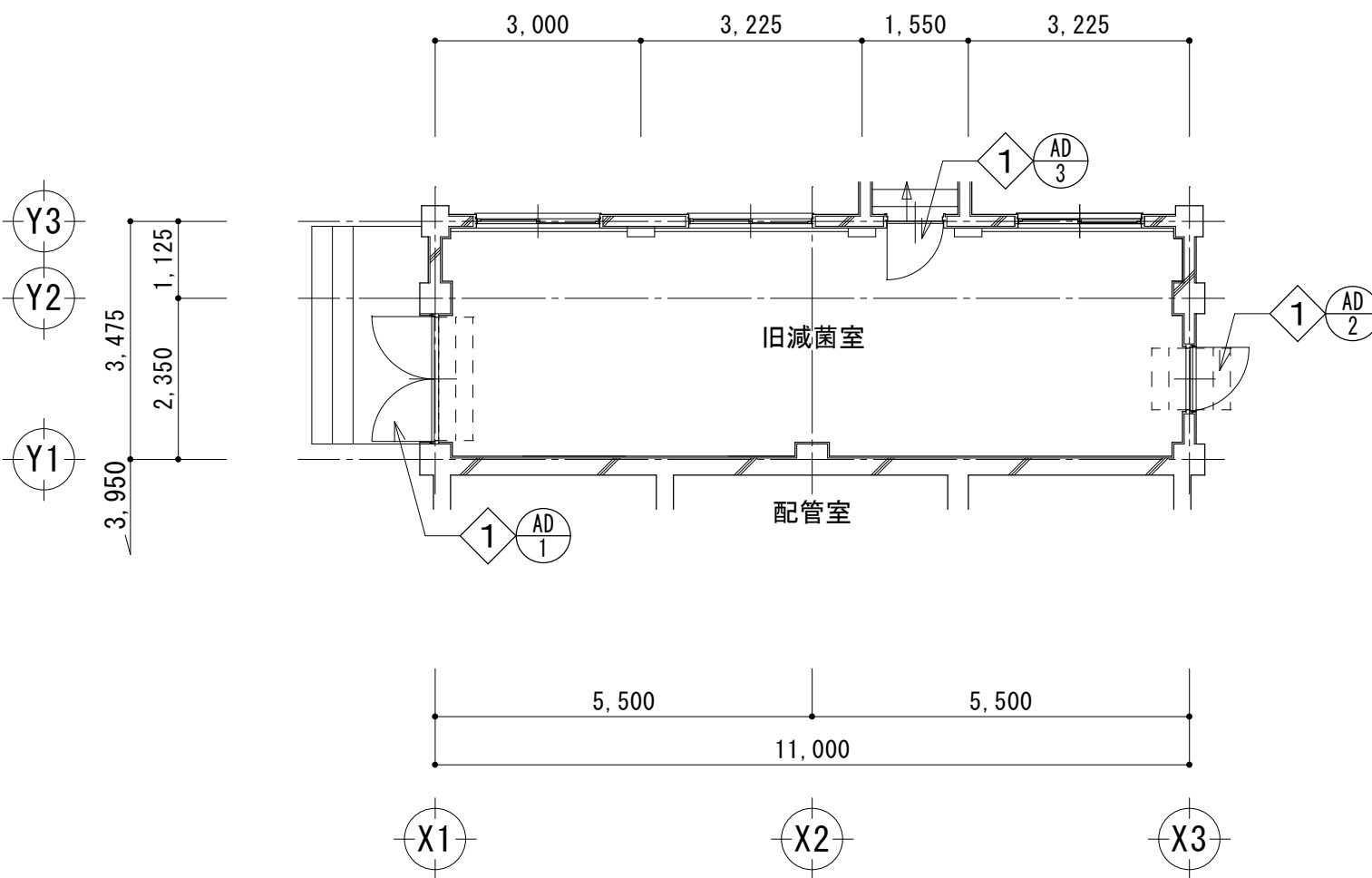
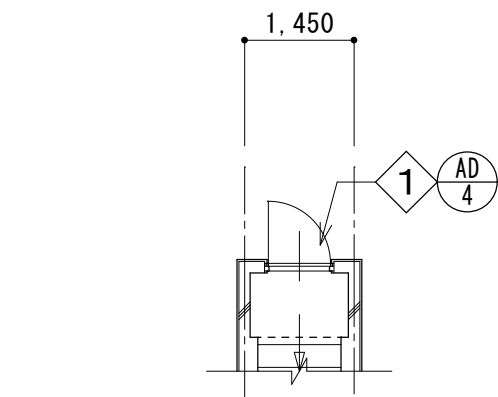
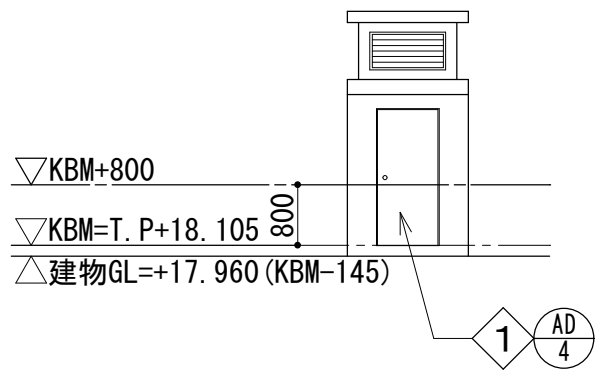
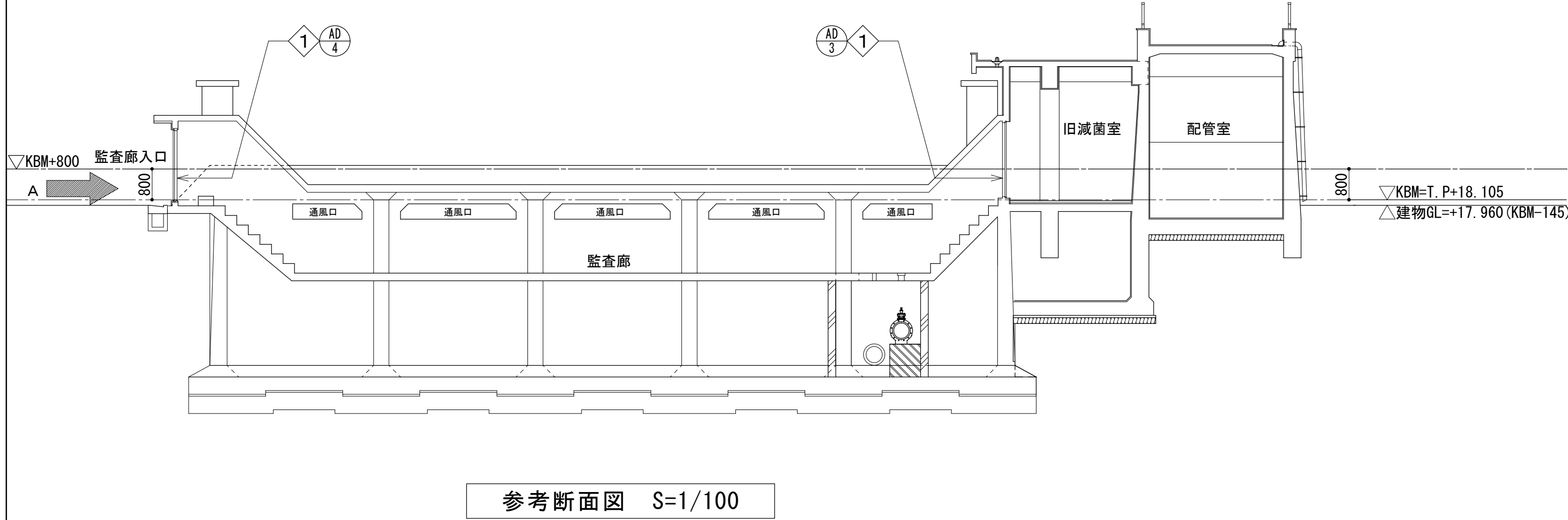
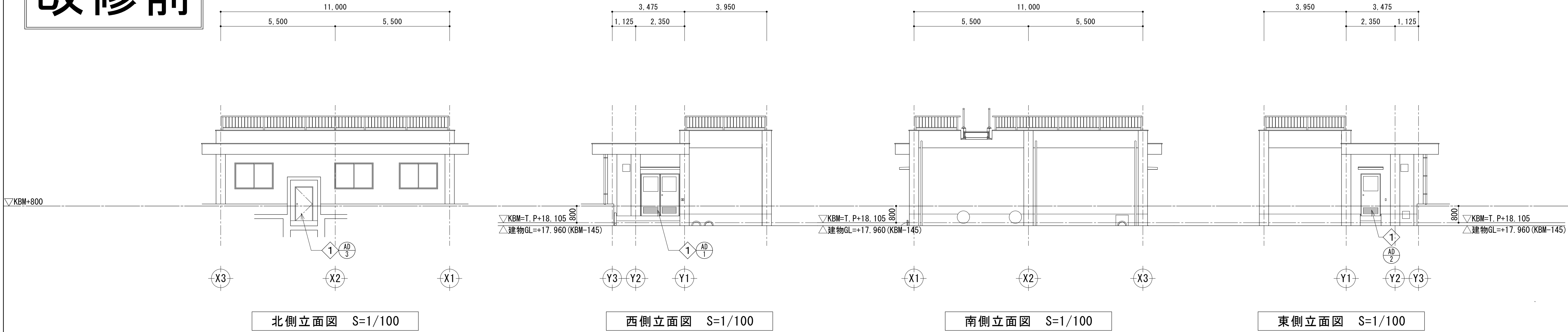
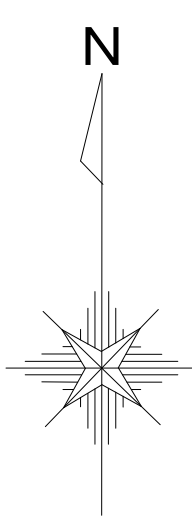
撤去・下地処理リスト

改修工事リスト

- ① スチール製又はアルミ製建具撤去
- ① 止水ドア新設
- ② スチール製又はアルミ製建具既存のまま② 脱着式止水板新設

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑤ 2系配水ポンプ室 改修建具表				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				A-31	

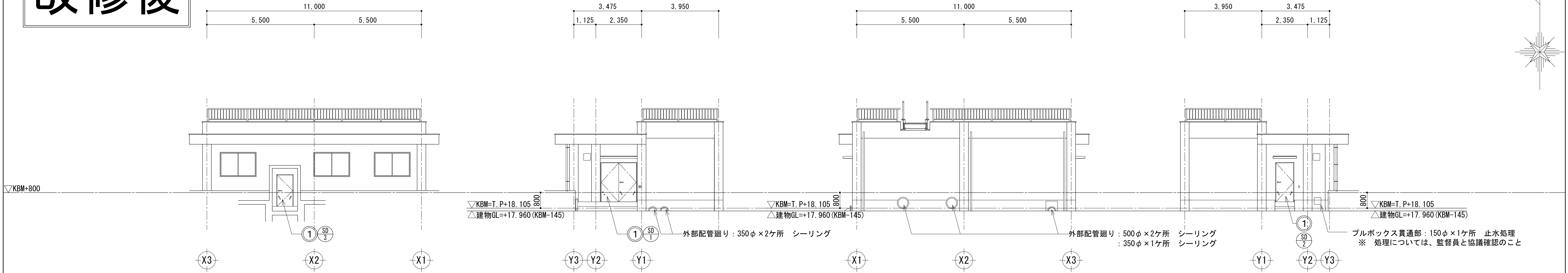
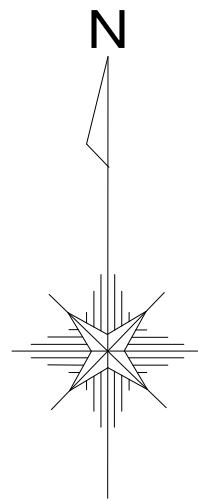
改修前



- 撤去・下地処理リスト
- 1 スチール製又はアルミ製建具撤去

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑥ 着水井 平面図・立面図・参考断面図（改修前）				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/100	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 32	

改修後

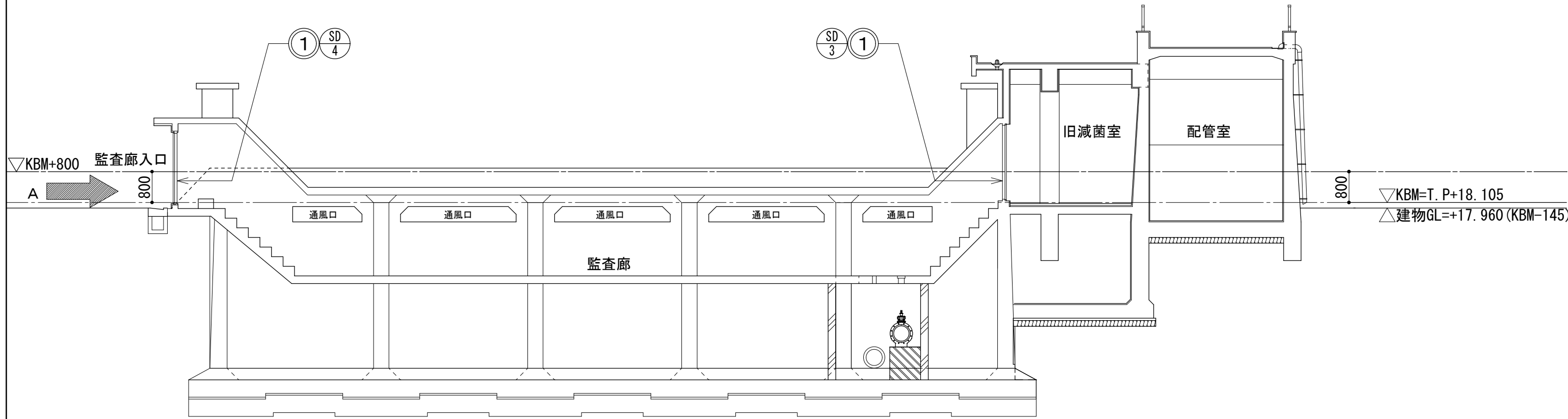


北側立面図 S=1/100

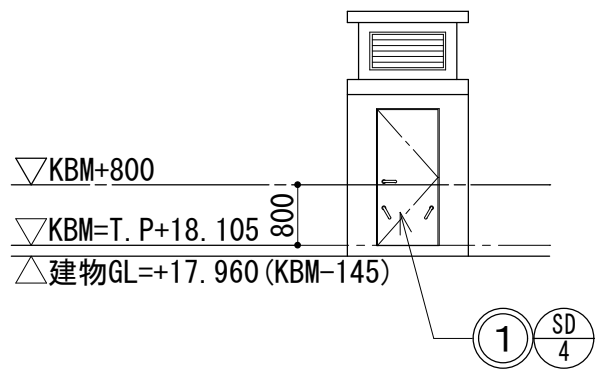
西側立面図 S=1/100

南側立面図 S=1/100

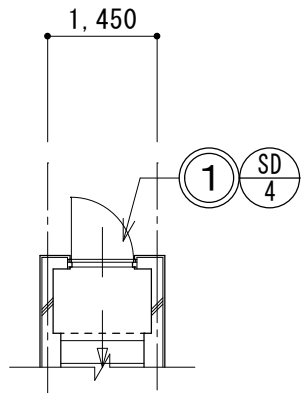
東側立面図 S=1/100



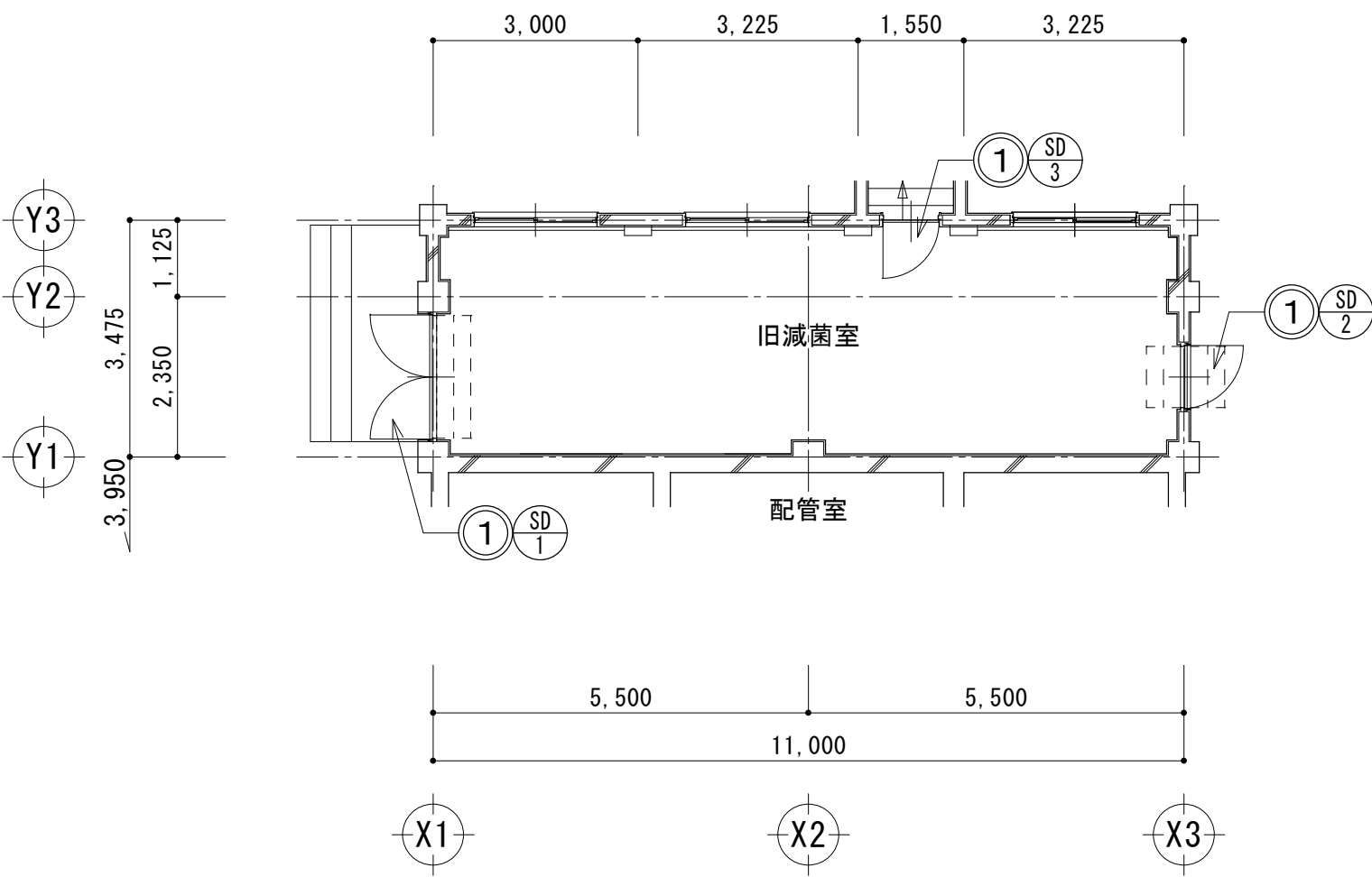
参考断面図 S=1/100



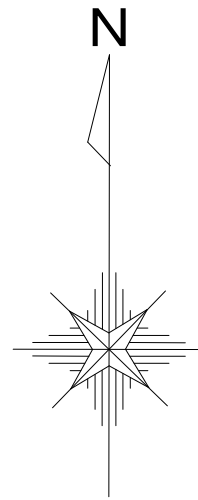
A矢視図 S=1/100



監査廊入口平面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100



改修工事リスト

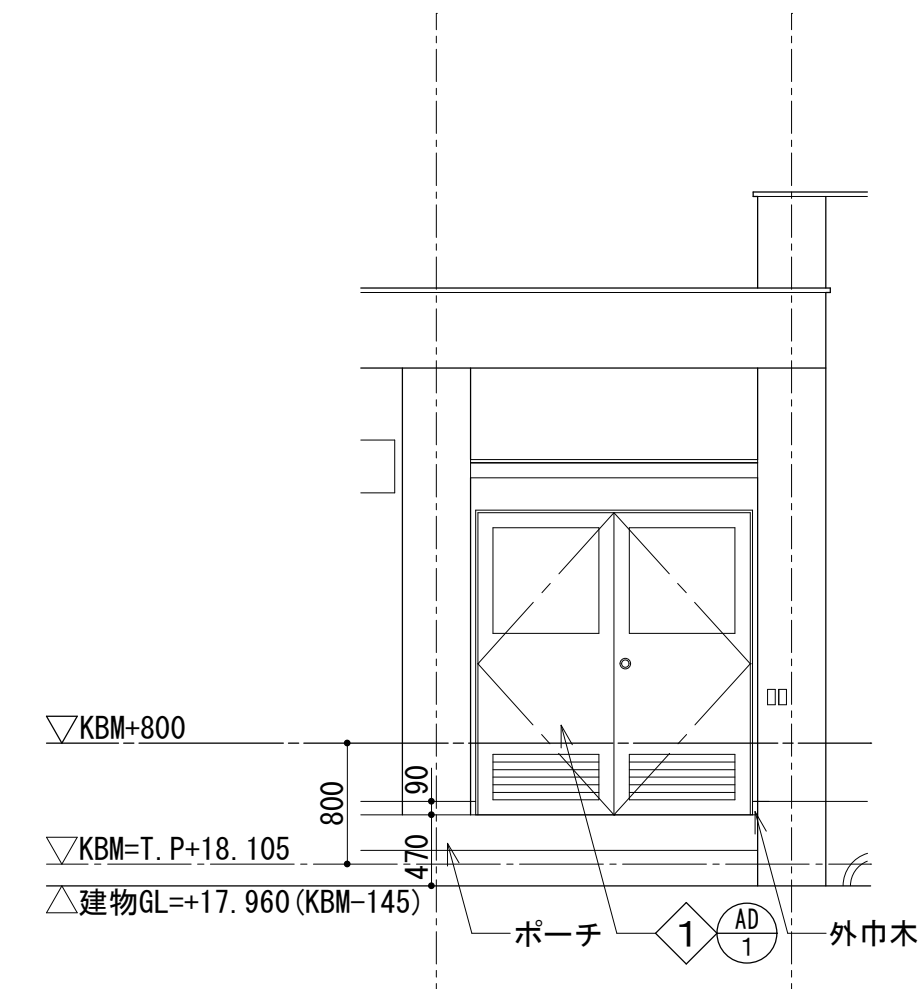
① 止水ドア新設

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑥ 着水井 平面図・立面図・参考断面図 (改修後)				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/100	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 33	

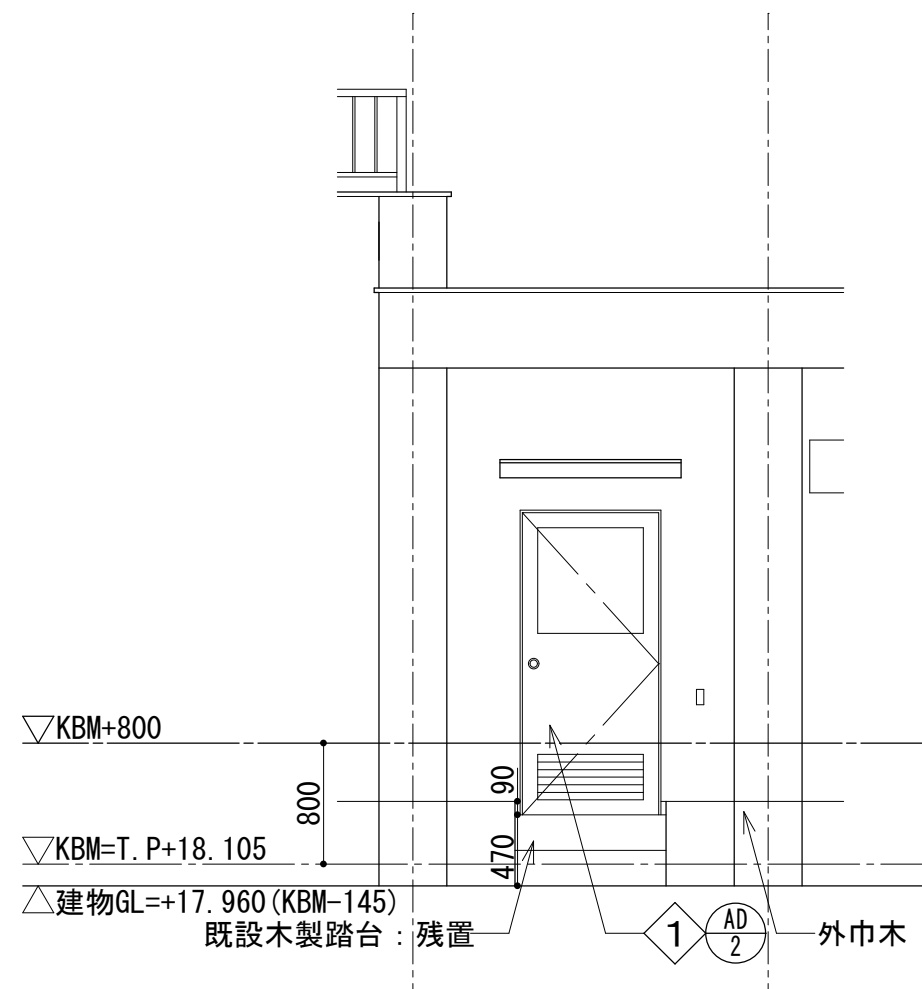
改修前

外 部 仕 上 表		内 部 仕 上 表	
場 所	着水井 旧滅菌室	場 所	着水井 旧滅菌室
床（ポーチ）	無筋コンクリート金ゴテ	床	モルタル金ゴテt=50 合成樹脂塗床★
巾木	防水モルタル塗t=25 防水型外装薄塗材E	巾木	モルタル金ゴテt=25 合成樹脂塗床H=150
壁	防水モルタル塗t=25 防水型外装薄塗材E★	壁	モルタル金ゴテt=25 EP塗★
		天井	モルタル金ゴテt=25 EP塗

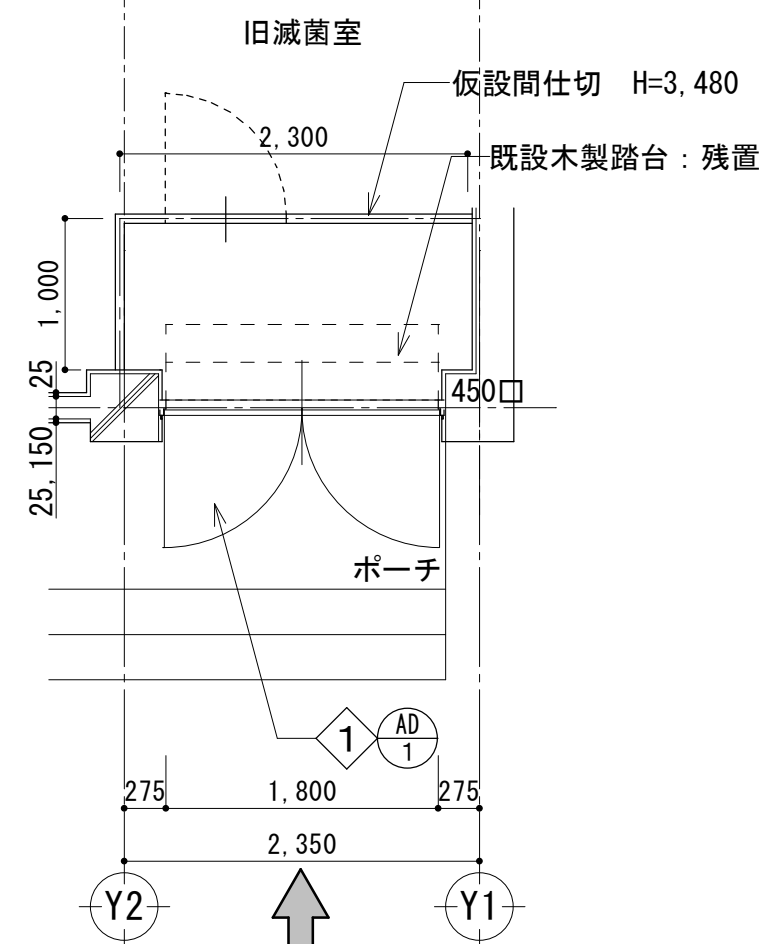
※アスベスト調査箇所：★計3ヶ所



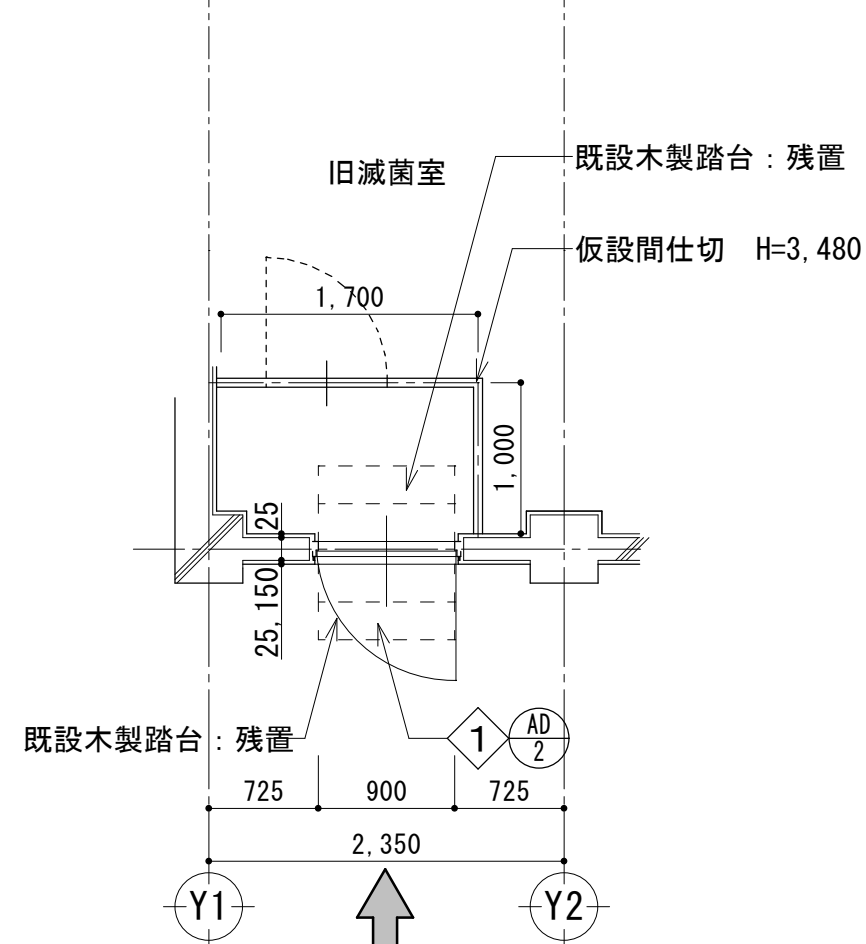
A 矢視図 S=1/50



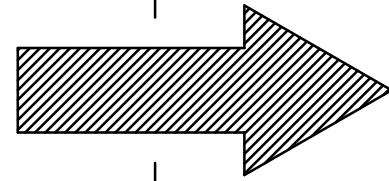
B 矢視図 S=1/50



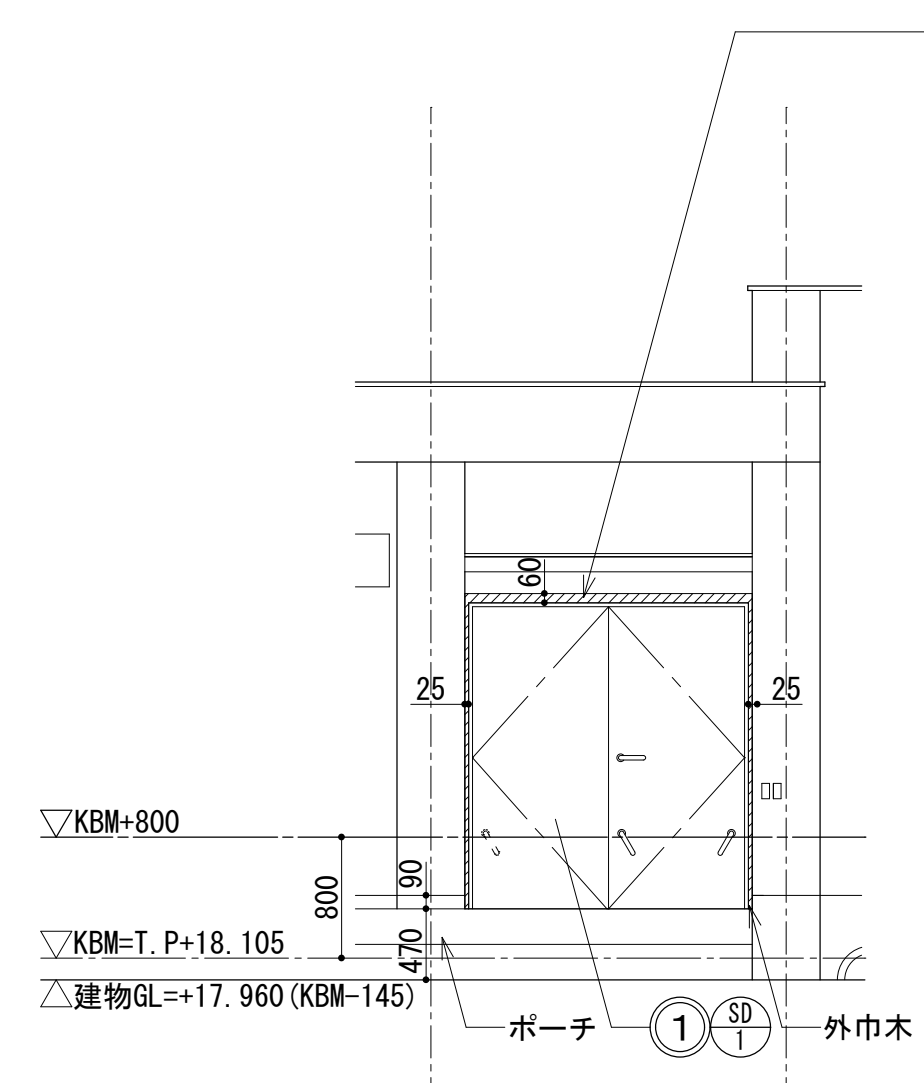
平面詳細図 S=1/50



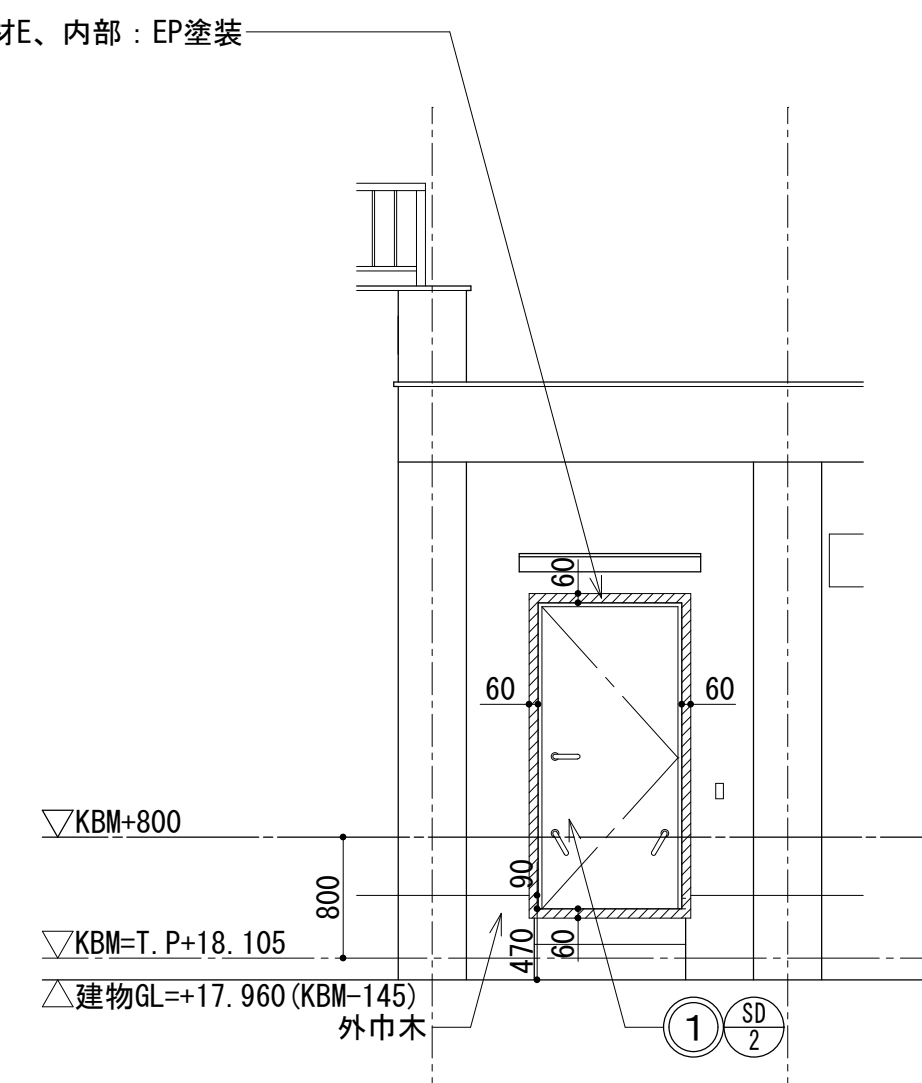
平面詳細図 S=1/50



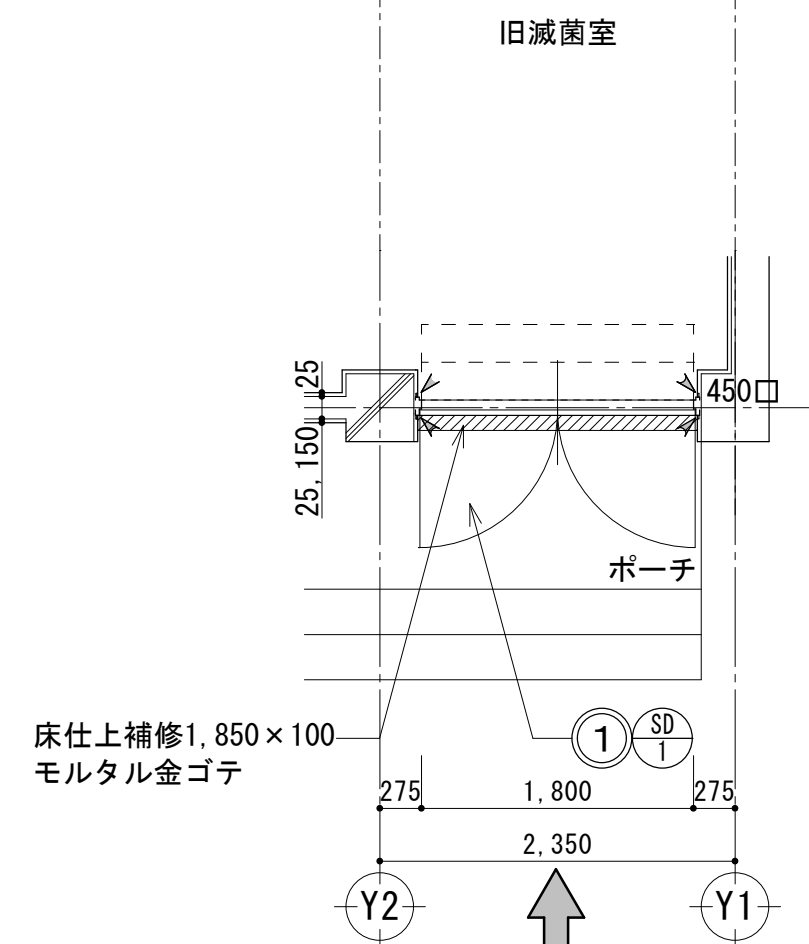
改修後



A 矢視図 S=1/50

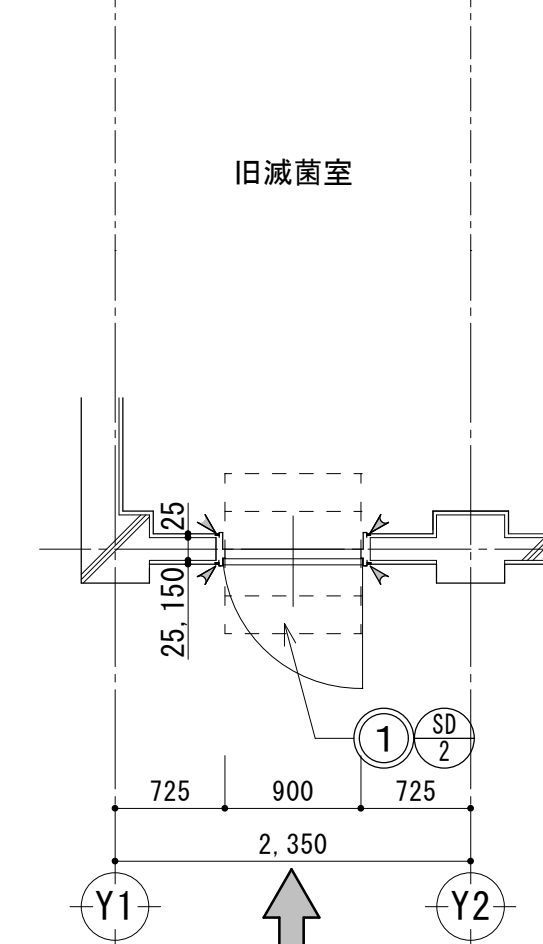


B 矢視図 S=1/50



平面詳細図 S=1/50

ィ：シーリングを示す



平面詳細図 S=1/50

ィ：シーリングを示す

撤去・下地処理リスト

- ① スチール製又はアルミ製建具撤去

改修工事リスト

- ① 止水ドア新設

※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

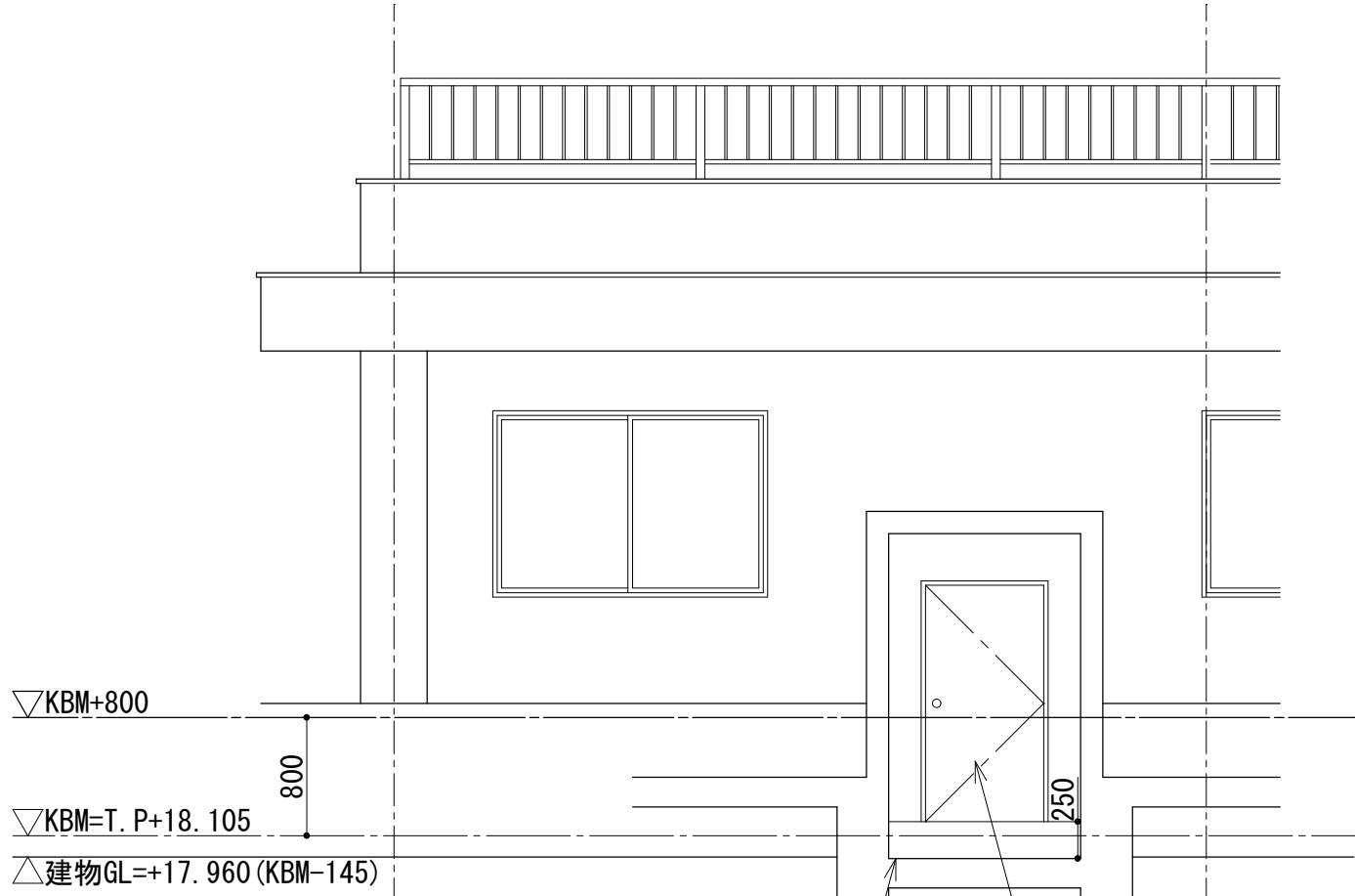
工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑥ 着水井 改修詳細図I				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 34	

改修前

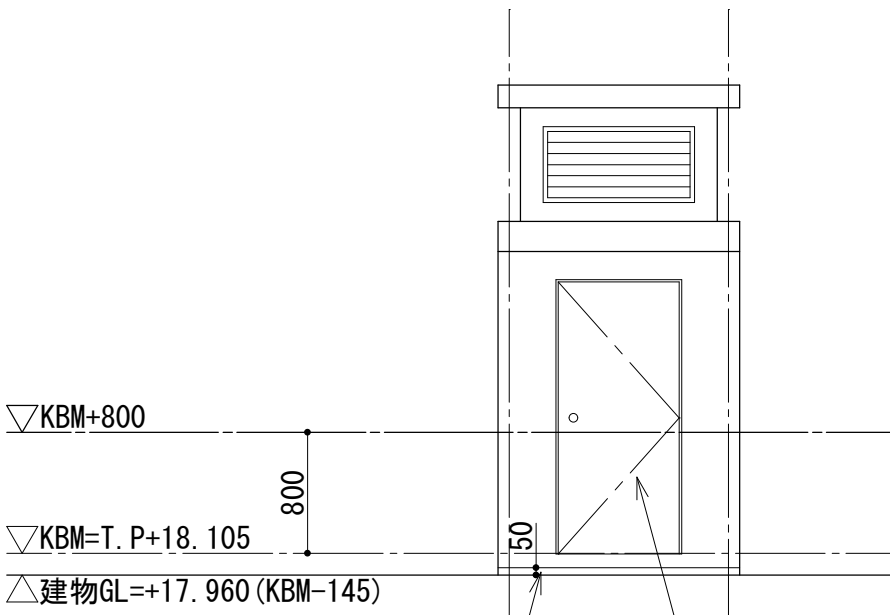
外 部 仕 上 表		内 部 仕 上 表	
場 所	着水井 旧減菌室	場 所	着水井 旧減菌室
床（ポーチ）	無筋コンクリート金ゴテ	床	モルタル金ゴテt=50 合成樹脂塗床
巾木	防水モルタル塗t=25 防水型外装薄塗材E	巾木	モルタル金ゴテt=25 合成樹脂塗床H=150
壁	防水モルタル塗t=25 防水型外装薄塗材E	壁	モルタル金ゴテt=25 EP塗
		天井	モルタル金ゴテt=25 EP塗

外 部 仕 上 表		内 部 仕 上 表	
場 所	着水井 監査廊入口	場 所	着水井 監査廊入口
床（土間）	コンクリート直押え	床	モルタル金ゴテ ★
壁	防水モルタル塗t=25 防水型外装薄塗材E	壁	防水モルタル塗t=25 防水型外装薄塗材E
		天井	防水モルタル塗t=25 防水型外装薄塗材E

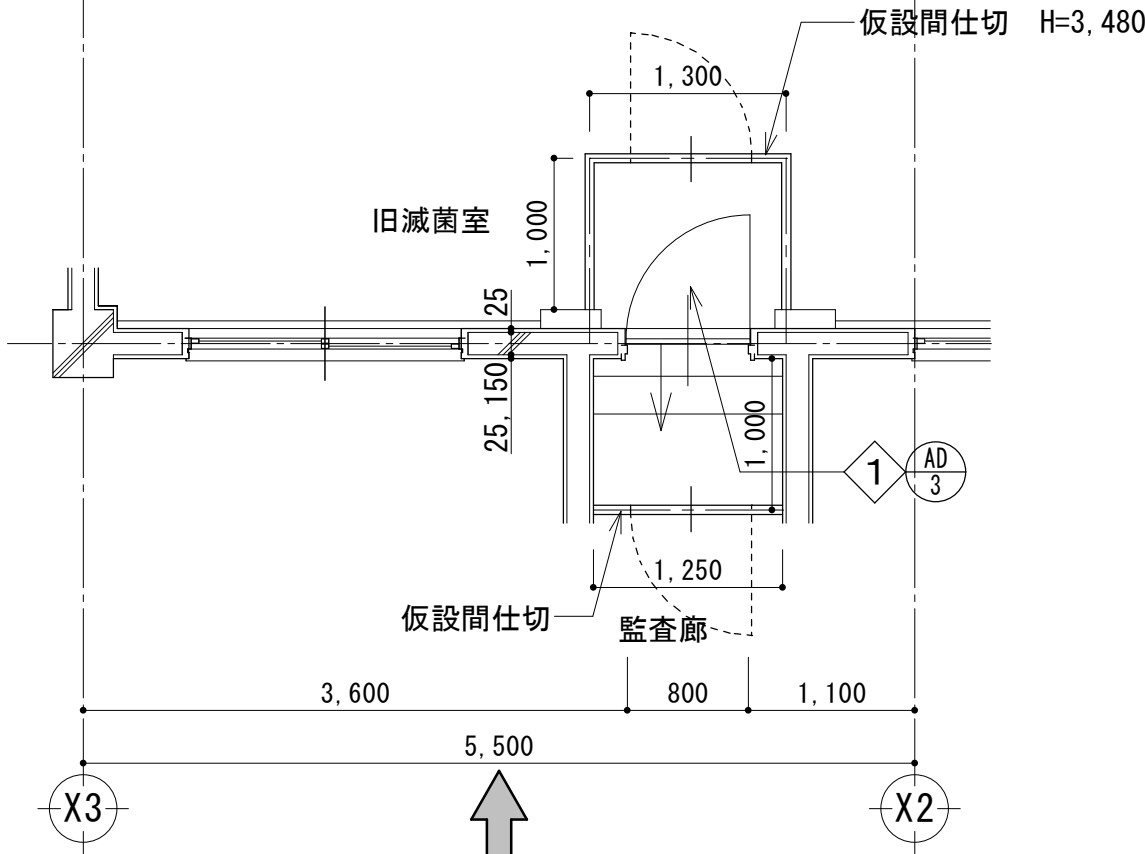
※アスベスト調査箇所：★計1ヶ所



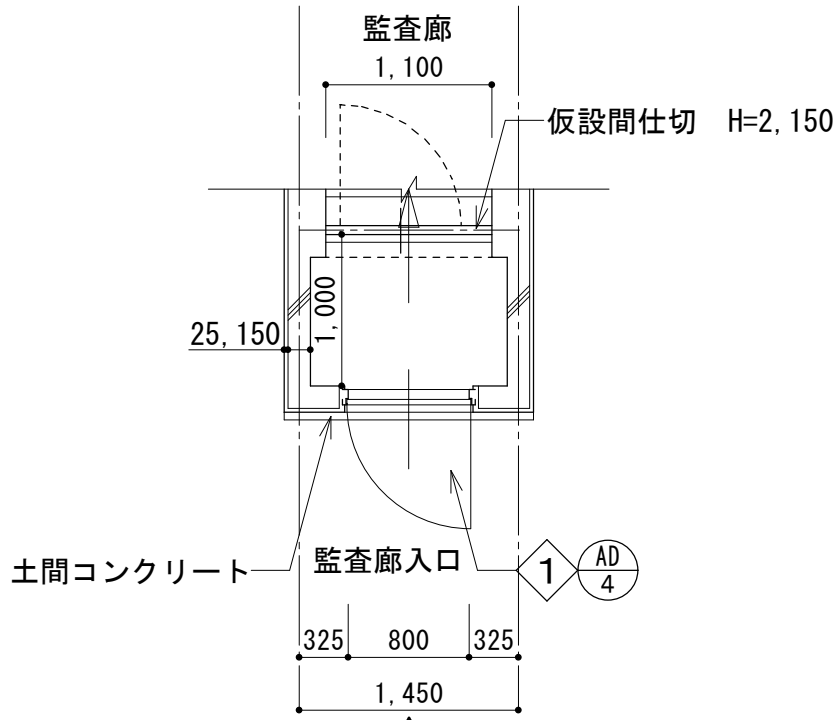
A 矢視図 S=1/50



B 矢視図 S=1/50



A 矢視
平面詳細図 S=1/50

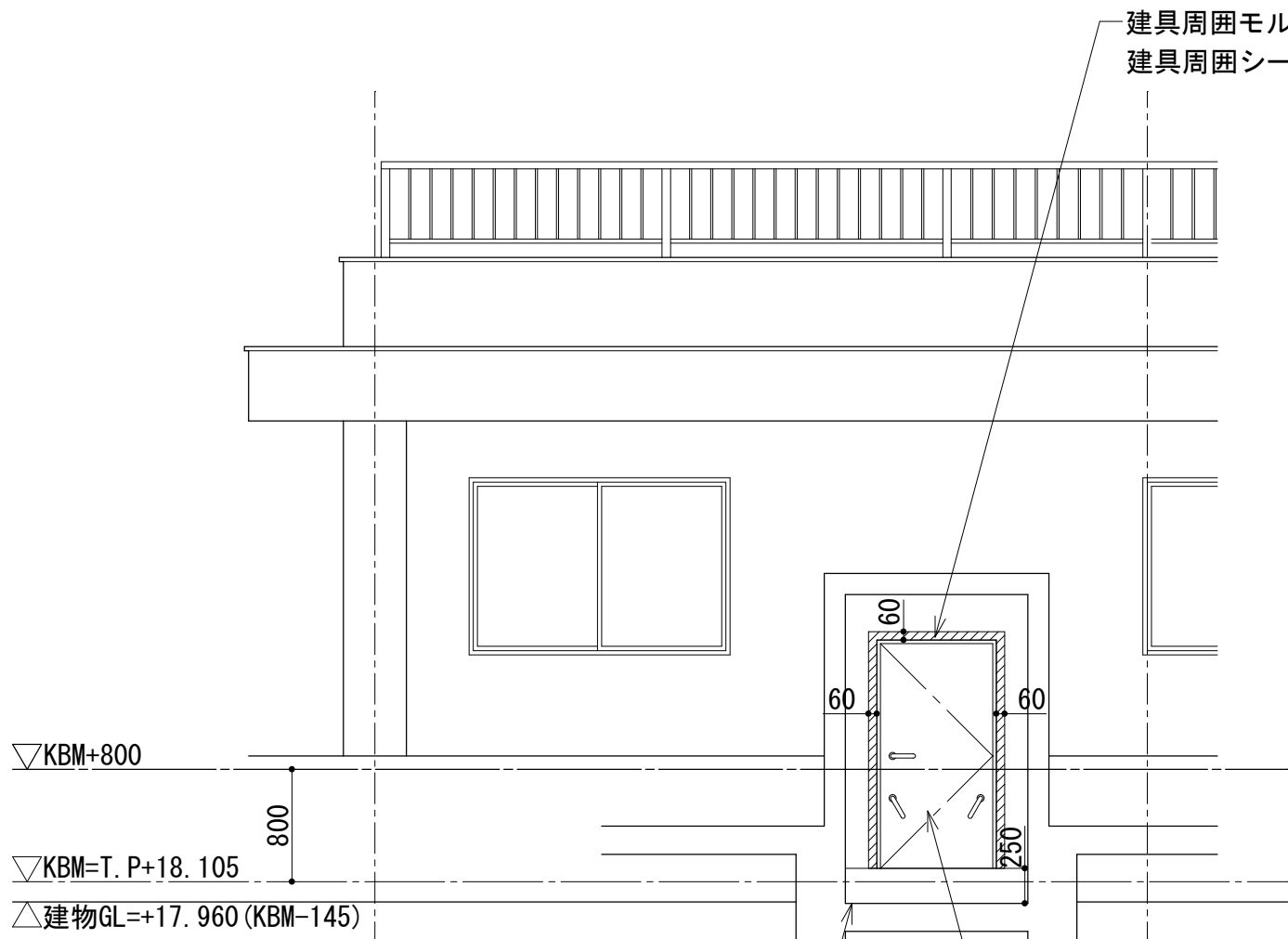


B 矢視
平面詳細図 S=1/50

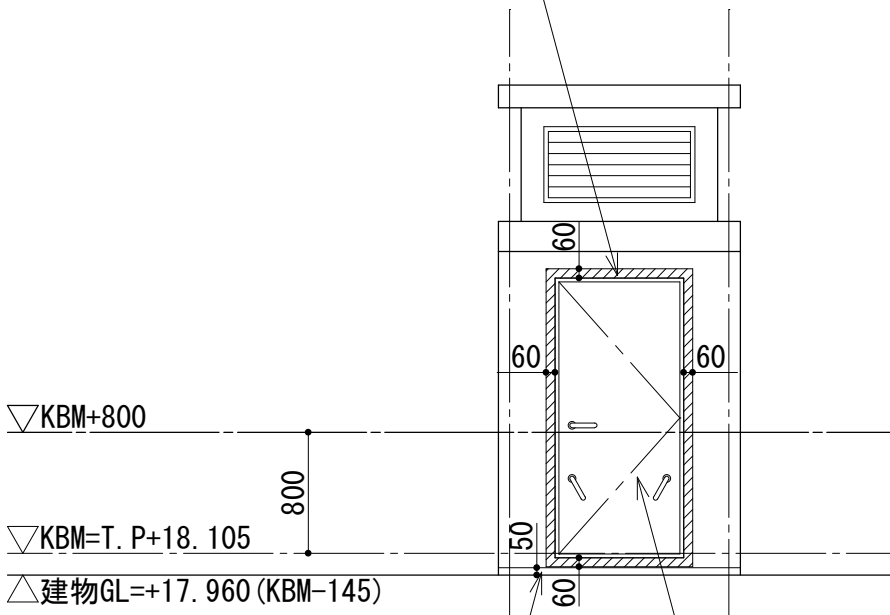
撤去・下地処理リスト

- ① スチール製又はアルミ製建具撤去

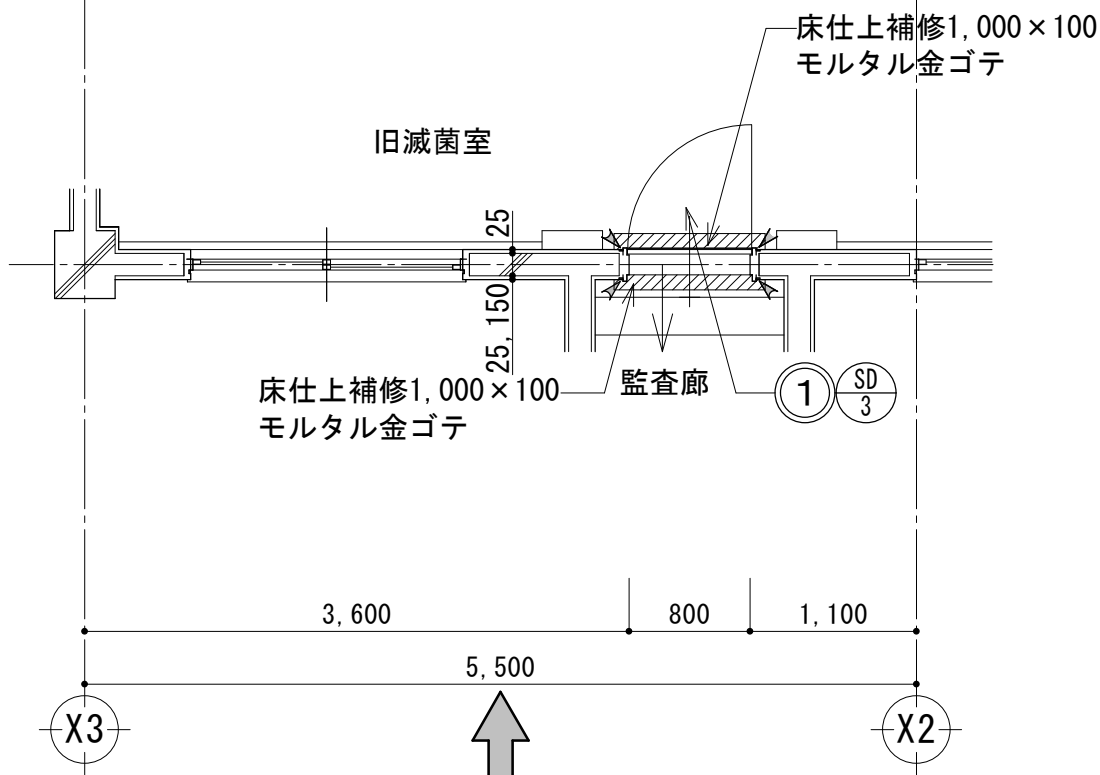
改修後



A 矢視図 S=1/50

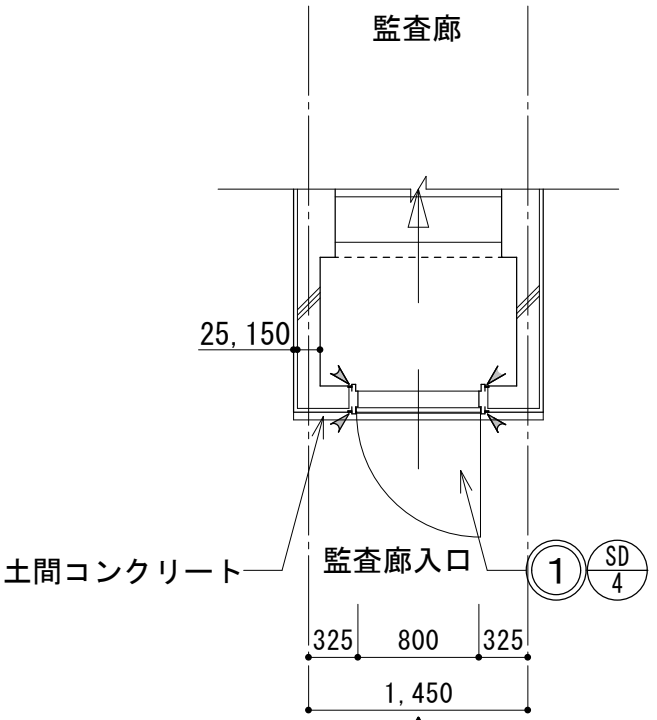


B 矢視図 S=1/50



A 矢視
平面詳細図 S=1/50

ィ：シーリングを示す



B 矢視
平面詳細図 S=1/50

ィ：シーリングを示す

改修工事リスト

- ① 止水ドア新設

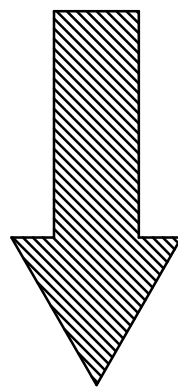
※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑥ 着水井 改修詳細図2				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業					A - 35

＜撤去建具＞

建具表 S-1/50				
型式・数量	① ADアルミ製両開きドア1箇所	② ADアルミ製片開きドア1箇所	③ ADアルミ製片開きドア1箇所	④ ADアルミ製片開きドア1箇所
型 状				
使用箇所	着水井 旧減菌室—外部	着水井 旧減菌室—外部	着水井 旧減菌室—内部	着水井 監査廊入口—外部
材 料 仕 上	アルミ 電解着色	アルミ 電解着色	アルミ 電解着色	アルミ 電解着色
見 込	枠70	枠70	枠70	枠70
ガ ラ ス	W700×H700×2 網入りガラスt=6.8	W700×H700 網入りガラスt=6.8	—	—
金 物	丁香・握り玉・ドアクローザー	丁香・握り玉・ドアクローザー	丁香・握り玉・ドアクローザー	丁香・握り玉・ドアクローザー
	SUS番削	SUS番削	SUS番削	SUS番削
	順位調整器・フランス落し	順位調整器・フランス落し	順位調整器・フランス落し	順位調整器・フランス落し
備 考	建具枠撤去においては、内外共カッター入れのこと	建具枠撤去においては、内外共カッター入れのこと	建具枠撤去においては、内外共カッター入れのこと	建具枠撤去においては、内外共カッター入れのこと
	ガラリW300×H700	ガラリW300×H700		

※アスベスト調査箇所：建具廻りシーリング 計1ヶ所



＜新設建具＞

建具表 S-1/50				
型式・数量	① SDスチール製両開き止水ドア1箇所	② SDスチール製片開き止水ドア1箇所	③ SDスチール製片開き止水ドア1箇所	④ SDスチール製片開き止水ドア1箇所
型 状				
使用箇所	着水井 旧減菌室—外部	着水井 旧減菌室—外部	着水井 旧減菌室—内部	着水井 監査廊入口—外部
材 料 仕 上	スチールt=1.6 DP塗装	スチールt=1.6 DP塗装	スチールt=1.6 SOP塗装	スチールt=1.6 DP塗装
見 込	枠120 ・ 扉50	枠220 ・ 扉40	枠210 ・ 扉40	枠195 ・ 扉40
ガ ラ ス	—	—	—	—
金 物	二重丁香・レバーハンドル錠・本締錠・ドアクローザー	二重丁香・レバーハンドル錠・本締錠・ドアクローザー	二重丁香・レバーハンドル錠・本締錠・ドアクローザー	二重丁香・レバーハンドル錠・本締錠・ドアクローザー
	止水グレモン・順位調整器・フランス落し・SUS番削・SUS水切	止水グレモン・SUS番削・戸当り	止水グレモン・SUS番削・戸当り	止水グレモン・SUS番削・戸当り
	その他メーカー仕様による	その他メーカー仕様による	その他メーカー仕様による	その他メーカー仕様による
備 考	KBM=T.P+18.105より止水高さ800mm以下、漏水量10L/(㎡・h)以下	KBM=T.P+18.105より止水高さ800mm以下、漏水量10L/(㎡・h)以下	KBM=T.P+18.105より止水高さ800mm以下、漏水量10L/(㎡・h)以下	KBM=T.P+18.105より止水高さ800mm以下、漏水量10L/(㎡・h)以下

※建具周囲シーリングは、内外部共10×10程度を見込む

撤去・下地処理リスト

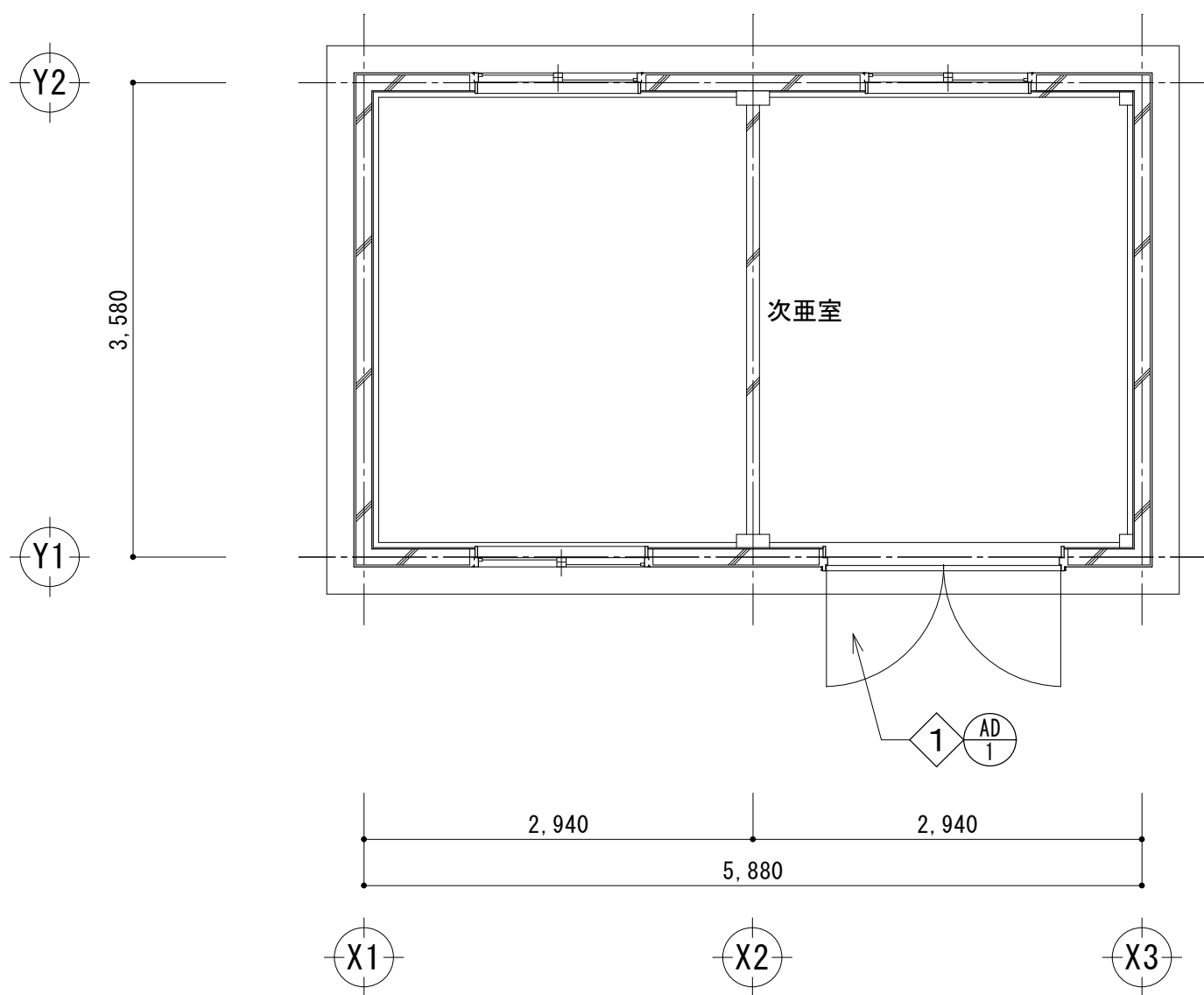
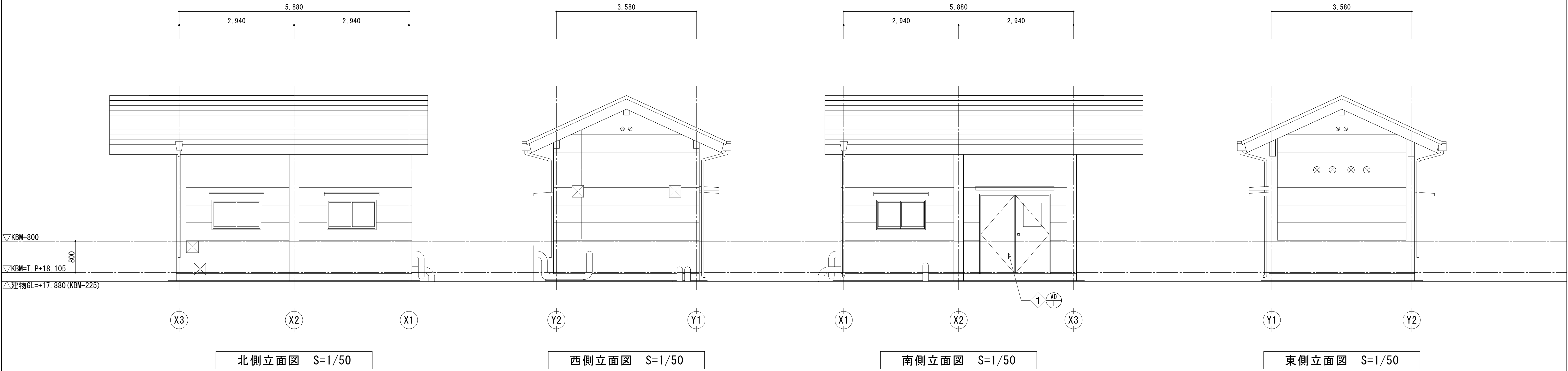
改修工事リスト

① スチール製又はアルミ製建具撤去

① 止水ドア新設

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑥ 着水井 改修建具表				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 36	

改修前

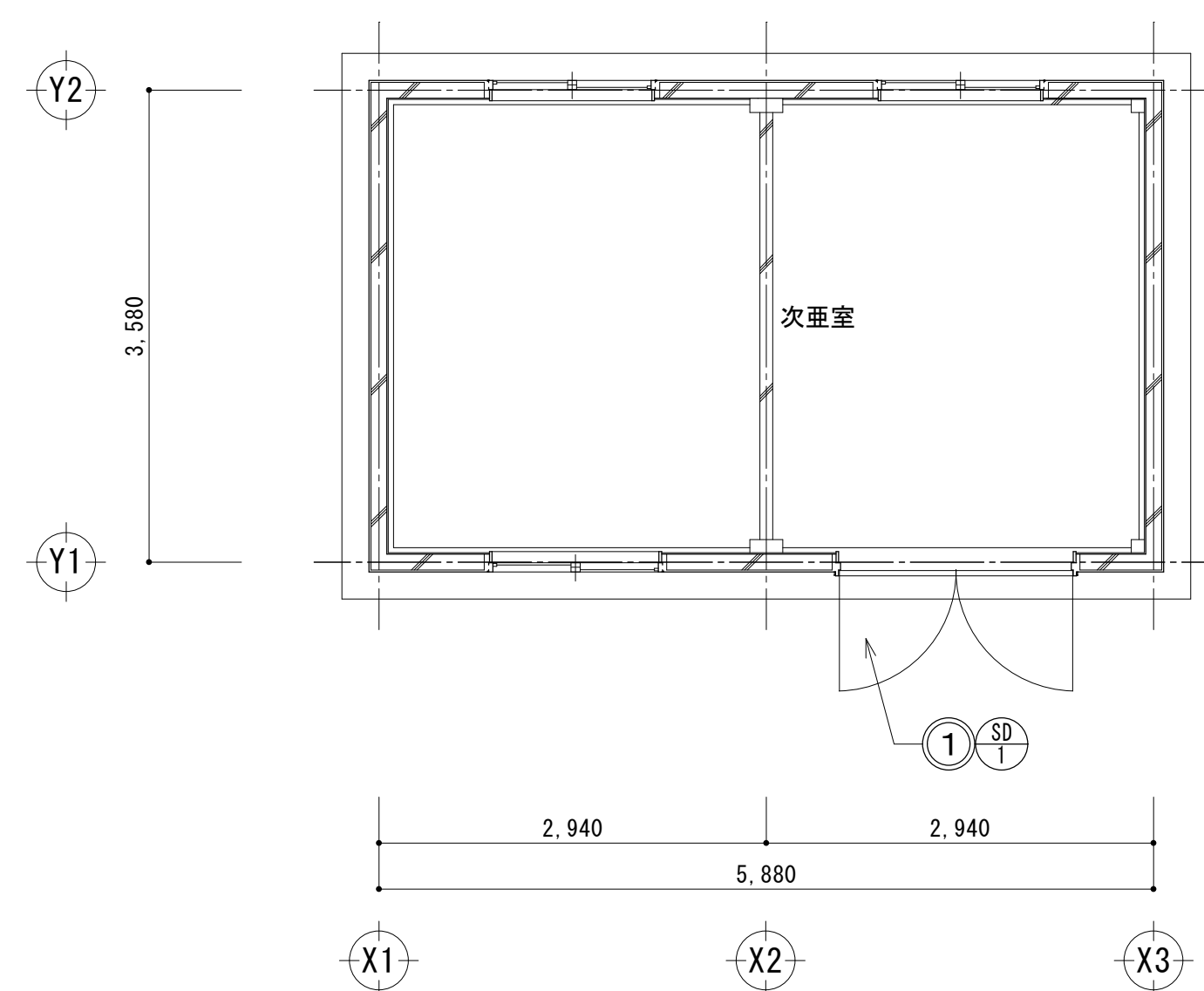
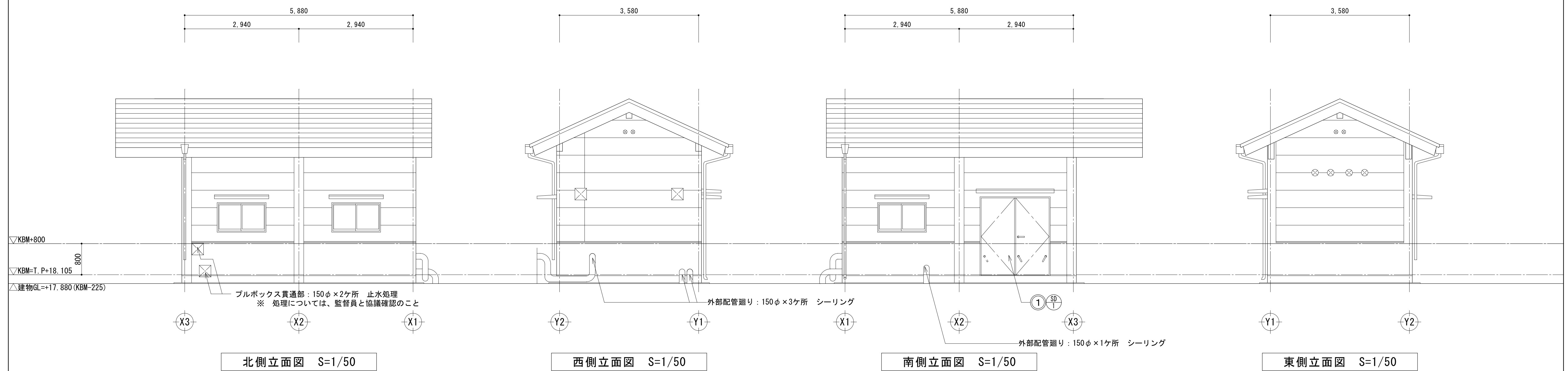


撤去・下地処理リスト

1 スチール製又はアルミ製建具撤去

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑦ 次 亜 室 平面図・立面図（改修前）				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 37	

改修後



平面図 S=1/50

改修工事リスト

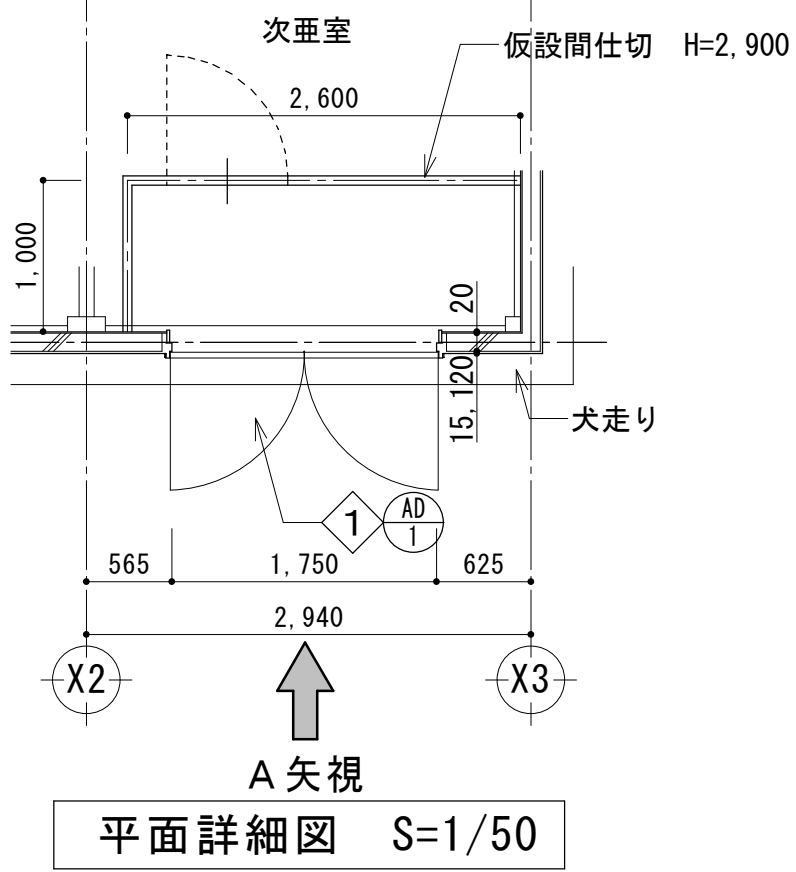
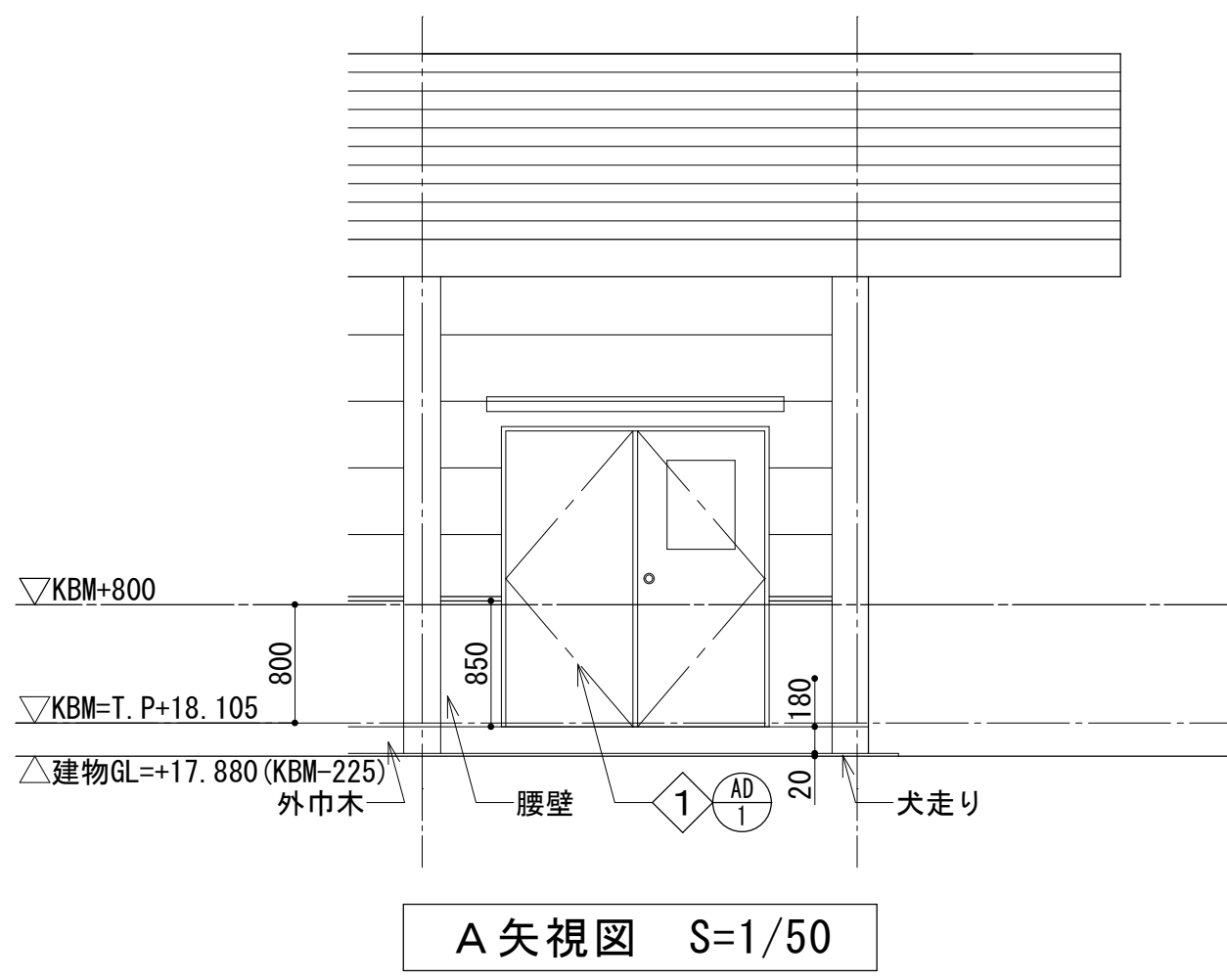
① 止水ドア新設

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事			
工事場所	行田市向町2番4号			
図面名称	⑦ 次 亜 室 平面図・立面図（改修後）			
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺
内 山	田 島	長谷見	栗 原	S=1/50
				図面番号
行田市水道事業				A - 38

改修前

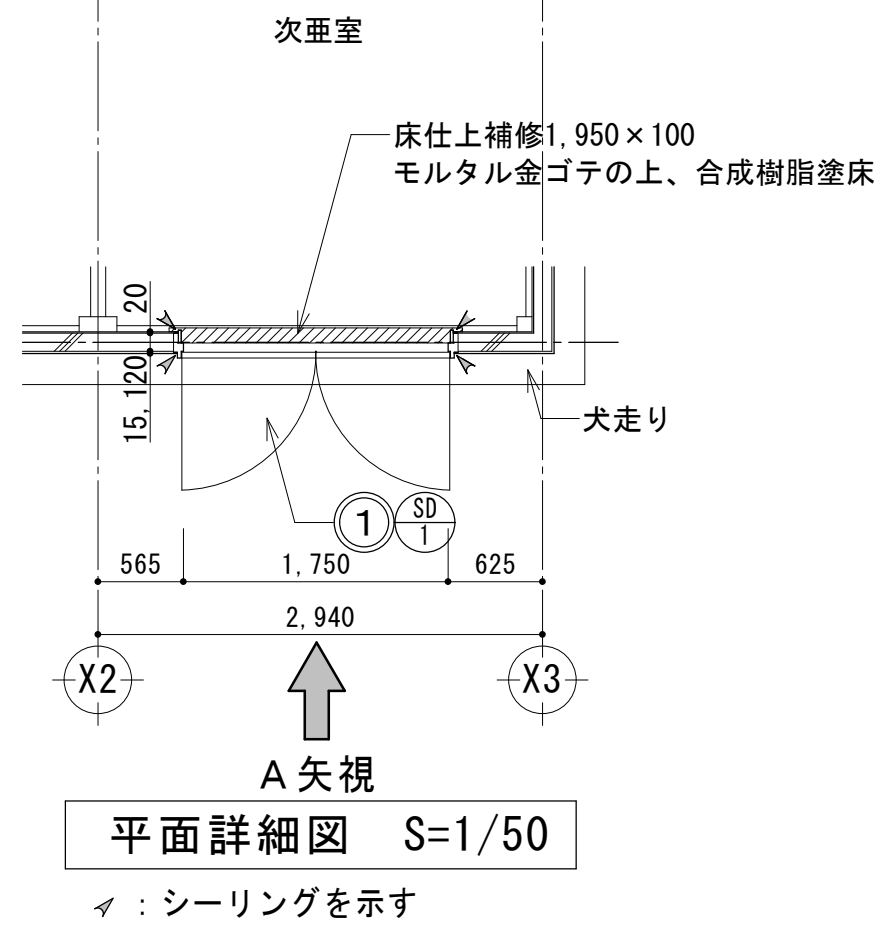
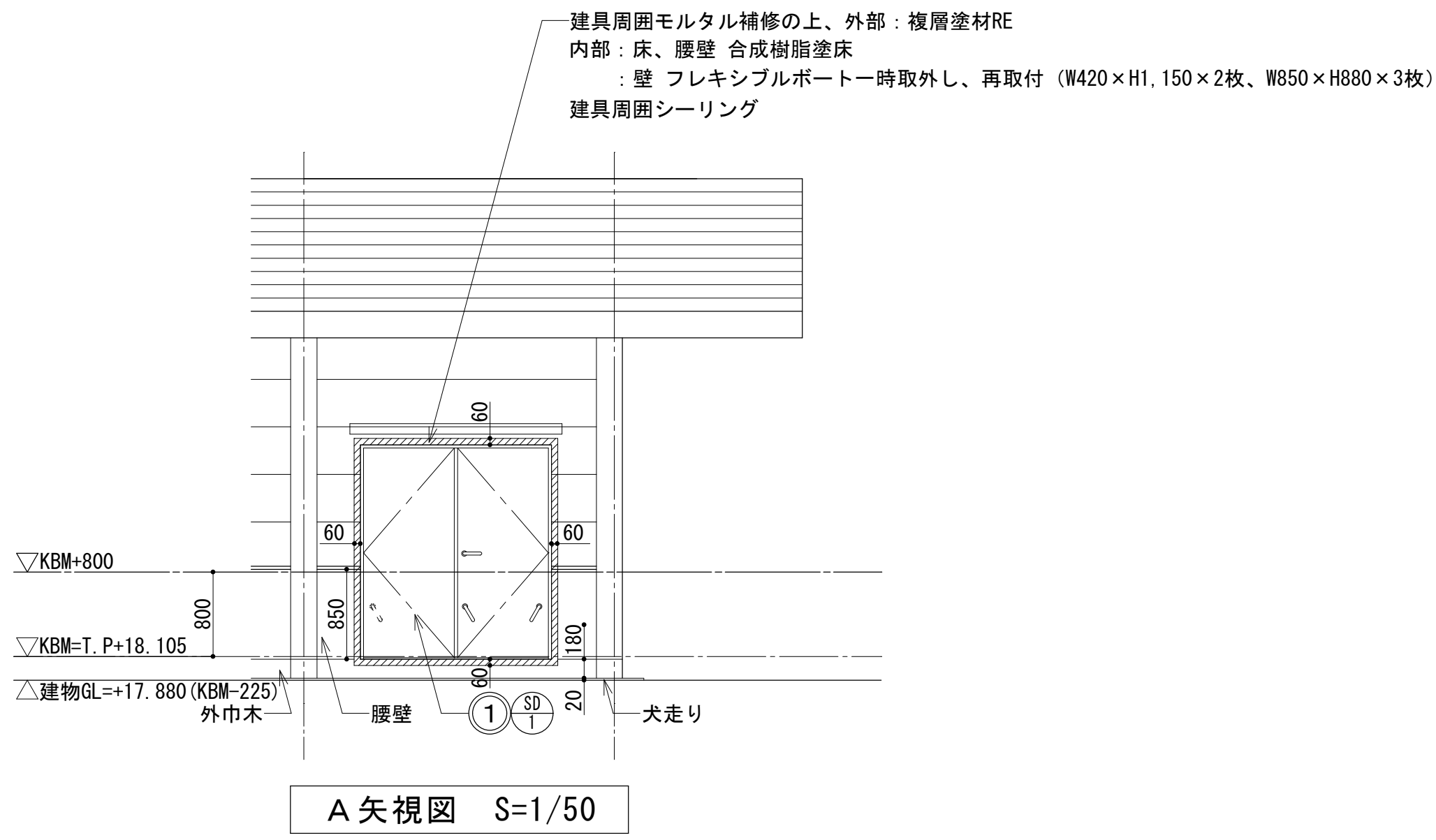
外 部 仕 上 表		内 部 仕 上 表	
場 所	次亜室	場 所	次亜室
床（犬走り）	モルタル金ゴテt=20★	床	コンクリート打放し 合成樹脂塗床★
巾木	モルタル金ゴテt=20	腰壁	コンクリート打放し 合成樹脂塗床 H=1,130
腰壁	コンクリート打放し 複層塗材RE★	壁	コンクリート打放し フレキシブルポートt=10の上、EP塗装
壁	コンクリート打放し 窯業系サイディングt=15の上、複層塗材RE	天井	アルミスバンドレル

※アスベスト調査箇所：★計3ヶ所



- 撤去・下地処理リスト
- ① スチール製又はアルミ製建具撤去

改修後

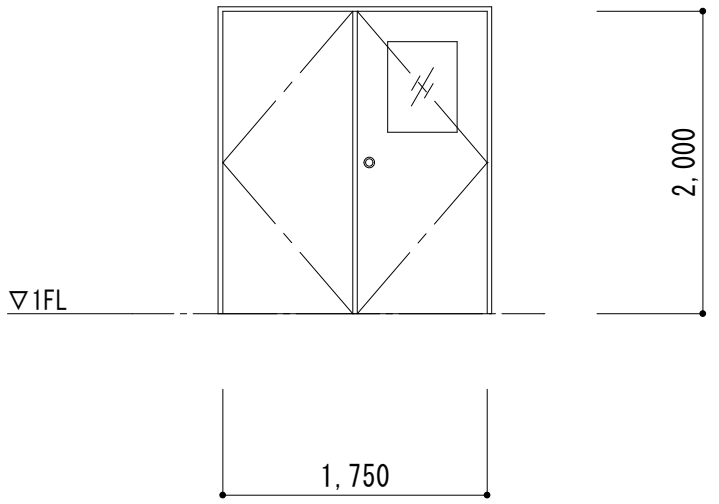


- 改修工事リスト
- ① 止水ドア新設

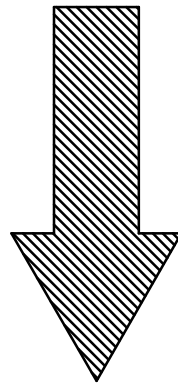
※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑦ 次 亜 室 改修詳細図				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 39	

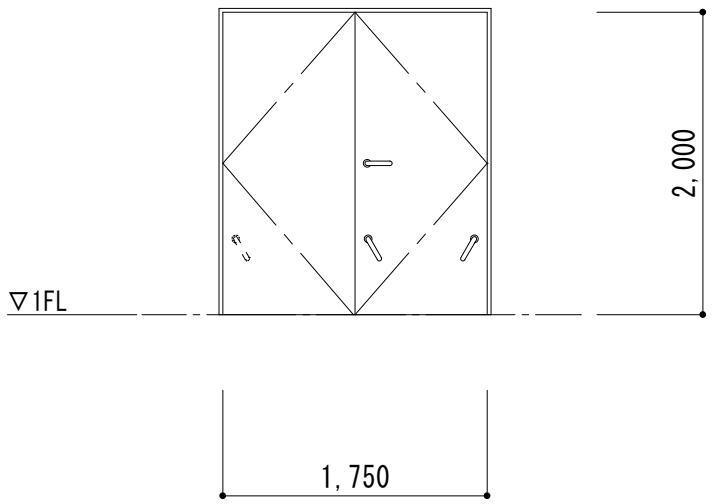
＜撤去建具＞

建具表 S-1/50	
型式・数量	① AD アルミ製両開きドア 1箇所
型 状	① 
使 用 箇 所	次亜室—外部
材 料 仕 上	アルミ電解着色
見 込	枠70
ガ ラ ス	W460×H600 網入りガラスt=6.8
金 物	丁香・握り玉・ドアクローザー
	SUS宙刷
	順位調整器・フランス落し
備 考	建具枠撤去においては、内外共カッター入れのこと

※アスベスト調査箇所：建具廻りシーリング 計1ヶ所



＜新設建具＞

建具表 S-1/50	
型式・数量	① SD スチール製両開き止水ドア 1箇所
型 状	① 
使 用 箇 所	次亜室—外部
材 料 仕 上	スチールt=1.6 DP塗装
見 込	枠190 ・ 扉50
ガ ラ ス	—
金 物	二重丁香・レバーハンドル錠・本締錠・ドアクローザー
	止水グレモン・順位調整器・フランス落し・SUS宙刷・SUS水切
備 考	その他メーカー仕様による
	KBM=T・P+18.105より止水高さ800mm以下、漏水量10L/(㎡・h)以下

※建具周囲シーリングは、内外部共10×10程度を見込む

撤去・下地処理リスト

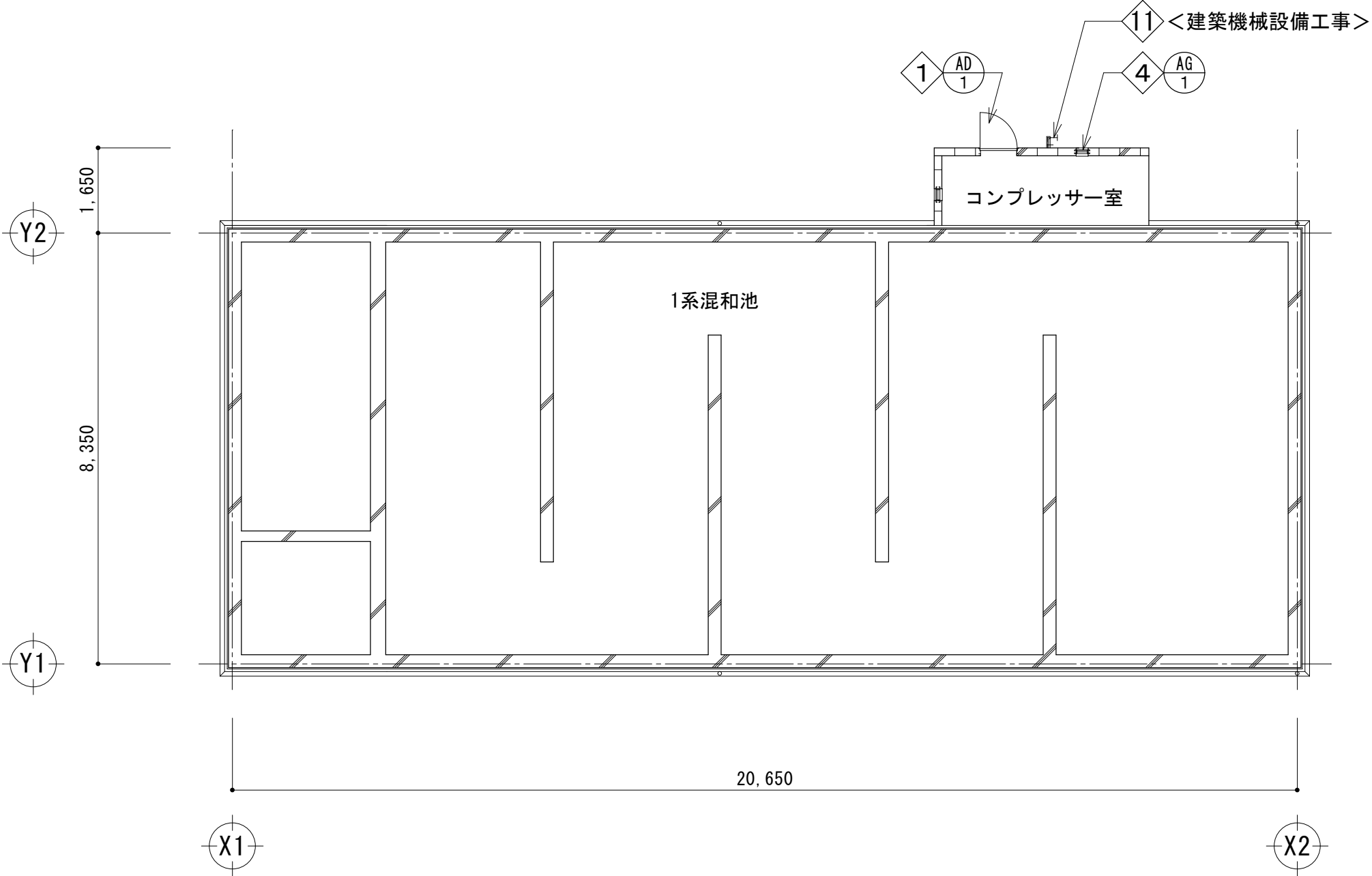
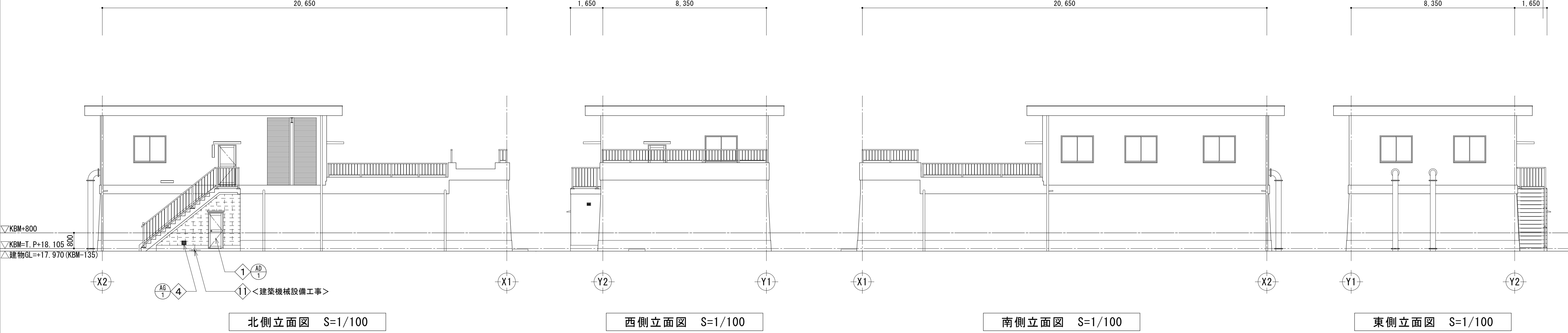
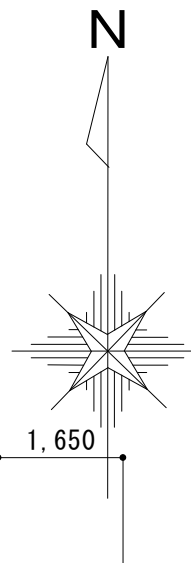
改修工事リスト

① スチール製又はアルミ製建具撤去

① 止水ドア新設

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑦ 次 亜 室 改修建具表				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 40	

改修前

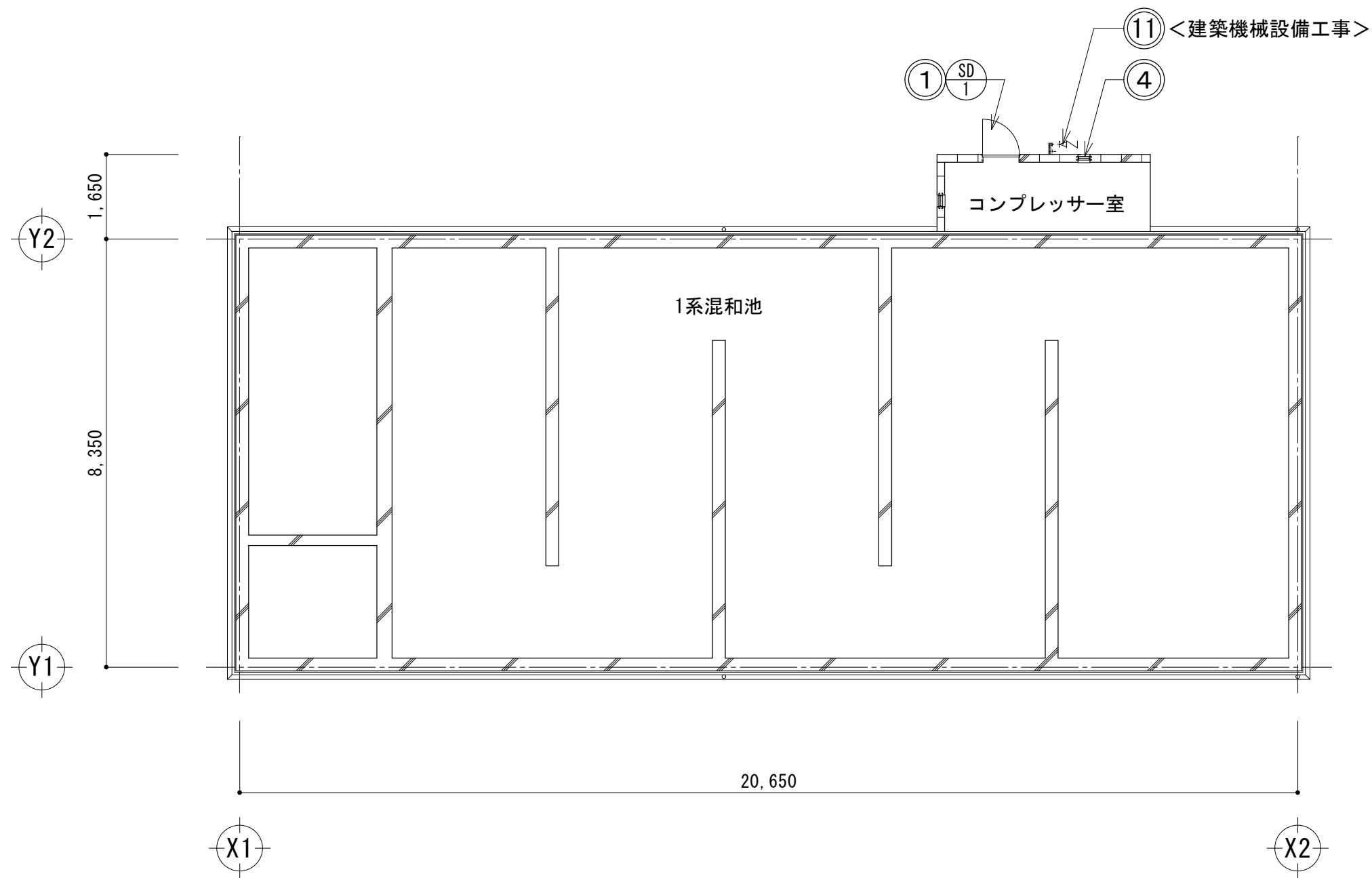
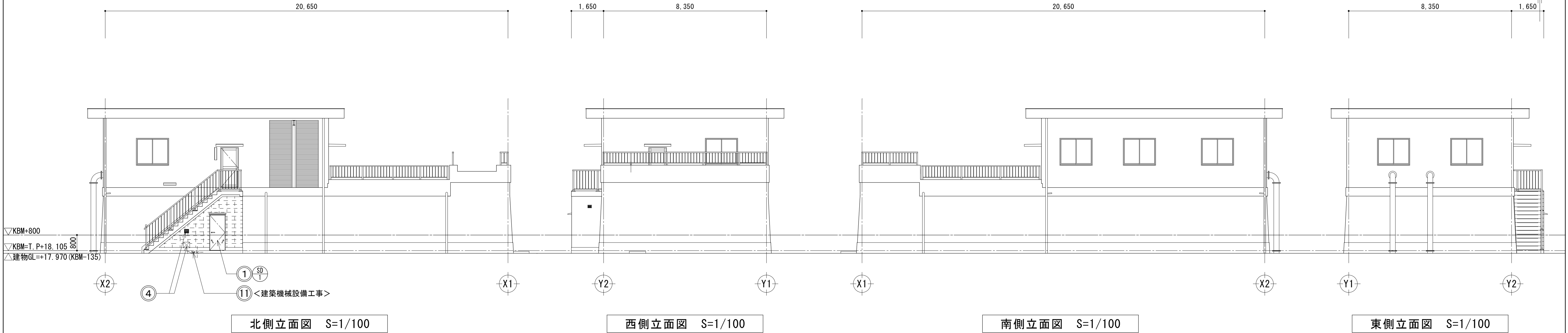
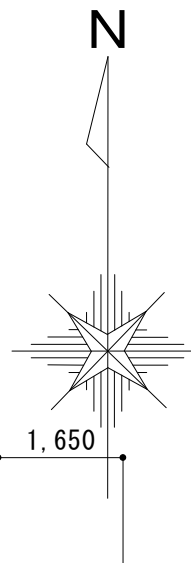


撤去・下地処理リスト

- ① スチール製又はアルミ製建具撤去
- ④ アルミ製ガラリ既存のまま
- ⑪ 排水管既存のまま

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑧ 1 系 混 和 池 平面図・立面図（改修前）				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/100	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 41	

改修後



改修工事リスト

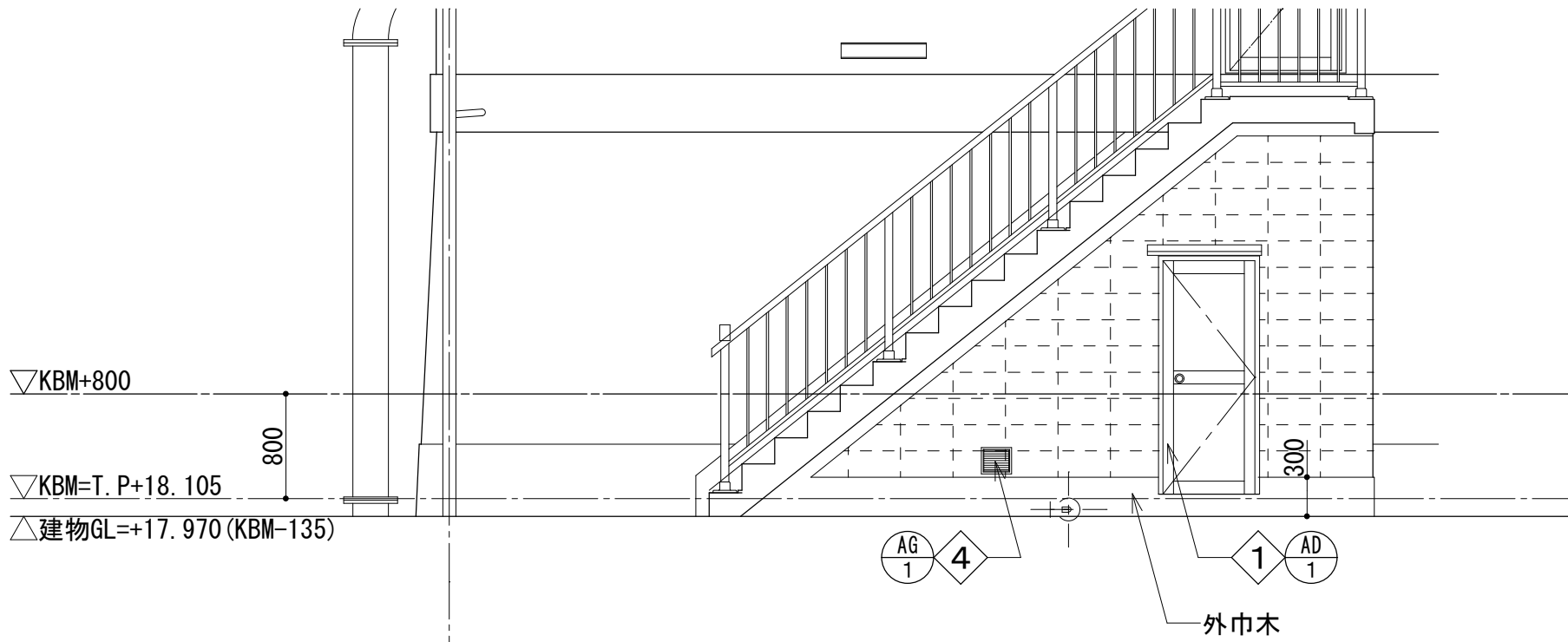
- ① 止水ドア新設
- ④ 既存アルミ製ガラリ上部移設
- ⑪ 逆流防止弁新設

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑧ 1系混和池 平面図・立面図（改修後）				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/100	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 42	

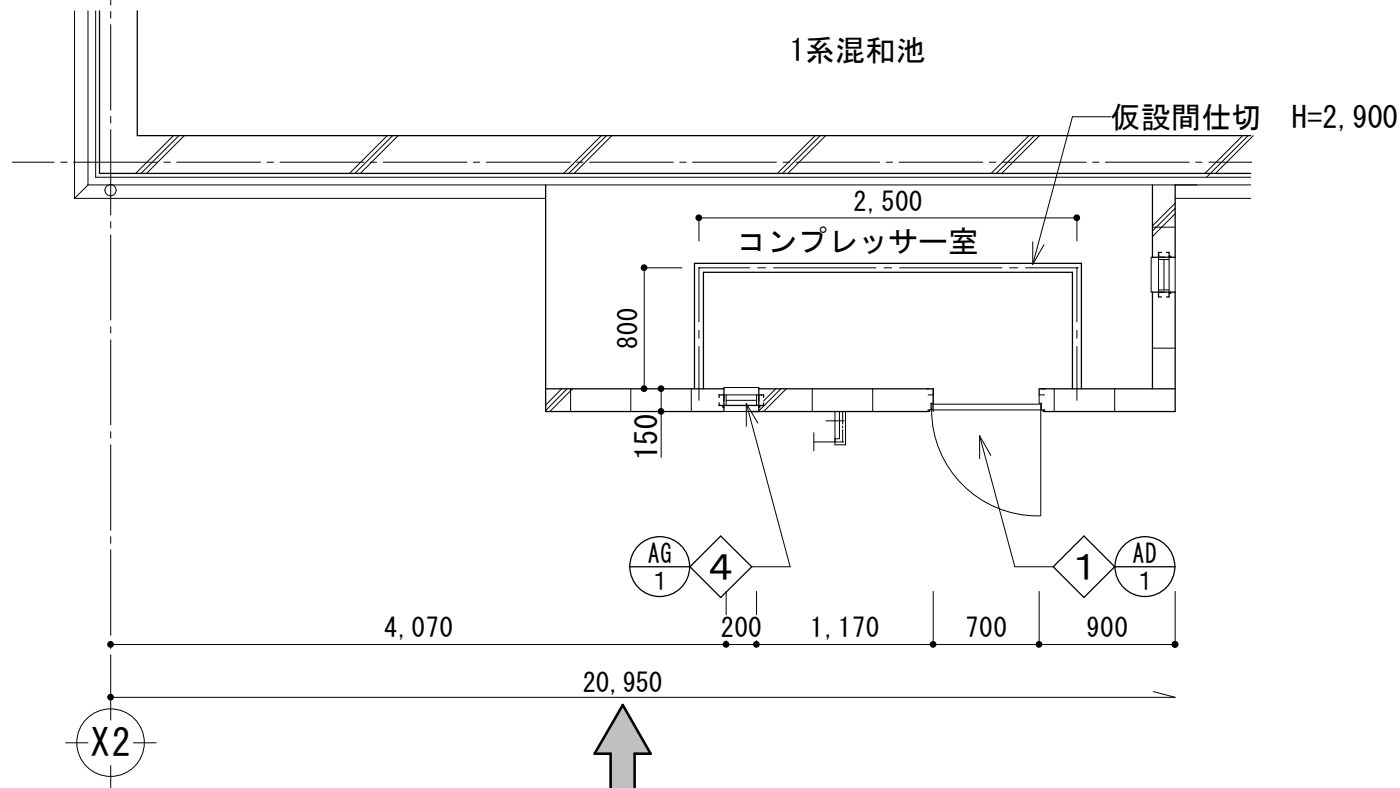
改修前

外部仕上表		内部仕上表	
場 所	1系混和池 コンプレッサー室	場 所	1系混和池 コンプレッサー室
床	コンクリート直押え	床	コンクリート打放し モルタル金ゴテt=20★
巾木	モルタル金ゴテt=20 防水型外装薄塗材E	壁	外壁に準ずる
壁	CB t=120、モルタル金ゴテt=20 防水型外装薄塗材E★	天井	モルタル金ゴテt=20 防水型外装薄塗材E

※アスベスト調査箇所：★計2ヶ所



A 矢視図 S=1/50

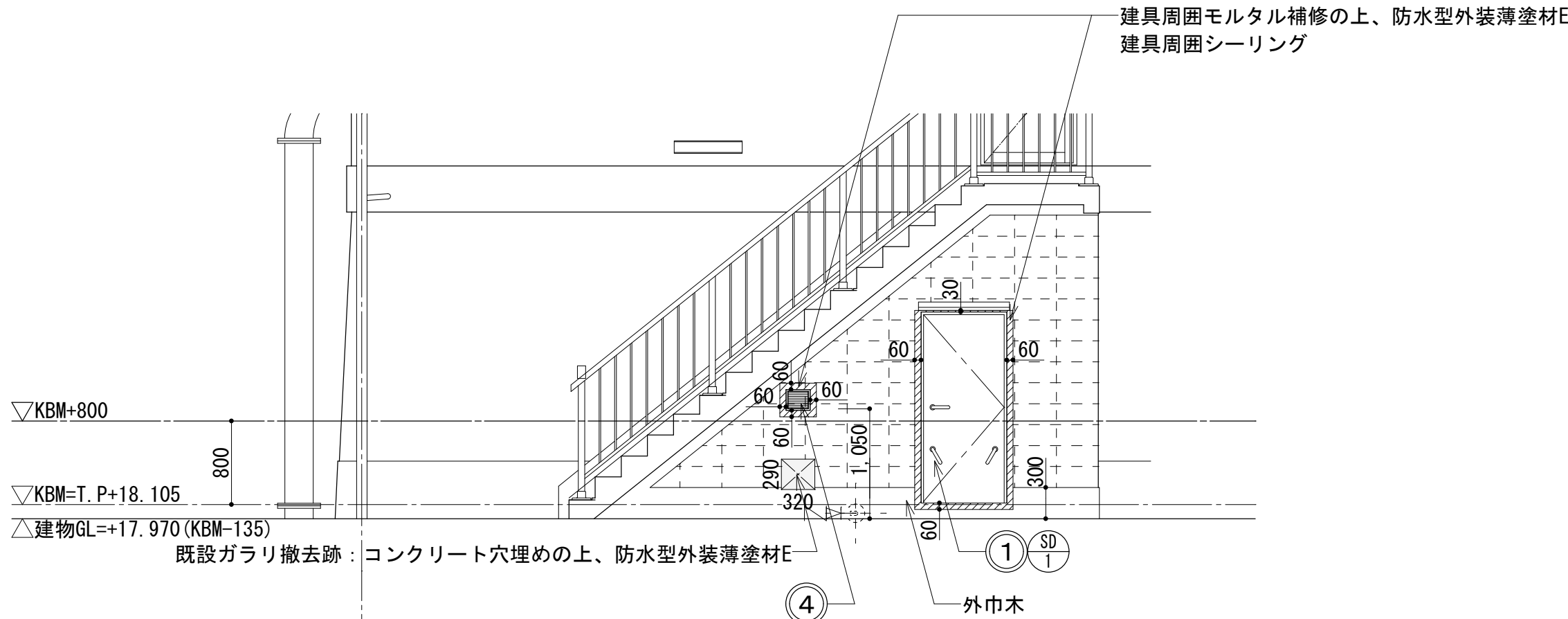


A 矢視
平面詳細図 S=1/50

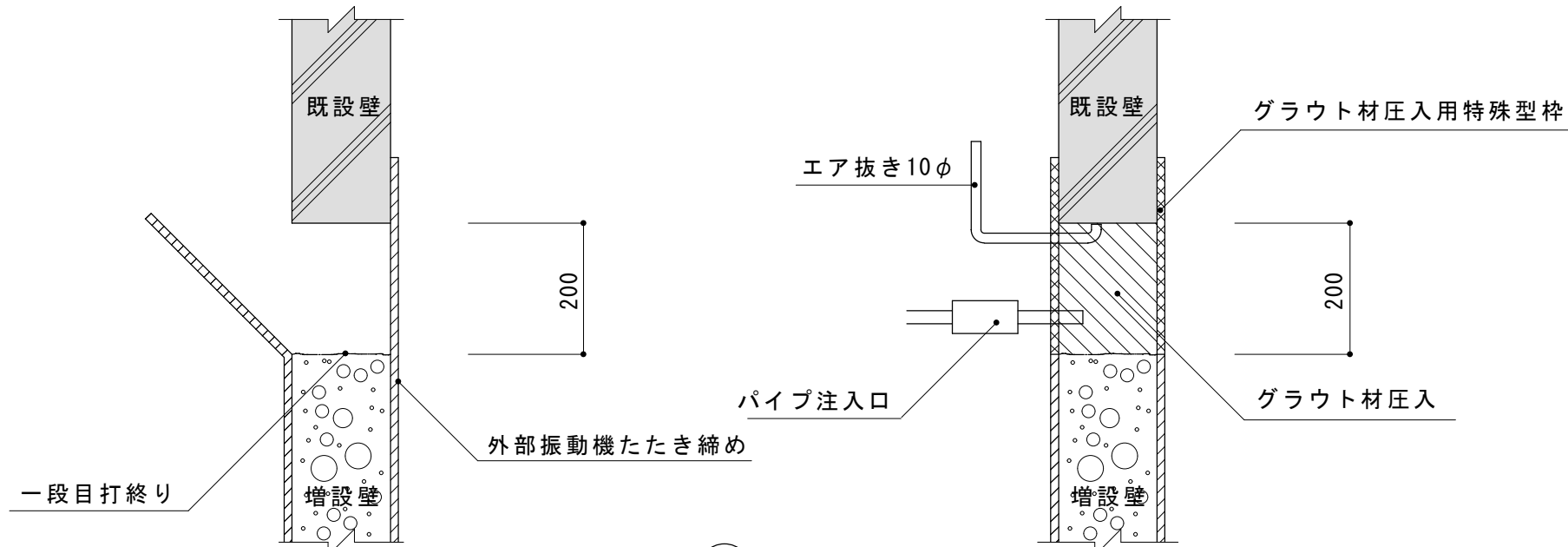
撤去・下地処理リスト

- ① スチール製又はアルミ製建具撤去
- ④ アルミ製ガラリー既存のまま

改修後



A 矢視図 S=1/50

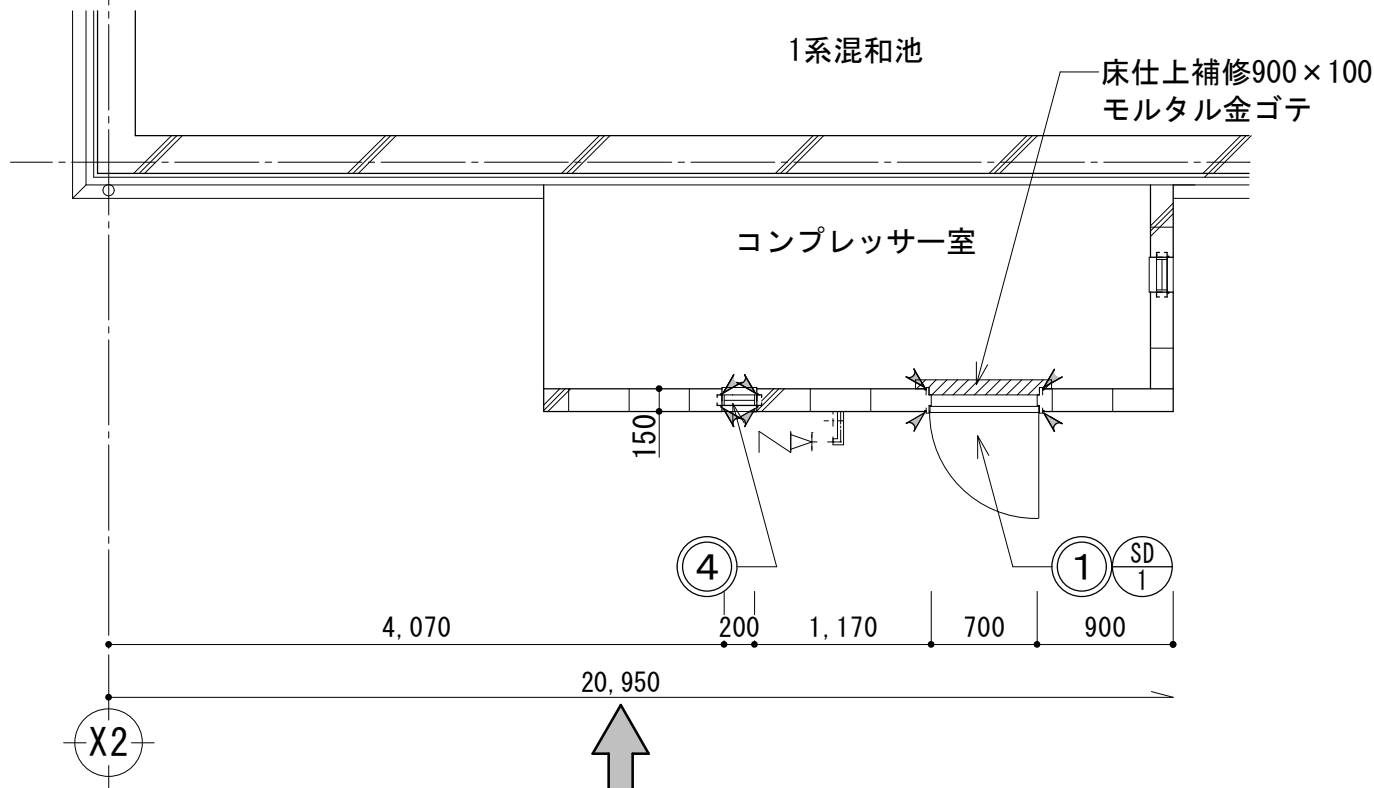


壁塞ぎのコンクリート流し込み工法詳細図 S=1/10

※ 1 箇所（既設ガラリー撤去跡）

使用材料

1	コンクリート	普通コンクリート
		$F_c=18 \text{ N/mm}^2$
		スランブ 18cm



A 矢視
平面詳細図 S=1/50

イ：シーリングを示す

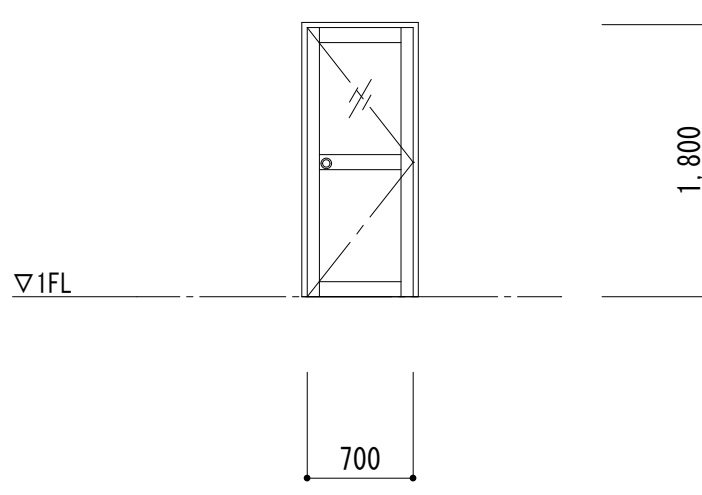
改修工事リスト

- ① 止水ドア新設
- ④ 既存アルミ製ガラリー上部移設

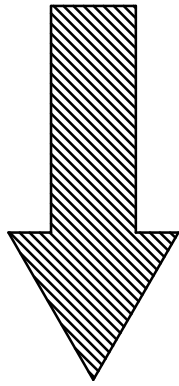
※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑧ 1 系 混 和 池 改修詳細図				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業					A - 43

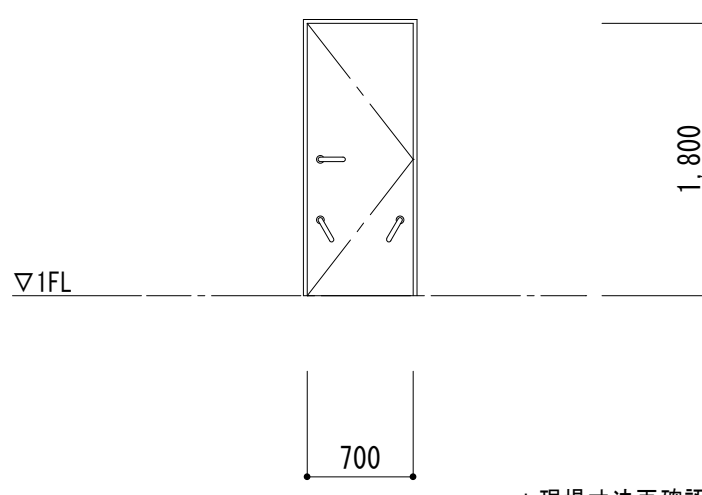
＜撤去建具＞

建具表 S-1/50		
型式・数量	1 AD アルミ製片開きドア1箇所	
型 状	1 	
使用箇所	1系混和池 コンプレッサー室-外部	
材 料 仕 上	アルミ電解着色	
見 込	枠70	
ガ ラ ス	W540×H740 網入りガラスt=6.8	
金 物	丁番・握り玉・ドアクローザー	
	順位調整器・フランス落し	
備 考	建具枠撤去においては、内外共カッター入れのこと	

※アスベスト調査箇所：建具廻りシーリング 計1ヶ所

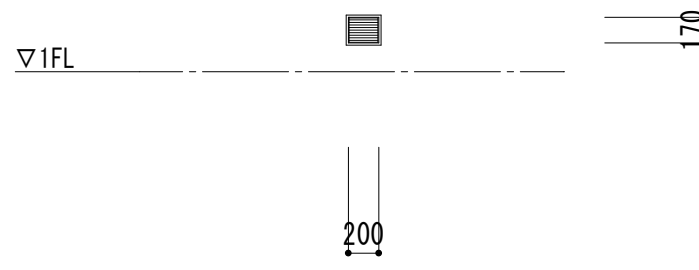


＜新設建具＞

建具表 S-1/50		
型式・数量	1 SD スチール製片開き止水ドア1箇所	
型 状	1 	
使用箇所	1系混和池 コンプレッサー室-外部	
材 料 仕 上	スチールt=1.6 DP塗装	
見 込	枠170 扉40	
ガ ラ ス	ー	
金 物	二重丁番・レバーハンドル錠・本締錠・ドアクローザー	
	止水グレモン・順位調整器・フランス落し・SUS番剛・SUS水切	
備 考	その他メーカー仕様による	
	KBM-T、P+18、105より止水高さ800mm以下、漏水量10L/(㎡・h)以下	

※建具周囲シーリングは、内外部共10×10程度を見込む

＜存置建具＞

建具表 S-1/50		
型式・数量	1 AG アルミ製ガラリ1箇所	
型 状	4 4 	
使用箇所	1系混和池 コンプレッサー室-外部	
材 料 仕 上	アルミ電解着色	
見 込	枠70	
ガ ラ ス	ー	
金 物	ー	
	ー	
備 考	建具枠移設においては、内外共カッター入れのこと	
	一時取外し、再取付	

※建具周囲シーリングは、内外部共10×10程度を見込む

撤去・下地処理リスト

- 1

スチール製又はアルミ製建具撤去
- 4

アルミ製ガラリ既存のまま

改修工事リスト

- 1

止水ドア新設
- 4

既存アルミ製ガラリ上部移設

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑧ 1 系 混 和 池 改修建具表				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				A - 44	

向町浄水場自家発電施設等更新工事
(浸水対策建築改修工事 電気設備工事部分)

工事設計図

令和 年 月 (全 枚)

特記仕様書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事場所 行田市向町 2 8 番 4 号

2. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による 延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
③管理棟	RC造 一部S造	地上2階			

(注) 延べ面積は建築基準法による表記

3. 工事種目 (●印の付いたものが対象工事種目)

建 物 別 及 び 屋 外	工 事 種 別				
工 事 種 目					屋 外
● 電灯設備	一式				
● 動力設備	一式				
○ 電気自動車充電設備	一式				
○ 電熱設備	一式				
○ 雷保護設備	一式				
○ 受変電設備	一式				
○ 電力貯蔵設備	一式				
○ 発電設備	一式				
○ 構内情報通信網設備	一式				
○ 構内交換設備	一式				
○ 情報表示設備	一式				
○ 映像・音響設備	一式				
○ 拡声設備	一式				
○ 誘導支援設備	一式				
○ テレビ共同受信設備	一式				
○ 監視カメラ設備	一式				
○ 駐車場管理設備	一式				
○ 防犯・入退室管理設備	一式				
○ 火災報知設備	一式				
○ 中央監視制御設備	一式				
○ 構内配電線路					一式
○ 構内通信線路					一式
○					
○					
○					
○					
○					

4. 指定部分 ○ 無 ○ 有 (対象部分
指定部分工期 年 月 日)

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様

1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、
●印の付いたものを適用する。
●「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) (最新版)」(以下「標準仕様書」という。)
●「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) (最新版)」(以下「改修標準仕様書」という。)
●「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) (最新版)」(以下「標準図」という。)
2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。
なお、機械設備工事の特記仕様書は (/) 図、建築工事の特記仕様書は (/) 図による。

2. 特記仕様

項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
● 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○ 風圧力 風速 (Vo= 30m/s) 地表面相区分 (Ⅲ) ○ 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表 (24)
○ 発生材の処理等について	○ 引渡しを要するもの以外は、構外に搬出し適切処理とし、搬出処理費は別途とする。
● 環境への配慮	(1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成28年2月閣議決定)」による特定調達品目の場合は、判断の基準等を満たすものとする。 (2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等)を含有しない難揮発性の可塑性を除く。)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。ただし、設計図書に規定がない場合は、監督職員と協議する。 ① 建築基準法施行令第20条の7 第 1 項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の7 第 4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第20条の7 第 1 項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④ 建築基準法施行令第20条の7 第 3 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

● 機材の品質等

(1) 本工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
(2) 下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
③ 安定的な供給が可能であること。
④ 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

機材名
・蛍光灯器具
・LED照明器具 (一般屋内用に限る)
・照明制御装置
・可変速運転用インバーター装置
・分電盤
・制御盤
・キュービクル式配電盤
・高圧スイッチギヤ (O形)
・高圧スイッチギヤ (P形)
・高圧交流遮断器
・高圧進相コンデンサ
・高圧限流ヒューズ
・高圧負荷開閉器
・高圧変圧器 (特定機器)
・交流無停電源装置
・太陽光発電装置 (パワーコンディショナ及び系統連系保護装置)
・監視カメラ装置
・中央監視制御 (監視制御装置)
・
・
・
・

● 足場その他

● 養生

● 施工図等

● 完成図等

○ 施工調査

● 電源周波数

○ 耐震措置

○ はつり

○ 天井仕上区分

● 電気工事士

○ 仮設備工事

● 配管本数、管路等

● フラッシュプレート

○ 金属管の塗装

○ インバータ装置の規約効率

● 機器取付高さ

○ 接地極

● 他工事又は他工種との
取り合い

仮電源 (○ 受変電)
(○ 発電)
仮設備期間 (○ 図示)

分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は、図面と相違しても差し支えない。ただし、相違する場合は監督職員の承認を受ける。

フラッシュプレートは、図面に記載がない場合、
(● 金属製 (ステンレス、新金属を含む) ○ 樹脂製) とする。

下記の露出配管は塗装を行う。
(○ 屋外の配管 ○)

三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は、次の数値以上とする。

電動機出力 (kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45
規約効率 (%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5

【備考】(1)規約効率は、JEM-TR 245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。
(2)規約効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V、IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

図面に記載がない場合は、表－1「機器標準取付高さ」による。

図面に記載がない場合は、表－2「接地極一覧表」による。

図面に記載がない場合は、工事区分表による。

表－1 機器標準取付高さ

名称	測点	取付高 [mm]	名称	測点	取付高 [mm]
積算計器	地上～窓中心	1,800～2,000	壁掛形観時計	床上～中心	1,500
引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200	子時計	〃	(天井高)×0.9
分電盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	壁掛形スピーカ	〃	(天井高)×0.9
			壁付アッテネータ	〃	1,300
スイッチ	床上～中心	1,300			
〃 (多機能トイレ)	〃	1,100	情報表示盤	床上～中心	(天井高)×0.9
コンセント (一般)	〃	300	壁付発信機	〃	1,300
〃 (和室)	〃	150	ベル、ブザー、チャイム	〃	2,300
〃 (合上)	台上～中心	150～200	壁付押しボタン (一般)	〃	1,300
〃 (車椅子用)	床上～中心	900			
ブラケット (一般)	〃	2,100～2,300			
〃 (踊場)	〃	2,000～2,500			
〃 (鏡上)	鏡上端～中心	150			
			外部受付用インターホン(子機)	「標準図」による。	
			壁付インターホン(上記以外)	床上～中心	1,300
			壁付呼出ボタン(多機能トイレ)	〃	900
壁掛形制御盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	機器収容箱	天井下～上端	200
開閉器箱	〃	1,500	テレビ端子直列ユニット(一般)	床上～中心	300
制御用スイッチ	〃	1,300	〃	(和室)	150
端子盤 (室内)	床上～下端	300			
集合保安器箱	天井下～上端	200			
壁付電話機 (一般)	床上～中心	1,300	受信機・副受信機	床上～操作部	800～1,500
			機器収容箱	〃	800～1,500
			発信機	床上～中心	800～1,500
			警報ベル	〃	2,300
			表示灯	〃	2,100
			液化石油ガス検知器	床上～上端	300

注) 天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さでは機器の使用に支障がある場合は、監督職員と協議する。

表－2 接地極一覧表

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格・数量
○ 共同接地	E _{A・B・C・D}	Ω 以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連一組
○ 共同接地	E _{A・C・D}	10Ω 以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連一組
○ A種	E _A	10Ω 以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連一組
○ B種	E _B	Ω 以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連一組
○ C種	E _C	10Ω 以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連一組
○ D種	E _D	100Ω 以下	EB(D=10, L=1,000 又は W=30, L=900)×1
○ D種	E _D	100Ω 以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連一組
○ 高圧避雷器用	E _{LH}	10Ω 以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連一組
○ 交換装置用	E _t	10Ω 以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連一組
○ 通信用 (10Ω)	E _{A t}	10Ω 以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連一組
○ 通信用 (100Ω)	E _{D t}	100Ω 以下	EB(D=10, L=1,000 又は W=30, L=900)×1
○ 電話引込口の保安器	E _{L t}	100Ω 以下	EB(D=10, L=1,000 又は W=30, L=900)×1
○ 測定用	E _o	Ω 以下	EB(D=10, L=1,500 又は W=30, L=1,200)×1

工事名

向町浄水場自家発電施設等更新工事

工事場所

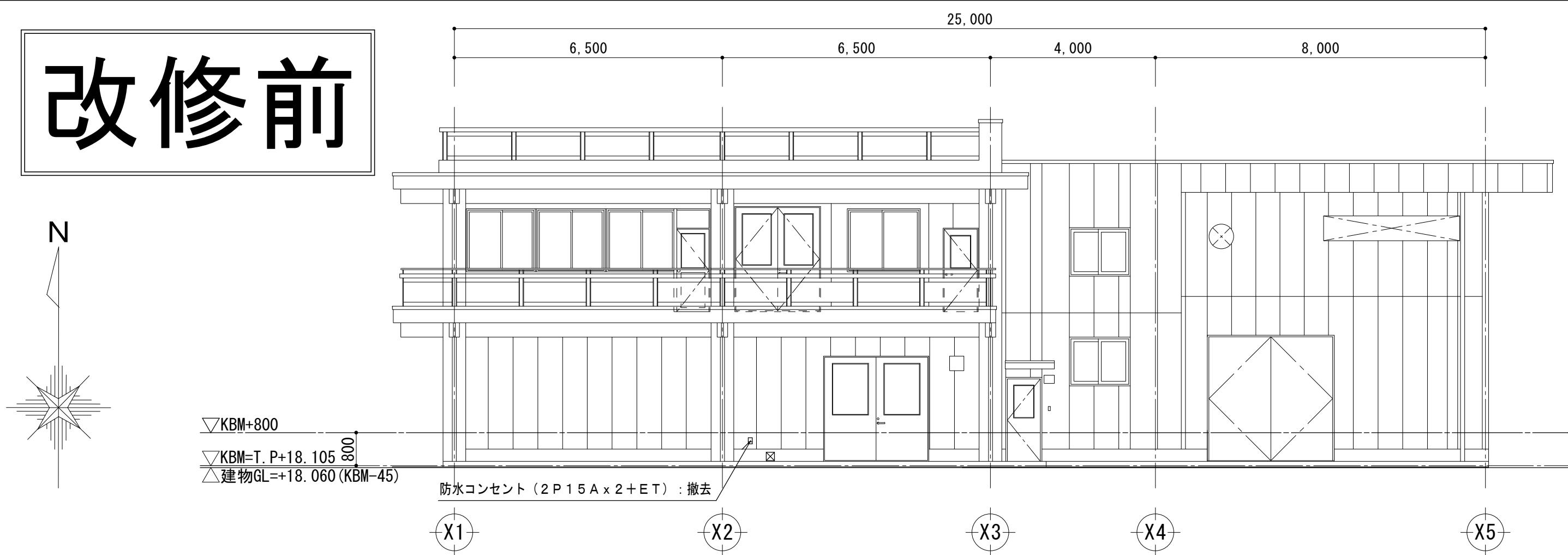
行田市向町28番4号

図面名称

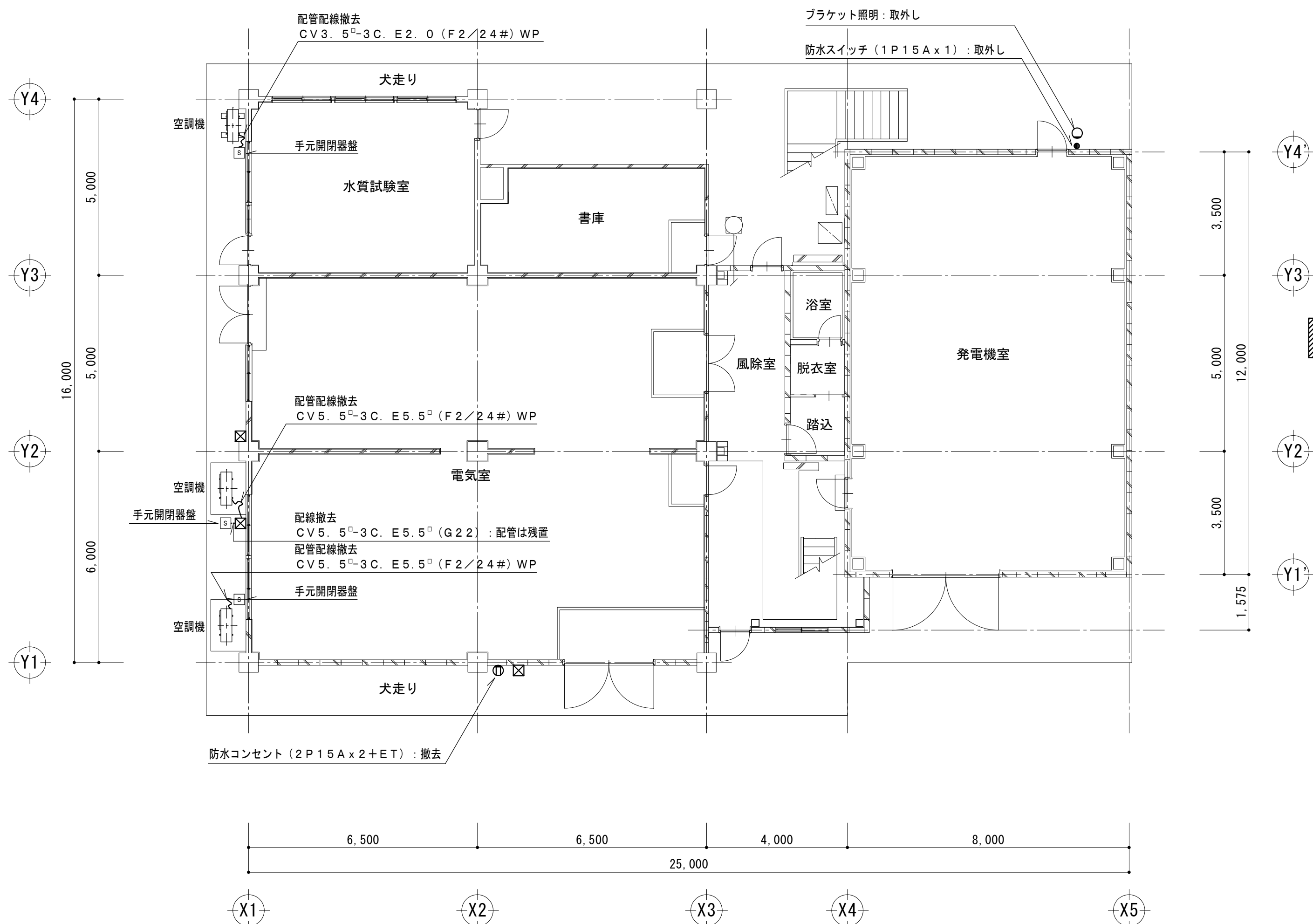
建築電気設備工事特記仕様書

課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺
内山	田島	長谷見	栗原	S=NONE
				図面番号
				AE - 01

改修前



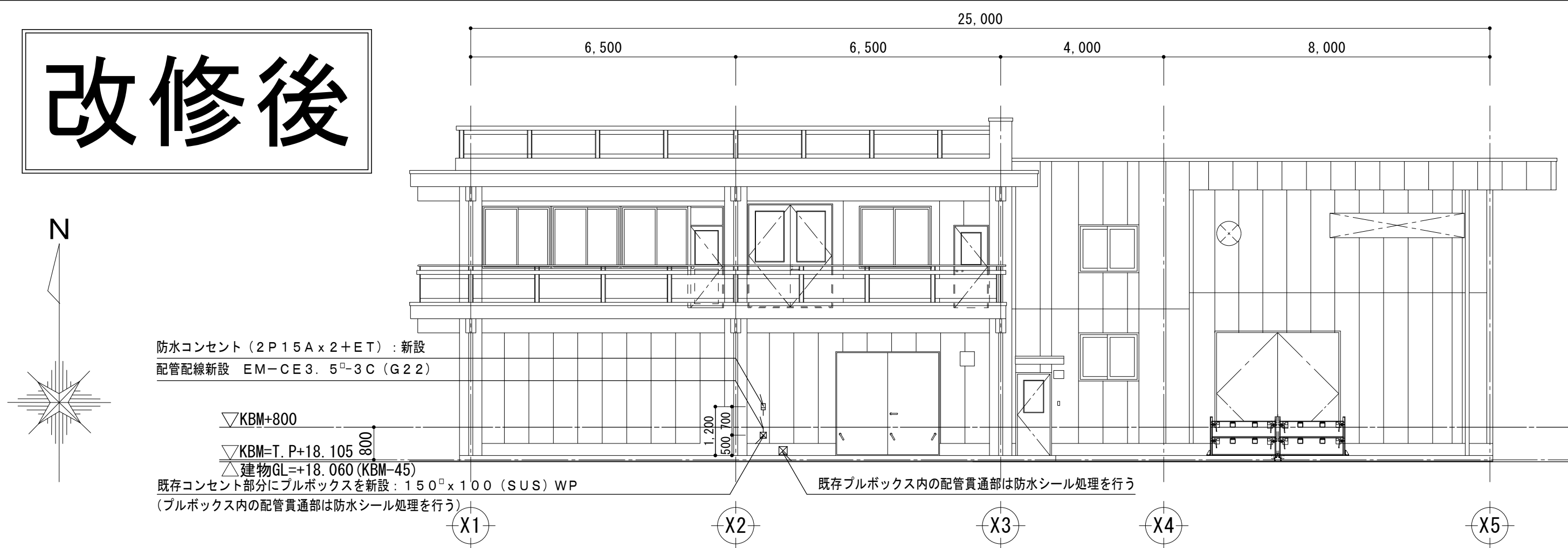
南側立面図 S=1/100



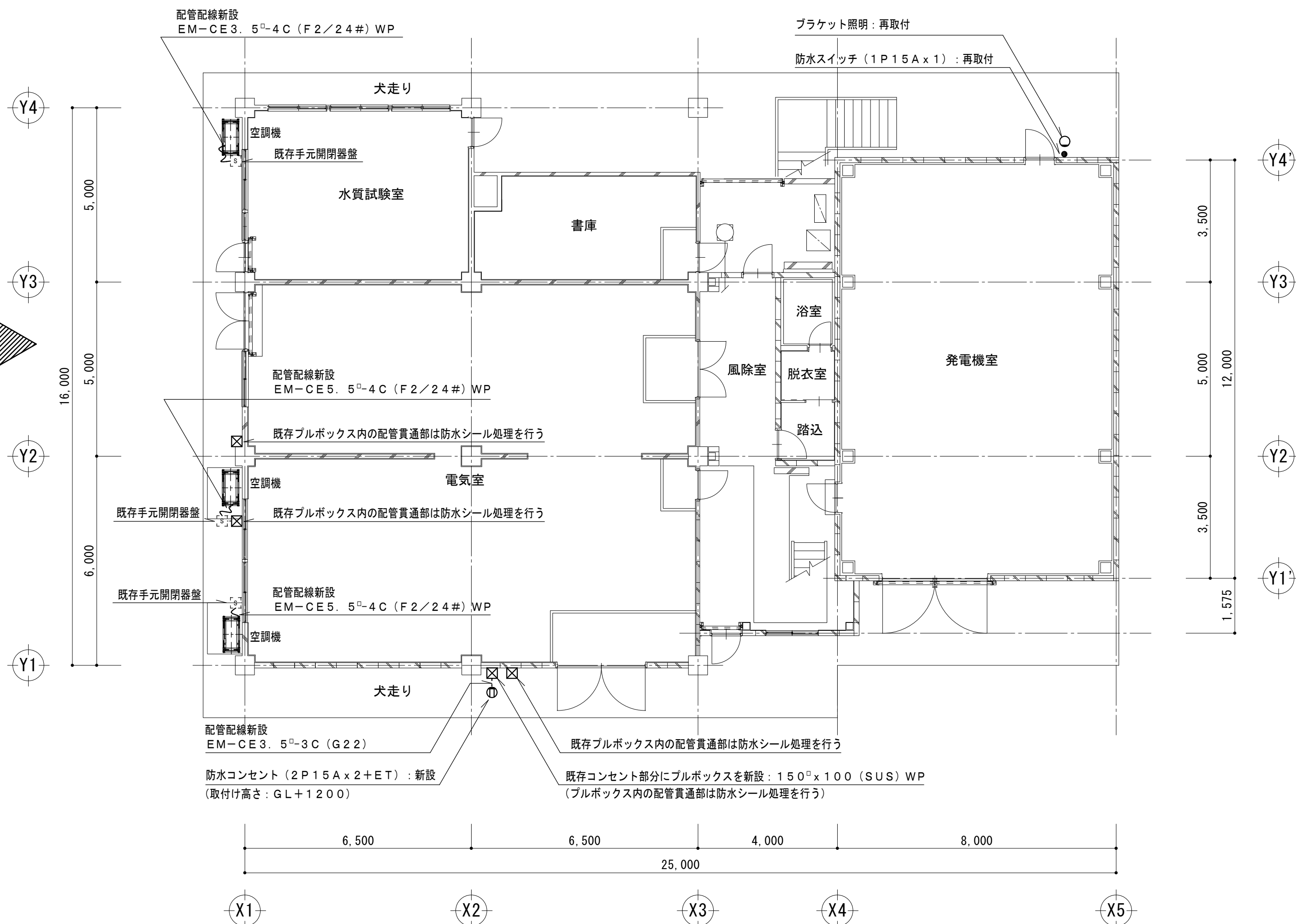
1階平面図 S=1/100

注記
1. 本図中、---部分を対象とする。

改修後



南側立面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100

注記
1. 本図中、---部分を対象とする。
2. 新設防水コンセントは浸水対策として、位置を調整すること。

※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は
監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	③ 管 理 棟 建築電気設備平面図 (改修前・後)				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原		S=1/100
				図面番号	
行田市水道事業					AE-02

向町浄水場自家発電施設等更新工事 工事設計図				令和 年 月 (全 枚)	
仕様書					
1. 工 事 概 要					
1. 工事場所 行田市向町28番4号					
2. 建物概要					
建 物 名 称		構 造	階 数	建築基準法による 延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分
①県水受入室		RC造	地上1階		
③管理棟		RC造 一部S造	地上2階		
⑤2系配水ポンプ室		RC造	地上1階		
⑧1系混和池		RC造	地上2階		
3. 工事種目 (●印を付けたものを適用する)					
建物別及び屋外 工 事 種 目		工事種別			
		①県水受入室	③管理棟	⑤2系配水ポンプ室	⑧1系混和池
● 空気調和設備			改設一式		
● 換気設備		改設一式			
○ 排煙設備					
○ 自動制御設備					
○ 衛生器具設備					
○ 給水設備					
● 排水設備			改設一式		改設一式
● 給湯設備			改設一式		
○ 消火設備					
○ 厨房設備					
○ ガス設備					
○ 雨水利用設備					
○ 排水処理設備					
● 撤去工事		撤去一式	撤去一式	撤去一式	撤去一式
4. 指定部分 ●無 ○有 対象部分 (指定部分工種: 令和 年 月 日)					
5. 設備概要 (●印の付いたものを適用する) ※改修工事の場合は既存概要を示す。					
方式及び種別		設 備 概 要			
空 調 方 式		○ 空気調和 ○単一ダクト方式 ○全空気方式			
主 要 熱 源 機 器		○ ファンコイルユニット・ダクト併用方式 ○			
自 動 制 御 方 式		○ 電気式 ○電子式 ○デジタル式			
給 水 方 式		○ 高置タンク方式 ○ポンプ直送方式 ○水道直結方式 ○水道直結増圧方式			
排 水 方 式		建物内の汚水と雑排水 (○ 合流式 ○分流式) ポンプ排水 ○あり (○汚物 ○雑排水 ○湧水) ○なし 建物外放流先 (1) 汚 水 ○ 直放流下水管 (2) 雑排水 ○ 直放流下水管 (3) 排水槽 ○ あり (計画容量: 汚水槽 ㎡、雑排水槽 ㎡) ○なし			
消 火 設 備 の 種 類		○ 屋内消火栓設備 ○スプリンクラー設備 ○ 泡消火設備 ○連結放水方式 ○ 連結送水管 ○ 不活性ガス消火設備 (○)			
ガ ス の 種 類		○ 都市ガス (種別 13A、高位発熱量45.0MJ/㎡ (N)、 低位発熱量40.6MJ/㎡ (N) 供給圧力 Pa、供給事業者名)			
6. 改修内容: 改修工事の場合に記載する。 					
2. 工 事 仕 様					
1. 共通仕様					
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁営繕部制定の下記標準仕様書等のうち、●印の付いたものを適用する。 ● 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)(以下「標準仕様書」という。) ● 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)(以下「改修標準仕様書」という。) ● 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(最新版)(以下「標準図」という。)					
(2) 電気設備工事及び建築工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの特記仕様書を適用する。 なお、電気設備工事の工事仕様は、(/) 図、建築工事の工事仕様は、(/) 図による。					
2. 特記仕様					
章、項目、特記事項共に●印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。					
章 項 目	特 記 事 項				
● 一般共通事項	● 適用区分 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○ 風圧力 風速 (V= 30 m/s) 地表面粗度区分 (Ⅲ) ○ 積雪荷重 建設告示第1455号における区域 別表 (24)				
● 環境への配慮	(1) 本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (平成12年法律第100号) に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針 (令和4年2月閣議決定)」による特定調達品目の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努める。ただし、公共工事分野の特定調達品目の機材を使用する場合は、判断の基準を満たすものとする。 (2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性 (フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等) を含わずに難揮発性の可塑剤を除く) が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。				
● 材料・機材の品質等	(1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 別表-1に機材等名が記載された製造業者等は次の1) から6) すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書類を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者名等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものについては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。				

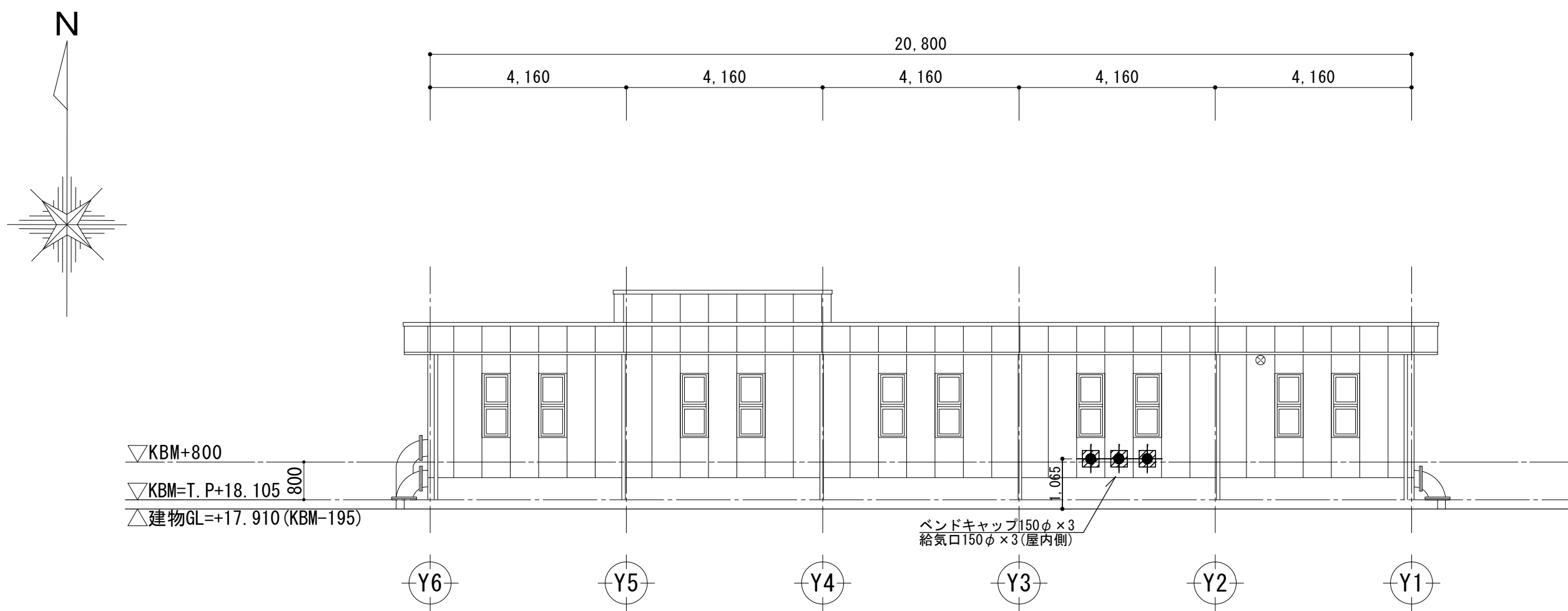
● 工事用仮設物 ● 足場その他	構内につくることが ● できる ○ できない ● 別契約の関係受注者が定義したものは無償で使用できる。 (○ 建築工事 ○ 電気設備工事 で設置する。) ○ 本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ○ 内部足場等 (○ 種 ○ 種) ○ 外部足場等 (○ 種 ○ 種)																																																										
○ 建設発生土の処理	○ 埋戻し後の建設発生土は、監督職員と協議し、構内の決定した場所に敷きならしとする。 ○ 場外搬出適切な処理 ○ 現場説明書による。																																																										
○ 埋戻し土・盛土 ○ 運転操作説明板	○ 掘切り土中の良質土 ○ 山砂の類 系統図、機器等の取扱い方及び重要な定期点検項目を記載したアクリル樹脂製の板を機械室に設置する。説明板の大きさは約 mとする。																																																										
● 機材の承諾図 ○ 総合試運転調整	機械設備工事機材承諾図様式(令和4年版)によるほか、監督職員との協議による。 ○ 本工事 ○ 別途 調整項目(測定箇所等は監督職員の指示による。) ○ 風量調整 ○ 水量調整 ○ 室内外空気の温度湿度の測定 ○ 室内気流及びじんあいの測定 ○ 騒音の測定 ○ 飲料水の水質の測定 ○ 雑用水の水質の測定 換気扇、圧力層及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による換気扇品としてよい。																																																										
○ 電動機	● 50Hz ○ 60Hz (1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。																																																										
○ 容量等の表示	設備機器の固定は施設の分類に応じた次による。 (1) 設計用水平地震力 設計用水平地震力は、機器の質量[kN](水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量)に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。																																																										
● 耐震施工	設計用標準水平震度 <table><thead><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">● 特定の施設</th><th colspan="2">○ 一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>※一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">上層階 屋上及び塔屋</td><td>機器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中間階</td><td>機器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">地階・1階</td><td>機器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></tbody></table> ・上層階とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 ・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。 ・水槽類にはオイルタンクを含む。 ・重要機器は次のものを示す。 (名称) (記号) (名称) (記号) (名称) (記号) (名称) (記号) (名称) (記号) (名称) (記号) (2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。 (1) ステンレス鋼管の接合は、下記による。 ○呼び径60 S U以下 (S A S 3 2 2を満足した継手) (2) 溶接部の非破壊検査 ○不要 ○要 (取次率) (標準仕様書(機械設備工事編)による) (%) (1) 各種配管の試験は、新設配管に適用する。 (2) 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。 図示の位置に取り付ける。 (1) 地中埋設機 ○要 (図示の箇所) ○不要 (2) 埋設表示用テープ ○要 (排水管を除く) ○不要 ○屋外露出部の(○機器類) (○配管類)には(○凍結防止ヒーター) (○防凍保温)を行う。 なお、配管類には弁類を含むものとする。 (対象機器類) (○) (○) (○) (対象配管類) (○給水配管) (○消火配管) (○膨張管) (○ドレン管) (○) 凍結防止ヒーター：自己サーモとし、防凍保温を施す。 防凍保温：標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5による。 ：ただし、保温厚さは配管の呼び径25以下は50mm以上、呼び径32以上は40mm以上とする。 ○共同溝、トレンチの保温は(標準仕様書第2編の施工箇所)を適用する。 ○多温箇所は下記による。(天井井共通温箇所とする。) (対象室名) (○) (○) ○屋内露出部の(○実験室) (○)の保温外装は(○アルミガラスクロス)とする。 露出機材の塗装及び仕上げは下記による。 ○屋外： (○ドレン管) (○指定色塗装) (○) (○冷却水管) (○指定色塗装) (○) ○金属電線管 (○溶融亜鉛メッキ仕上げ(付着量300g/m ²)) (○指定色塗装) (○指定色塗装) ○屋内： (○ダクト) (○指定色塗装) (○) (○排水管・通気管) (○指定色塗装) (○) 電線及びE Mケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。 ()書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。 (○槽内) (○)の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製(SUS 304)とする。 事前調査 ○ 本工事 ○ 別途 調査内容 調査項目 ○ 既存資料調査 調査範囲 ○ 図示 ○ 調査方法 ○ 図示 ○ ○はつり及び穿孔作業を行う場合、事前に走査式埋設物調査を行い報告すること。 ○石綿含有分析調査 (○本工事) (○別途工事) 穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる附属装置等を用いて施工する。 ○他工事との工事区分 図面に特記なき場合は、工事区分表による。		機器種別	● 特定の施設		○ 一般の施設		重要機器	※一般機器	重要機器	一般機器	上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
	機器種別			● 特定の施設		○ 一般の施設																																																					
		重要機器	※一般機器	重要機器	一般機器																																																						
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																						
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																						
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																						
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																						
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						

○ 空気調和設備	○ 設計温湿度	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="2" rowspan="2">外 気</th> <th colspan="6">屋 内 (調 整 目 標)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th colspan="2">温 度 (DB)</th> <th colspan="2">湿 度 (RH)</th> <th colspan="2">温 度 (DB)</th> <th colspan="2">湿 度 (RH)</th> </tr> <tr> <th rowspan="4">夏期</th> <th>9時</th> <td>℃</td> <td>%</td> <td rowspan="4">℃</td> <td rowspan="4">%</td> <td rowspan="4">℃</td> <td rowspan="4">%</td> <td rowspan="4">℃</td> <td rowspan="4">%</td> <td rowspan="4">℃</td> <td rowspan="4">%</td> </tr> <tr><th>12時</th><td>℃</td><td>%</td></tr> <tr><th>14時</th><td>℃</td><td>%</td></tr> <tr><th>16時</th><td>℃</td><td>%</td></tr> <tr> <th colspan="2">冬期</th> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table>			外 気		屋 内 (調 整 目 標)						一 般 系 統		温 度 (DB)		湿 度 (RH)		温 度 (DB)		湿 度 (RH)		夏期	9時	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	12時	℃	%	14時	℃	%	16時	℃	%	冬期		℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%
							外 気		屋 内 (調 整 目 標)																																														
			一 般 系 統		温 度 (DB)				湿 度 (RH)		温 度 (DB)		湿 度 (RH)																																										
	夏期	9時	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																											
		12時	℃	%																																																			
14時		℃	%																																																				
16時		℃	%																																																				
冬期		℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																												
○ 鋼板製煙道	伸縮継手、掃除口及びばいじん量測定口の位置は図示による。 鋼板厚 (O3.2mm O4.5mm)																																																						
○ ダクト	○ 低圧ダクト (○コーナールボルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) とする。 ○スパイラルダクト (○低圧 ○) ○高圧1ダクト (適用範囲は図示による。) とする。 ○ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの適用範囲及び仕様は図示による。 図示した位置に取り付ける。																																																						
○ 風量測定口	(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機に取り付けるサブライチャンバー、レタランチャンバー及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設ける。なお、大きさは図示による。 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。																																																						
○ チャンバー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (○遠隔復帰式 ○) (2) ビストンダンパー 復帰方式 (○遠隔復帰式 ○)																																																						
● 配管材料	○ 蒸気管 給気管	○ 配管用炭素鋼鋼管 (黒) ○ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) (Sch40) ○ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) (Sch80) ○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管																																																					
	配管 送管	○ 配管用炭素鋼鋼管 (黒) (Sch40) ○ 配管用炭素鋼鋼管 (黒) (Sch80) ○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管																																																					
	(2) 油 管	○ 配管用炭素鋼鋼管 (黒) ○																																																					
	(3) 冷温水管	○ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ○																																																					
	(4) 冷却水管	○ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ○																																																					
	(5) 高温水管	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 ○																																																					
	(6) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管	○ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ○																																																					
	(7) 冷媒管	● 断熱材被覆鋼管 ○																																																					
	(8) ドレン管	○ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ● 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)																																																					
	○ 弁類	JIS又はJV (○5K ○10K (図示部分)) ○65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。 ○鋼管用伸縮継手の種類は図示による。 ○ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 図示の位置に取り付ける。																																																					
○ 温度計・圧力計	図示の位置に取り付ける。なお、瞬間流量計 (○図定形 ○着脱形) とする。																																																						
○ 瞬間流量計	制御盤には (○遠隔警報 ○) の端子を設ける。なおフロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。																																																						
○ 油面制御装置	標準仕様書第2編3.1.4によるほか、次による。 ○ 漏りダクト (Rダクト) の保温範囲は (○図示による ○) ○ 外気ダクト (OAダクト) の保温範囲は (○図示による ○) ○ 蒸気配管の保温不要 (屋内露出は除く)。 ○ 膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。																																																						
○ 保温及び消音内貼	○ 建物の内エア抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。(エア抜き弁以降の配管は除く) ○ 暗渠内 (ビット内を含む) の空調用ドレン管は保温 (○有 ○無) とする。 ● 冷媒管の保温外装は次による。 ○ 図示による。 ○ 屋内露出箇所 (○保温化粧ケース (材質:)) ● 屋外露出箇所 (●ステンレス鋼板 ○)																																																						
○ 換気設備	○ ダクト	○ 低圧ダクト (○コーナールボルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) とする。 ○ 高圧1ダクト (適用範囲は図示による。) とする。 ○ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの適用範囲及び仕様は図示による。 ○ 厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より1番手厚いものを使用する。 図示した位置に取り付ける。 空気調和設備の当該項目による。 ○ 浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統 ○ 厨房系統 ○ 空気調和設備の当該項目による。 次のダクトは保温を行う。 ○ 全熱交換ユニットの外気ダクトの保温要 (保温範囲、仕様は図示による) ○ 全熱交換ユニットの排気ダクトの保温要 (保温範囲、仕様は図示による) ○ 厨房 ○ 湯沸室 の 隠ぺいダクト (仕様はh・f・IX) とし、範囲は図示による。																																																					
	○ 風量測定口																																																						
	○ ダンパー																																																						
	○ 排気ダクトのシール																																																						
	○ チャンバー																																																						
	○ 保温																																																						
	○ 排煙設備	○ ダクト ○ 垂鉛鉄板 ○ 普通鋼板 (厚1.6mm ○) ○ 図示による。																																																					
	○ 排煙口手動開放装置 (開放及び復帰方式)	○ 電気式 (遠隔操作 ○要-○不要) ○ワイヤー式																																																					
	○ 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書 (2016年版) ((一財)日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準じる。																																																					
	○ 自動制御設備	○ 中央監視制御装置	○ 有り (○新設 ○既設) ○ 無し 別図による。																																																				
○ システム構成・機能		電線及びFIMケーブルは、標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11 による。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。																																																					
○ 電気計装用配線																																																							
○ 自動洗浄装置及びその組み込み小機器		○ 個別感知フラッシュ方式 (○AC電源 ○自己発電)																																																					
○ 衛生器具設備	○ 標記板	○ 要 (材質:) (○大便器 ○小便器 ○)																																																					
	○ 自動水栓の電源供給方式	○ AC電源 ○自己発電 ○乾電池																																																					
	○ 衛生器具ユニット	○ 図示による。																																																					
	○ 衛生器具付属水栓	水抜栓を使用する場合は、水栓は固定こま式とする。																																																					
	○ 大便器洗浄弁	○ 電気開閉式 ○手動式																																																					

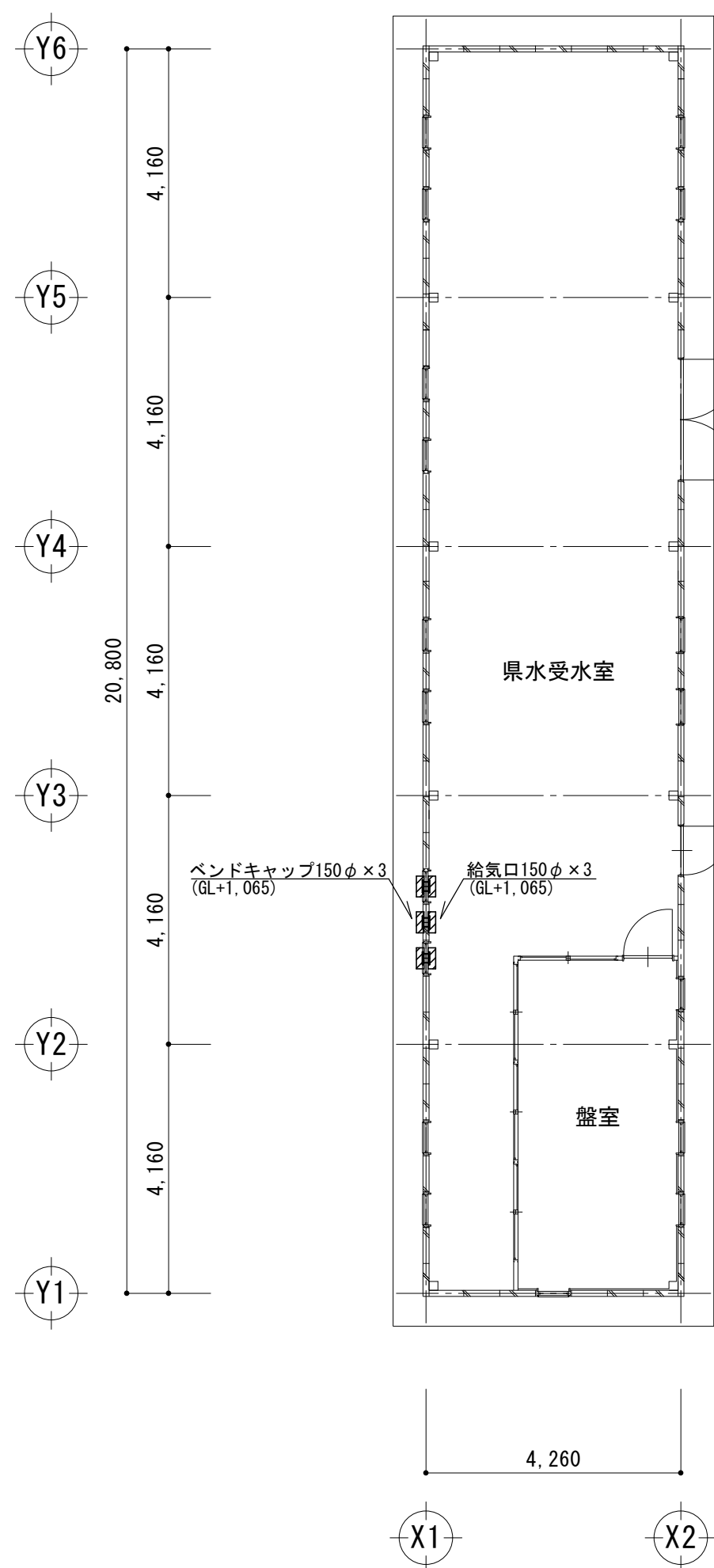
● 配管材料 ○ 量水器 ○ 量水器樹 ○ 弁類 ○ 水栓 ○ 管の地中埋設深さ ○ 水栓柱 ○ 建物導入部配管 ○ 引込納付金等	(1) 一般配管 ●塩ビライニング鋼管 (VA) (上水) ○塩ビライニング鋼管 (VB) (雑用水) ○ステンレス鋼鋼管 (SUS 304) ○ (2) 地中埋設配管 ○塩ビライニング鋼管 (VD) ○ ○ステンレス鋼鋼管 (SUS 316) (3) 水道直結配管 ○引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中埋設配管は (○) として、他の部分は(1)による。 ○親メーター (貸与品) ○現地表示式 (直読式) ○遠隔表示式 (○電文式 ○) ○子メーター (買取品) ○現地表示式 (直読式) ○遠隔表示式 (○電文式 ○) ○水道事業者指定品 (○貸与品 ○買い取り (材質:)) ○標準図MC形 JIS又はJV ○水道直結部分 (○10K ○) ○その他の部分 (○5K ○) ○逆止弁の衝撃吸収式はライニング不要とする。 ○ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 ○台所流し用の水栓は泡沫式とする。 ○水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。 (○ただし、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする) 管の上端より原則として、一般敷地は (cm) 構内道路は (cm) 以上とする。 ○合成樹脂製 ○アルミニウム合金製 ○人達石とぎ出し製 ○ステンレス鋼製 ○標準図 (建築物導入部の変位吸収配管要領) の ○ (a) ○ (b) ○ (c) による。 ○ポリエチレン配管の施工要領は図示による。 ○要 (○別途工事 ○本工事) ○不要
● 配管材料 ○ 洗面器等の排水管 ○ 満水試験継手 ○ 放流納付金等	(1) 屋 内 汚水管 ○排水用塩ビライニング鋼管 ○ 雑排水管 ○排水用塩ビライニング鋼管 ○ ○配管用炭素鋼鋼管 (白) (厨房高温排水系統) 通気管 ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ ポンプアップ排水管 ○排水用ノンターエルエポキシ塗装鋼管 ○ (2) 屋 外 第一樹まで ○排水用塩ビライニング鋼管 ●硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) 樹間 ○排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (REP-VU) 洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 台所流し等の床上部分の配管は、ビニル管 (RF-VP) でもよい。 大便器、小便器、洗面器及び掃除用流しとの接続管は、ビニル管 (RF-VP) とする。 図示の位置に取り付ける。 ○要 (○別途工事 ○本工事) ○不要
● 配管材料 ○ 弁類 ○ 保温	○ステンレス鋼鋼管 (SUS 304) ●耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-HVA) JIS又はJV (○5K ○10K (図示部分)) ○ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排水筒 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種別は標準仕様書第2編 3.1.5 表2.3.5のh・(イ)・Rとする。
○ 配管材料 ○ 屋内消火栓種別 ○ 屋内消火栓開閉弁 ○ 保温 ○ 不活性ガス消火設備 ○ 泡消火設備	(1) 屋内消火栓 一般 ○ステンレス鋼鋼管 (SUS 304) ○ 地中 ○ステンレス鋼鋼管 (SUS 316) ○ (2) 連絡送水管 一般 ○圧力配管用炭素鋼鋼管 (白) (Sch40) 地中 ○圧力配管用炭素鋼鋼管 (白) (Sch40) ○広範囲型2号消火栓 ○易操作型1号消火栓 ○1号消火栓 ○2号消火栓 ○10K ○屋外露出部分 ○あり (○e2・(n)・Ⅶ ○) ○なし 別図による。 別図による。
○ システム ○ 機器の機能等	○ドラッグシステム ○ 図示による。
○ 配管材料 ○ 充てん容器 ○ 集合装置 ○ 転倒防止等 ○ メーター ○ ガス漏れ警報器 ○ 漏洩検知装置 ○ 電気防食 ○ 引込負担金等	○都市ガス ガス事業者の供給規定による。 ○液化石油ガス (1) 一般配管 ○ (2) 地中配管 ○ 別途 (○50kg ○ ○) × 本 標準図 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による 本組 標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) の (○ (a) ○ (b)) による。 ○親メーター (貸与品) ○実測式 ○バルス式 (バルス発信機は ○買い取り) ○子メーター (買取) ○実測式 ○バルス式 ○本工事 (図示による) ○別途工事 外部警報端子 (○無 ○有) ○要 ○不要 ○要 ○不要 ○要 (○別途工事 ○本工事) ○不要
○ システム構成その他 ○ 配管材質 ○ 弁類	別図による。 (1) 一般配管 ○ (2) 集水管 ○ JIS又はJV (○5K ○)
○ 仕様等 ○ 設備方式	別図による。 ○排水再利用 ○浄化槽 ○厨房除害
● 撤去内容 ○ 発生材の処理	●図示による ○現場説明書による。

工事名	向町浄水場自家発電施設更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	建築機械設備工事特記仕様書				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内 山	田 島	長谷見	栗原	S=NONE	
				図面番号	
行田市水道事業				AM-01	

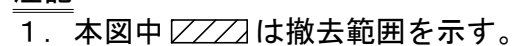
改修前



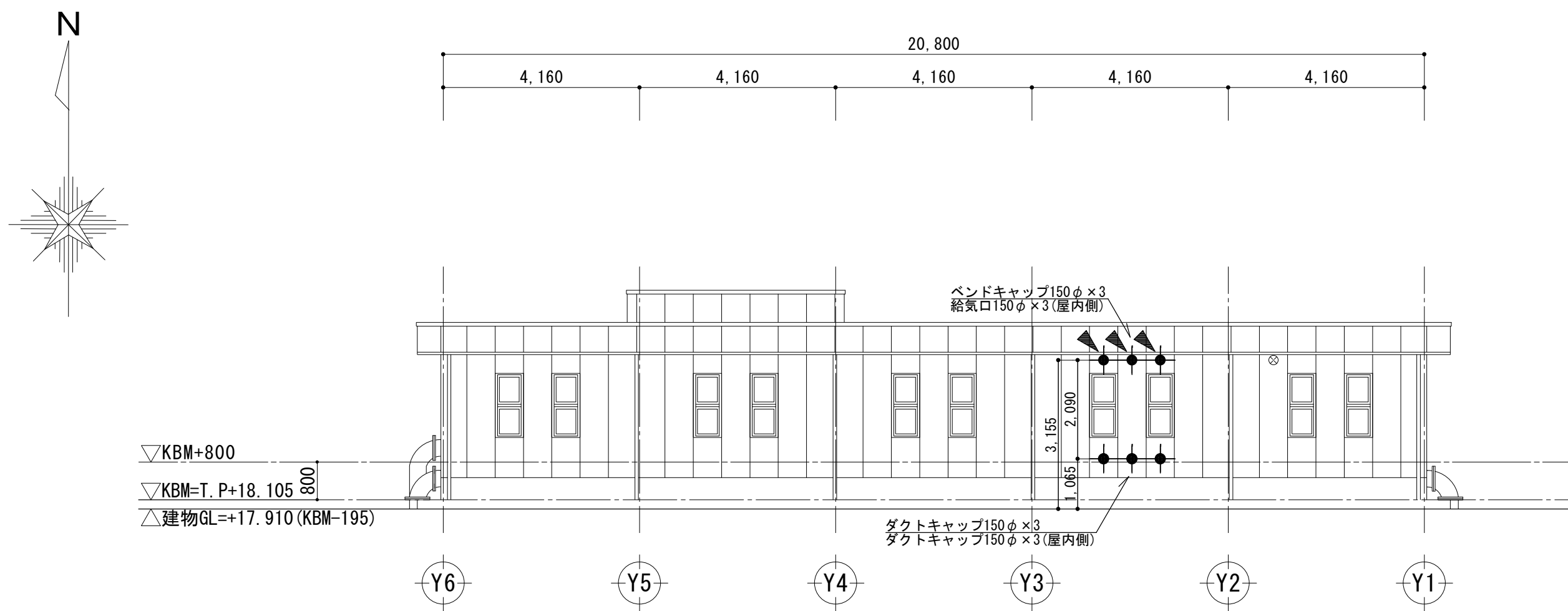
西側立面図 S=1/100



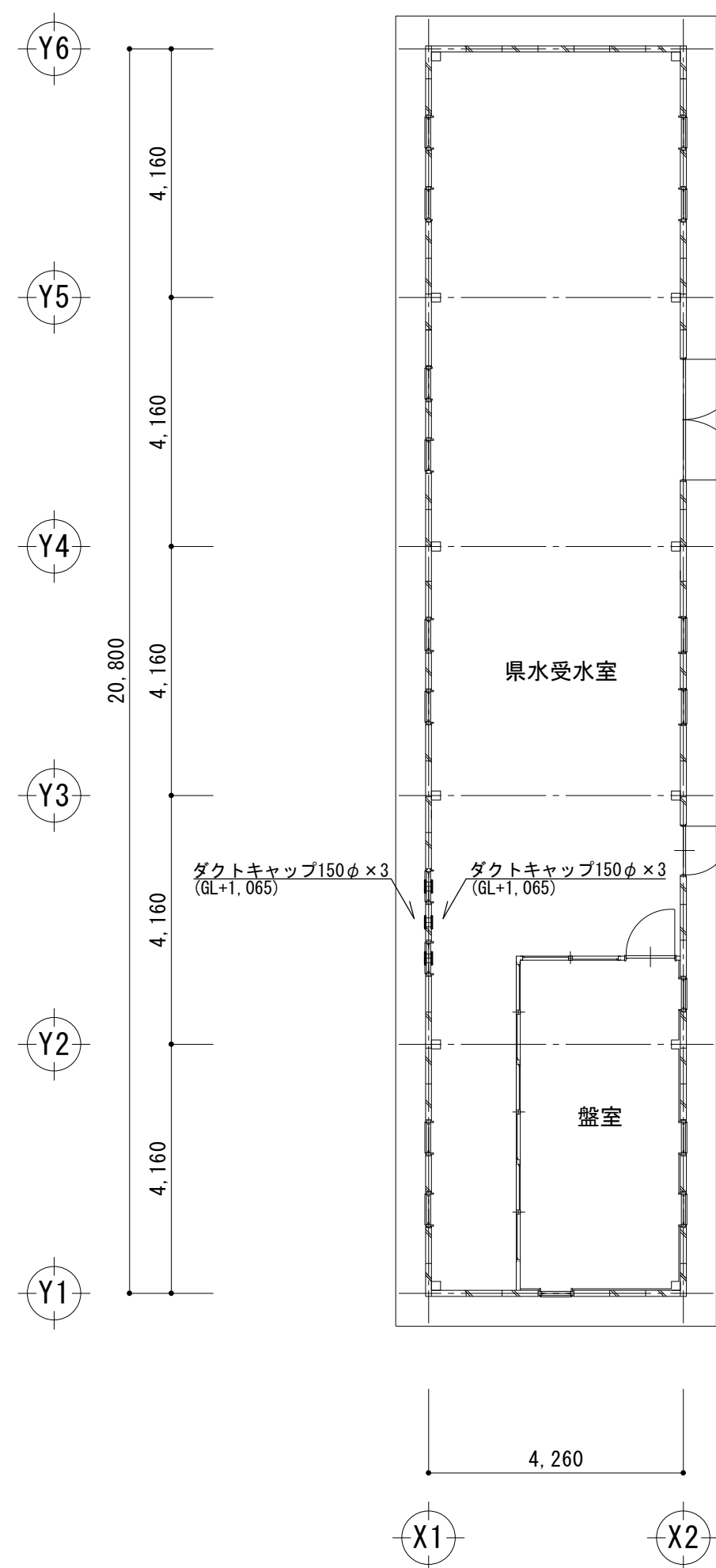
1階平面図 S=1/100

注記
1. 本図中  は撤去範囲を示す。

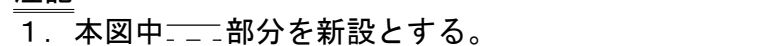
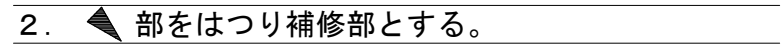
改修後

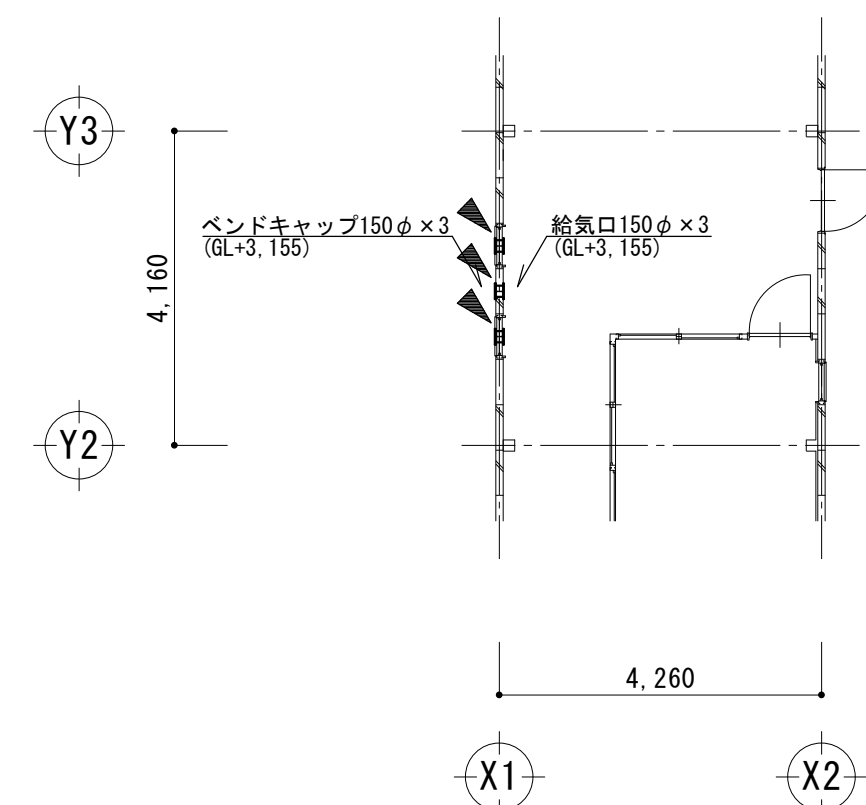


西側立面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100

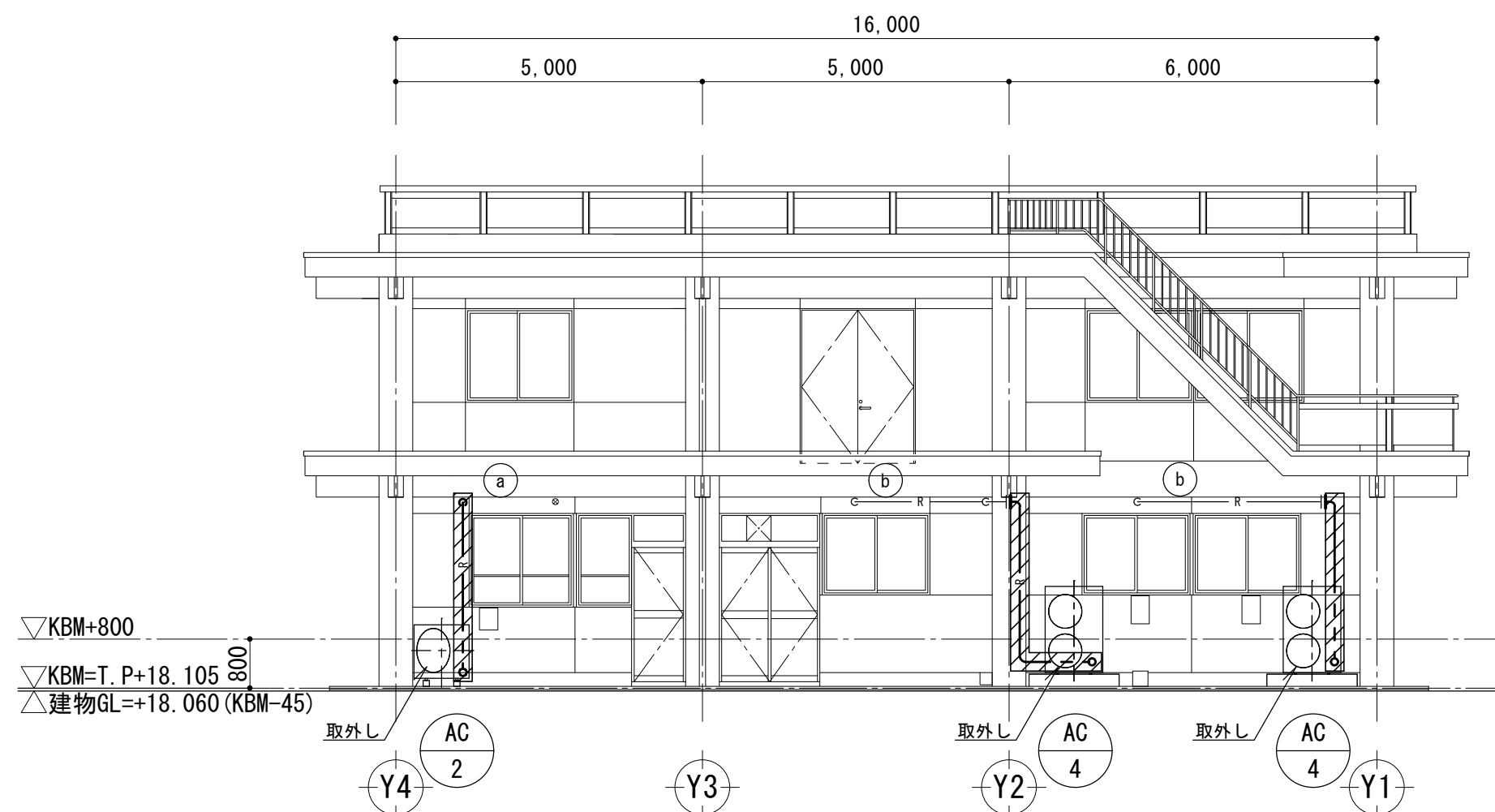
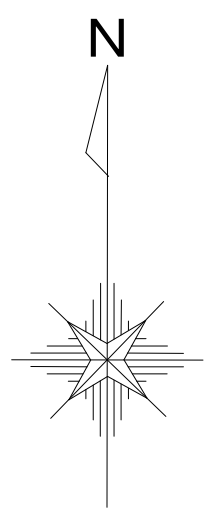
注記
1. 本図中  部分を新設とする。
2.  部をはつり補修部とする。
3. 新設給気口は浸水対策として、位置を調整すること。



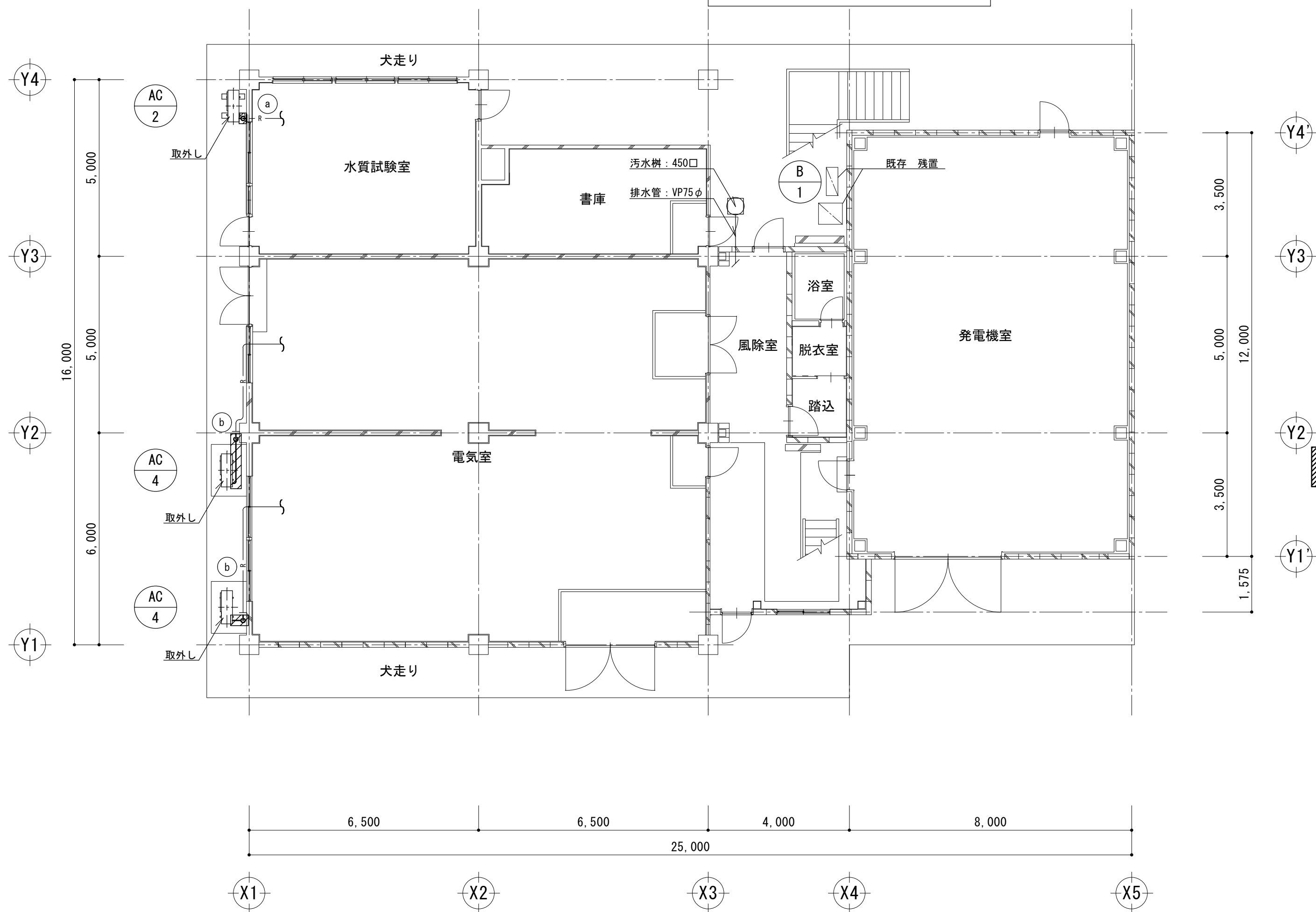
※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	① 県水受水室 建築機械設備平面図・立面図 (改修前・後)				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/100	
					図面番号
行田市水道事業					AM-02

改修前



西側立面図 S=1/100



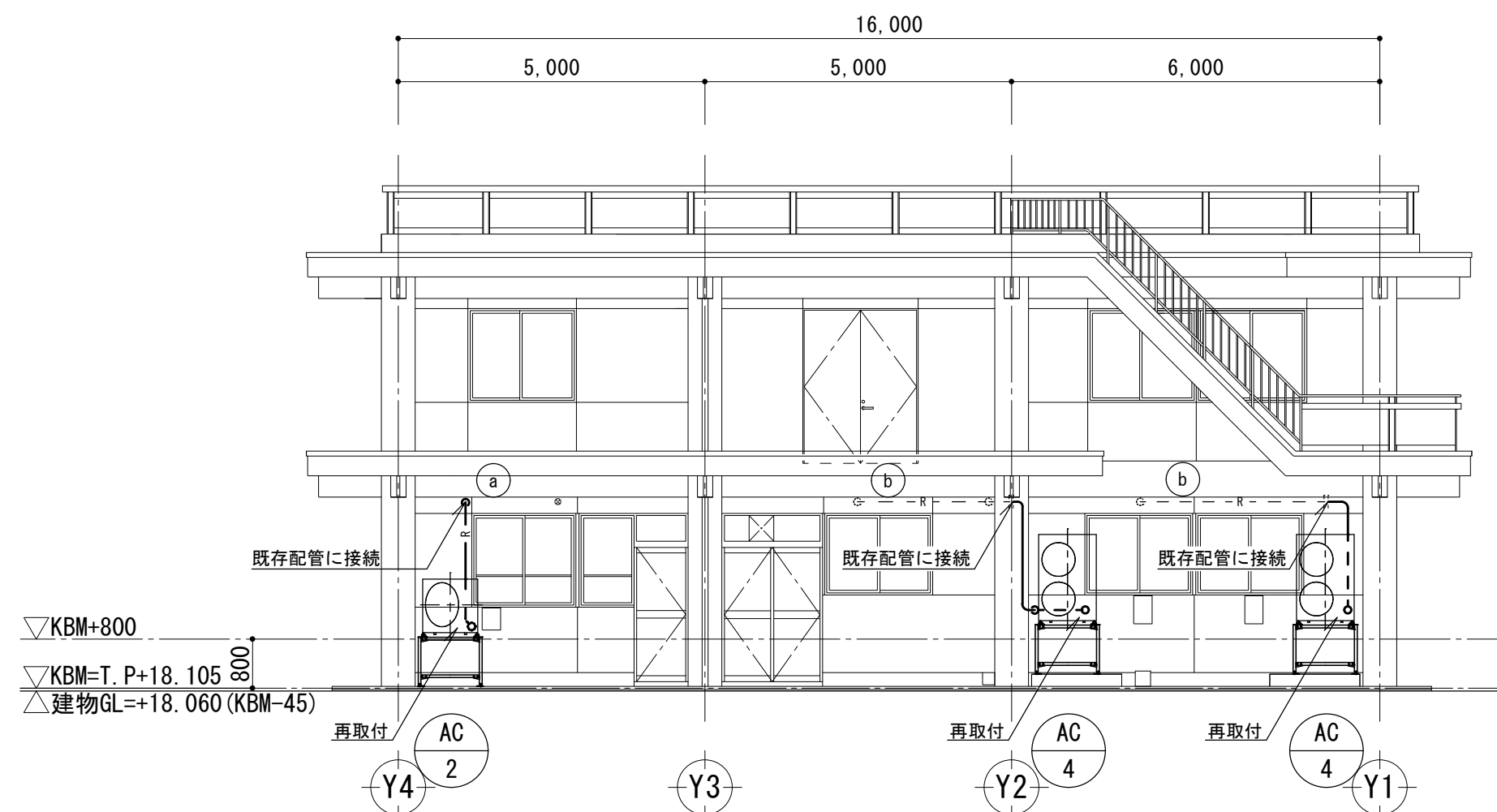
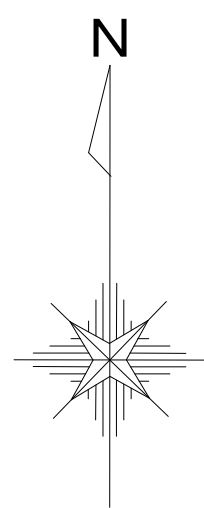
1 階平面図 S=1/100

機 器 表		仕 様	電 気 容 量		台 数	設 置 場 所		備 考
記号	機器名称		相	電圧(V)	出力(W)	階	室名	
AC-2	室外機	形 式: 空冷ヒートポンプ式セパレートインバータエアコン 冷 房 能 力: 7.1kW 暖 房 能 力: 8.0kW 付属品: 基礎ブロック 防振ゴム その他付属品共	3	200	3300	1	1 屋外	一時取外し 圧縮機出力: 1.9kW
AC-4	室外機	形 式: 空冷ヒートポンプ式セパレートインバータエアコン 冷 房 能 力: 25.0kW 付属品: 防振ゴム その他付属品共	3	200	9480	1	1 屋外	一時取外し 圧縮機出力: 7.5kW コンクリート基礎
B-1	給湯器	形 式: 家庭用ヒートポンプ給湯機 容 量: 370L 付属品: リモコン その他標準付属品共	1	200	4500	1	1 屋外	残置 HE-S37LQ

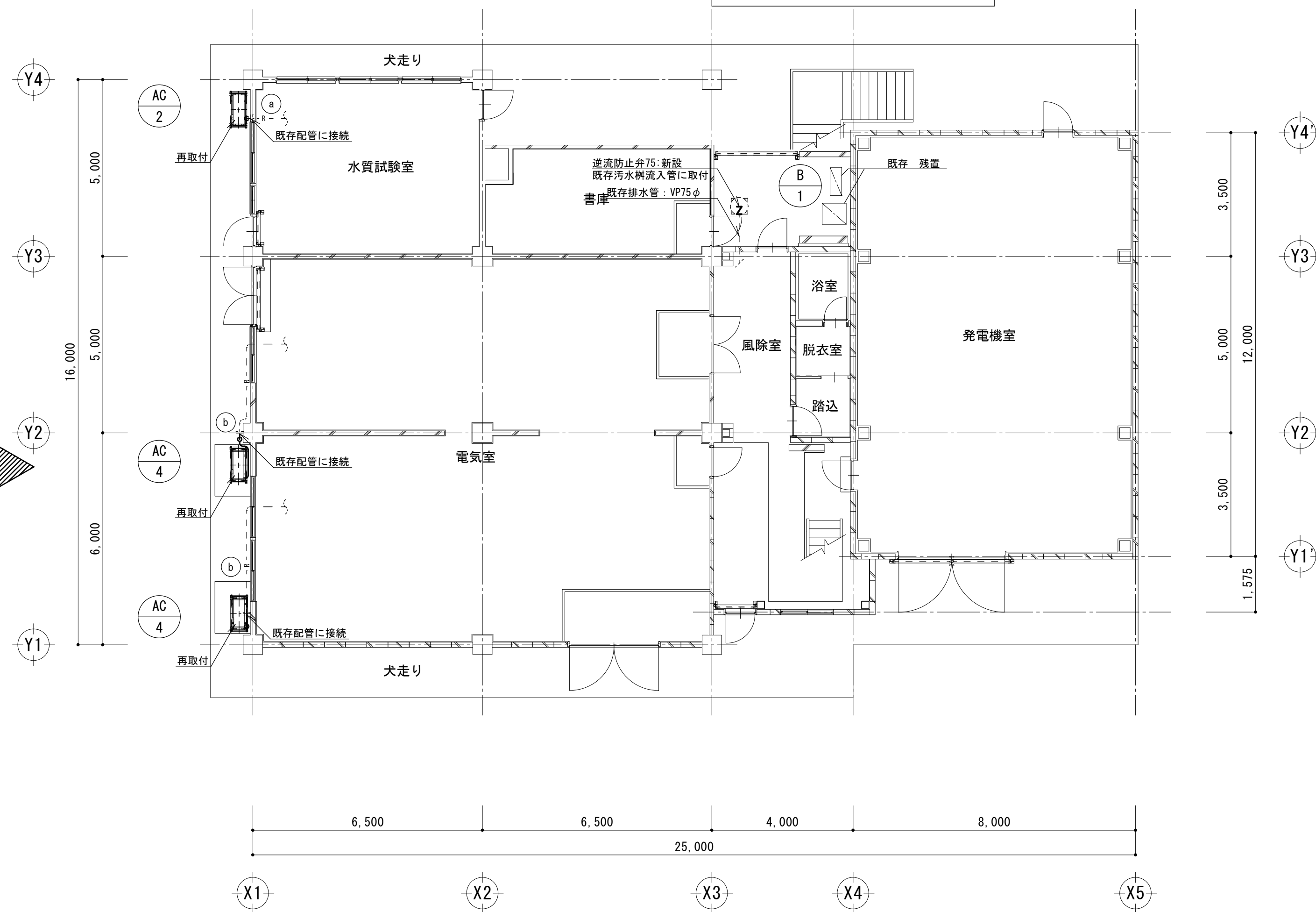
凡 例			
記号	冷媒管(液管/ガス管)	ドレン管	
(a)	9.5φ/15.9φ	VP20	
(b)	12.7φ/25.4φ	VP20	

- 注記
- 本図中 は撤去範囲を示す。
 - 本図中 部分を対象とする。

改修後



西側立面図 S=1/100



1 階平面図 S=1/100

機 器 表		仕 様	電 気 容 量		台 数	設 置 場 所		備 考
記号	機器名称		相	電圧(V)	出力(W)	階	室名	
AC-2	室外機	形 式: 空冷ヒートポンプ式セパレートインバータエアコン 冷 房 能 力: 7.1kW 暖 房 能 力: 8.0kW 付属品: その他付属品共	3	200	3300	1	1 屋外	再取付 高置台新設 転倒防止金具新設
AC-4	室外機	形 式: 空冷ヒートポンプ式セパレートインバータエアコン 冷 房 能 力: 25.0kW 付属品: その他付属品共	3	200	9480	1	1 屋外	再取付 高置台新設 転倒防止金具新設
B-1	給湯器	形 式: 家庭用ヒートポンプ給湯機 容 量: 370L 付属品: リモコン その他標準付属品共	1	200	4500	1	1 屋外	残置 HE-S37LQ

- 注記
- 機器能力は表示能力以上とする。

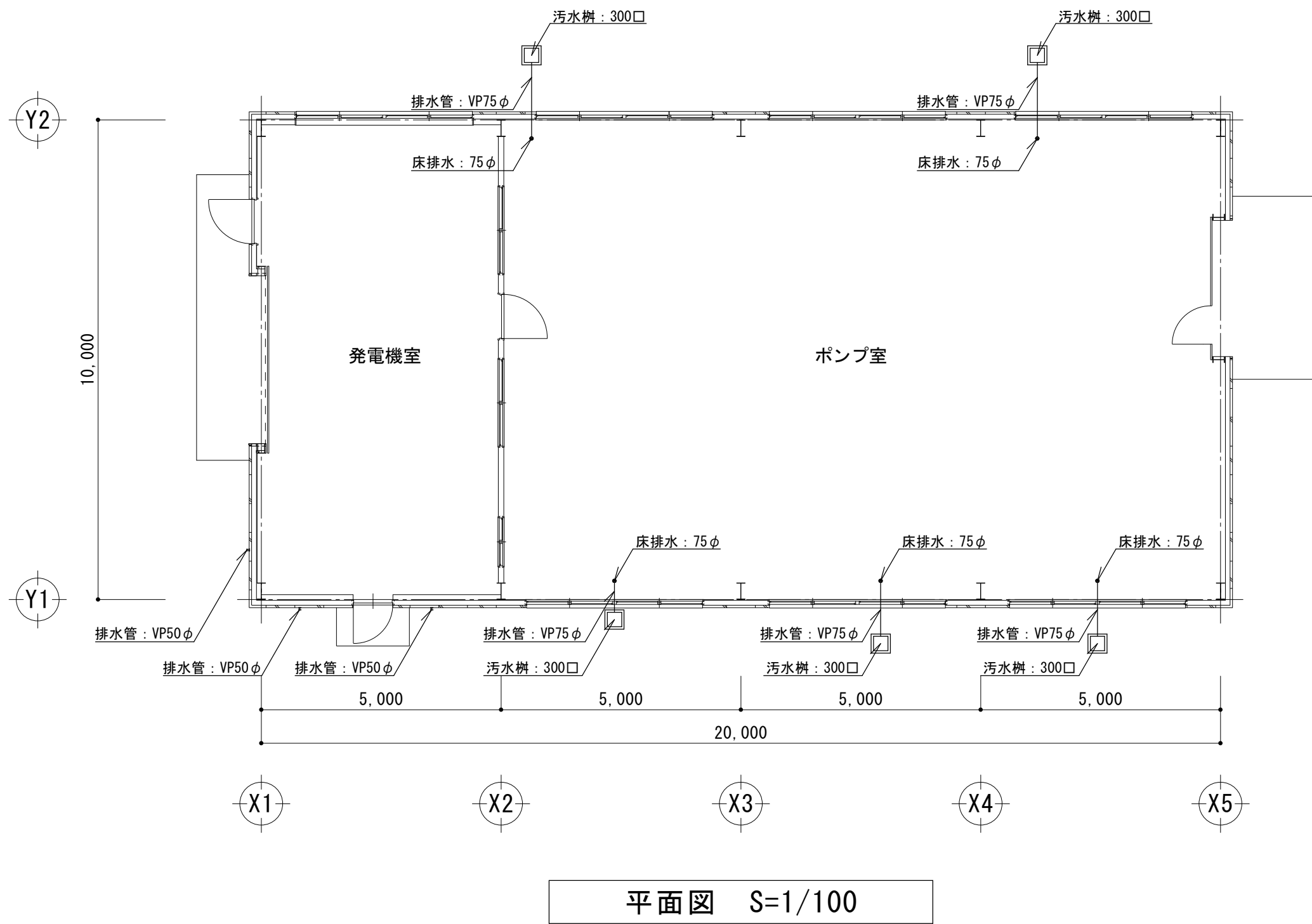
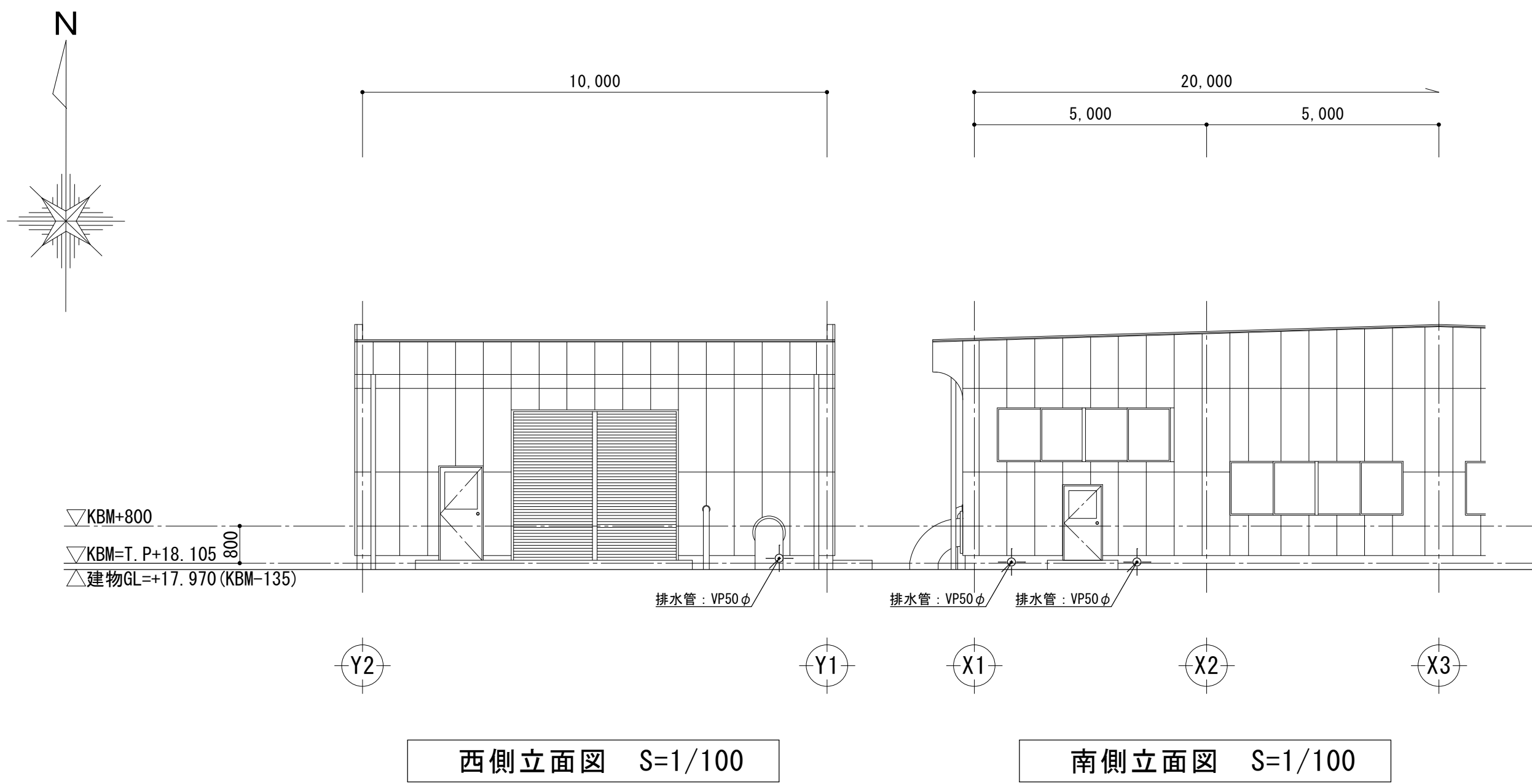
- 注記
- 本図中 部分を新設とする。
 - 既存空調機は浸水対策として、位置を調整すること。

凡 例			
記号	冷媒管(液管/ガス管)	ドレン管	
(a)	9.5φ/15.9φ	VP20	
(b)	12.7φ/25.4φ	VP20	

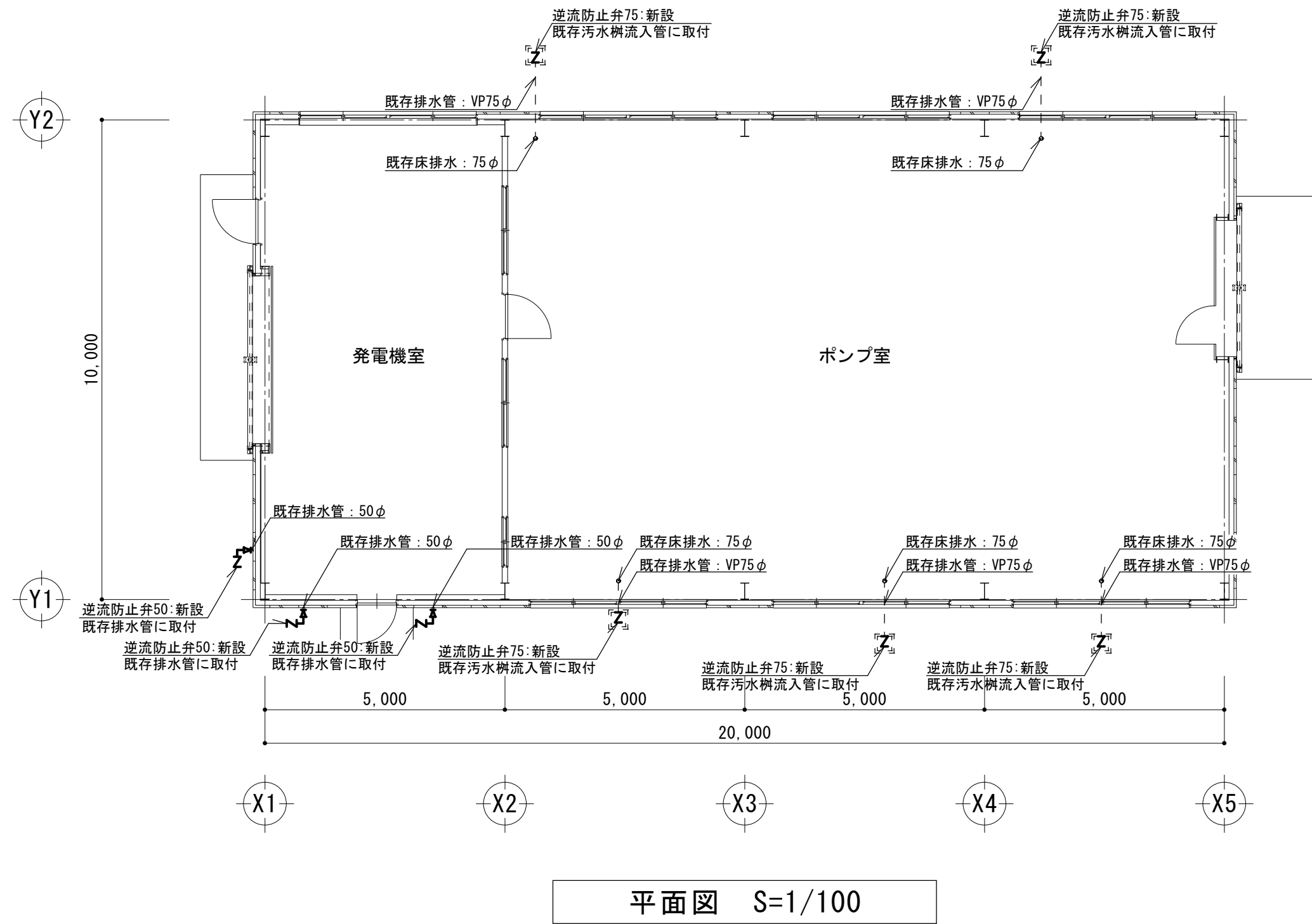
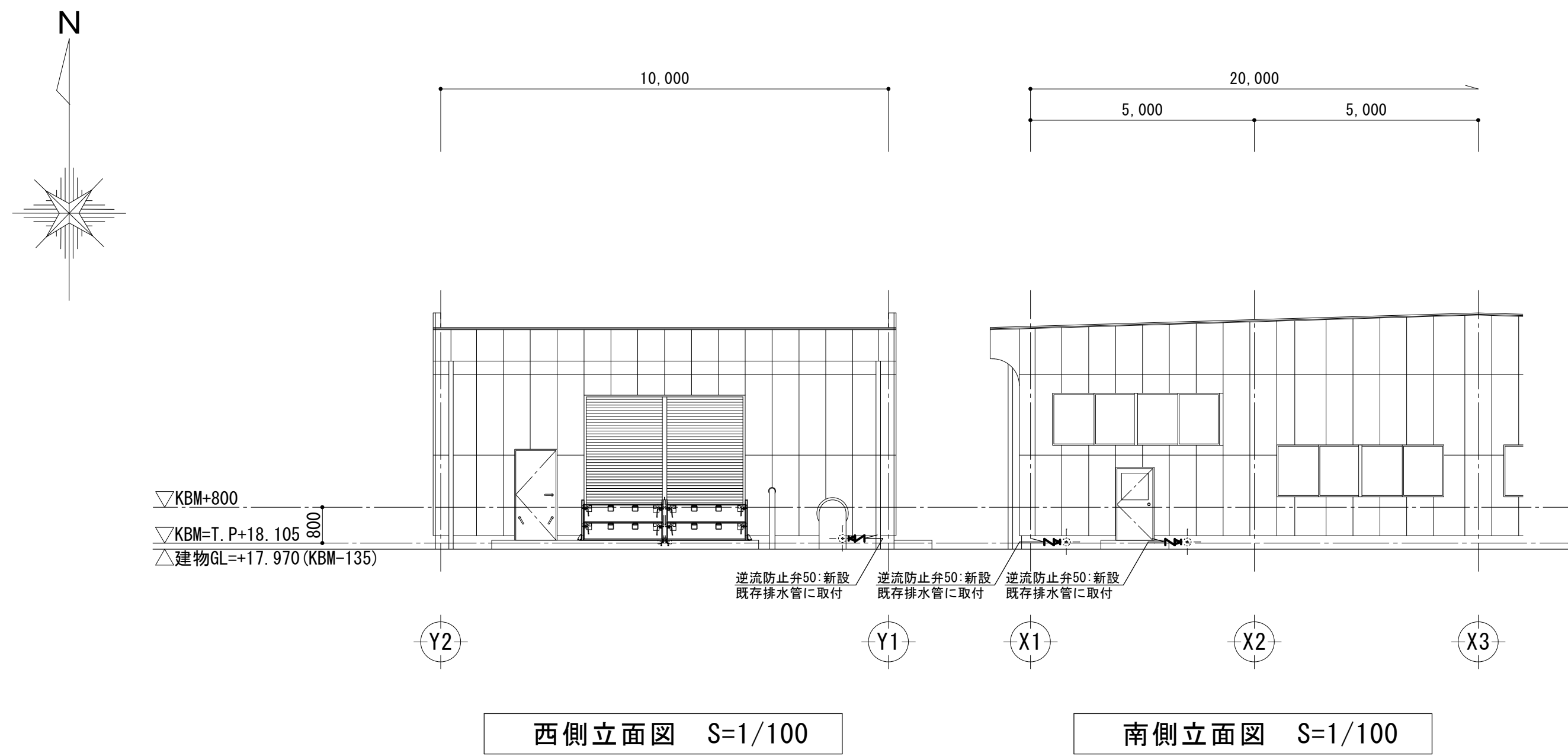
※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	③ 管 理 棟 建築機械設備平面図・立面図 (改修前・後)				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田 島	長谷見	栗原		S=1/100
					図面番号
行田市水道事業					AM-03

改修前



改修後

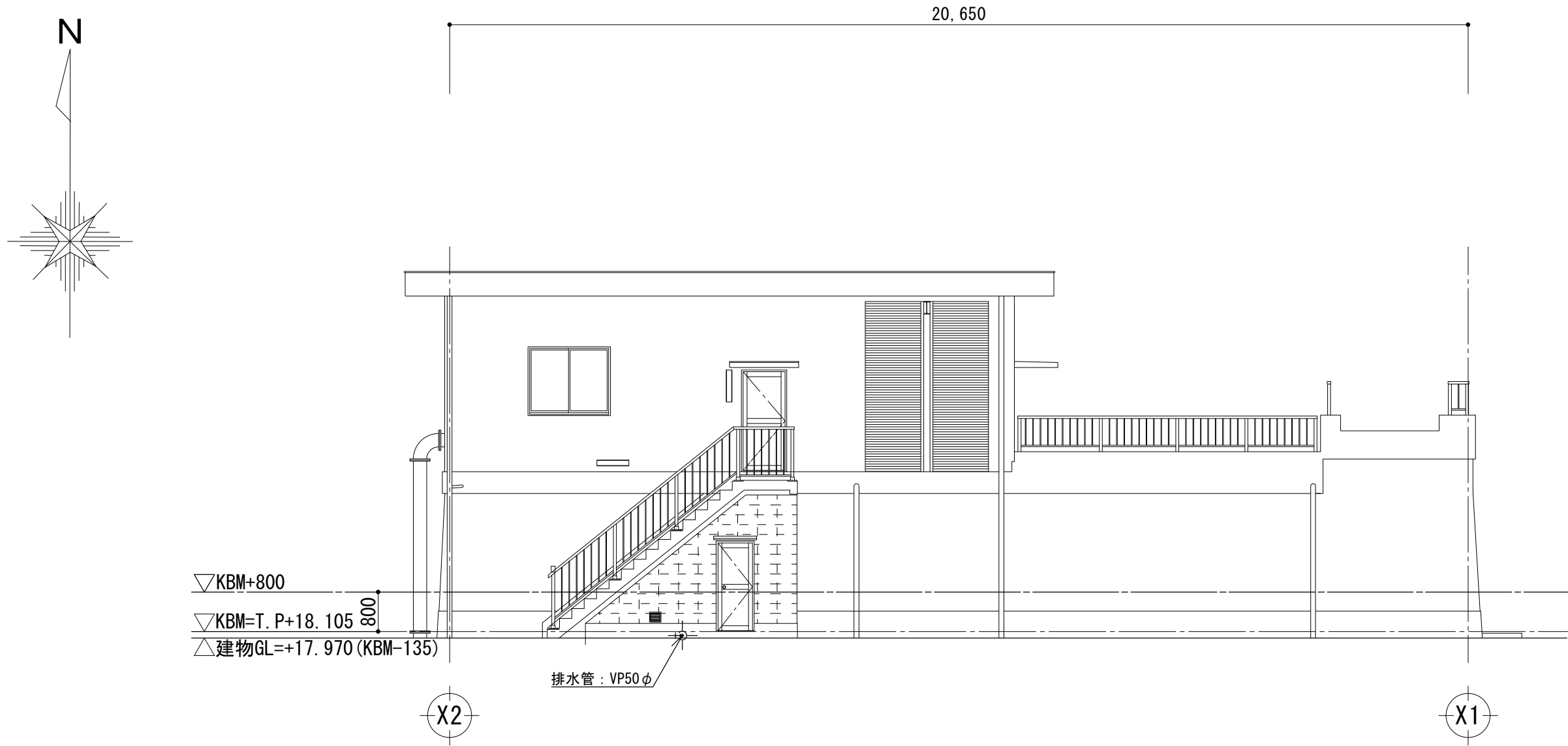


注記
1. 本図中〃部分を対象とする。

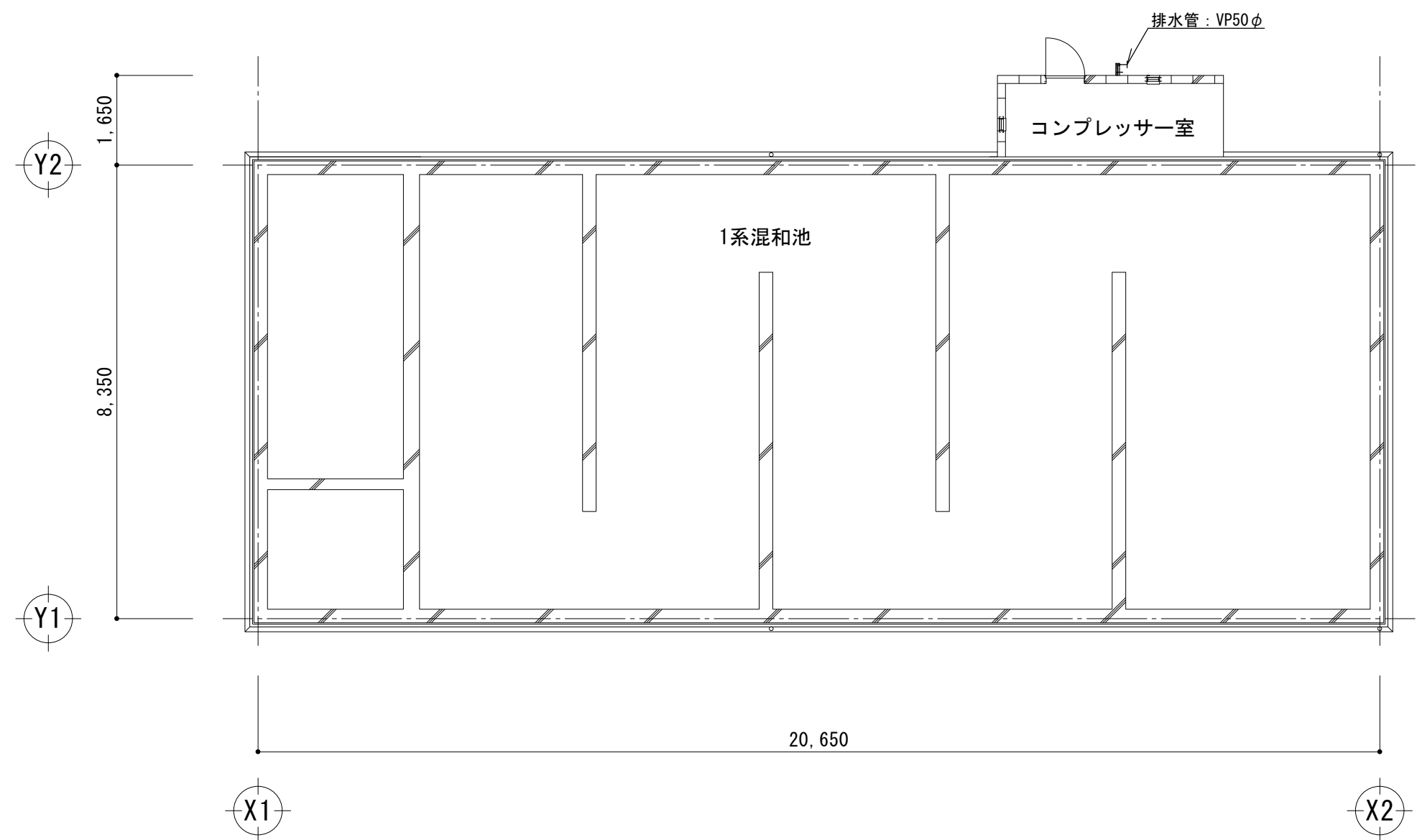
※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事			
工事場所	行田市向町28番4号			
図面名称	⑤ 2 系 配 水 ポ ン プ 室 建築機械設備平面図・立面図 (改修前・後)			
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺
内 山	田 島	長 谷 見	栗 原	S=1/100
				図面番号
行田市水道事業				AM - 04

改修前

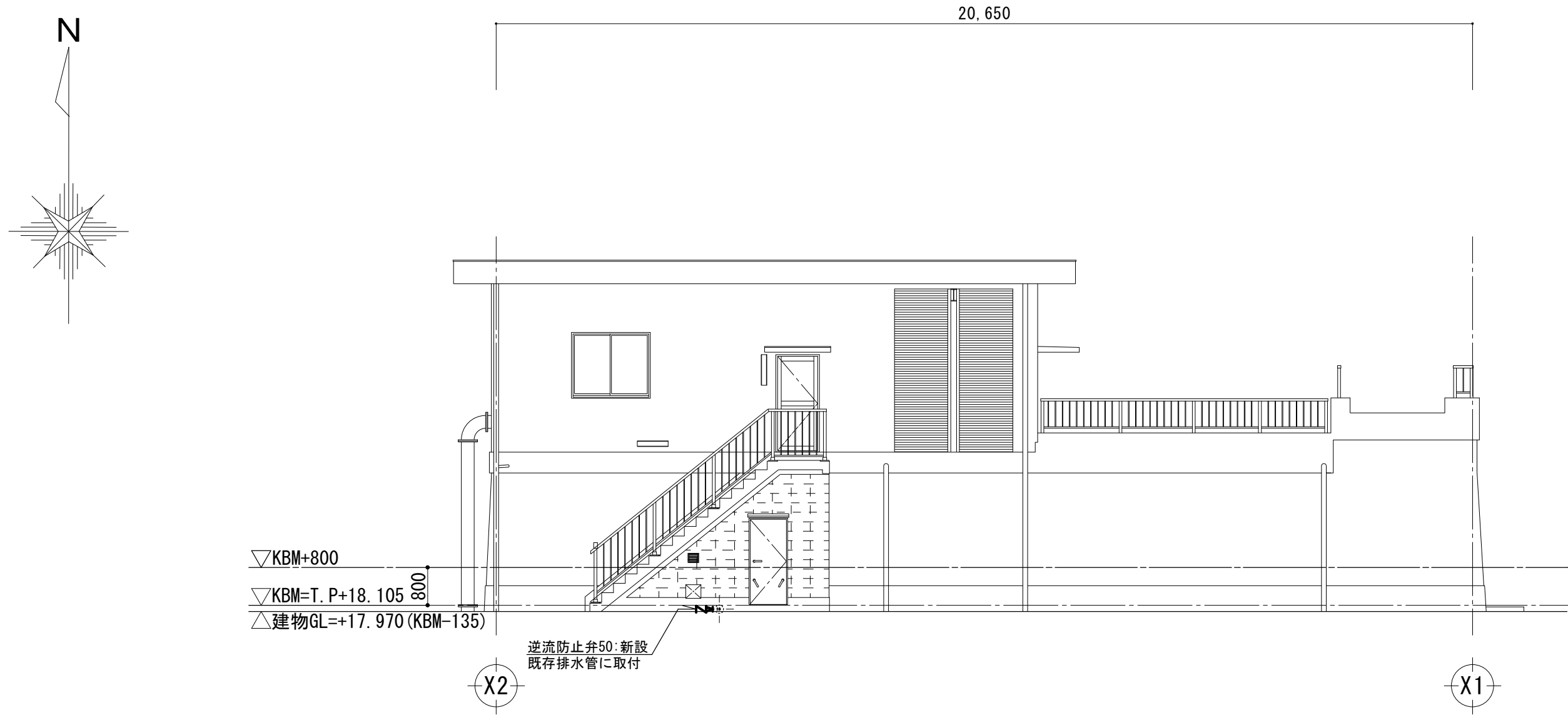


北側立面図 S=1/100

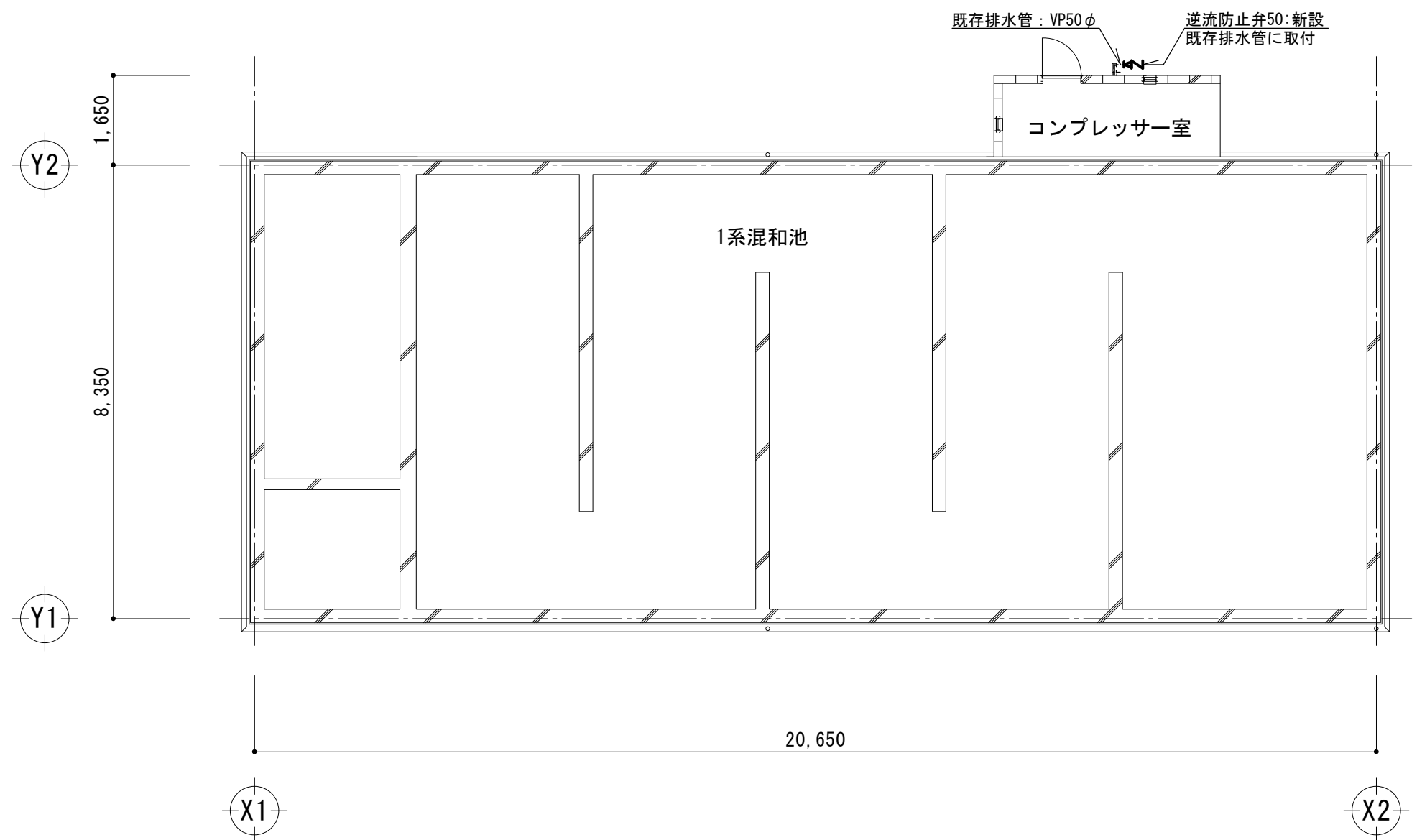


1階平面図 S=1/100

改修後



北側立面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100

注記
1. 本図中---部分を対象とする。

※寸法は現地で再確認の上、疑義の生じた場合は監督員の指示によること。					
工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	⑧ 1系混和池 建築機械設備平面図・立面図 (改修前・後)				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/100	
				図面番号	
行田市水道事業				AM-05	

向町浄水場自家発電施設等更新工事
(2系配水ポンプ室配管更新工事部分)

工事設計図

令和 年 月 (全 枚)

仕 様 書

I 工事概要

1. 工事場所

行田市向町28番4号

2. 敷地面積

9.412 m²

3. 工事種目

向町浄水場自家発電施設等更新工事
2系配水ポンプ室改修工事部分を対象とする 鉄骨造 1階建

4. 工事内容

防水改修工事

外壁改修工事

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

	工事種目				
工事項目					
2 仮設工事					
3 防水改修工事					
4 外壁改修工事	コンクリート打放し仕上り外壁				
	外壁改修工事				
	モルタル塗り仕上り外壁				
	外壁改修工事				
	タイル張り仕上り外壁				
	外壁改修工事				
5 建具改修工事					
6 内装改修工事					
7 塗装改修工事					
8 耐震改修範囲以外の躯体改修工事					
	耐震改修工事				
9 環境配慮改修工事					

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「改修標仕」という。）により、また、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「標仕」という。）による。

2. 特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、ともに適用する。

（3）特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（5）特記事項に記載の(別2-)は、標仕の「別図2 ポルト間隔等及び溶接継手の開先形状」の該当項目を示す。

（6）☐印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」の特定調達品目を示す。

章

項目

特記事項

1 一般共通事項

① 適用基準等

○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 最新版）
○建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 最新版）
○宮繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 最新版）
※適用する

〔1. 1. 4〕

2 工事実績情報の登録

③ 品質計画等

○建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。
※風速 V₀ = (30) m/s (平12建告第1454号第2)
※地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ
○積雪区分 平12建告第1455号 別表 (30)
・

〔1. 2. 2〕

4 電気保安技術者

工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
・要
・不要

〔1. 3. 3〕

5 施工条件

下記以外は現場説明書による。
・工事用車両の駐車場所 ※図示
・資機材置場 ※図示
・建設発生土仮置場 ※図示
・

〔1. 3. 5〕

⑥ 発生材の処理等

・発注者に引渡しを要するもの (・金属類 ()) 〔1. 3. 12〕
・特別管理産業廃棄物 (・廃石綿 ・PCB含有物 ()) 〔1. 3. 12〕
・現場において再利用を図るもの () 〔1. 3. 12〕
・再資源化を図るもの () 〔1. 3. 12〕
・PCB含有シーリングの処理
・第一次判定
現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及びPb含有分析の要否を判定する
採取箇所数 計 箇所
採取箇所 ※図示

・第二次判定
専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う
分析個数 計 箇所

・除去処理工事
除去範囲 ※図示
撤去方法 ・「標準施工要領書」（日本シーリング工事業共同組合連合会・日本シーリング材工業会）による

〔1. 4. 1〕

⑦ 環境への配慮

⑧ 材料の品質等

⑨ 特別な材料の工法

⑩ アスベスト含有建材の調査

分析によるアスベスト含有の調査
※あらかじめ関係法令等に基づき、アスベスト含有建材の事前調査を行う。
調査範囲 ※工事対象範囲全て
・
※調査者は調査に先立ち、既存の設計図書及び、石綿含有建材の調査報告書など事前調査に必要な資料について、発注者に貸与を要めること。
分析方法 「建材中の石綿含有率の分析方法について」（平成18年8月21日 基発第0821002号、最終改正 令和3年12月22日 基発1222第17号）に基づき行うものとする。
調査内容 ・定性分析 ・定量分析

〔1. 5. 1〕

⑪ 施工数量調査

調査範囲及び調査方法 ※図示 ○図面との照合確認を行う
〔1. 6. 2〕
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示
〔1. 6. 3〕

12 技能士

〔1. 7. 2〕

通用工事種別	技能検定作業
防水改修工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業
外壁改修工事	・左官作業 ・タイル張り作業 ・建築塗装作業
建具改修工事	・ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業
内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ作業 ・ボード仕上り工事作業 ・壁紙作業 ・大工工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・左官作業 ・タイル張り作業
塗装改修工事	・建築塗装作業
耐震改修工事	・鉄筋補立作業 ・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業 ・構造物鉄工作業 ・とび作業
コンクリートブロック・ALCパネル工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業
石工事	・石張り作業
植栽工事	・造園工事作業

〔1. 7. 9〕

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告する。
測定はパッシブ型採取機器により行う。
着工前の測定 ・行う
測定対象室 ・図示
測定箇所数 ・図示
報告の様式等については、現場説明書による。

⑬ 化学物質の濃度測定

⑭ 完成時の提出図書

○完成図
○既存図面修正
※作成する
提出部数 ※各2部 ○2部 (A3版第二原図及び電子媒体 (CD-R))
種類 ※改修標仕表1.9.11による。ただし、種類は当該工事で該当する図面、表及び計画書とする。
※施工計画書 提出部数 ※1部 ・部
※施工図 提出部数 ※1部 ・部
○保全に関する資料 提出部数 ※2部 ・部

〔1. 9. 1～3〕〔表1.9.1〕

⑮ 設備工事との取合い

15 設計 G L

2 仮設工事

① 足場その他

外部足場
※「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
防護シート ※設置する ・設置しない
内部足場 種別 ※きつたつ、足場板等 ・
材料、撤去材等の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種
既存部分の養生 ※ビニルシート等
既存家具等の養生 ※ビニルシート等
固定家具等の移動 ※行わない ・行う (図示)

〔2. 2. 1〕〔表2.2.1〕

② 既存部分の養生

3 仮設間仕切り

仮設間仕切り等の種別
〔2. 3. 2〕〔表2.3.1〕

種 別	下 地	仕上材 (厚さ mm)	充填材	塗 装
・A種	※軽量鉄骨	・合板 (※9.0 ・)	厚さ mm	※なし
・B種	・木下地	※せつこうボード (※9.5 ・)		・片面
※C種	単管下地	防炎シート		
仮設扉	※木製扉	※合板張り程度		※なし
	・鋼製扉	※片面フラッシュ程度		・あり

〔2. 4. 1〕

⑤ 工事用水

構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる (※有償 ・無償)

〔2. 4. 1〕

⑥ 工事用電力

構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる (・有償 ・無償)

〔2. 4. 1〕

3 防水改修工事（抜粋）

1 既存防水層の処理

既存保護層（平場）の撤去 ・行う (範囲 ・図示 ・) 〔3. 2. 3〕
既存防水層（平場）の撤去 ・行う (範囲 ・図示 ・) 〔3. 2. 4〕
立上り部の防水層撤去 〔表3.1.1〕
・行う ・POS(機械) ・POS I (機械) ・M4S ・M4S I
・S4S(機械) ・S4S I (機械)
露出防水層表面の仕上り塗装除去 〔3. 2. 6〕
・行う (・M4AS ・M4AS I ・M4C ・M4D I ・L4X)
改修用ドレン 〔3. 2. 5〕
・設ける (・POAS ・POAS I ・POD ・POD I ・POS ・POS I ・POX)

〔3. 2. 3〕〔表3.2.3〕

2 既存下地の補修

アスファルト補修の材料 ※JIS K 2207による3種 〔3. 2. 2〕
既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※図示 〔3. 2. 6〕

〔3. 2. 2〕〔表3.2.2〕

⑥ 塗膜防水

〔3. 6. 2. 3〕〔表3.1.1〕〔表3.6.1〕

防水改修工法の種類	新規防水層の種類	施工箇所	仕上り塗料塗り
・POX工法	・X-1 ※X-2		・シルバー
・L4X工法	・X-1 ※X-2		○カラー

〔3. 6. 3〕

脱気装置 ・設けない ※設ける
PIY及びP2Yの保護層 ・適用する ・適用しない 〔3. 6. 3〕

〔3. 6. 2〕〔表3.6.2〕

⑧ シーリング

シーリング改修工法の種類 〔3. 1. 4〕〔表3.1.2〕
・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法
・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法
シーリング材の種類 ※下表以外は、改修標仕表3.7.11による 〔3. 7. 2〕〔表3.7.1〕

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)
A L C取合い	ポリウレタン系
ブリッジ工法 ボンドブレーカー張り	・適用する 〔3. 7. 7〕
エッジング材張り	・適用する
接着性試験	※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 (部位：) 〔3. 7. 8〕

〔3. 7. 2〕〔表3.7.2〕

① 折板葺

〔3. 9. 3〕〔表13.2.1〕

形 式	形状 (mm)	材料 (規格等)	軒先面戸板	断熱材	耐火性能
※重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形	山高 (175) 山ピッチ () 板厚 ※0.6 ・0.8	・塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (GGLCR－20－AZ150)	※あり ・なし	※あり 種別 (ｸﾞﾗｽﾌﾟﾙ) 厚さ (5) mm 耐火性能 () 時間 ・なし	※30分 ・なし

4 1 5 外壁改修工事（塗り仕上げ外壁）

1 既存塗膜等の除去及び下地処理

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 〔4. 5. 4〕〔表4.5.4～7〕

工 法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上面全体	○ひび割れ部改修工法
・高圧水洗工法 加圧力 ※ 50MPa程度 ・100MPa程度	※既存仕上面全体	・浮き部改修工法 ○欠損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

〔4. 2. 2〕

塗膜はく離剤の種類

〔4. 5. 4〕〔表4.5.4〕

2 下地調整

材料 ※下地調整塗材
・ポリマーセメントモルタル
・防水形仕上げ塗材主材を使用

〔4. 5. 4〕〔表4.5.4〕

③ 仕上塗材仕上げ

〔4. 1. 5〕〔表4.1.5〕〔表4.5.1.2〕

種 類	呼び名	仕上りの形状等
○薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ○外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状 ○砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状 砂壁状
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し ・かき落とし ・吸放湿性 ・適用する ・適用しない 上塗材 ・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材RE ・可とう形複層塗材CE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し ・かき落とし ・吸放湿性 ・適用する ・適用しない 上塗材 ・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状

防火材料の指定

※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする。

〔4. 5. 2〕

工事名

向町浄水場自家発電施設等更新工事

工事場所

行田市向町28番4号

図面名称

建築改修工事特記仕様書（その1）

課 長

主 幹

主 査

担 当

縮 尺

内山

田 島

長谷見

栗原

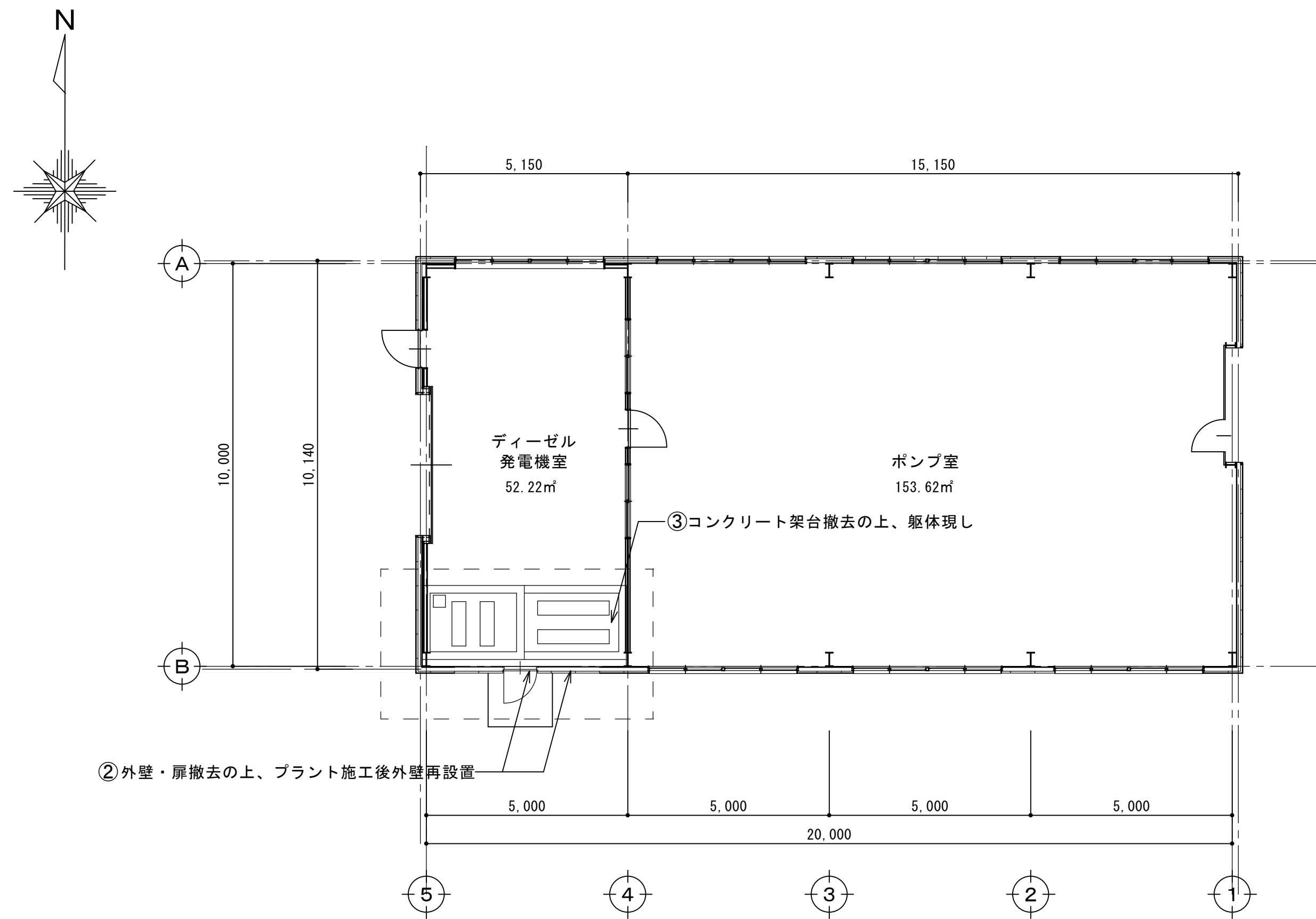
NONE

行田市水道事業

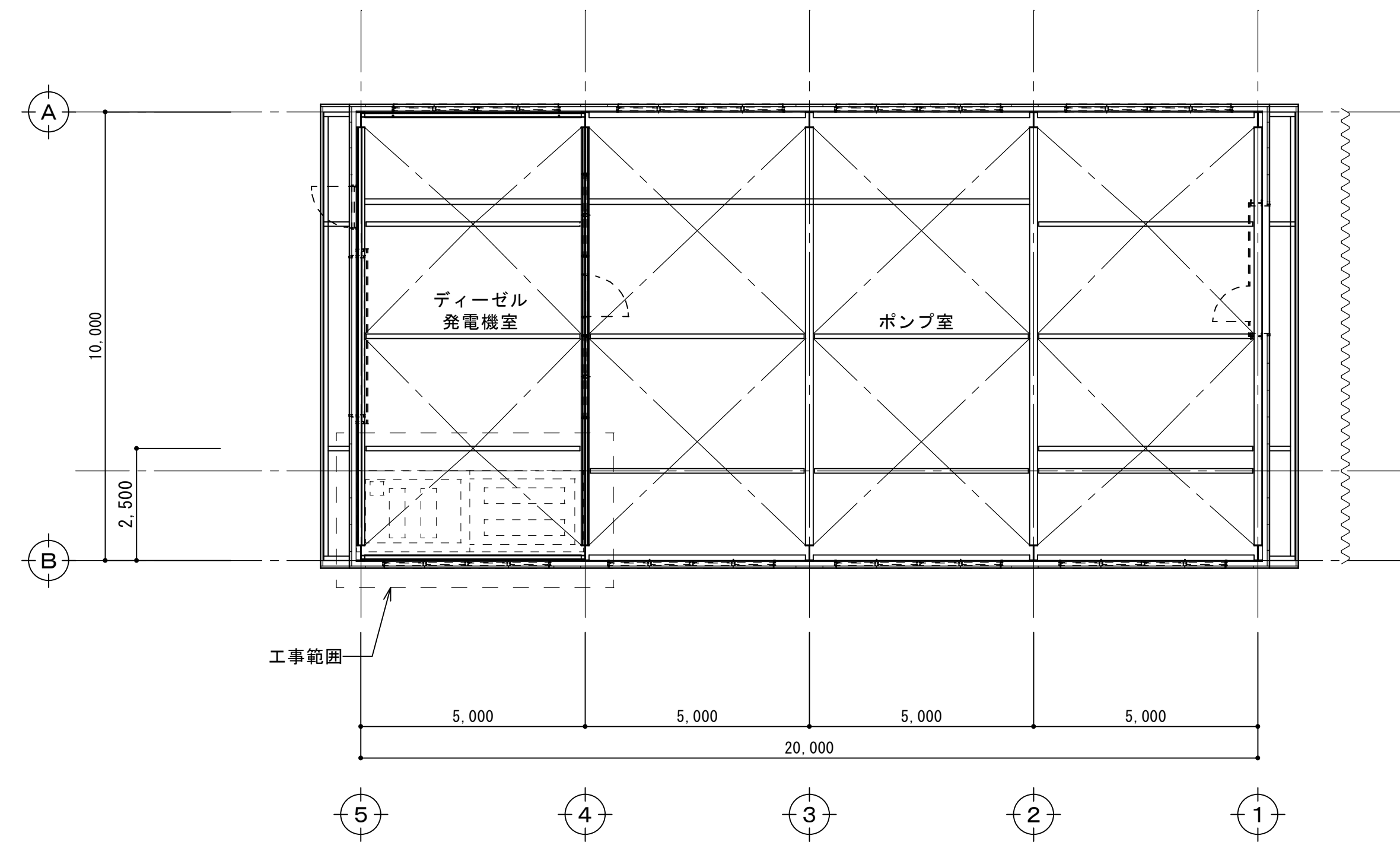
図面番号
AP - 01

[illegible]

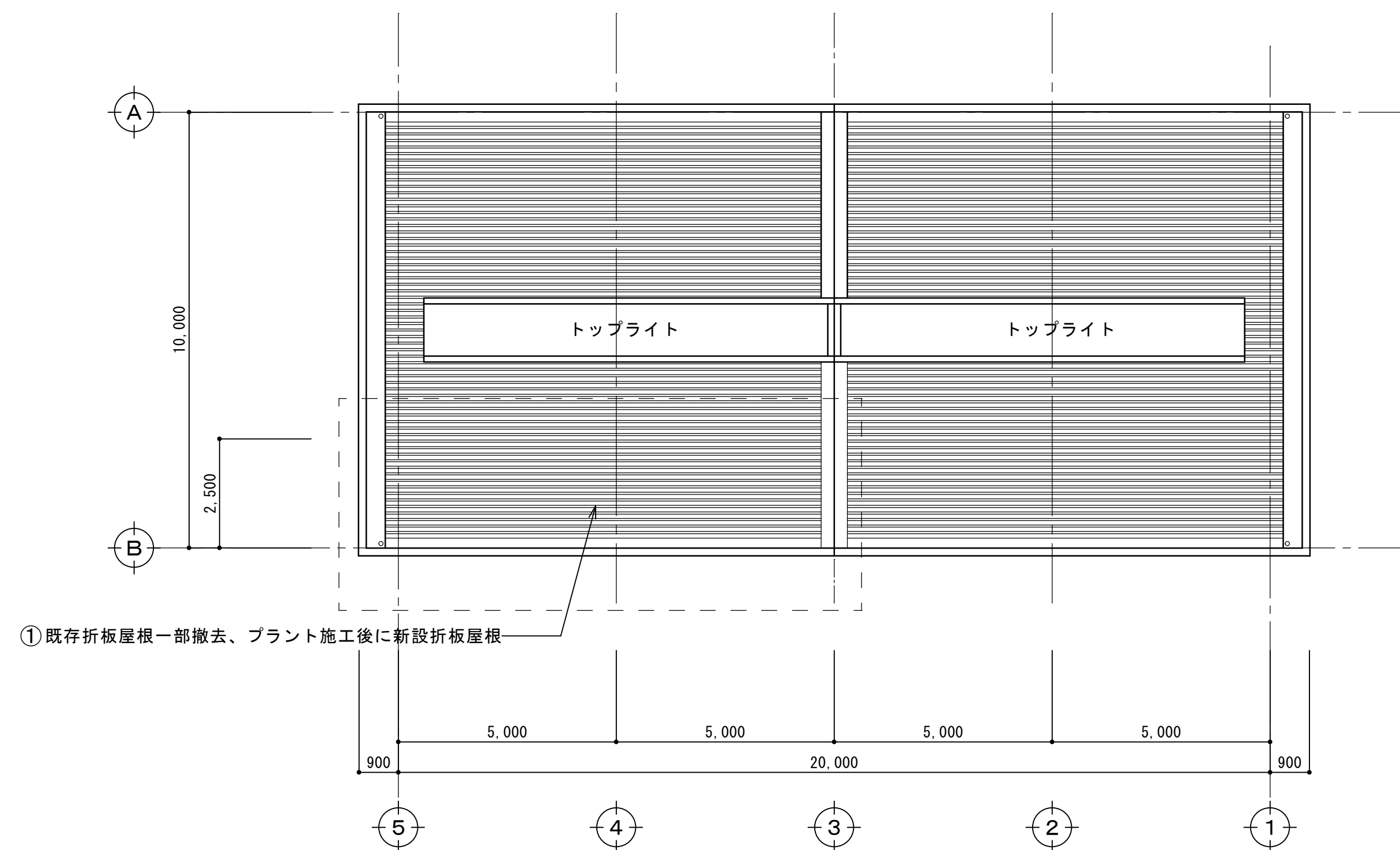
改修キープラン



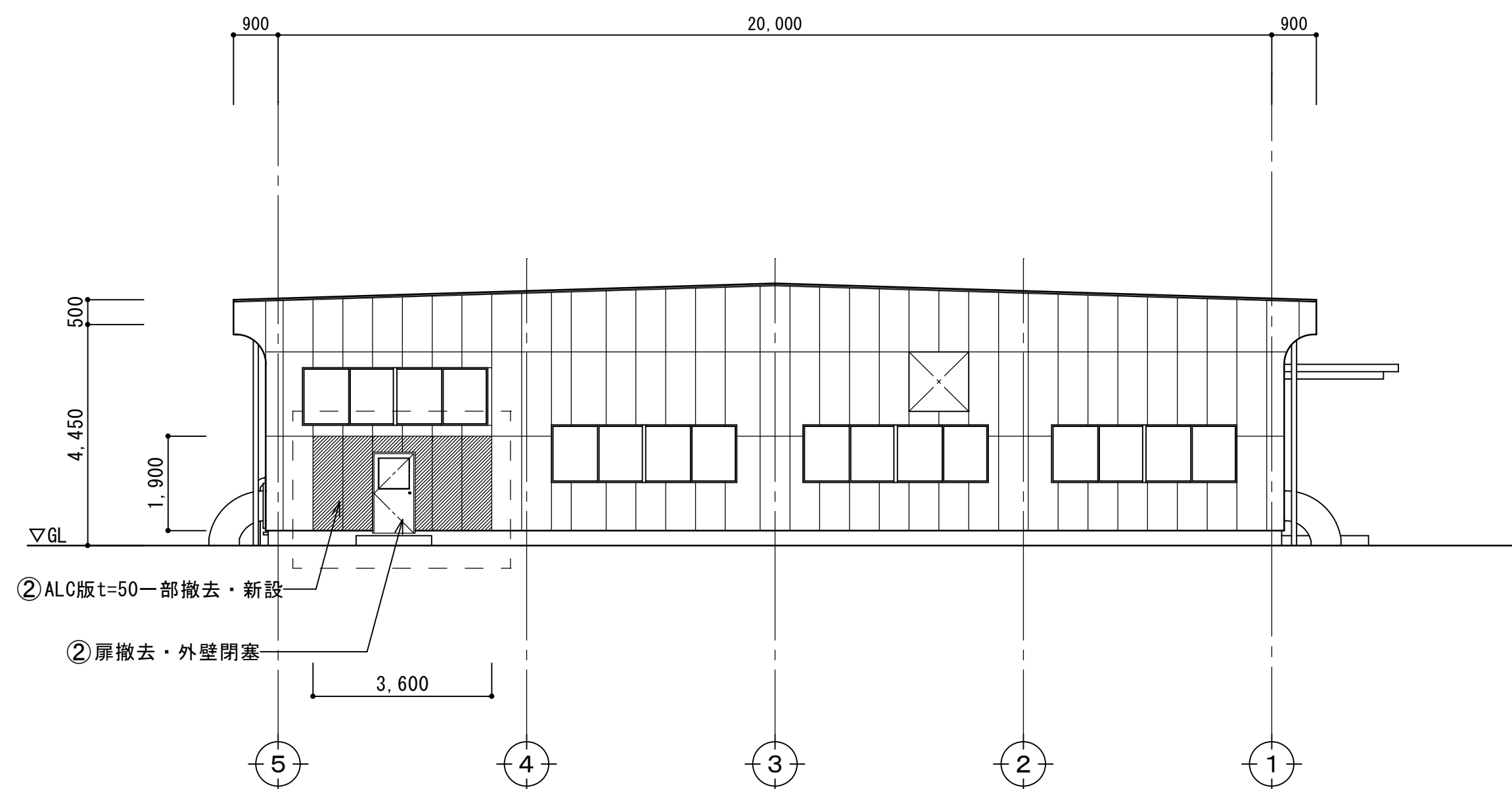
平面図 S=1/100



天井伏図 S=1/100



屋根伏図 S=1/100



南側立面図 S=1/100

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	建築改修キープラン				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	S=1/100	
				図面番号	
行田市水道事業				AP - 03	

ディーゼル発電機室改修概要

部 位	改 修 前	記号	撤 去 工 事 ・ 下 地 処 理	その他・備考
屋 根	カラー鋼板折半葺きt=0.8 H=175 3/100勾配 ポリスチレンフォーム裏打	一部※2 一部※2	① 既存折板屋根一部撤去 プラント配管搬入に伴う既存折板屋根の一部撤去	屋根継目下地新設：2-H100×100×6×8
外 壁	ヘーベルライトt=50、アクリルダイヤ吹付 鉄骨下地：C-100×50×20×t3.2 @600 O P 塗装 スチールドア：S D - 2 (W:800×H:1,600)	一部※2 一部※2 ※2	② 既存A L Cパネルt=50一部撤去 プラント資材搬入に伴う既存外壁の一部撤去 (SD-2撤去共)	鉄骨下地新設：C-100×50×20×t3.2 (錆止め塗装) 立上げ新設W120 H200：鉄筋コンクリート打放し
コンクリート架 台 (オイルタンク置場) (冷却水槽置場)	壁：鉄筋コンクリート t=200 (増打20)/150 スラブ：鉄筋コンクリートt=150 + モルタル金ゴテt=30 固定ハシゴ：S G P鋼管φ42.7 O P 塗	※2 ※2 ※2	③ 既存コンクリート架台一式撤去 プラント資材搬入に伴い必要な部分の解体撤去	鋼製ステージ式撤去 (手摺・下地共)

※ 1 ： 既存のままを示す ※ 2 ： 撤去、又は改修を示す

改修後仕上記号表

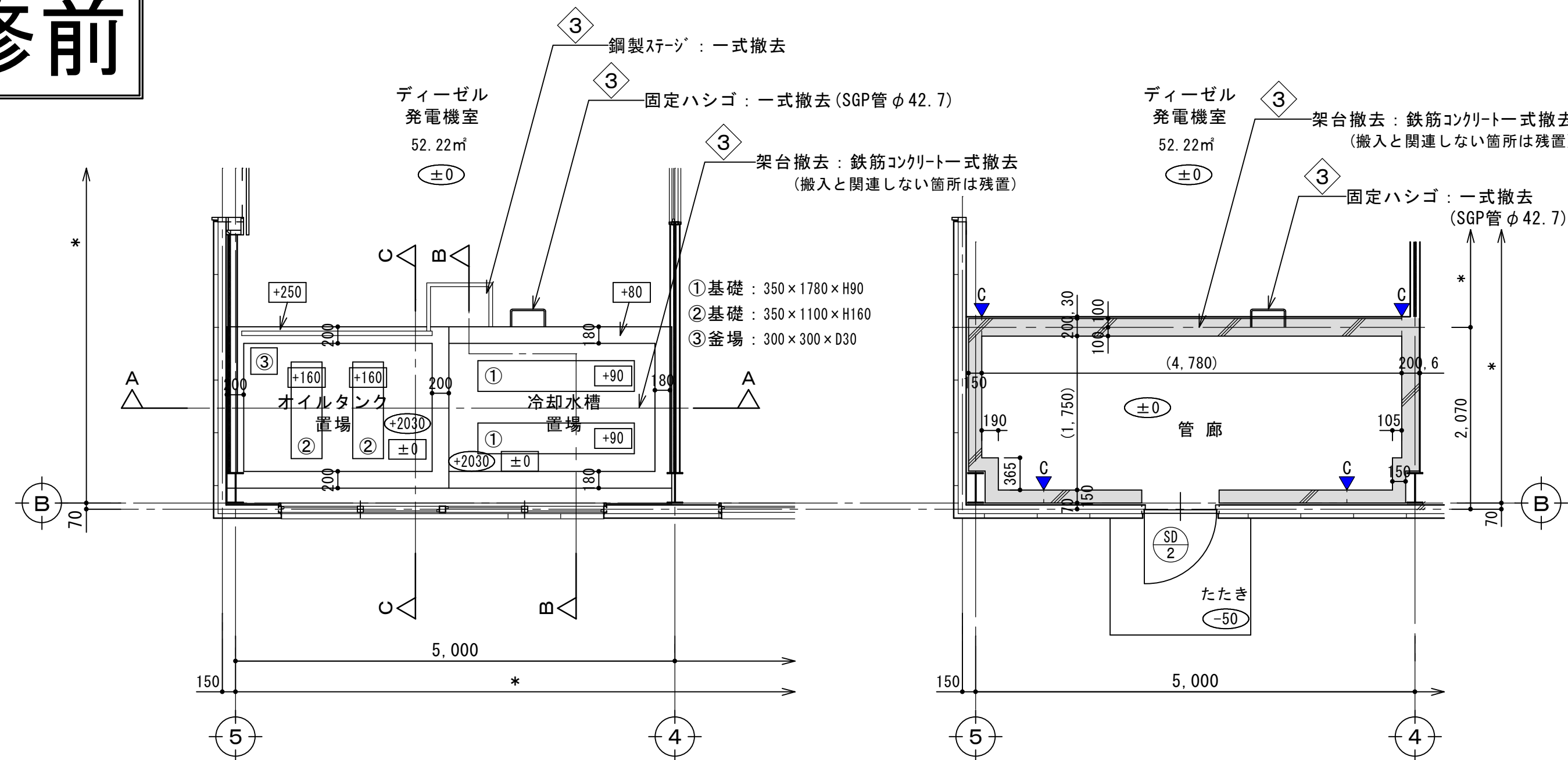
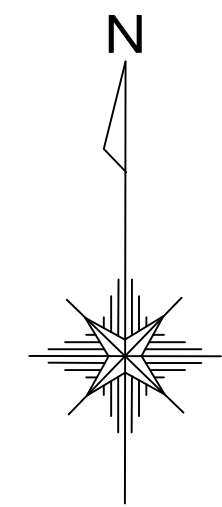
記 号	改 修 内 容
①	： ディーゼル発電機室の上部屋根（南側の一部） カラーガルバリウム鋼板折半葺きt=0.8 H=175 3/100勾配 棟包み、ケラバ立上げ、ケラバ役物同材 断熱材（スーパーフェルトン）裏貼
②	： ディーゼル発電機室の南側の一部 外壁用A L Cパネルt=50 (シール共)の上、外装薄塗材Eローラー塗 腰壁部：アクリルゴム系塗膜防水 (新設RG立上部共) ※田島ルーフィング リバンプコート RVC-A1-1同等品
③	： 架台撤去小口部分 モルタルt=20金ゴテ仕上



撤去 建具表 S=1/50	
型式・数量	② SD 2 スチール片開きドア 1箇所
形状	
使用箇所	管廊－外部
材料仕上	スチール O P 塗装
見込	扉40、枠100
ガラス	網入り型板ガラスt=6.8
金物	丁番、握り玉シリンダー錠、付属金物一式
備考	

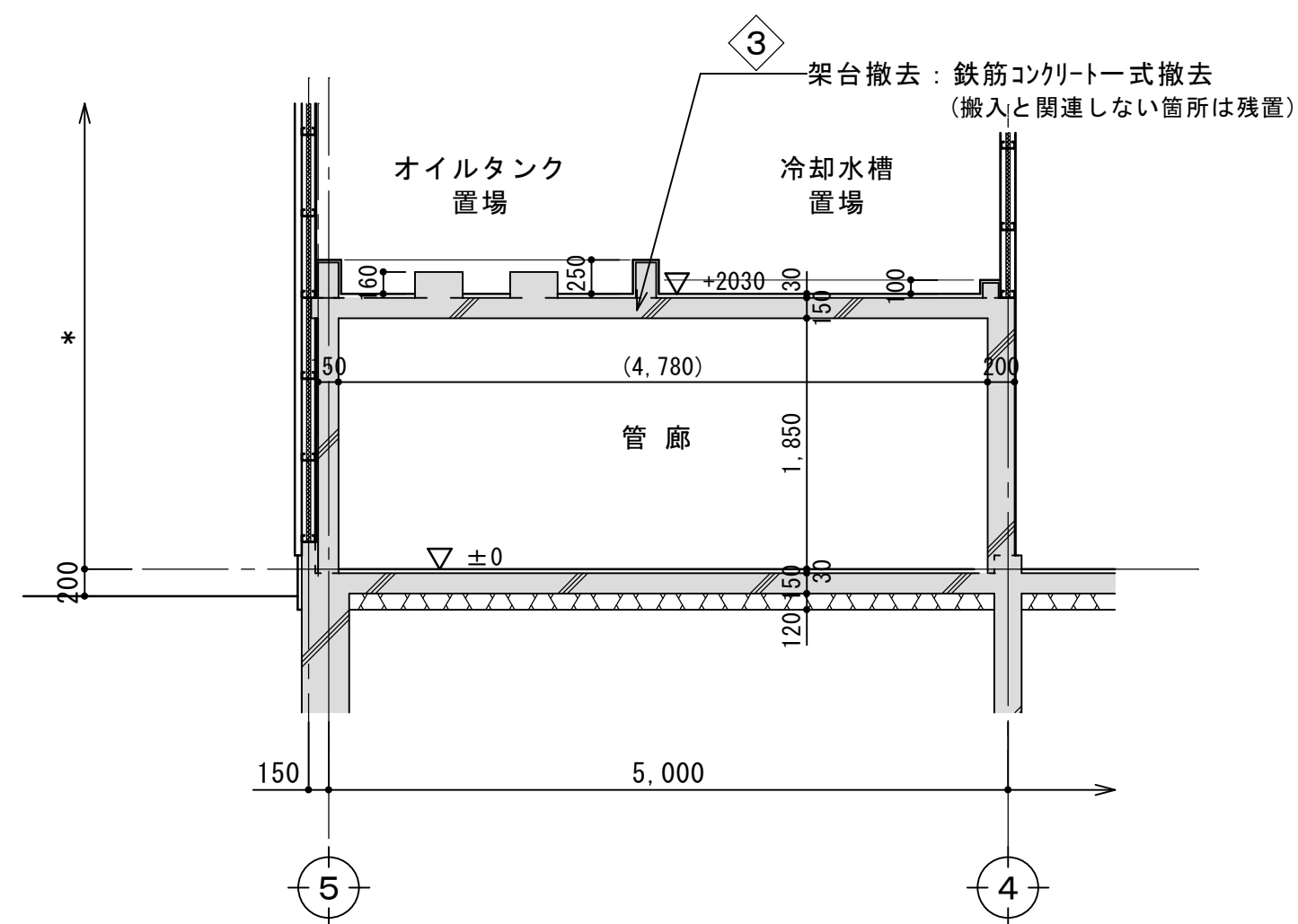
工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	改修項目表・撤去建具表				
課 長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	
内山	田島	長谷見	栗原	1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				AP - 04	

改修前

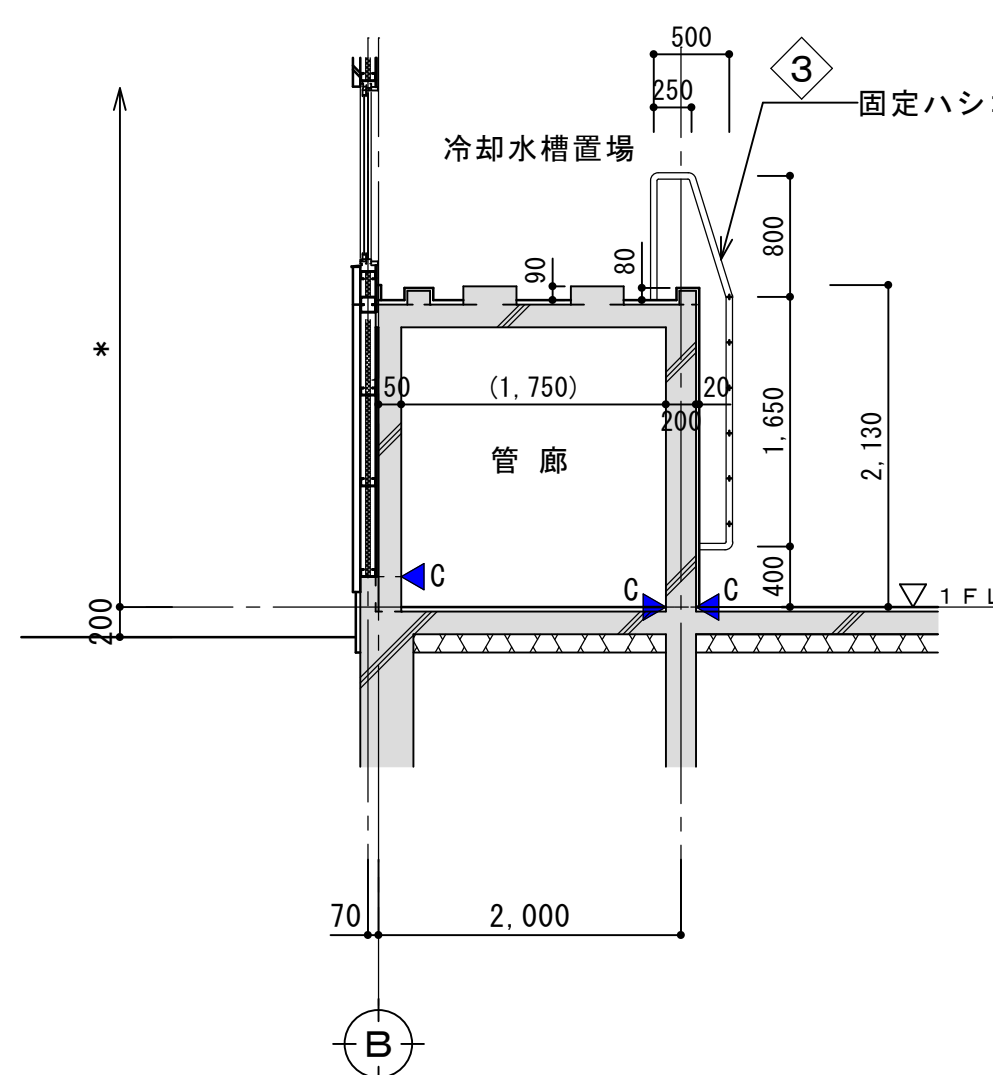


改修前 平面詳細図 S=1/50

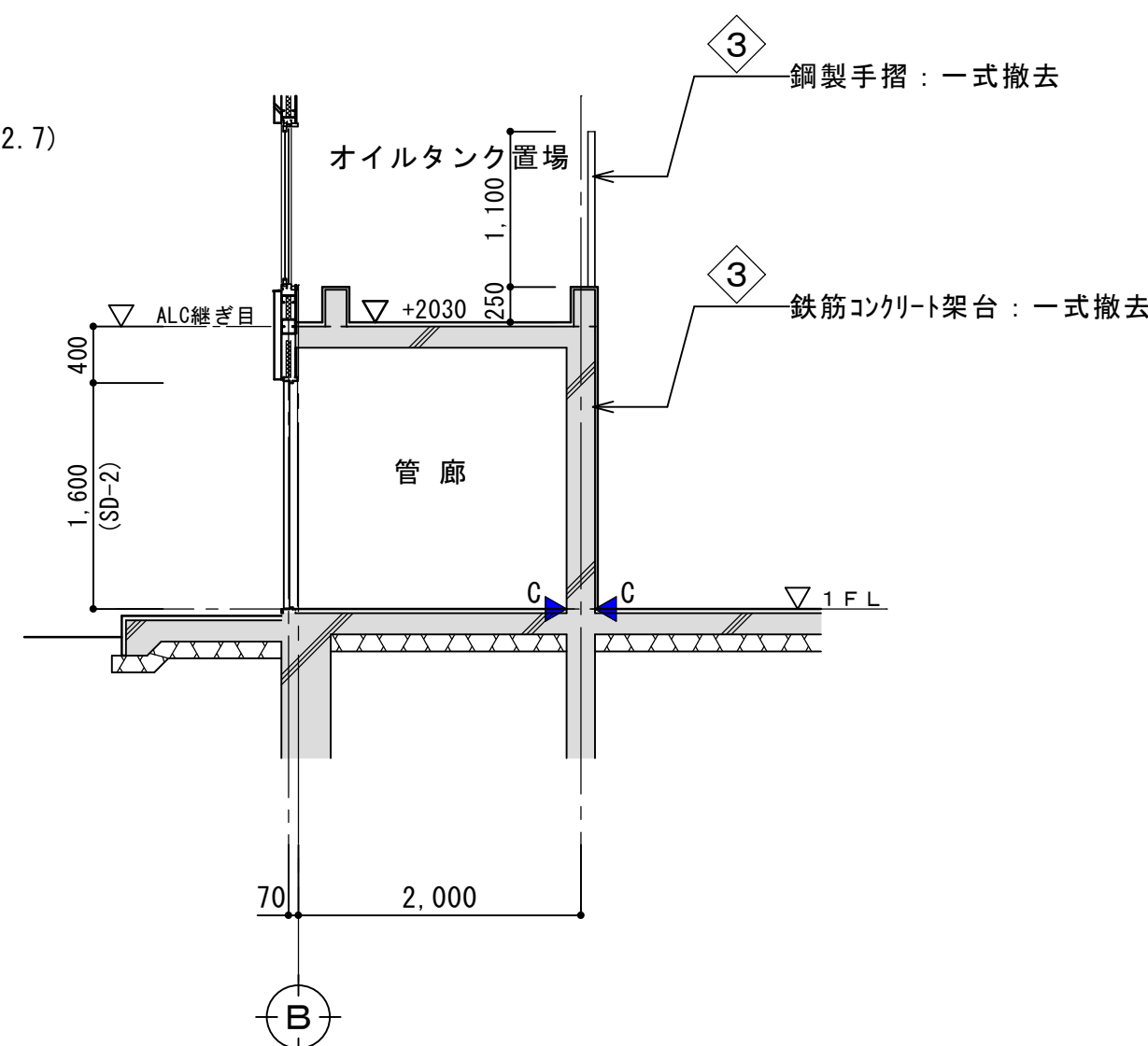
改修前 管廊部平面詳細図 S=1/50



改修前 A-A断面図 S=1/50

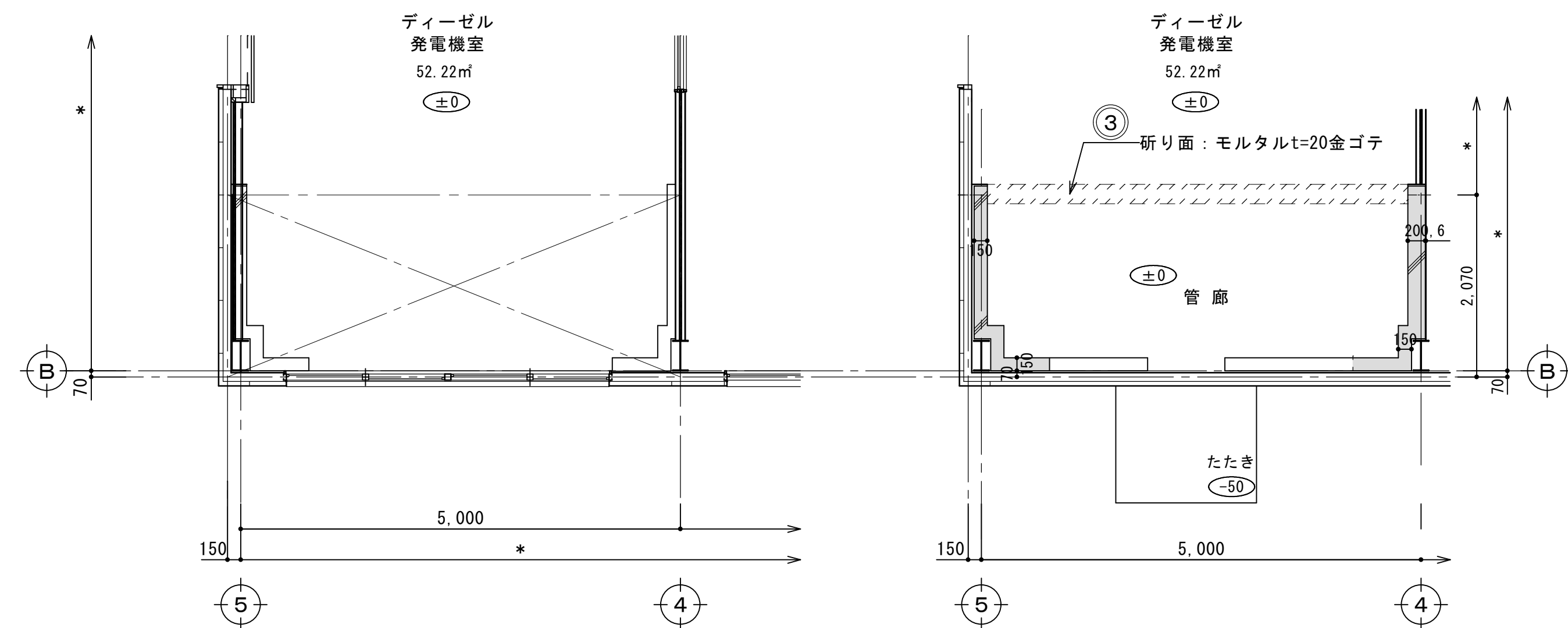


改修前 B-B断面図 S=1/50



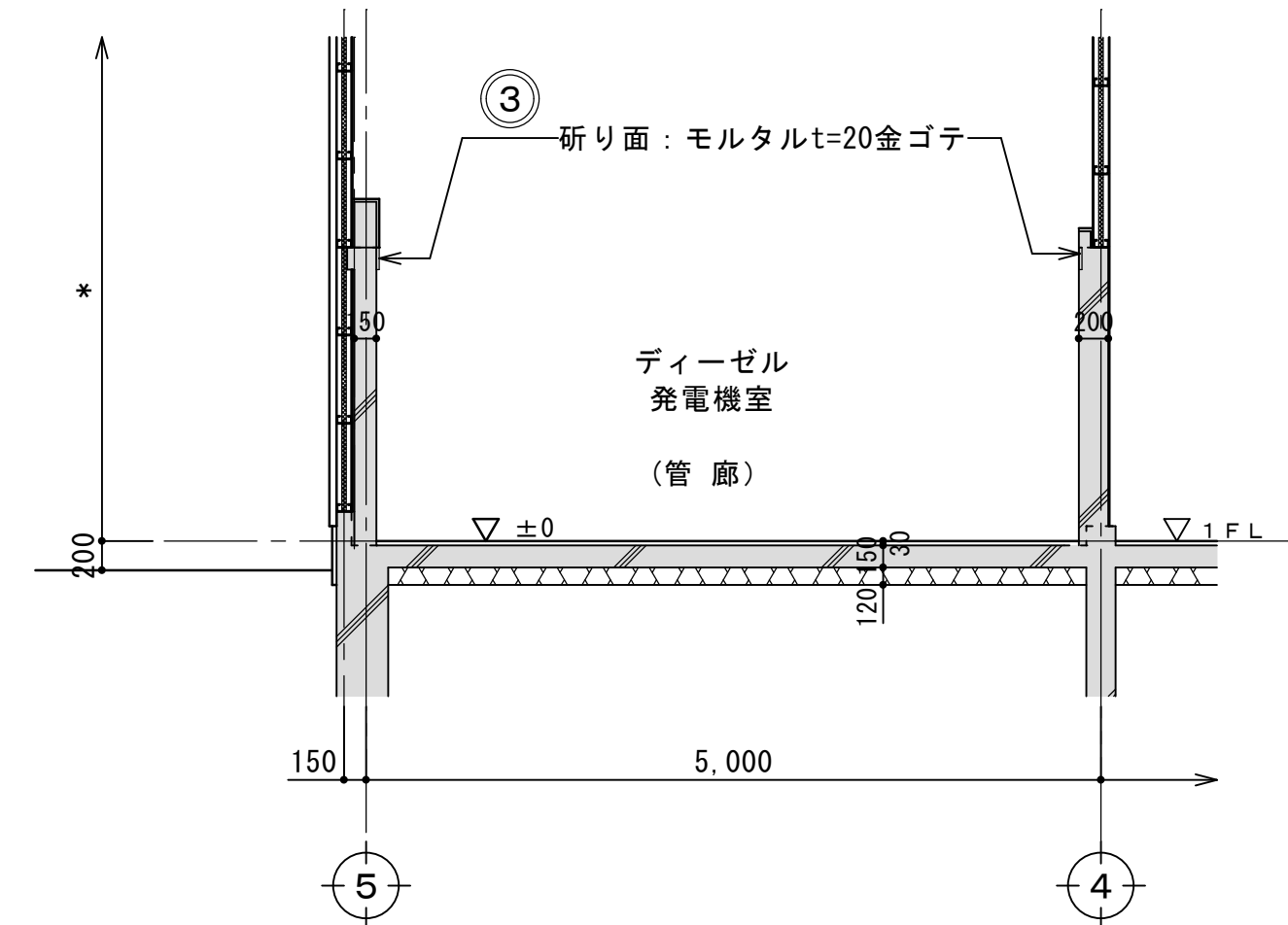
改修前 C-C断面図 S=1/50

改修後

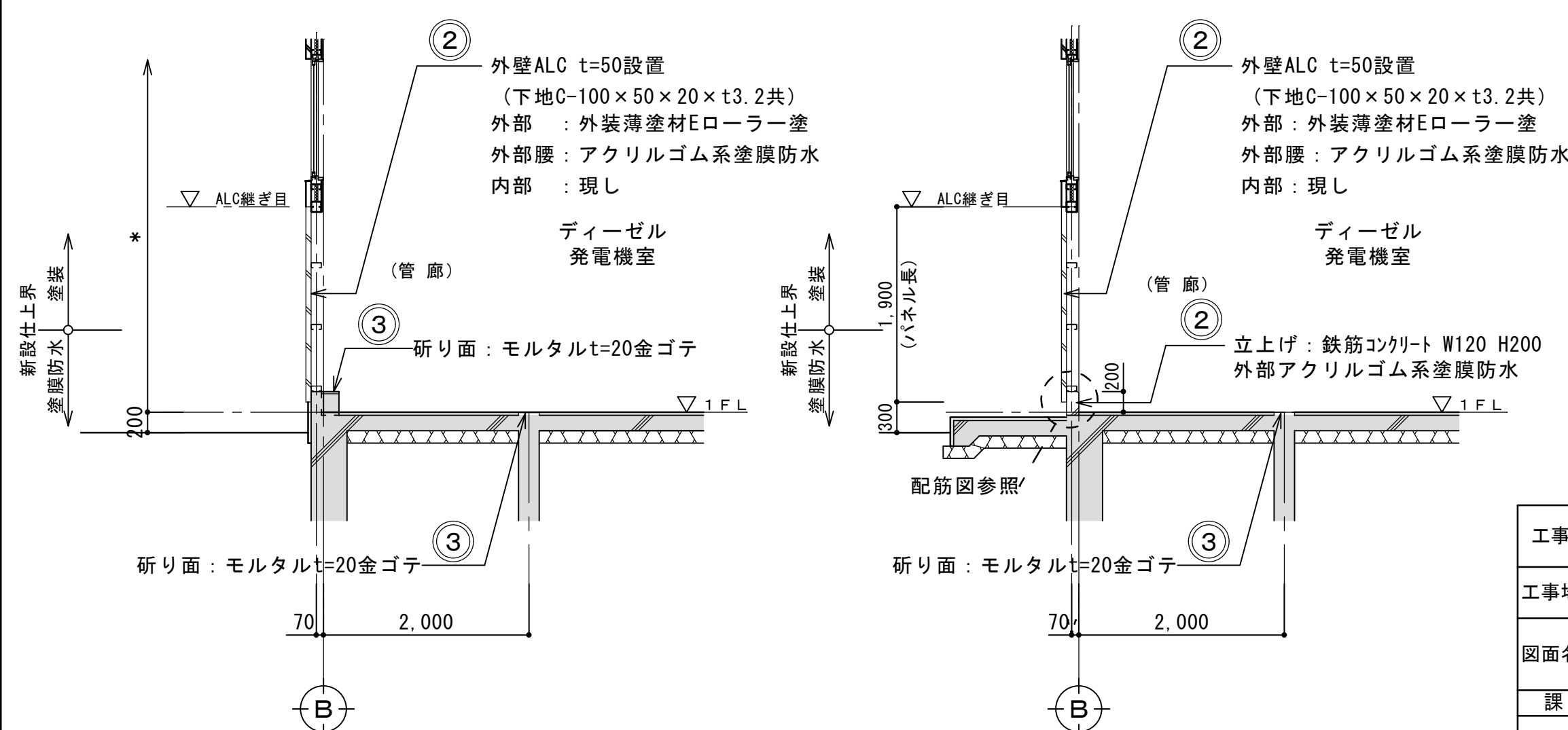


改修後 平面詳細図 S=1/50

改修後 管廊部平面詳細図 S=1/50

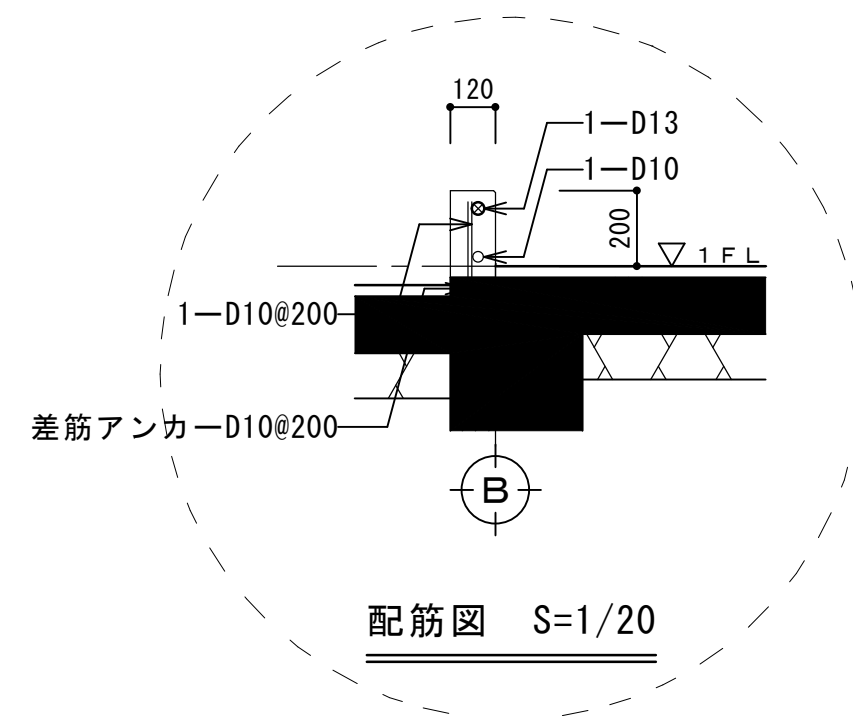


改修後 A-A断面図 S=1/50



改修後 B-B断面図 S=1/50

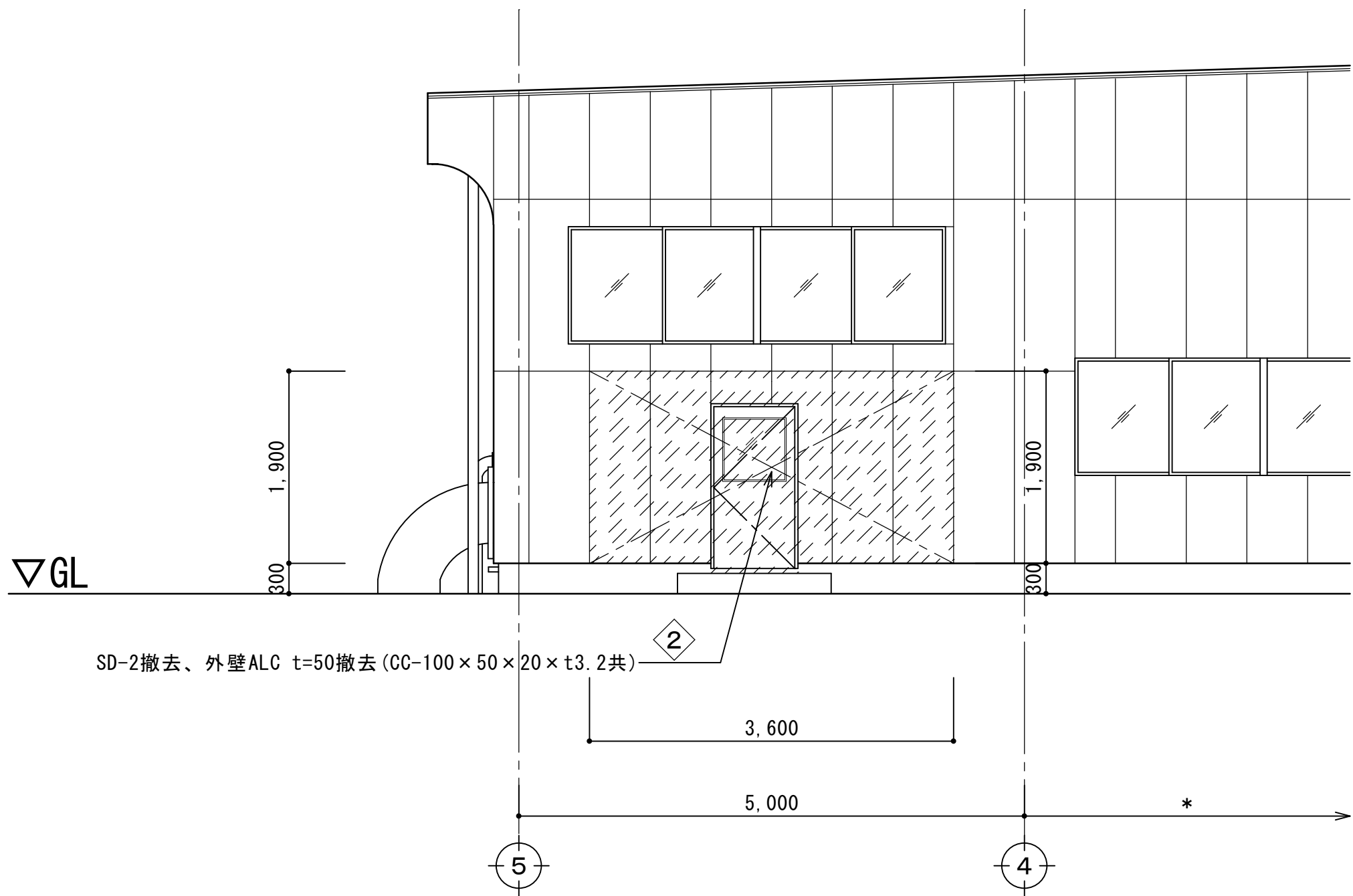
改修後 C-C断面図 S=1/50



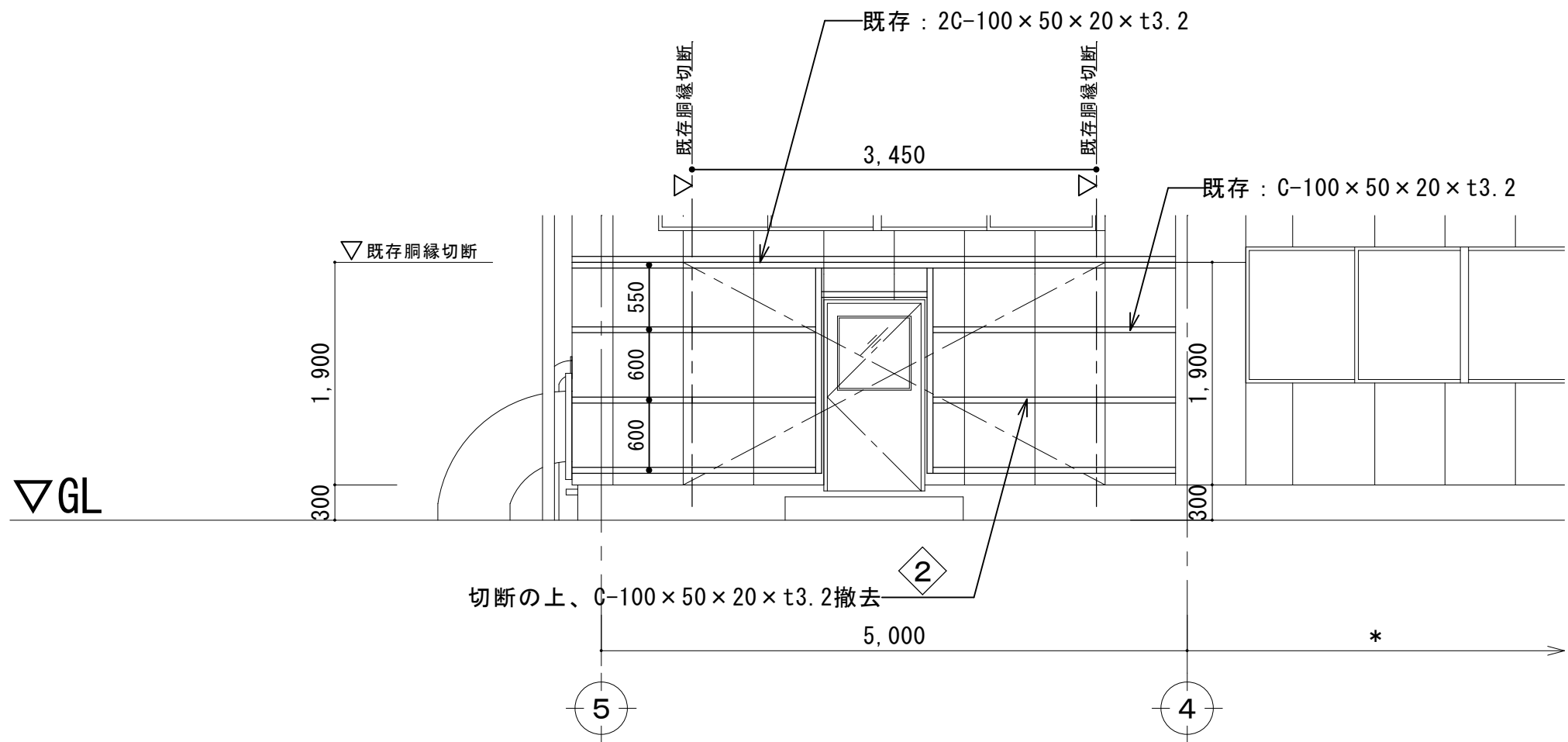
配筋図 S=1/20

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	改修平面図・断面図				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				AP - 05	

改修前

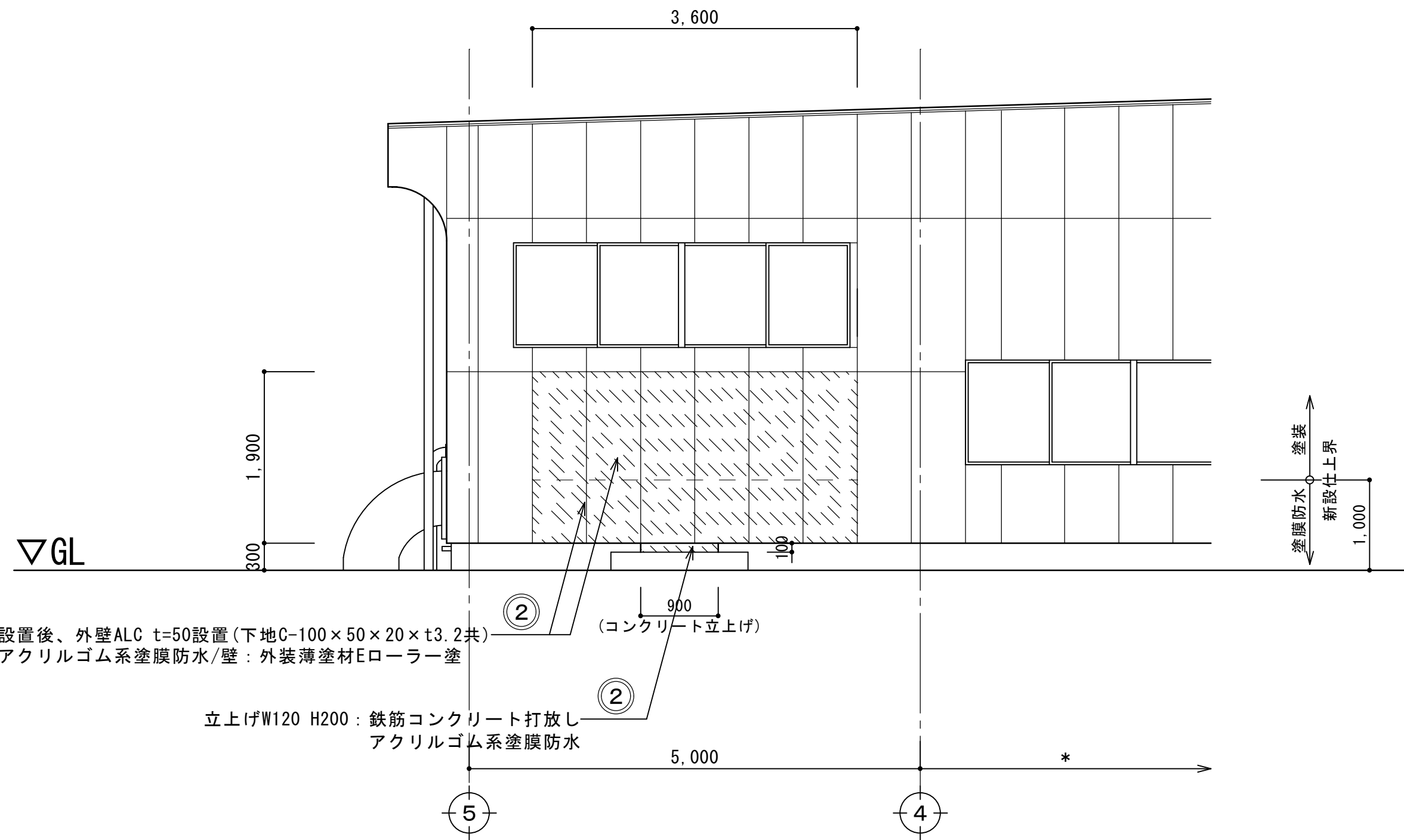


改修前 南側立面図 S=1/50

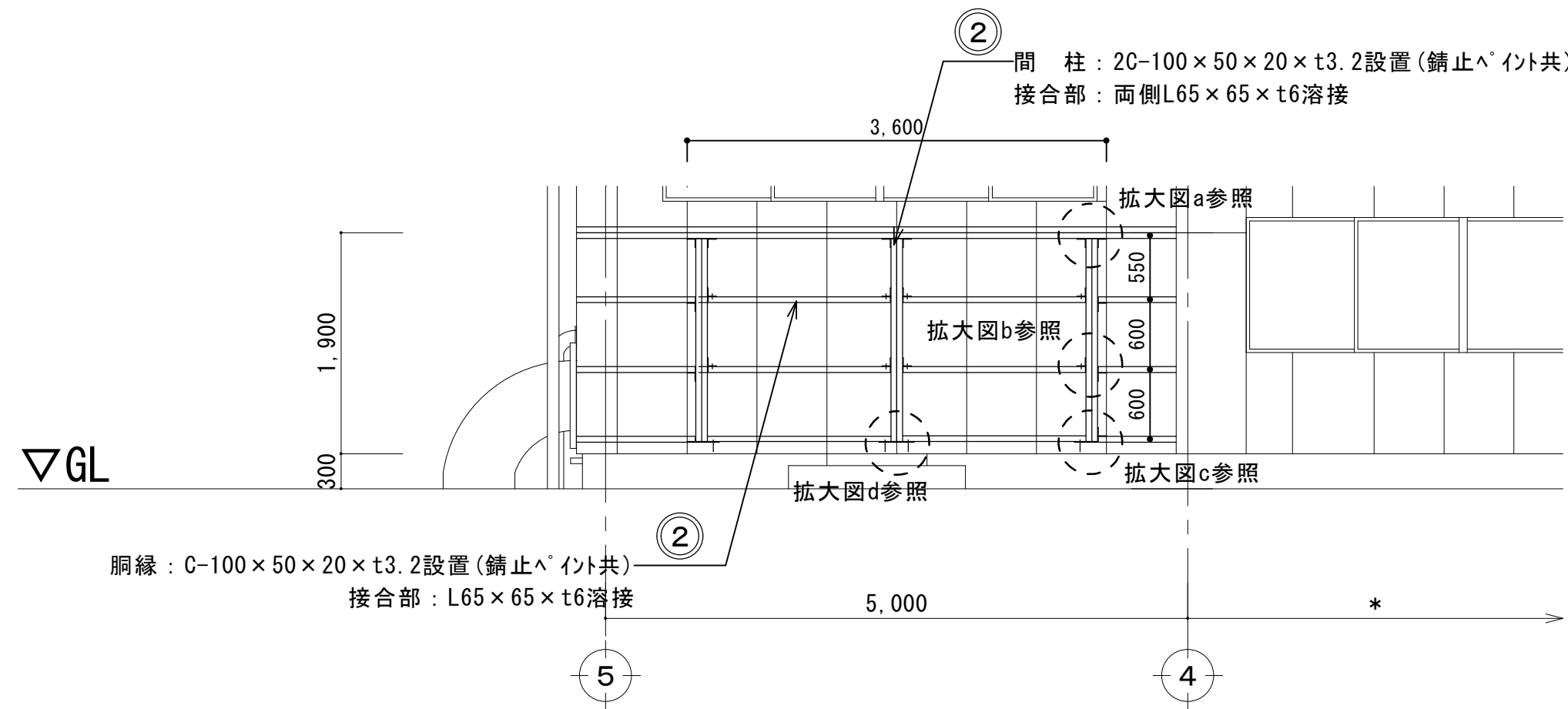


改修前 鉄骨下地図 S=1/50

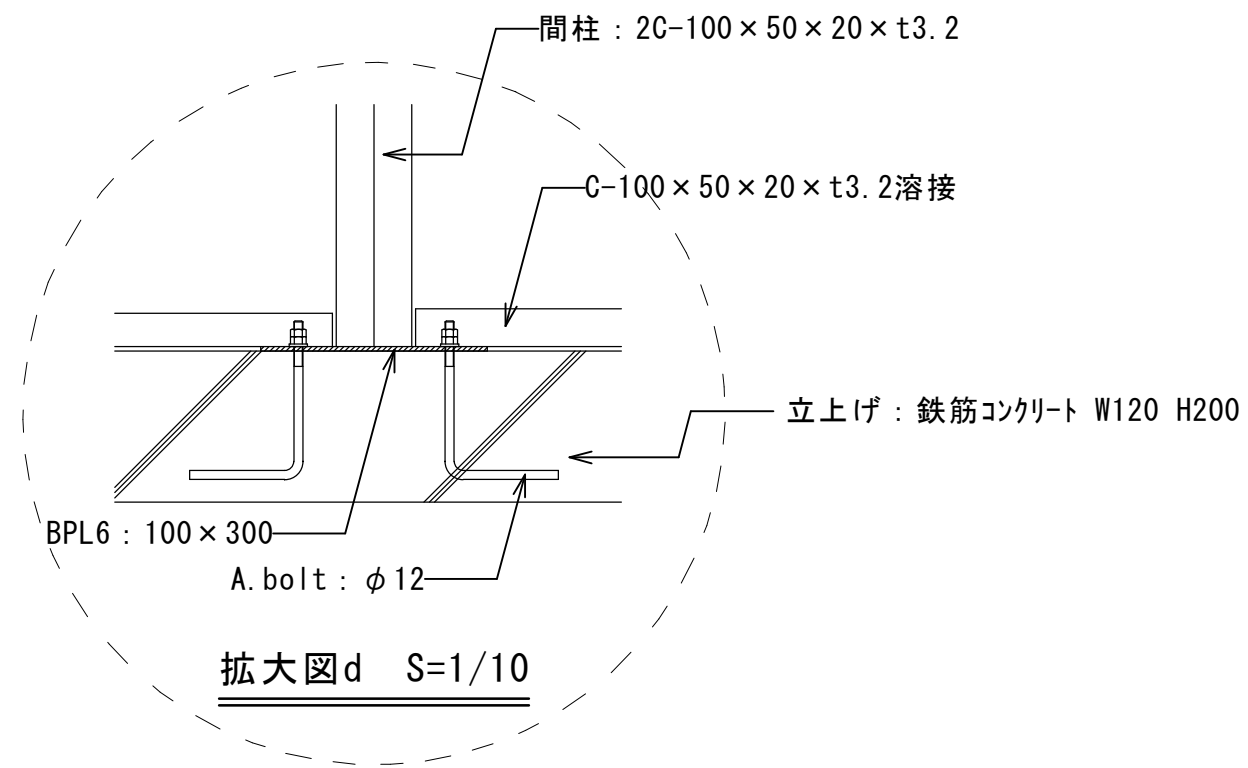
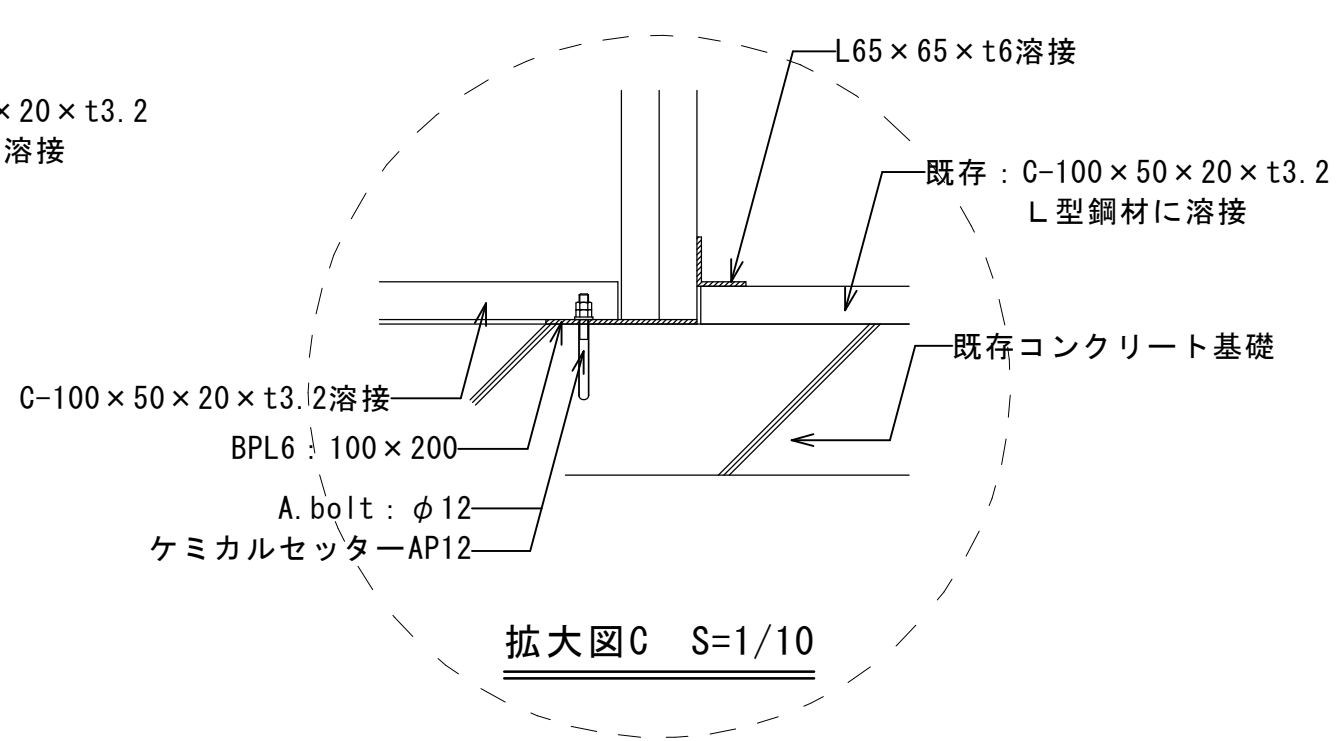
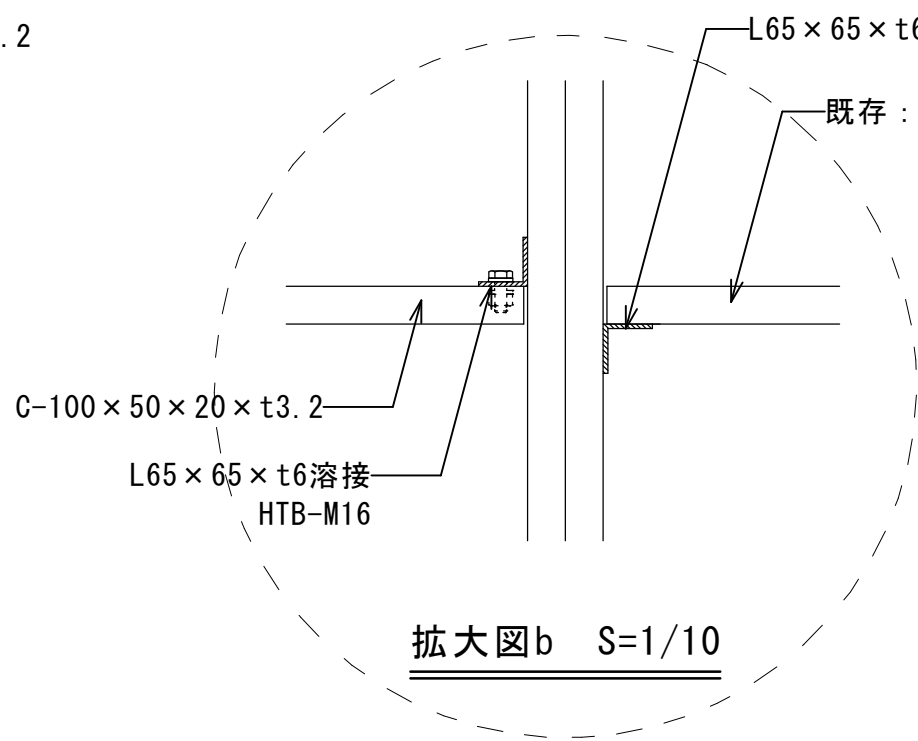
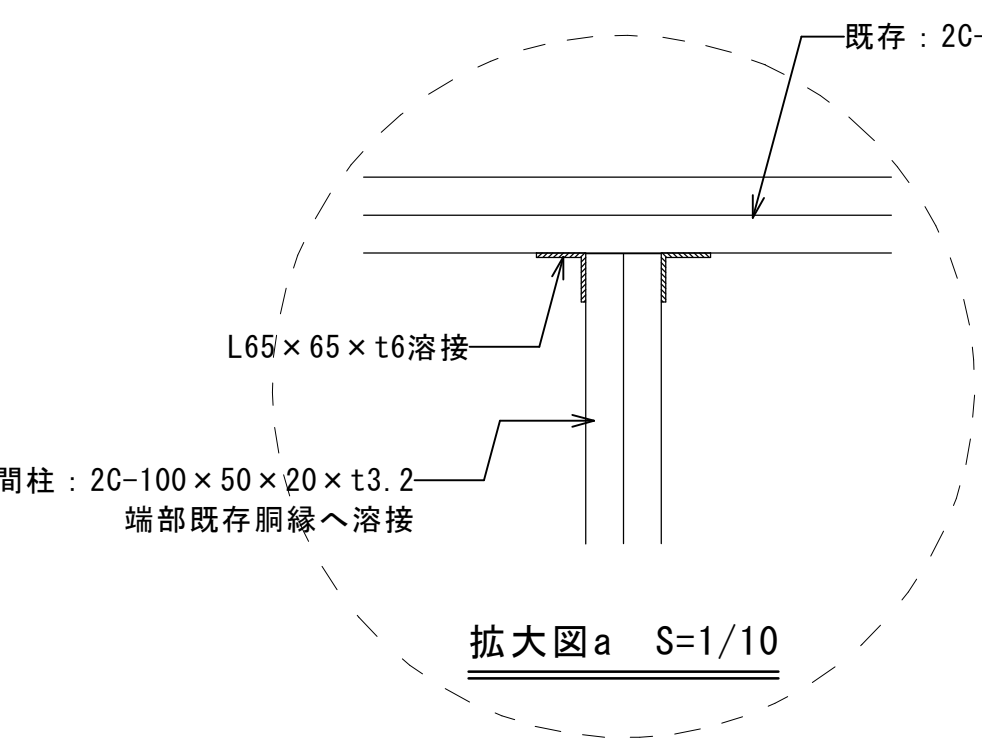
改修後



改修後 南側立面図 S=1/50

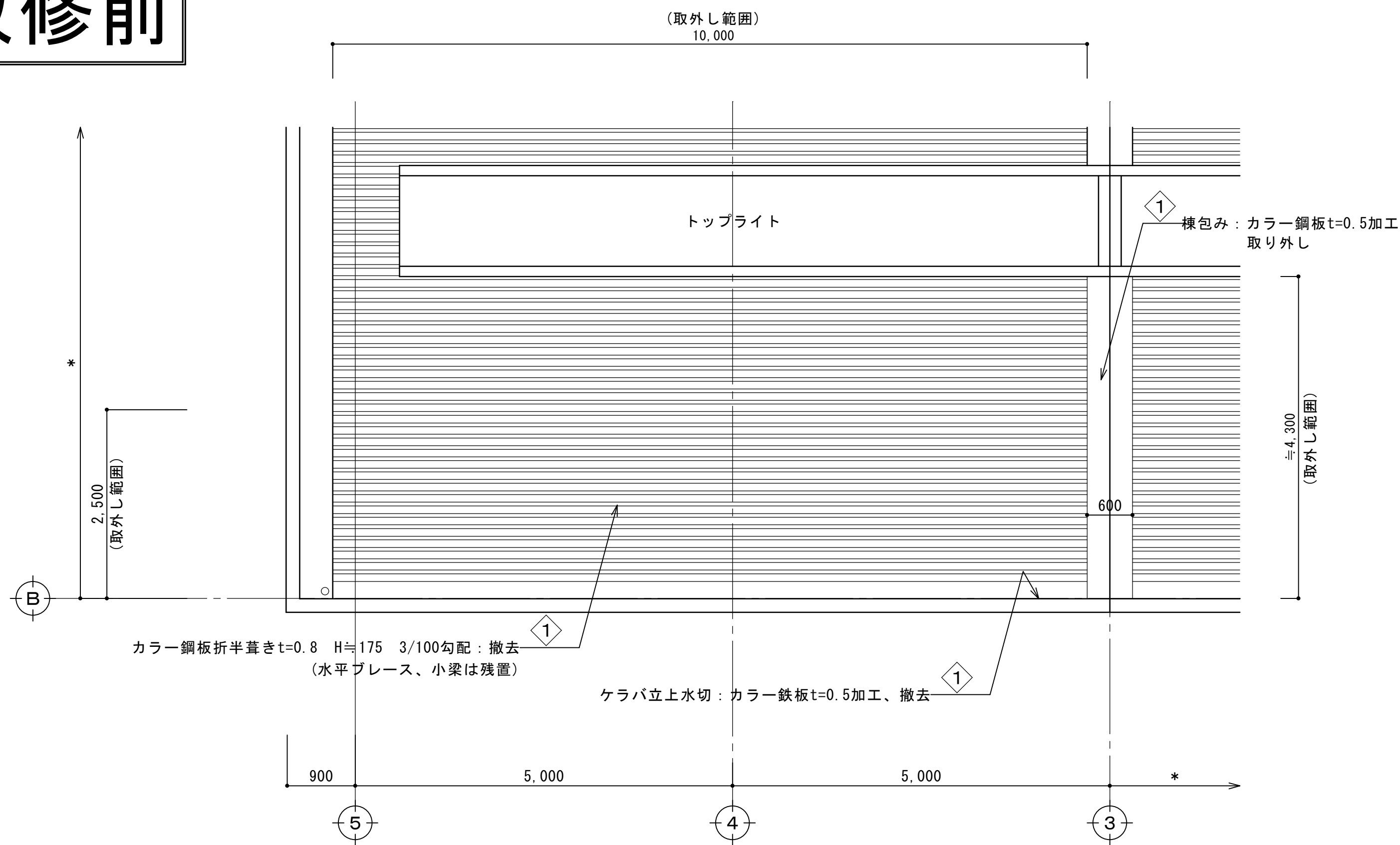


改修後 鉄骨下地図 S=1/50 ※新設鋼材は原則錆止めペイントとする。



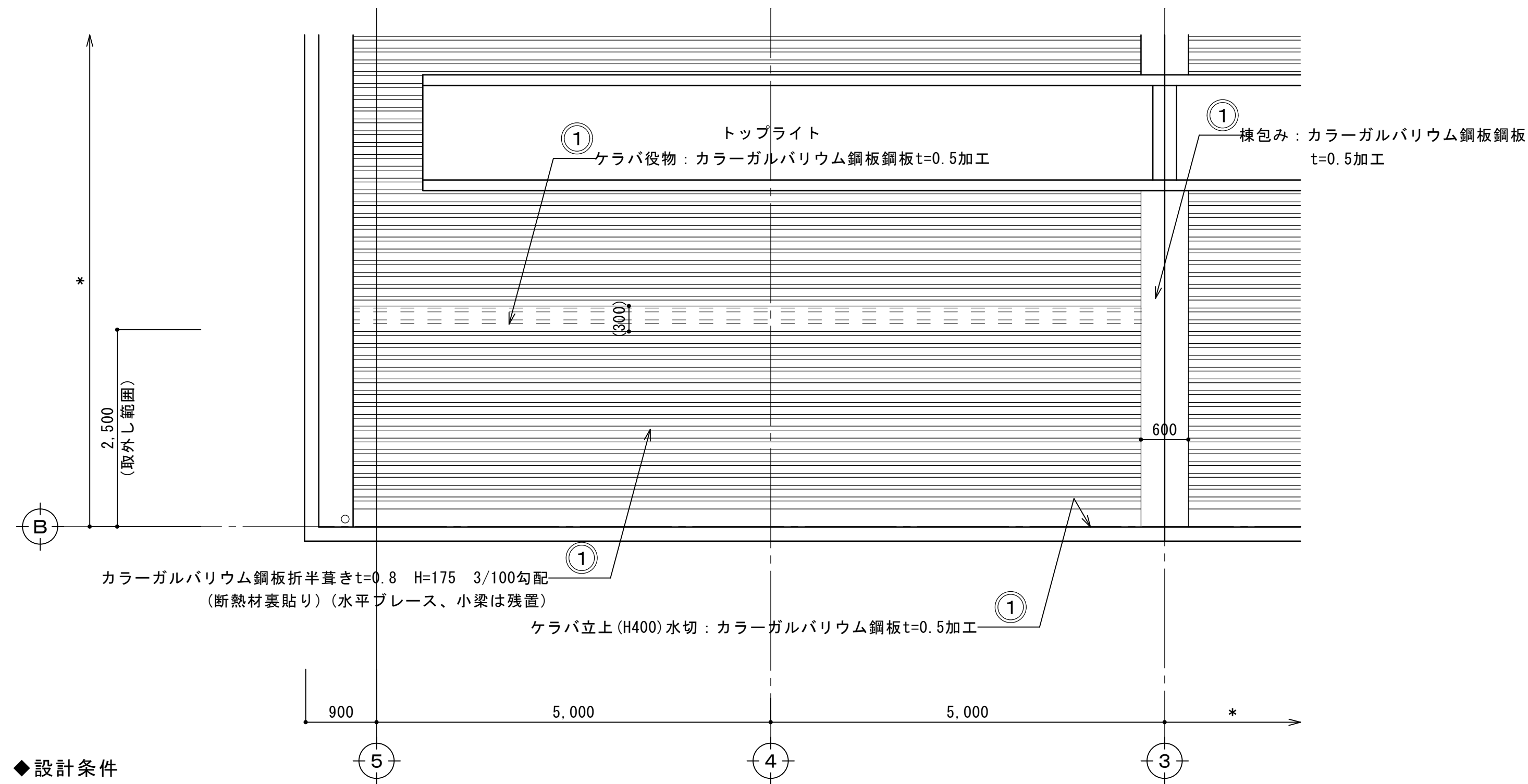
工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	改修立面図・鉄骨下地図				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				AP - 06	

改修前



改修前 屋根伏図 S=1/50

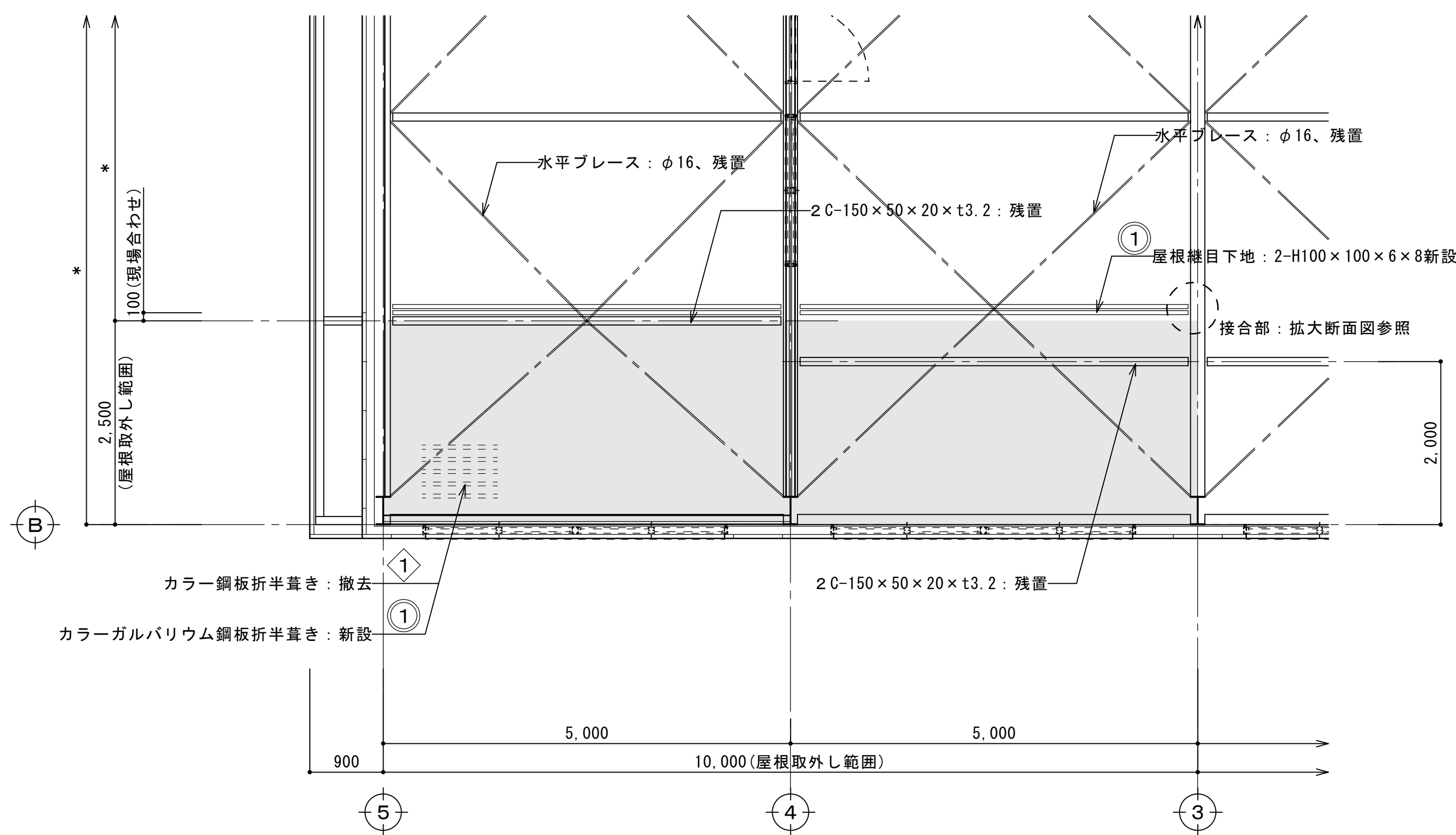
改修後



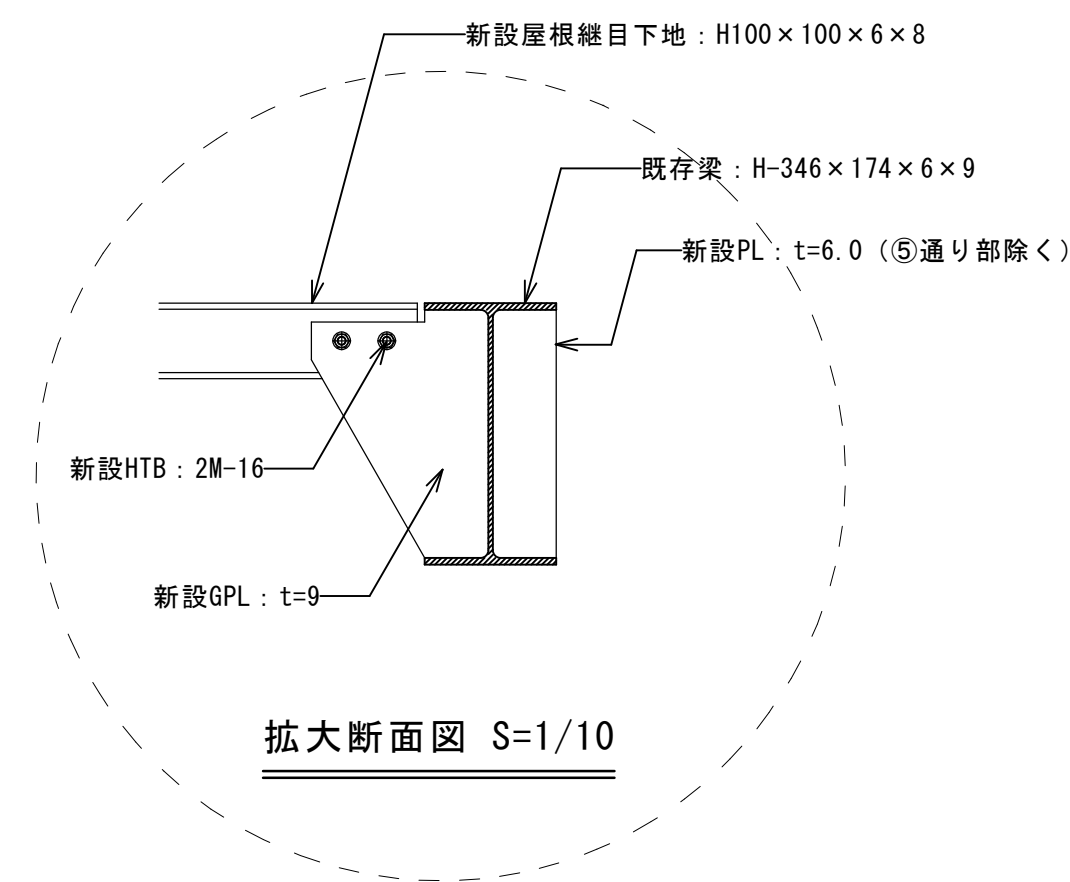
改修後 屋根伏図 S=1/50

◆設計条件
垂直積雪量: 30cm
地表面粗度区分: Ⅲ
基準風速 (Vo): 30m/秒

共通



天井伏図 S=1/50



拡大断面図 S=1/10

工事名	向町浄水場自家発電施設等更新工事				
工事場所	行田市向町28番4号				
図面名称	改修屋根伏図・天井伏図				
課長	主幹	主査	担当	縮尺	
内山	田島	長谷見	栗原	1/50	
				図面番号	
行田市水道事業				AP-07	